



ThinkSystem SR680a V4

ハードウェア・メンテナンス・ガイド



マシン・タイプ: 7DMK および 7DPA

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、以下に記載されている安全情報および安全上の注意を読んで理解してください。

https://pubs.lenovo.com/safety_documentation/

さらに、ご使用のサーバーに適用される Lenovo 保証規定の諸条件をよく理解してください。以下に掲載されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>

第 1 版 (2025 年 12 月)

© Copyright Lenovo 2025.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが GSA (米国一般調達局) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

目次	i
安全について	v
安全検査のチェックリスト	vi
第1章. ハードウェア交換手順	1
取り付けのガイドライン	1
安全検査のチェックリスト	2
システムの信頼性に関するガイドライン	4
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い	4
メモリー・モジュールの取り付けの規則および順序	5
独立メモリー・モードの取り付けの順序	6
メモリー・ミラーリング・モードの取り付けの順序	8
サーバーの電源オン/電源オフ	9
サーバーの電源をオンにする	9
サーバーの電源をオフにする	9
シャーシの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	9
ラックからのシャーシの取り外し	10
ラックへのシャーシの取り付け	17
2.5インチホット・スワップ・ドライブの交換	26
2.5インチホット・スワップ・ドライブの取り外し	26
2.5インチホット・スワップ・ドライブの取り付け	28
2.5インチドライブ・バックプレーンの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	30
2.5インチドライブ・バックプレーンの取り外し	30
2.5インチドライブ・バックプレーンの取り付け	33
ケーブル・ガイドの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	37
ケーブル・ガイドの取り外し	37
ケーブル・ガイドの取り付け	40
ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリー(トレーニングを受けた技術員のみ)	44
ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーの取り外し	44
ケーブル・ホルダー・フレームとバッフル・アセンブリーの取り付け	47
コンピュート・トレイの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	48
コンピュート・トレイの取り外し	48
コンピュート・トレイの取り付け	49
CMOS バッテリー (CR2032) の交換	51
CMOS バッテリーの取り外し (CR2032)	51
CMOS バッテリー (CR2032) の取り付け	54
NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	57
NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し	58
NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け	62
ファンの交換	67
ホット・スワップ・ファンの取り外し	67
ホット・スワップ・ファンの取り付け	69
ファン制御ボードの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	72
前面ファン制御ボードの取り外し	72
前面ファン制御ボードの取り付け	74
背面ファン制御ボードの取り外し	76
背面ファン制御ボードの取り付け	78
前面ファン・ケージの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	81
前面ファン・ケージの取り外し	81
前面ファン・ケージの取り付け	83
GPU ベースボードの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	85
GPU ベースボードの取り外し	85
GPU ベースボードの取り付け	89
GPU 複合システムの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	95
GPU 複合システムの取り外し	95
GPU 複合システムの取り付け	99
GPU 複合システム・アダプター・プレートの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	105
GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り外し	106
GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り付け	110
GPU およびヒートシンク・モジュールの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	115
GPU およびヒートシンク・モジュールの取り外し	116
GPU およびヒートシンク・モジュールの取り付け	121
GPU シャトルの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	128
GPU シャトルの取り外し	128
GPU シャトルの取り付け	134
GPU シャトル・ベースの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	138
GPU シャトル・ベースの取り外し	138
GPU シャトル・ベースの取り付け	143

HMC カードの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	148	電源複合システムの取り付け	231
HMC カードの取り外し	148	分電盤の交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	233
HMC カードの取り付け	151	分電盤の取り外し	233
内蔵診断パネルの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	153	分電盤の取り付け	234
内蔵診断パネルの取り外し	153	分電盤トレイの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	236
内蔵診断パネルの取り付け	155	分電盤トレイの取り外し	236
ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの交換	157	分電盤トレイの取り付け	236
ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し	158	パワー・サプライ・ユニットの交換	237
M.2 ドライブ・アセンブリーの分解	160	ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り外し	237
M.2 変換コネクターおよびドライブの組み立て	161	ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り付け	239
ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り付け	163	プロセッサーおよびヒートシンクの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	242
M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	165	プロセッサーとヒートシンクの取り外し	243
M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り外し	165	プロセッサーをキャリアとヒートシンクから取り外す	248
M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り付け	167	プロセッサーとヒートシンクの取り付け	249
メモリー・モジュールの交換	171	PSU 変換コネクターの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	257
メモリー・モジュールの取り外し	171	PSU 変換コネクターの取り外し	258
メモリー・モジュールの取り付け	173	PSU 変換コネクターの取り付け	259
OCP 変換コネクター・カードの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	176	背面ファンのバルクヘッドの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	260
OCP 変換コネクター・カードの取り外し	176	背面ファン・バルクヘッドの取り外し	260
OCP 変換コネクター・カードの取り付け	179	背面ファン・バルクヘッドの取り付け	262
OCP モジュールの交換	183	リタイマー・ボードの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	264
OCP モジュールの取り外し	183	リタイマー・ボードの取り外し	264
OCP モジュールの取り付け	185	リタイマー・ボードの取り付け	266
OSFP カードとサポート・トレイの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	186	リタイマー・ボード・シャトルの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	272
OSFP カードとサポート・トレイの取り外し	186	リタイマー・ボード・シャトルの取り外し	272
OSFP カードとサポート・トレイの取り付け	195	リタイマー・ボード・シャトルの取り付け	276
PCIe アダプターの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	208	リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	278
PCIe アダプターの取り外し	208	リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーの取り外し	278
PCIe アダプターの取り付け	211	リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーの取り付け	280
PCIe スイッチ・ボードおよびヒートシンクの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	215	システム・ボードの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	282
PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り外し	216	システム・ボードの取り外し	283
PCIe スイッチ・ボードの取り外し	219	システム・ボードの取り付け	286
PCIe スイッチ・ボードの取り付け	221	システム I/O ボードの交換	289
PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り付け	225	システム I/O ボードの取り外し	289
電源複合システムの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	229	システム I/O ボードの取り付け	292
電源複合システムの取り外し	229	システム・シャトルの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)	301
		システム・シャトルの取り外し	301
		システム・シャトルの取り付け	303

部品交換の完了	306	前面 LED	356
第 2 章. 内部ケーブルの配線	309	パワー・サプライ LED	360
コネクターの識別	310	内蔵診断パネル	361
ドライブ・バックプレーン・コネクター	310	一般的な問題判別の手順	366
ファン制御ボード・コネクター	311	電源が原因と思われる問題の解決	367
GPU ベースボード・コネクター	312	イーサネット・コントローラーが原因と思われる問題の解決	367
OCP 変換コネクター・カード・コネクター	312	症状別トラブルシューティング	368
OSFP カード・ケーブル・コネクター	313	GPU の問題	369
PCIe スイッチ・ボード・コネクター	313	再現性の低い問題	373
分電盤コネクター	314	キーボード、マウス、KVM スイッチまたは USB デバイスの問題	374
PSU 変換コネクター・コネクター	314	メモリーの問題	375
リタイマー・ボード・コネクター	315	モニターおよびビデオの問題	377
ケーブル配線用のシステム・ボード・コネクター	315	ネットワークの問題	378
システム I/O ボード・コネクター	316	目視で確認できる問題	379
2.5 インチ ドライブ・バックプレーンのケーブル配線	317	オプションのデバイスの問題	381
DPU アダプターの電源ケーブル配線	318	パフォーマンスの問題	382
ファン制御ボードのケーブル配線	320	電源オンおよび電源オフの問題	383
GPU ベースボードのケーブル配線	323	電源問題	384
内蔵診断パネルのケーブル配線	325	ソフトウェアの問題	384
M.2 バックプレーンのケーブル配線	326	ストレージ・ドライブの問題	385
OCP 変換コネクター・カードのケーブル配線	327		
OSFP カードのケーブル配線	329		
PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線	334		
PSU 変換コネクターのケーブル配線	336		
リタイマー・ボードのケーブル配線	337		
システム I/O ボードのケーブル配線	344		
USB アセンブリーのケーブル配線	346		
第 3 章. 問題判別	349		
イベント・ログ	349	付録 A. ヘルプおよび技術サポートの入手	389
仕様	351	依頼する前に	389
技術仕様	351	サービス・データの収集	390
機械仕様	353	サポートへのお問い合わせ	391
環境仕様	354		
システム・ボード・コネクター	355	付録 B. 資料とサポート	393
システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング	356	資料のダウンロード	393
		サポート Web サイト	393
		付録 C. 注記	395
		商標	395
		重要事項	396
		電波障害自主規制特記事項	396
		台湾地域 BSMI RoHS 宣言	397
		台湾地域の輸出入お問い合わせ先情報	397

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information（安全信息）。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

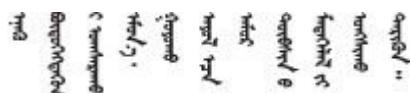
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報を読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este producto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ସକ୍ଷମାଦିପଦେଶୁଦ୍ବାପୁଣ୍ୟର୍ଥାନ୍ତା ଅନୁଷ୍ଠାନିକମ୍ବାଦୀ
ପ୍ରାଚୀକରଣିକାଦିପଦେଶୁଦ୍ବାପୁଣ୍ୟର୍ଥାନ୍ତା

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

هزكُور مههُولاتنی، تونتیشتن بیرون یخهتمه لیک ئۆچۈرلىرىنى، توقۇپ حىقىقى.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen canjibini soengg cunqi yahgangi ancien siusik.

安全検査のチェックリスト

サーバーで危険をもたらす可能性のある状況を識別するには、このセクションの情報を使用します。各マシンには、設計され構築された時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するために義務づけられている安全装置が取り付けられています。

注: この製品は、職場規則の§2に従って、視覚的なディスプレイ作業場での使用には適していません。

注：サーバーのセットアップは、サーバー・ルームでのみ行います。

警告：

この装置は、IEC 62368-1、電子機器(オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジ分野に属するもの)の安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみが保守できます。Lenovoでは、お客様が装置の保守を行う資格を持っており、製品の危険エネルギー・レベルを認識する訓練を受けていることを想定しています。機器はアクセスが制限された場所に設置する必要があります。装置へのアクセスは、その場所に責任を持つ権限によって制御されています。

重要: オペレーターの安全確保とシステム機能の正常実行のためには、サーバーの接地が必要です。電源コンセントの適切な接地は、認定電気技術員により検証できます。

危険をもたらす可能性のある状況がないことを確認するには、次のチェックリストを使用します。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切断されていることを確認します。
 2. 電源コードを検査します。
 - 接地線を含む3線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。
 - 電源コードが正しいタイプのものであるか

サードパーティで作成できる電源コードを参照するには、次のようになります。

- a. 以下へ進んでください

<http://dcsc.lenovo.com/#/>

- b. 「Preconfigured Model (事前構成モデル)」または「Configure to order (注文構成製品)」をクリックします。
 - c. サーバーのマシン・タイプおよびモデルを入力して、コンフィギュレーター・ページを表示します。
 - d. すべての電源コードを表示するには、「Power (電源)」→「Power Cables (電源ケーブル)」の順にクリックします。
- 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないいか。
3. 明らかに Lenovo によるものでない改造個所をチェックします。Lenovo 以外の改造個所の安全については適切な判断を行ってください。
 4. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状態でないか、サーバーの内部をチェックします。
 5. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
 6. パワー・サプライ・カバーの留め金具(ねじまたはリベット)が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。
 7. 配電システムの設計は、サーバー内のすべての電源からの全体の接地漏れ電流を考慮に入れる必要があります。

警告：



接触電流が高くなっています。電源に接続する前にアースに接続してください。

8. pluggable equipment type B の PDU (電源配分ユニット) を使用して、サーバーに電力を配分します。

第1章 ハードウェア交換手順

このセクションでは、保守可能なすべてのシステム・コンポーネントの取り付けおよび取り外し手順について説明します。各コンポーネントの交換手順では、交換するコンポーネントにアクセスするために実行する必要がある作業に触れてています。

注意：この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:
<https://dcsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

取り付けのガイドライン

サーバーにコンポーネントを取り付ける前に、取り付けのガイドラインをお読みください。

オプションのデバイスを取り付ける前に、以下の注意をよくお読みください。

注意：静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。

- 作業時の安全を確保するために、安全情報およびガイドラインをお読みください。
 - すべての製品の安全情報の完全なリストは、以下の場所で入手できます。
https://pubs.lenovo.com/safety_documentation/
 - 次のガイドラインは、4ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」でも入手できます。
- 取り付けるコンポーネントがご使用のサーバーによってサポートされていることを確認します。
 - サーバーでサポートされているオプションのコンポーネントのリストについては、
<https://serverproven.lenovo.com>を参照してください。
 - オプション・パッケージの内容については、<https://serveroption.lenovo.com>を参照してください。
- 部品の注文について詳しくは、以下を参照してください。
 1. <http://datacentersupport.lenovo.com>にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
 2. 「Parts (部品)」をクリックします。
 3. ご使用のサーバーの部品リストを表示するにはシリアル番号を入力します。
- 新規のサーバーを取り付ける場合は、最新のファームウェアをダウンロードして適用してください。既知の問題が対処され、ご使用のサーバーが最適なパフォーマンスで動作するようになります。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、
<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/>に進みます。

重要：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。コンポーネントがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、クラスターでサポートされているファームウェアとドライバーの最新のBest Recipeコード・レベル・メニューを確認してください。

- ファームウェアが含まれているアダプターなどの部品を交換する場合は、その部品のファームウェアも更新する必要があります。ファームウェアの更新の詳細については、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。
- オプションのコンポーネントを取り付ける場合は、サーバーが正しく作動していることを確認してから取り付けてください。
- 作業スペースは清潔に保ち、取り外したコンポーネントは、振動したり傾いたりしない平らで滑らかな平面に置いてください。
- 自分1人では重すぎるかもしれない物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置をよくお読みください。
 - 足元が安定しており、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりと力を入れて持ち上げます。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- ディスク・ドライブに関連した変更を行う前に、重要なデータをバックアップしてください。
- #1 プラス・ドライバー、#2 プラス・ドライバー、トルク・ドライバー2本、Torx T15 ビット1本、Torx T15 拡張ビット(300mm)2本、Torx T8 磁気拡張ビット(100mm)1本、UltraPass コネクター取り外しツール1個、B300 治具1個を用意してください。
- システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)および内部コンポーネントのエラーLEDを表示するには、電源をオンのままにしてください。
- パワー・サプライ・ユニットまたはファンを交換する場合、必ずそれらのコンポーネントの冗長性規則を参照してください。
- コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。
- PSU を除き、コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色の表示は、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。(オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください)。
- リリース・タブ付きのPSUは、ホット・スワップPSUです。
- ドライブのリリース・ラッチの隣にある赤い帯は、サーバーおよびオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合、そのドライブがホット・スワップ可能であることを示しています。つまり、サーバーを稼働させたままドライブの取り外しまたは取り付けが可能です。

注：ドライブの取り外しまたは取り付けを行う前に、ホット・スワップ・ドライブの取り外しまたは取り付けについてシステム固有の指示を参照し、追加手順が必要かどうかを確認してください。

- サーバーでの作業が終わったら、必ずすべての安全シールド、ガード、ラベルおよび接地ワイヤーを再取り付けしてください。

安全検査のチェックリスト

サーバーで危険をもたらす可能性のある状況を識別するには、このセクションの情報を使用します。各マシンには、設計され構築された時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するために義務づけられている安全装置が取り付けられています。

注：この製品は、職場規則の§2に従って、視覚的なディスプレイ作業場での使用には適していません。

注：サーバーのセットアップは、サーバー・ルームでのみ行います。

警告：

この装置は、IEC 62368-1、電子機器(オーディオ/ビデオ、情報および通信テクノロジ分野に属するものの安全基準に定められているように、訓練を受けた担当員のみが保守できます。Lenovoでは、お客様が装置の保守を行う資格を持っており、製品の危険エネルギー・レベルを認識する訓練を受けていることを想定しています。機器はアクセスが制限された場所に設置する必要があります。装置へのアクセスは、その場所に責任を持つ権限によって制御されています。

重要：オペレーターの安全確保とシステム機能の正常実行のためには、サーバーの接地が必要です。電源コンセントの適切な接地は、認定電気技術員により検証できます。

危険をもたらす可能性のある状況がないことを確認するには、次のチェックリストを使用します。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切断されていることを確認します。
2. 電源コードを検査します。
 - 接地線を含む3線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。3線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。
 - 電源コードが、正しいタイプのものであるか。
サーバーで使用できる電源コードを参照するには、次のようにします。
 - a. 以下へ進んでください。
<http://dscs.lenovo.com/#/>
 - b. 「Preconfigured Model (事前構成モデル)」または「Configure to order (注文構成製品)」をクリックします。
 - c. サーバーのマシン・タイプおよびモデルを入力して、コンフィギュレーター・ページを表示します。
 - d. すべての電源コードを表示するには、「Power (電源)」 → 「Power Cables (電源ケーブル)」の順にクリックします。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
3. 明らかに Lenovo によるものでない改造個所をチェックします。Lenovo以外の改造個所の安全については適切な判断を行ってください。
4. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状態でないか、サーバーの内部をチェックします。
5. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
6. パワー・サプライ・カバーの留め金具(ねじまたはリベット)が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。
7. 配電システムの設計は、サーバー内のすべての電源からの全体の接地漏れ電流を考慮に入れる必要があります。

警告：



接触電流が高くなっています。電源に接続する前にアースに接続してください。

8. pluggable equipment type B の PDU(電源配分ユニット)を使用して、サーバーに電力を配分します。

システムの信頼性に関するガイドライン

適切なシステム冷却および信頼性を確保するために、システムの信頼性に関するガイドラインを確認してください。

以下の要件を満たしていることを確認してください。

- サーバーにリダンダント電源が付属している場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- サーバー冷却システムが正しく機能できるように、サーバーの回りに十分なスペースを確保してあること。約 50 mm (2.0 インチ) の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。
- 冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にサーバー・カバーを再取り付けしてください。サーバー・カバーを外した状態で 30 分以上サーバーを作動させないでください。サーバーのコンポーネントが損傷する場合があります。
- オプションのコンポーネントに付属する配線手順に従っていること。
- 障害のあるファンは、障害が発生してから 48 時間以内に交換すること。
- 取り外したホット・スワップ・ファンは、取り外してから 30 秒以内に交換すること。
- 取り外したホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に交換すること。
- 取り外したホット・スワップ・パワー・サプライは、取り外してから 2 分以内に交換すること。
- サーバーに付属の各エアー・バッフルが、サーバー起動時に取り付けられていること（一部のサーバーではエアー・バッフルが複数付属している場合があります）。エアー・バッフルがないままサーバーを作動させると、プロセッサーが損傷する可能性があります。
- すべてのプロセッサー・ソケットには、ソケット・カバーまたはプロセッサーとヒートシンクが取り付けられていること。
- 複数のプロセッサーが取り付けられている場合、各サーバーのファン装着規則が厳格に守られていること。

静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い

静電気の放電による損傷の可能性を減らすために、静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い前に、以下のガイドラインを確認してください。

注意：静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。

- 動作を制限して自分の周囲に静電気をためないようにしてください。
- 天候が寒い場合は、デバイスの取り扱いに特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるためです。
- 特に電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。デバイスを下に置く必要がある場合は、帯電防止パッケージに入れます。デバイスをサーバーや金属面の上には置かないでください。
- デバイスを取り扱う際は、端またはフレームを持って慎重に持ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 損傷の可能性を防止するために、デバイスに他の人の手が届かない位置を維持してください。

メモリー・モジュールの取り付けの規則および順序

メモリー・モジュールは、サーバーに実装されたメモリー構成と、サーバーに取り付けられているプロセッサー数とメモリー・モジュール数に基づいて、特定の順序で取り付ける必要があります。

サポートされるメモリー・タイプ

このサーバーでサポートされるメモリー・モジュールのタイプについては、351 ページの「技術仕様」の「メモリー」セクションを参照してください。

メモリー・パフォーマンスの最適化とメモリーの構成については、Lenovo Press Web サイトを参照してください。

<https://lenovopress.lenovo.com/servers/options/memory>

さらに、以下のサイトで入手可能なメモリー・コンフィギュレーターを活用できます。

https://desc.lenovo.com/#/memory_configuration

実装しているシステム構成およびメモリー・モードに基づくサーバーで、メモリー・モジュールの必要な取り付け順序についての具体的な情報は、以下に示されています。

メモリー・モジュールおよびプロセッサーのレイアウト

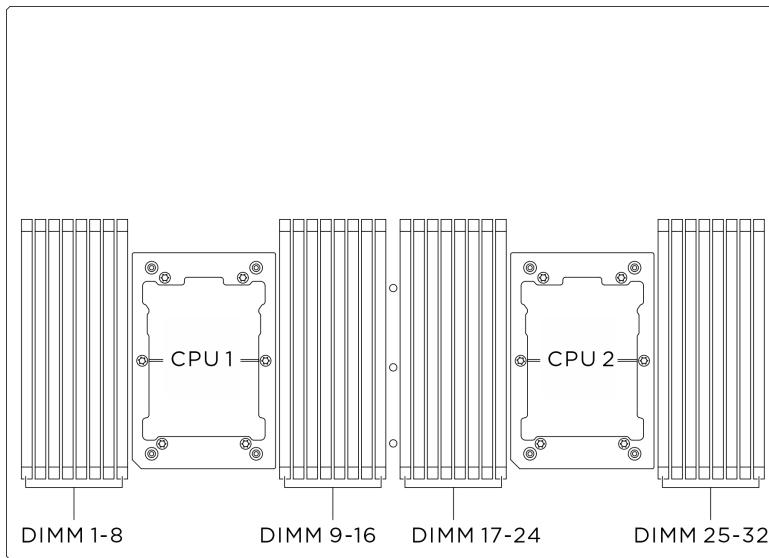


図1. メモリー・モジュールおよびプロセッサーのレイアウト

以下の「メモリー・チャネル構成」の表は、プロセッサー、メモリー・コントローラー、メモリー・チャネル、メモリー・モジュール・スロット番号の間の関係を示しています。

表 1. メモリー・スロットとチャネル識別番号

プロセッサー	プロセッサー 1															
コントローラー	iMC3		iMC2		iMC1		iMC0		iMC4(アイエムシー4)		iMC5		iMC6		iMC7	
チャネル	CH3		CH2		CH1		CH0		CH4		CH5		CH6		CH7	
スロット番号	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
DIMM 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
プロセッサー	プロセッサー 2															
コントローラー	iMC3		iMC2		iMC1		iMC0		iMC4(アイエムシー4)		iMC5		iMC6		iMC7	
チャネル	CH3		CH2		CH1		CH0		CH4		CH5		CH6		CH7	
スロット番号	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
DIMM 番号	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32

独立メモリー・モードの取り付けの順序

独立メモリー・モードは、メモリーパフォーマンスの最高レベルを提供しますが、フェイルオーバー保護が不足しています。独立メモリー・モードのDIMM取り付け順序は、サーバーに取り付けられているプロセッサーおよびメモリー・モジュールの数によって異なります。

独立モードでメモリー・モジュールを取り付けする場合は、以下の規則に従ってください。

- メモリー装着は、プロセッサー間で同じにする必要があります。
- 各メモリー・チャネルで、最初にプロセッサー(スロット 0)から最も遠いスロットに装着します。

- 取り付けるすべての DDR5 DIMM は、同じタイプ、容量、密度、ランク、およびデータ幅である必要があります。
- 同じシステムに取り付けた DDR5 DIMM は、すべて同じ速度で動作している必要があります。

次の表は、独立モードのメモリー・モジュール装着順序を示しています。

注：

- 64 GB (2Rx4) または 96 GB (2Rx4) を使用する構成には、メモリー・モジュールが 32 枚必要です。
- 128 GB (2Rx4) 構成の場合、メモリー・モジュールは 16 枚または 32 枚必要です。

表 2. 独立モード

DIMM 合計	プロセッサー 1															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
16 枚の DIMM ^{1, 2}	1		3		5		7			10		12		14		16
32 枚の DIMM ^{1, 2}	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
DIMM 合計	プロセッサー 2															
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
16 枚の DIMM ^{1, 2}	17		19		21		23			26		28		30		32
32 枚の DIMM ^{1, 2}	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32

注：

- UEFI 経由で有効にできる Sub NUMA Clustering (SNC) 機能をサポートする DIMM 構成。DIMM の装着が上の表で示された順序に従っていない場合、SNC はサポートされません。
- ソフトウェア・ガード・エクステンション (SGX) をサポートする DIMM 構成については、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ソフトウェア・ガード・エクステンション (SGX) の有効化」を参照して、この機能を有効にしてください。

メモリー・ミラーリング・モードの取り付けの順序

メモリー・ミラーリング・モードは、合計システム・メモリー容量を半分に減少しながら完全なメモリー冗長性を提供します。メモリー・チャネルはペアでグループ化され、ペアのチャネルはそれぞれ同じデータを受信します。障害が起こると、メモリー・コントローラーは、1次チャネルのDIMMから、バックアップ・チャネルのDIMMに切り替えます。メモリー・ミラーリングのDIMM取り付け順序は、サークルに取り付けられているプロセッサーおよびDIMMの数によって異なります。

メモリー・ミラーリングのガイドライン：

- 各DIMMは、サイズおよびアーキテクチャが同一でなければなりません。
- 各メモリー・チャネルのDIMMは同一の密度でなければなりません。
- 2つのメモリー・チャネルにDIMMがある場合、ミラーリングは、2個のDIMMにわたって発生します（チャネル0/1は両方ともプライマリー/セカンダリー・メモリー・キャッシュを含みます）。
- パーシャル・メモリー・ミラーリングは、メモリー・ミラーリングのサブ機能です。メモリー・ミラーリング・モードのメモリー取り付け順序に従う必要があります。

次の表は、ミラーリング・モードのメモリー・モジュール装着順序を示しています。

注：

- 64 GB (2Rx4) または 96 GB (2Rx4) を使用する構成には、メモリー・モジュールが32枚必要です。
- 128 GB (2Rx4) 構成の場合、メモリー・モジュールは16枚または32枚必要です。

表 3. ミラーリング・モード

DIMM 合計	プロセッサー 1															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
16 枚の DIMM ^{1,2}	1		3		5		7			10		12		14		16
32 枚の DIMM ^{1,2}	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
DIMM 合計	プロセッサー 2															
	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
16 枚の DIMM ^{1,2}	17		19		21		23			26		28		30		32
32 枚の DIMM ^{1,2}	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32

注：

- UEFI 経由で有効にできる Sub NUMA Clustering (SNC) 機能をサポートする DIMM 構成。DIMM の装着が上の表で示された順序に従っていない場合、SNC はサポートされません。
- ソフトウェア・ガード・エクステンション (SGX) をサポートする DIMM 構成については、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ソフトウェア・ガード・エクステンション (SGX) の有効化」を参照して、この機能を有効にしてください。

サーバーの電源オン/電源オフ

サーバーの電源をオンおよびオフにするには、このセクションの手順に従います。

サーバーの電源をオンにする

サーバーが入力電力に接続されると、短いセルフテスト(電源状況 LED がすばやく点滅)を実行した後、スタンバイ状態になります(電源状況 LED が 1 秒に 1 回点滅)。

電源ボタンの位置と電源 LED の位置については、以下で説明されています。

- 「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「サーバー・コンポーネント」
- 356 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」

次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオン(電源 LED が点灯)にできます。

- 電源ボタンを押す。
- 停電の後、サーバーが自動的に再起動する。
- Lenovo XClarity Controller に送信されるリモート・パワーオン要求にサーバーが応答する。

重要 : Lenovo XClarity Controller (XCC) でサポートされるバージョンは、製品によって異なります。本書では、特に指定がない限り、Lenovo XClarity Controller のすべてのバージョンを Lenovo XClarity Controller および XCC と記載します。ご使用のサーバーでサポートされる XCC バージョンを確認するには、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にアクセスしてください。

サーバーの電源オフについては、9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

サーバーの電源をオフにする

電源に接続されているときは、サーバーはスタンバイ状態を維持し、Lenovo XClarity Controller がリモートのパワーオン要求に応答できるようになっています。サーバーからすべての電源を切る(電源状況 LED がオフ)には、すべての電源コードを抜く必要があります。

サーバーをスタンバイ状態にするには(電源状況 LED が 1 秒に 1 回点滅):

注 : Lenovo XClarity Controller は、重大なシステム障害への自動的な応答としてサーバーをスタンバイ状態にできます。

- オペレーティング・システムを使用して正常シャットダウンを開始します(この機能がオペレーティング・システムでサポートされている場合)。
- 電源ボタンを押して正常シャットダウンを開始します(オペレーティング・システムでサポートされている場合)。
- 電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的にシャットダウンします。

スタンバイ状態では、サーバーは Lenovo XClarity Controller に送信されるリモート・パワーオン要求に応答できます。サーバーの電源オフについては、9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

シャーシの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)

シャーシの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

ラックからのシャーシの取り外し

ラックからシャーシを取り外すには、このセクションの手順を実行します。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

S036



18 ~ 32 kg (39 ~ 70 ポンド)



32 ~ 55 kg (70 ~ 121 ポンド)

警告：

装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

S037



警告：

この部品または装置の重量は 55 kg (121.2 ポンド) 以上です。この部品または装置を安全に持ち上げるには、特別に訓練を受けた人員またはリフト装置 (あるいはその両方) が必要です。

R006



警告：

ラックに装着されたデバイスを棚として使用する場合を除いて、ラックに装着されたデバイスの上にはものを置かないでください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dscs.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- b. すべてのパワー・サプライ・ユニットを取り外します。237ページの「ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り外し」を参照してください。
- c. 背面ファン(ファン1～15)を取り外します。67ページの「ホット・スワップ・ファンの取り外し」を参照してください。

ステップ2. (オプション) 6本のねじを取り外し、背面側の2個の上部サポート・ブラケットを取り外します。

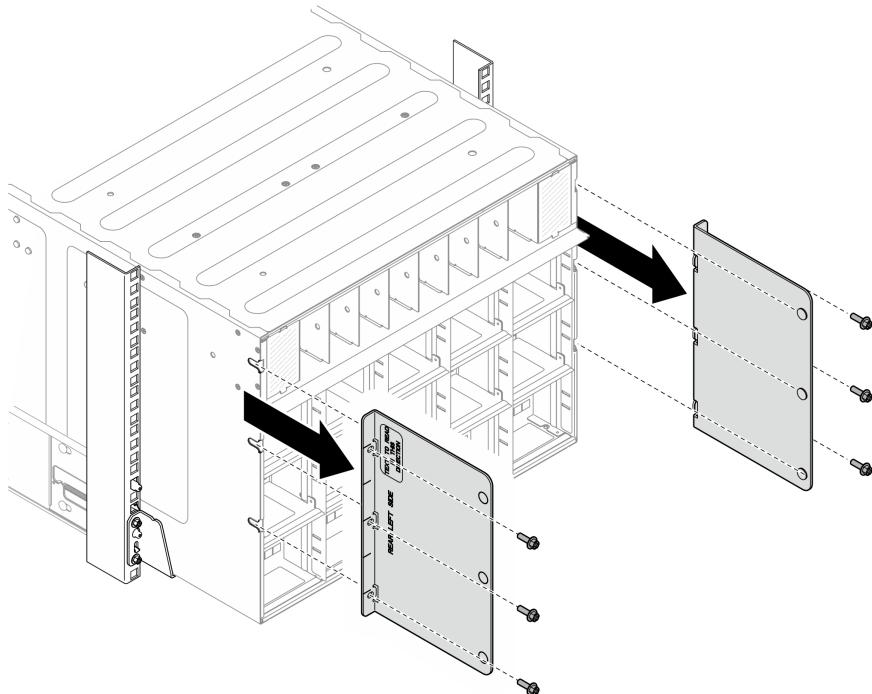


図2. 上部サポート・ブラケットの取り外し

ステップ3. (オプション) 4本のねじを取り外し、背面側の下部サポート・ブラケットを取り外します。

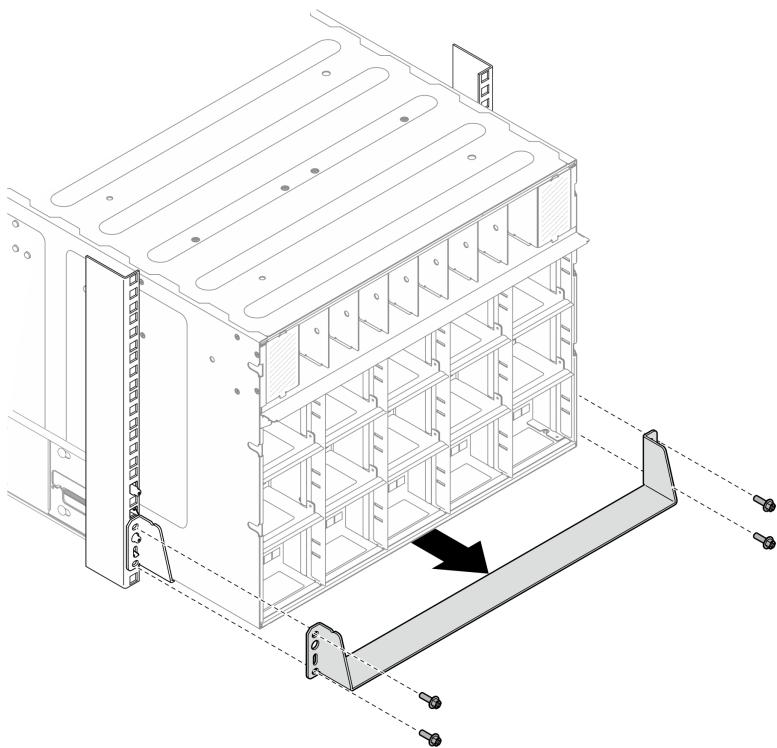


図3. 下部サポート・ブラケットの取り外し

ステップ4. シャーシの前面から2本のEIAカバーを取り外し、シャーシをラックに固定している4本のねじを取り外します。

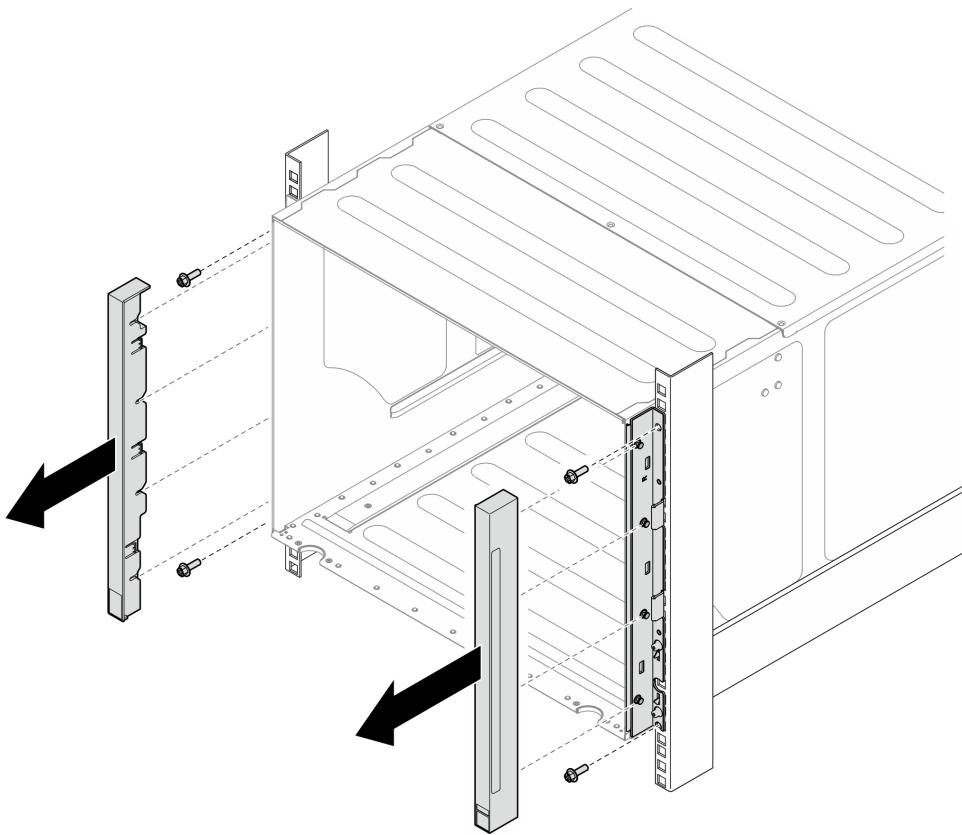


図4. EIA カバーの取り外し

ステップ5. シャーシをスライドさせて、前面ハンドルを両側に取り付けるまで引き出します。ハンドルのスロットをシャーシのポストと位置合わせし、所定の位置にロックされるまでハンドルを上にスライドさせます。

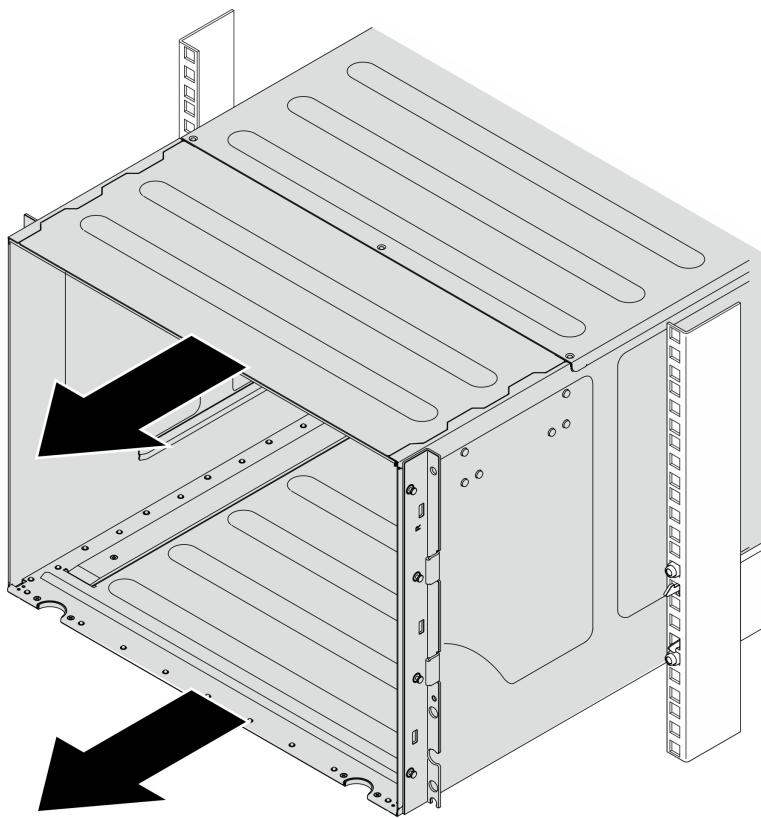


図5. シャーシのスライド

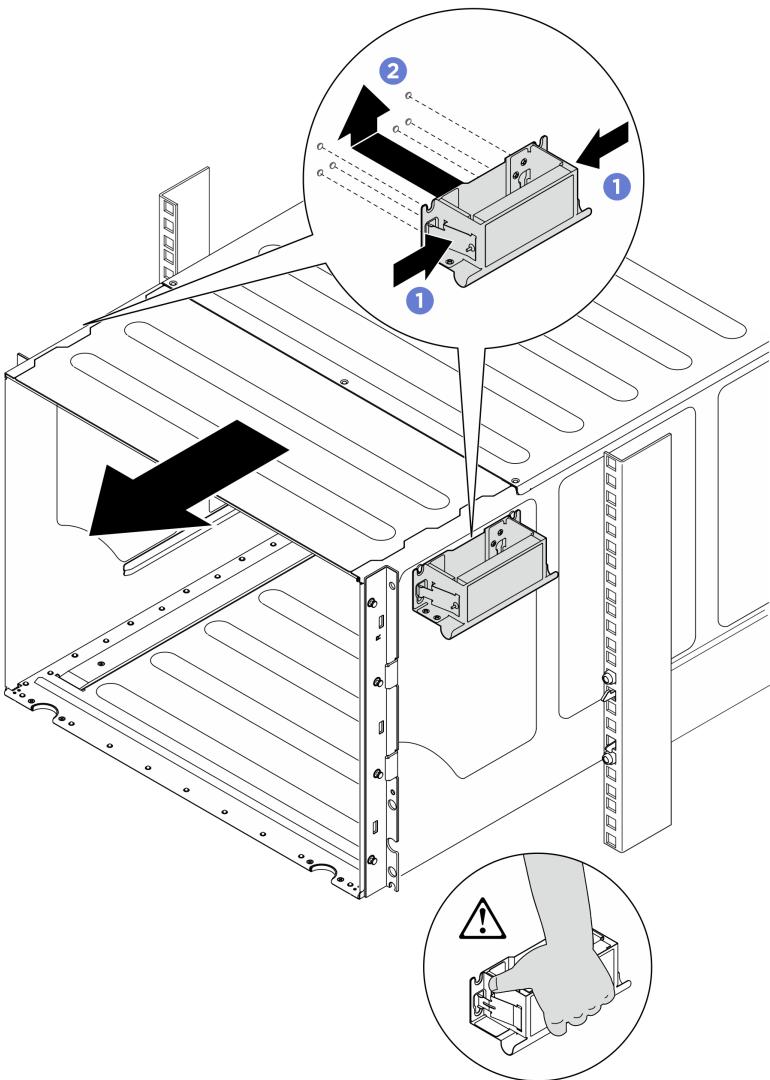


図6. 前面ハンドルの取り付け

ステップ6. 前面ハンドルの両側を持ち、後部ハンドルを取り付けるのに十分なスペースになるまでシャーシをスライドさせて取り出します。シャーシをラックから完全に取り外します。

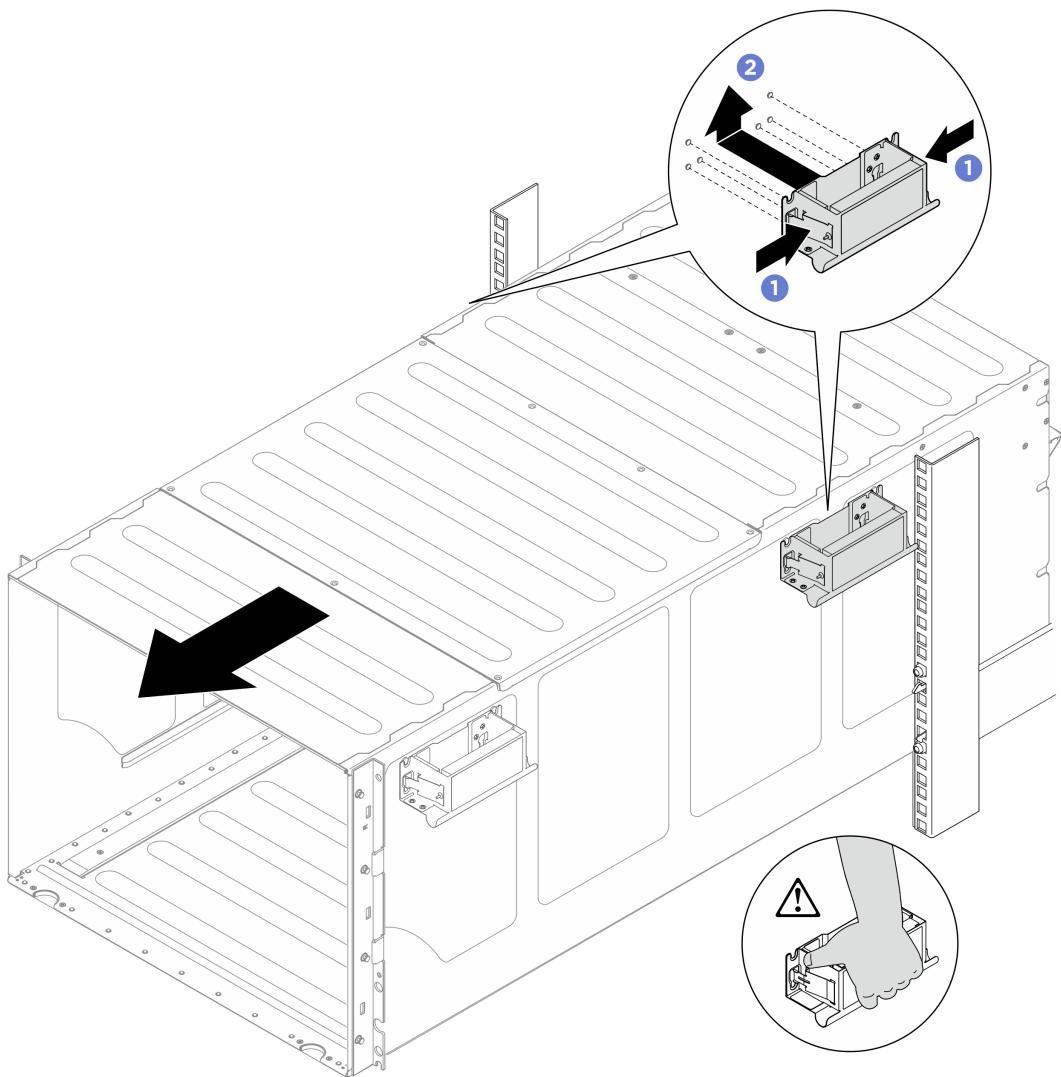


図7. 後部ハンドルの取り付け

ステップ7. ハンドルを取り外します。

1. ハンドルの側面にある両方のフラップをつまみます。
2. ハンドルを下にスライドさせて取り外します。

注：4つのハンドルはすべて取り外してください。

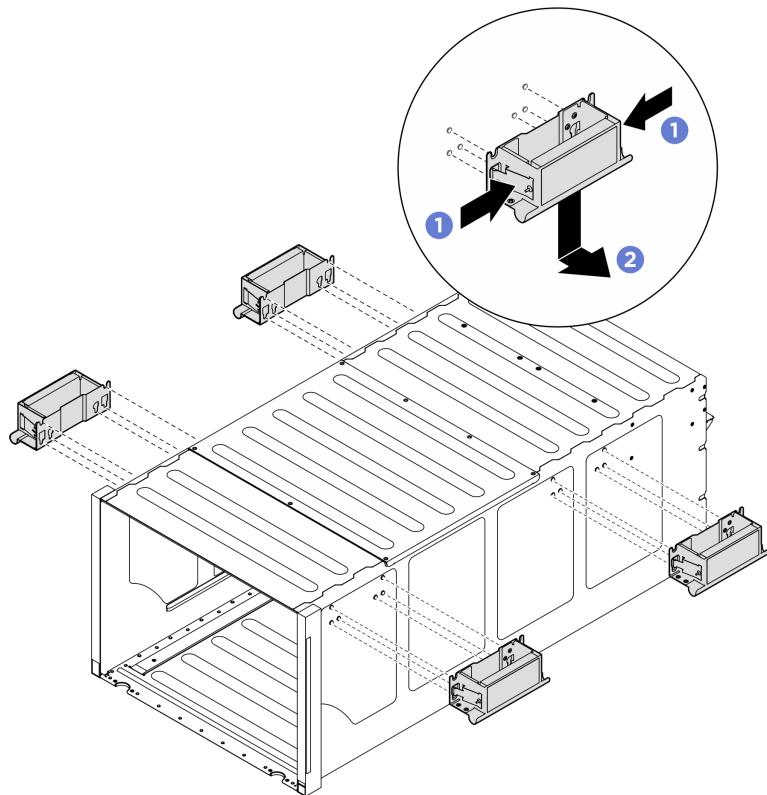


図8. ハンドルの取り外し

完了したら

シャーシを静電防止板の平らな部分に慎重に置きます。

1. レールを取り外す場合は、「レール取り付けガイド」に記載されている手順に従ってください。
2. (オプション) 背面ファンを再度取り付けます。[69 ページの「ホット・スワップ・ファンの取り付け」](#)を参照してください。
3. (オプション) すべてのパワー・サプライ・ユニットを再取り付けします。[239 ページの「ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り付け」](#)を参照してください。
4. (オプション) システム・シャトルを再度取り付けます。[303 ページの「システム・シャトルの取り付け」](#)を参照してください。

ラックへのシャーシの取り付け

シャーシをラックに取り付けるには、このセクションの手順を実行します。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

S036



18 ~ 32 kg (39 ~ 70 ポンド)



32 ~ 55 kg (70 ~ 121 ポンド)

警告 :

装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

S037



警告 :

この部品または装置の重量は 55 kg (121.2 ポンド) 以上です。この部品または装置を安全に持ち上げるには、特別に訓練を受けた人員またはリフト装置 (あるいはその両方) が必要です。

R006



警告 :

ラックに装着されたデバイスを棚として使用する場合を除いて、ラックに装着されたデバイスの上にはものを置かないでください。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。[9 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照してください。
- ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。
 - ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
 - ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。
- レールを取り付けるには、「レール取り付けガイド」に記載されている手順に従います。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dcsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。
- 取り付けの際は、持ち上げる高さを最大でも 156 cm (61.5 インチ) に制限することを推奨します。最適な構成にするため、1 ラックあたりの設置数は最大 4 台にし、下段から上段に向かって取り付けてください(図を参照)。

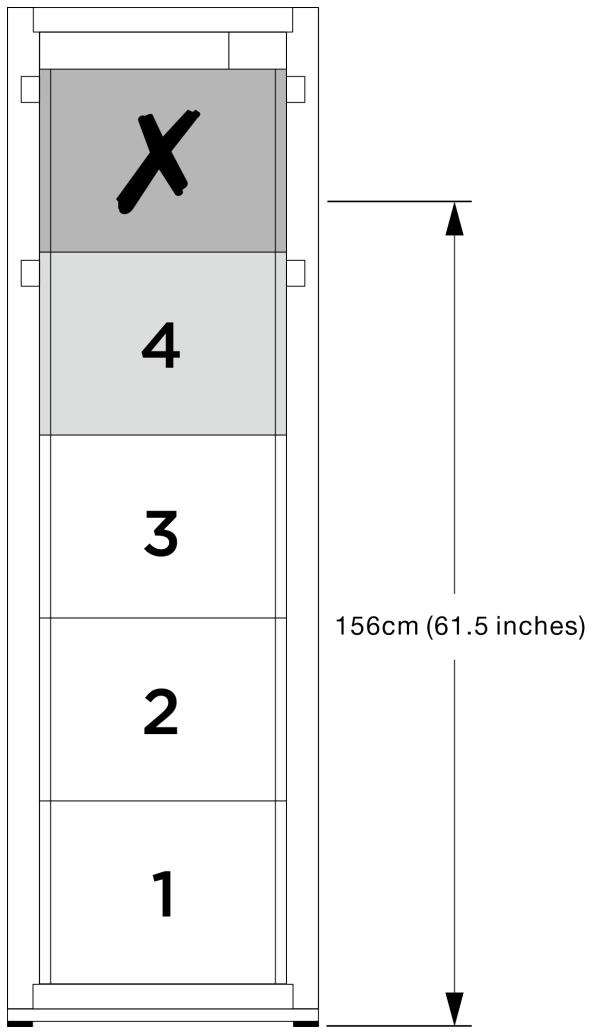


図9. 推奨される最大設置高さ

レールが正常に取り付けられたら、以下の手順を実行して、シャーシをラックに取り付けます。

手順

ステップ1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。[301 ページの「システム・シャトルの取り外し」](#)を参照してください。
- すべてのパワー・サプライ・ユニットを取り外します。[237 ページの「ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り外し」](#)を参照してください。
- 背面ファン(ファン1～15)を取り外します。[67 ページの「ホット・スワップ・ファンの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ2. シャーシに4つのハンドルを取り付けます。

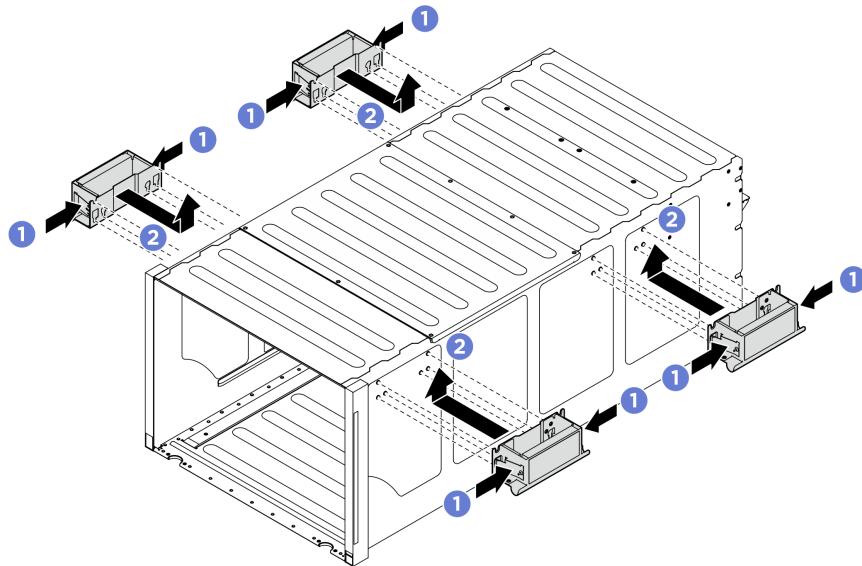


図 10. 4 個のハンドルの取り付け

ステップ3. シャーシの後部をレール上に置いて、シャーシを慎重にラックに挿入します。後部ハンドルが前部ラック・レールに近づくまでシャーシのスライドを続けます。次に、両側の後部ハンドルを取り外します。

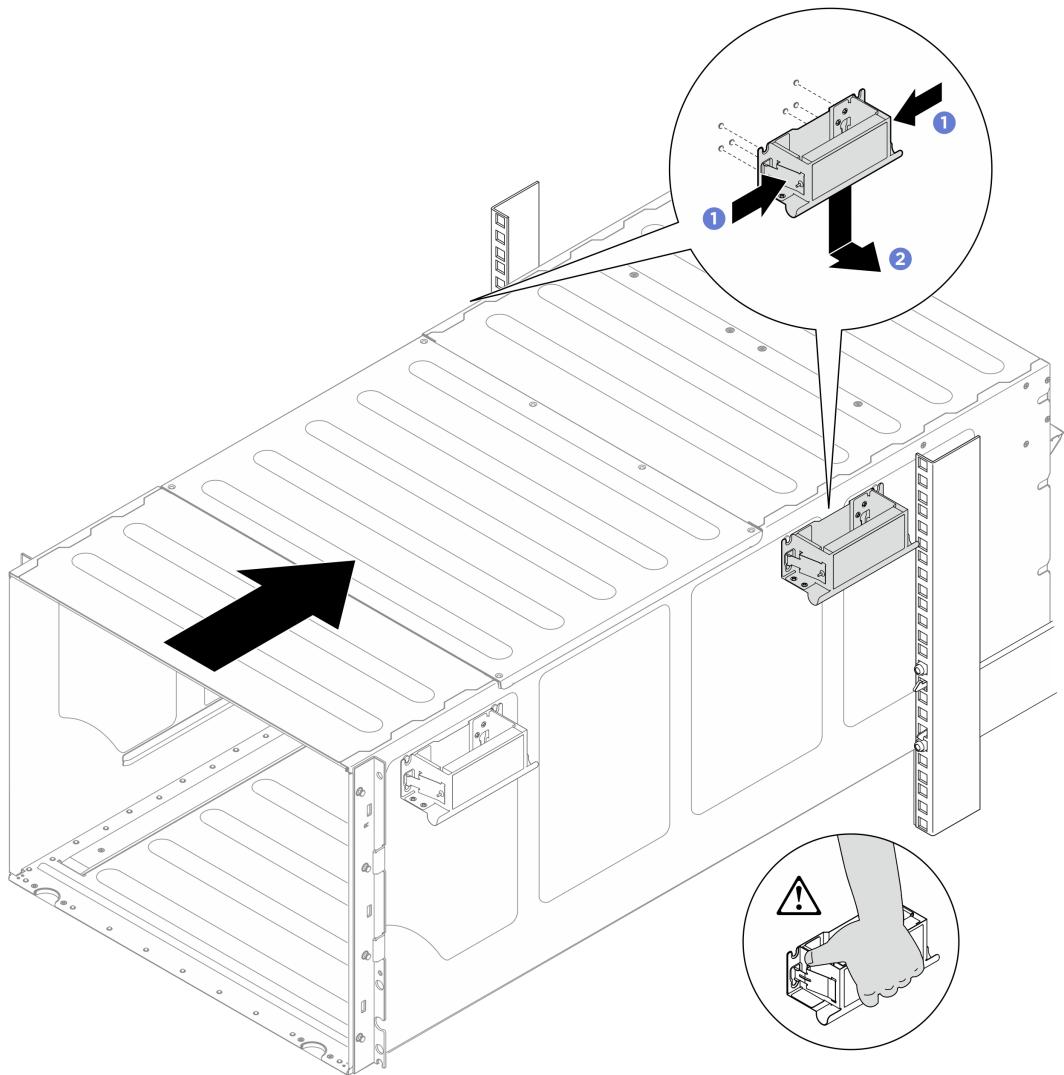


図11. 後部ハンドルの取り外し

ステップ4. 前部ハンドルが前部ラック・レールに近づくまでシャーシをスライドさせてさらにラックに挿入し、両側の前部ハンドルを取り外します。

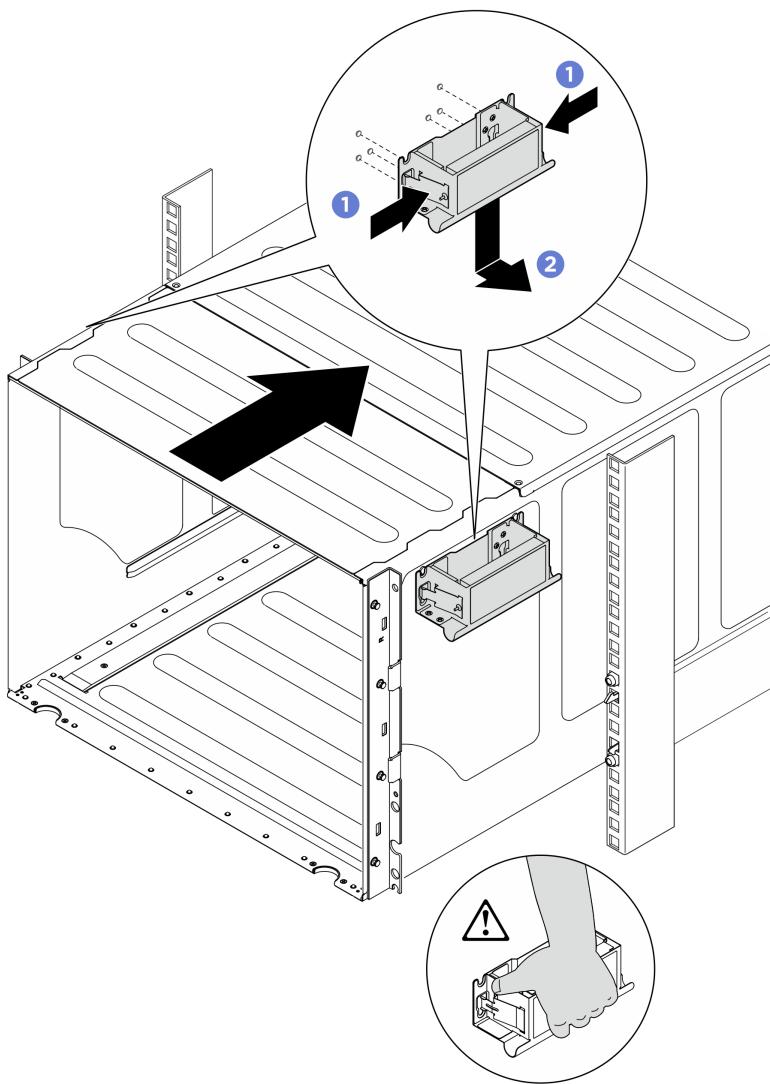


図 12. 前面ハンドルの取り外し

ステップ5. シャーシをスライドさせてラックに戻します。

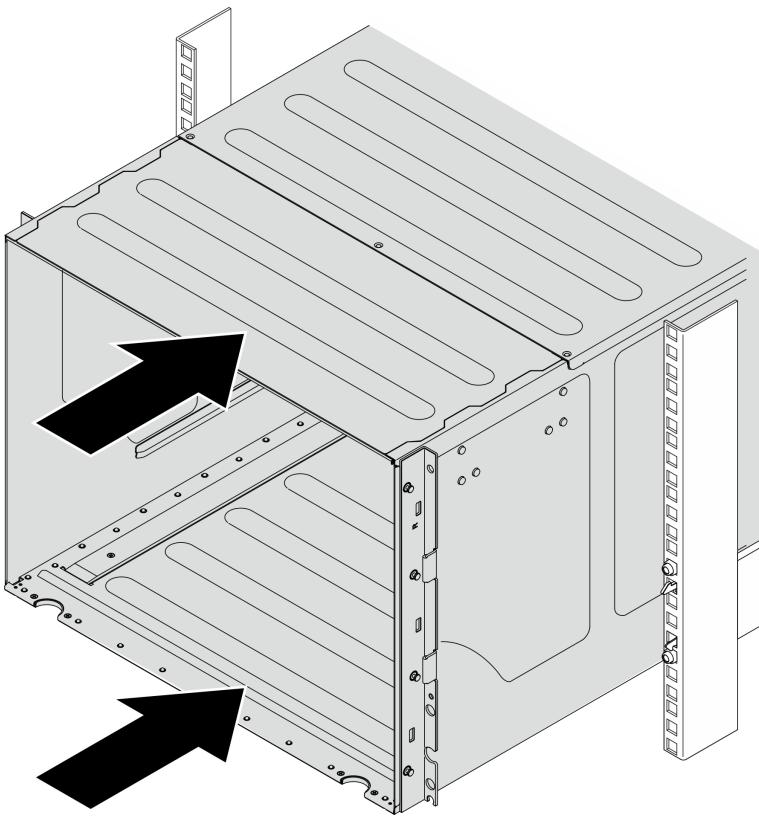


図13. シャーシのスライド

ステップ6. 4本のねじを使用してシャーシをラックに固定します。次に、EIA カバーを再度取り付けます。

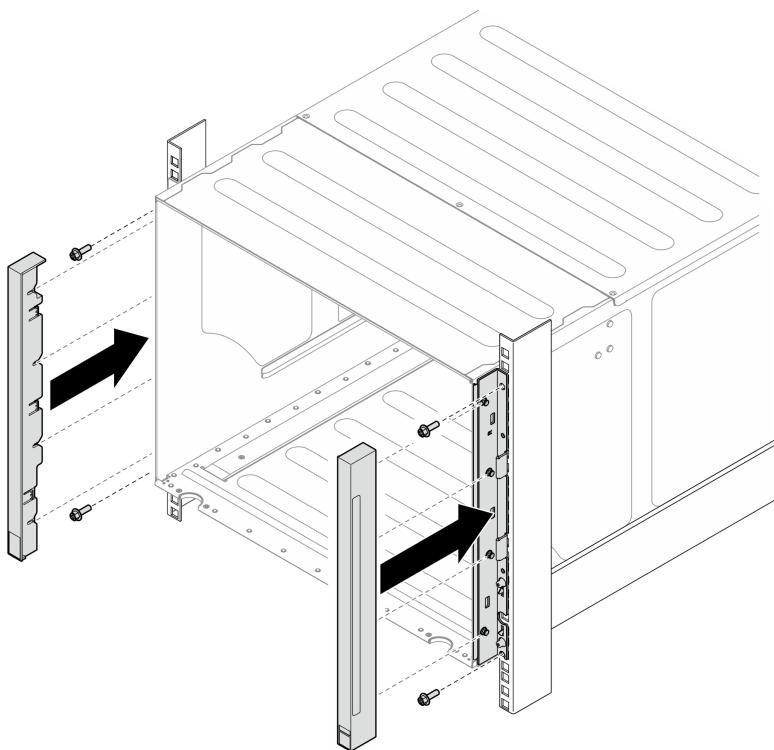


図 14. EIA カバーの取り付け

ステップ 7. シャーシの背面の下部サポート・ブラケットを 4 本のねじで固定します。

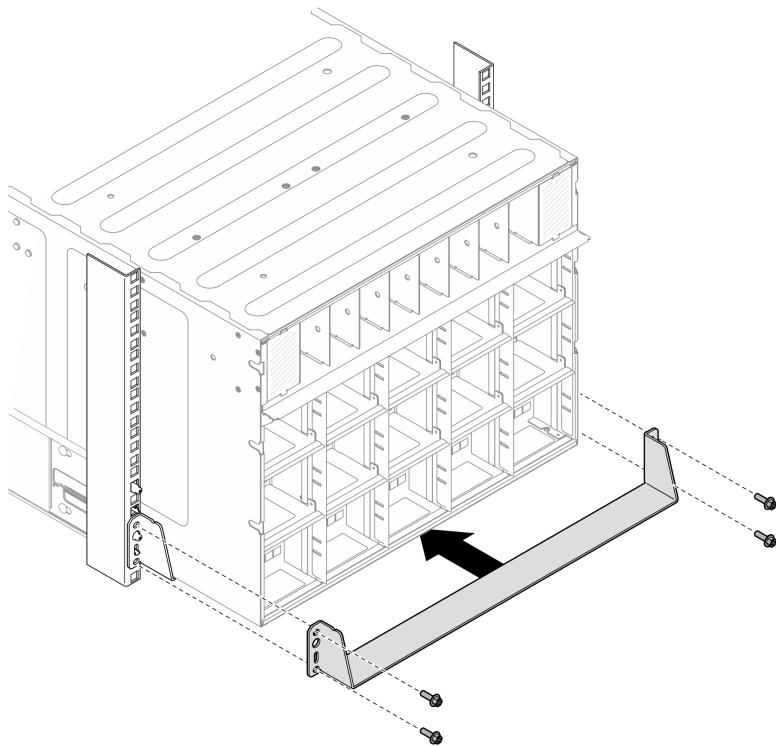


図15. 下部サポート・ブラケットの取り付け

ステップ8. シャーシ背面の2個の上部サポート・ブラケットを6本のねじで固定します。

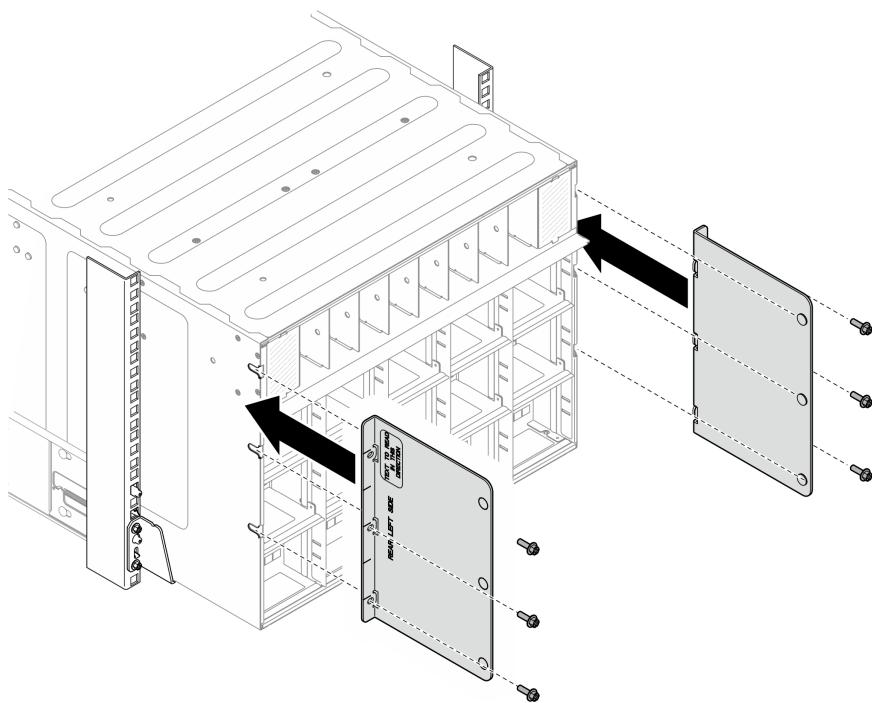


図16. 上部サポート・ブラケットの取り付け

完了したら

1. 背面ファンを再度取り付けます。[69 ページの「ホット・スワップ・ファンの取り付け」](#)を参照してください。
2. すべてのパワー・サプライ・ユニットを再取り付けします。[239 ページの「ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り付け」](#)を参照してください。
3. システム・シャトルを再度取り付けます。[303 ページの「システム・シャトルの取り付け」](#)を参照してください。
4. 必要な他のサーバー・コンポーネントをすべて取り付けます。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

重要 : サーバーの背面で最大 8 つの CFF PSU をサポートし、N+N 冗長性で動作する AI ラック・サーバーの場合、バランスの取れた電源分散と冗長性を確保するために、2 つのラックレベルの AC ライン・フィードを PSU 間で交互に行う必要があります。

- ラックレベル AC ライン・フィード A: PSU 1、3、5、7(奇数番号の PSU) に接続
 - ラックレベル AC ライン・フィード B: PSU 2、4、6、8(偶数番号の PSU) に接続
6. サーバーおよび周辺機器の電源をオンにします。[9 ページの「サーバーの電源をオンにする」](#)を参照してください。
 7. サーバー構成を更新します。[306 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。

2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの交換

2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの手順に従ってください。

2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの取り外し

2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブを取り外すには、このセクションの手順に従ってください。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#)および[2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- システム冷却を確実にするために、各ベイにドライブか、またはフィラーを取り付けない状態で、2 分以上サーバーを動作させないでください。
- 1 つ以上の NVMe ソリッド・ステート・ドライブを取り外す場合は、オペレーティング・システムを使用して事前に無効にすることをお勧めします。
- ドライブ、ドライブ・コントローラー(システム・ボードに組み込まれたコントローラーを含む)、ドライブ・バックプレーン、またはドライブ・ケーブルを取る外す、あるいは変更する前に、ドライブに保管されているすべての重要なデータのバックアップを取ってください。
- サーバーは最大 8 台の 2.5 インチ ホット・スワップ NVMe ドライブをサポートしており、対応するドライブ・ベイ番号は以下のとおりです。

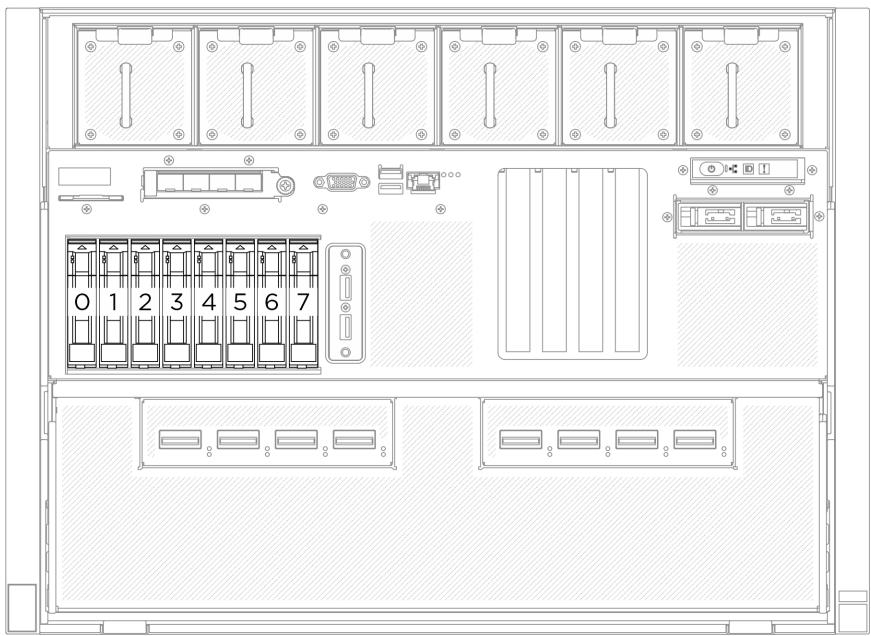


図17. 2.5インチ ドライブ・ベイ番号

注：取り外し後にドライブ・ベイが空のままになる場合は、ドライブ・ベイ・フィラーを用意してください。

手順

ステップ1. ① リリース・ラッチをスライドさせてドライブ・ハンドルのロックを解除します。

ステップ2. ② ドライブ・ハンドルをオープン位置まで回転させます。

ステップ3. ③ ハンドルをつかんで、ドライブをドライブ・ベイから引き出します。

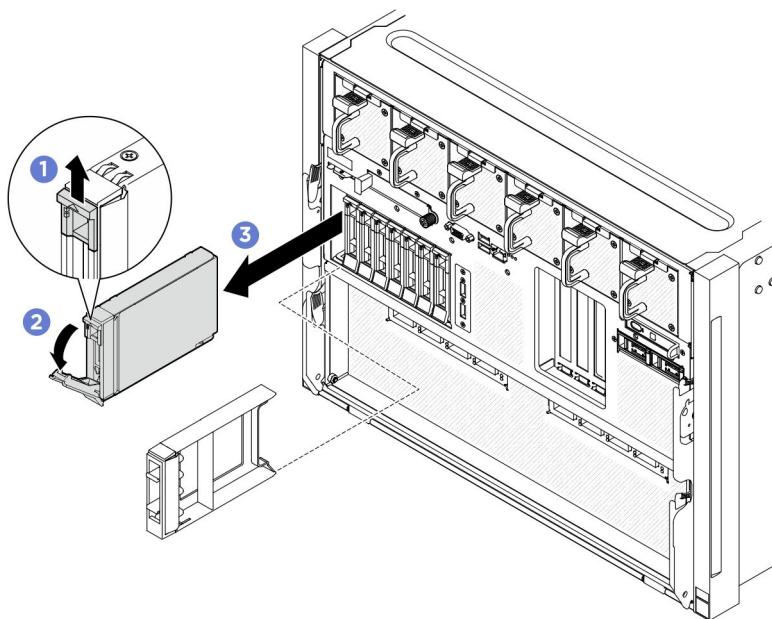


図 18. 2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの取り外し

完了したら

注：すぐにドライブ・ベイ・フィラーまたは交換用ドライブを取り付けます。28 ページの「[2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの取り付け](#)」を参照してください。

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの取り付け

2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブを取り付けるには、このセクションの手順に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- ドライブをサーバーから取り外す前に、特に RAID アレイの一部である場合は、必ずドライブ上のデータを保管したことを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにドライブまたはドライブ・ベイ・フィラーを取り付けない状態で、2 分以上サーバーを動作させないでください。
- ドライブ、ドライブ・コントローラー(システム・ボードに組み込まれたコントローラーを含む)、ドライブ・バックプレーン、またはドライブ・ケーブルを変更する前に、ドライブに保管されているすべての重要なデータをバックアップしてください。
- サーバーは最大 8 台の 2.5 インチ ホット・スワップ NVMe ドライブをサポートしており、対応するドライブ・ベイ番号は以下のとおりです。

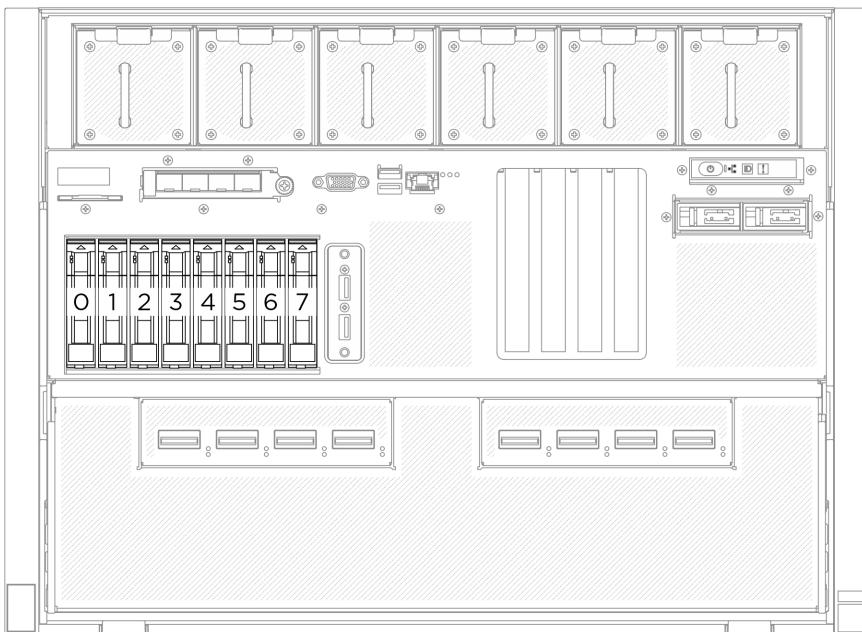


図19. 2.5インチ ドライブ・ベイ番号

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、
<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ1. ドライブ・ベイにフィラーが搭載されている場合、フィラーのリリース・レバーを引いて、フィラーをベイから引き抜きます。

ステップ2. 2.5インチホット・スワップ・ドライブを取り付けます。

- ① ドライブ・ハンドルがオープンの位置になっていることを確認します。次に、ドライブをベイ内のガイド・レールに合わせて、固定されるまでドライブをベイに静かにスライドさせます。
- ② ハンドル・ラッチが、カチッと音が鳴るまでドライブ・ハンドルを回転させ、完全に閉じた位置にします。

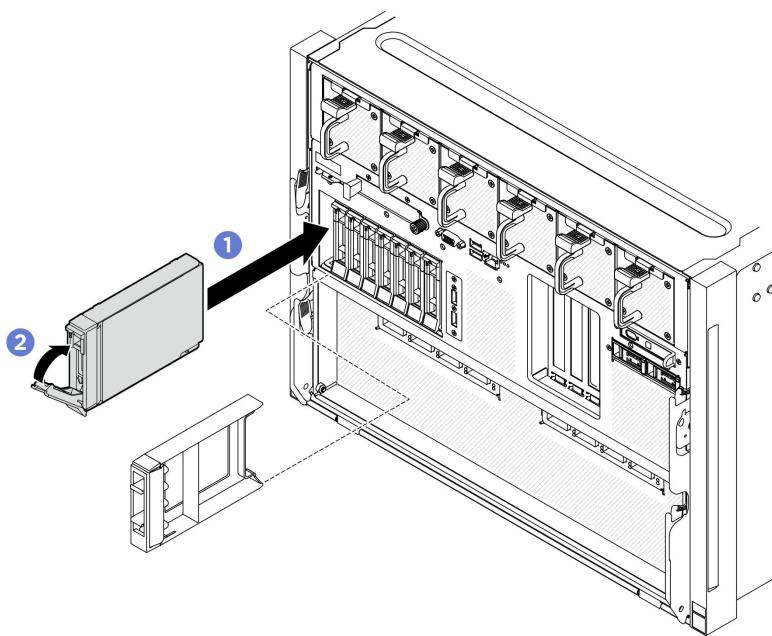


図 20. 2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの取り付け

完了したら

ドライブの状況 LED をチェックして、ドライブが正しく作動しているか確認します。

- ドライブの黄色のドライブ・ステータス LED が点灯したままの場合は、ドライブに障害があり、交換する必要があります。
- 緑色ドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセスされています。

2.5 インチ ドライブ・バックプレーンの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

2.5 インチ ドライブ・バックプレーンの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

2.5 インチ ドライブ・バックプレーンの取り外し

2.5 インチ ドライブ・バックプレーンを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 1. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
 2. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
 3. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

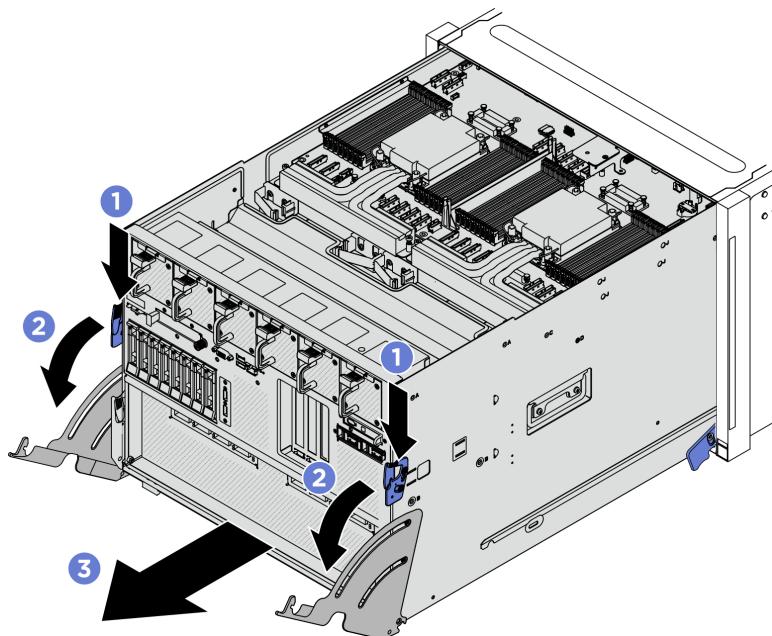


図21. システム・シャトルを停止位置まで引く

- b. 前面ファン・ケージを取り外します。81ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。
- c. OCP モジュールを取り外します。183ページの「OCP モジュールの取り外し」を参照してください。
- d. すべての2.5インチホット・スワップ・ドライブおよびドライブ・ベイ・フィラー(該当する場合)をドライブ・ベイから取り外します。26ページの「2.5インチホット・スワップ・ドライブの取り外し」を参照してください。
- e. NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージを取り外します。58ページの「NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し」を参照してください。

ステップ2. システムI/Oトレイを取り外します。

- a. ① トレイを固定している10本のねじを緩めます。
- b. ② トレイを後方にスライドさせてから持ち上げ、NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージから取り出します。

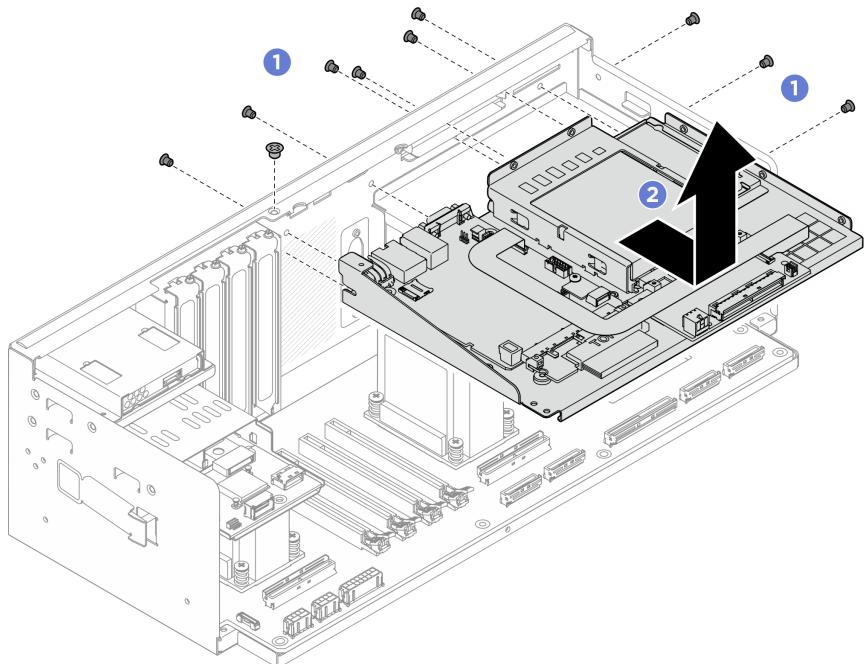


図22. システム I/O トレイの取り外し

ステップ3. 2.5インチ ドライブ・バックプレーンを取り外します。

- ① バックプレーンの上部にある2個の保持ラッチを持ち上げて固定します。
- ② バックプレーンを上部から回転させて保持ラッチから外します。その後、バックプレーンを慎重に持ち上げてドライブ・ケージから取り出します。

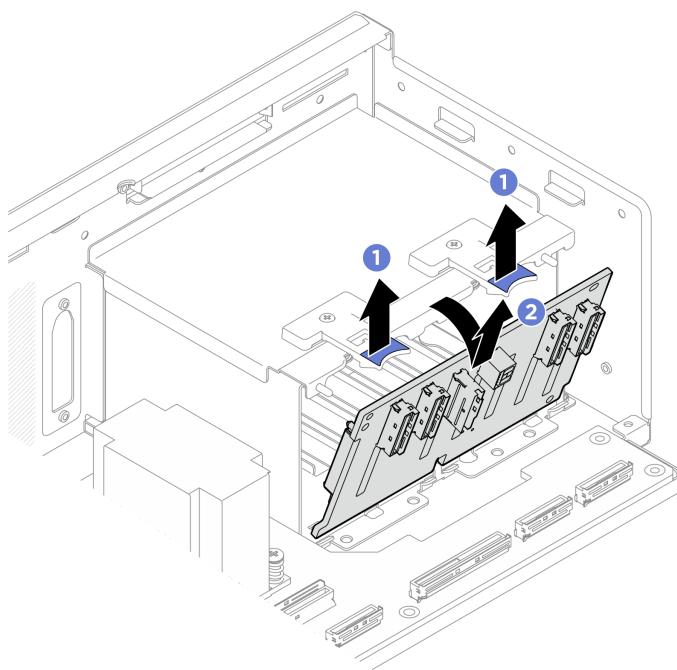


図23. 2.5インチ ドライブ・バックプレーンの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料の梱包材がある場合はそれを使用してください。

2.5 インチ ドライブ・バックプレーンの取り付け

2.5 インチ ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード：コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. 2.5 インチ ドライブ・バックプレーンを取り付けます。

- a. ① バックプレーンの下部にあるタブの位置をドライブ・ケージのスロットに合わせて、スロットに差し込みます。
- b. ② カチッと音がして所定の位置に収まるまで、バックプレーンの上部を押し込みます。

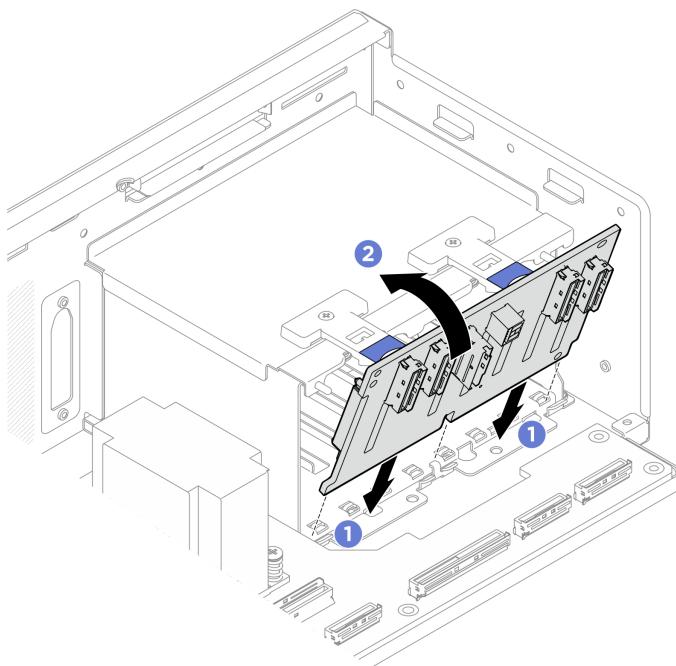


図24. 2.5インチ ドライブ・バックプレーンの取り付け

ステップ2. 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。

- ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

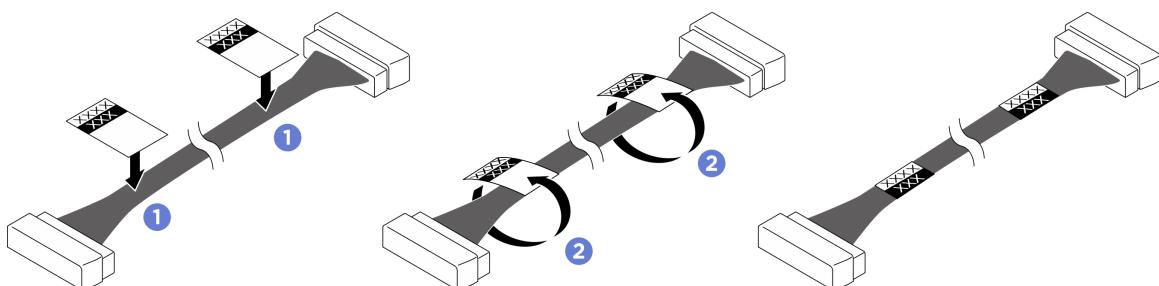


図25. ラベルの貼り付け

注：ケーブルに対応するラベルを識別するには、以下の表を参照してください。

始点	終点	ラベル
バックプレーン: 電源コネクター	分電盤: バックプレーン 1 の電源コネクター	NVMe PWR BP 1
バックプレーン: NVMe コネクター 0-1	PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 0-1	NVMe 0-1 NVMe 0-1
バックプレーン: NVMe コネクター 2-3	PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 2-3	NVMe 2-3 NVMe 2-3
バックプレーン: NVMe コネクター 4-5	PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 4-5	NVMe 4-5 NVMe 4-5
バックプレーン: NVMe コネクター 6-7	PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 6-7	NVMe 6-7 NVMe 6-7

ステップ3. システム I/O トレイを取り付けます。

- ① トレイを下ろして前方にスライドさせ、NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージにはめ込みます。
- ② 10 本のねじを締めてトレイを固定します。

注: 以下のトルク値を参考にして、適切なトルク値を設定したトルク・ドライバーでねじを締めてください。

- 側面および上部の 4 本のねじ (M3 × 4 mm): 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーター
- 前面の 6 本のネジ (M3 × 5 mm): 0.5 ± 0.05 ニュートン・メーター

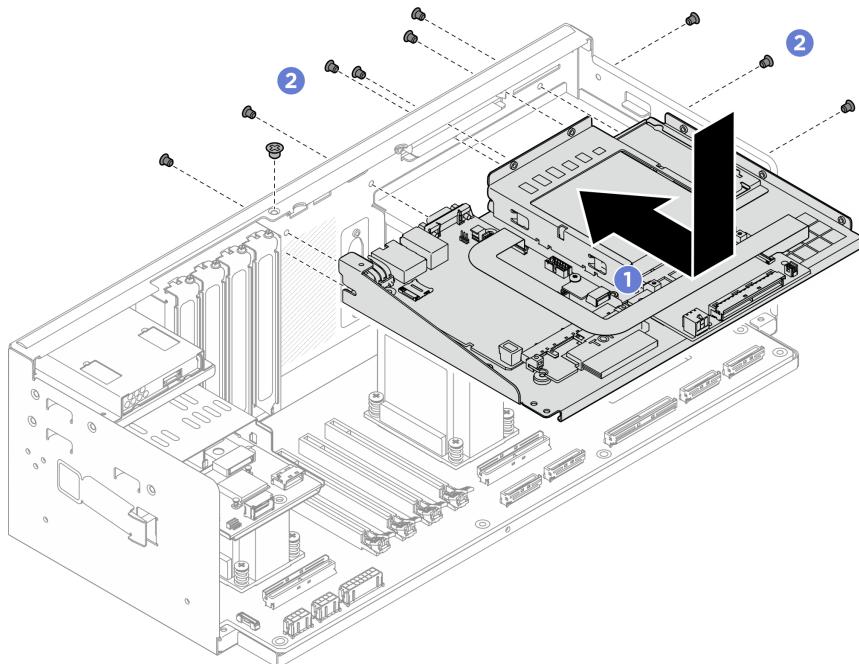


図26. システム I/O トレイの取り付け

完了したら

- NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを再度取り付けます。[62 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け」](#)を参照してください。
- すべての 2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブまたはドライブ・ベイ・フィラー(搭載されている場合)をドライブ・ベイに再度取り付けます。[28 ページの「2.5 インチ ホット・スワップ・ドライブの取り付け」](#)
- OCP モジュールを再び取り付けます。[185 ページの「OCP モジュールの取り付け」](#)を参照してください。
- 前面ファン・ケージを再度取り付けます。[83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」](#)を参照してください。
- システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ①** シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - ②** シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - ③** シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ④** 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

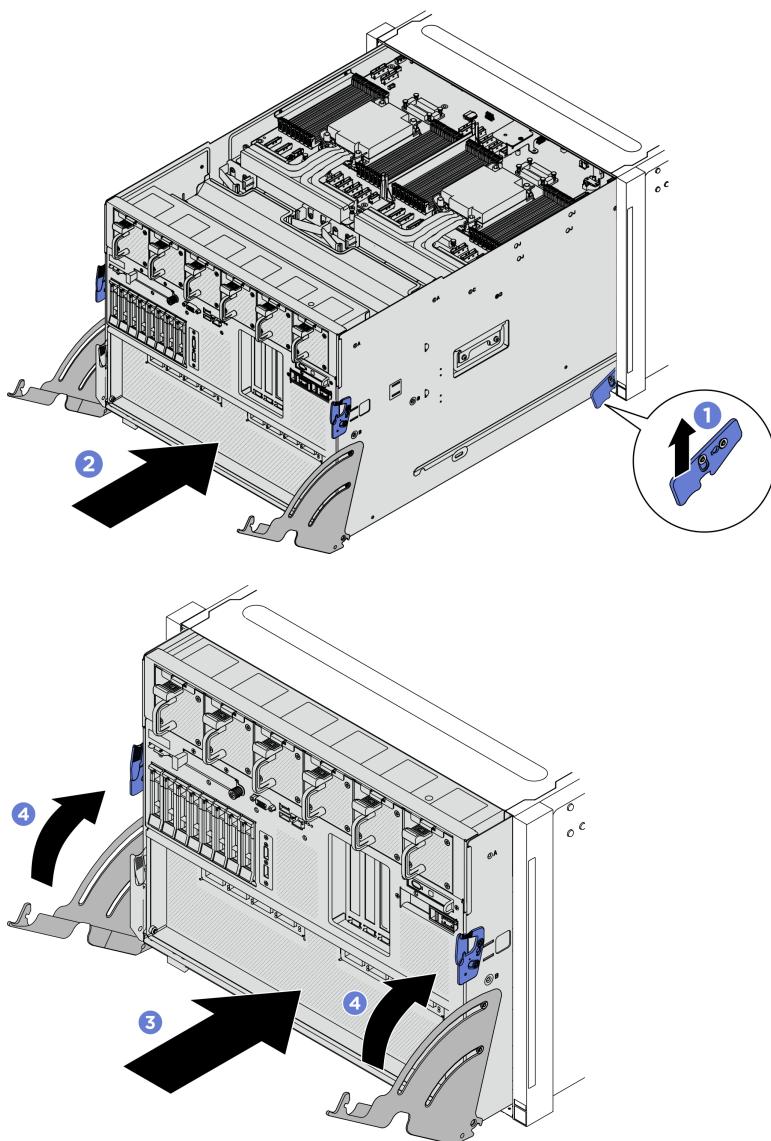


図27. システム・シャトルの取り付け

6. 部品交換を完了します。306 ページの「[部品交換の完了](#)」を参照してください。

ケーブル・ガイドの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

ケーブル・ガイドの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

ケーブル・ガイドの取り外し

ケーブル・ガイドを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

適切な取り外し手順については、以下の対応する説明を参照してください。

- 38ページの「左右のケーブル・ガイド」
- 40ページの「中央ケーブル・ガイド」

左右のケーブル・ガイド 手順

ステップ1. システム・シャトルを停止位置まで引きます。

- ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
- ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
- ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

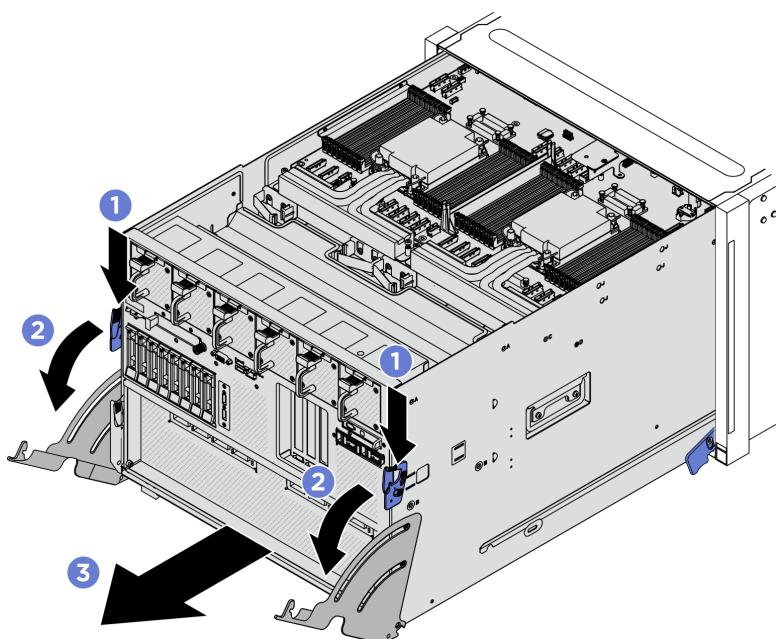


図28. システム・シャトルを停止位置まで引く

ステップ2. 左または右のケーブル・ガイドを取り外します。

- ① ケーブル・ガイドを固定している、Jのマークが付いた4本のねじを緩めます。

- b. ② ケーブル・ガイドを通っているケーブルを脇に避けてから、ケーブル・ガイドをシステム・シャトルから取り外します。

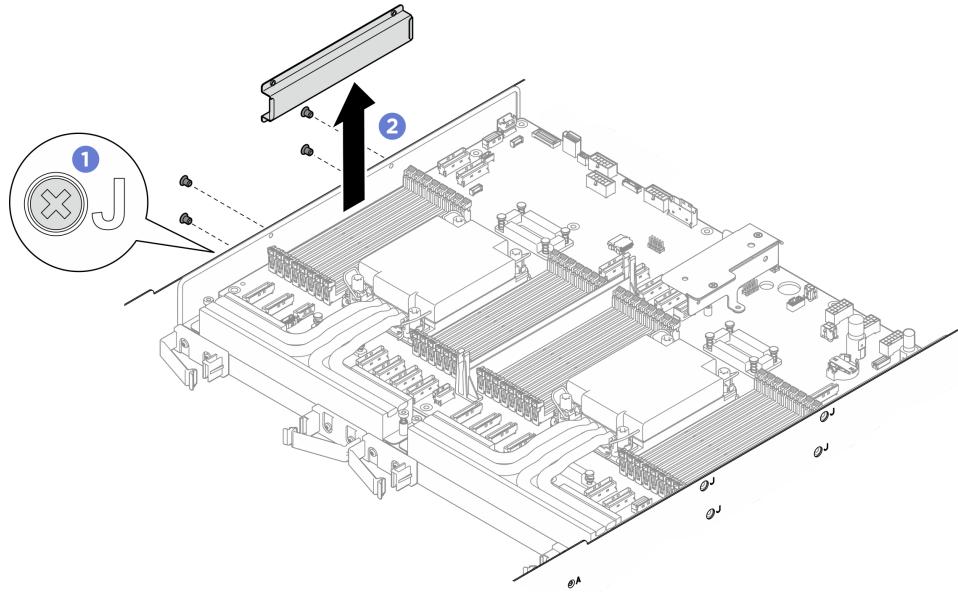


図29. 左側のケーブル・ガイドの取り外し

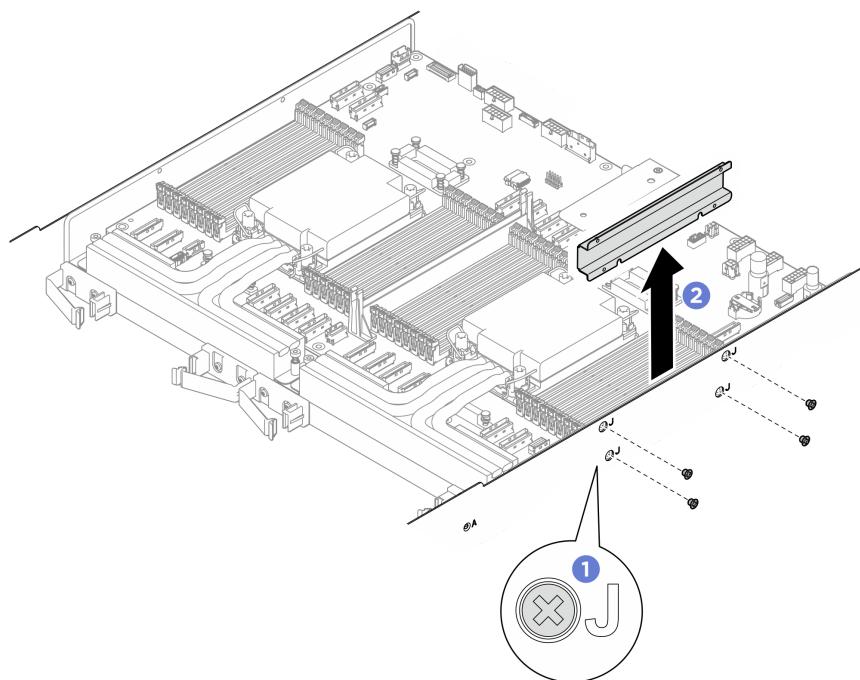


図30. 右側のケーブル・ガイドの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

中央ケーブル・ガイド

手順

ステップ1. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。[301 ページの「システム・シャトルの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ2. ケーブル・ガイドを固定している2本のねじを緩めてから、ケーブル・ガイドを持ち上げてシステム・ボードから取り外します。

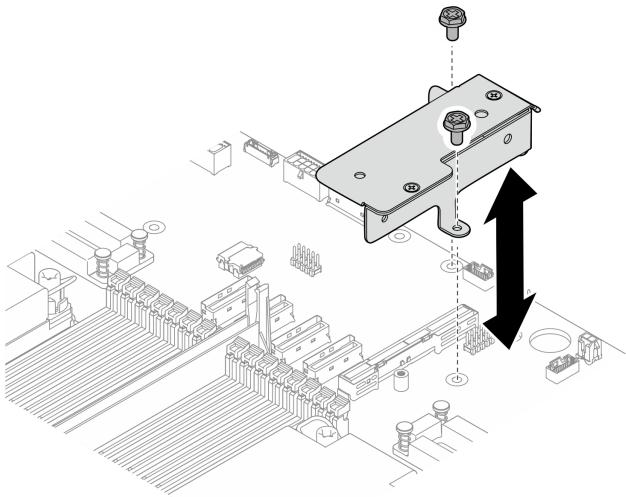


図31. 中央ケーブル・ガイドの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

ケーブル・ガイドの取り付け

ケーブル・ガイドを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#)および[2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

適切な取り付け手順については、以下の対応する説明を参照してください。

- 41 ページの「左右のケーブル・ガイド」
- 43 ページの「中央ケーブル・ガイド」

左右のケーブル・ガイド

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ1. ① ケーブル・ガイドをシステム・シャトルの中に下ろし、ケーブルをケーブル・ガイドに通します。

ステップ2. ② J のマークが付いた 4 本のねじを締めて、ケーブル・ガイドを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

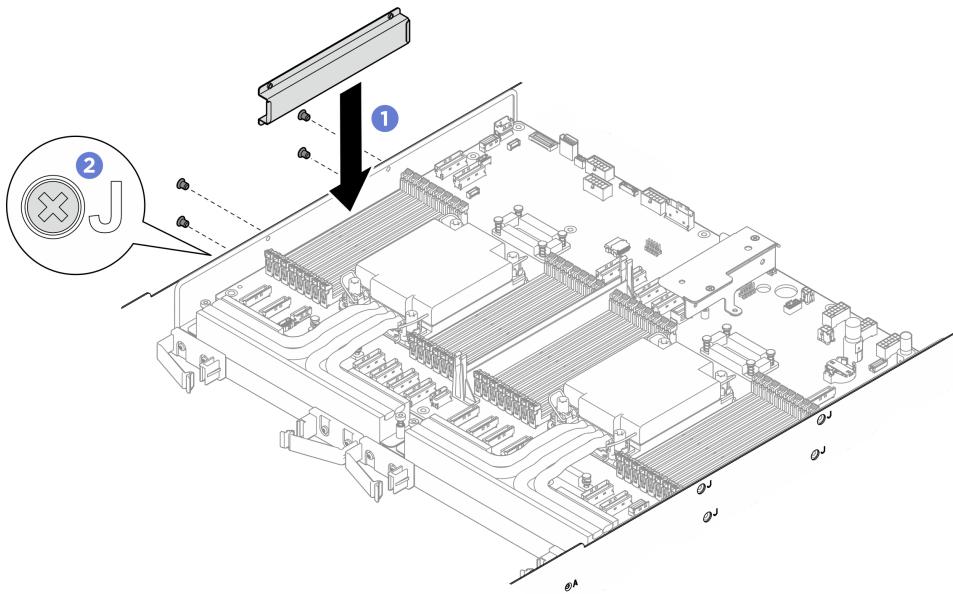


図32. 左ケーブル・ガイドの取り付け

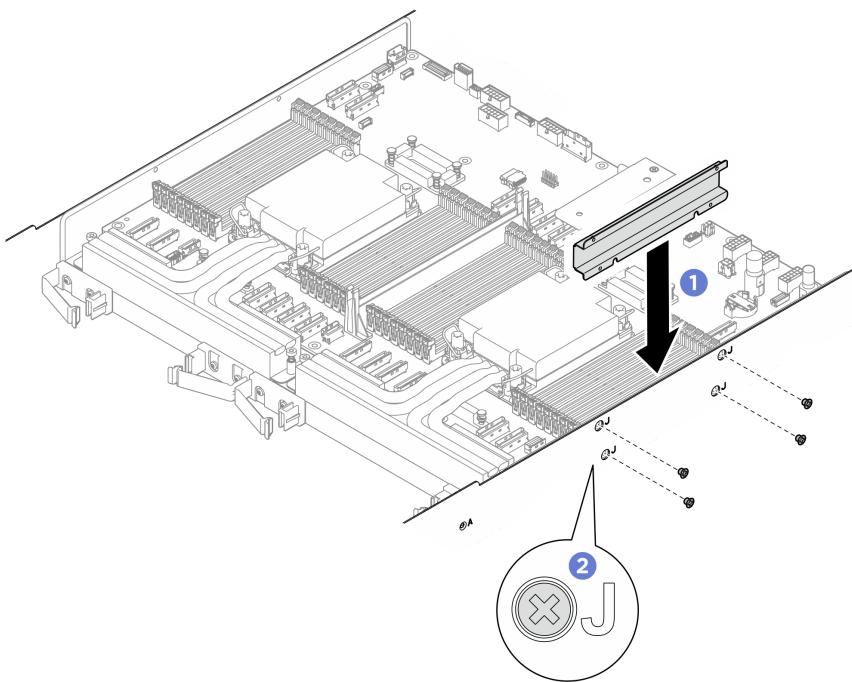


図33. 右ケーブル・ガイドの取り付け

完了したら

1. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある2つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

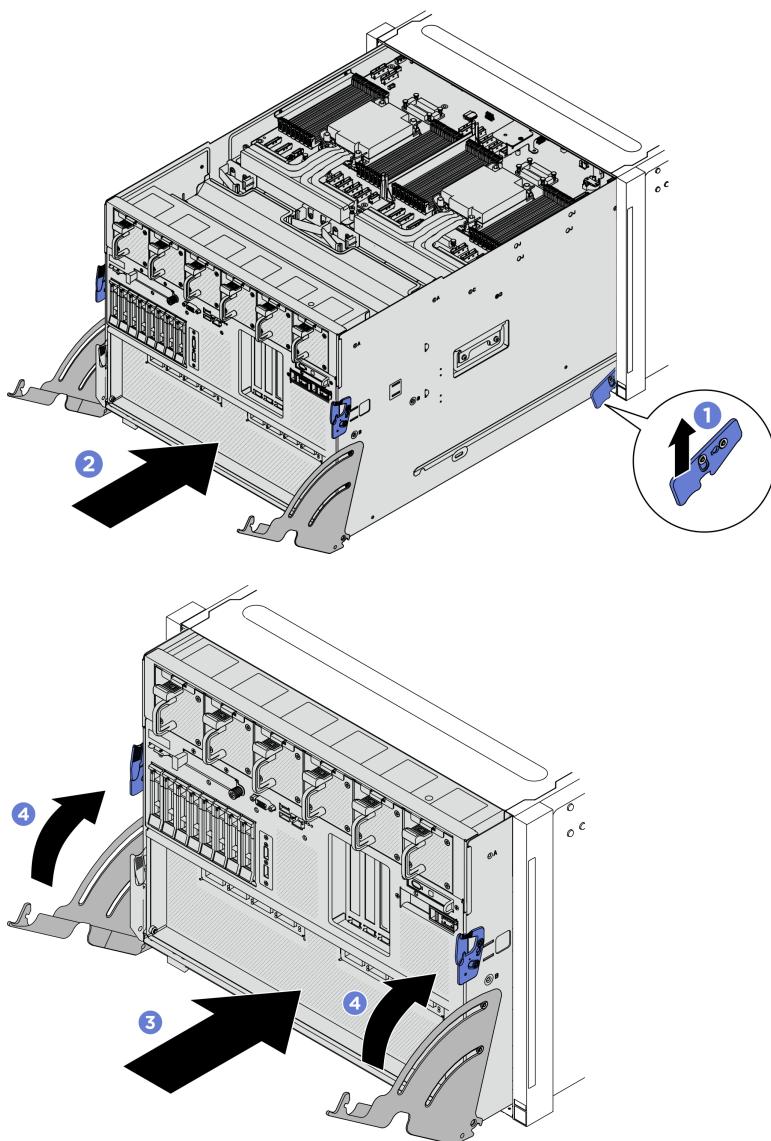


図34. システム・シャトルの取り付け

2. 部品交換を完了します。306 ページの「[部品交換の完了](#)」を参照してください。

中央ケーブル・ガイド 手順

ステップ1. ケーブル・ガイドの位置をシステム・ボードのねじ穴に合わせて、システム・ボード上に配置します。

ステップ2. 2本のねじを締め、ケーブル・ガイドを固定します。

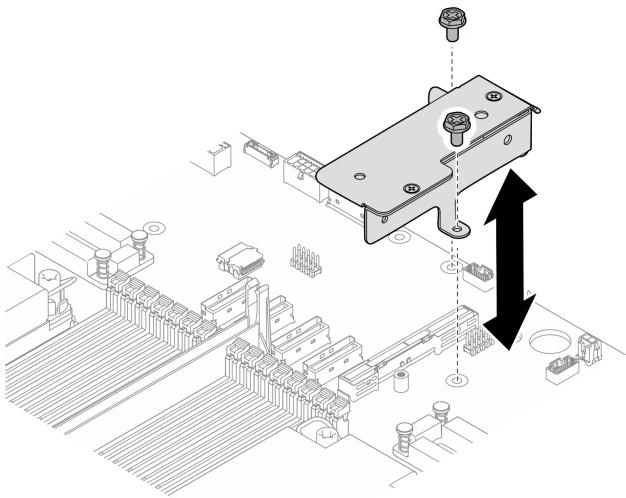


図35. 中央ケーブル・ガイドの取り付け

完了したら

- システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
- 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリー(トレーニングを受けた技術員のみ)

ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーの取り外し

ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意:

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。

Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。[301 ページの「システム・シャトルの取り外し」](#)を参照してください。
- b. すべてのケーブルを PSU インターポーザから取り外します。
- c. コンピュート・トレイを取り外します。[48 ページの「コンピュート・トレイの取り外し」](#)を参照してください。
- d. 分電盤からすべてのケーブルを外します。

ステップ 2. ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーを取り外します。

- a. ① システム・シャトルの両側にある D のマークが付いた 4 本のねじを緩めます。
- b. ② アセンブリーを持ち上げて、システム・シャトルから取り外します。

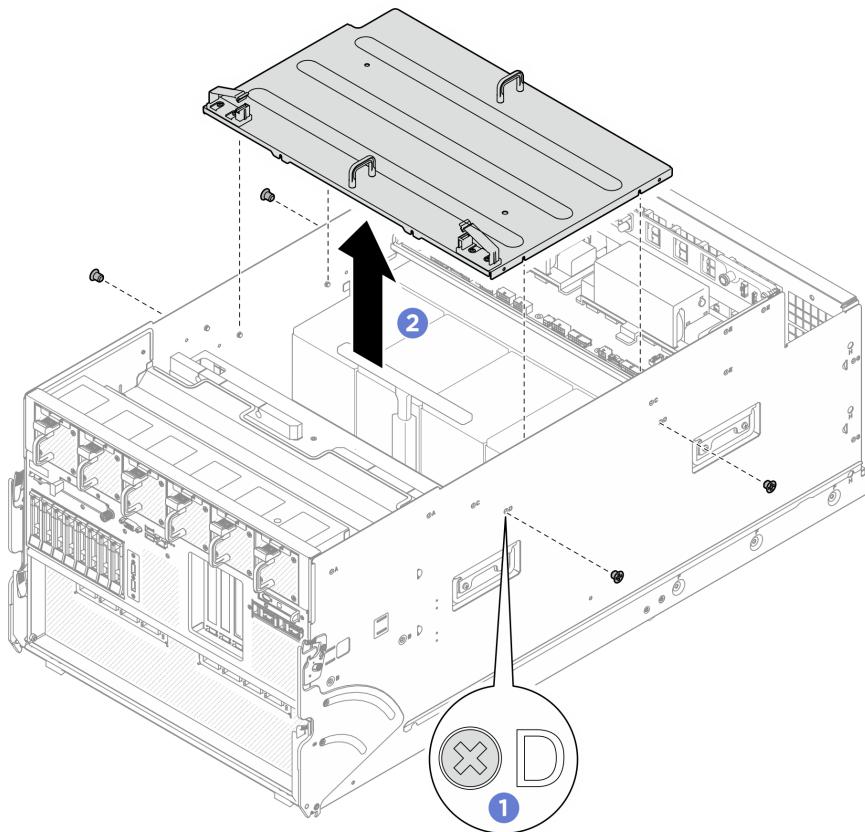


図 36. ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

ケーブル・ホルダー・フレームとバッフル・アセンブリーの取り付け

ケーブル・ホルダー・フレームとバッフル・アセンブリーを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:
<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ1. ① ケーブル・ホルダー・フレームとバッフル・アセンブリーをシステム・シャトルにしっかりとめ込みます。

ステップ2. ② システム・シャトルの両側にあるDのマークが付いた4個のねじ穴の位置を確認し、4本のねじを締めてコンピュート・ケーブル・ホルダー・フレームとバッフル・アセンブリーを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

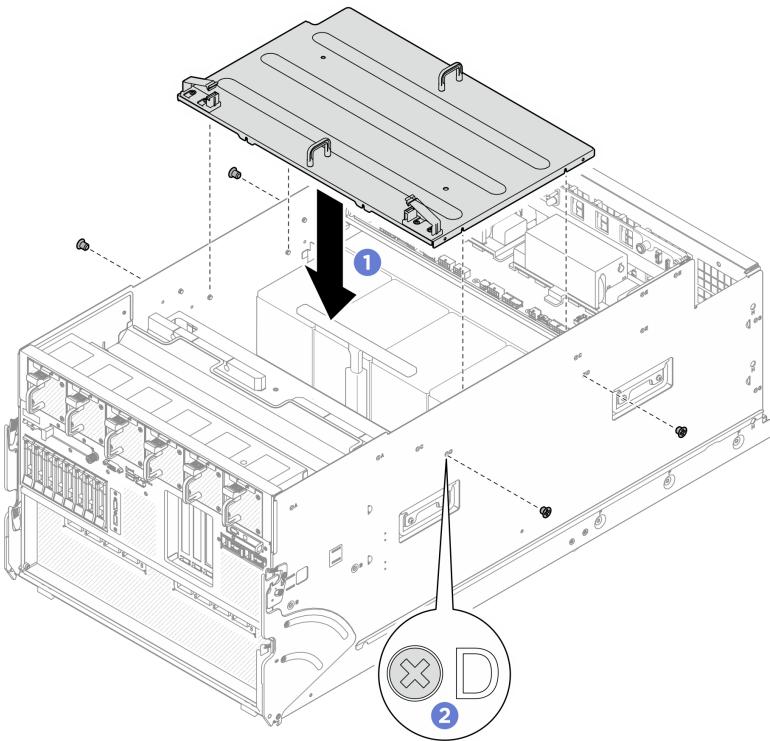


図37. ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーの取り付け

完了したら

- ケーブルを分電盤に接続します。詳しくは、以下を参照してください。
 - [317 ページの「2.5 インチ ドライブ・バックプレーンのケーブル配線」](#)
 - [320 ページの「ファン制御ボードのケーブル配線」](#)
 - [323 ページの「GPU ベースボードのケーブル配線」](#)
 - [334 ページの「PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線」](#)
 - [336 ページの「PSU 変換コネクターのケーブル配線」](#)
 - [337 ページの「リタイマー・ボードのケーブル配線」](#)
- コンピュート・トレイを再度取り付けます。[49 ページの「コンピュート・トレイの取り付け」](#) を参照してください。
- PSU インターポーヴァにケーブルを接続します。詳しくは、[336 ページの「PSU 変換コネクターのケーブル配線」](#) を参照してください。
- システム・シャトルを再度取り付けます。[303 ページの「システム・シャトルの取り付け」](#) を参照してください。
- 部品交換を完了します。[306 ページの「部品交換の完了」](#) を参照してください。

コンピュート・トレイの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

コンピュート・トレイの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

コンピュート・トレイの取り外し

コンピュート・トレイの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

重要：ケーブルを切り離すときは、各ケーブルのリストを作成し、ケーブルが接続されているコネクターを記録してください。また、コンピュート・トレイを取り付けた後に、その記録をケーブル配線チェックリストとして使用してください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:
<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ1. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。

ステップ2. システム・ボードからすべてのケーブルを切り離します。ケーブルを切り離す際には、各ケーブルのリストを作成し、ケーブルが接続されているコネクターを記録してください。また、コンピュート・トレイを取り付けた後に、その記録をケーブル配線チェックリストとして使用してください。

注：システムI/Oボードのケーブルを取り外す前に、中央のケーブル・ガイド・カバーを固定している2本のねじを緩めて、カバーを取り外してください。

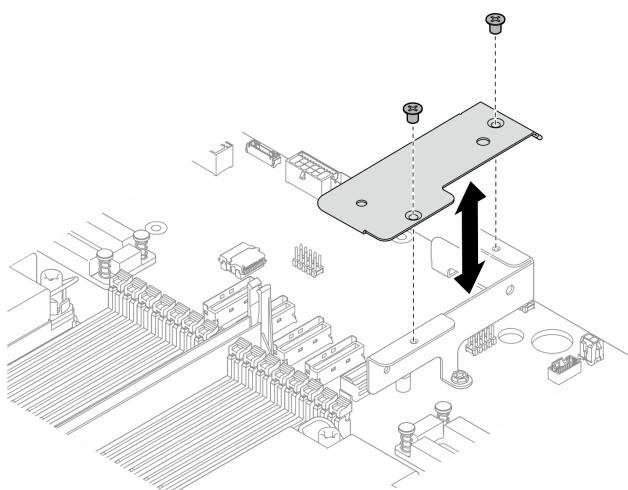


図38. 中央ケーブル・ガイド・カバーの取り外し

注意：システム・ボードの損傷を避けるため、ケーブルをシステム・ボードから取り外すときは、必ず [309 ページの 第 2 章「内部ケーブルの配線」](#) の手順に従ってください。

ステップ 3. コンピュート・トレイを取り外します。

- a. ① システム・シャトルの両側にある C のマークが付いた 4 本のねじを緩めます。
- b. ② コンピュート・トレイを持ち上げて、システム・シャトルから取り外します。

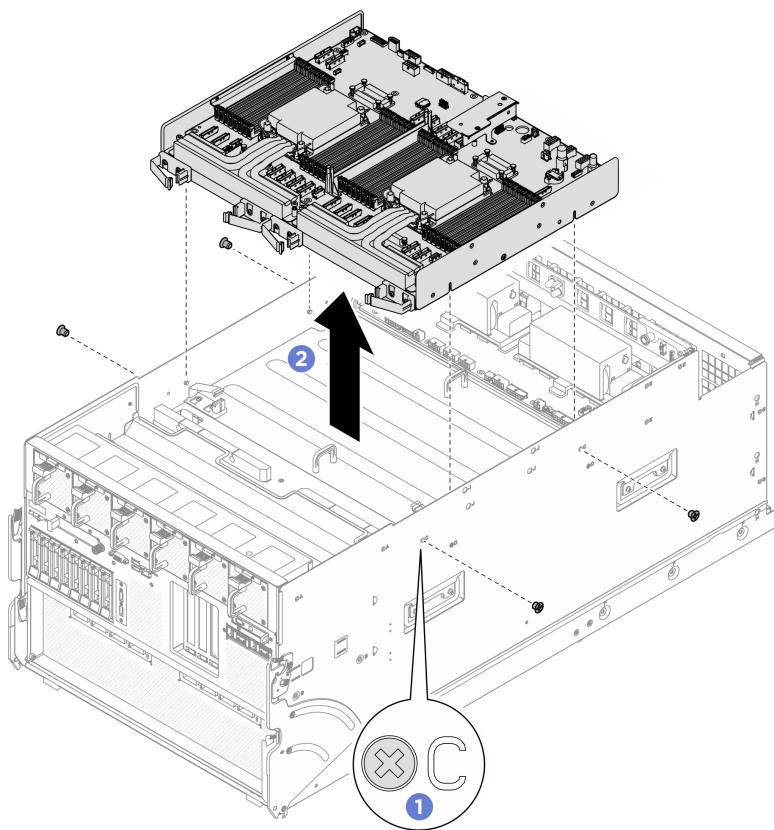


図 39. コンピュート・トレイの取り外し

完了したら

- トレイからシステム・ボードを取り外すには、[283 ページの「システム・ボードの取り外し」](#) を参照してください。
- コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

コンピュート・トレイの取り付け

コンピュート・トレイを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレンギングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。

- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dscs.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

- ① コンピュート・トレイをシステム・シャトルにしっかりと固定されるまで置きます。
- ② システム・シャトルの両側にある C のマークが付いた 4 個のねじ穴の位置を確認し、4 本のねじを締めてコンピュート・トレイを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

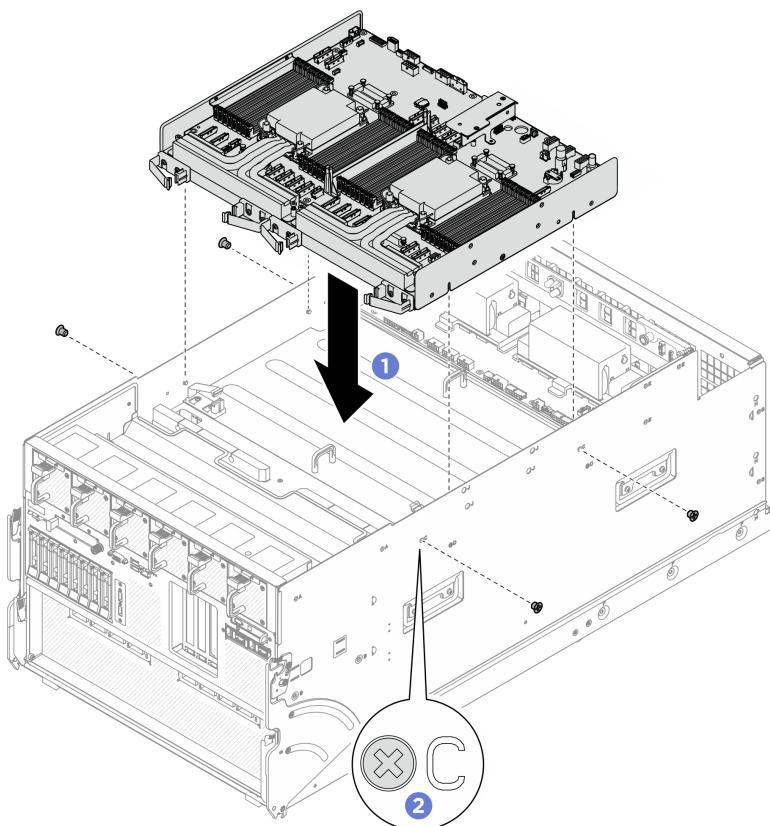


図 40. コンピュート・トレイの取り付け

- 必要なケーブルをすべて、システム・ボード上の同じコネクターに再接続します。詳しくは、以下を参照してください。
 - 325 ページの「内蔵診断パネルのケーブル配線」
 - 326 ページの「M.2 バックプレーンのケーブル配線」
 - 327 ページの「OCP 変換コネクター・カードのケーブル配線」
 - 334 ページの「PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線」

- 336 ページの「PSU 変換コネクターのケーブル配線」
- 337 ページの「リタイマー・ボードのケーブル配線」
- 344 ページの「システム I/O ボードのケーブル配線」
- 346 ページの「USB アセンブリーのケーブル配線」

注：システム I/O ボード・ケーブルを接続したら、2 本のねじを締めて中央のケーブル・ガイド・カバーを固定します。

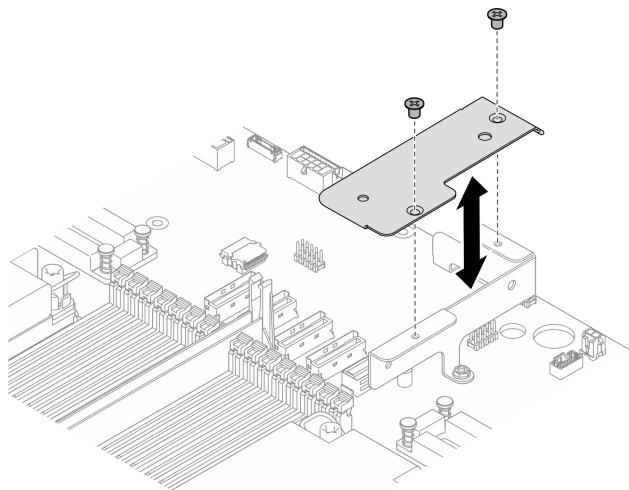


図41. 中央ケーブル・ガイド・カバーの取り付け

完了したら

1. すべてのコンポーネントが正しく再配置されており、サーバーの内部に工具が残されていたり、ねじが緩んだままになっていたりしないことを確認します。
2. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
3. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

CMOS バッテリー (CR2032) の交換

CMOS バッテリー (CR2032) の取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

CMOS バッテリー の取り外し (CR2032)

このセクションの手順に従って、CMOS バッテリー (CR2032) を取り外します。

このタスクについて

S004



警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、Lenovo 指定の部品番号またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) 以上に加熱する
- 修理または分解する

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

S005



警告：

バッテリーはリチウム・イオン・バッテリーです。爆発を避けるために、バッテリーを焼却しないでください。バッテリーは、推奨されたものとのみ交換してください。バッテリーをリサイクルまたは廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。
- 以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。
 - Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。リチウム・バッテリーは適切に取り扱い、危険を避ける必要があります。バッテリーを交換するときは、以下の指示に従ってください。
 - オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
 - バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻を再設定する必要があります。

手順

ステップ 1. システム・シャトルを停止位置まで引きます。

- a. ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
- b. ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
- c. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

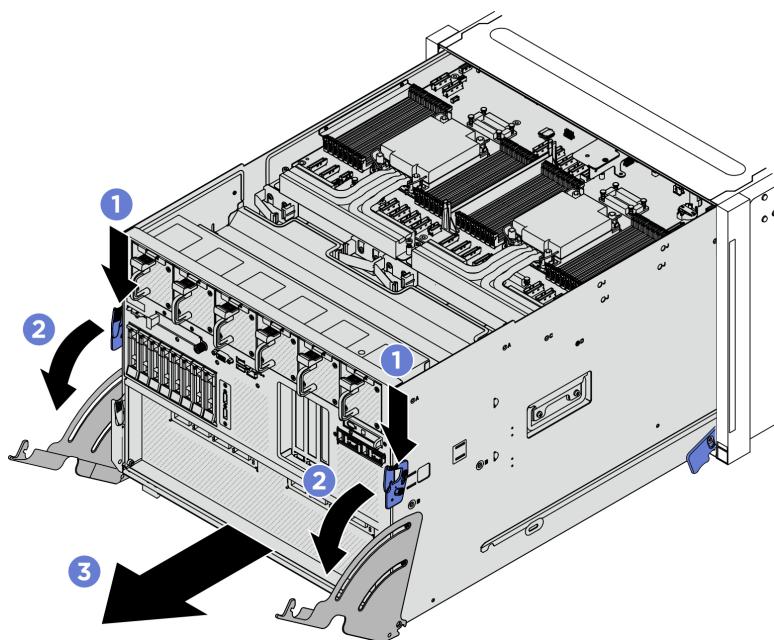


図42. システム・シャトルを停止位置まで引く

ステップ2. バッテリー・ソケットをシステム・ボード上に設置します。

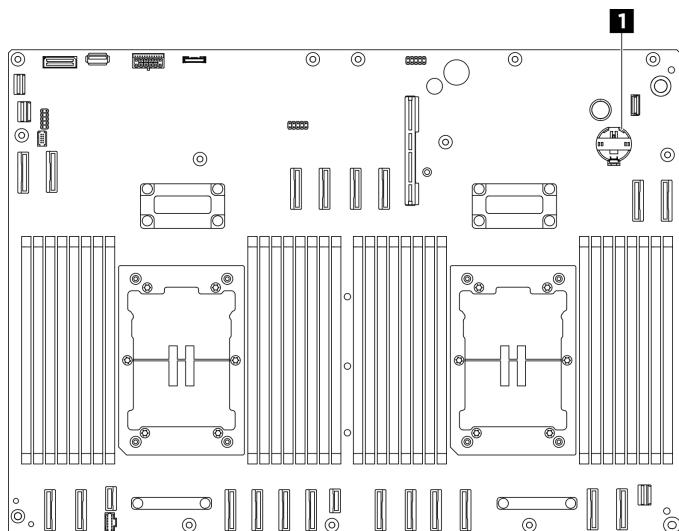


図43. CMOS バッテリーの位置

1 CMOS バッテリーの位置

ステップ3. CMOS バッテリーを取り外します。

- ① 図のように、CMOS バッテリーの側面にある突起を静かに押します。
- ② CMOS バッテリーを取り付け位置から回転させ、CMOS バッテリーをバッテリー・ソケットから持ち上げて外します。

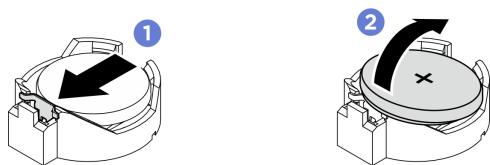


図44. CMOS バッテリーの取り外し

完了したら

地域の規制に準拠してコンポーネントをリサイクルしてください。

CMOS バッテリー (CR2032) の取り付け

CMOS バッテリー (CR2032) を取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

S004



警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、Lenovo 指定の部品番号またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100° C (212° F) 以上に加熱する
- 修理または分解する

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

S005



警告：

バッテリーはリチウム・イオン・バッテリーです。爆発を避けるために、バッテリーを焼却しないでください。バッテリーは、推奨されたものとのみ交換してください。バッテリーをリサイクルまたは廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。

- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

重要: 以下では、サーバー内のCMOSバッテリーを交換する際に考慮する必要がある事項について説明します。

- CMOSバッテリーは同一メーカーの同一タイプのリチウムCMOSバッテリーと交換する必要があります。
- CMOSバッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻を再設定する必要があります。

手順

ステップ1. 交換用バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。

ステップ2. バッテリー・ソケットをシステム・ボード上に設置します。

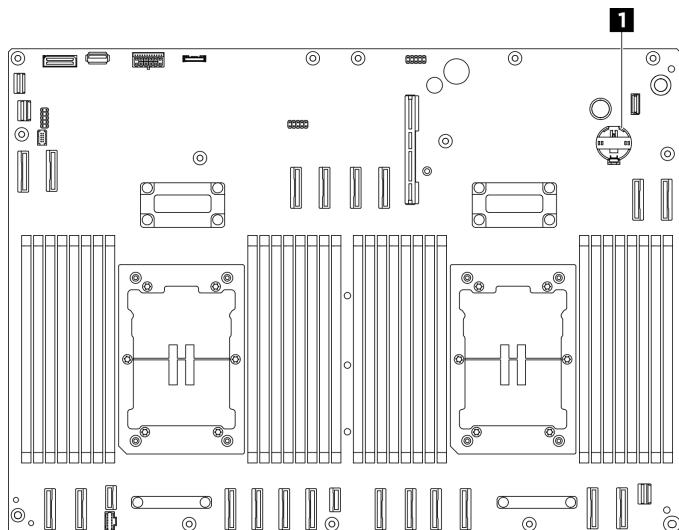


図45. CMOSバッテリーの位置

1 CMOSバッテリーの位置

ステップ3. サーバー外側の塗装されていない金属面に、新しい部品が入った帯電防止パッケージを触れさせてから、新しい部品をパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。

ステップ4. CMOSバッテリーを取り付けます。

- ① CMOSバッテリーを傾けてソケットのプラス側に挿入し、CMOSバッテリーが金属クリップにしっかりと到達していることを確認します。
- ② CMOSバッテリーをカチッと音がするまでソケットの中に押し下げます。

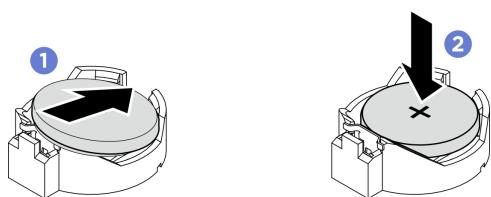


図46. CMOS バッテリーの取り付け

完了したら

1. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある2つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

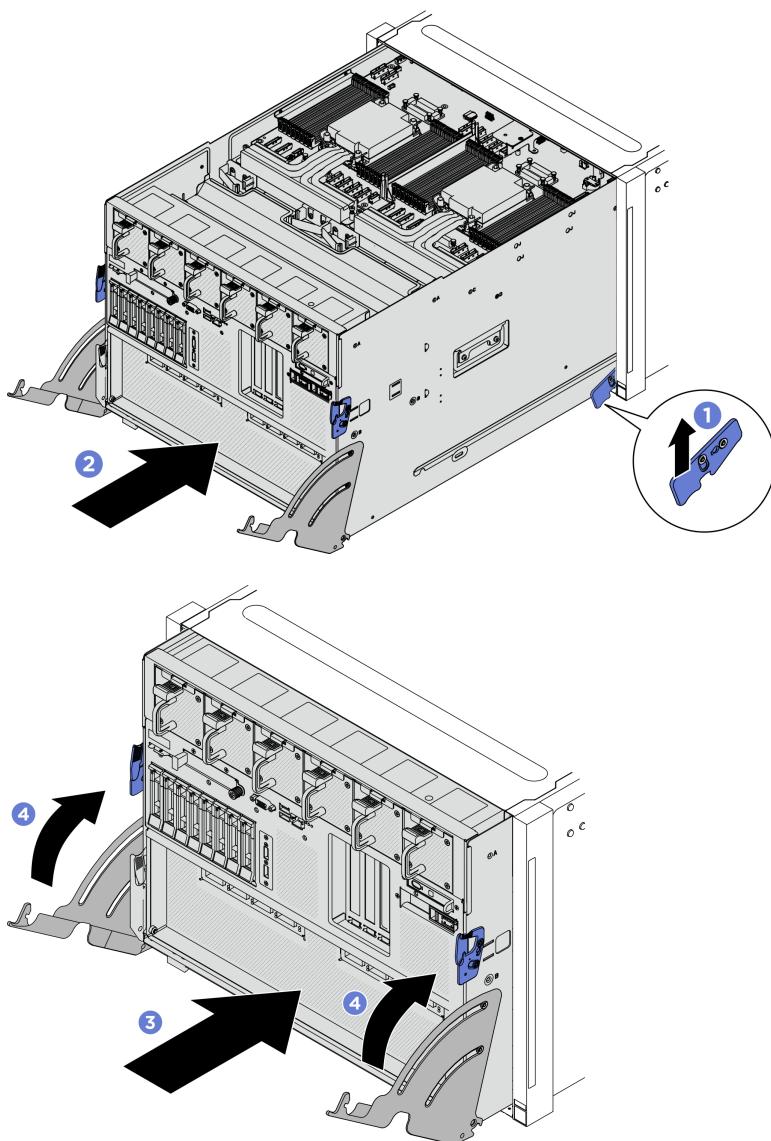


図47. システム・シャトルの取り付け

2. 部品交換を完了します。[306 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。
3. サーバーを再構成し、システムの日付と時刻をリセットします。

NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し

NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

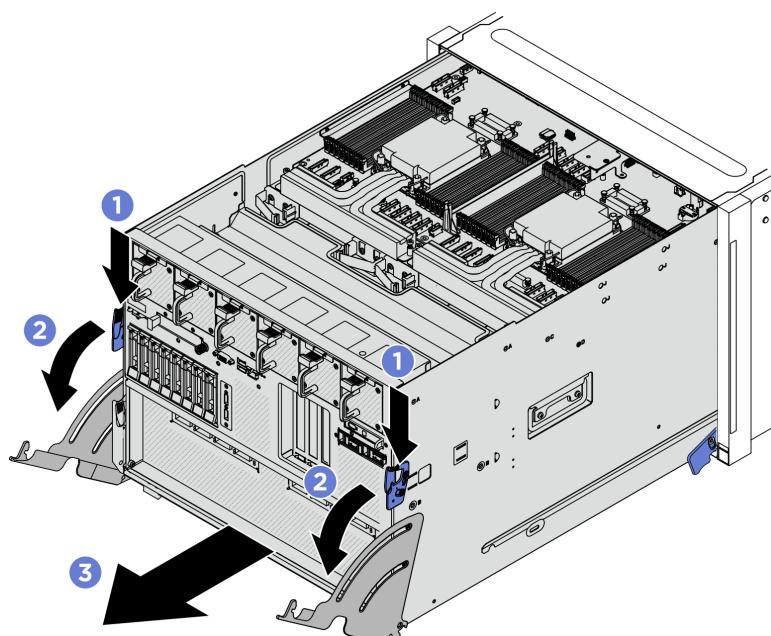


図 48. システム・シャトルを停止位置まで引く

- 前面ファン・ケージを取り外します。81 ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. NVMe ドライブと PCIe スイッチ・ボード・ケージを、止まる位置まで引き出します。

- ① システム・シャトルの両側にある B のマークが付いた 4 本のねじを緩めます。
- ② 両側にある 2 つの青色のラッチを同時に押します。
- ③ ケージを、止まる位置まで前方に引き出します。

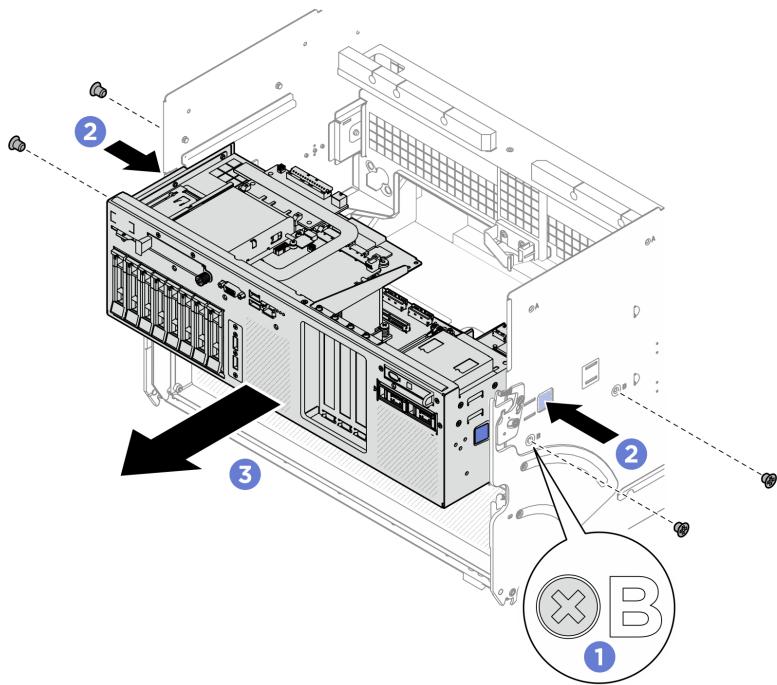


図49. NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージを止まる位置まで引き出す

ステップ3. 次のケーブルを外します。

- 2.5 インチ ドライブ・バックプレーンの電源ケーブル
- 内蔵診断パネルのケーブル
- M.2 バックプレーンの電源ケーブルと信号ケーブル
- OCP 変換コネクター・カードの電源ケーブル
- システム・ボードに接続された3本のケーブル(2本の信号ケーブルと1本の側波帯ケーブル)、およびPCIe スイッチ・ボードの電源ケーブル

ステップ4. システムI/O ボードとシステム・ボードを接続しているケーブルを外します。

- a. ① ケーブルを固定している2本のねじを緩めます。
- b. ② ケーブルをシステムI/O ボードから取り外します。

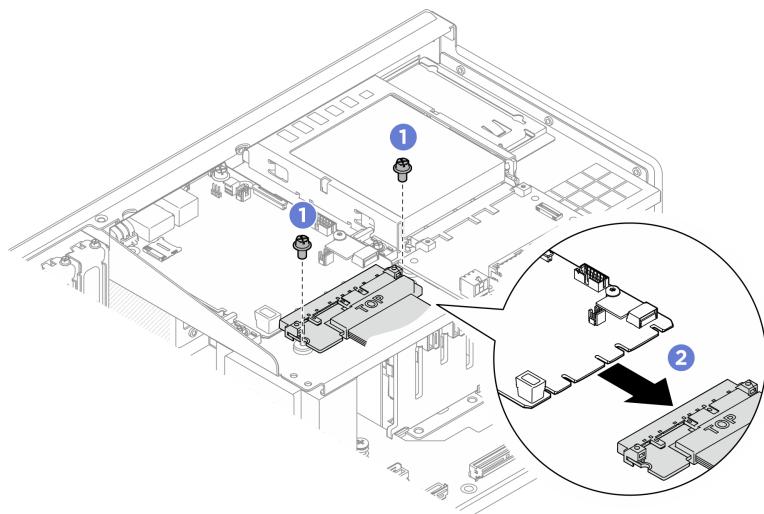


図 50. システム I/O ボードのケーブルの取り外し

ステップ 5. USB アセンブリーを取り外します。

- USB アセンブリーを NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージから外します。
 - ① USB アセンブリーの上部と下部のねじを緩めます。
 - ② USB アセンブリーを前に少しあしらでさせます。

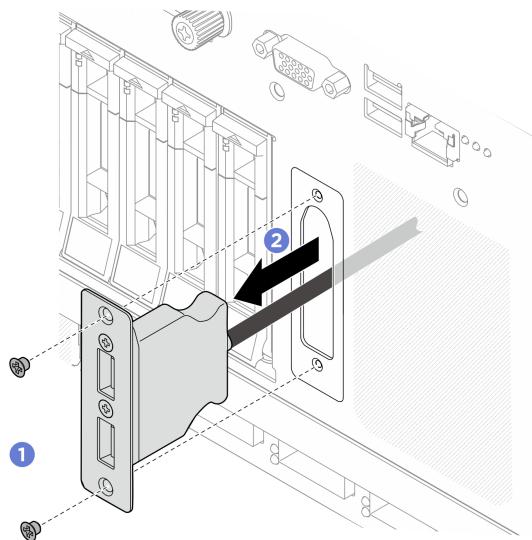


図 51. USB アセンブリーの取り外し

- USB アセンブリーにプレートを固定している中央の 2 本のねじを緩めます。

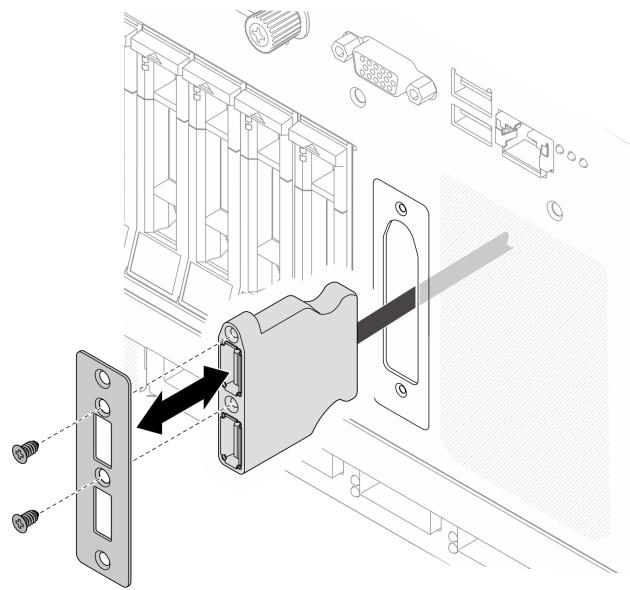


図52. USB アセンブリー・プレートの取り外し

- c. USB アセンブリーを内側にスライドさせて、NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージから取り外します。

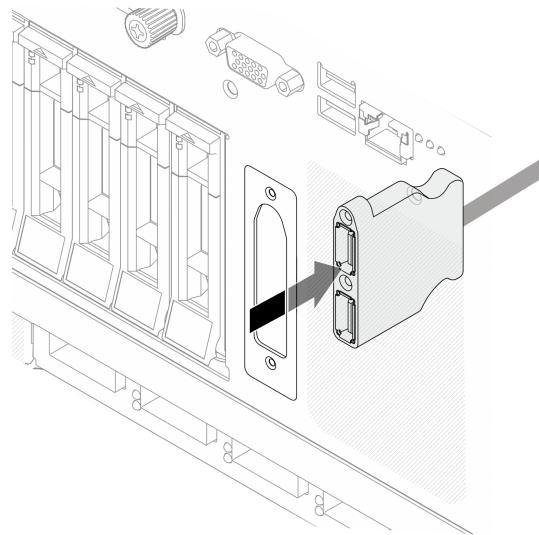


図53. USB アセンブリーの取り外し

ステップ 6. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージをシステム・シャトルから取り外します。

- a. ①両側にある 2 つの青色のラッチを同時に押します。
- b. ②ケージをシステム・シャトルから取り外します。

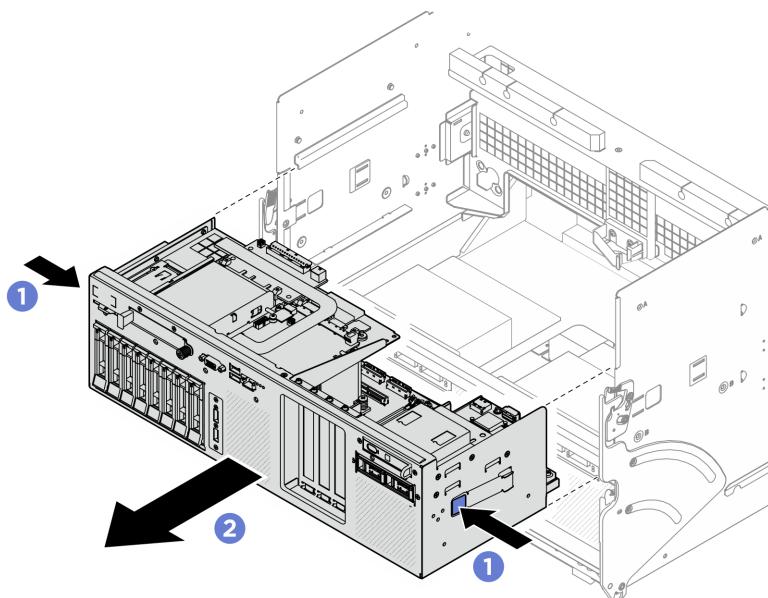


図 54. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け

NVMe ドライブと PCIe スイッチ・ボード・ケージを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. NVMe ドライブと PCIe スイッチ・ボード・ケージの位置をシステム・シャトル前面の開口部に合わせて、システム・シャトルの奥へとスライドさせ、停止位置に収まるまで押し込みます。

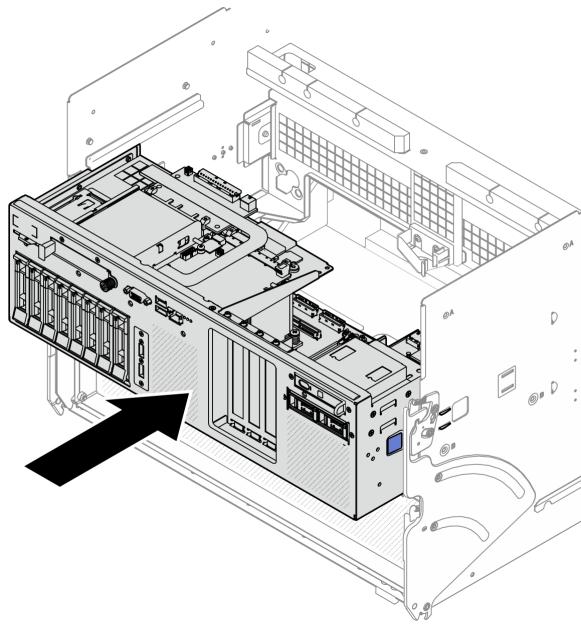


図55. NVMe ドライブと PCIe スイッチ・ボード・ケージを停止位置まで押し込む

ステップ2. USB アセンブリーを取り付けます。

- USB アセンブリーの位置を NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの前面にあるスロットに合わせて、スロットの中へとスライドさせます。

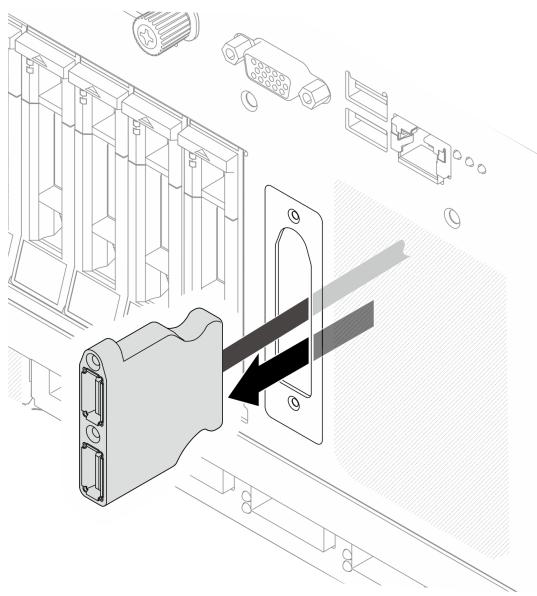


図56. USB アセンブリーの取り付け

- トルク・ドライバーを 0.27 ± 0.03 ニュートン・メーターに設定し、中央の 2 本のプラスチック用ねじを締めて、プレートを USB アセンブリーに固定します。

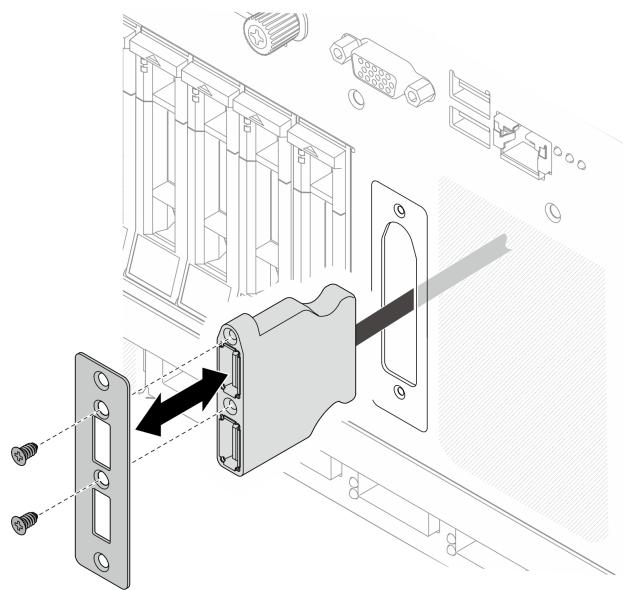
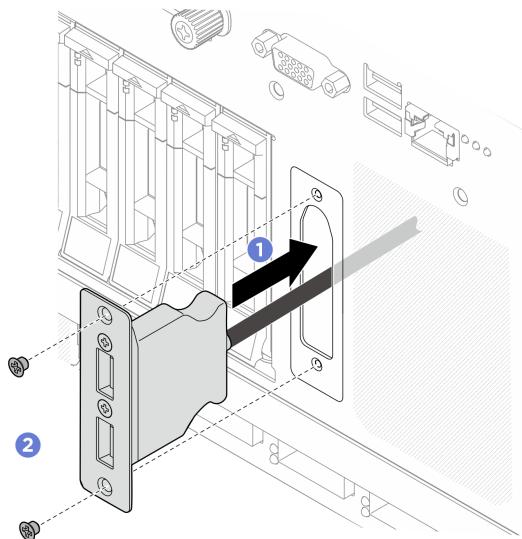


図57. USB アセンブリー・プレートの取り付け

- c. USB アセンブリーを NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージに取り付けます。
 1. ① USB アセンブリーを後方にスライドさせてケージに取り付けます。
 2. ② トルク・ドライバーを 0.5 ± 0.05 ニュートン・メーターに設定し、2 本のねじ (M3 x 5 mm) を締めて USB アセンブリーを固定します。



ステップ3. システム I/O ボードとシステム・ボードをケーブルで接続します。

- a. システム I/O ボードにケーブルを接続します。
- b. 2 本のねじを締めてケーブルを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

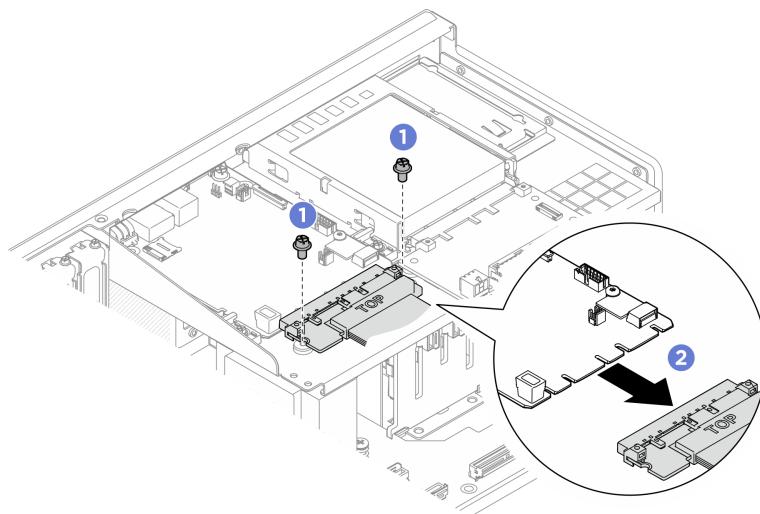


図 58. システム I/O ボードのケーブルの取り付け

ステップ 4. 必要なすべてのケーブルを以下の各コンポーネントに接続します。

- 2.5 インチ ドライブ・バックプレーン (317 ページの「2.5 インチ ドライブ・バックプレーンのケーブル配線」を参照)
- 内蔵診断パネル (325 ページの「内蔵診断パネルのケーブル配線」を参照)
- M.2 バックプレーン (326 ページの「M.2 バックプレーンのケーブル配線」を参照)
- OCP 変換コネクター (327 ページの「OCP 変換コネクター・カードのケーブル配線」を参照)
- PCIe スイッチ・ボード (334 ページの「PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線」を参照)

ステップ 5. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージをシステム・シャトルの奥まで押し込みます。

- a. ① ケージをシステム・シャトルの奥まで押し込みます。
- b. ② システム・シャトルの両側にある **B** のマークが付いた 4 個のねじ穴の位置を確認し、4 本のねじを締めてケージを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

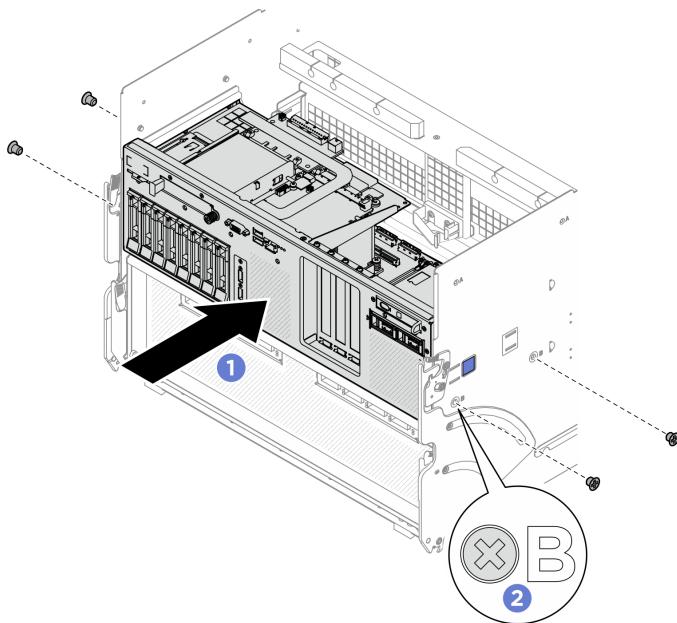


図 59. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け

完了したら

1. 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
2. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

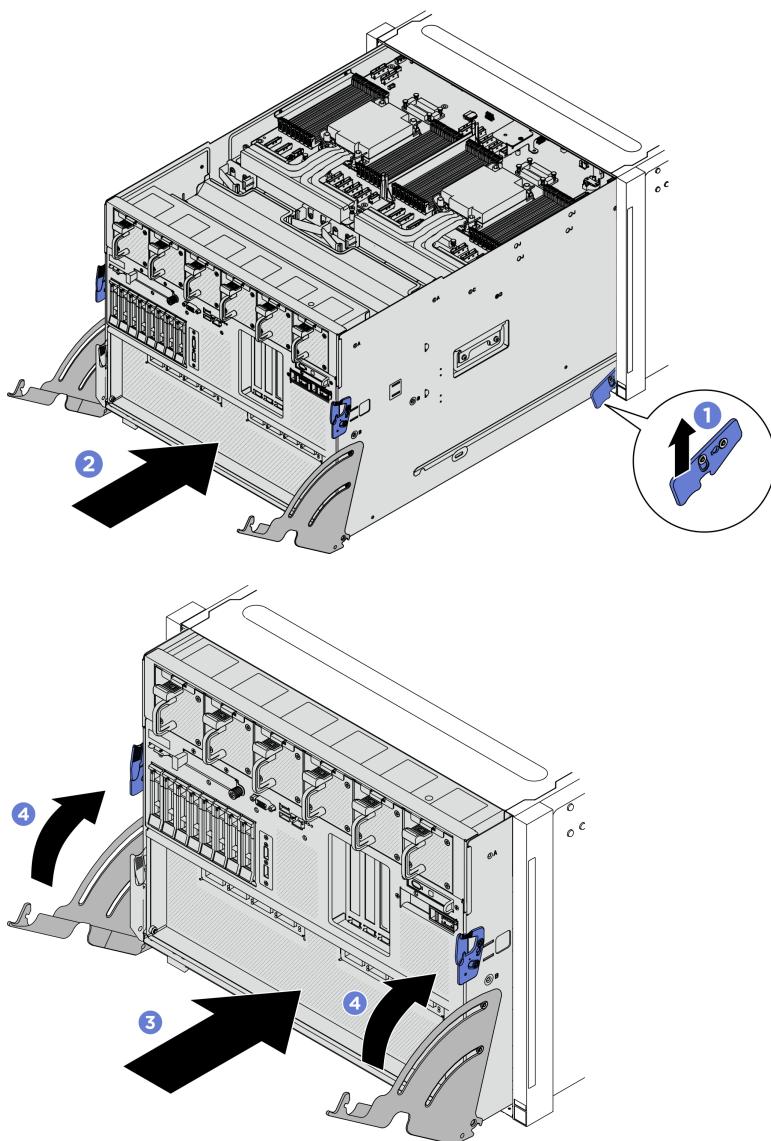


図60. システム・シャトルの取り付け

3. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ファンの交換

ファンの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの手順に従ってください。

ホット・スワップ・ファンの取り外し

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- 次の図は、前面および背面ファンの番号を示しています。

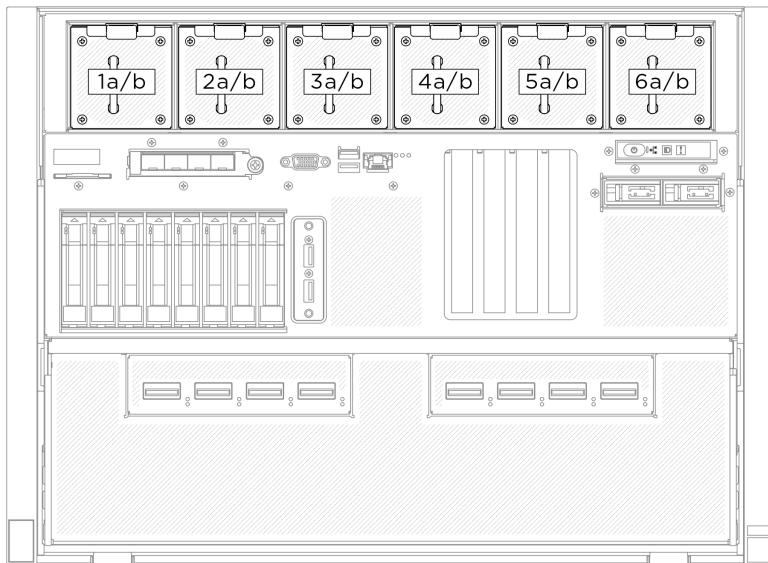


図61. 前面 ファン番号

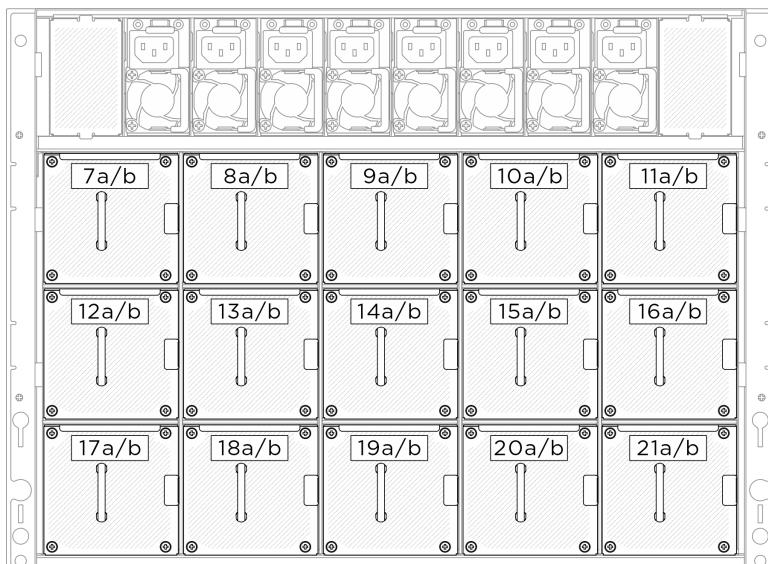


図62. 背面 ファン番号

手順

- ステップ1. ① オレンジ色のラッチを押したままファンを解放します。
- ステップ2. ② ファンをつかんで、慎重にサーバーから引き抜きます。

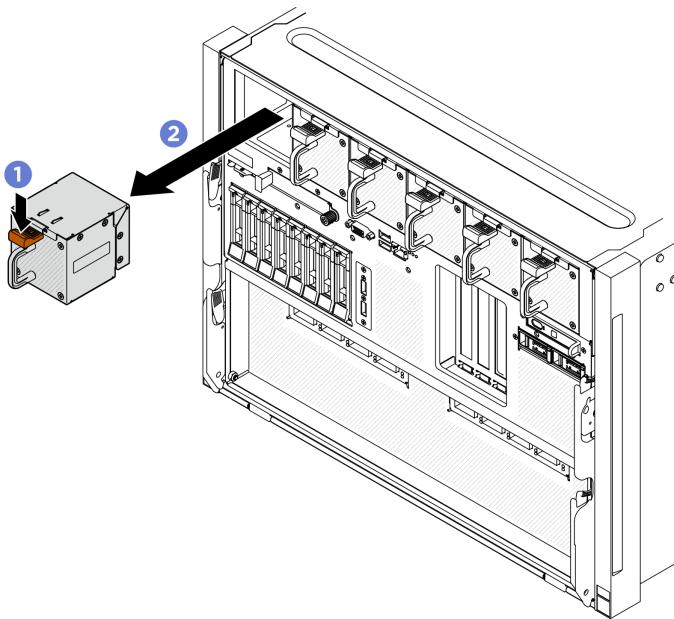


図 63. 前面ファンの取り外し

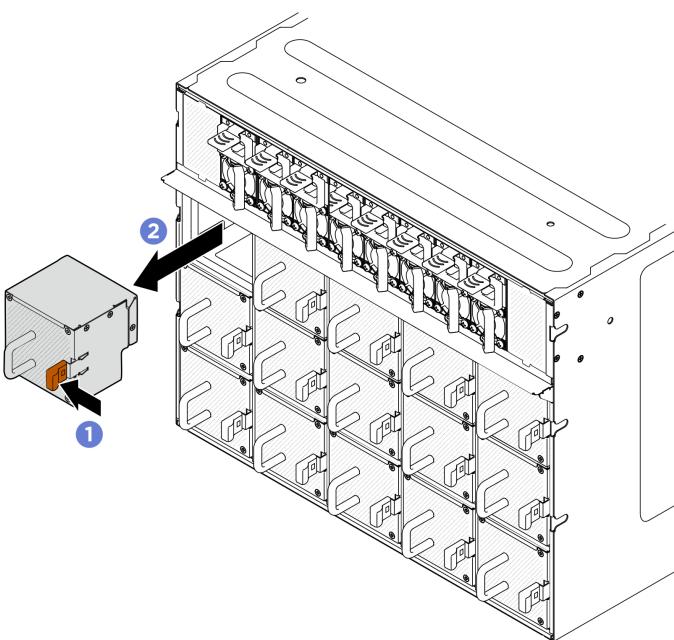


図 64. 背面ファンの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

ホット・スワップ・ファンの取り付け

ホット・スワップ・ドライブを取り付けるには、このセクションの手順に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#)および[2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- 欠陥のあるファンは、まったく同じタイプの別のユニットと交換してください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- 次の図は、前面および背面ファンの番号を示しています。

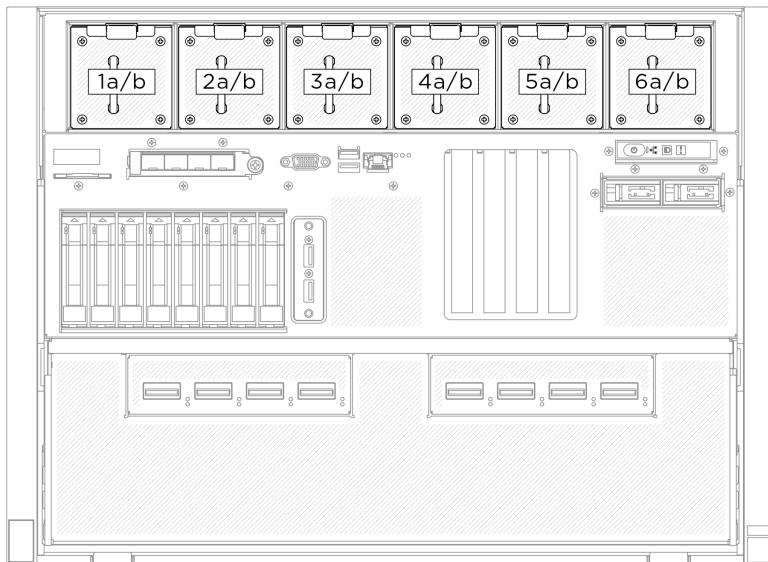


図 65. 前面 ファン番号

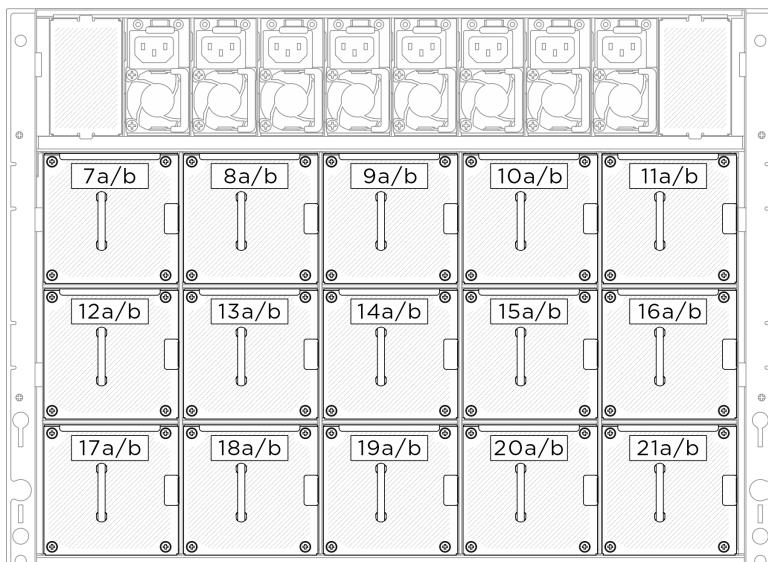


図 66. 背面 ファン番号

手順

ステップ1. ファンの通気方向ラベルが上を向いていることを確認して、ファンとファン・ベイの位置を合わせます。

ステップ2. ファンをベイの中にスライドさせて、カチッと音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。

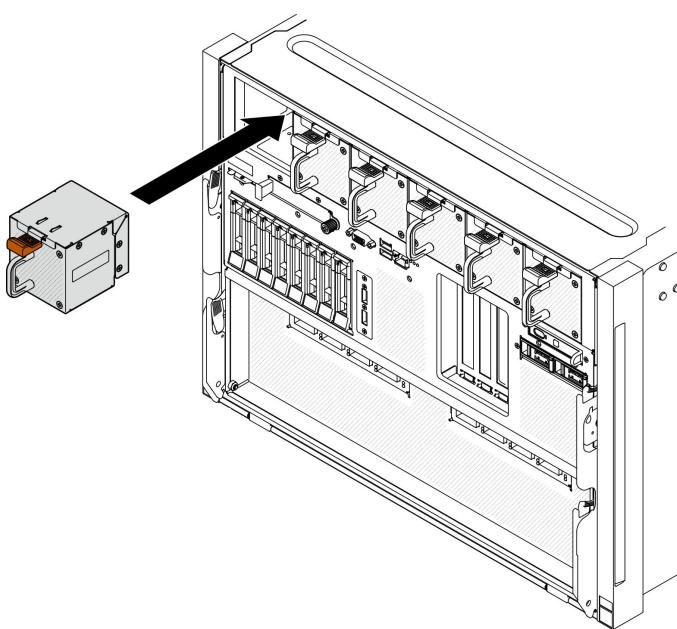


図67. 前面ファンの取り付け

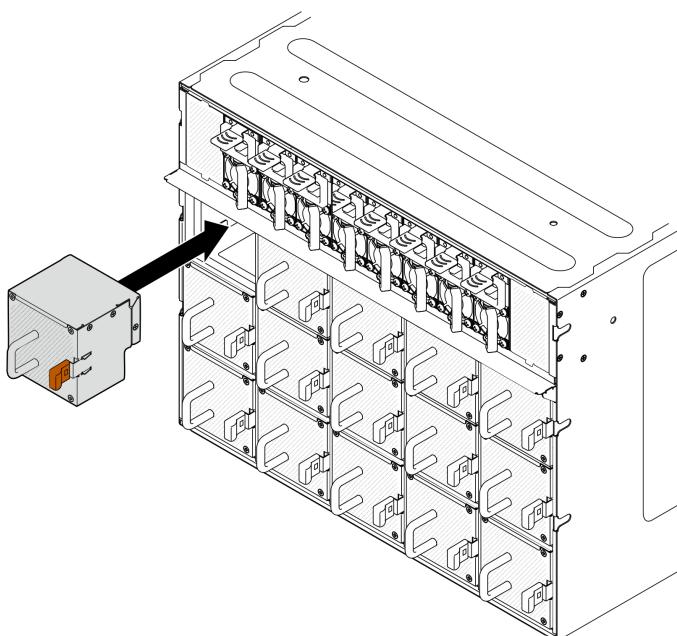


図68. 背面ファンの取り付け

完了したら

部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ファン制御ボードの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

ファン制御ボードの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

前面ファン制御ボードの取り外し

前面ファン制御ボードの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意:

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

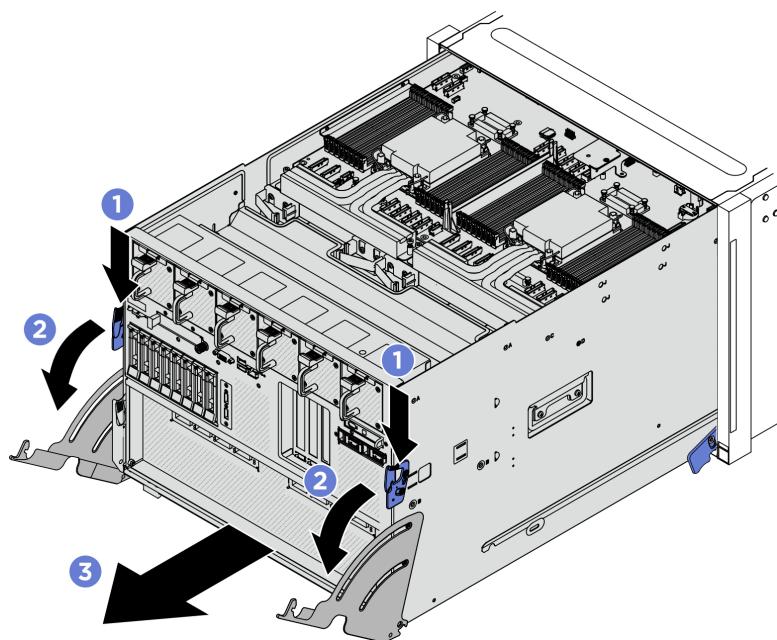


図69. システム・シャトルを停止位置まで引く

- b. 前面ファンを取り外します。67 ページの「ホット・スワップ・ファンの取り外し」を参照してください。

ステップ2. 前面ファン制御ボードからケーブルを外します。

ステップ3. 4本のネジを緩め、前面ファン制御ボードを持ち上げて前面ファン・ケージから取り出します。

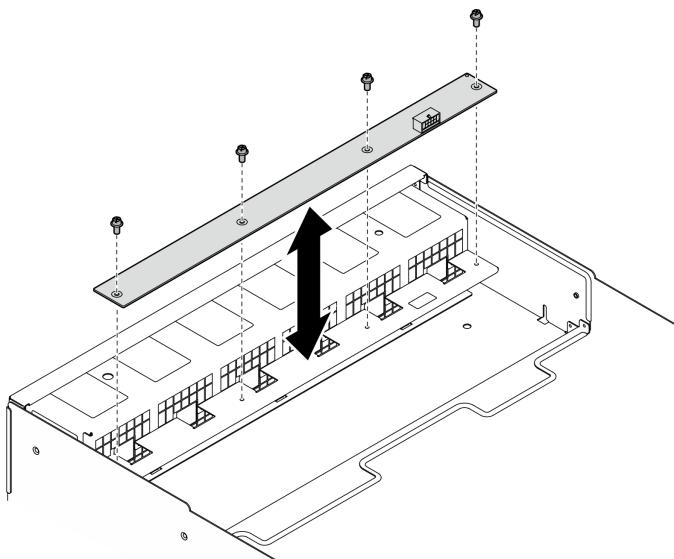


図70. 前面ファン制御ボードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

前面ファン制御ボードの取り付け

前面ファン制御ボードを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. 前面ファン制御ボードを前面ファン・ケージの中へと下ろして、4本のねじを締めて固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

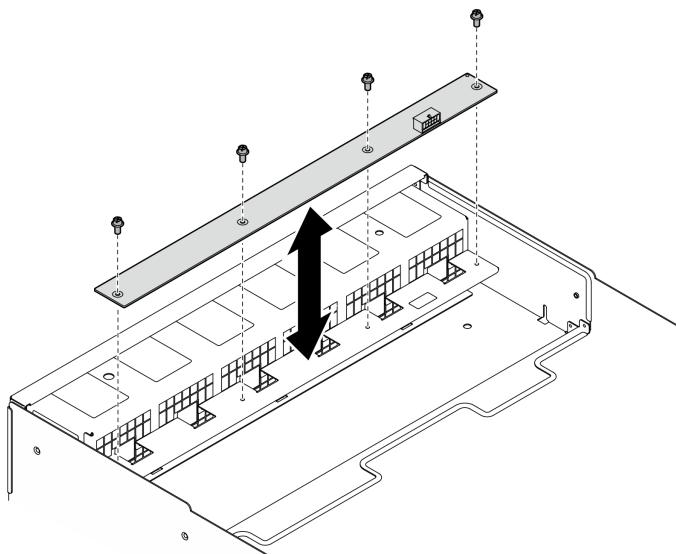


図 71. 前面ファン制御ボードの取り付け

ステップ 2. 必要に応じて、前面ファン制御ボードのケーブルの両端にラベルを貼り付けます。

- ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

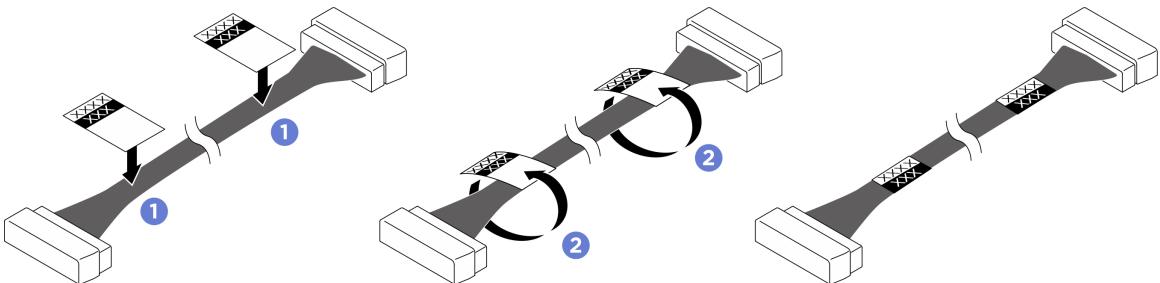


図72. ラベルの貼り付け

注：下の表を参照して、ケーブルに対応するラベルを確認してください。

始点	終点	ラベル
前面ファン制御ボード: 電源コネクター	分電盤: 前面ファン制御ボードの電源コネクター	F-FAN PWR F-FAN

ステップ3. ケーブルを前面ファン制御ボードに接続します。詳しくは、[320 ページの「ファン制御ボードのケーブル配線」](#)を参照してください。

完了したら

1. 前面ファンを再度取り付けます。[69 ページの「ホット・スワップ・ファンの取り付け」](#)を参照してください。
2. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある2つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

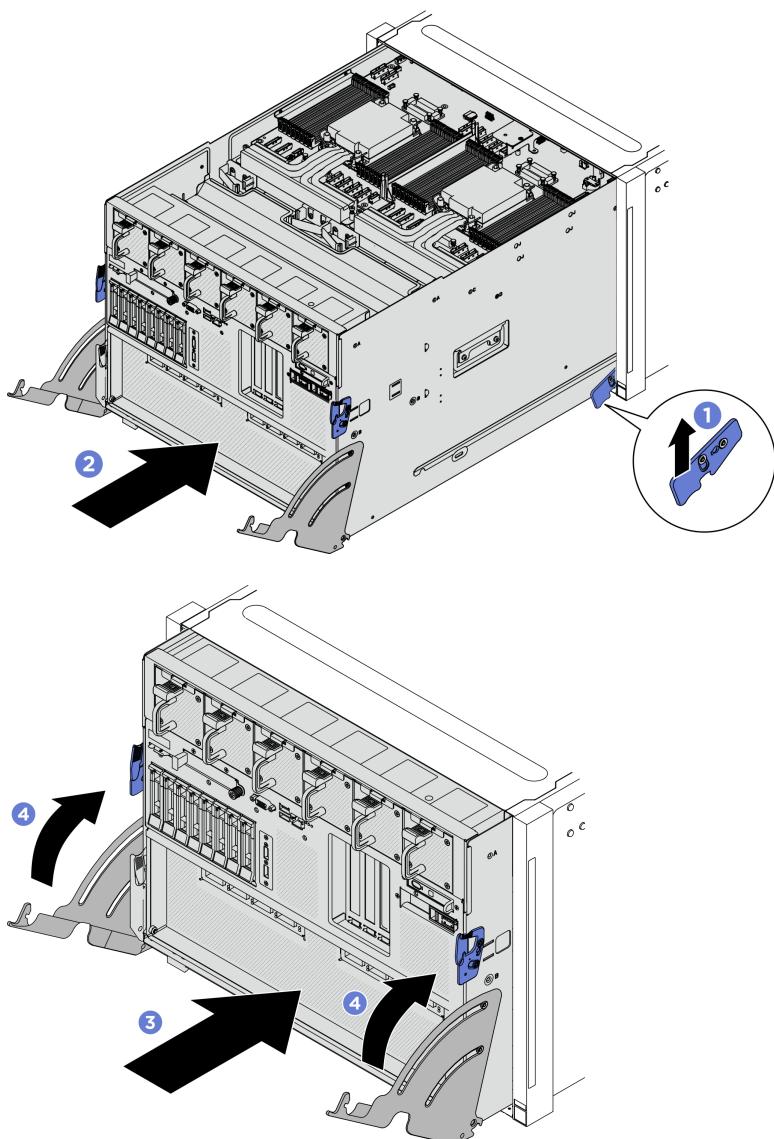


図 73. システム・シャトルの取り付け

3. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

背面ファン制御ボードの取り外し

背面ファン制御ボードを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:
<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。
Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ1. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。[301ページの「システム・シャトルの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ2. 背面ファン制御ボード・アセンブリーを取り外します。

- システム・シャトルの両側にあるHのマークが付いた2本のねじを緩めます。
- アセンブリーを慎重に背面ファン・バルクヘッドから少し引き出し、ケーブルを外します。
- アセンブリーをバルクヘッドから完全に取り外します。

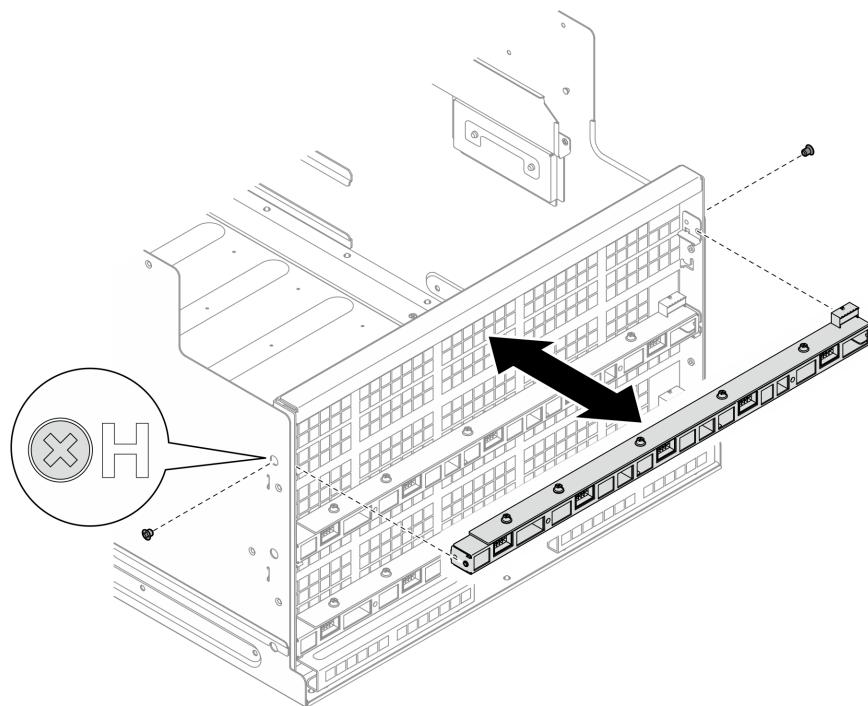


図74. 背面ファン制御ボード・アセンブリーの取り外し

ステップ3. 必要に応じて、5本のねじを外し、ブラケットから背面ファン制御ボードを取り外します。

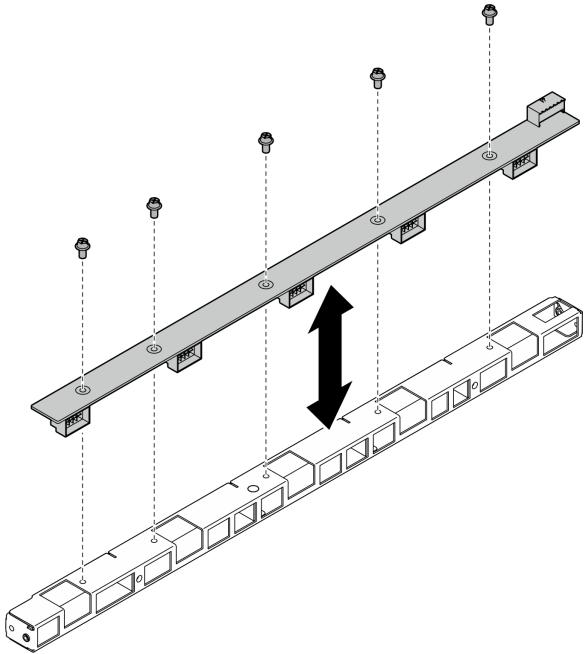


図 75. 背面ファン制御ボードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

背面ファン制御ボードの取り付け

背面ファン制御ボードを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. 必要に応じて、背面ファン制御ボードをブラケットと位置合わせし、その後、5 本のねじを締めて背面ファン制御ボードを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

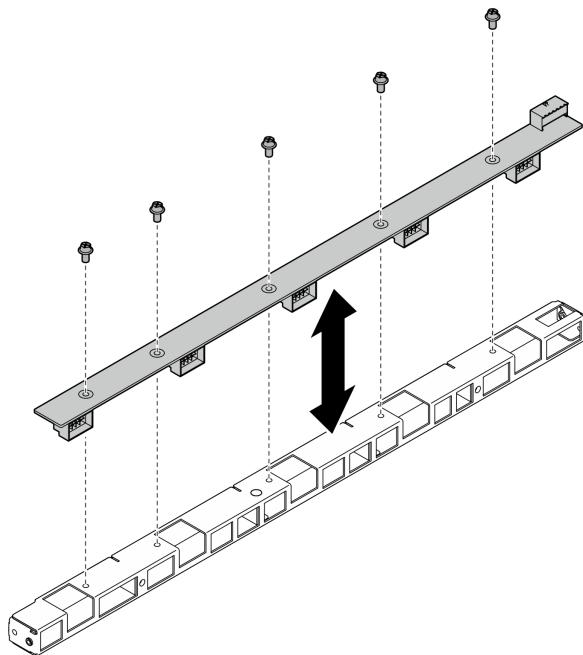


図76. 背面ファン制御ボードの取り付け

ステップ2. 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼り付けます。

- a. ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- b. ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- c. 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

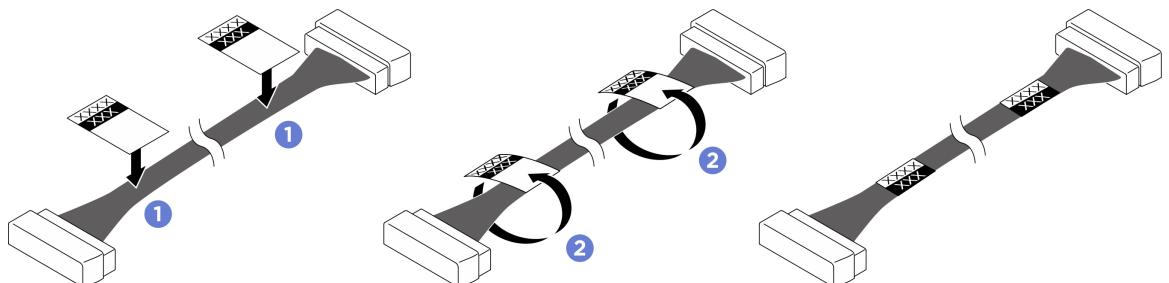


図77. ラベルの貼り付け

注：ケーブルに対応するラベルを識別するには、以下の表を参照してください。

始点	終点	ラベル
背面上部ファン制御ボード: 電源コネクター	分電盤: 背面上部ファン制御ボードの電源コネクター	R-FAN PWR TOP R-FAN TOP
背面中央ファン制御ボード: 電源コネクター	分電盤: 背面中央ファン制御ボードの電源コネクター	R-FAN PWR MID R-FAN MID
背面下部ファン制御ボード: 電源コネクター	分電盤: 背面下部ファン制御ボードの電源コネクター	R-FAN PWR BOT R-FAN BOT

ステップ3. 背面ファン制御ボード・アセンブリーを取り付けます。

- 背面ファン制御ボードにケーブルを接続します。[320 ページの「ファン制御ボードのケーブル配線」](#)を参照してください。
- 背面ファン制御ボード・アセンブリーを正しい向きで持ち(図を参照)、背面ファン・バルクヘッドの中へとスライドさせます。
- システム・シャトルの両側にある H のマークが付いた 2 個のねじ穴の位置を確認し、2 本のねじを締めて背面ファン制御ボード・アセンブリーを固定します。

注: トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

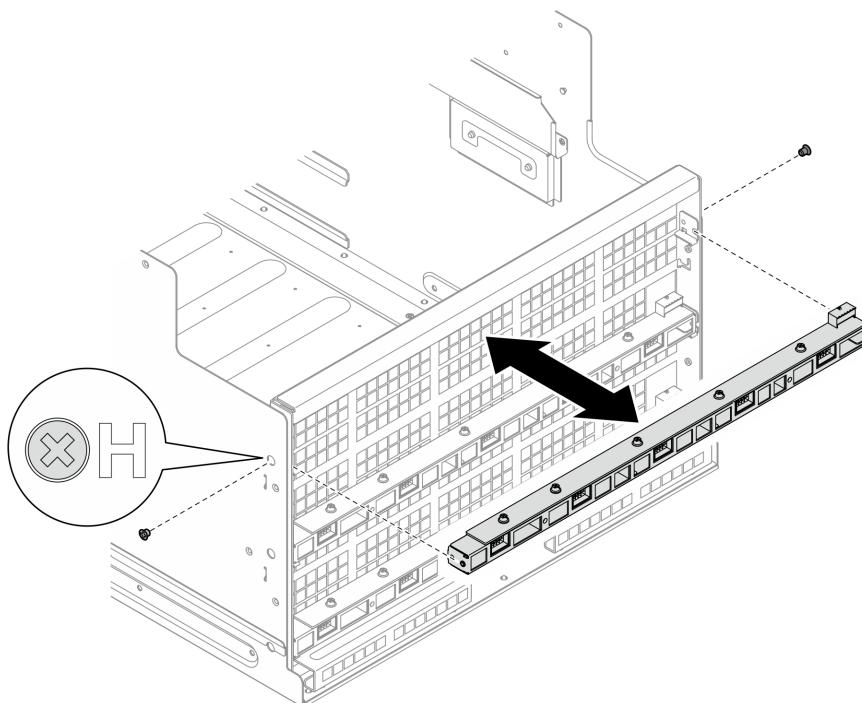


図 78. 背面ファン制御ボード・アセンブリーの取り付け

完了したら

1. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
2. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

前面ファン・ケージの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

前面ファン・ケージの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

前面ファン・ケージの取り外し

前面ファン・ケージを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意:

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ 1. システム・シャトルを停止位置まで引きます。

- a. ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
- b. ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
- c. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

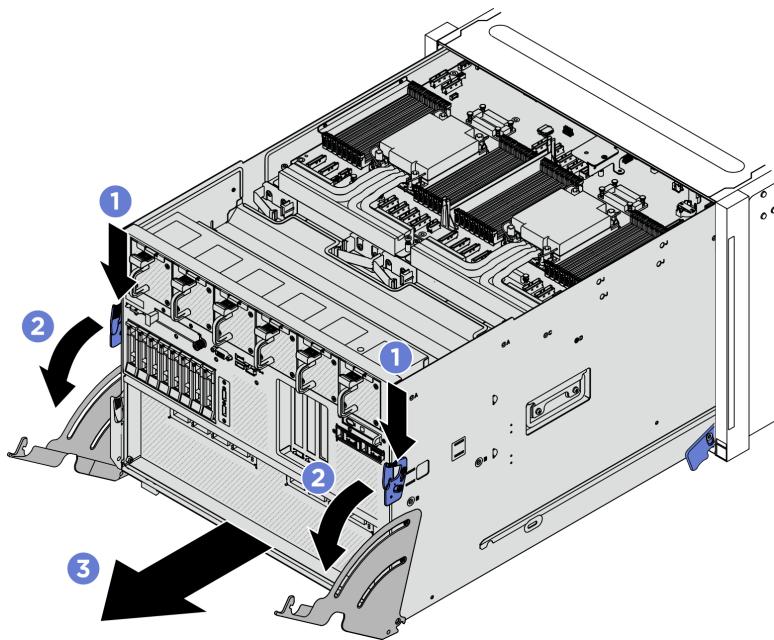


図79. システム・シャトルを停止位置まで引く

ステップ2. 前面ファン制御ボードからケーブルを外します。

ステップ3. 前面ファン・ケージを取り外します。

- a. ① システム・シャトルの両側にあるAのマークが付いた4本のねじを緩めます。
- b. ② ケージを持ち上げて、システム・シャトルから取り外します。

注意：サービス・ラベルは、前面ファン・ケージに貼付されています。

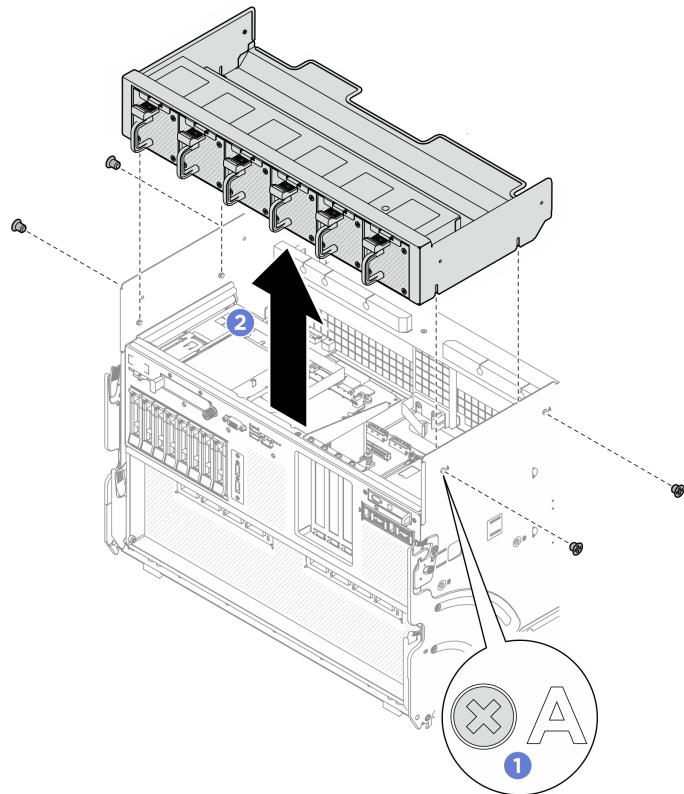


図 80. 前面ファン・ケージの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

前面ファン・ケージの取り付け

前面ファン・ケージを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：

- コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。
- 新しい前面ファン・ケージを取り付ける場合は、必要に応じてサービス・ラベルを新しい前面ファン・ケージに貼付してください。

手順

ステップ1. ① 前面ファン・ケージの位置をシステム・シャトルのガイド・ピンに合わせて、ケージが所定の位置に収まるまでシャトルの中へと押し込みます。

ステップ2. ② システム・シャトルの両側にある A のマークが付いた 4 個のねじ穴の位置を確認し、4 本のねじを締めて前面ファン・ケージを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

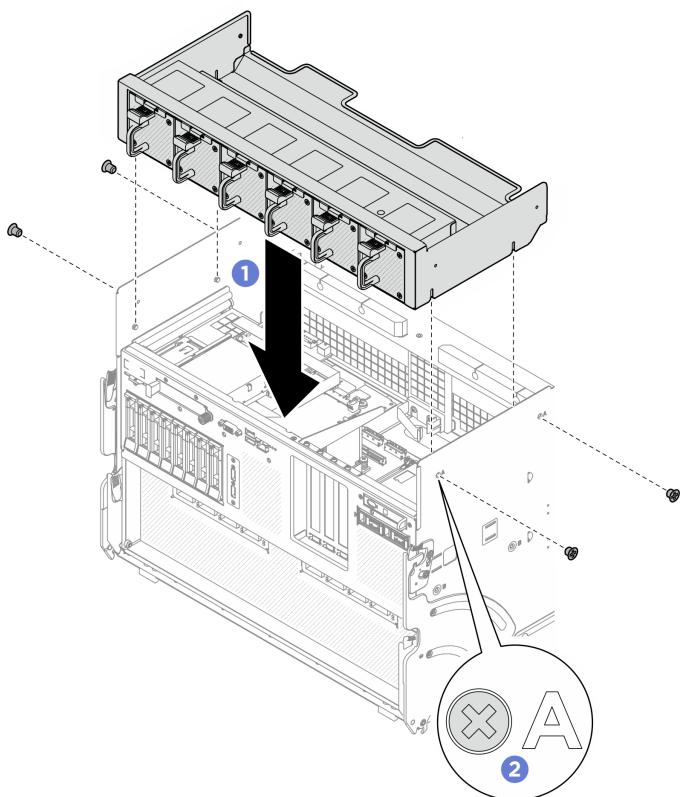


図 81. 前面ファン・ケージの取り付け

ステップ3. ケーブルを前面ファン制御ボードに接続します。詳しくは、320 ページの「ファン制御ボードのケーブル配線」を参照してください。

完了したら

1. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルをシャーシに少し押し込み、シャトルの両側にある 2 個のロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

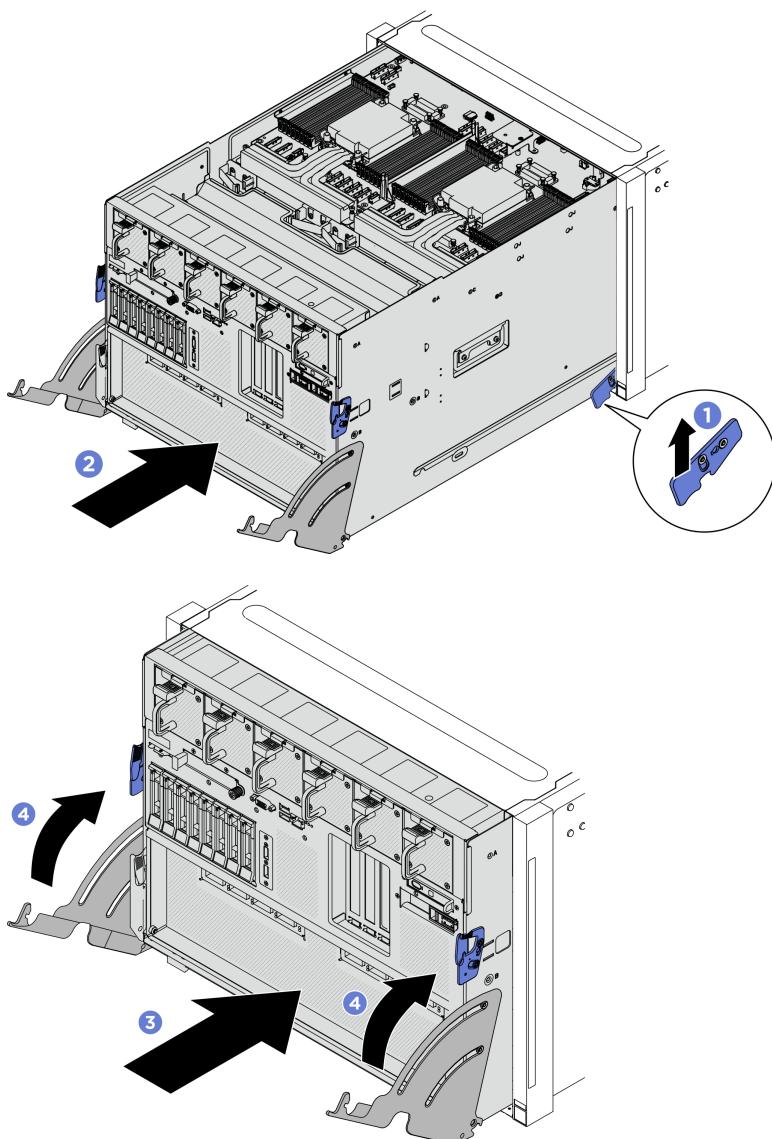


図82. システム・シャトルの取り付け

2. 部品交換を完了します。306 ページの「[部品交換の完了](#)」を参照してください。

GPU ベースボードの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

GPU ベースボードの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

GPU ベースボードの取り外し

GPU ベースボードの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dscs.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 2 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 2 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- B300 治具 1 個
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- b. 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」を参照してください。
- c. GPU シャトルを取り外します。128 ページの「GPU シャトルの取り外し」を参照してください。
- d. GPU ベースボードからケーブルを外します。

注：UltraPass ケーブルを取り外すには、手順 3 ~ 6 (186 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り外し」) を参照してください。

- e. すべての GPU およびヒートシンク・モジュールを取り外します。116 ページの「GPU およびヒートシンク・モジュールの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り外します。

- a. カバーを固定している 4 本のねじを緩めます。
- b. ヒートシンクから持ち上げて外します。

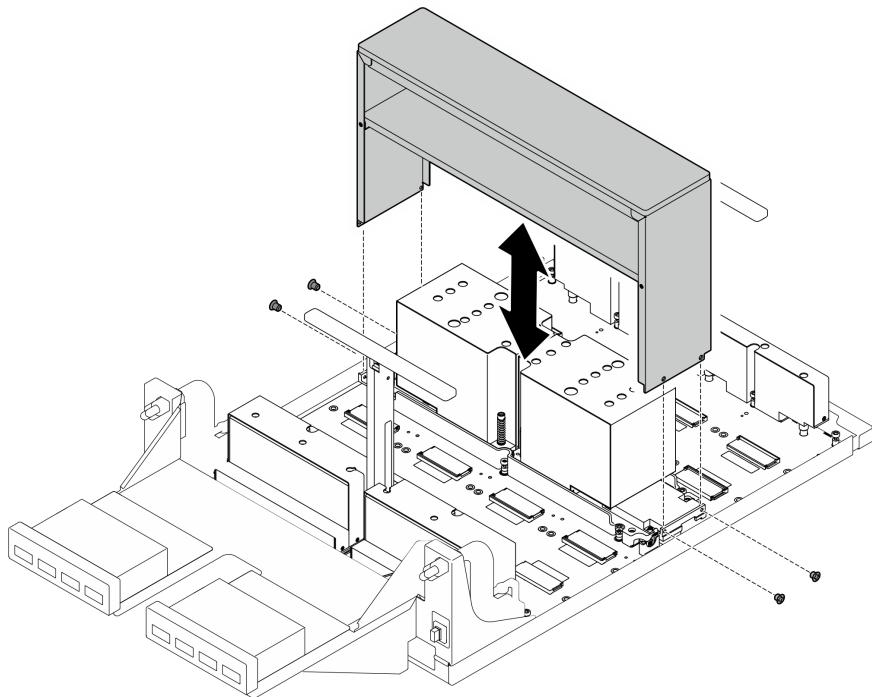


図83. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り外し

ステップ3. GPU ベースボードの 17 本の Torx T15 拘束ねじを緩めます。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

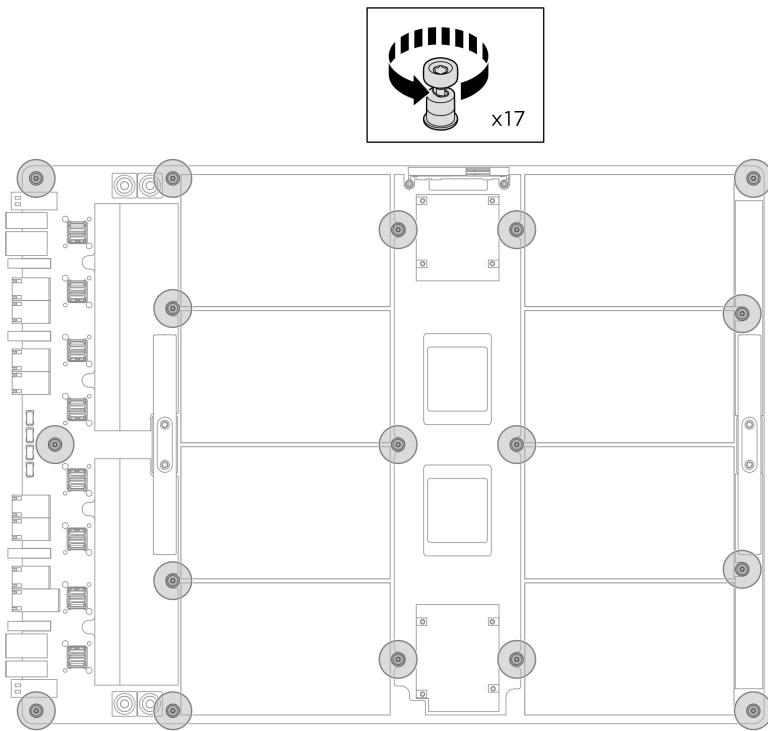


図84. ねじの取り外し

ステップ4. GPU ベースボードを取り外します。

- a. ① GPU ベースボードの両側にある 2 つのハンドルを伸ばします。
- b. ② 2 つのハンドルを持ち、GPU ベースボードを持ち上げて GPU シャトルから取り出します。

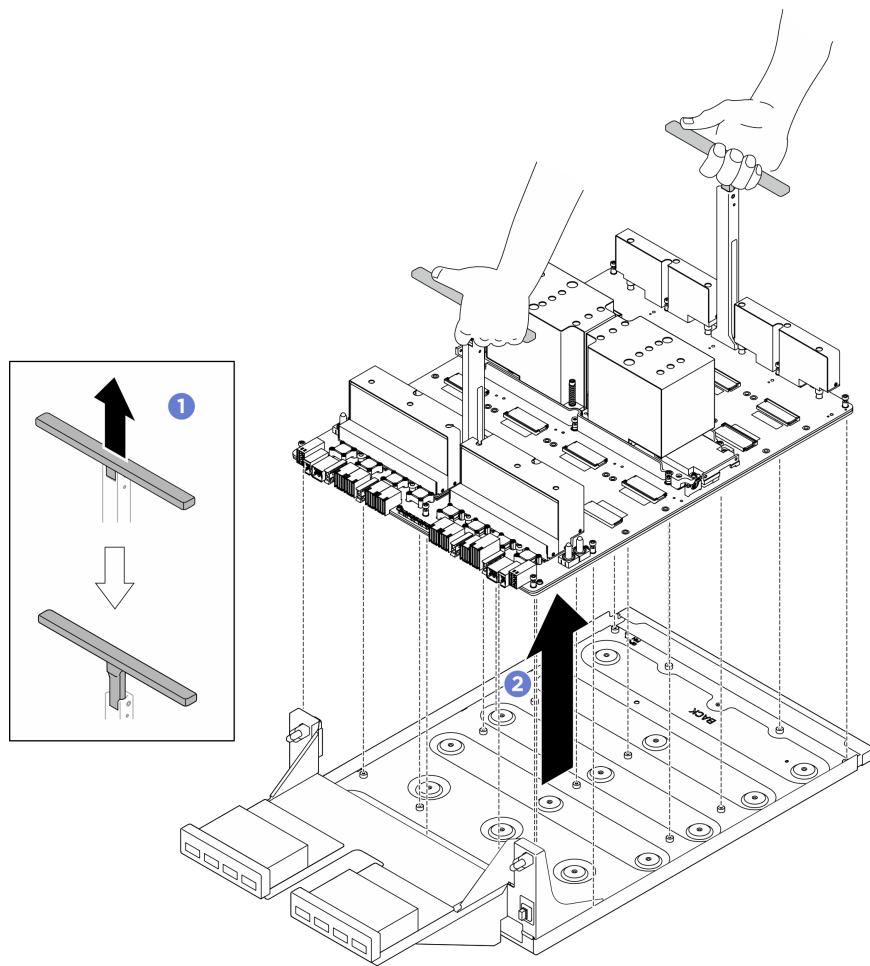


図85. GPU ベースボードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料の梱包材がある場合はそれを使用してください。

GPU ベースボードの取り付け

GPU ベースボードの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator:

<https://dcsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

- GPU および GPU ベースボードのコネクターおよびソケットを必ず検査してください。GPU または GPU ベースボードのコネクターが破損しているか足りない場合、あるいはソケットに異物がある場合は、GPU または GPU ボードを使用しないでください。取り付け手順を続行する前に、GPU または GPU ベースボードを新しいものと交換してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 2 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 2 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- B300 治具 1 個
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. (オプション) パッケージ・ボックスから新しい GPU ベースボードを取り外します。

- ① GPU ベースボードの両側にある 2 つのハンドルを伸ばします。
- ② 2 つのハンドルを持ち、パッケージ・ボックスから GPU ベースボードを取り外します。

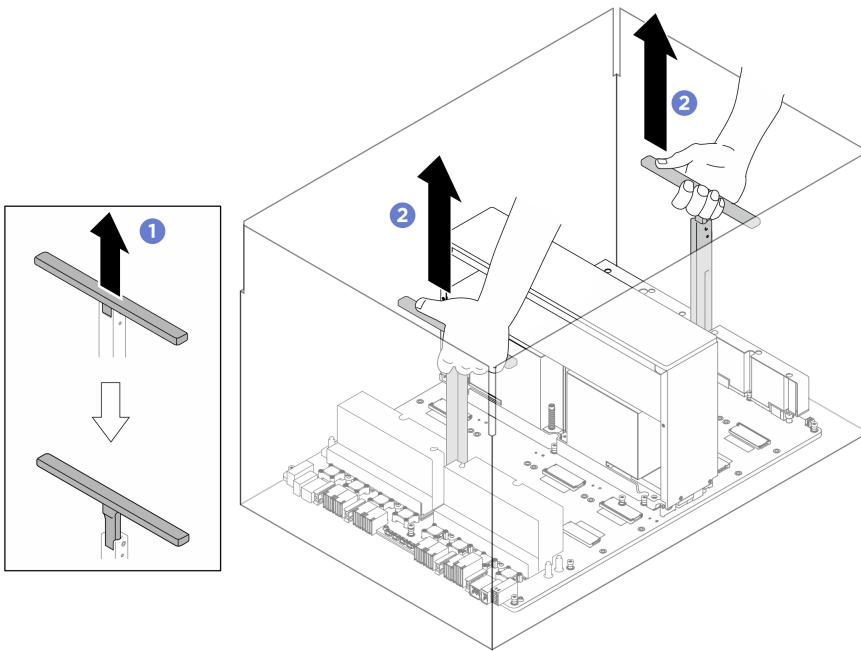


図86. パッケージ・ボックスから GPU ベースボードを取り外します。

ステップ2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り外します。

- a. カバーを固定している4本のねじを緩めます。
- b. ヒートシンクから持ち上げて外します。

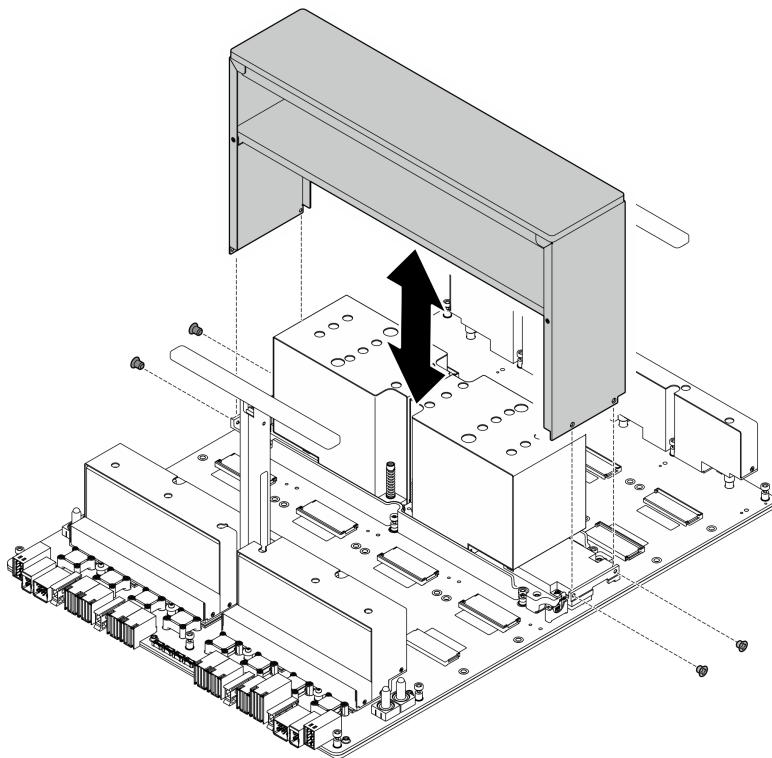


図 87. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り外し

ステップ 3. GPU ベースボードを取り付けます。

- a. ① GPU ベースボードの両側にあるハンドルを、図のように正しい向きで持ちます。次に、GPU ベースボードをアダプター・プレートに合わせ、ゆっくりと置きます。
- b. ② 2 つのハンドルを押し下げます。

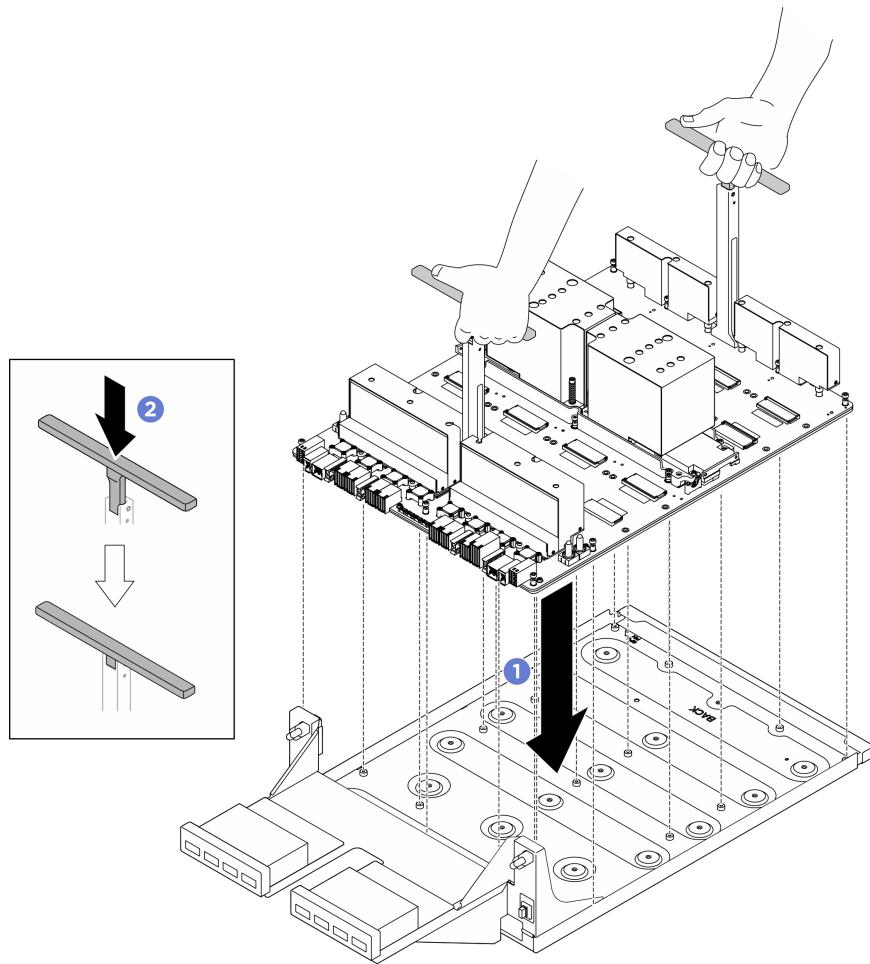


図88. GPU ベースボードの取り付け

ステップ4. 以下の図に示す順序に従って、17本のTorx T15拘束ねじを締め付けてGPUベースボードを固定します。

重要：損傷を避けるためにねじを締め過ぎないようにしてください。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

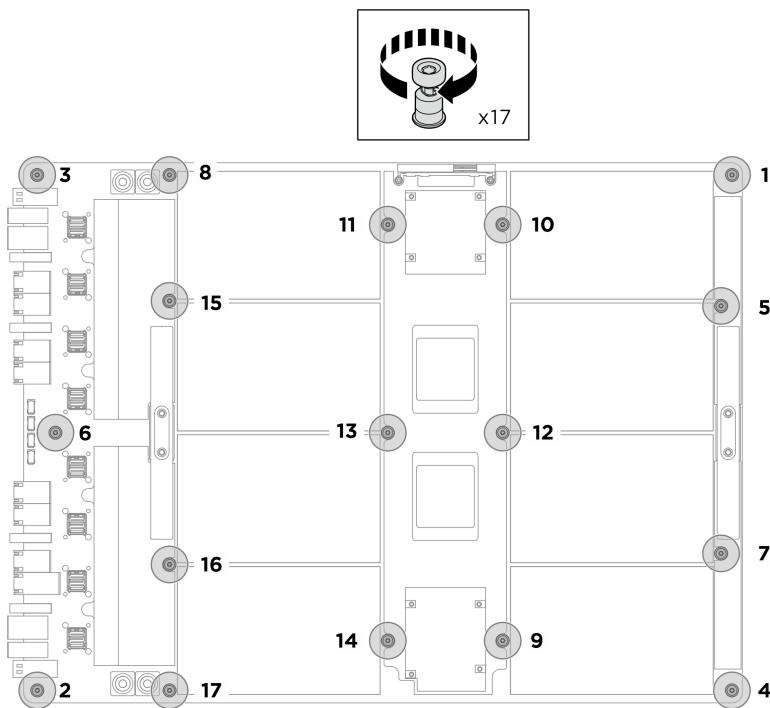


図89. ねじの取り付け

ステップ5. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り付けます。

- ヒートシンクにカバーを置きます。
- 4本のねじを締め付け、カバーを固定します。

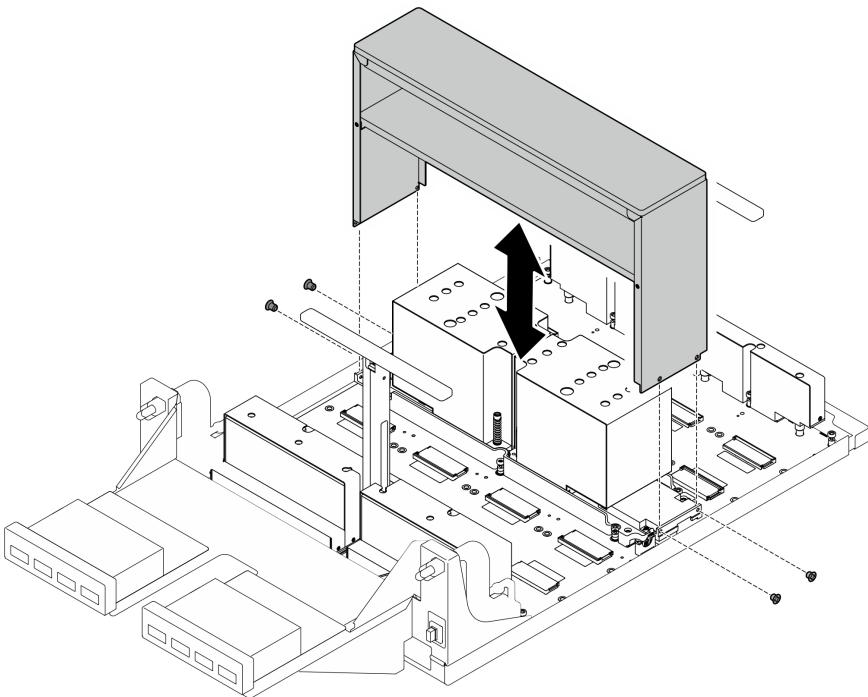


図90. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り付け

完了したら

- すべての GPU モジュールとヒートシンク・モジュールを再度取り付けます。[121 ページの「GPU およびヒートシンク・モジュールの取り付け」](#) を参照してください。
- ケーブルを GPU ベースボードに再接続します。詳しくは、[323 ページの「GPU ベースボードのケーブル配線」](#) および [329 ページの「OSFP カードのケーブル配線」](#) を参照してください。

注：OSFP カード UltraPass および側波帯ケーブルを接続し直すには、[195 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り付け」](#) の手順 4 ~ 8 を参照してください。

- GPU シャトルを再度取り付けます。[134 ページの「GPU シャトルの取り付け」](#) を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。[262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」](#) を参照してください。
- システム・シャトルを再度取り付けます。[303 ページの「システム・シャトルの取り付け」](#) を参照してください。
- 部品交換を完了します。[306 ページの「部品交換の完了」](#) を参照してください。

GPU 複合システムの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

GPU 複合システムの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要：このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

GPU 複合システムの取り外し

GPU 複合システムの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

S036



18 ~ 32 kg (39 ~ 70 ポンド)



32 ~ 55 kg (70 ~ 121 ポンド)

警告：

装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」を参照してください。
- GPU シャトルを取り外します。128 ページの「GPU シャトルの取り外し」を参照してください。
- GPU ベースボードからケーブルを外します。

注：UltraPass ケーブルを取り外すには、手順 3 ~ 6 (186 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り外し」) を参照してください。

ステップ 2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り外します。

- カバーを固定している 4 本のねじを緩めます。

- b. ヒートシンクから持ち上げて外します。

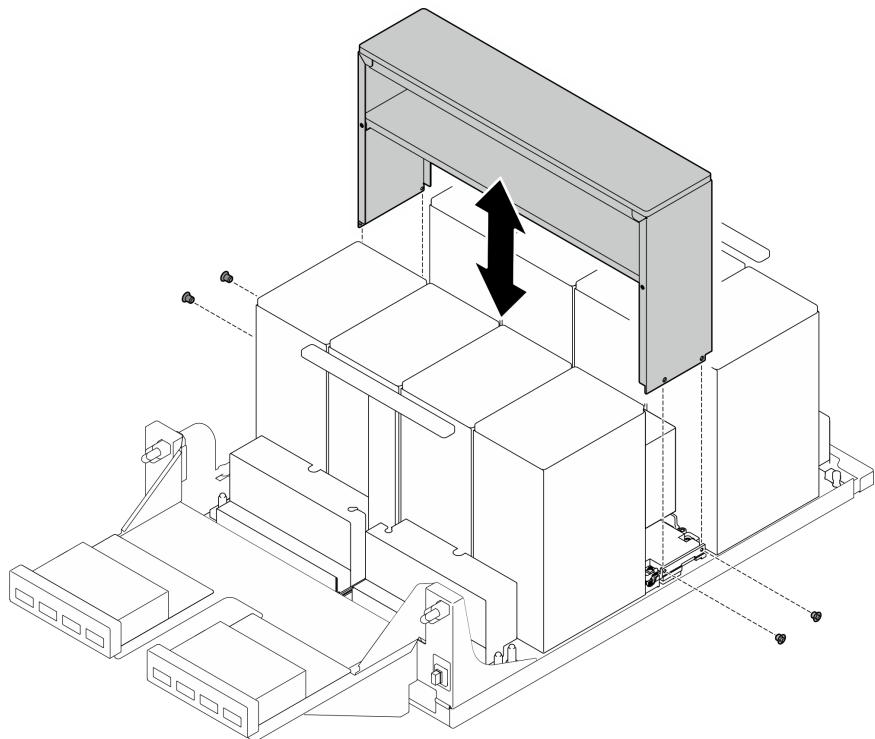


図91. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り外し

ステップ3. GPU ベースボードの 17 本の Torx T15 拘束ねじを緩めます。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

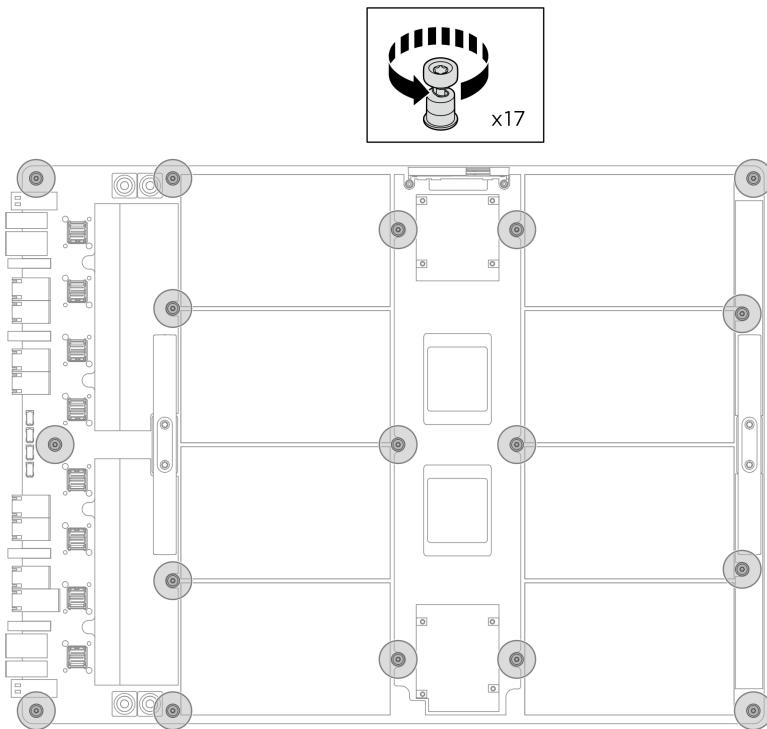


図92. ねじの取り外し

ステップ4. GPU複合システムを取り外します。

- ① GPUベースボードの両側にある2つのハンドルを伸ばします。
- ② 2つのハンドルを持ち、GPU複合システムを持ち上げてGPUシャトルから取り出します。

注意: GPU複合システムの両側に2人が立っていることを確認し、2つのハンドルを持って持ち上げます。

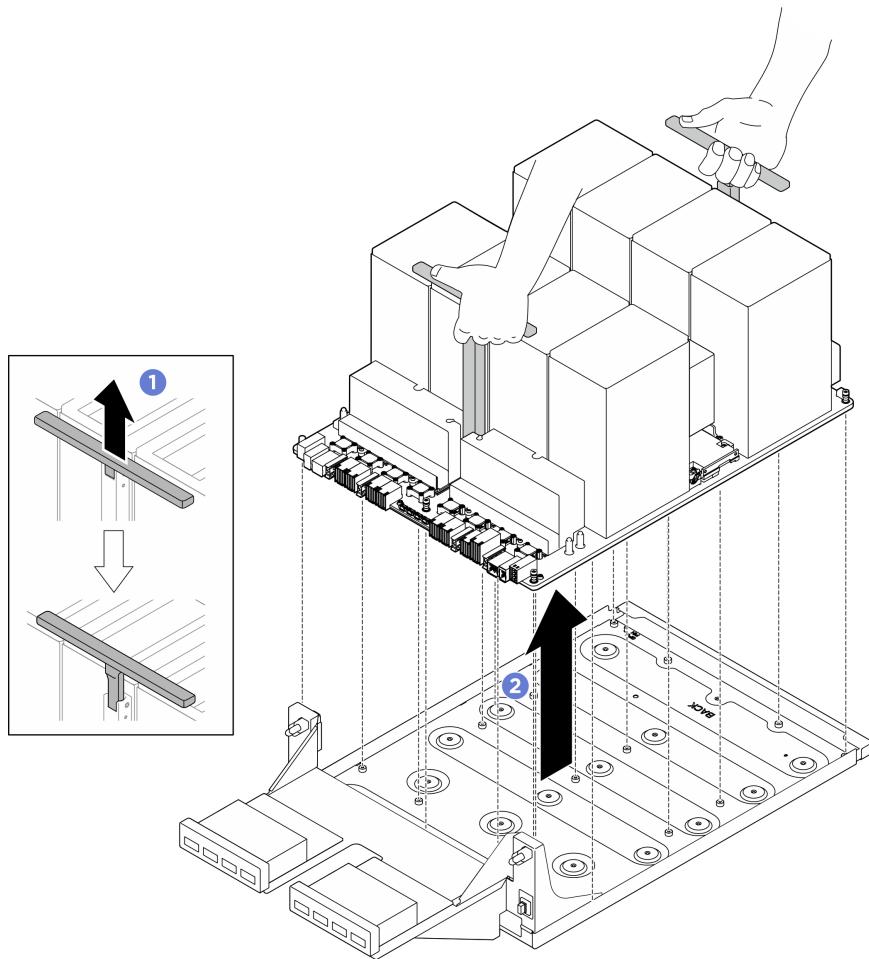


図93. GPU複合システムの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

GPU複合システムの取り付け

GPU複合システムの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

S036



18 ~ 32 kg (39 ~ 70 ポンド)



32 ~ 55 kg (70 ~ 121 ポンド)

警告：

装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帶電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帶電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

ファームウェアとドライバーのダウンロード：コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. (オプション) パッケージ・ボックスから新しい GPU 複合システムを取り外します。

- a. ① GPU ベースボードの両側にある 2 つのハンドルを伸ばします。
- b. ② 2 つのハンドルを持ち、パッケージ・ボックスから GPU 複合システムを取り外します。

注意：GPU 複合システムの両側に 2 人が立っていることを確認し、2 つのハンドルを持って持ち上げます。

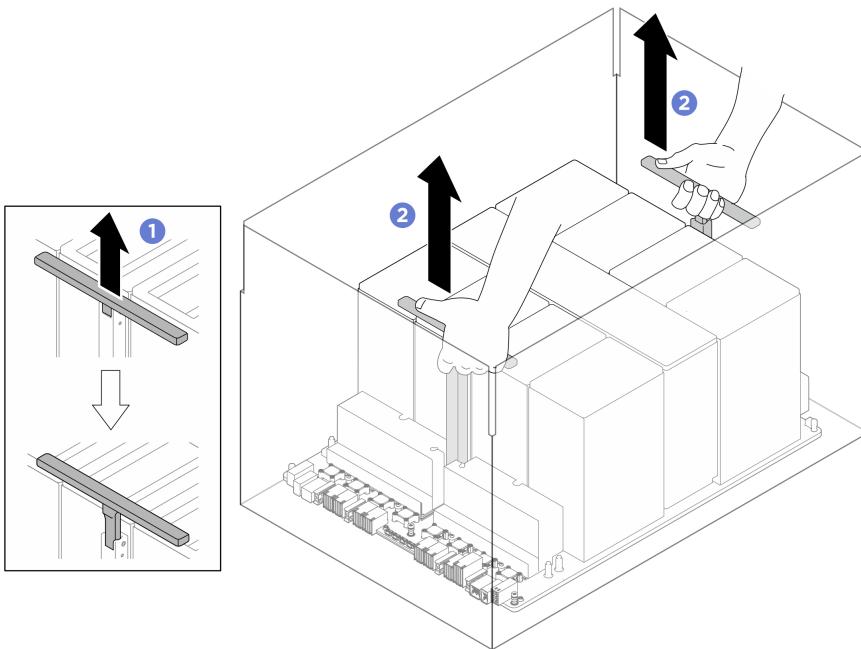


図94. パッケージ・ボックスからの GPU 複合システムの取り外し

ステップ2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り外します。

- a. カバーを固定している4本のねじを緩めます。
- b. ヒートシンクから持ち上げて外します。

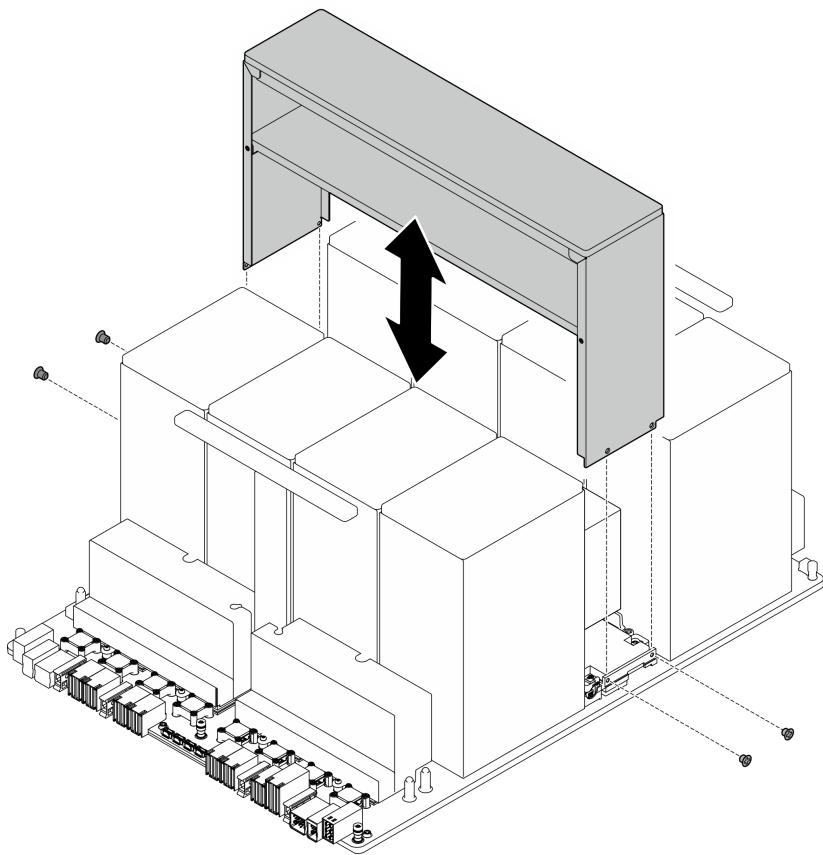


図 95. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り外し

ステップ 3. GPU 複合システムを取り付けます。

- a. ① GPU ベースボードの両側にあるハンドルを図のように正しい向きで持ちます。次に、GPU 複合システムをアダプター・プレートに合わせて位置を調整し、慎重にアダプター・プレート上に置きます。
- b. ② 2 つのハンドルを押し下げます。

注意：GPU 複合システムの両側に 2 人が立っていることを確認し、2 つのハンドルを持って持ち上げます。

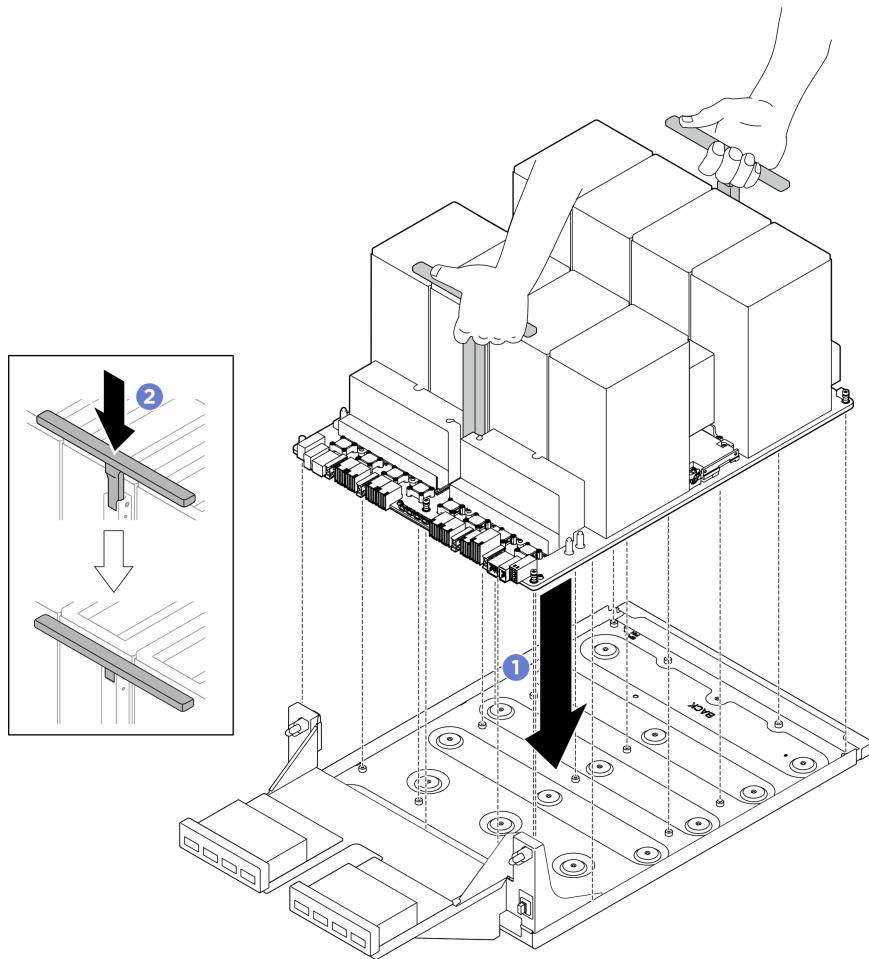


図96. GPU複合システムの取り付け

ステップ4. 以下の図に表示されている順序に従って、17本のTorx T15拘束ねじを締めてGPU複合システムを固定します。

重要: 損傷を避けるためにねじを締め過ぎないようにしてください。

注: トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

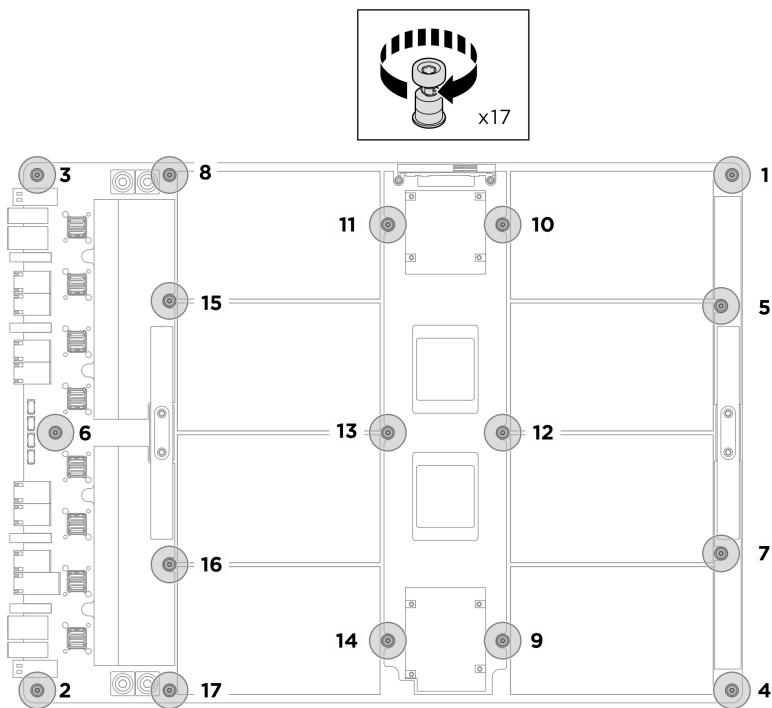


図97. ねじの取り付け

ステップ5. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り付けます。

- ヒートシンクにカバーを置きます。
- 4本のねじを締め付け、カバーを固定します。

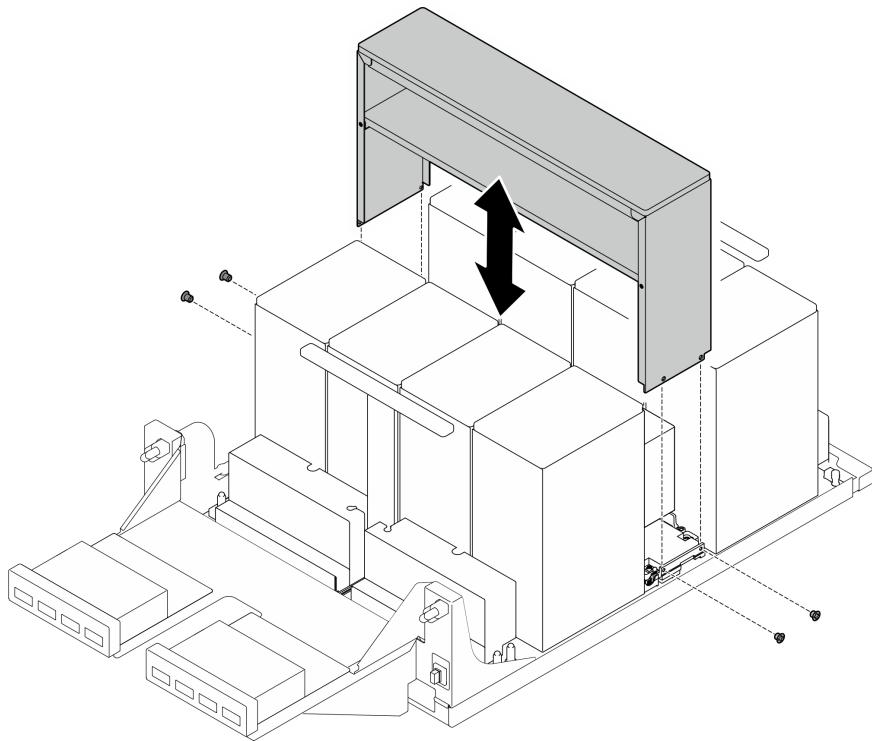


図 98. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り付け

完了したら

- ケーブルを GPU ベースボードに再接続します。詳しくは、323 ページの「GPU ベースボードのケーブル配線」および 329 ページの「OSFP カードのケーブル配線」を参照してください。

注：OSFP カード UltraPass および側波帶ケーブルを接続し直すには、195 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り付け」の手順 4 ~ 8 を参照してください。

- GPU シャトルを再度取り付けます。134 ページの「GPU シャトルの取り付け」を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」を参照してください。
- システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
- 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

GPU 複合システム・アダプター・プレートの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り付けまたは取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要：このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り外し

GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」を参照してください。
- GPU シャトルを取り外します。128 ページの「GPU シャトルの取り外し」を参照してください。
- GPU ベースボードからケーブルを外します。

注：UltraPass ケーブルを取り外すには、手順 3 ~ 6 (186 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り外し」) を参照してください。

ステップ 2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り外します。

- カバーを固定している 4 本のねじを緩めます。
- ヒートシンクから持ち上げて外します。

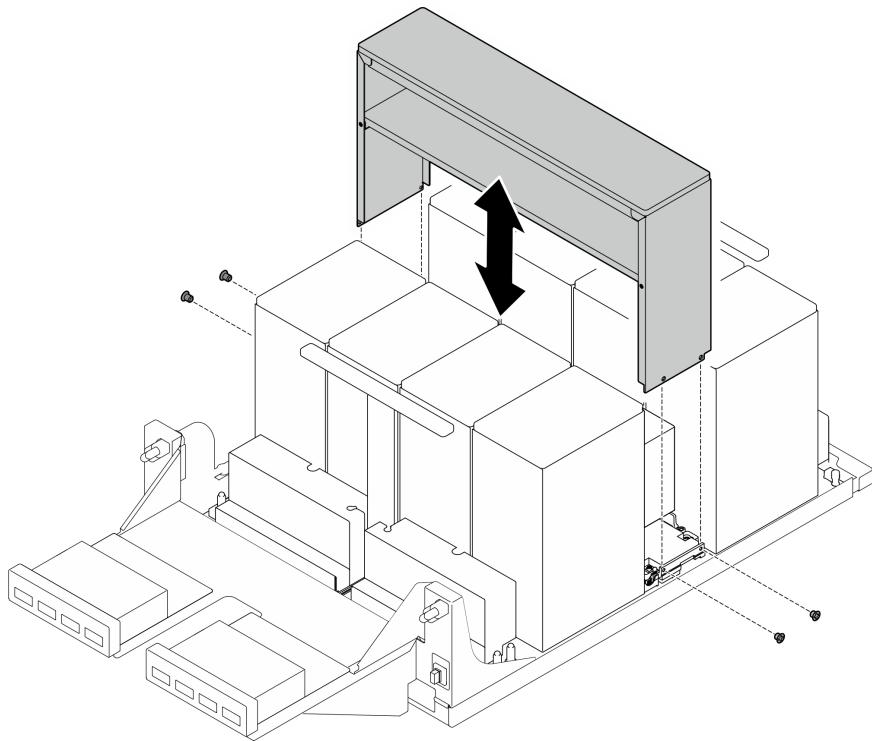


図99. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り外し

ステップ3. GPU ベースボードの17本のTorx T15拘束ねじを緩めます。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

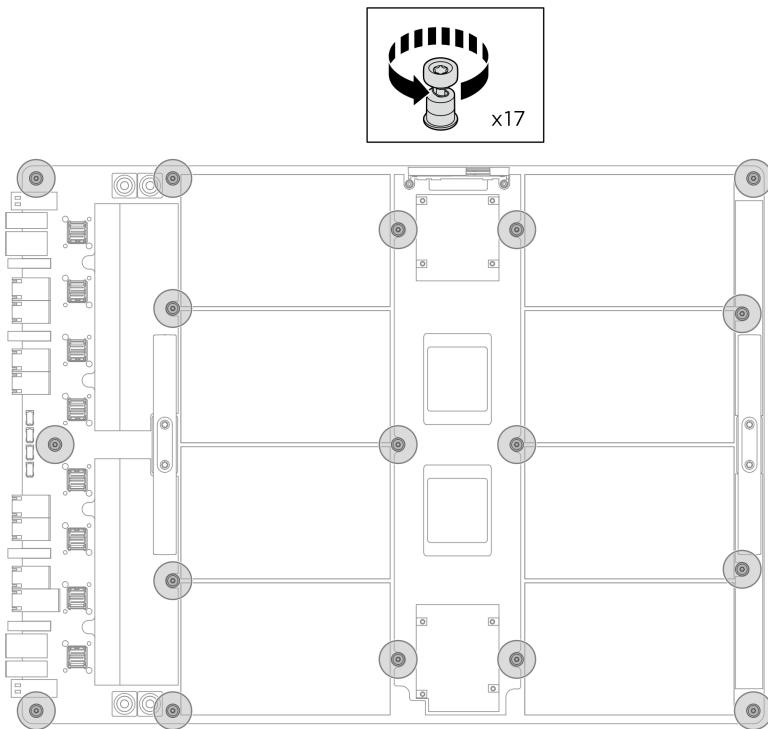


図 100. ねじの取り外し

ステップ 4. GPU 複合システムを取り外します。

- ① GPU ベースボードの両側にある 2 つのハンドルを伸ばします。
- ② 2 つのハンドルを持ち、GPU 複合システムを持ち上げて GPU シャトルから取り出します。

注意: GPU 複合システムの両側に 2 人が立っていることを確認し、2 つのハンドルを持って持ち上げます。

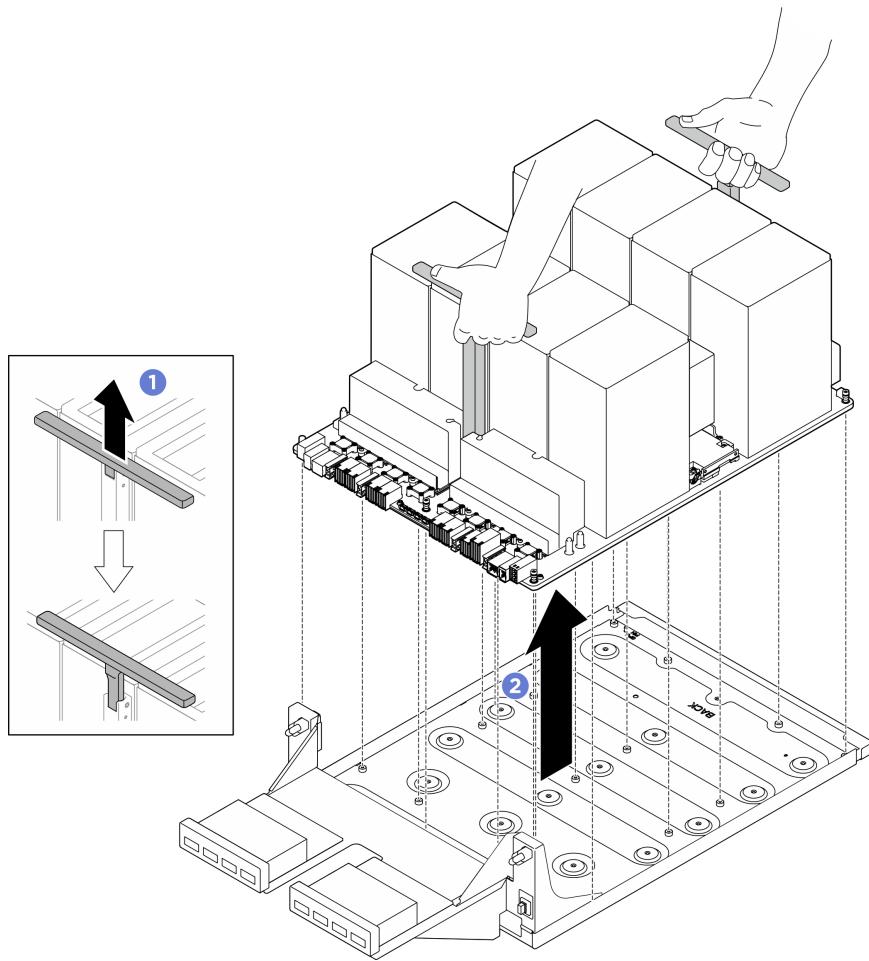


図101. GPU複合システムの取り外し

ステップ5. GPU複合アダプター・プレートの18本のねじを緩めます。次に、アダプター・プレートを持ち上げてGPUシャトル・ベースから取り出します。

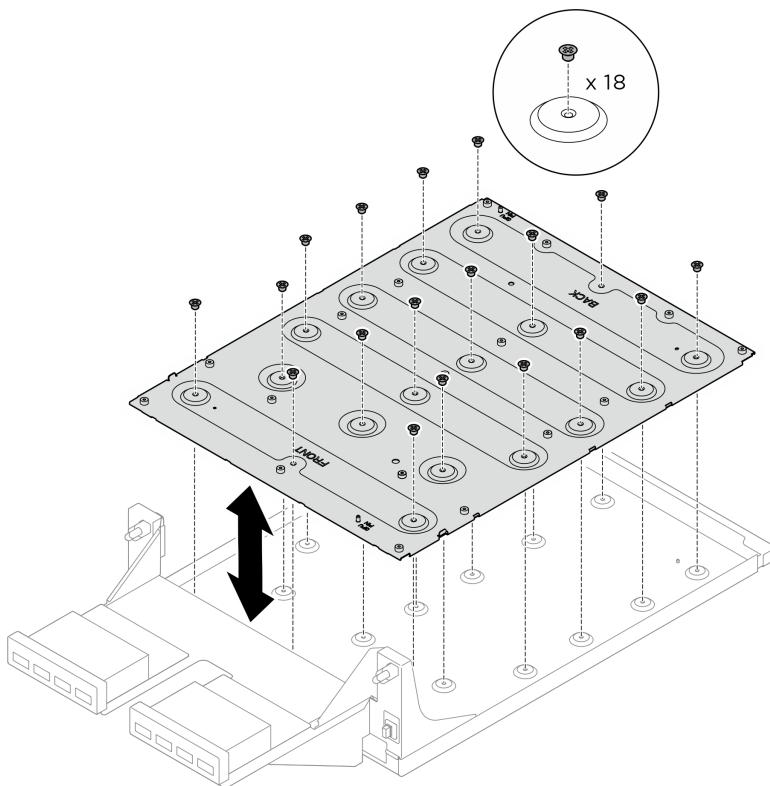


図 102. GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り付け

GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットトリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 拡張 ビット (長さ 300 mm) 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. GPU 複合アダプター・プレートを GPU シャトル・ベースに合わせ、ベースの上にアダプター・プレートを取り付けます。

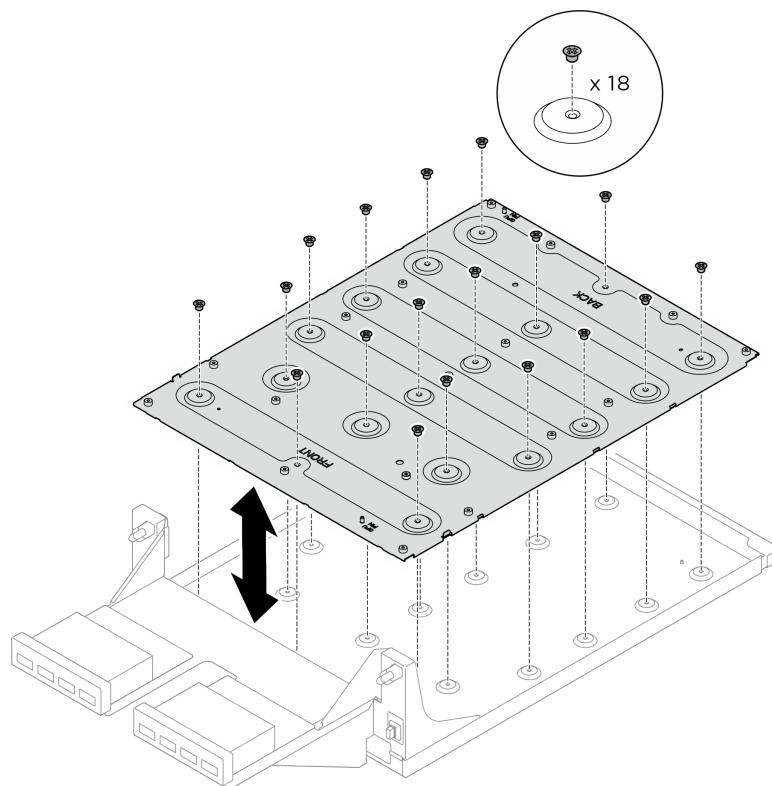


図 103. GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り付け

ステップ 2. 以下の図に示す順序に従って、18 本のねじを締め付けて GPU 複合アダプター・プレートを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締めるために必要なトルクは 0.5 ニュートン・メーター、4.3 インチ・ポンドです。

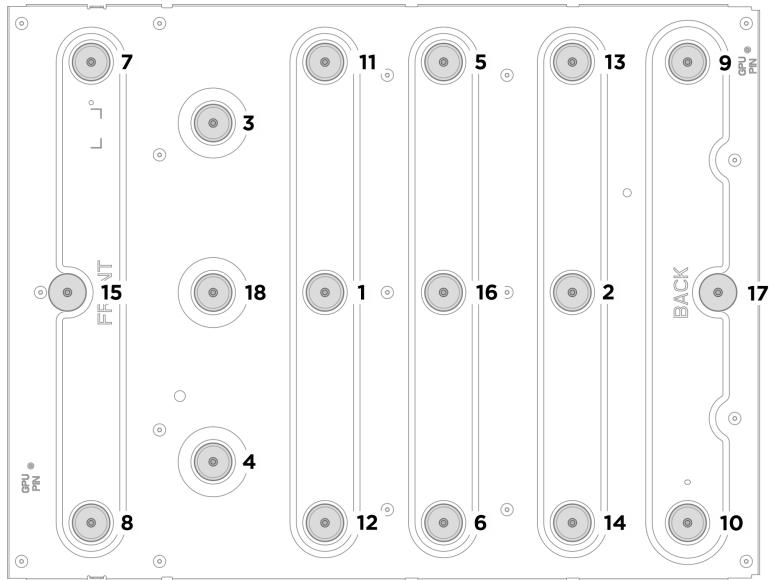


図 104. ねじの締め付け順序

ステップ3. GPU 複合システムを取り付けます。

- a. ① GPU ベースボードの両側にあるハンドルを図のように正しい向きで持ちます。次に、GPU 複合システムをアダプター・プレートに合わせて位置を調整し、慎重にアダプター・プレート上に置きます。
- b. ② 2つのハンドルを押し下げます。

注意：GPU 複合システムの両側に 2 人が立っていることを確認し、2 つのハンドルを持って持ち上げます。

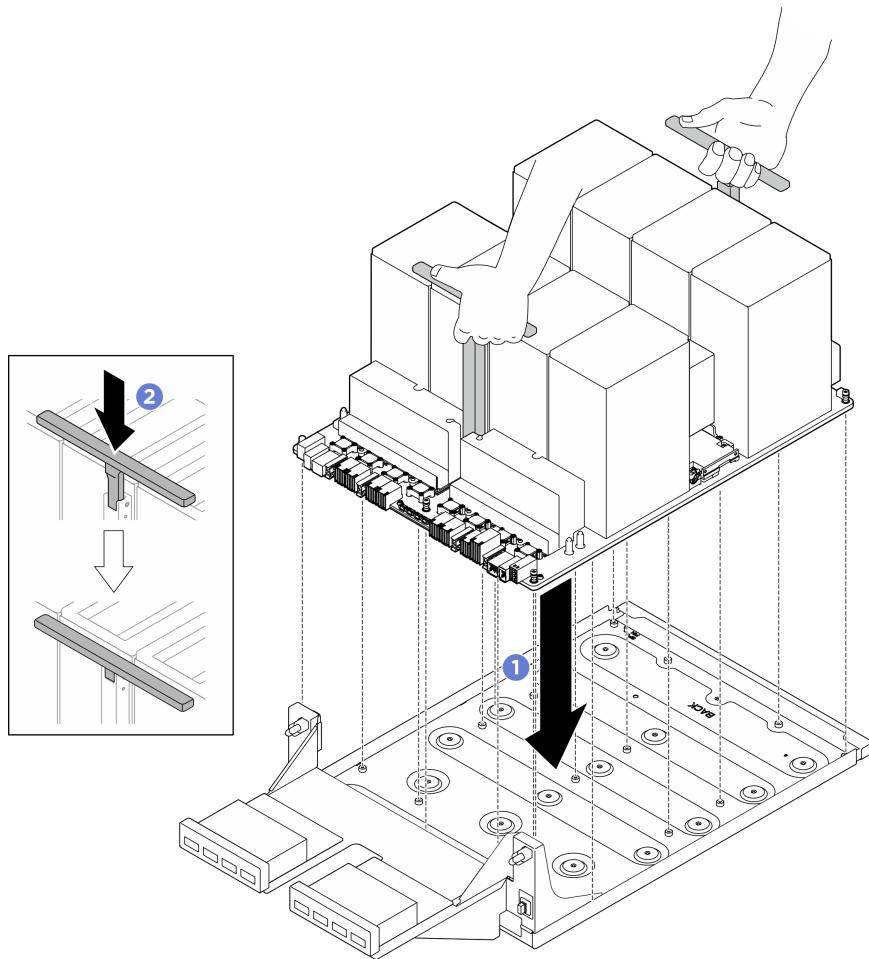


図 105. GPU 複合システムの取り付け

ステップ4. 以下の図に表示されている順序に従って、17 本の Torx T15 拘束ねじを締めて GPU 複合システムを固定します。

重要 : 損傷を避けるためにねじを締め過ぎないようにしてください。

注 : トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

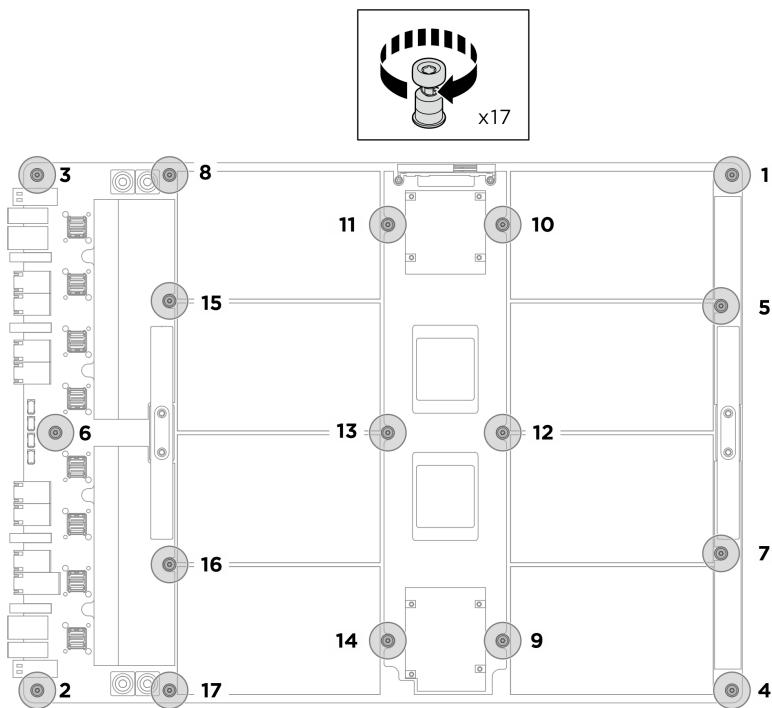


図 106. ねじの取り付け

ステップ 5. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り付けます。

- ヒートシンクにカバーを置きます。
- 4 本のねじを締め付け、カバーを固定します。

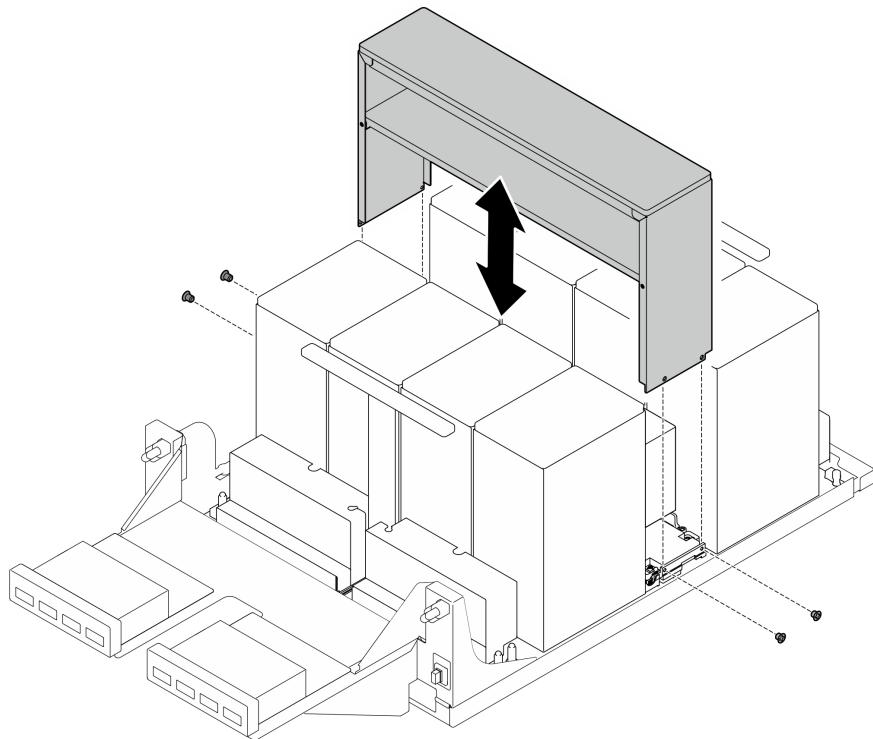


図 107. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り付け

完了したら

- ケーブルを GPU ベースボードに再接続します。詳しくは、323 ページの「GPU ベースボードのケーブル配線」および 329 ページの「OSFP カードのケーブル配線」を参照してください。

注：OSFP カード UltraPass および側波帶ケーブルを接続し直すには、195 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り付け」の手順 4 ~ 8 を参照してください。

- GPU シャトルを再度取り付けます。134 ページの「GPU シャトルの取り付け」を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」を参照してください。
- システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
- 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

GPU および ヒートシンク・モジュールの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

GPU およびヒートシンク・モジュールの取り付けまたは取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要：このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

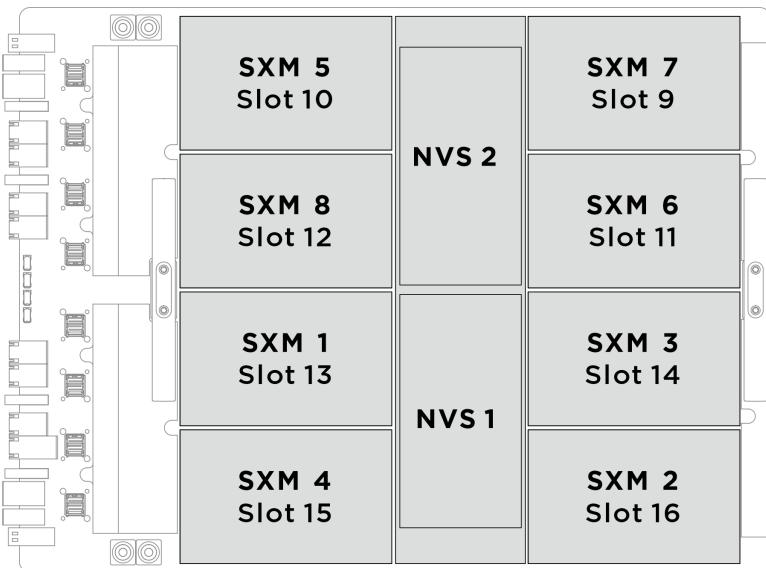
GPU およびヒートシンク・モジュールの取り外し

GPU およびヒートシンク・モジュールの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。
- GPU および GPU ベースボードのコネクターおよびソケットを必ず検査してください。GPU または GPU ベースボードのコネクターが破損しているか足りない場合、あるいはソケットに異物がある場合は、GPU または GPU ボードを使用しないでください。取り付け手順を続行する前に、GPU または GPU ベースボードを新しいものと交換してください。
- GPU およびヒートシンクは 1 つの部品です。GPU からヒートシンクを取り外さないでください。
- 次の表は、物理 GPU ソケット、XCC のスロット番号、および nvidia-smi のモジュール ID のマッピング情報を示しています。



物理 GPU ソケット	XCC のスロット番号付け
SXM 1	スロット 13
SXM 2	スロット 16
SXM 3	スロット 14
SXM 4	スロット 15

物理 GPU ソケット	XCC のスロット番号付け
SXM 5	スロット 10
SXM 6	スロット 11
SXM 7	スロット 9
SXM 8	スロット 12

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 2 本
- Torx T15 拡張ビット（長さ 300 mm）2 本
- B300 治具 1 個

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。[301 ページの「システム・シャトルの取り外し」](#)を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。[260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」](#)を参照してください。
- GPU シャトルを取り外します。[128 ページの「GPU シャトルの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ 2. GPU およびヒートシンク・モジュールからプラスチック・カバーを取り外します。

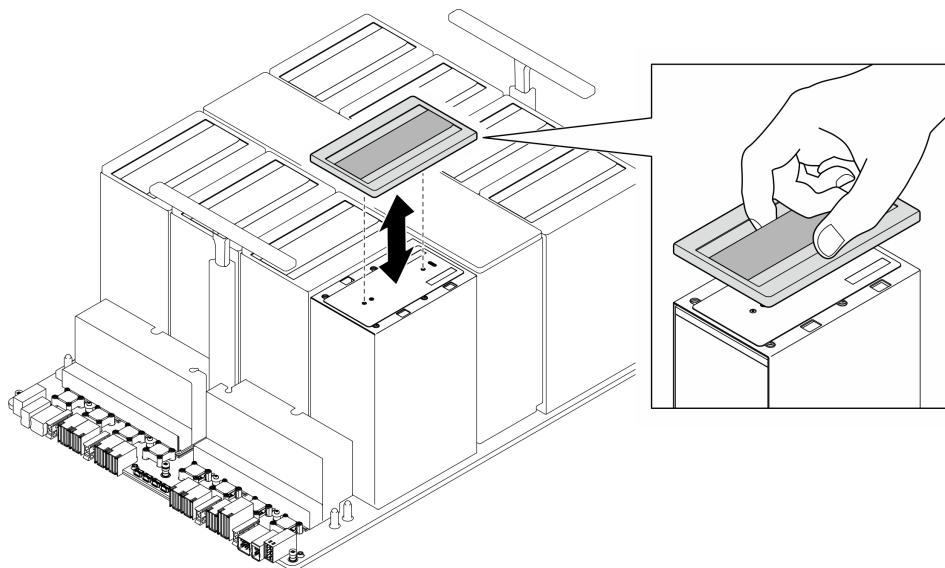


図 108. プラスチック・カバーの取り外し

ステップ 3. 治具を GPU ヒートシンクに合わせ、GPU ヒートシンクにゆっくりと取り付けます。

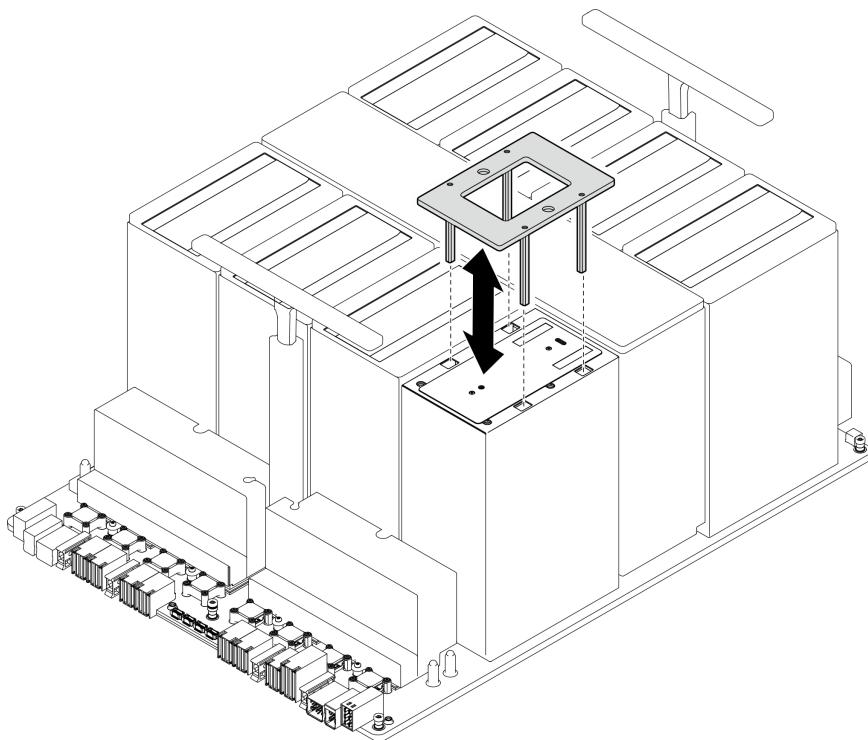


図 109. 治具の取り付け

ステップ4. GPU およびヒートシンク・モジュールから 4 本の Torx T15 ねじを取り外します。

- トルク・ドライバーを 0.81 ニュートン・メーター、7.17 インチ・ポンドに設定します。
- トルク・ドライバーを治具の指定された穴に挿入し、以下の図(① > ② > ③ > ④)に表示されている順序で 4 本のねじを緩めます。

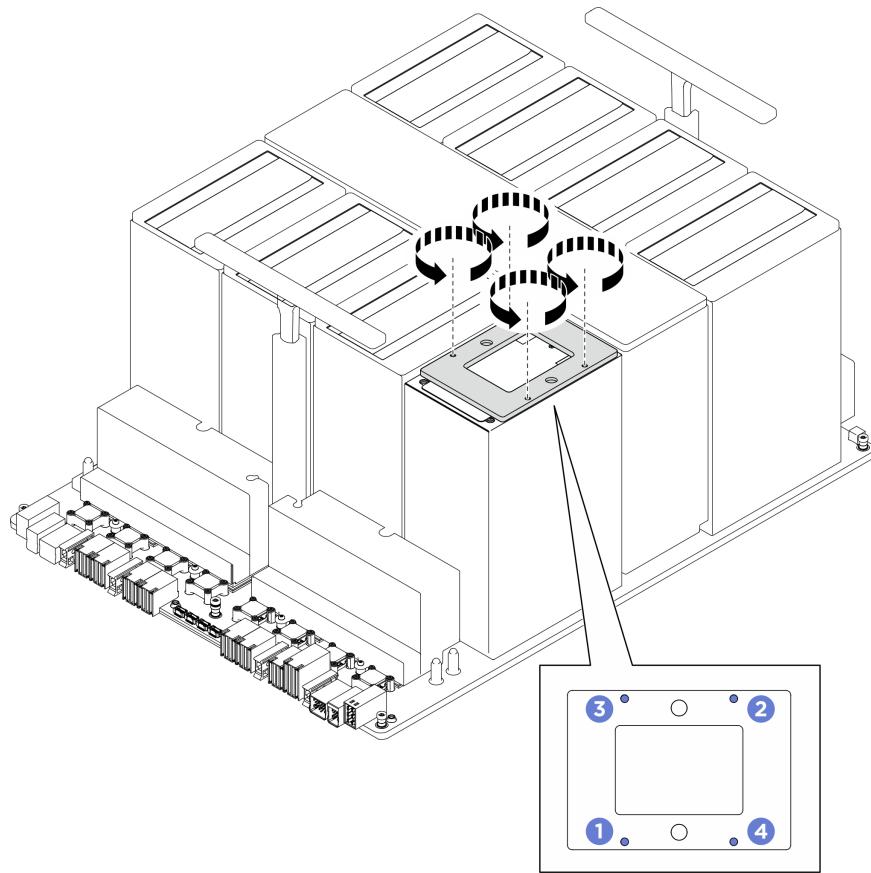


図110. ねじの取り外し

ステップ5. GPU ヒートシンクから治具を取り外します。

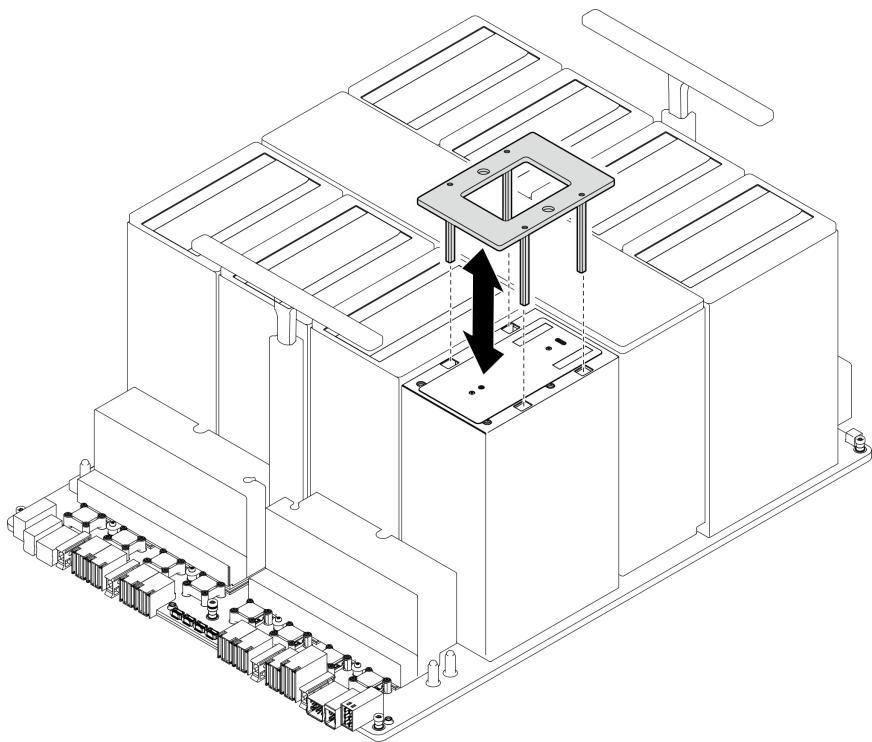


図 111. 治具の取り外し

ステップ 6. 両手で GPU およびヒートシンク・モジュール (1) のくぼんだ部分をつかみ、GPU ベースボードから取り外します。

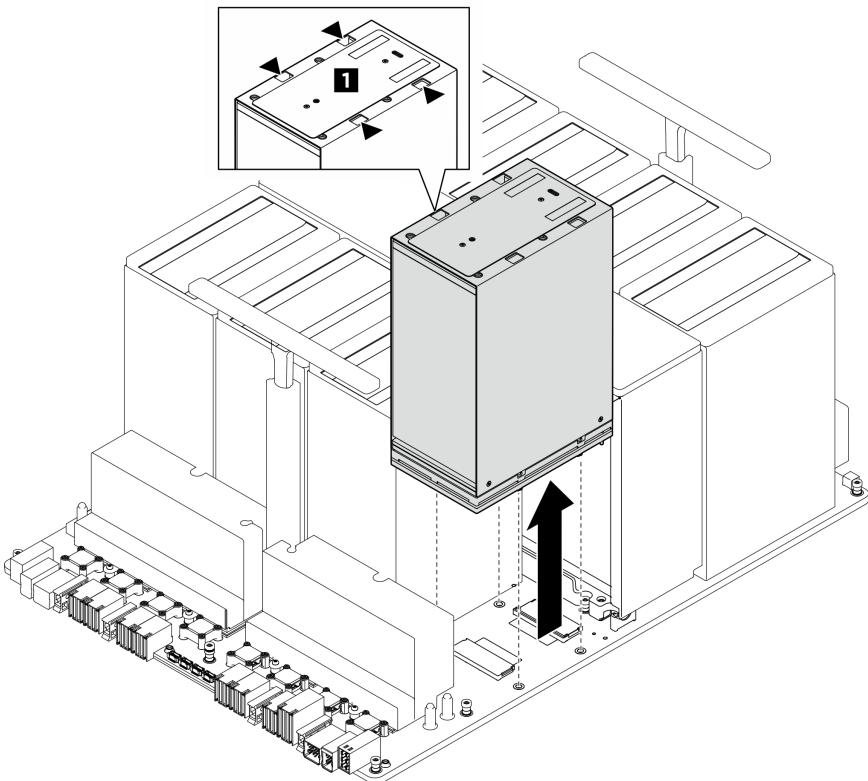


図 112. GPU およびヒートシンク・モジュールの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料の梱包材がある場合はそれを使用してください。

GPU およびヒートシンク・モジュールの取り付け

GPU とヒートシンク・モジュールを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

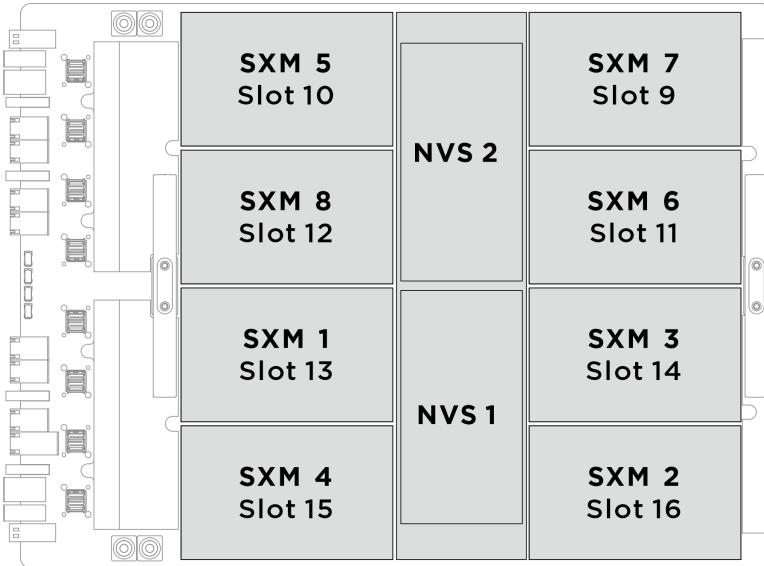
このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。
- GPU および GPU ベースボードのコネクターおよびソケットを必ず検査してください。GPU または GPU ベースボードのコネクターが破損しているか足りない場合、あるいはソケットに異物がある場合は、

GPU または GPU ボードを使用しないでください。取り付け手順を続行する前に、GPU または GPU ベースボードを新しいものと交換してください。

- GPU およびヒートシンクは1つの部品です。GPU からヒートシンクを取り外さないでください。
- 次の表は、物理 GPU ソケット、XCC のスロット番号、および nvidia-smi のモジュール ID のマッピング情報を示しています。



物理 GPU ソケット	XCC のスロット番号付け
SXM 1	スロット 13
SXM 2	スロット 16
SXM 3	スロット 14
SXM 4	スロット 15
SXM 5	スロット 10
SXM 6	スロット 11
SXM 7	スロット 9
SXM 8	スロット 12

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 2 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 2 本
- B300 治具 1 個

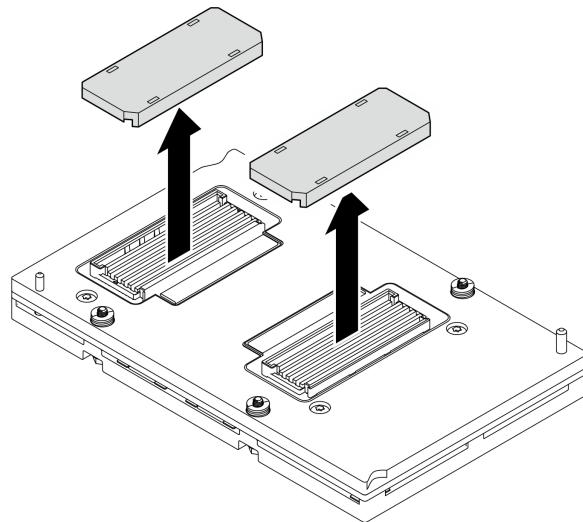
ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、
<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

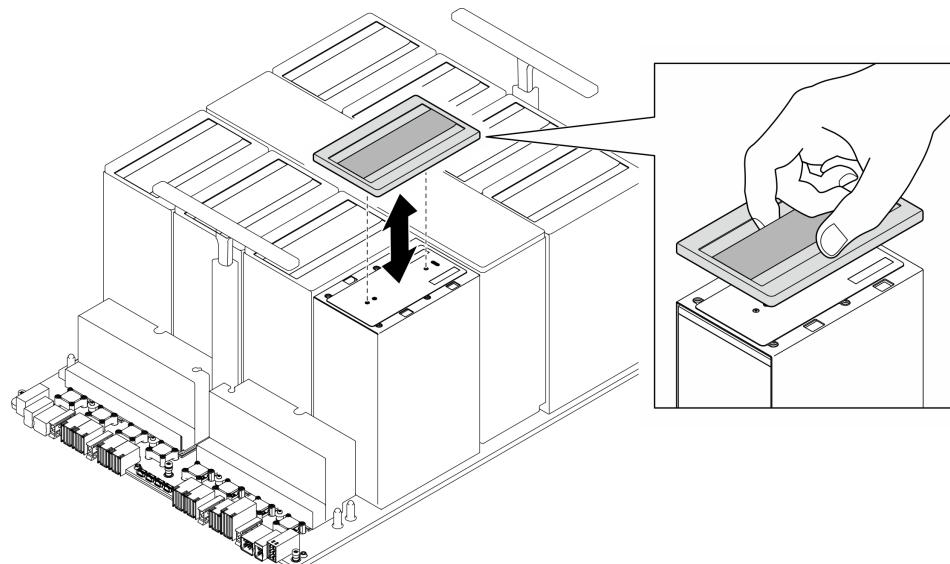
手順

ステップ1. (オプション) 新しいGPUおよびヒートシンク・モジュールに対して、以下の手順を実行します。

- 下部のコネクター・カバーを取り外します。



- ヒートシンクから保護フィルムを取り外します。
- ヒートシンクからプラスチック・カバーを取り外します。



ステップ2. 両手でGPUとヒートシンク・モジュール(1)のくぼんだ部分をつかみ、モジュールをGPUベースボードの2つのガイド穴に合わせ、GPUベースボードに静かに配置します。

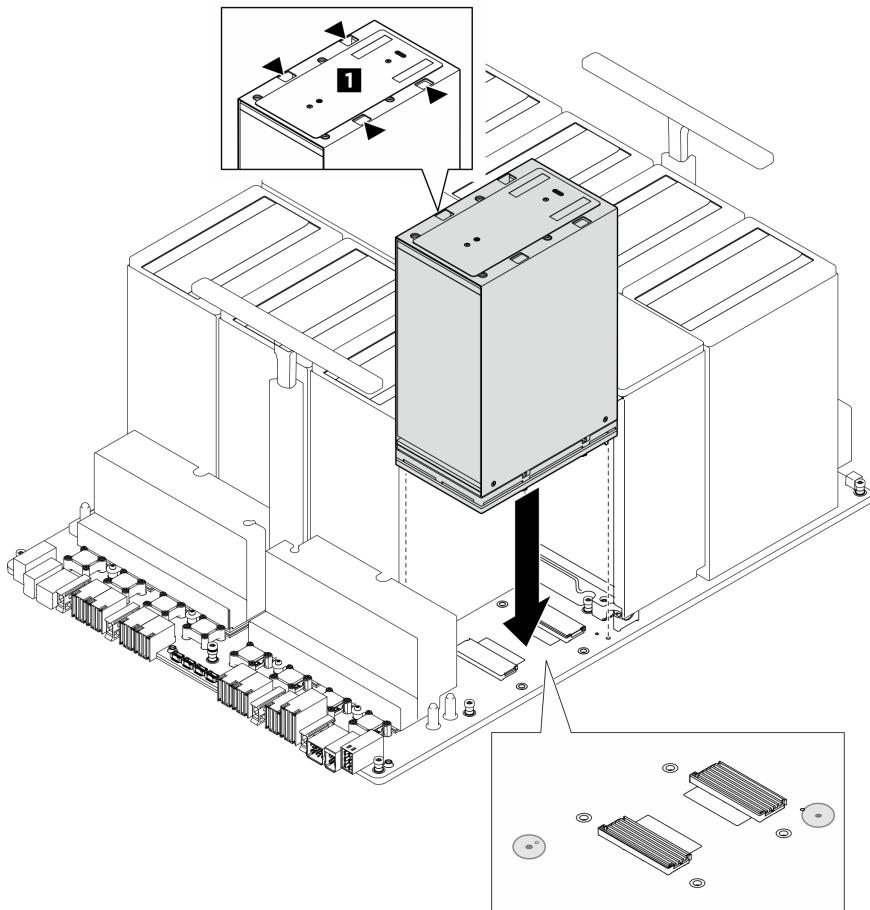


図 113. GPU およびヒートシンクモジュールの取り付け

ステップ3. 治具を GPU ヒートシンクに合わせ、GPU ヒートシンクにゆっくりと取り付けます。

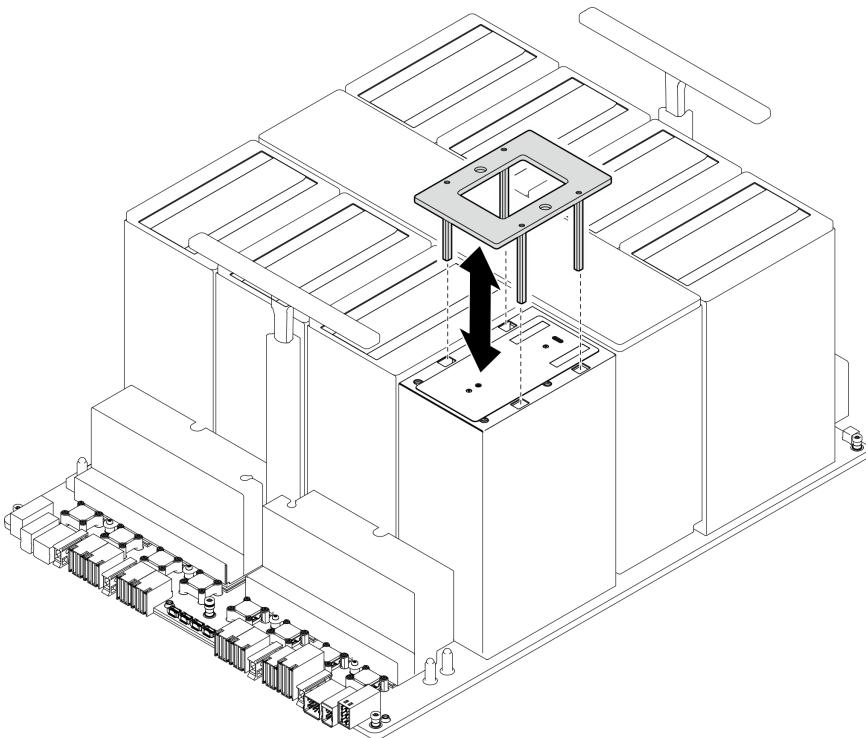


図 114. 治具の取り付け

ステップ 4. 4 本の Torx T15 ネジを取り付けて、GPU とヒートシンク・モジュールを固定します。

a. 最初のトルク設定:

1. トルク・ドライバーを 0.11 ± 0.011 ニュートン・メーター、 0.97 ± 0.097 インチ・ポンドに設定します。
2. 2 本のドライバーを治具の指定された穴に挿入し、2 本の斜めねじ (1) を数ラウンド同時に締めます。
3. 2 本のドライバーを治具の指定された穴に挿入し、2 本の斜めねじ (2) を数ラウンド同時に締めます。

b. 第 2 トルク設定:

1. トルク・ドライバーを 0.78 ± 0.031 ニュートン・メーター、 6.90 ± 0.274 インチ・ポンドに設定します。
2. 2 本のドライバーを治具の指定された穴に挿入し、2 本の斜めねじ (1) を数ラウンド同時に締めます。
3. 2 本のドライバーを治具の指定された穴に挿入し、2 本の斜めねじ (2) を数ラウンド同時に締めます。

c. 最終トルク設定:

1. トルク・ドライバーを 0.81 ± 0.032 ニュートン・メーター、 7.17 ± 0.283 インチ・ポンドに設定します。
2. 2 本のドライバーを治具の指定された穴に挿入し、2 本の斜めねじ (1) を同時に完全に締めます。
3. 2 本のドライバーを治具の指定された穴に挿入し、2 本の斜めねじ (2) を同時に完全に締めます。

注: 2 人で同時にねじを締める必要があります。

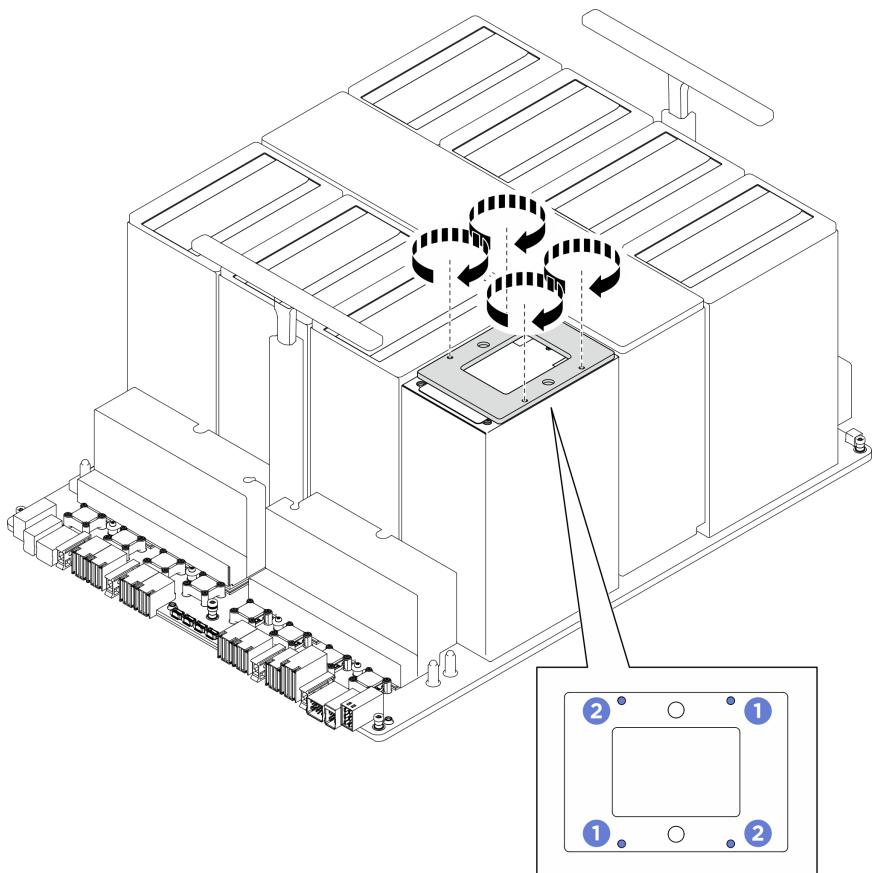


図115. ねじの取り付け

ステップ5. GPU ヒートシンクから治具を取り外します。

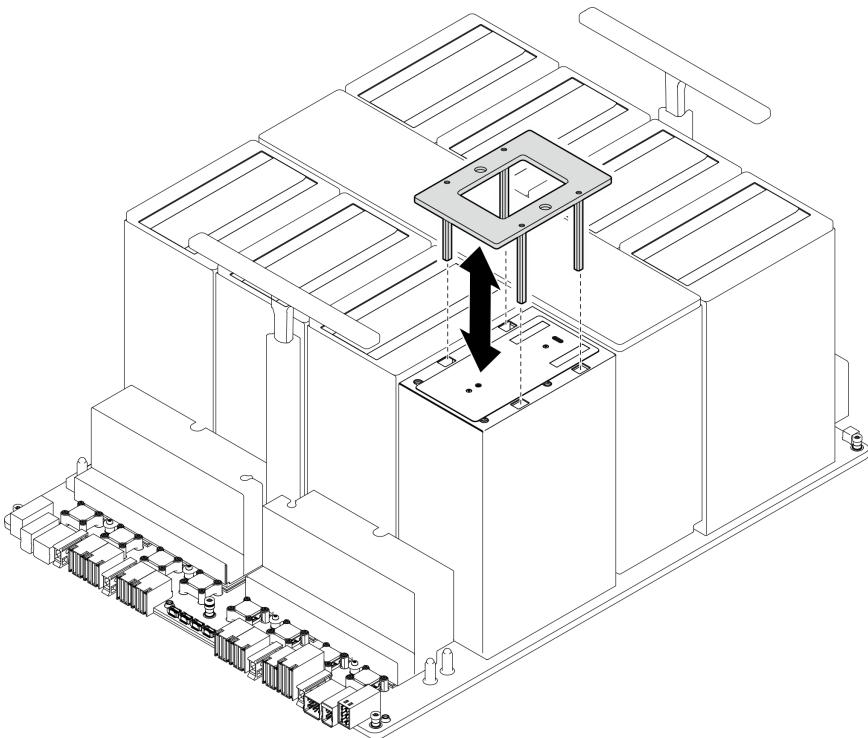


図 116. 治具の取り外し

ステップ 6. プラスチック・カバーを GPU およびヒートシンク・モジュールの上に、しっかりと固定されるまで置きます。

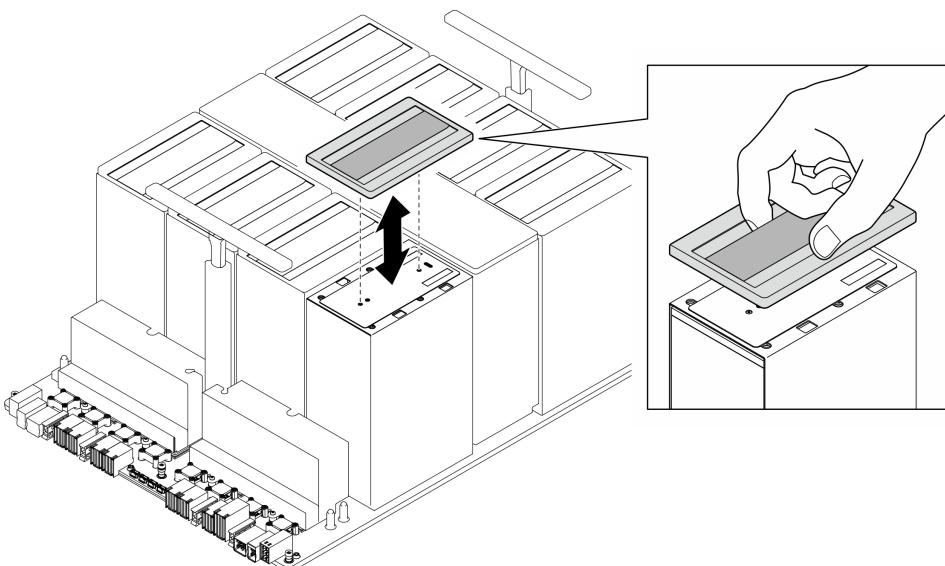


図 117. プラスチック・カバーの取り付け

完了したら

1. GPU シャトルを再度取り付けます。134 ページの「GPU シャトルの取り付け」を参照してください。

- 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」を参照してください。
- システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
- 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

GPU シャトルの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

GPU シャトルの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

GPU シャトルの取り外し

GPU シャトルを取り外すには、このセクションの手順に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注 : コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーが用意されていることを確認してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. リタイマー・ボード・シャトルを GPU シャトルから取り外します。

- ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
- ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
- ③ シャトルを止まるまで少しあくせ、GPU シャトルから取り外します。

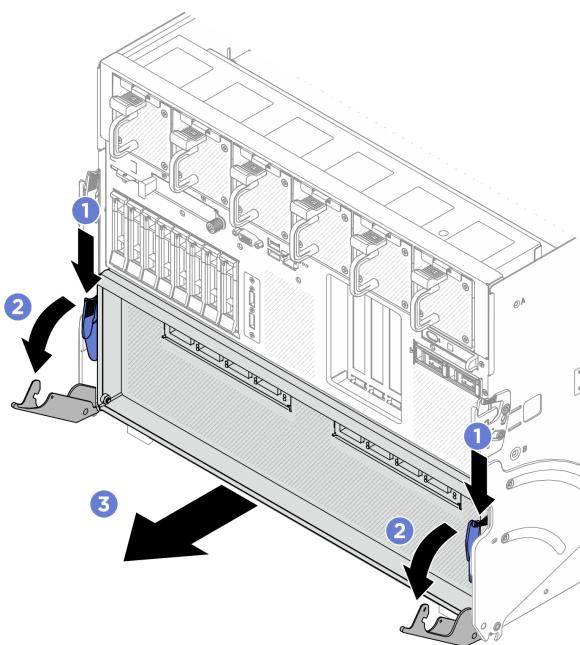


図118. リタイマー・ボードとシャトルの切り離し

ステップ3. GPU シャトルを固定している F-1 マークが付いたねじ 2 本と、F-2 マークが付いたねじ 4 本を緩めます。

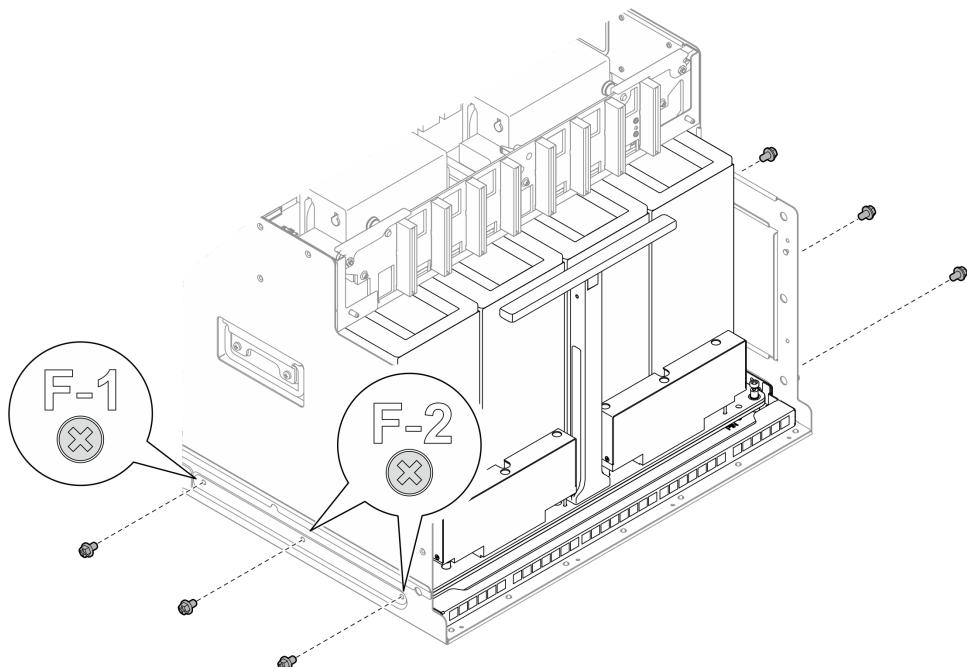


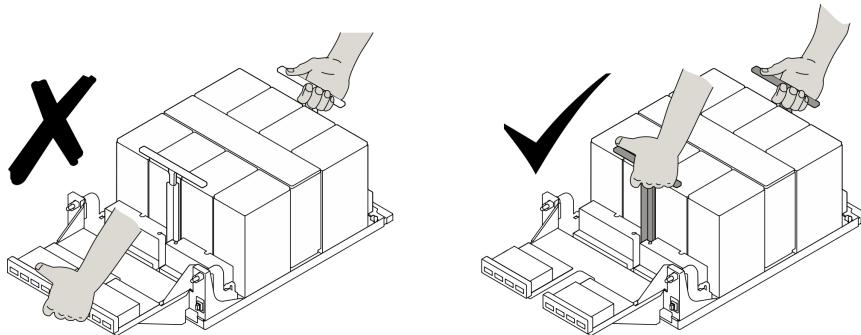
図119. ねじの取り外し

ステップ4. GPU シャトルを取り外します。

- a. ① GPU シャトルの背面にあるブラケット(1)をつかみ、シャトルを途中までスライドさせます。
- b. ② GPU ベースボードの両側にある 2 つのハンドル(2)を伸ばします。
- c. ③ 2 つのハンドル(2)を持ち、GPU シャトルをシステム・シャトルから取り外します。

注：

- OSFP サポート・トレイから GPU シャトルを持ち上げないでください。
- GPU シャトルの両側に 2 人立っていることを確認し、GPU ベースボードの 2 つのハンドルを持って GPU シャトルを取り外します。



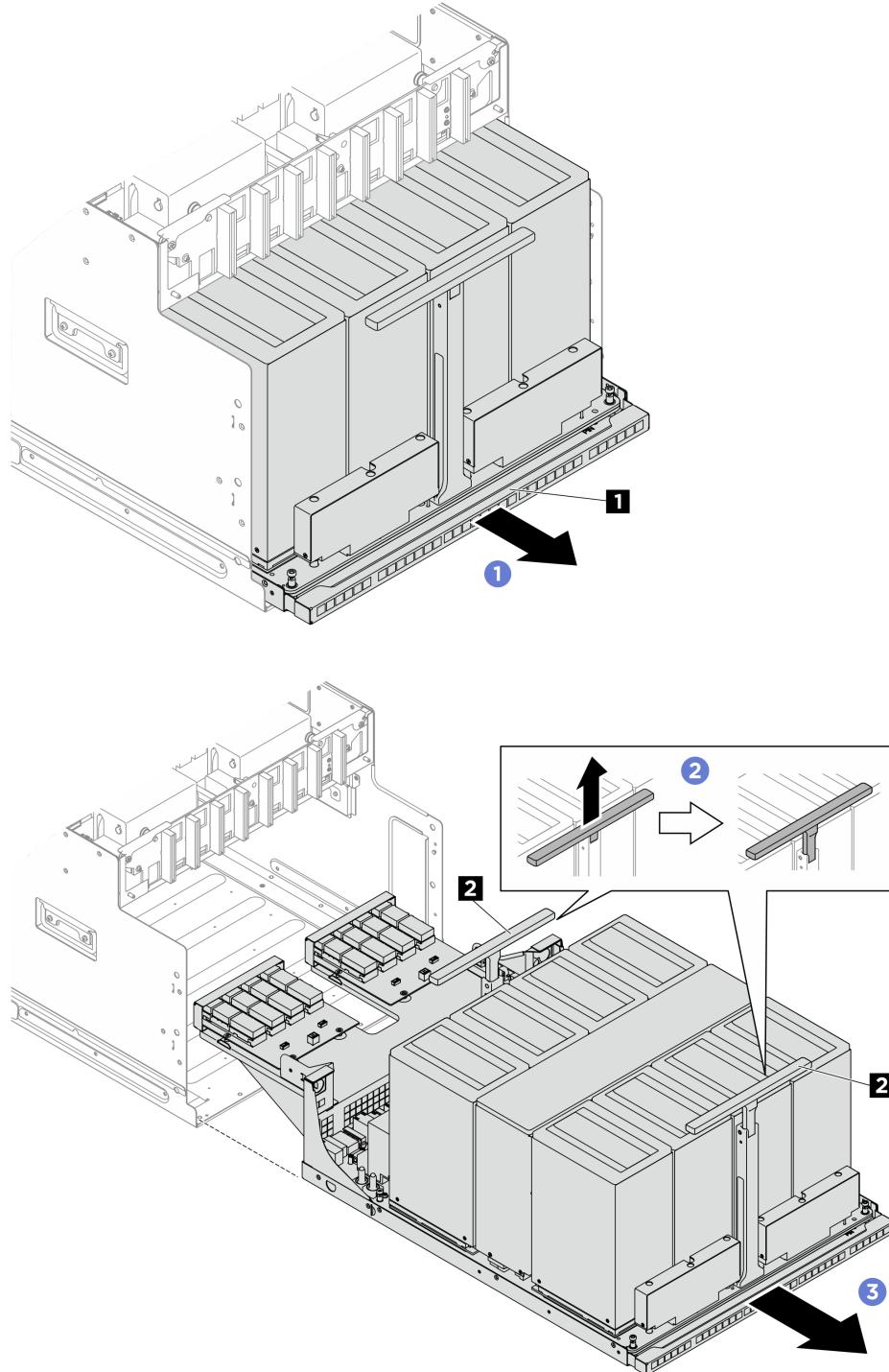


図120. GPU シャトルの取り外し

ステップ5. GPU 電源ケーブルのみを交換するには、次の手順を実行します。

- GPU 電源ケーブルの取り外し:

1. OSFP サポート・トレイ上の 2 本のねじと 2 個のワッシャーを取り外します。
2. ケーブルを取り外します。

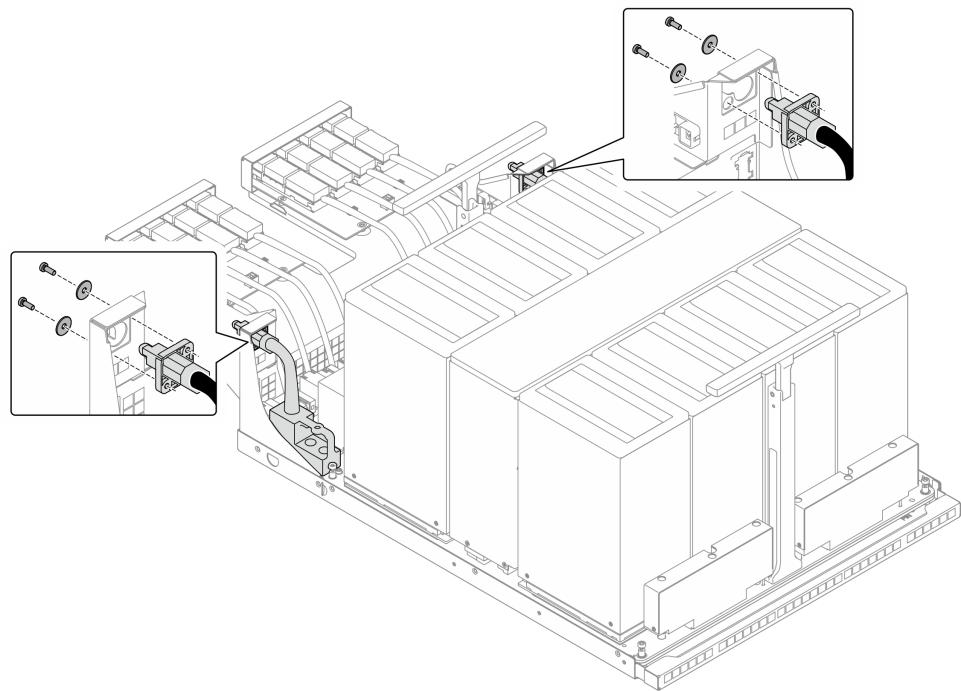


図 121. GPU 電源ケーブルの取り外し

- GPU 電源ケーブルの取り付け:

1. ケーブルを OSFP サポート・トレイ上の穴と位置合わせし、挿入します。
2. 2 個のワッシャーと 2 本のねじを締め付け、ケーブルを固定します。

注: トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締め付けるのに必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

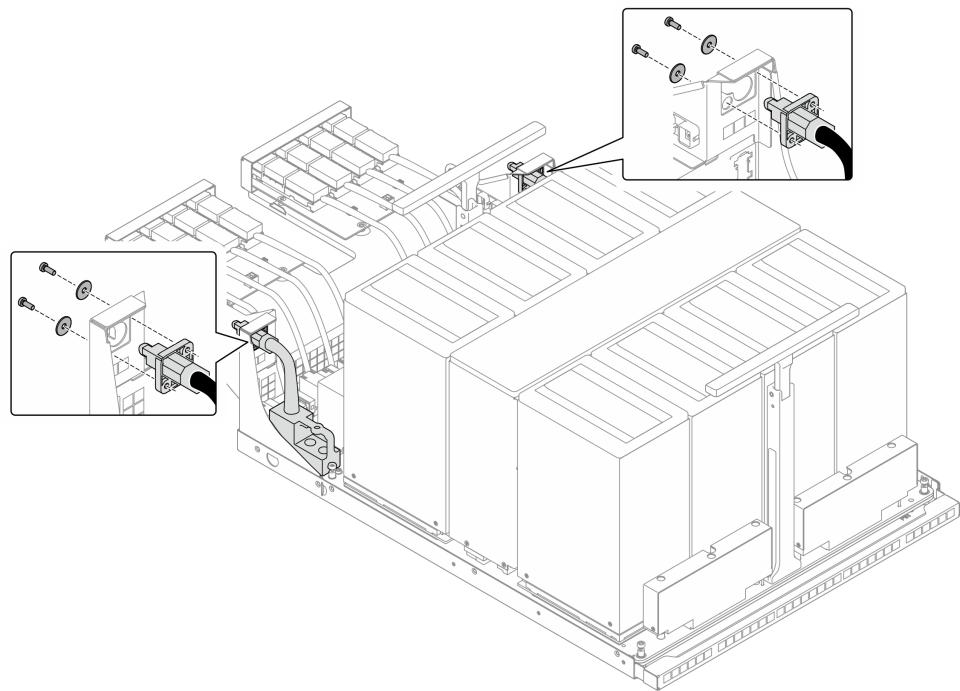


図 122. GPU 電源ケーブルの取り付け

3. ケーブルを GPU ベースボードに接続します。

ステップ 6. OSFP カード側波帶ケーブルのみを交換するには、次の手順に従います。

- OSFP カード側波帶ケーブルの取り外し:

1. Y ケーブルを GPU ベースボードと OSFP カードの両方から取り外します。
2. ケーブルを持ち上げて手前に引き、OSFP サポート・トレイから取り外します。

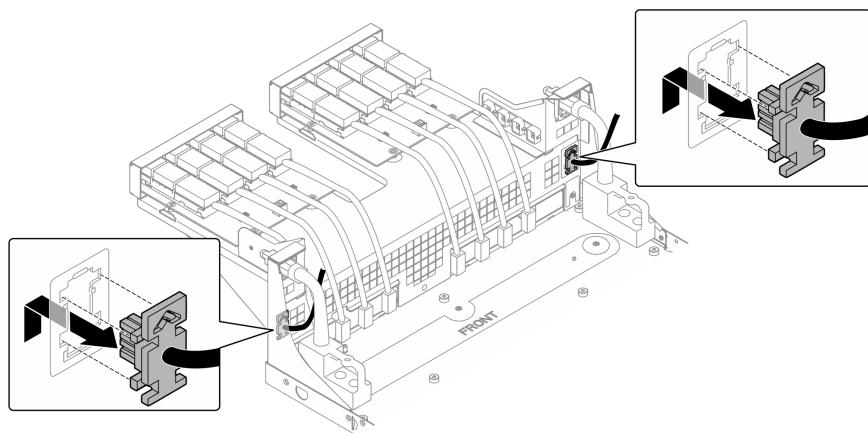


図 123. OSFP カード側波帶ケーブルの取り外し

- OSFP カード側波帶ケーブルの取り付け:

1. ケーブルを OSFP サポート・トレイのスロットに合わせて挿入し、その後、ケーブルを下げる所定の位置に固定します。

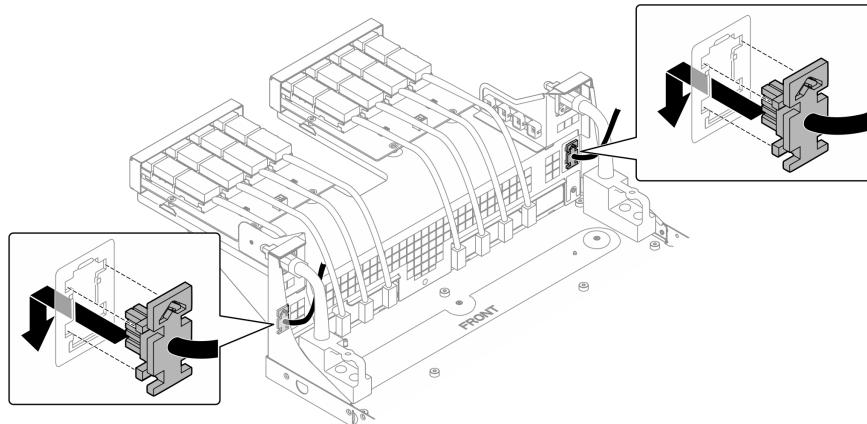


図 124. OSFP カード側波帶ケーブルの取り付け

2. Y ケーブルを GPU ベースボードと OSFP カードの両方に接続します。OSFP カードのケーブル配線を参照してください

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

GPU シャトルの取り付け

GPU シャトルを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーが用意されていることを確認してください。

手順

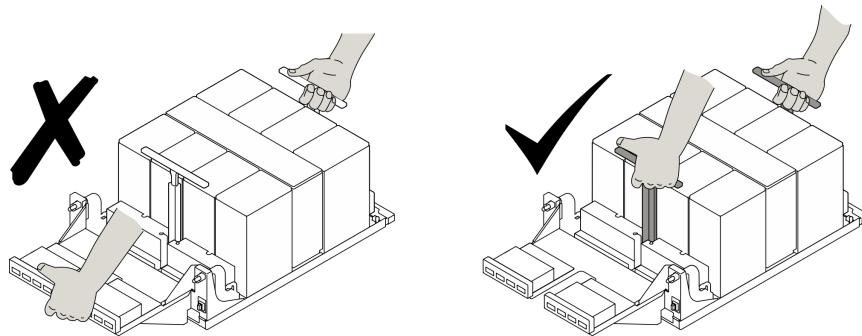
ステップ 1. 3 本の背面ファン制御ボード・ケーブルの自由端を、システム・シャトルの右後隅(背面から見て)の L 字型の端にかけ、損傷を防ぐためにシャトルの外側に出しておきます。

ステップ 2. GPU シャトルを取り付けます。

- a. ① GPU ベースボード上の 2 つのハンドル (1) を使って GPU シャトルを保持します。次に、GPU シャトルをシステム・シャトル背面の開口部に合わせ、途中までゆっくりと挿入します。
- b. ② 2 つのハンドル (1) を押し下げます。
- c. ③ GPU シャトルを、システム・シャトルの背面に刻印された矢印線を通過するまで、完全に押し込みます。

注：

- OSFP サポート・トレイから GPU シャトルを持ち上げないでください。
- GPU シャトルの両側に 2 人が立っていることを確認し、GPU ベースボードの 2 つのハンドルを持って取り付けます。



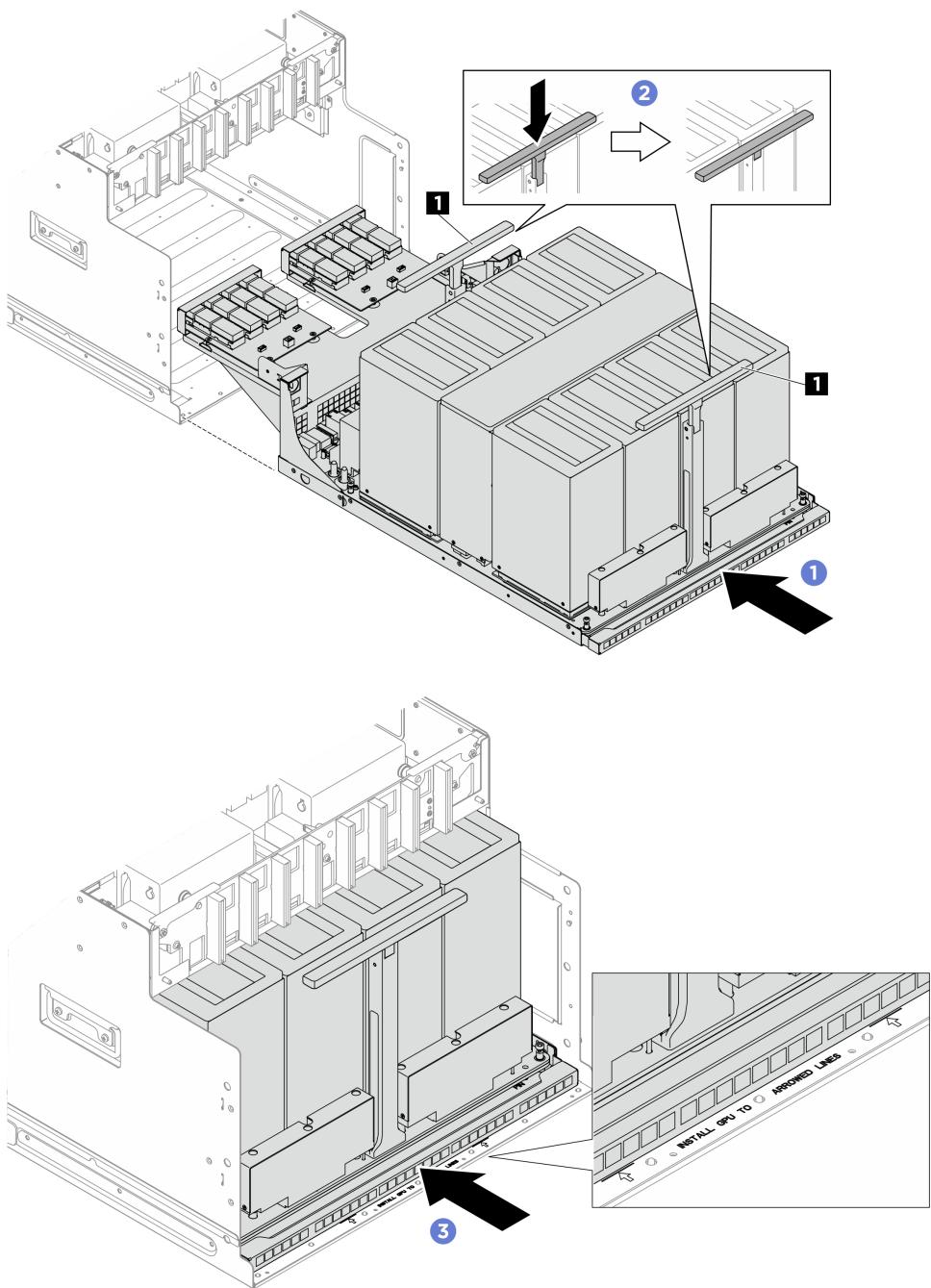


図 125. GPU シャトル取り付け

ステップ3. 6本のネジを次の順序で締め付け、GPU シャトルを固定します。

- ① まず、F-1 とマークされた 2 本のネジを締め付けます。
- ② 次に、F-2 とマークされた 4 本のネジを締め付けます。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締め付けるのに必要なトルクは、1.7 ニュートン・メーター、15 インチ・ポンドです。

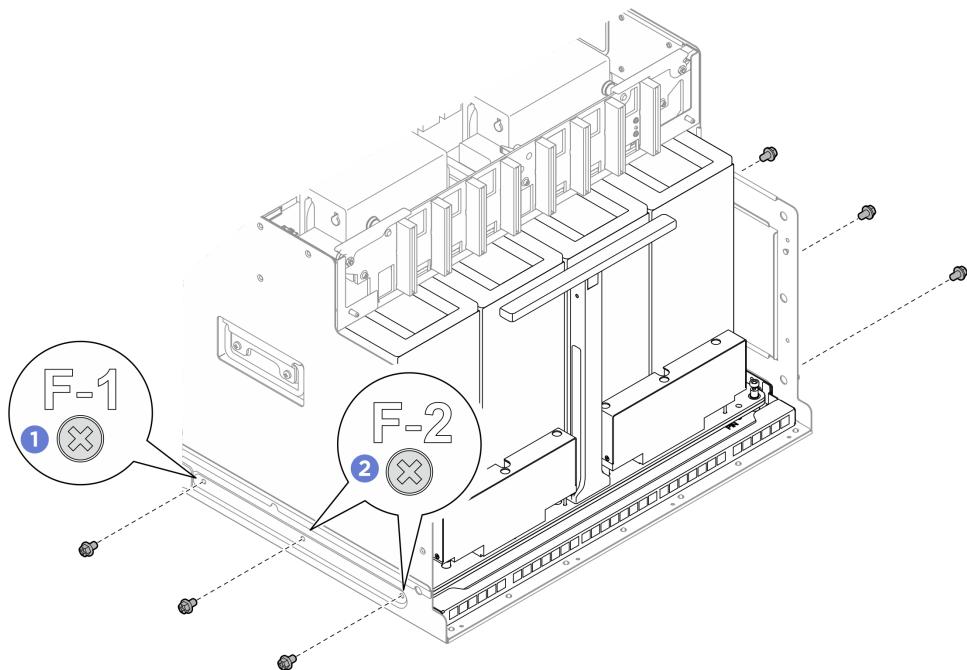


図 126. ねじの取り付け

ステップ4. リタイマー・ボード・シャトルを GPU シャトルに固定します。

- a. ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
- b. ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
- c. ③ リタイマー・ボード・シャトルをシステム・シャトルに奥までスライドさせます。
- d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

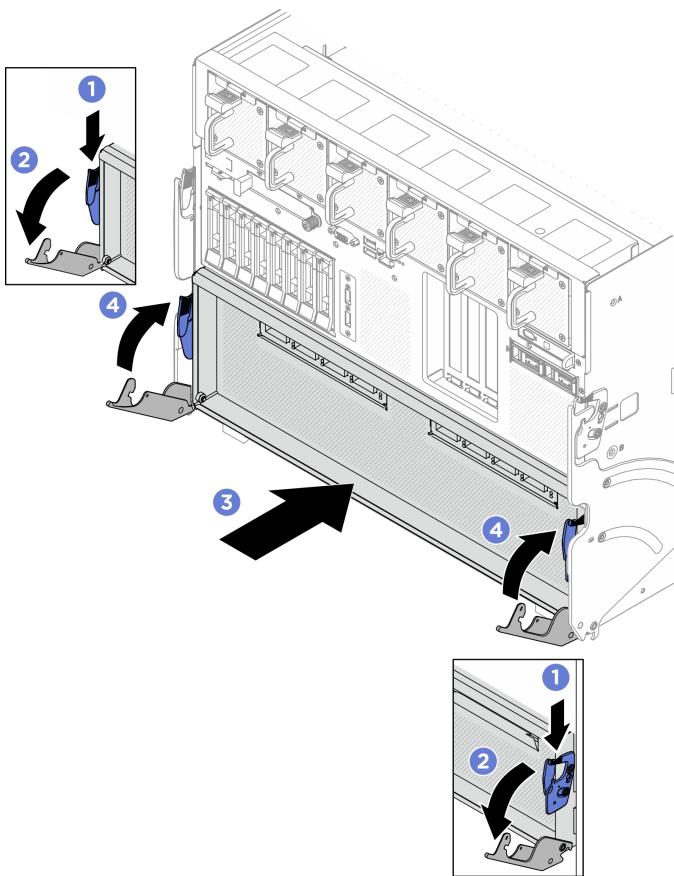


図 127. リタイマー・ボード・シャトルの固定

完了したら

- 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」を参照してください。
- システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
- 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

GPU シャトル・ベースの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

GPU シャトル・ベースの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

GPU シャトル・ベースの取り外し

GPU シャトル・ベースを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dscs.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- b. 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」を参照してください。
- c. GPU シャトルを取り外します。128 ページの「GPU シャトルの取り外し」を参照してください。
- d. OSFP カードとサポート・トレイを取り外します。186 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り外します。

- a. カバーを固定している 4 本のねじを緩めます。
- b. ヒートシンクから持ち上げて外します。

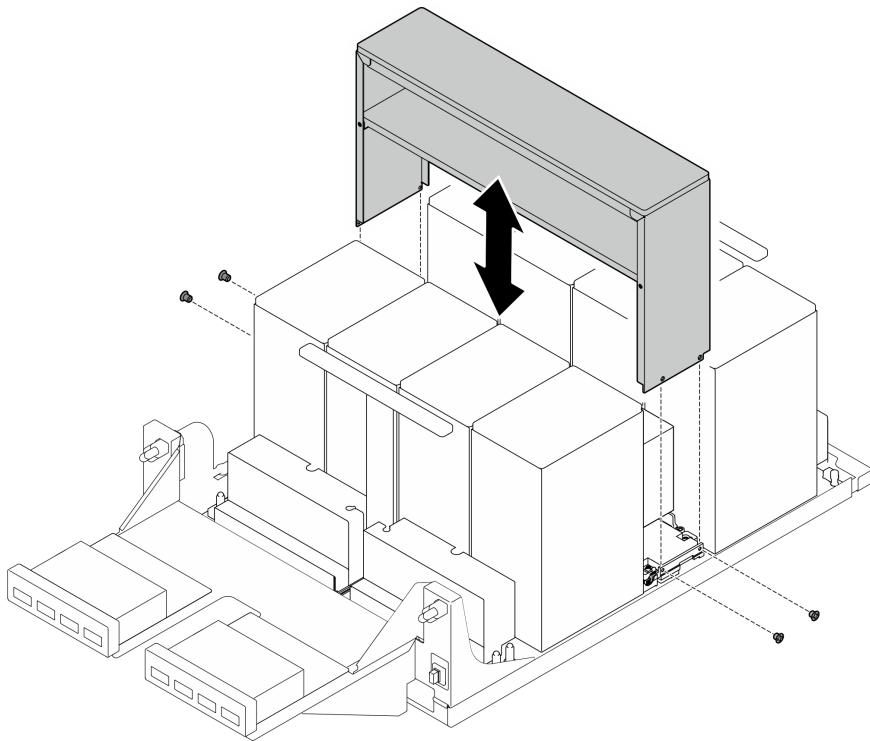


図 128. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り外し

ステップ 3. GPU ベースボードの 17 本の Torx T15 拘束ねじを緩めます。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

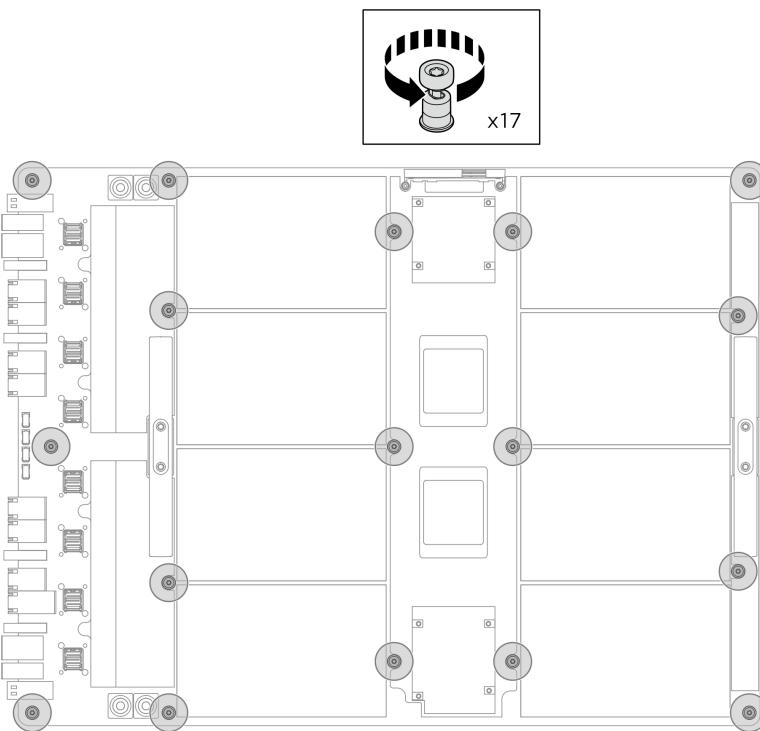


図129. ねじの取り外し

ステップ4. GPU複合システムを取り外します。

- a. ① GPUベースボードの両側にある2つのハンドルを伸ばします。
- b. ② 2つのハンドルを持ち、GPU複合システムを持ち上げてGPUシャトルから取り出します。

注意：GPU複合システムの両側に2人が立っていることを確認し、2つのハンドルを持って持ち上げます。

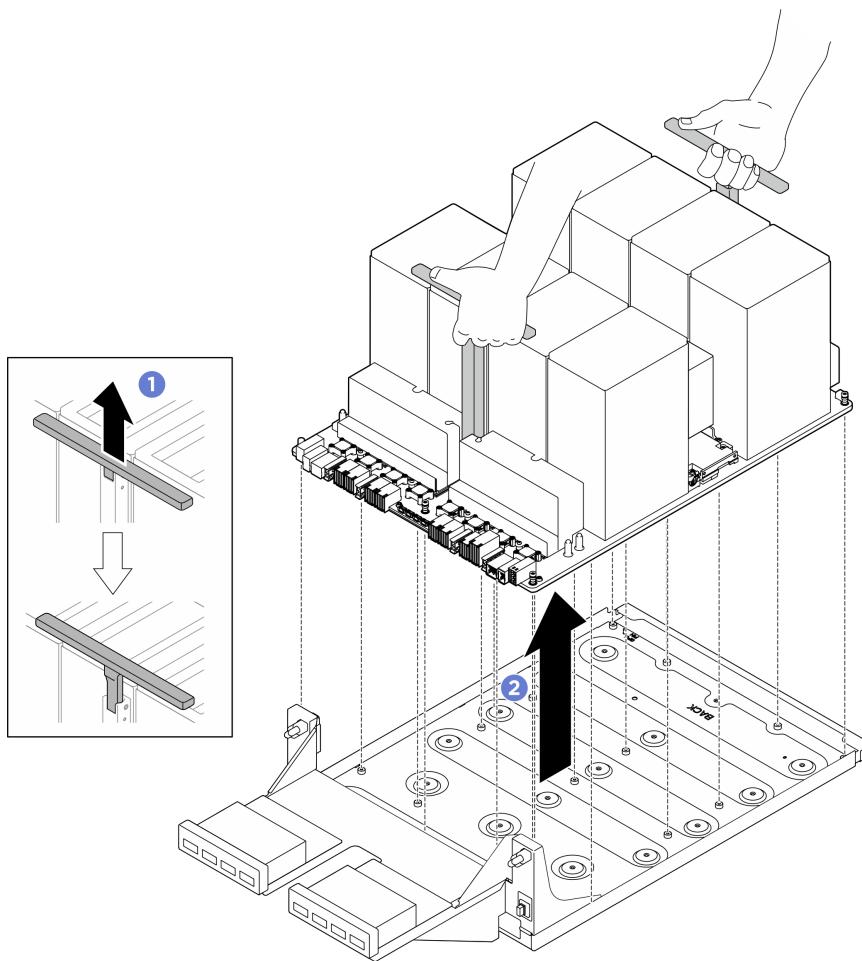


図 130. GPU 複合システムの取り外し

ステップ 5. GPU 複合アダプター・プレートの 18 本のねじを緩めます。次に、アダプター・プレートを持ち上げて GPU シャトル・ベースから取り出します。

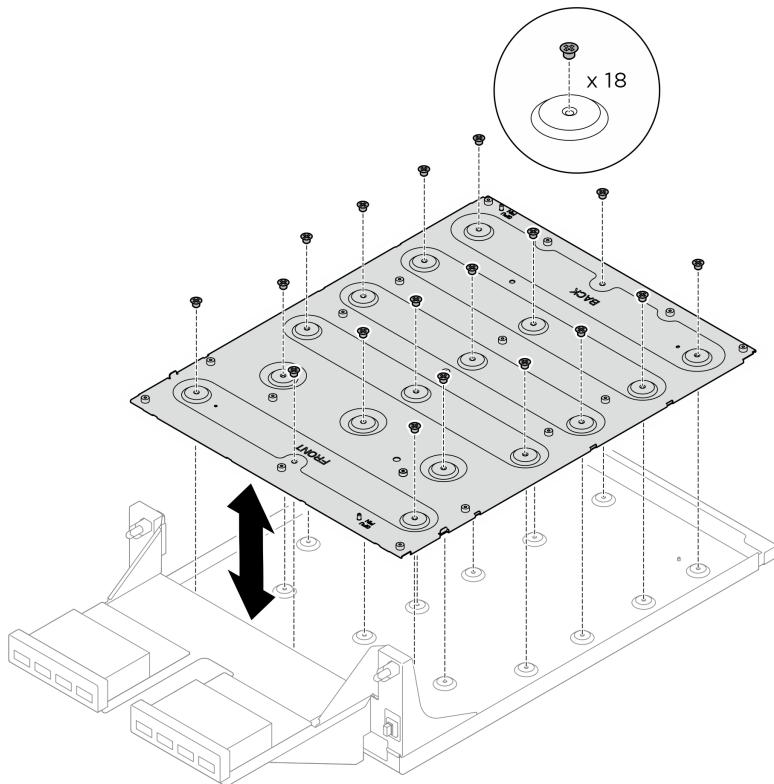


図 131. GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

GPU シャトル・ベースの取り付け

GPU シャトル・ベースを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 拡張ビット (長さ 300 mm) 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. GPU 複合アダプター・プレートを GPU シャトル・ベースに合わせ、ベースの上にアダプター・プレートを取り付けます。

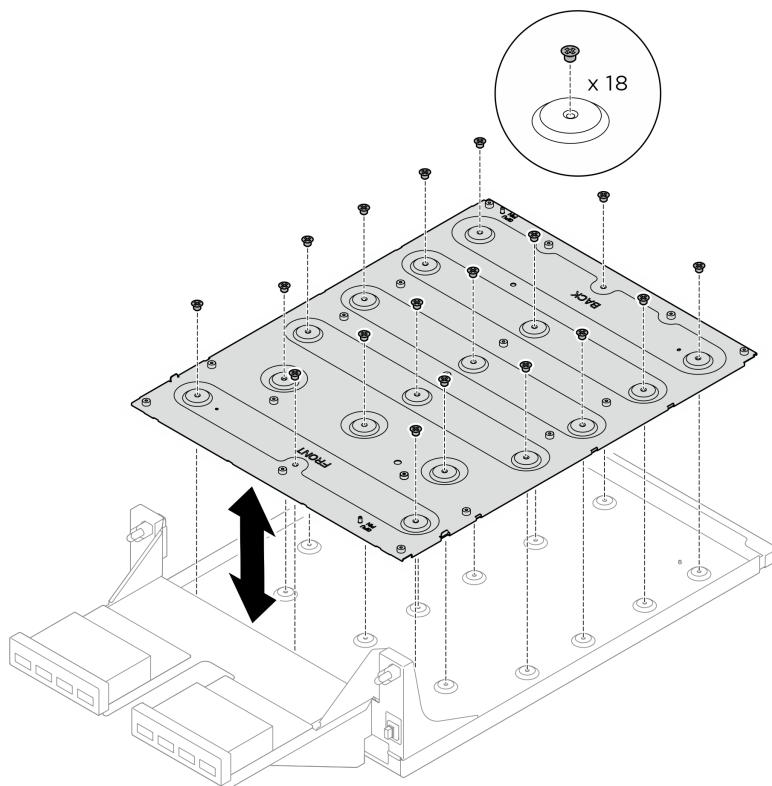


図 132. GPU 複合システム・アダプター・プレートの取り付け

ステップ 2. 以下の図に示す順序に従って、18 本のねじを締め付けて GPU 複合アダプター・プレートを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締めるために必要なトルクは 0.5 ニュートン・メーター、4.3 インチ・ポンドです。

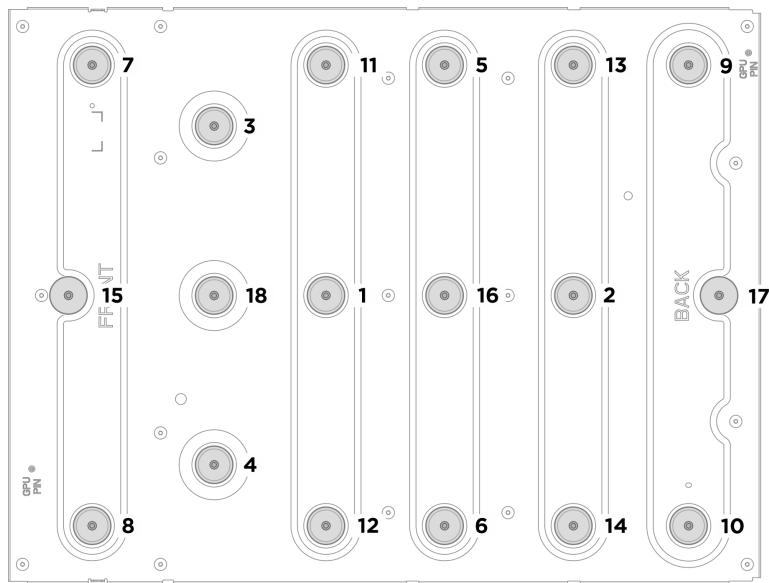


図133. ねじの締め付け順序

ステップ3. GPU複合システムを取り付けます。

- a. ① GPUベースボードの両側にあるハンドルを図のように正しい向きで持ちます。次に、GPU複合システムをアダプター・プレートに合わせて位置を調整し、慎重にアダプター・プレート上に置きます。
- b. ② 2つのハンドルを押し下げます。

注意：GPU複合システムの両側に2人が立っていることを確認し、2つのハンドルを持って持ち上げます。

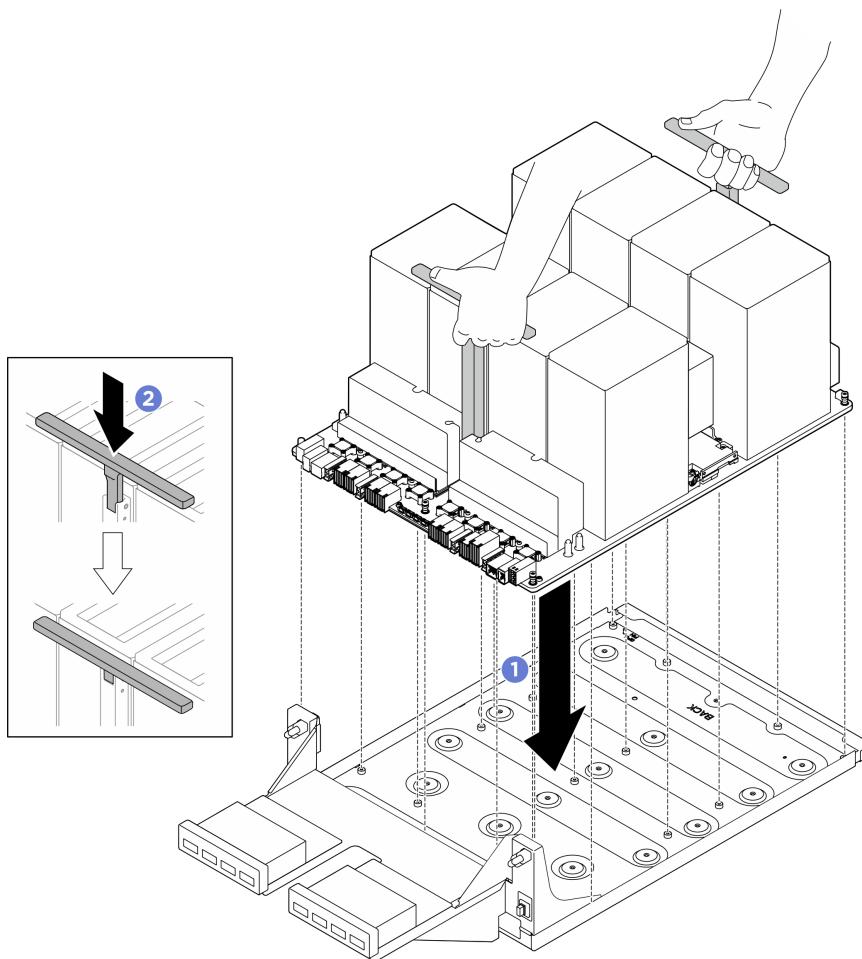


図 134. GPU 複合システムの取り付け

ステップ 4. 以下の図に表示されている順序に従って、17 本の Torx T15 拘束ねじを締めて GPU 複合システムを固定します。

重要 : 損傷を避けるためにねじを締め過ぎないようにしてください。

注 : トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.6 ± 0.024 ニュートン・メーター、 5.3 ± 0.212 インチ・ポンドです。

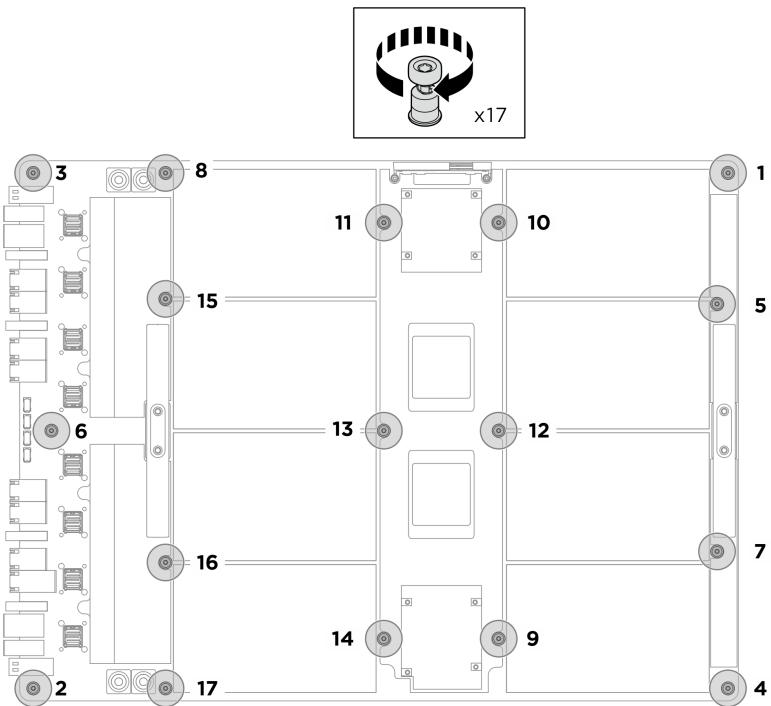


図135. ねじの取り付け

ステップ5. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り付けます。

- ヒートシンクにカバーを置きます。
- 4本のねじを締め付け、カバーを固定します。

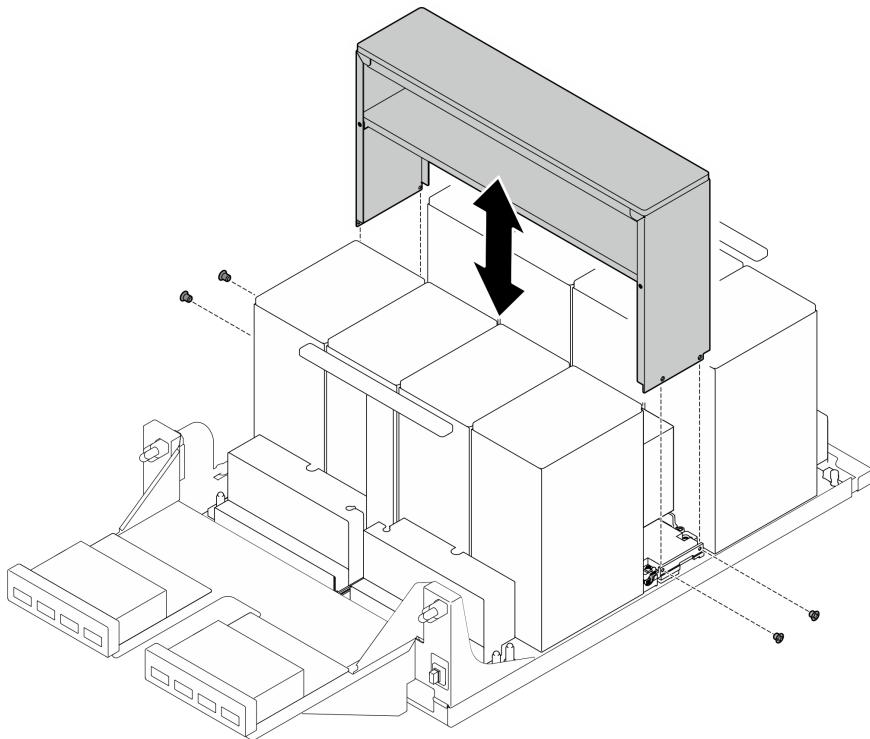


図 136. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り付け

完了したら

1. OSFP カードとサポート・トレイを再度取り付けます。195 ページの「OSFP カードとサポート・トレイの取り付け」を参照してください。
2. GPU シャトルを再度取り付けます。134 ページの「GPU シャトルの取り付け」を参照してください。
3. 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」を参照してください。
4. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
5. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

HMC カードの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

HMC カードの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

HMC カードの取り外し

HMC カードの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 ビット 1 本

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- b. 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」を参照してください。
- c. GPU シャトルを取り外します。128 ページの「GPU シャトルの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り外します。

- a. カバーを固定している 4 本のねじを緩めます。
- b. ヒートシンクから持ち上げて外します。

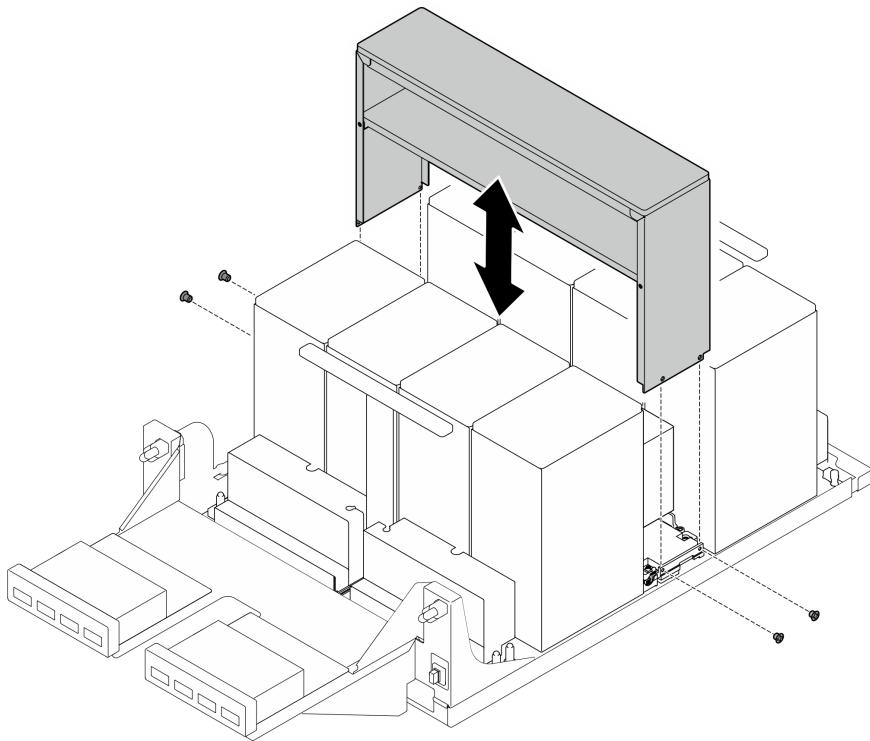


図 137. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り外し

ステップ 3. ねじを緩め、GPU ベースボードから HMC カードを取り外します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.59 ± 0.059 ニュートン・メーター、 5.22 ± 0.522 インチ・ポンドです。

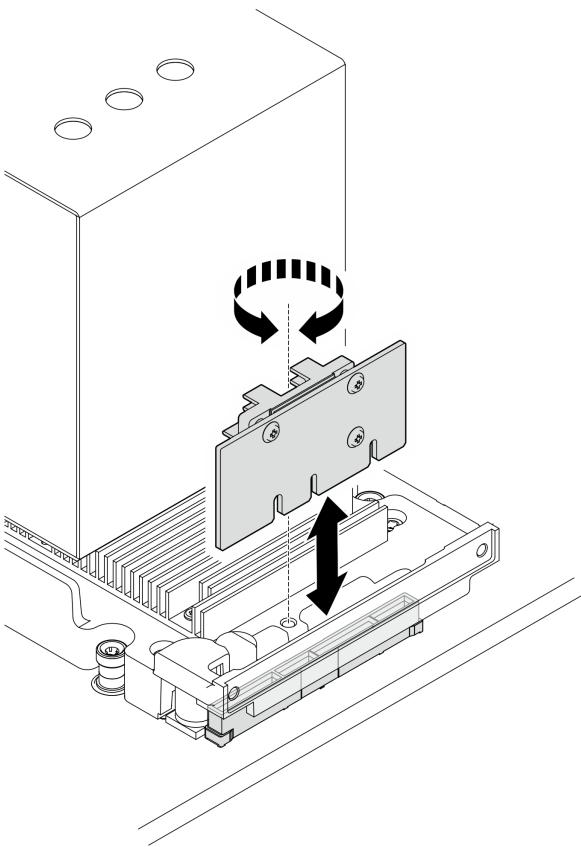


図 138. HMC カードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

HMC カードの取り付け

HMC カードを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T15 ビット 1 本

ファームウェアとドライバーのダウンロード：コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. HMC カードを取り付けます。

- a. カードを GPU ベースボード上のコネクターに合わせ、完全に装着されるまでカードをコネクターに押し込みます。
- b. ねじを締め付けてカードを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に締める/緩めるために必要なトルクは 0.59 ± 0.059 ニュートン・メーター、 5.22 ± 0.522 インチ・ポンドです。

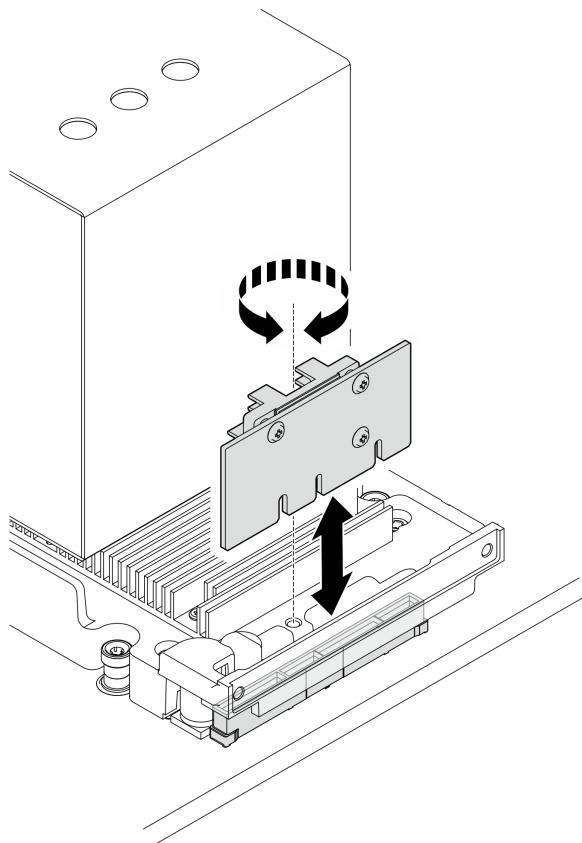


図 139. HMC カードの取り付け

ステップ 2. NVSwitch ヒートシンク・カバーを取り付けます。

- a. ヒートシンクにカバーを置きます。
- b. 4 本のねじを締め付け、カバーを固定します。

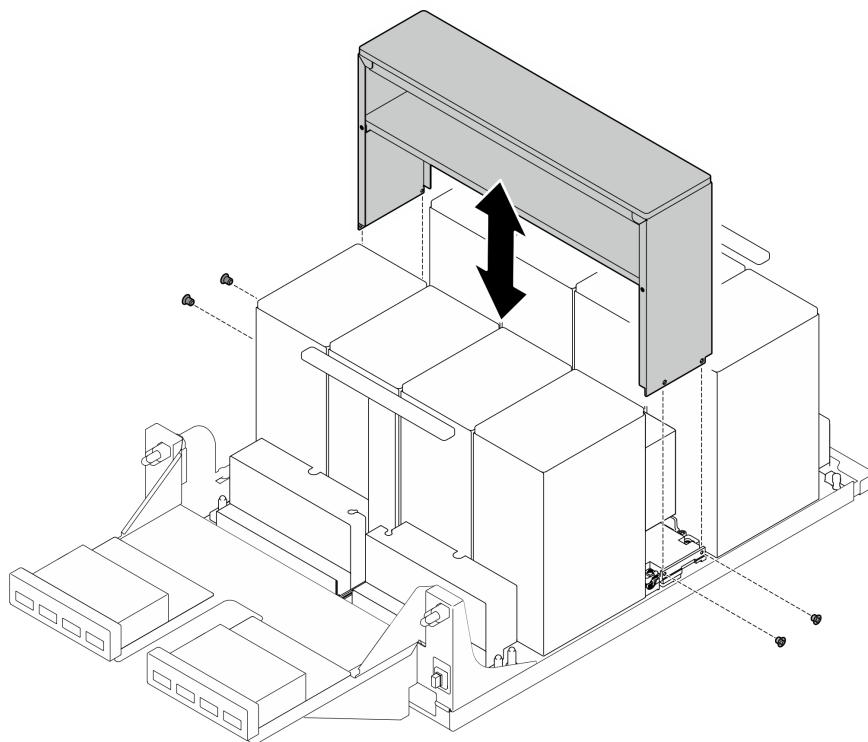


図 140. NVSwitch ヒートシンク・カバーの取り付け

完了したら

1. GPU シャトルを再度取り付けます。134 ページの「GPU シャトルの取り付け」を参照してください。
2. 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」を参照してください。
3. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
4. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

内蔵診断パネルの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

内蔵診断パネルの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

内蔵診断パネルの取り外し

内蔵診断パネル診断パネルの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

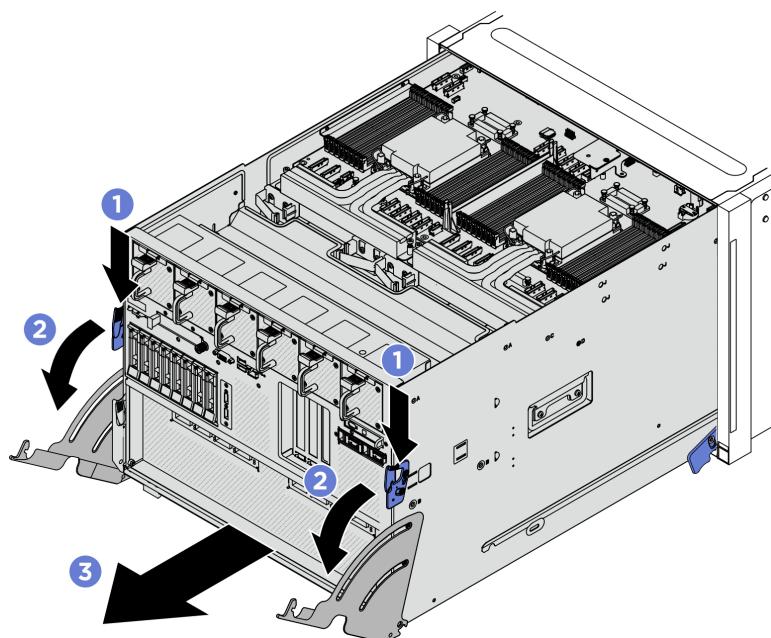


図 141. システム・シャトルを停止位置まで引く

- 前面ファン・ケージを取り外します。81 ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. 内蔵診断パネルを取り外します。

- ① 2 つのリリース・タブを押したまま保持します。
- ② 内蔵診断パネルをシステム・シャトルから少し外します。
- ③ 内蔵診断パネルからケーブルを外します。

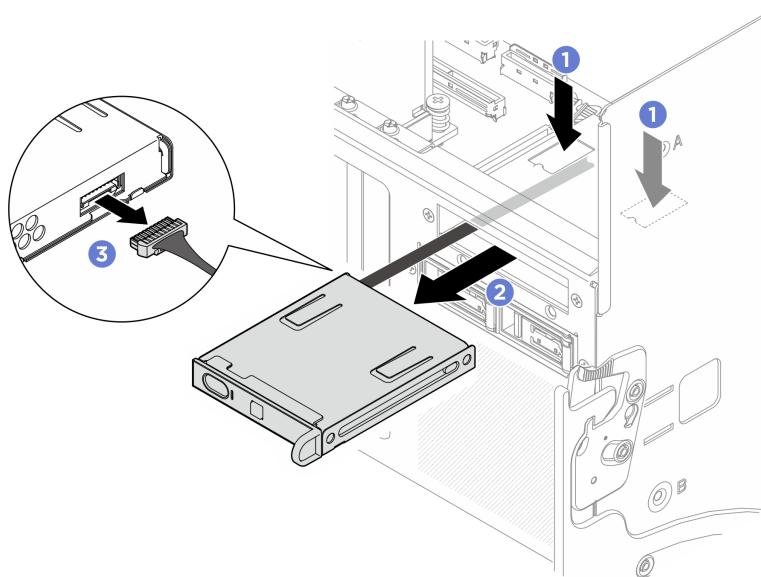


図 142. 内蔵診断パネルの取り外し

ステップ3. 内蔵診断パネルをシステム・シャトルから取り外します。

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

内蔵診断パネルの取り付け

内蔵診断パネルの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および[2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

手順

ステップ1. 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼り付けます。

- a. ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- b. ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- c. 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

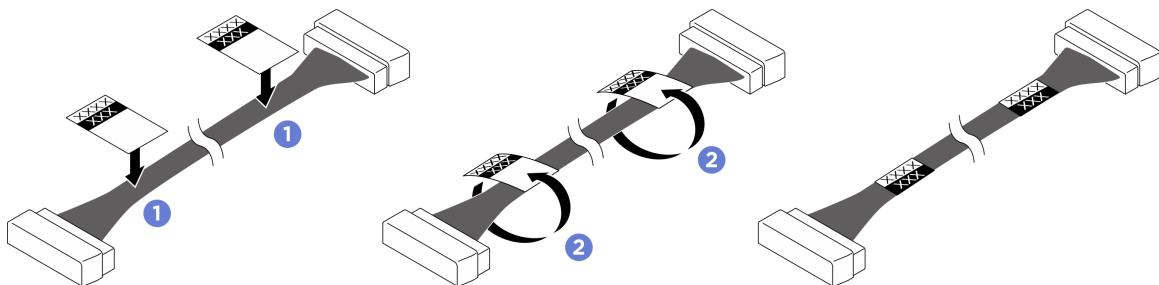


図 143. ラベルの貼り付け

注：下の表を参照して、ケーブルに対応するラベルを確認してください。

始点	終点	ラベル
内蔵診断パネル・ケーブル	システム・ボード: 内蔵診断パネル(前面 I/O) コネクター	PANEL FRONT IO 2

ステップ 2. 内蔵診断パネルを取り付けます。

- ① 内蔵診断パネルにケーブルを接続します。
- ② 内蔵診断パネルの位置を NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの前面にあるスロットに合わせて、スロットの中へとスライドさせます。

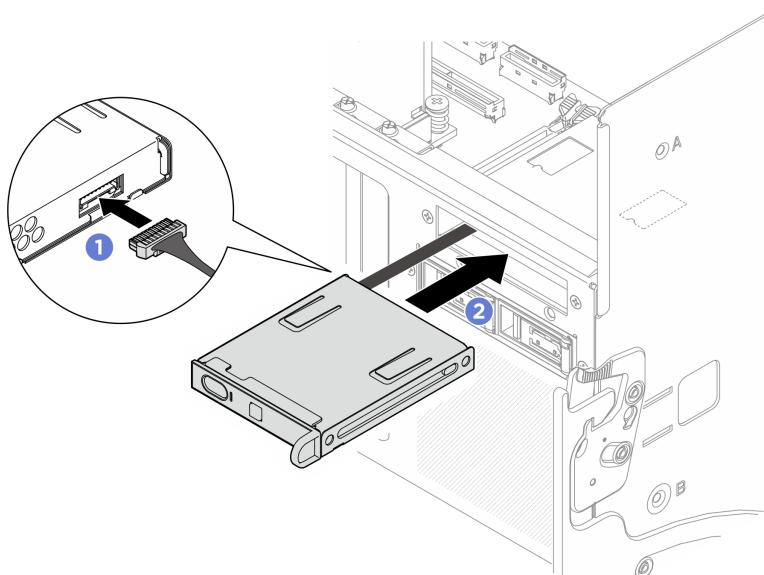


図 144. 内蔵診断パネルの取り付け

完了したら

- 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
- システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。

- a. ① シャトルの両側にある2つのロック・ラッチを持ち上げます。
- b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
- c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
- d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

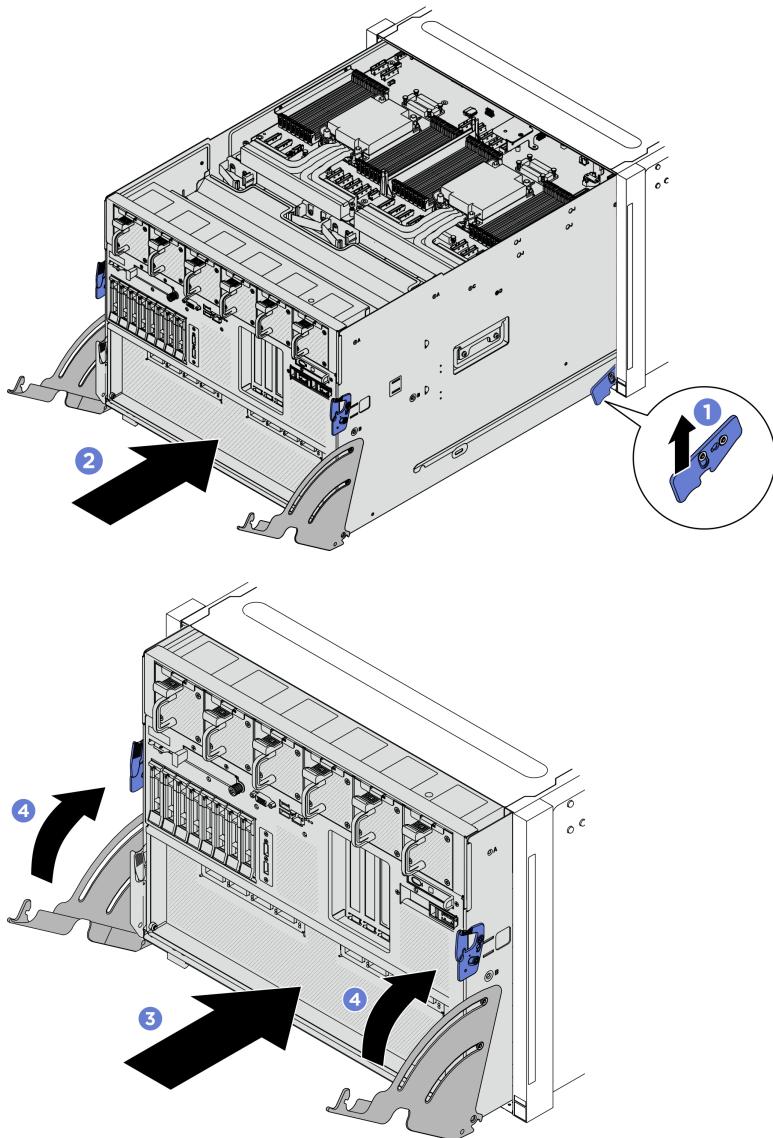


図 145. システム・シャトルの取り付け

3. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの交換

ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

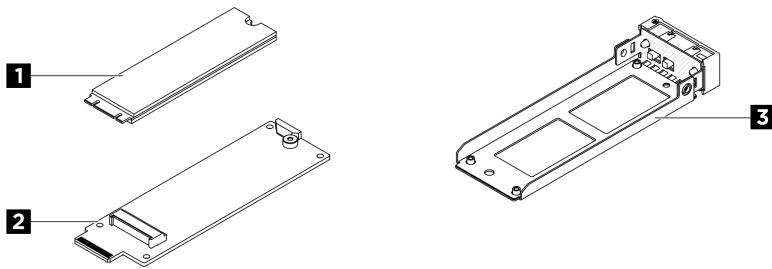


図146. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの部品

1 M.2 ドライブ	2 M.2 変換コネクター
3 M.2 ドライブ・トレイ	

ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し

ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- 1つ以上の NVMe ソリッド・ステート・ドライブを取り外す場合は、オペレーティング・システムを使用して事前に無効にすることをお勧めします。
- ドライブ、ドライブ・コントローラー(システム・ボードに組み込まれたコントローラーを含む)、ドライブ・バックプレーン、またはドライブ・ケーブルを取る外す、あるいは変更する前に、ドライブに保管されているすべての重要なデータのバックアップを取ってください。
- サーバーは最大 2 台のホット・スワップ M.2 ドライブをサポートしており、対応するドライブ・ベイ番号は以下のとおりです。

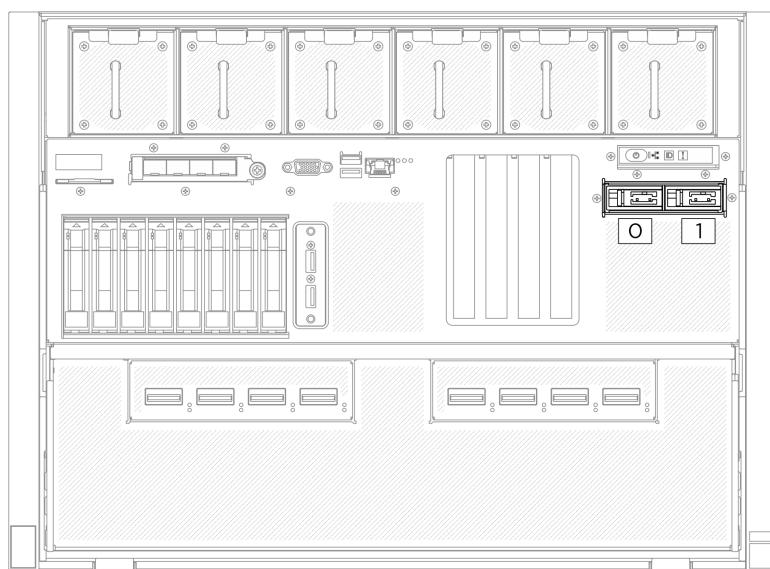


図147. M.2 ドライブ・ベイ番号

手順

ステップ1. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを取り外します。

- a. ① リリース・ラッチをスライドさせてハンドルのロックを解除します。
- b. ② ハンドルをオープン位置まで回転させます。
- c. ③ ハンドルをつかんで、ドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイから引き出します。

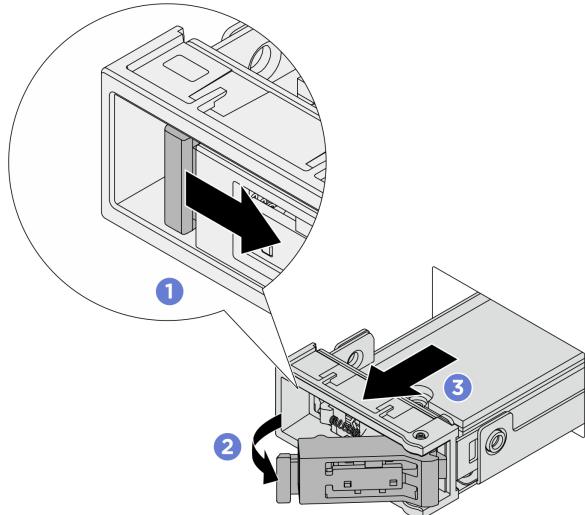


図148. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し

ステップ2. できるだけ早くドライブ・トレイまたは交換用ドライブ・アセンブリーを取り付けます。

- a. 交換用ドライブ・アセンブリーを取り付けるには、163 ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り付け」を参照してください。
- b. 交換用ドライブ・アセンブリーを取り付けない場合は、システムが十分に冷却されるように、ドライブ・トレイを空のドライブ・ベイに取り付けます。ドライブ・トレイをホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーから分離するには、160 ページの「M.2 ドライブ・アセンブリーの分解」を参照してください。
 - ① ハンドルが開くの位置になっていることを確認します。次に、トレイをベイ内のガイド・レールに合わせ、トレイが止まるまでトレイをベイに静かに押し込みます。
 - ② カチッと音が鳴るまでハンドルを回転させ、閉じるの位置にします。

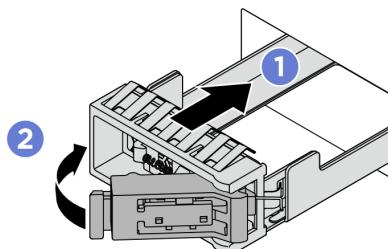


図149. M.2 ドライブ・トレイの取り付け

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

M.2 ドライブ・アセンブリーの分解

M.2 ドライブ・アセンブリーを分解するには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。

手順

ステップ 1. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを取り外します。[158 ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し」](#) を参照してください。

ステップ 2. 変換コネクターから M.2 ドライブを取り外します。

- ① M.2 ドライブを固定しているねじを緩めます。
- ② M.2 ドライブの後端を一定の角度まで回転させます。
- ③ 変換コネクター・スロットから M.2 ドライブを取り外します。

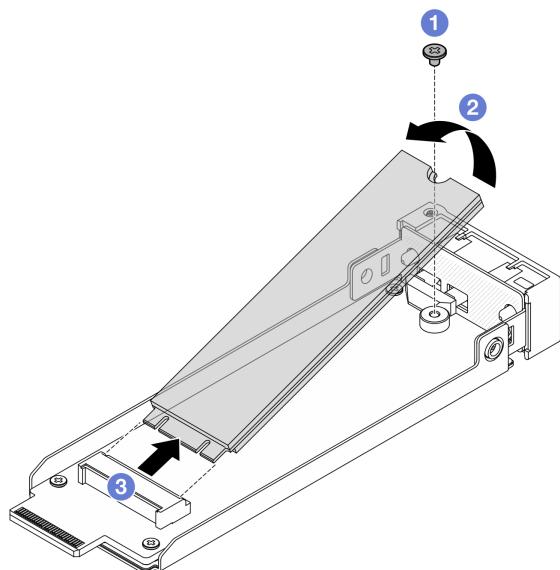


図 150. M.2 ドライブの取り外し

ステップ 3. M.2 変換コネクターを取り外します。

- ① M.2 変換コネクターを固定している 4 本のねじを緩めます。
- ② 変換コネクターを持ち上げてトレイから外します。

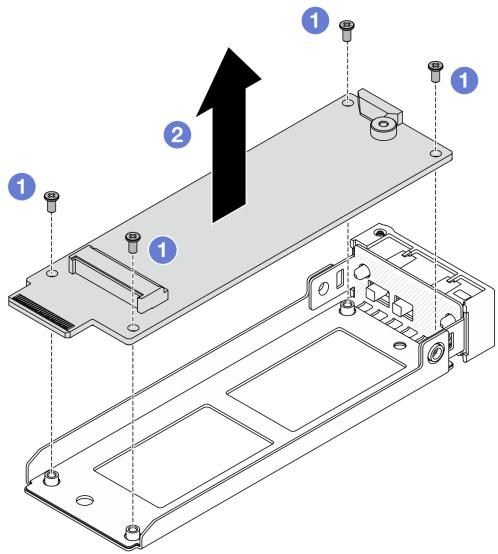


図 151. M.2 変換コネクターの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

M.2 変換コネクターおよびドライブの組み立て

M.2 変換コネクターとドライブを組み立てるには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. M.2 変換コネクターをトレイに取り付けます。

- ①** 変換コネクターをトレイのガイド・ピンに合わせます。
- ②** 4 本のねじを締めて、変換コネクターを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.2 ± 0.03 ニュートン・メーターです。

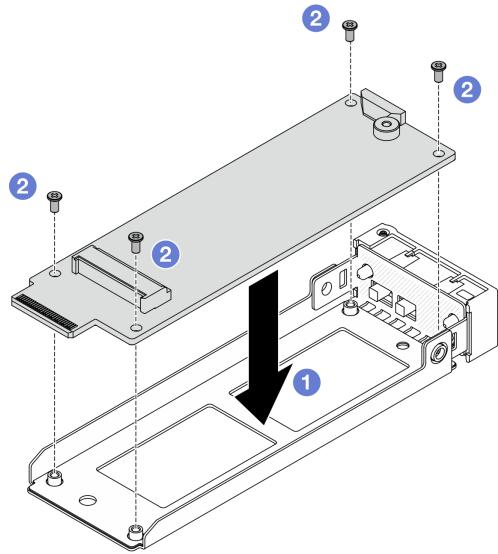


図 152. M.2 変換コネクターの取り付け

ステップ 2. M.2 ドライブを変換コネクターに取り付けます。

- M.2 ドライブを斜めに持ち、変換コネクターのスロットに差し込みます。
- ドライブを変換コネクターまで押し下げます。
- ねじを締めてドライブを固定します。

注：適切なトルク値を設定したトルク・ドライバーで、ねじを締めてください。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.2 ± 0.03 ニュートン・メーターです。

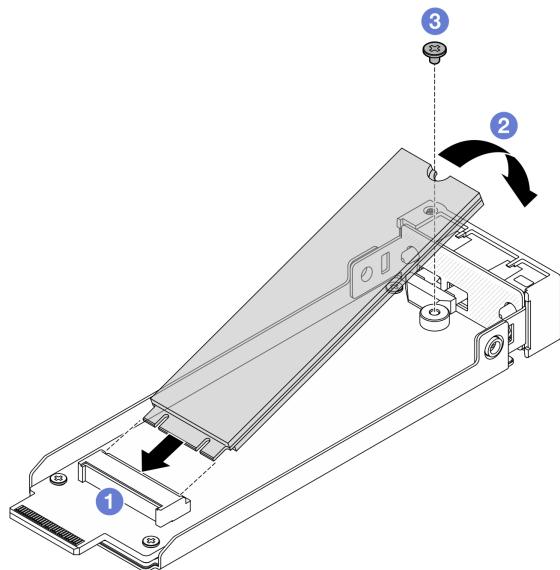


図 153. M.2 ドライブの取り付け

完了したら

部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り付け

ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにドライブまたはドライブ・ベイ・フィラーを取り付けない状態で、2 分以上サーバーを動作させないでください。
- ドライブ、ドライブ・コントローラー(システム・ボードに組み込まれたコントローラーを含む)、ドライブ・バックプレーン、またはドライブ・ケーブルを変更する前に、ドライブに保管されているすべての重要なデータをバックアップしてください。
- サーバーは最大 2 台のホット・スワップ M.2 ドライブをサポートしており、対応するドライブ・ベイ番号は以下のとおりです。

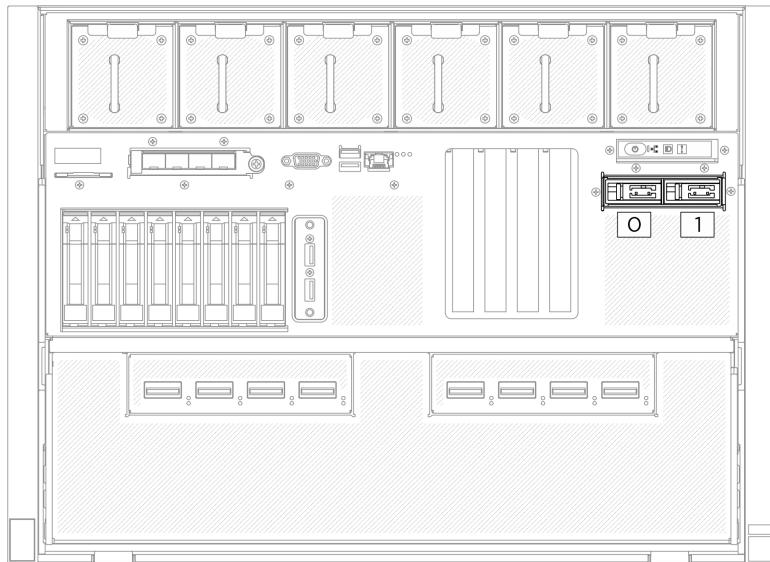


図 154. M.2 ドライブ・ベイ番号

以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。サポートされるドライブのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ソリューションの電磁気干渉(EMI)の保全性および冷却性能は、すべてのベイと PCIe スロットをカバーで塞ぐか、何かを装着しておくことで保護されます。ドライブまたは PCIe アダプターを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイまたは PCIe アダプター・スロット・カバーの EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

- サーバーにサポートされているオプション・デバイスの完全なリストについては、<https://serverproven.lenovo.com>を参照してください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ1. ドライブ・ベイにドライブ・トレイが取り付けられている場合は、トレイを取り外します。

- a. ① リリース・ラッチをスライドさせてハンドルのロックを解除します。
- b. ② ハンドルをオープン位置まで回転させます。
- c. ③ ハンドルをつかんで、トレイをドライブ・ベイから引き出します。

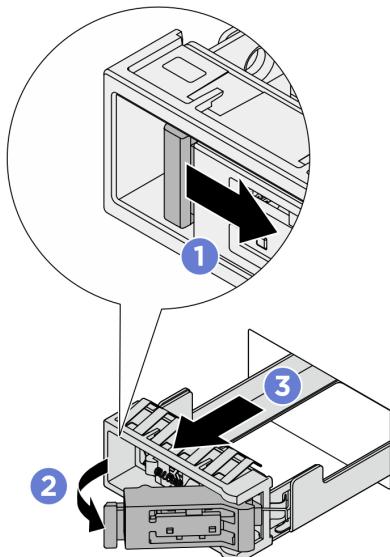


図 155. M.2 ドライブ・トレイの取り外し

ステップ2. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを取り付けます。

- a. ① ハンドルが開くの位置になっていることを確認します。次に、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに合わせ、ドライブ・アセンブリーが止まるまでベイに静かに押し込みます。
- b. ② カチッと音が鳴るまでハンドルを回転させ、閉じるの位置にします。

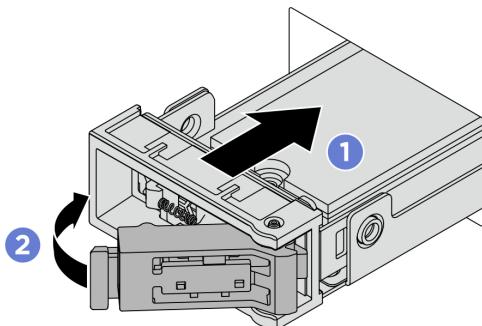


図 156. M.2 ドライブ・アセンブリーの取り付け

ステップ3. 他にも M.2 ドライブ・アセンブリーを取り付ける場合は、この段階で取り付けます。空いたままになっているドライブ・ベイがある場合は、システムが十分に冷却されるように、ドライブ・トレイを取り付けてください。M.2 ドライブ・トレイの取り付けについて詳しくは、[158 ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ4. ドライブの状況 LED をチェックして、ドライブが正しく作動しているか確認します。

- 黄色のドライブ・ステータス LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに異常があり、交換する必要があります。
- 緑色のドライブ活動 LED が点滅している場合は、そのドライブは正常です。

完了したら

部品交換を完了します。[306 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。

M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り外し

M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。[9 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照してください。

手順

ステップ1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 1. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
 2. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
 3. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

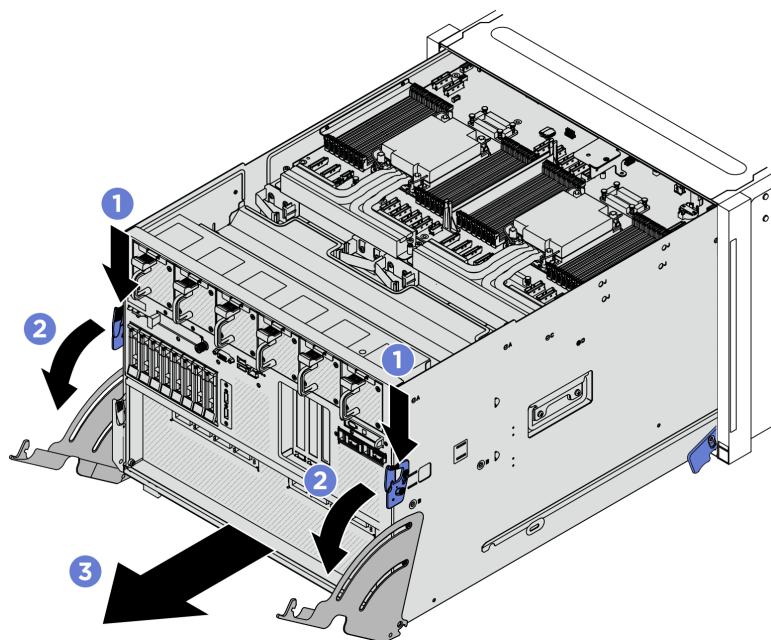


図157. システム・シャトルを停止位置まで引く

- b. 前面ファン・ケージを取り外します。81ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。
- c. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを取り外します。58ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し」を参照してください。
- d. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーをすべて取り外します。158ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ2. M.2 ドライブ・ケージを取り外します。

- a. ① ケージを固定している4本のねじを緩めます。
- b. ② ケージを後方にスライドさせて取り外します。

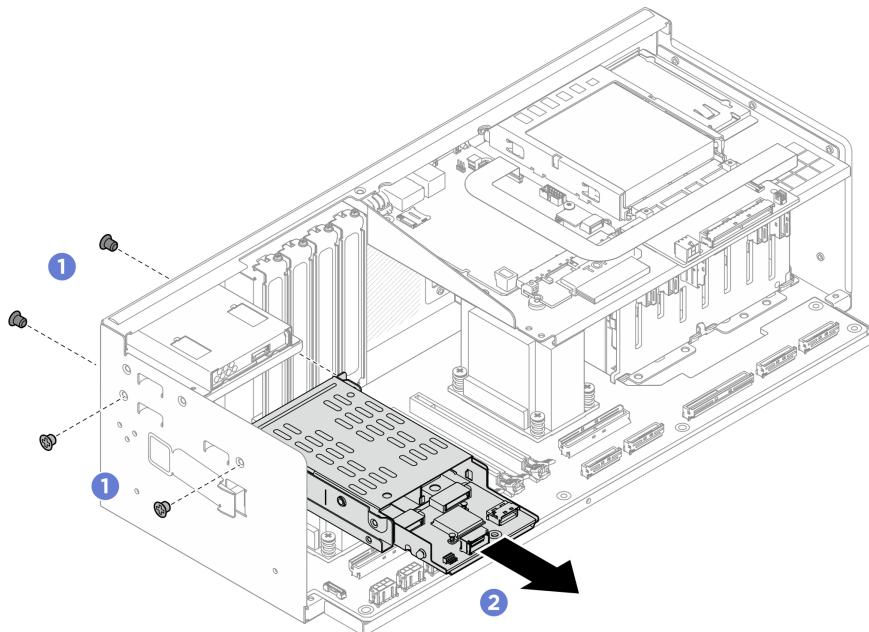


図 158. M.2 ドライブ・ケージの取り外し

ステップ 3. M.2 バックプレーンを取り外します。

- ① バックプレーンをケージに固定しているねじを緩めます。
- ② バックプレーンを後方にスライドさせて、ケージから取り外します。

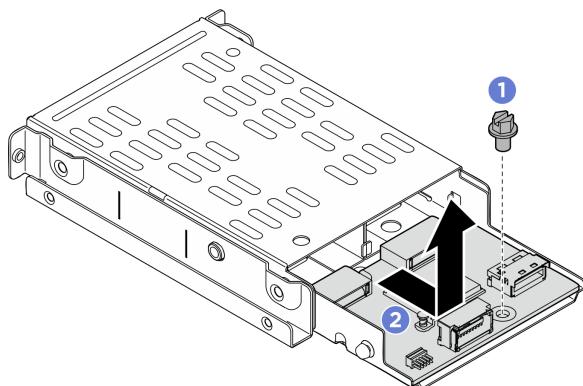


図 159. M.2 バックプレーンの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り付け

M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード：コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ1. M.2 バックプレーンを M.2 ドライブ・ケージに取り付けます。

- ① バックプレーンをケージの上に置き、スライドさせてはめ込みます。
- ② ねじを締めてケージに固定します。

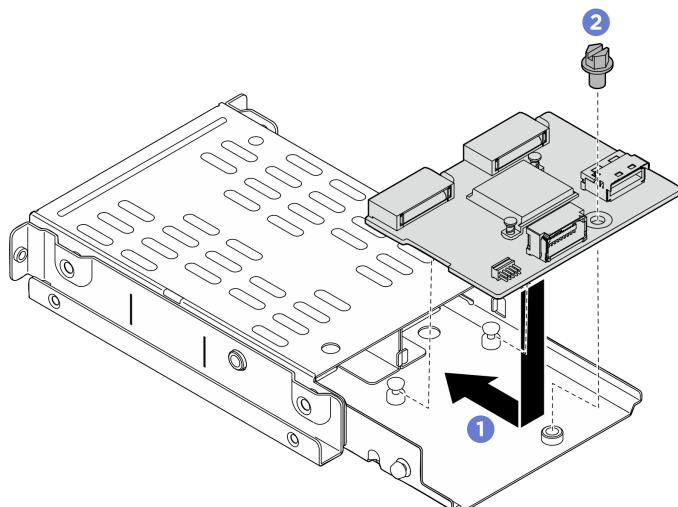


図 160. M.2 バックプレーンの取り付け

ステップ2. M.2 ドライブ・ケージを取り付けます。

- ① NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの前面にある所定のスロットにケージを挿入します。
- ② 4 本のねじを締めて、ケージを固定します。

注：以下のトルク値を参考にして、適切なトルク値を設定したトルク・ドライバーでねじを締めてください。

- 両側の 2 本のねじ (M3 × 4 mm): 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーター

- 前面の 2 本のねじ (M3 × 5 mm): 0.5 ± 0.05 ニュートン・メーター

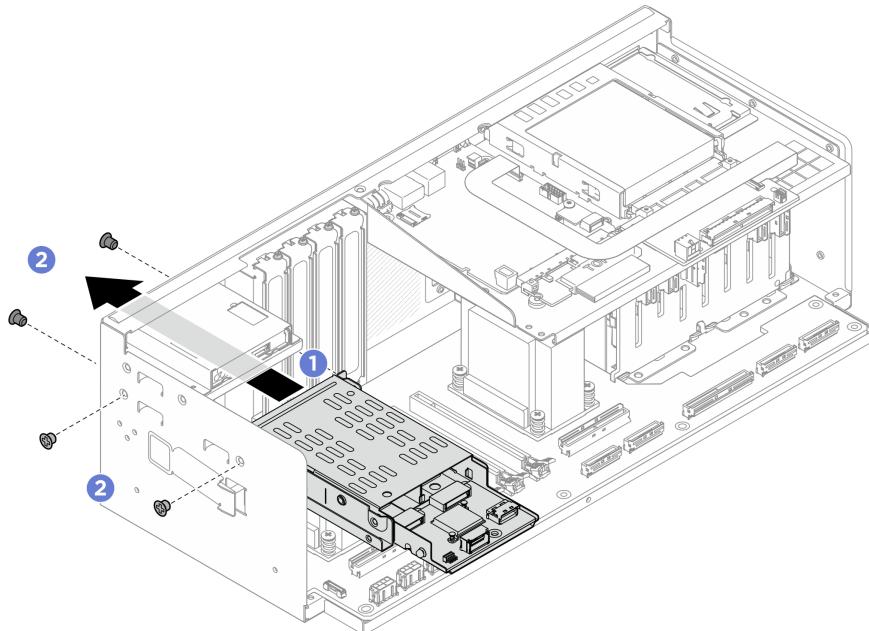


図 161. M.2 ドライブ・ケージの取り付け

ステップ 3. 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。

- ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

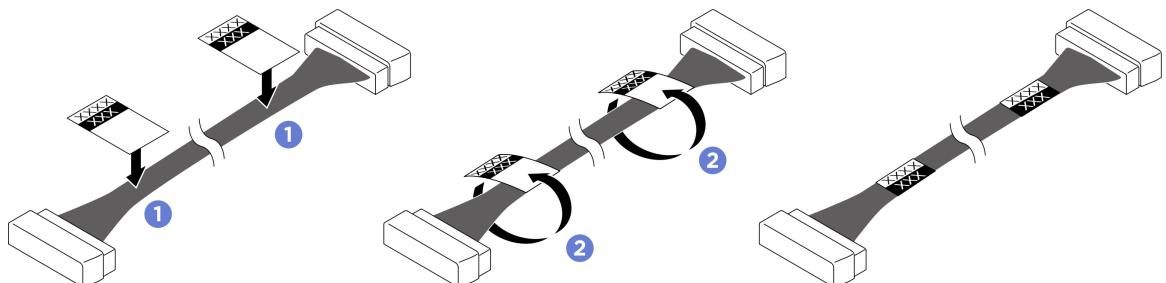


図 162. ラベルの貼り付け

注：ケーブルに対応するラベルを識別するには、以下の表を参照してください。

始点	終点	ラベル
M.2 バックプレーン: 電源コネクター	システム・ボード: M.2 電源コネクター	M.2 PWR
M.2 バックプレーン: 信号コネクター	システム・ボード: M.2 信号コネクター	M.2 SIGNAL

完了したら

- すべてのホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを再度取り付けます。163 ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り付け」
- NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを再度取り付けます。62 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け」を参照してください。
- 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
- システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ①** シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - ②** シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - ③** シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ④** 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

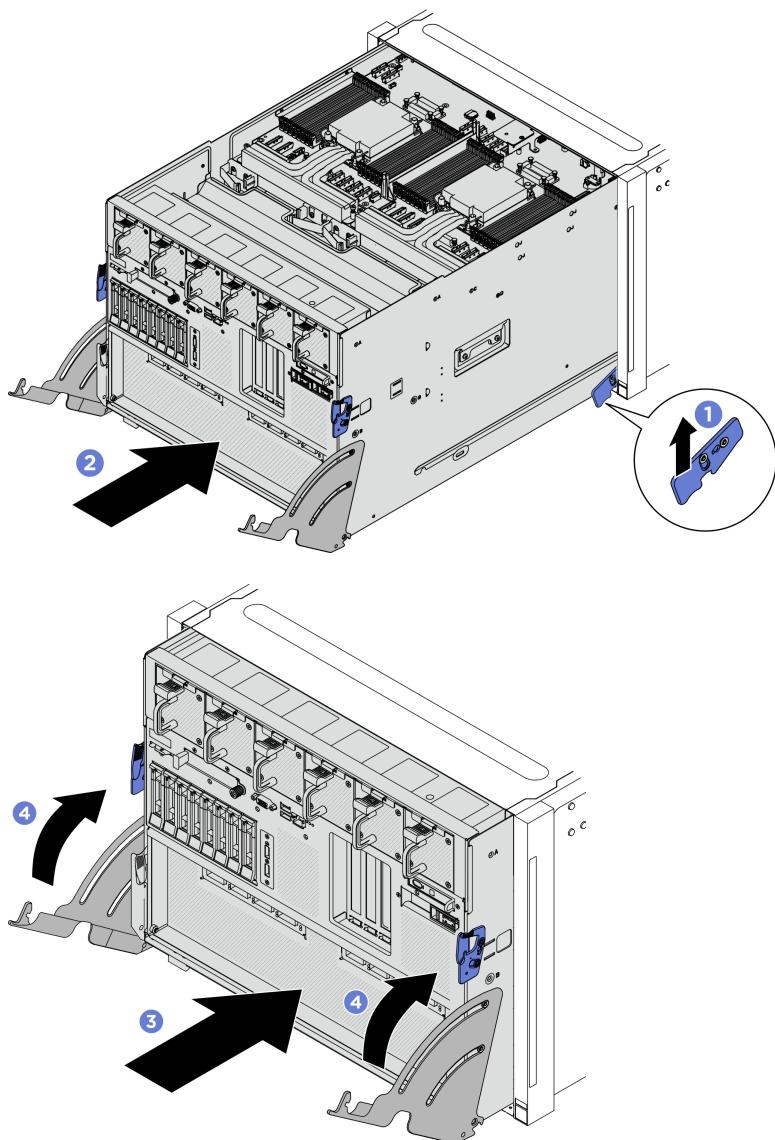


図 163. システム・シャトルの取り付け

- 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

6. Lenovo XClarity Provisioning Manager を使用して、RAID を構成します。詳しくは、を参照してください。
<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/>。

メモリー・モジュールの交換

メモリー・モジュールの取り外しと取り付けを行うには、以下の手順を使用します。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- メモリー・モジュールの取り外しまたは取り付けは、電源コードをシステムから取り外してから20秒以上経過した後に行ってください。これにより、システムが完全に放電されるため、メモリー・モジュールを安全に取り扱うことができます。
- 交換用メモリー・モジュールを同じスロットに取り付けない場合は、メモリー・モジュール・フィラーを用意してください。
- メモリー・モジュールは静電気放電の影響を受けやすく、特別な取り扱いが必要です。4ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」の標準のガイドラインを参照してください。
 - メモリー・モジュールの取り外しまたは取り付けの際には、必ず静電放電ストラップを着用してください。静電気放電グローブも使用できます。
 - 2つ以上のメモリー・モジュールを互いに接触させないでください。保管中にメモリー・モジュールを直接重ねて積み重ねないでください。
 - 金色のメモリー・モジュール・コネクターの接点に触れたり、これらの接点をメモリー・モジュール・コネクターのエンクロージャーの外側に接触させたりしないでください。
 - メモリー・モジュールを慎重に扱ってください。メモリー・モジュールを曲げたり、ねじったり、落としたりしないでください。
 - メモリー・モジュールを取り扱う際に金属製の工具(治具やクランプなど)を使用しないでください。固い金属によりメモリー・モジュールが傷つく恐れがあります。
 - パッケージまたは受動部品を持ってメモリー・モジュールを挿入しないでください。挿入時に力をかけることでパッケージに亀裂が入ったり受動部品が外れたりする恐れがあります。

重要：メモリー・モジュールの取り外しや取り付けは、一度に1個のプロセッサーに対して行います。

手順

注意：メモリー・モジュールの取り外しまたは取り付けは、電源コードをシステムから取り外してから20秒以上経過した後に行ってください。これにより、システムが完全に放電されるため、メモリー・モジュールを安全に取り扱うことができます。

ステップ1. システム・シャトルを停止位置まで引きます。

- a. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
- b. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
- c. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

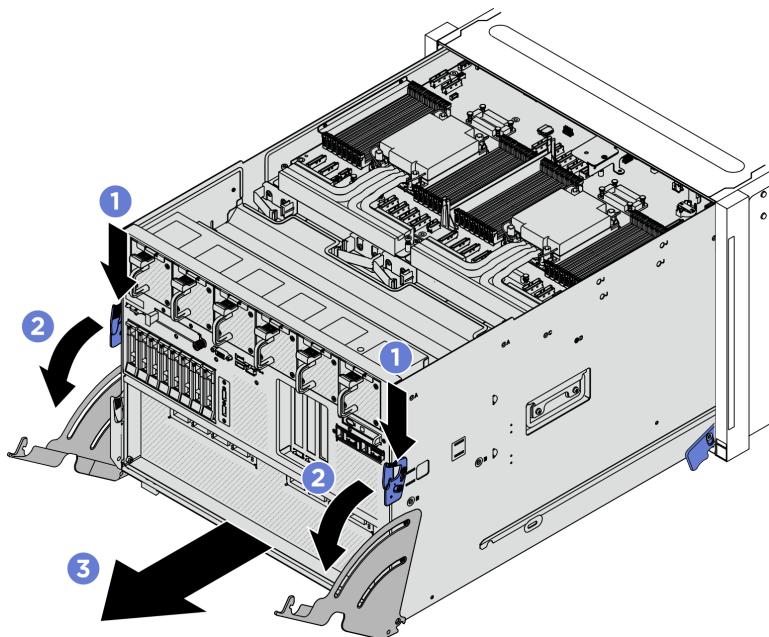


図 164. システム・シャトルを停止位置まで引く

ステップ2. メモリー・モジュール・スロットの位置を確認し、取り外すメモリー・モジュールを判断します。

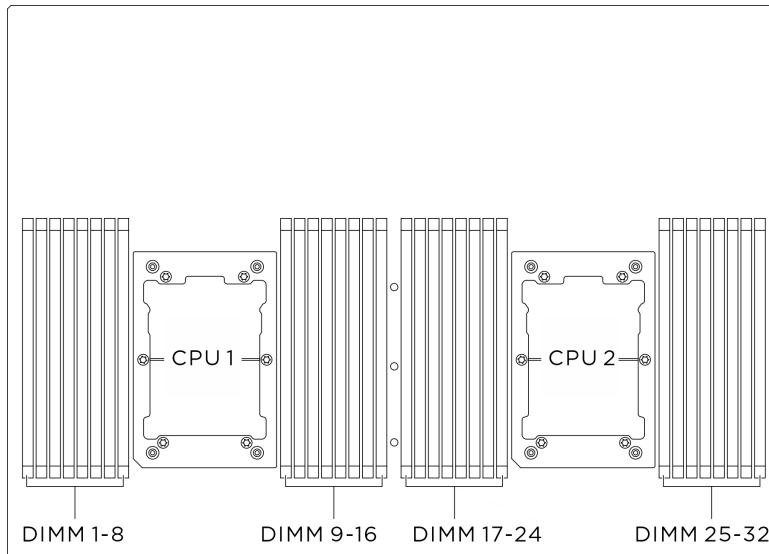


図 165. メモリー・モジュールおよびプロセッサーのレイアウト

ステップ3. メモリー・モジュールをスロットから取り外します。

注意：保持クリップの破損やメモリー・モジュール・スロットの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。

- ① メモリー・モジュール・スロットの両端にある固定クリップをそっと開きます。
- ② メモリー・モジュールの両端をつかみ、慎重に持ち上げてスロットから取り外します。

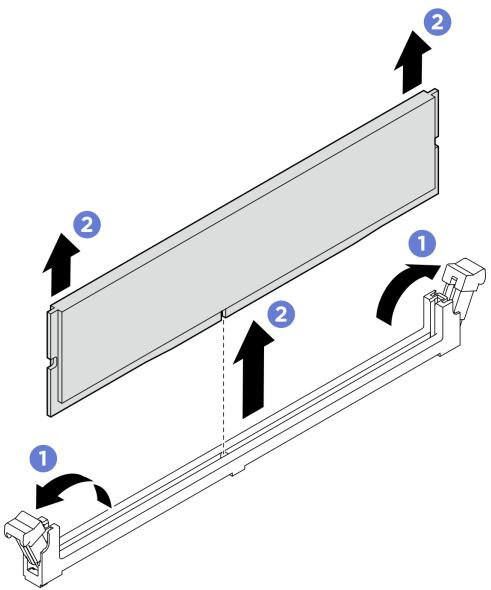


図 166. メモリー・モジュールの取り外し

完了したら

1. メモリー・モジュール・スロットには、メモリー・モジュールまたはメモリー・モジュール・フィラーを取り付ける必要があります。173 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。
2. コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

メモリー・モジュールの取り付け

このセクションの手順に従って、メモリー・モジュールを取り付けます。

このタスクについて

メモリー構成およびセットアップの詳細については、を参照してください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- メモリー・モジュールの取り外しまたは取り付けは、電源コードをシステムから取り外してから 20 秒以上経過した後に行ってください。これにより、システムが完全に放電されるため、メモリー・モジュールを安全に取り扱うことができます。
- 5 ページの「メモリー・モジュールの取り付けの規則および順序」に記載されているサポートされている構成のいずれかを選択するようにしてください。
- メモリー・モジュールは静電気放電の影響を受けやすく、特別な取り扱いが必要です。4 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」の標準のガイドラインを参照してください。
 - メモリー・モジュールの取り外しまたは取り付けの際には、必ず静電放電ストラップを着用してください。静電気放電グローブも使用できます。

- 2つ以上のメモリー・モジュールを互いに接触させないでください。保管中にメモリー・モジュールを直接重ねて積み重ねないでください。
- 金色のメモリー・モジュール・コネクターの接点に触れたり、これらの接点をメモリー・モジュール・コネクターのエンクロージャーの外側に接触させたりしないでください。
- メモリー・モジュールを慎重に扱ってください。メモリー・モジュールを曲げたり、ねじったり、落としたりしないでください。
- メモリー・モジュールを取り扱う際に金属製の工具(治具やクランプなど)を使用しないでください。固い金属によりメモリー・モジュールが傷つく恐れがあります。
- パッケージまたは受動部品を持ってメモリー・モジュールを挿入しないでください。挿入時に力をかけることでパッケージに亀裂が入ったり受動部品が外れたりする恐れがあります。

重要：メモリー・モジュールの取り外しや取り付けは、一度に1個のプロセッサーに対して行います。

手順

注意：メモリー・モジュールの取り外しまたは取り付けは、電源コードをシステムから取り外してから20秒以上経過した後に行なってください。これにより、システムが完全に放電されるため、メモリー・モジュールを安全に取り扱うことができます。

ステップ1. システム・ボード上の必要なメモリー・モジュール・スロットを見つけます。

注：必ず、5ページの「メモリー・モジュールの取り付けの規則および順序」でファンの取り付けの規則と順序を確認してください。

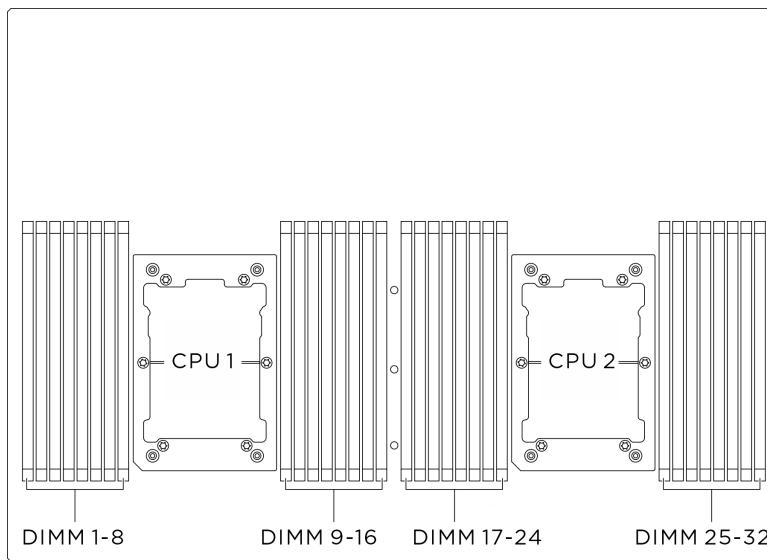


図 167. メモリー・モジュールおよびプロセッサーのレイアウト

ステップ2. メモリー・モジュールをスロットに取り付けます。

- ① メモリー・モジュール・スロットの両端にある固定クリップをそっと開きます。
- ② メモリー・モジュールをスロットに位置合わせし、両手でスロットにメモリー・モジュールを慎重に置きます。
- ③ 保持クリップがロック位置にはまるまでメモリー・モジュールの両端を強く真っすぐに押し下げて、スロットに取り付けます。

注意：

- 保持クリップを破損したり、メモリー・モジュール・スロットを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。
- メモリー・モジュールと保持クリップの間にすき間がある場合、メモリー・モジュールは挿入されていません。この場合、保持クリップを開いてメモリー・モジュールを取り外し、挿入し直してください。

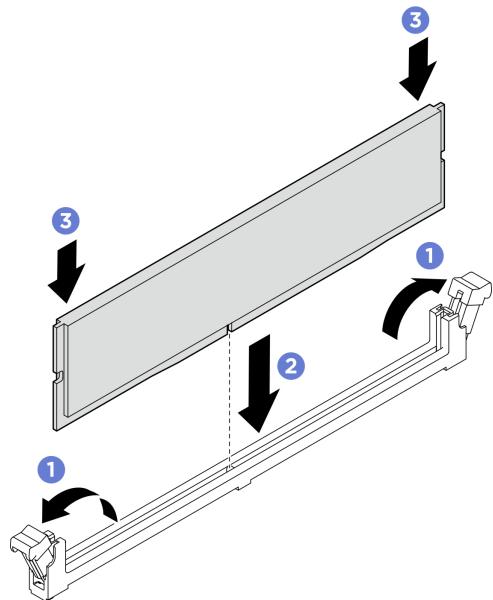


図 168. メモリー・モジュールの取り付け

完了したら

- システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ①** シャトルをシャーシに少し押し込み、シャトルの両側にある2個のロック・ラッチを持ち上げます。
 - ②** シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - ③** シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ④** 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

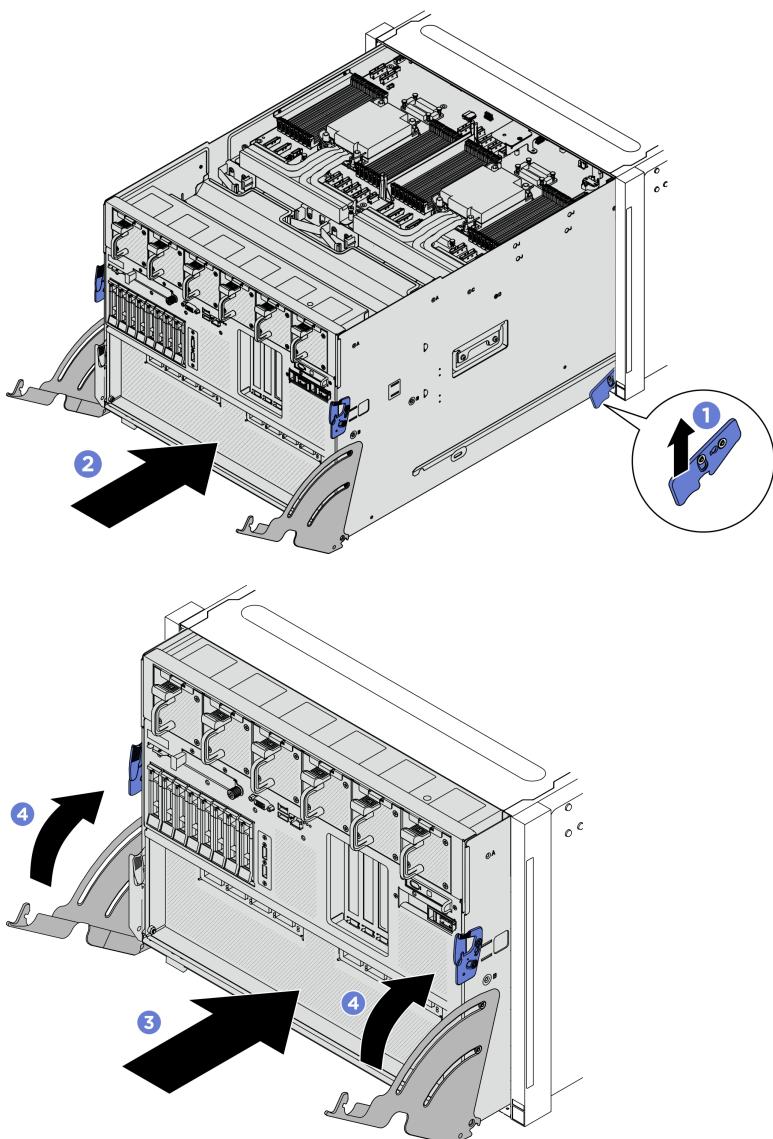


図 169. システム・シャトルの取り付け

2. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

OCP 変換コネクター・カードの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

OCP 変換コネクター・カードの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

OCP 変換コネクター・カードの取り外し

OCP 変換コネクター・カードを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

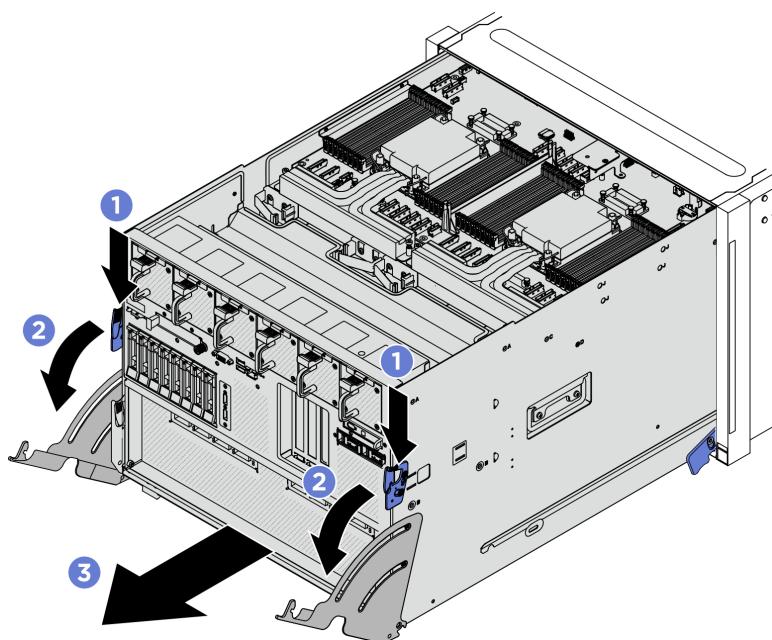


図 170. システム・シャトルを停止位置まで引く

- 前面ファン・ケージを取り外します。81 ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。
- OCP モジュールを取り外します。183 ページの「OCP モジュールの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. OCP 変換コネクター・カードから電源ケーブルと信号ケーブルを外します。

ステップ 3. OCP 変換コネクターから FPC ケーブルを外します。

- コネクターのフラップを持ち上げてロック解除位置にします。ラッチを損傷しないように丁寧に取り扱ってください。

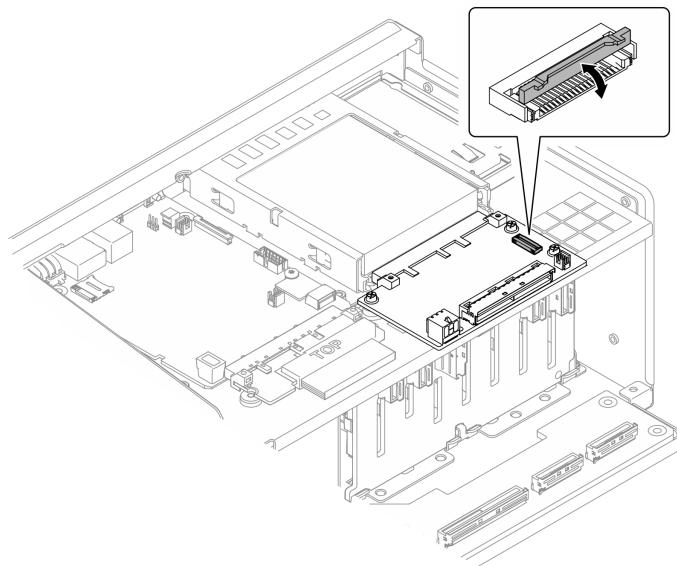


図 171. コネクター・フラップを持ち上げる

- b. OCP 変換コネクターから慎重にケーブルを取り外します。

ステップ 4. OCP 変換コネクター・カードを取り外します。

- a. ① カードを固定している 4 本のねじを緩めます。
- b. ② カードを持ち上げて、NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージから取り外します。

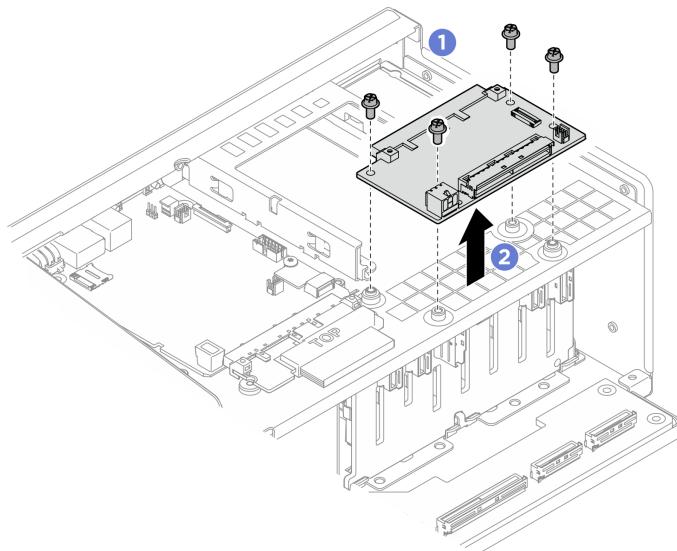


図 172. OCP 変換コネクター・カードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

OCP 変換コネクター・カードの取り付け

OCP 変換コネクター・カードを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. OCP 変換コネクター・カードを取り付けます。

- ① カードの位置を NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージにある支柱に合わせて、カードをケージの上に載せます。
- ② 4 本のねじを締めて、カードを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締めるために必要なトルクは 1.25 ± 0.25 ニュートン・メーターです。

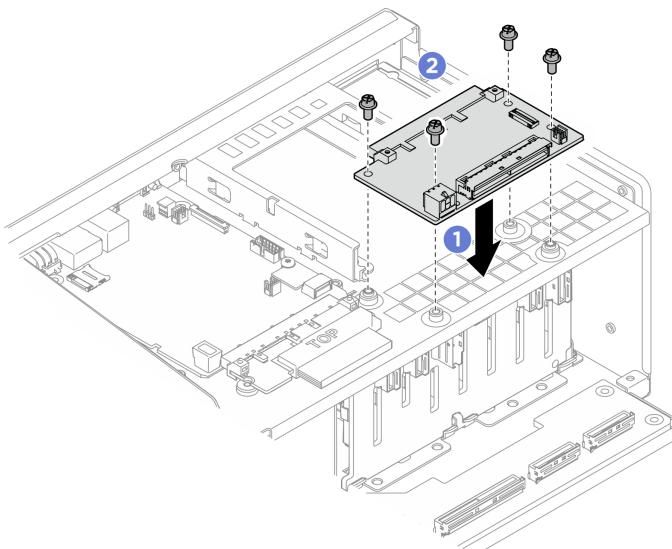


図 173. OCP 変換コネクター・カードの取り付け

ステップ 2. FPC ケーブルを OCP 変換コネクター・カードに接続します。

- コネクターのフラップを持ち上げてロック解除位置にします。ラッチを損傷しないように丁寧に取り扱ってください。

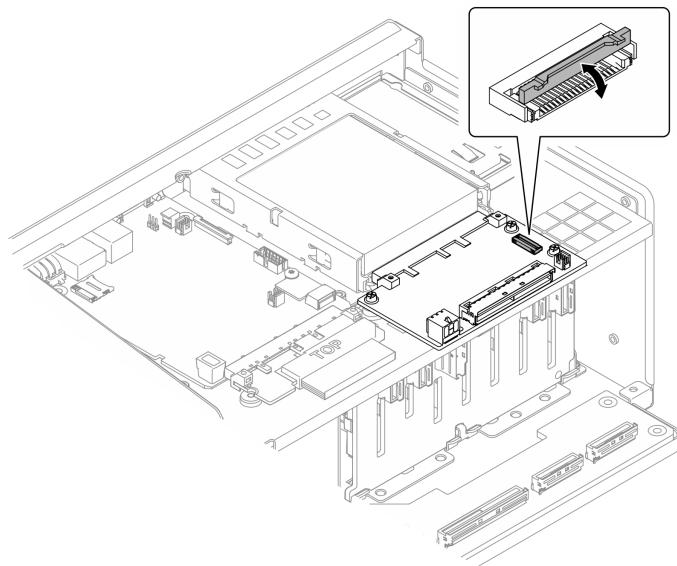


図 174. コネクター・フラップを持ち上げる

- b. FPC ケーブルと OCP 変換コネクター・カードのシルクスクリーンを一致させます。次に、ケーブルのシルクスクリーン面を上側にしてカードに接続します。

FPC ケーブル側のシルクスクリーン	OCP 変換コネクター・カードのシルクスクリーン
NC-SI SIDE	NC-SI

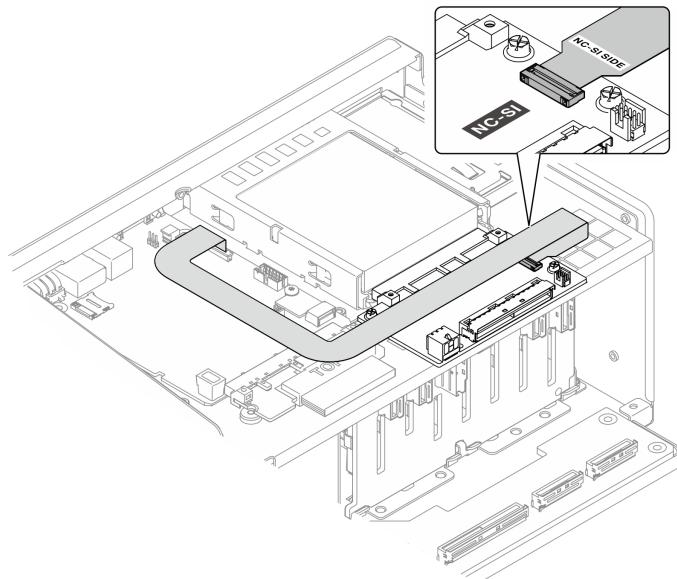


図 175. FPC ケーブル配線

- c. ケーブルをコネクターの奥まで挿入します。次に、コネクターのフラップをロック済みの位置まで押し下げて、ケーブルを固定してください。

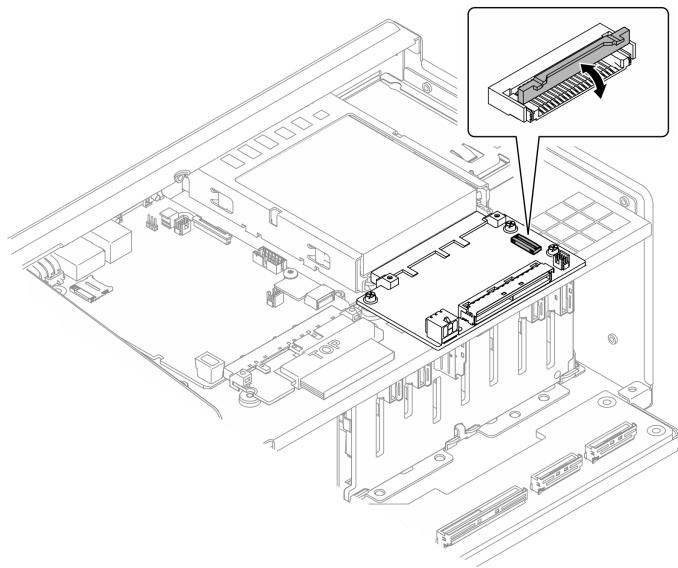


図 176. コネクター・フラップを押し下げる

- d. ケーブルの取り付け具合を目視で確認します。ケーブルの白いラインが見えていないことを確かめてください。白いラインが見えている場合、ケーブルが正しく取り付けられていません。

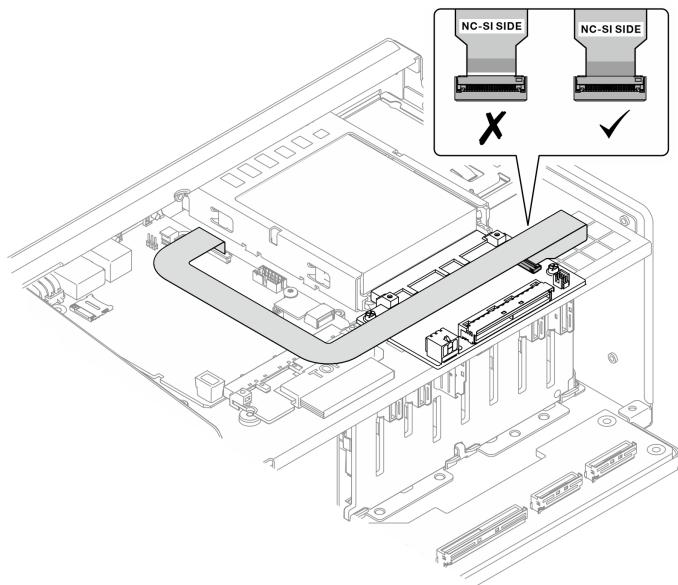


図 177. FPC ケーブルの取り付け検査

ステップ 3. 必要に応じて、電源ケーブルおよび信号ケーブルの両端にラベルを貼り付けます。

- a. ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- b. ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- c. 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

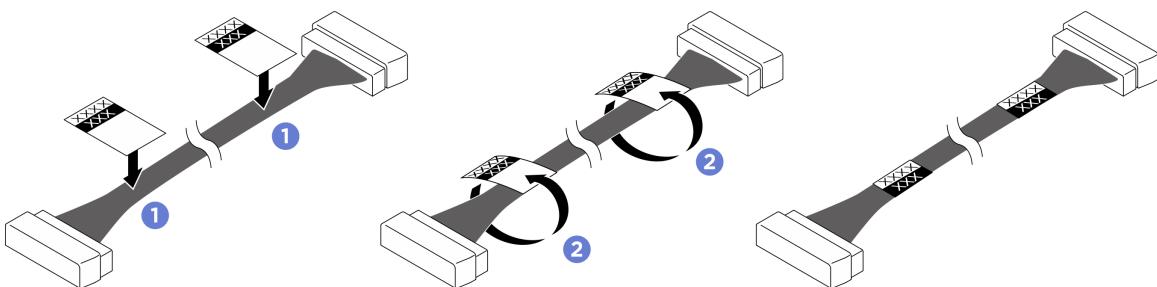


図 178. ラベルの貼り付け

注：ケーブルに対応するラベルを識別するには、以下の表を参照してください。

始点	ラベル	終点	ラベル
OCP 変換コネクター・カード: 電源コネクター	OCP PWR 6P+6S	システム・ボード: OCP 変換コネクター・カードの電源コネクター	PWR OCP 12P+12S
OCP 変換コネクター・カード: MCIO コネクター	MCIO I OCP SIG	PCIe スイッチ・ボード: MCIO コネクター I	MCIO I OCP SIG

ステップ 4. 電源ケーブルと信号ケーブルを OCP 変換コネクター・カードに接続します。詳しくは、327 ページの「OCP 変換コネクター・カードのケーブル配線」を参照してください。

完了したら

1. OCP モジュールを再び取り付けます。185 ページの「OCP モジュールの取り付け」を参照してください。
2. 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
3. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

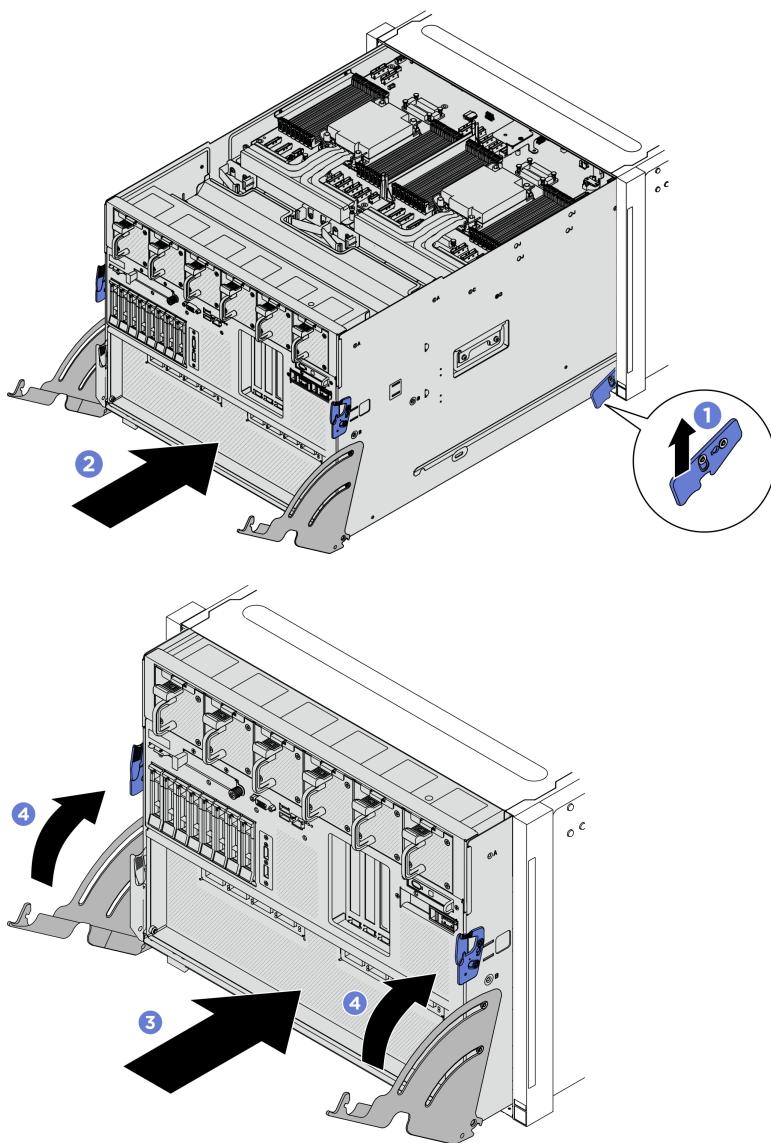


図 179. システム・シャトルの取り付け

4. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

OCP モジュールの交換

OCP モジュールの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの手順を実行します。

OCP モジュールの取り外し

OCP モジュールを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。

- ・ サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。[9 ページ](#) の「[サーバーの電源をオフにする](#)」を参照してください。
- ・ 取り外した後で OCP スロットが空いたままになる場合は、OCP スロット・フィラーを用意してください。

システムは、ネットワーク接続用に2ポートまたは4ポート OCP モジュールをサポートすることができます。ポート番号は以下の図に示されています。



図 180. ポート番号 — 2 ポート OCP モジュール

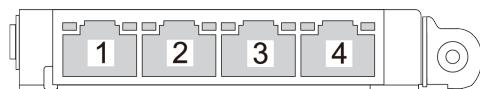


図 181. ポート番号 — 4 ポート OCP モジュール

手順

- 1 つまみねじを緩めます。必要に応じて、ドライバーを使用します。
- 2 ハンドルをつかんで、OCP モジュールを引き出します。

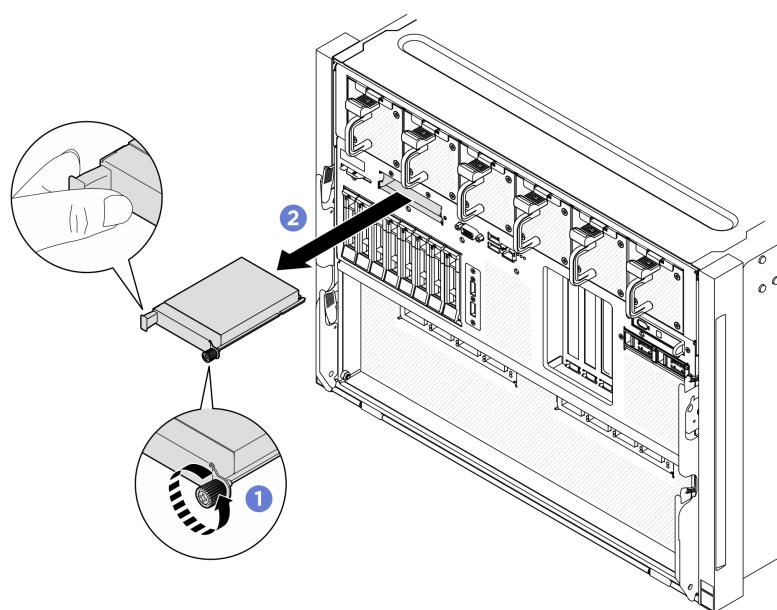


図 182. OCP モジュールの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料の梱包材がある場合はそれを使用してください。

OCP モジュールの取り付け

OCP モジュールを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

システムは、ネットワーク接続用に 2 ポートまたは 4 ポート OCP モジュールをサポートすることができます。ポート番号は以下の図に示されています。



図 183. ポート番号 — 2 ポート OCP モジュール

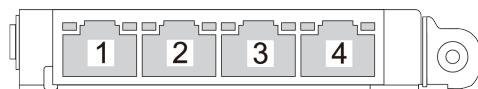


図 184. ポート番号 — 4 ポート OCP モジュール

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. OCP が OCP フィラーで覆われている場合は、システム・シャトルからフィラーを取り外します。

ステップ 2. OCP モジュールを取り付けます。

- ① OCP モジュールを、完全に装着されるまでスロットにスライドさせます。

- b. ② つまみねじを締めて OCP モジュールを固定します。必要に応じて、ドライバーを使用します。

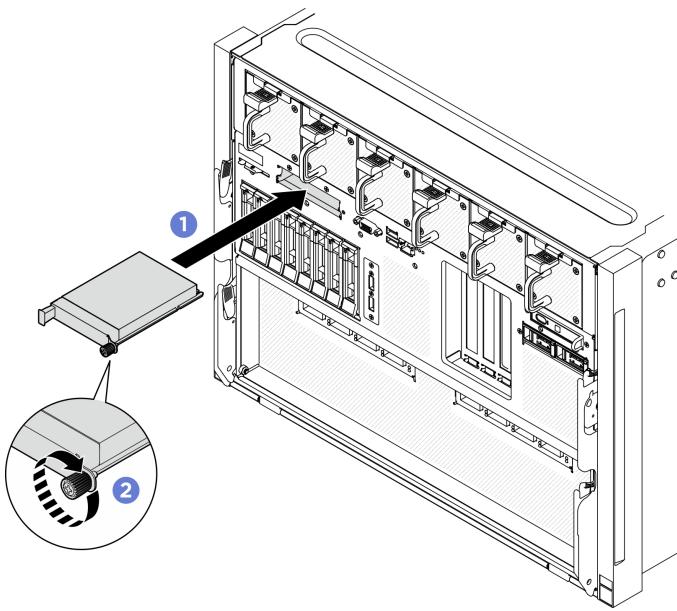


図 185. OCP モジュールの取り付け

完了したら

部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

OSFP カードとサポート・トレイの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

OSFP カードおよびサポート・トレイの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの手順に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

OSFP カードとサポート・トレイの取り外し

OSFP カードとサポート・トレイを取り外すには、このセクションの手順に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

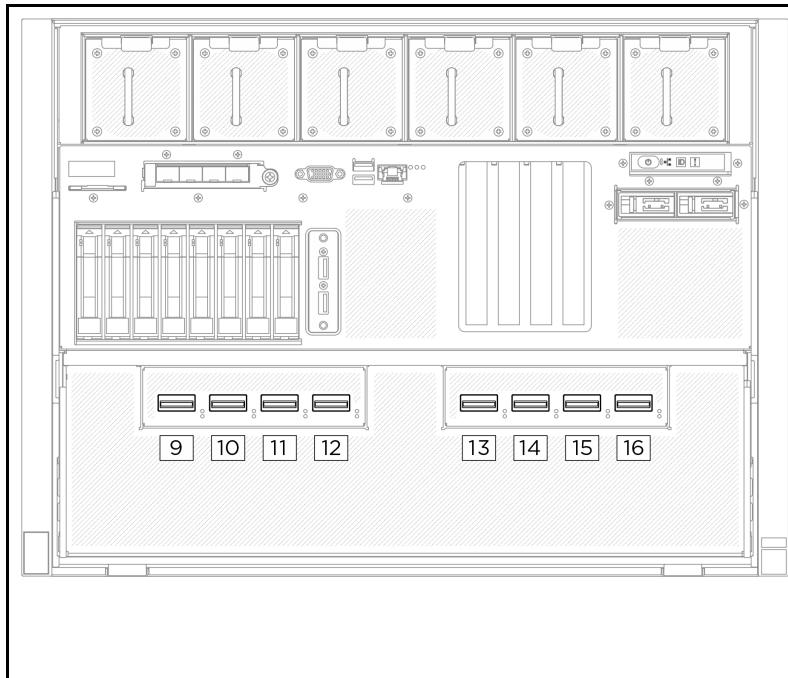
このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator:

<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=liftool> からご購入いただけます。
Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

- 次の表は、OSFP コネクターと対応する PCIe スロットの番号のマッピング情報を表示しています。



PCIe スロットの番号	OSFP コネクターの番号
9	7
10	5
11	6
12	8
13	1
14	3
15	4
16	2

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- 背面ファン・バルクヘッドを取り外します。260 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り外し」を参照してください。
- GPU シャトルを取り外します。128 ページの「GPU シャトルの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. 以下のケーブルを GPU ベースボードから取り外します。

- GPU 電源ケーブル 2 本
- OSFP カード電源ケーブル 2 本
- OSFP カード側波帶ケーブル 4 本

ステップ3. OSFP サポート・トレイを固定している 6 本のねじを取り外します。

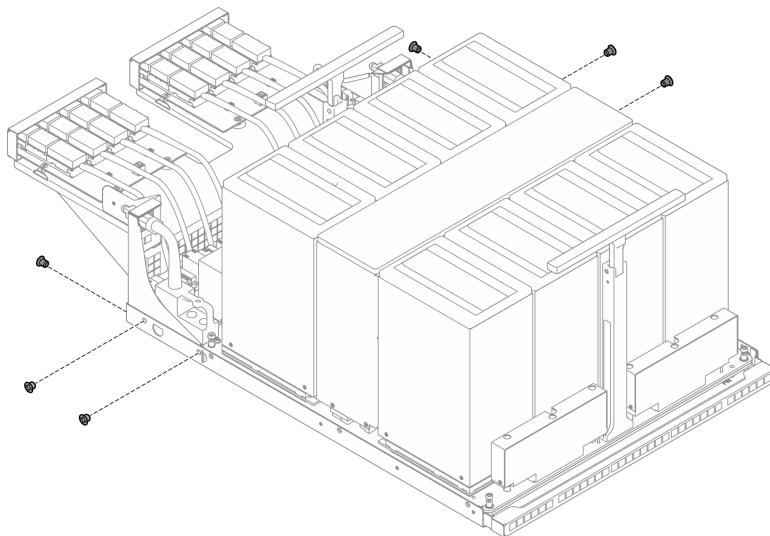


図 186. ねじの取り外し

ステップ4. OSFP サポート・トレイを GPU シャトル・ベースから切り離します。

- a. ① 2 つのリリース・ボタンを同時に押します。
- b. ② OSFP サポート・トレイを下に倒し、ケーブル・コネクターにアクセスします。

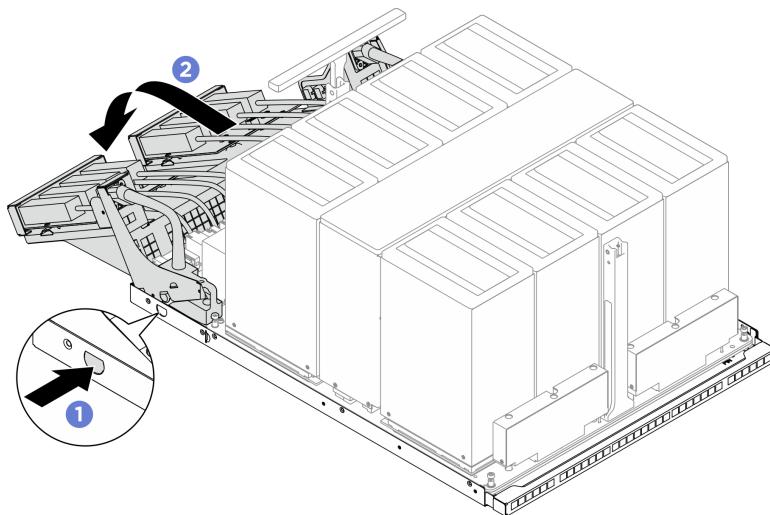


図 187. OSFP サポート・トレイの取り外し

ステップ5. GPU ベースボードから UltraPass ケーブルを外します。

- a. 以下の図に示す順序 (① > ② > ③ > ④ > ⑤ > ⑥ > ⑦ > ⑧) に従って、UltraPass ケーブルを取り外します。

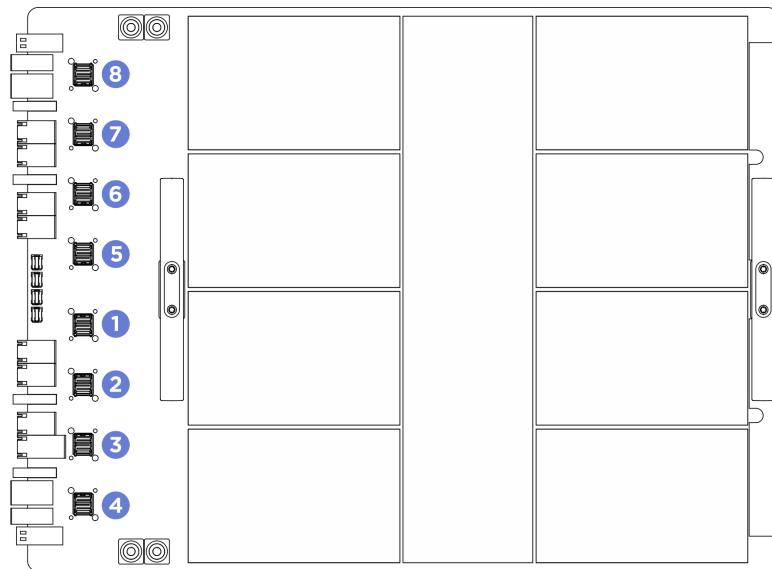


図 188. UltraPass ケーブルの取り外し順序

- b. トルク・ドライバーを 0.59 ± 0.06 ニュートン・メーターに設定します。次に、コネクター・キャップを固定している 4 本の Torx T8 ねじを、以下の図に示す順序 (① > ② > ③ > ④) で緩めてキャップを取り外します。

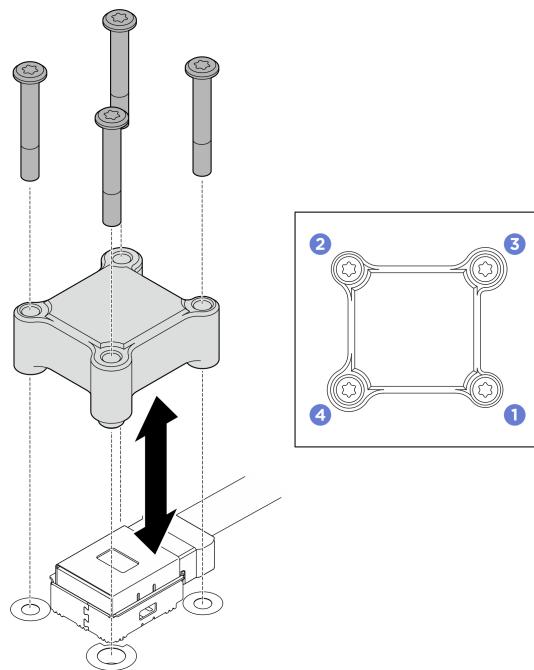


図 189. コネクター・キャップの取り外し

- c. UltraPass コネクター取り外しツールの上部のボタンを押し、ベース部分のグリッパーを閉じます。次に、ツールをコネクターに挿入します。

注：図のように、矢印がコネクターの正面を向くよう UltraPass コネクター取り外しツールを挿入します。

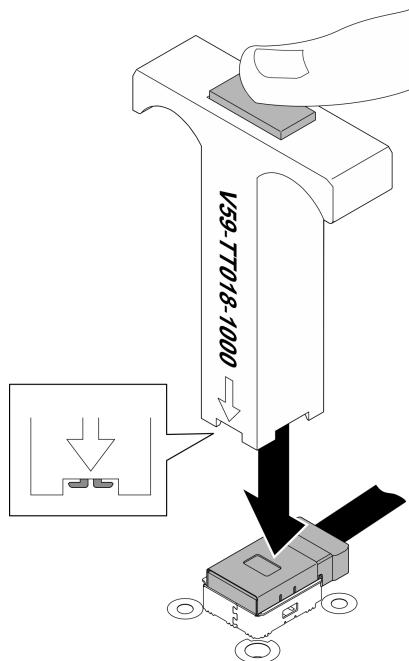


図 190. UltraPass コネクター取り外しツールの挿入

- d. ツールがコネクターに完全に挿入されたら、上部のボタンを離します。このステップでは、グリッパーがコネクターにひっかかります。

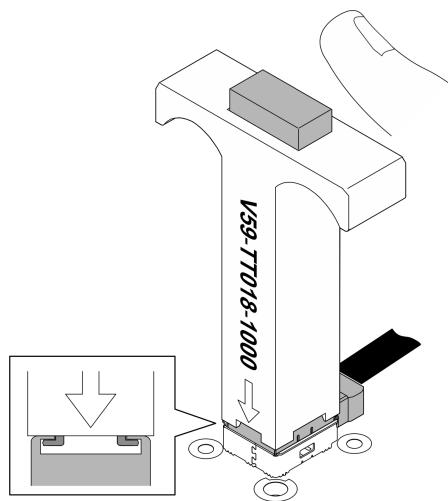


図 191. 上部のボタンを離す

- e. ツールを垂直方向に引き、コネクターをフレームから取り外します。

注：ツールは、必ず垂直方向に引いてください。斜めに引っ張ったり、傾けたりしないでください。

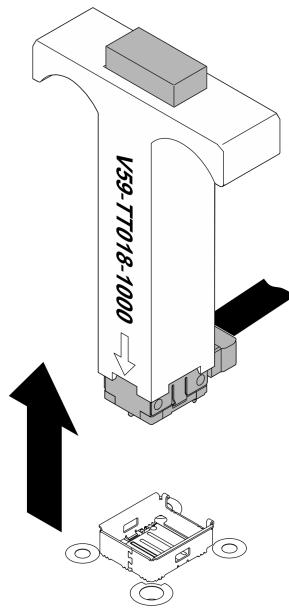


図 192. ケーブルの取り外し

- f. OSFP サポート・トレイの壁面にあるホルダーから、対応する保護カバーを取り出します。

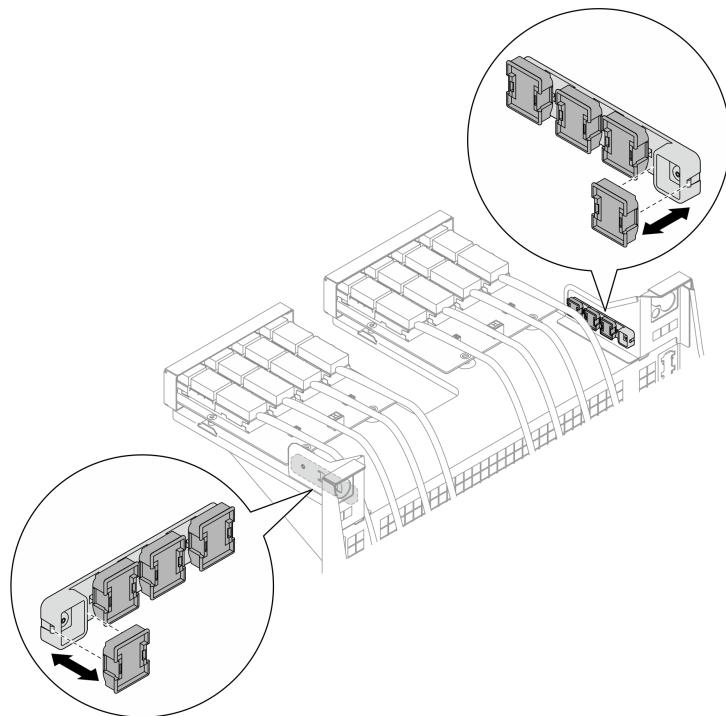


図 193. ホルダーからの対応する保護カバーの取り出し

- g. 保護カバーをコネクターに置きます。

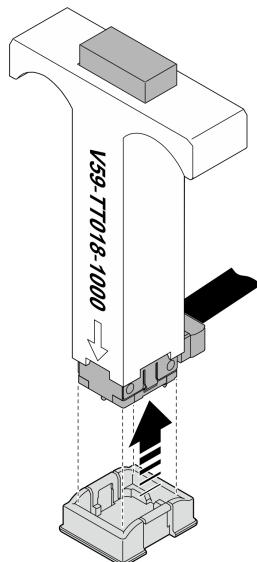


図 194. 保護カバーの配置

- h. 上部のボタンを押し、コネクターをツールから取り外します。

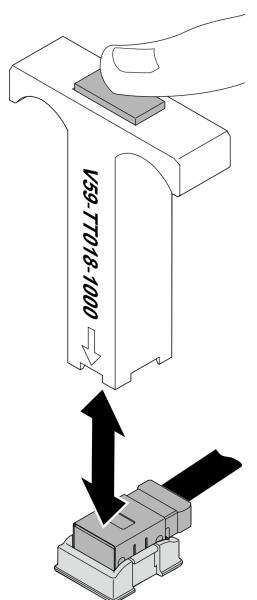


図 195. ツールからのコネクターの取り外し

- i. 上の手順を繰り返し、残りのケーブルを GPU ベースボードから取り外します。

ステップ 6. コネクター・キャップを GPU ベースボードに再度取り付けます。

- a. トルク・ドライバーを 0.15 ± 0.02 ニュートン・メーターに設定します。次に、以下の図に示されている順序 (1 > 2 > 3 > 4) に従って、コネクター・キャップを固定する 4 本の Torx T8 ねじを締め付けます。

- b. トルク・ドライバーを 0.59 ± 0.06 ニュートン・メーターに設定します。次に、以下の図に示されている順序 (① > ② > ③ > ④) に従って、コネクター・キャップを固定する 4 本の Torx T8 ねじを締め付けます。

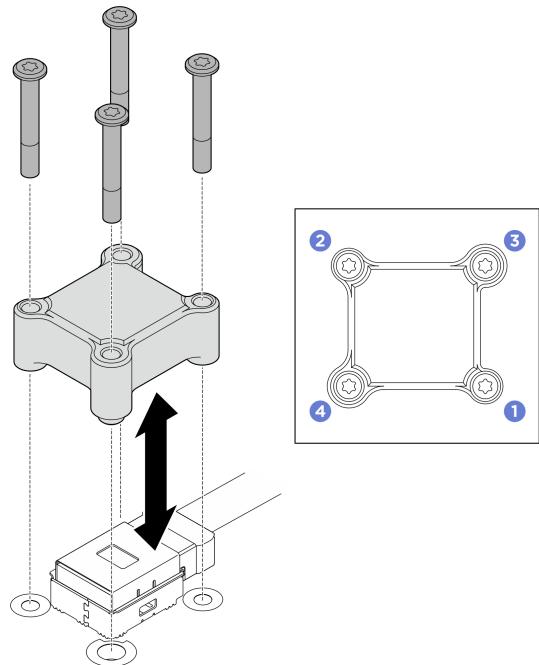


図 196. コネクター・キャップの取り付け

- c. 上の手順を繰り返し、残りのコネクター・キャップを再度取り付けます。

ステップ 7. OSFP カードを取り外します。

- a. ① OSFP カードを固定している 4 本のねじを緩めます。
- b. ② OSFP カードを後方にスライドさせ、持ち上げてサポート・トレイから取り出します。

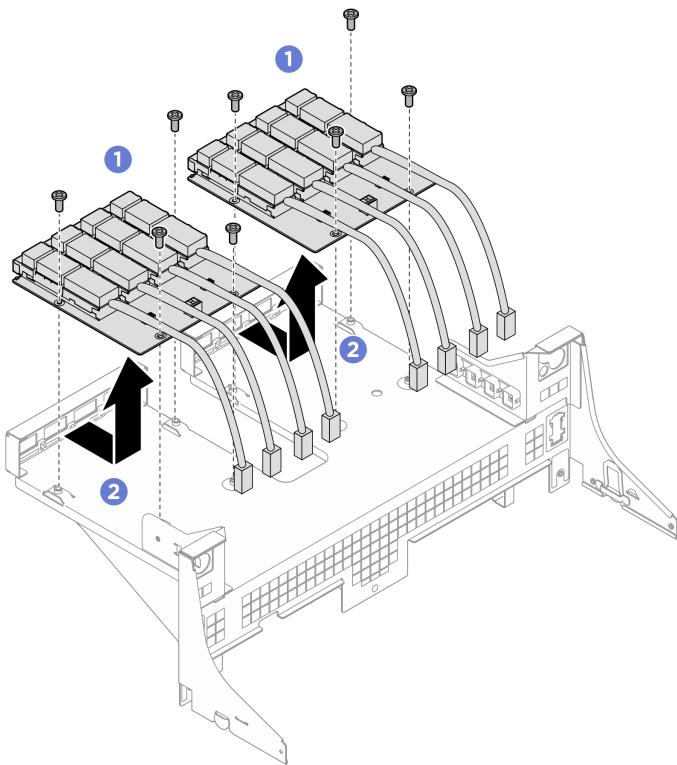


図 197. OSFP カードの取り外し

ステップ 8. OSFP サポート・トレイをつかみ、GPU シャトル・ベースから取り外します。

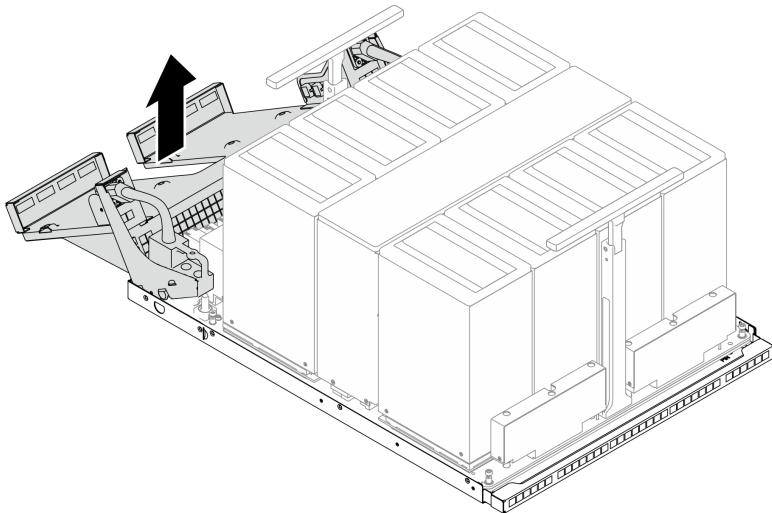


図 198. OSFP サポート・トレイの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

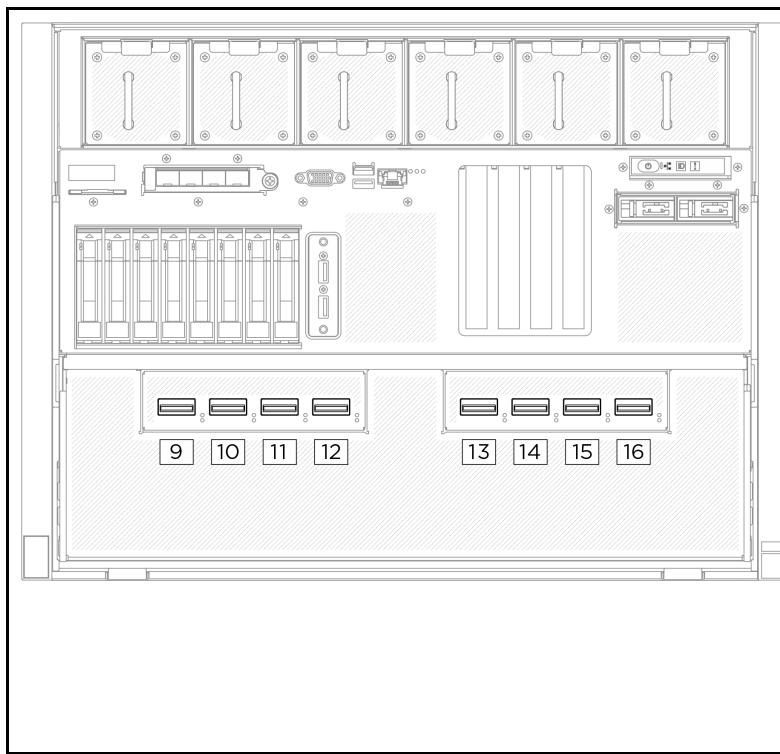
OSFP カードとサポート・トレイの取り付け

OSFP カードとサポート・トレイを取り付けるには、このセクションの手順に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。
- 次の表は、OSFP コネクターと対応する PCIe スロットの番号のマッピング情報を表示しています。



PCIe スロットの番号	OSFP コネクターの番号
9	7
10	5
11	6
12	8
13	1
14	3
15	4
16	2

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- Torx T8 磁気拡張ビット (長さ 100 mm) 1 本
- UltraPass コネクター取り外しツール 1 個
- OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツール 1 個
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ1. OSFP サポート・トレイを GPU シャトル・ベースの両側の角に合わせ、図に示すように、ゆっくりと斜めに GPU シャトル・ベースに配置します。

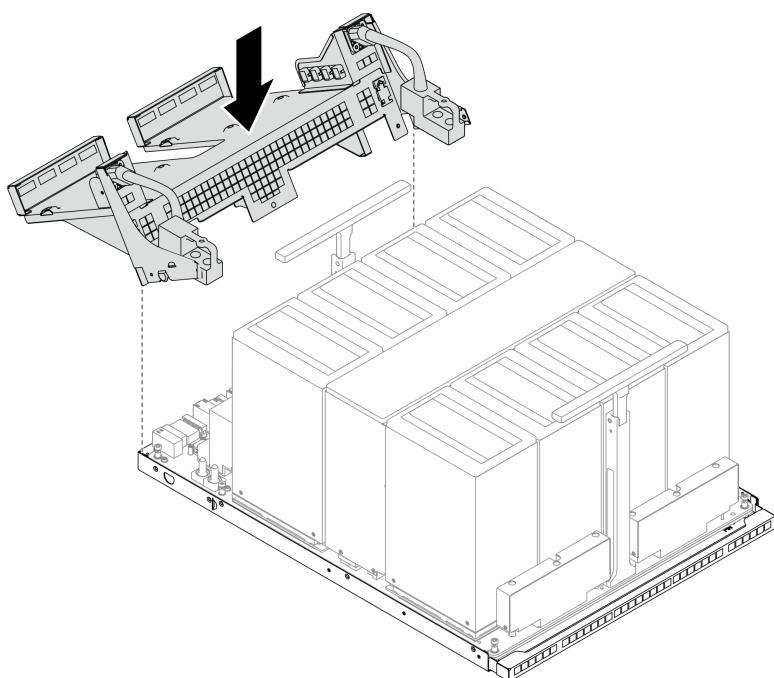


図 199. OSFP サポート・トレイの取り付け

ステップ2. OSFP カードを取り付けます。

- a. ① OSFP カードをサポート・トレイのスタンドオフに合わせ、ゆっくりとスライドさせて所定の位置に挿入します。
- b. ② トルク・ドライバーを 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターに設定し、4 本のプラス #2 ねじを締め付けて OSFP カードを固定します。

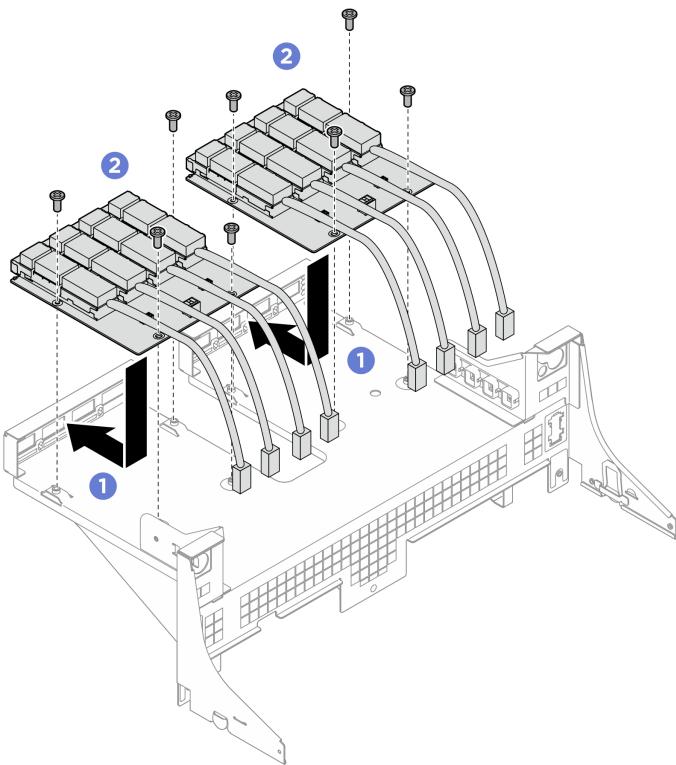


図200. OSFP カードの取り付け

ステップ3. 必要に応じて、GPU ベースボードに接続する UltraPass ケーブルの端部にラベルを貼り付けます。

- a. ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- b. ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。

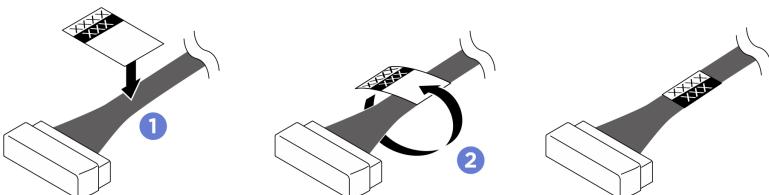


図201. ラベルの貼り付け

注：ケーブルに対応するラベルを識別するには、以下の表を参照してください。

始点	終点	ラベル
OSFP カード 1 (左): UltraPass ケーブル 7	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 7	OSFP 7 UltraPass 7
OSFP カード 1 (左): UltraPass ケーブル 5	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 5	OSFP 5 UltraPass 5
OSFP カード 1 (左): UltraPass ケーブル 6	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 6	OSFP 6 UltraPass 6
OSFP カード 1 (左): UltraPass ケーブル 8	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 8	OSFP 8 UltraPass 8
OSFP カード 2 (右): UltraPass ケーブル 1	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 1	OSFP 1 UltraPass 1
OSFP カード 2 (右): UltraPass ケーブル 3	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 3	OSFP 3 UltraPass 3

始点	終点	ラベル
OSFP カード 2 (右): UltraPass ケーブル 4	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 4	OSFP 4 UltraPass 4
OSFP カード 2 (右): UltraPass ケーブル 2	GPU ベースボード: UltraPass コネクター 2	OSFP 2 UltraPass 2

ステップ 4. UltraPass ケーブルを GPU ベースボードに接続します。

- a. 下の図に示す順序 (① > ② > ③ > ④ > ⑤ > ⑥ > ⑦ > ⑧) に従って UltraPass ケーブルを取り付けます (詳しくは、329 ページの「OSFP カードのケーブル配線」を参照)。

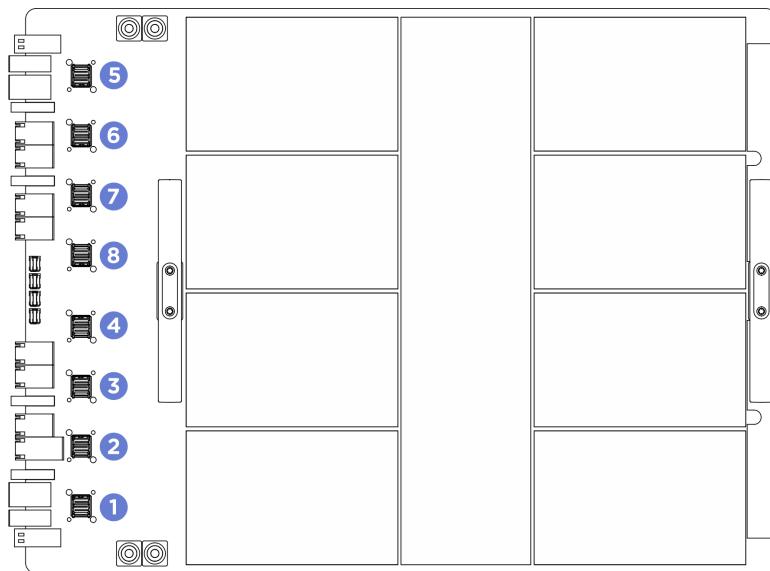


図 202. UltraPass ケーブルの取り付け順序

- b. トルク・ドライバーを 0.59 ± 0.06 ニュートン・メーターに設定します。次に、コネクター・キャップを固定している 4 本の Torx T8 ねじを、以下の図に示す順序 (① > ② > ③ > ④) で緩めてキャップを取り外します。

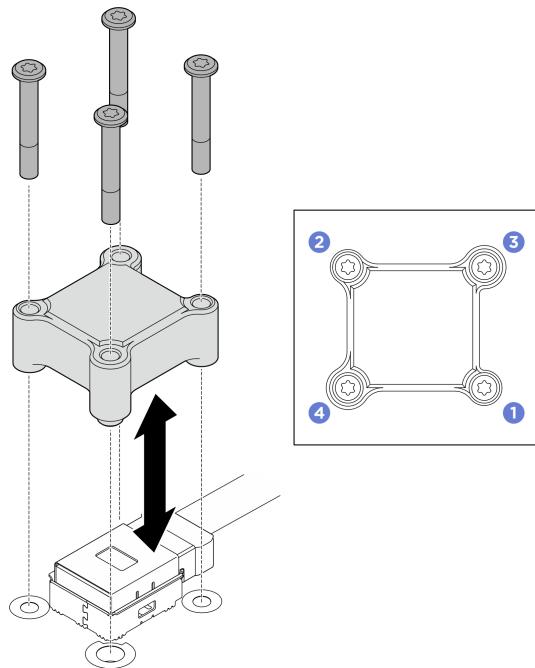


図203. コネクター・キャップの取り外し

- c. コネクター・キャップの内側にスポンジが取り付けられていることを確認します。
- d. アルコール・クリーニング・パッドを使用して UltraPass コネクターをクリーニングします。
- e. ケーブルの両側のストレイン・リリーフ・エリア (**1**)を持ち、次にコネクターの保護バーを外します。

注意：UltraPass ケーブルの接触ピンと位置合わせポストを必ず点検してください。接触ピンまたは位置合わせポストが損傷している場合、ケーブルを使用しないでください。

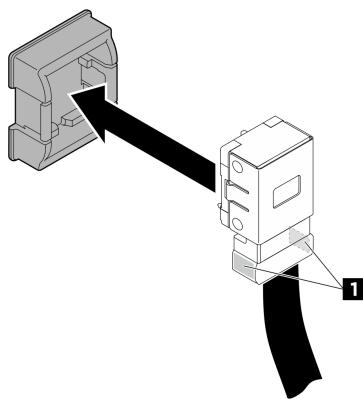


図204. 保護カバーの取り外し

- f. OSFP サポート・トレイの壁面にあるホルダーに保護部材を取り付けます。

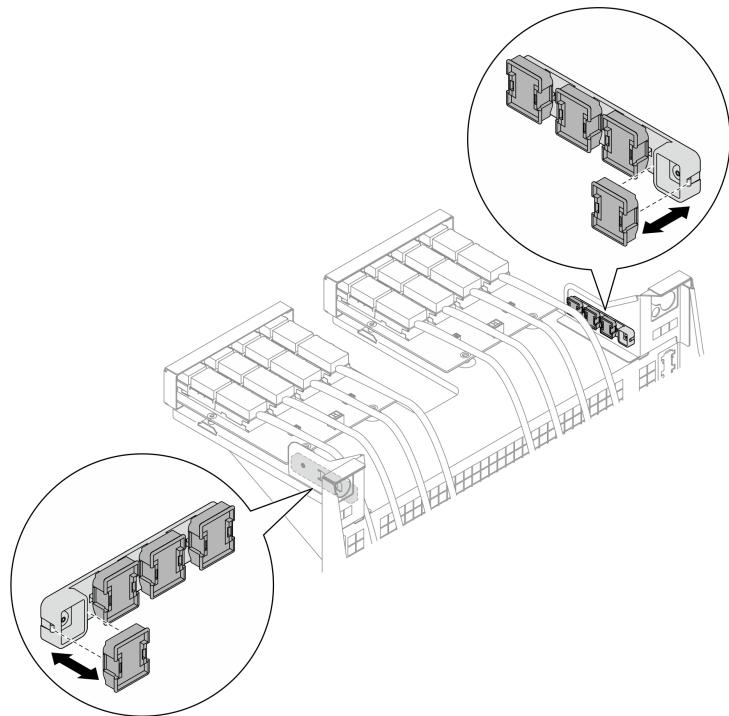


図 205. ホルダーへの対応する保護カバーの取り付け

- g. ケーブルを GPU ベースボードと平行に持ち、そのまままっすぐフレームに押し下げて、ラッチがフレームのスロットにロックされるまで挿入します。

注意：ケーブルを斜めに挿入したり、取り付け時にフレーム内で回転させたりしないでください。

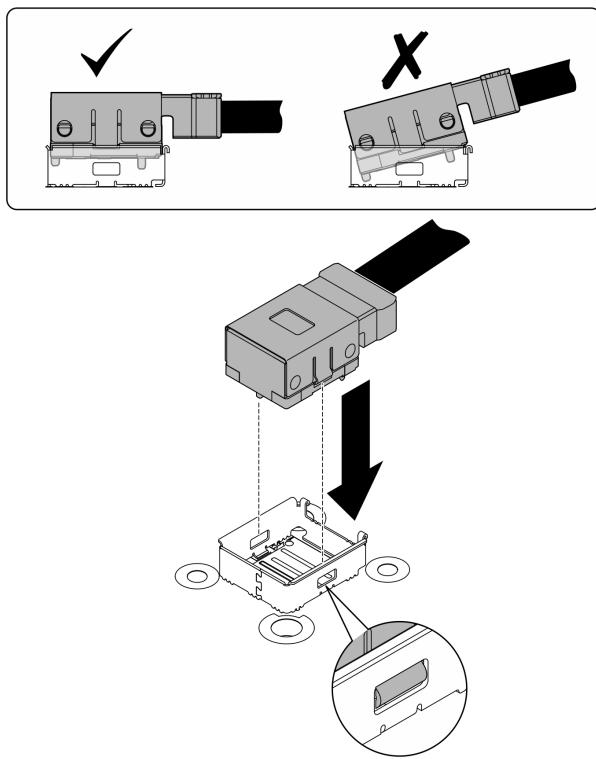


図 206. ケーブルの取り付け

- h. コネクター・キャップを GPU ベースボードに再度取り付けます。
 1. トルク・ドライバーを 0.15 ± 0.02 ニュートン・メーターに設定します。次に、以下の図に示されている順序(① > ② > ③ > ④)に従って、コネクター・キャップを固定する 4 本の Torx T8 ねじを締め付けます。
 2. トルク・ドライバーを 0.59 ± 0.06 ニュートン・メーターに設定します。次に、以下の図に示されている順序(① > ② > ③ > ④)に従って、コネクター・キャップを固定する 4 本の Torx T8 ねじを締め付けます。

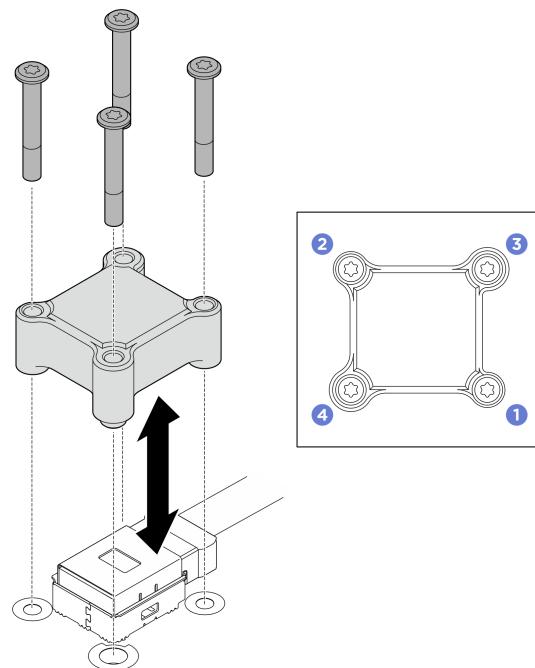


図207. コネクター・キャップの取り付け

3. 上の手順を繰り返し、残りのケーブルを接続します。

ステップ5. 必要に応じて、側波帯ケーブルの両端にラベルを貼り付けます。

- ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

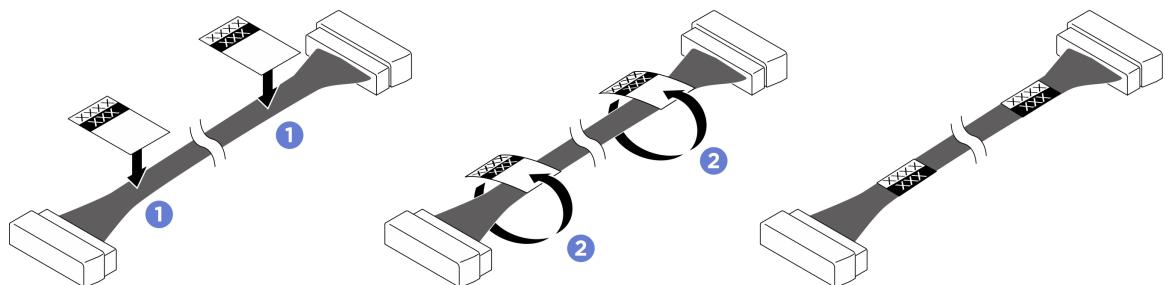


図208. ラベルの貼り付け

注：ケーブルに対応するラベルを識別するには、以下の表を参照してください。

始点	終点	ラベル
OSFP カード 1(左): 側波帶コネクター 4/2	GPU ベースボード: 側波帶コネクター 4	UBB SB 4/2 SB 4
OSFP カード 1(左): 側波帶コネクター 3/1	GPU ベースボード: 側波帶コネクター 3	UBB SB 3/1 SB 3
OSFP カード 2(右): 側波帶コネクター 4/2	GPU ベースボード: 側波帶コネクター 2	UBB SB 4/2 SB 2
OSFP カード 2(右): 側波帶コネクター 3/1	GPU ベースボード: 側波帶コネクター 1	UBB SB 3/1 SB 1

ステップ 6. OSFP カード側波帶ケーブル・プレス・ツールを使用し、側波帶ケーブルを GPU ベースボードおよび OSFP カードに取り付けます。

注意：ケーブルの配線手順に従って、ケーブルを正しく接続し、配線の誤りを防いでください。ケーブル接続が正しくないと、GPU ベースボードが対応する OSFP コネクターを制御できなくなります。

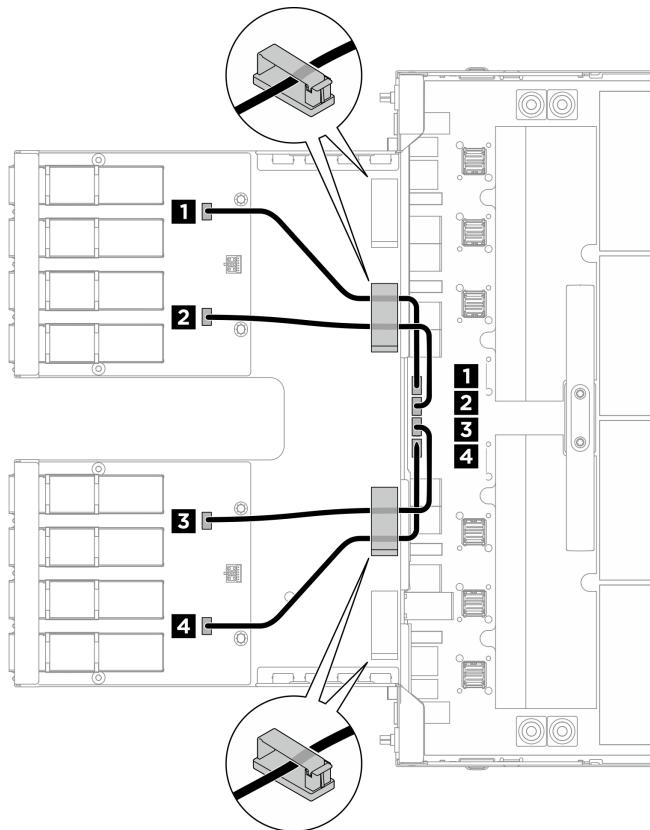


図209. 側波帶ケーブル配線

始点	終点	ラベル
① OSFP カード 1(左): 側波帶コネクター 4/2	① GPU ベースボード: 側波帶コネクター 4	UBB SB 4/2 SB 4
② OSFP カード 1(左): 側波帶コネクター 3/1	② GPU ベースボード: 側波帶コネクター 3	UBB SB 3/1 SB 3
③ OSFP カード 2(右): 側波帶コネクター 4/2	③ GPU ベースボード: 側波帶コネクター 2	UBB SB 4/2 SB 2
④ OSFP カード 2(右): 側波帶コネクター 3/1	④ GPU ベースボード: 側波帶コネクター 1	UBB SB 3/1 SB 1

- GPU ベースボードへの取り付け:

- ① ケーブルをプレス・ツールに挿入し、ケーブル・コネクターの溝がツールの開いた側を向くように、正しい向きにします。
- ② ツールの閉じた側が GPU ベースボードの背面を向くようケーブルを配置します。ケーブルを GPU ベースボード・コネクターと平行に保ち、ケーブルが完全に装着されるまでしっかりと押し下げます。
- この手順を繰り返し、残りのケーブルを GPU ベースボードに取り付けます。

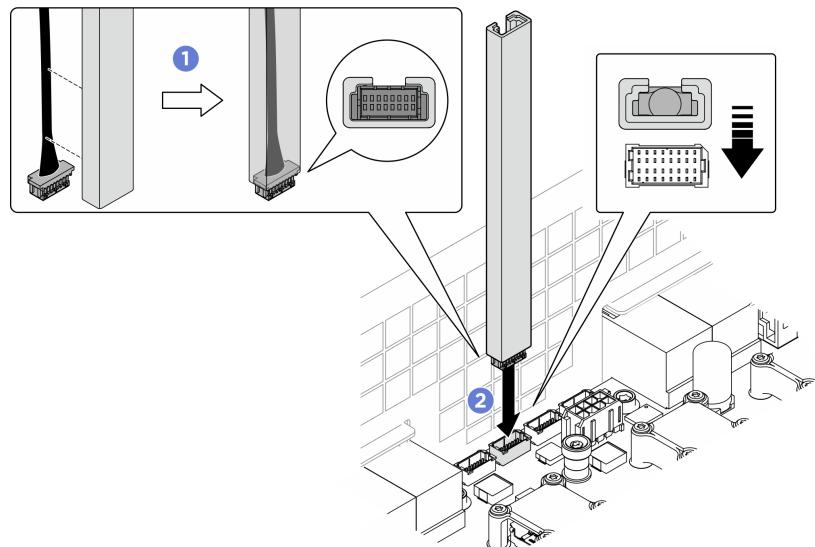


図210. 側波帶ケーブルの取り付け

- OSFP カードへの取り付け:

1. ① ケーブルをプレス・ツールに挿入し、ケーブル・コネクターの溝がツールの開いた側を向くように、正しい向きにします。
2. ② ツールの閉じた側が OSFP カードの前面を向くようケーブルを配置します。ケーブルを OSFP カード・コネクターと平行に保ち、その後、ケーブルが完全に装着されるまでしっかりと押し下げます。
3. この手順を繰り返し、残りのケーブルを OSFP カードに取り付けます。

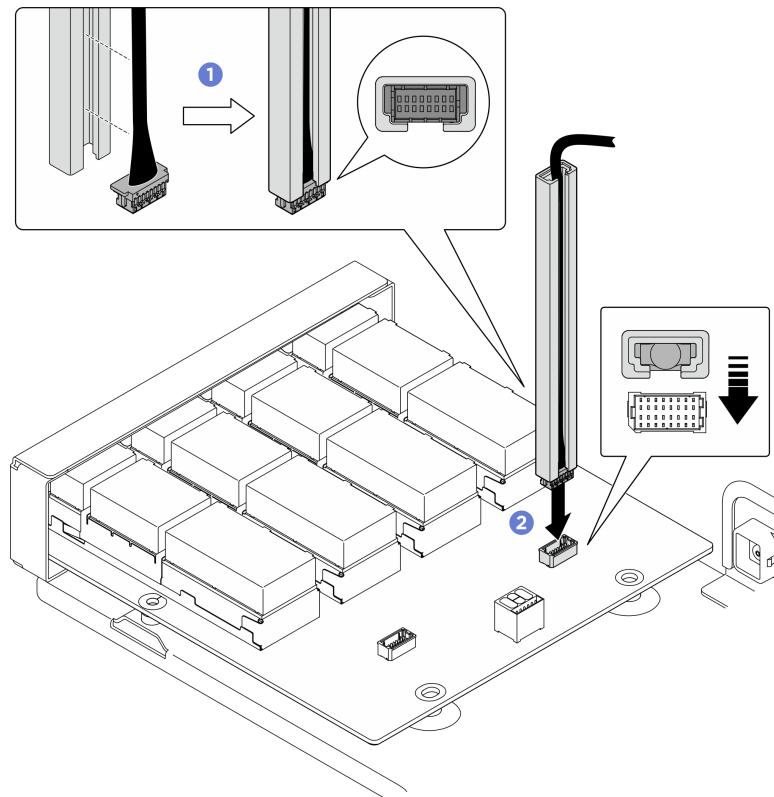


図211. 側波帶ケーブルの取り付け

ステップ7. OSFP サポート・トレイを GPU シャトル・ベースに確実に取り付けます。

- ① OSFP サポート・トレイを裏返します。
- ② 2つのリリース・ボタンが GPU シャトル・ベースにしっかりと固定されていることを確認します。

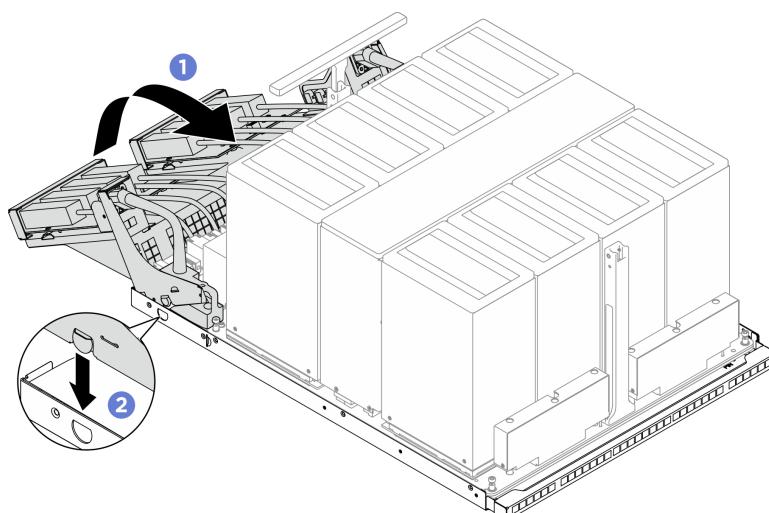


図212. OSFP サポート・トレイの固定

ステップ 8. トルク・ドライバーを 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターに設定し、6 本のプラス #2 ねじを締めて OSFP サポート・トレイを固定します。

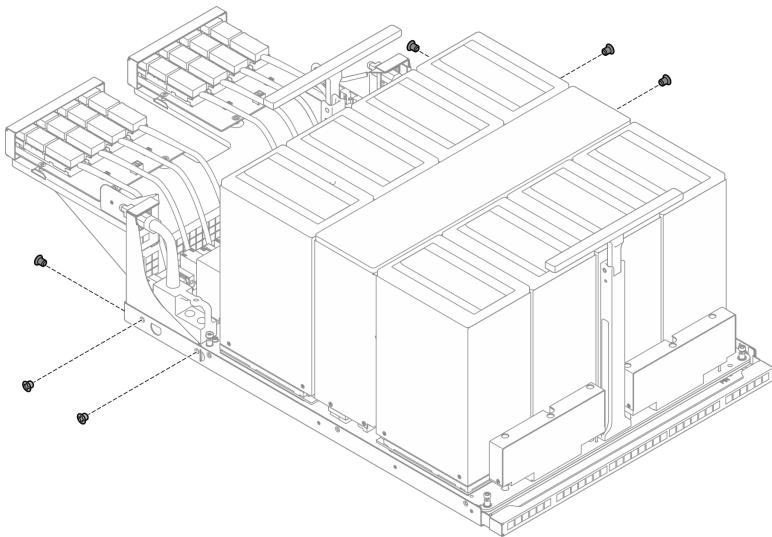


図 213. ねじの取り付け

ステップ 9. 残りのケーブルを GPU ベースボードに接続します。詳しくは、323 ページの「GPU ベースボードのケーブル配線」および 329 ページの「OSFP カードのケーブル配線」を参照してください。

完了したら

1. GPU シャトルを再度取り付けます。134 ページの「GPU シャトルの取り付け」を参照してください。
2. 背面ファン・バルクヘッドを再度取り付けます。262 ページの「背面ファン・バルクヘッドの取り付け」を参照してください。
3. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
4. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

PCIe アダプターの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

PCIe アダプターの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

PCIe アダプターの取り外し

PCIe アダプターを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

注：PCIe アダプターは図と異なる場合があります。

手順

ステップ1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

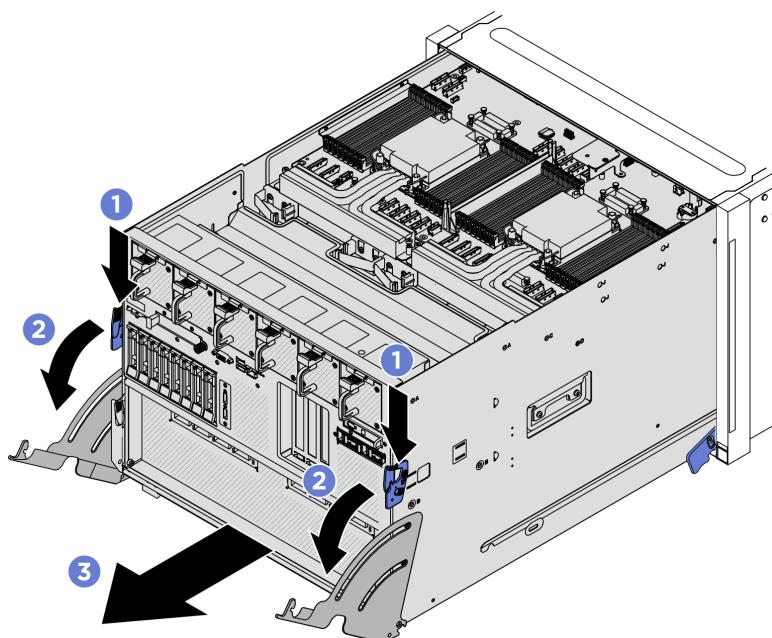


図214. システム・シャトルを停止位置まで引く

- 前面ファン・ケージを取り外します。81ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。

ステップ2. 該当する場合は、ケーブルを PCIe アダプターから取り外します。

- NVMe ドライブと PCIe スイッチ・ボード・ケージを、止まる位置まで引き出します。
 - ① システム・シャトルの両側にあるBのマークが付いた4本のねじを緩めます。
 - ② 両側にある2つの青色のラッチを同時に押します。
 - ③ ケージを、止まる位置まで前方に引き出します。

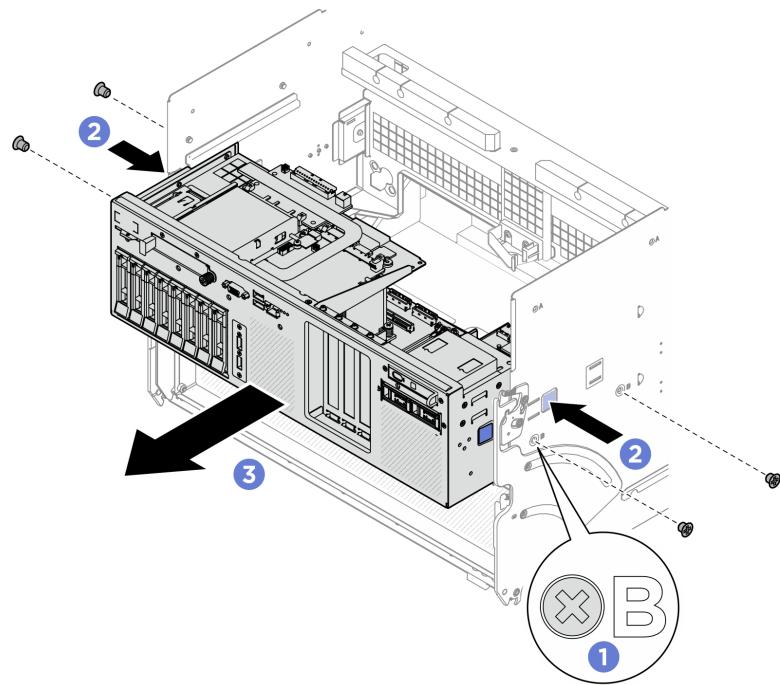


図215. NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージを止まる位置まで引き出す

b. ケーブルを PCIe アダプターから外します。

ステップ3. PCIe アダプターを固定しているねじを緩めてから、PCIe アダプターを持ち上げて PCIe スロットから取り出します。

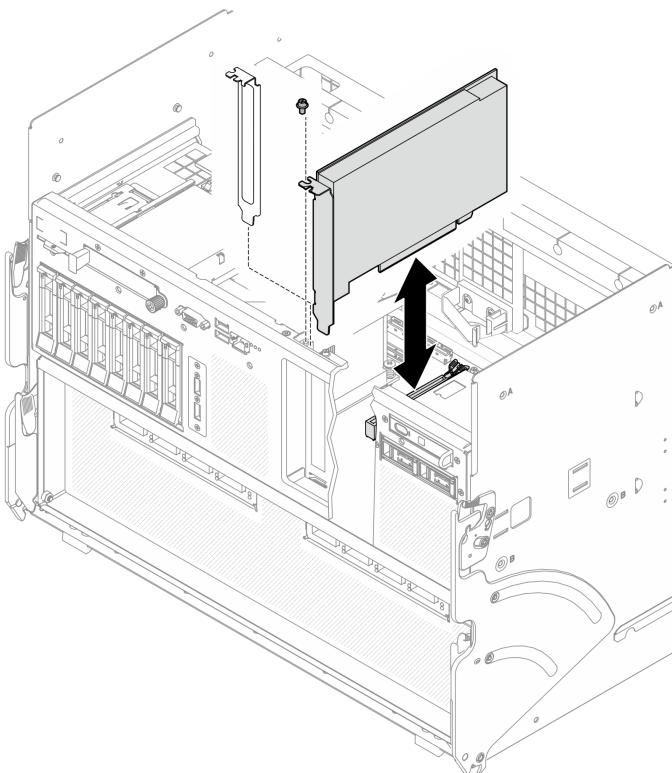


図216. PCIe アダプターの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

PCIe アダプターの取り付け

PCIe アダプターを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：PCIe アダプターは図と異なる場合があります。

手順

ステップ 1. PCIe アダプターを PCIe スイッチ・ボードの PCIe スロットに合わせます。次に、PCIe アダプターをスロットに完全に装着されるまで押し込みます。

ステップ 2. ねじを締めて PCIe アダプターを固定します。

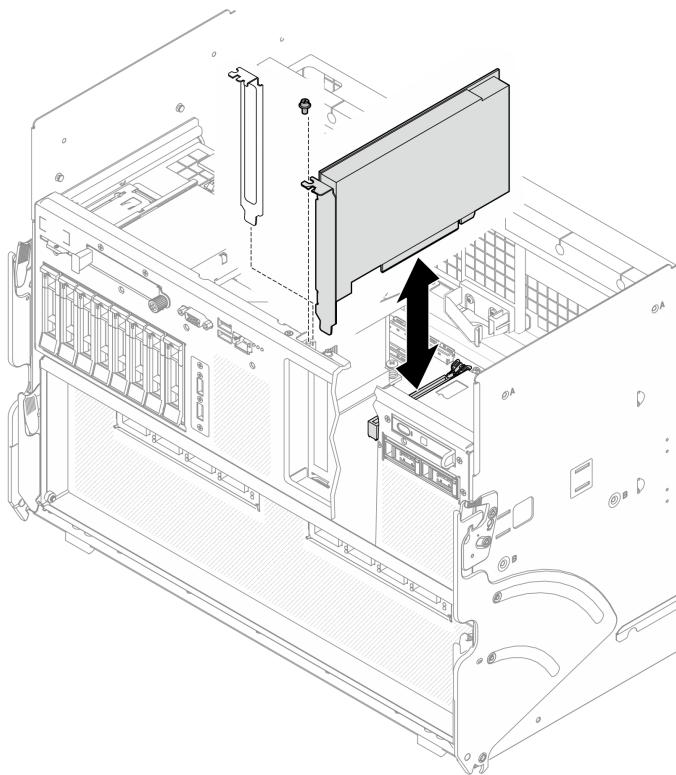


図217. PCIe アダプターの取り付け

ステップ3. 該当する場合は、ケーブルを PCIe アダプターに接続します。

- a. NVMe ドライブと PCIe スイッチ・ボード・ケージを、止まる位置まで引き出します。
 1. ① システム・シャトルの両側にある B のマークが付いた 4 本のねじを緩めます。
 2. ② 両側にある 2 つの青色のラッチを同時に押します。
 3. ③ ケージを、止まる位置まで前方に引き出します。

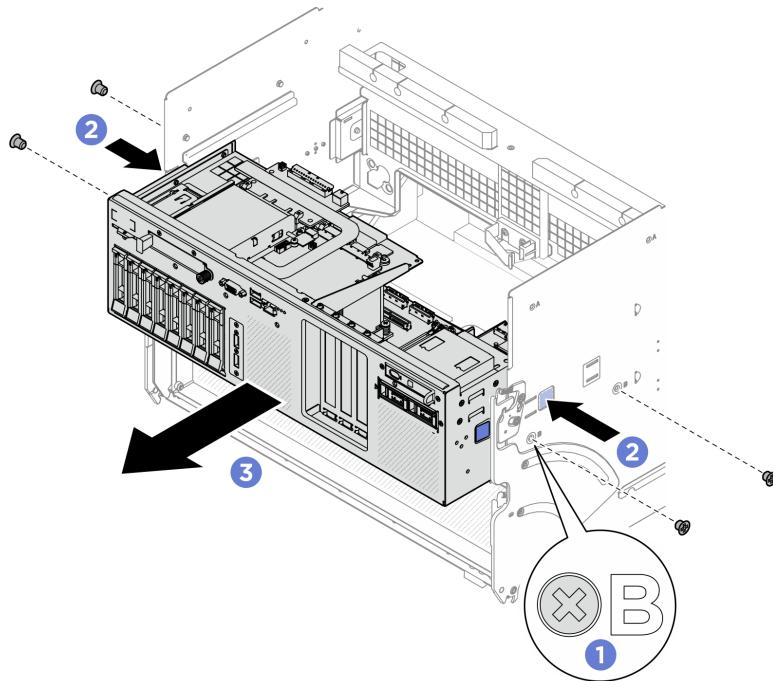


図218. NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージを止まる位置まで引き出す

- b. PCIe アダプターにケーブルを接続します。318 ページの「DPU アダプターの電源ケーブル配線」を参照してください。
- c. NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージをシステム・シャトルの奥まで押し込みます。
 1. ① ケージをシステム・シャトルの奥まで押し込みます。
 2. ② システム・シャトルの両側にある B のマークが付いた 4 個のねじ穴の位置を確認し、4 本のねじを締めてケージを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

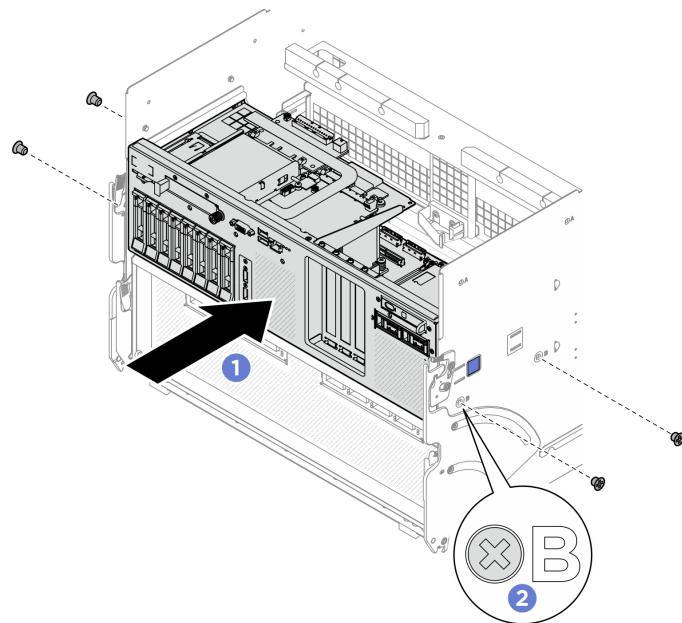


図219. NVMe ドライブおよびPCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け

完了したら

- 前面ファン・ケージを再度取り付けます。[83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」](#)を参照してください。
- システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ① シャトルの両側にある2つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

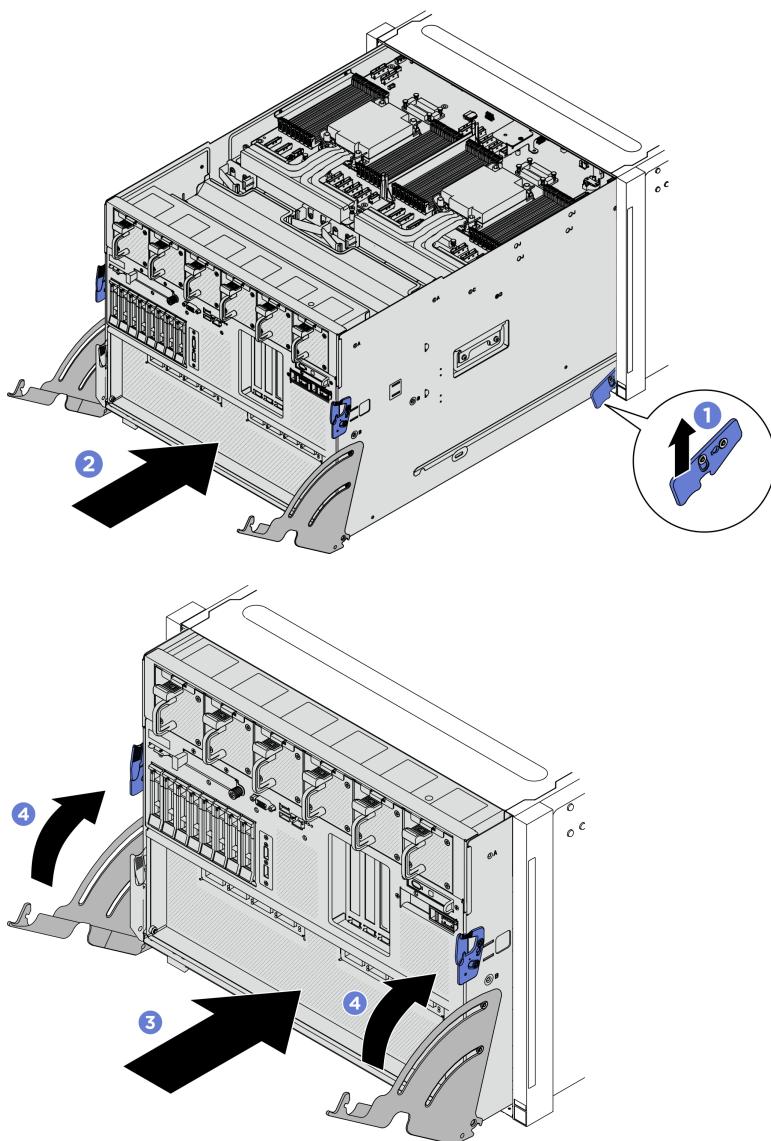


図220. システム・シャトルの取り付け

3. 部品交換を完了します。306 ページの「[部品交換の完了](#)」を参照してください。

PCIe スイッチ・ボードおよびヒートシンクの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

PCIe スイッチ・ボードおよび PCIe スイッチ・ボードのヒートシンクの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り外し

PCIe スイッチ・ボードのヒートシンクの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー
- アルコール・クリーニング・パッド

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

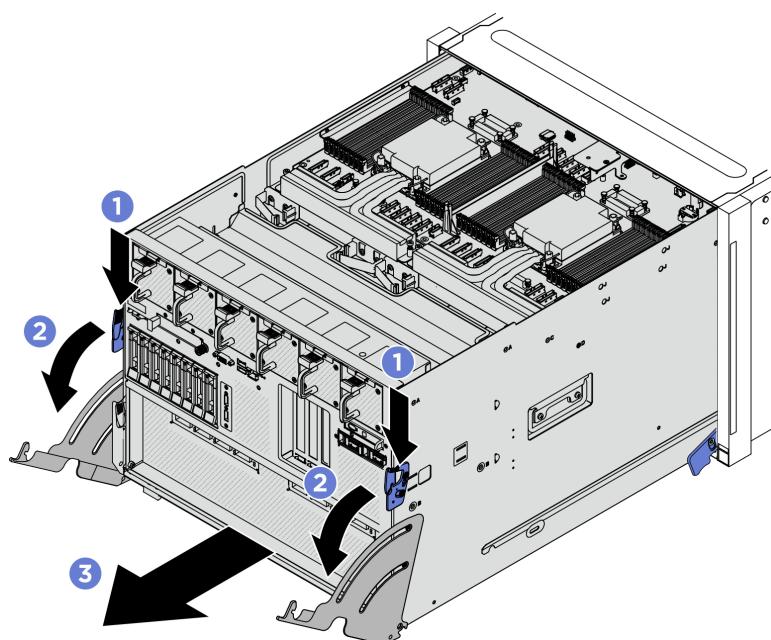


図221. システム・シャトルを停止位置まで引く

- 前面ファン・ケージを取り外します。81 ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。

- c. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを取り外します。[58 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ2. 右側の PCIe スイッチ・ボードのヒートシンクのみを取り外すには(システム・シャトルを前面から見た場合)、以下のコンポーネントを取り外します。

1. 内蔵診断パネルのケージを取り外します。
 - a. ① ケージを固定している 6 本のねじを緩めます。
 - b. ② ケージを後方にスライドさせて取り外します。

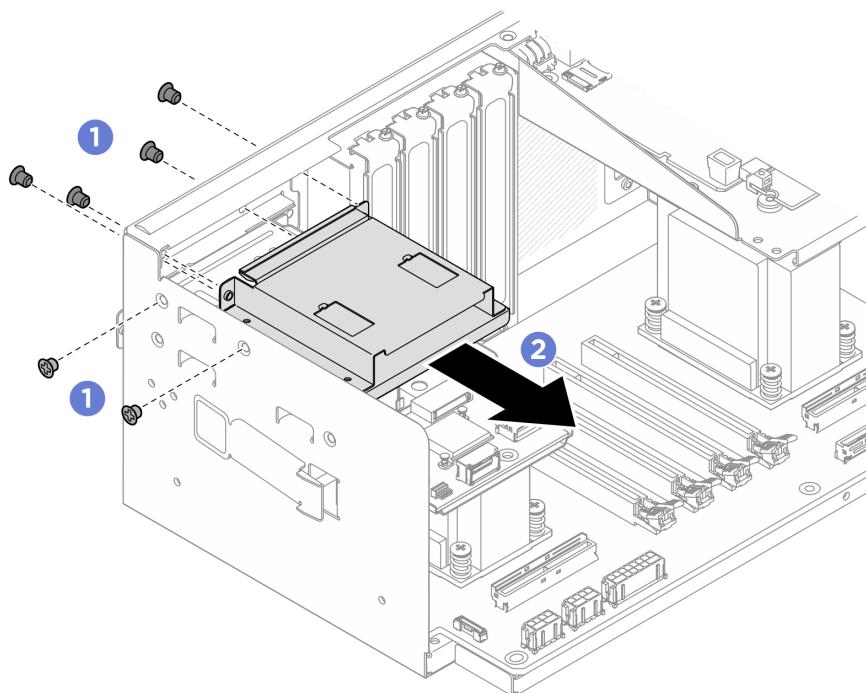


図222. 内蔵診断パネルのケージの取り外し

2. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーをすべて取り外します。[158 ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し」](#)を参照してください。
3. M.2 ドライブ・ケージを取り外します。[165 ページの「M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り外し」](#)を参照してください。

ステップ3. 左側の PCIe スイッチ・ボードのヒートシンクのみを取り外すには(システム・シャトルを前面から見た場合)、以下のコンポーネントを取り外します。

- a. OCP モジュールを取り外します。[183 ページの「OCP モジュールの取り外し」](#)を参照してください。
- b. システム I/O トレイを取り外します。
 1. ① トレイを固定している 10 本のねじを緩めます。
 2. ② トレイを後方にスライドさせてから持ち上げ、NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージから取り出します。

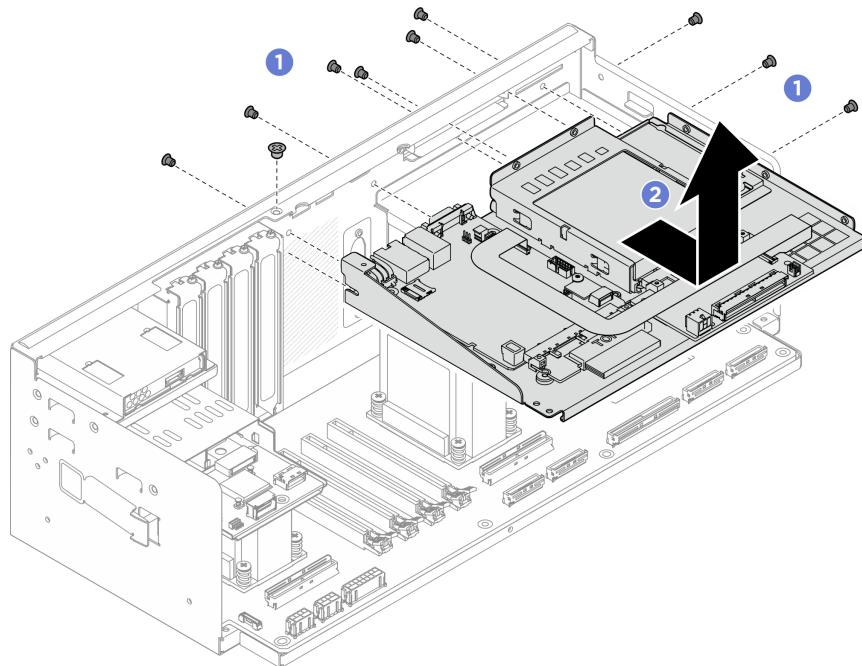


図223. システム I/O トレイの取り外し

ステップ4. PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクを取り外します。

- ① ヒートシンクのすべてのねじを対角順で完全に緩めます。
- ② ヒートシンクを PCIe スイッチ・ボードから慎重に持ち上げます。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に緩めるか締めるのに必要なトルクは、0.9 ニュートン・メーター、8 インチ・ポンドです。

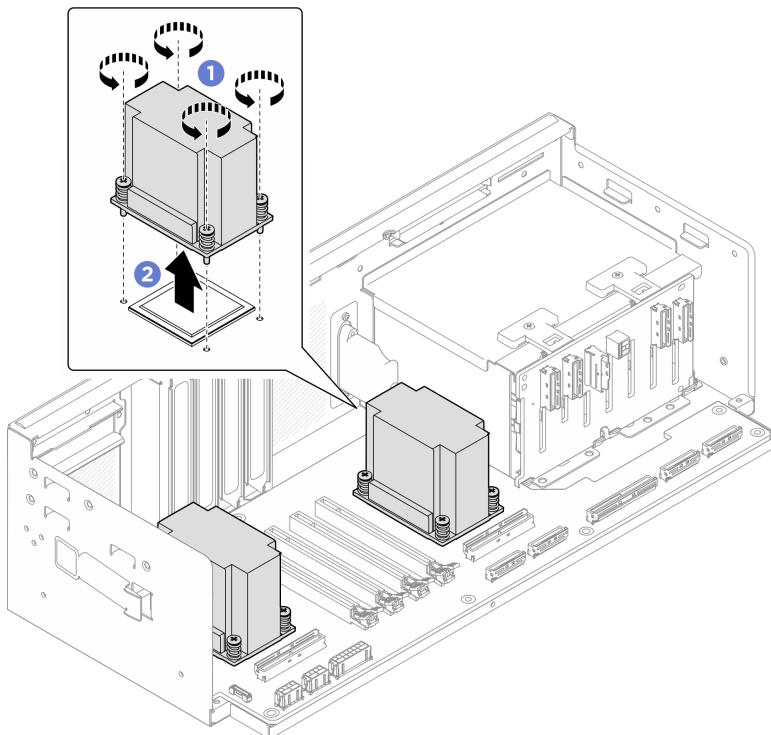


図224. PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り外し

ステップ5. アルコール・クリーニング・パッドで、以下のコンポーネントの熱伝導グリースをふき取ります。

- PCIe スイッチ・ボード上のヒート・スプレッダー
- PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの下部

完了したら

1. PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクを交換する場合、新しいものを取り付けます。225 ページの「PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り付け」を参照してください。
2. PCIe スイッチ・ボードを交換する場合は取り外します。219 ページの「PCIe スイッチ・ボードの取り外し」を参照してください。
3. コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

PCIe スイッチ・ボードの取り外し

PCIe スイッチ・ボードを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 1. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
 2. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
 3. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

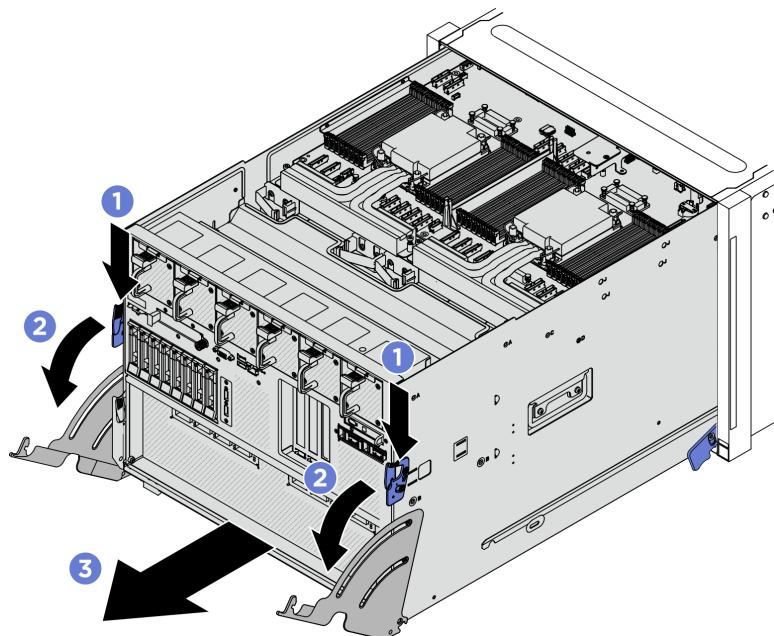


図225. システム・シャトルを停止位置まで引く

- b. 前面ファン・ケージを取り外します。81ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。
- c. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを取り外します。58ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し」を参照してください。
- d. ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーをすべて取り外します。158ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り外し」を参照してください。
- e. M.2 ドライブ・ケージを取り外します。165ページの「M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り外し」を参照してください。
- f. すべての PCIe アダプターを取り外します。208ページの「PCIe アダプターの取り外し」を参照してください。
- g. すべての PCIe スイッチ・ボードのヒートシンクを取り外します。216ページの「PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り外し」を参照してください。

ステップ2. PCIe スイッチ・ボードを取り外します。

- a. ① ボードから8本のねじを緩めます。
- b. ② ボードを持ち上げて、NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージから取り外します。

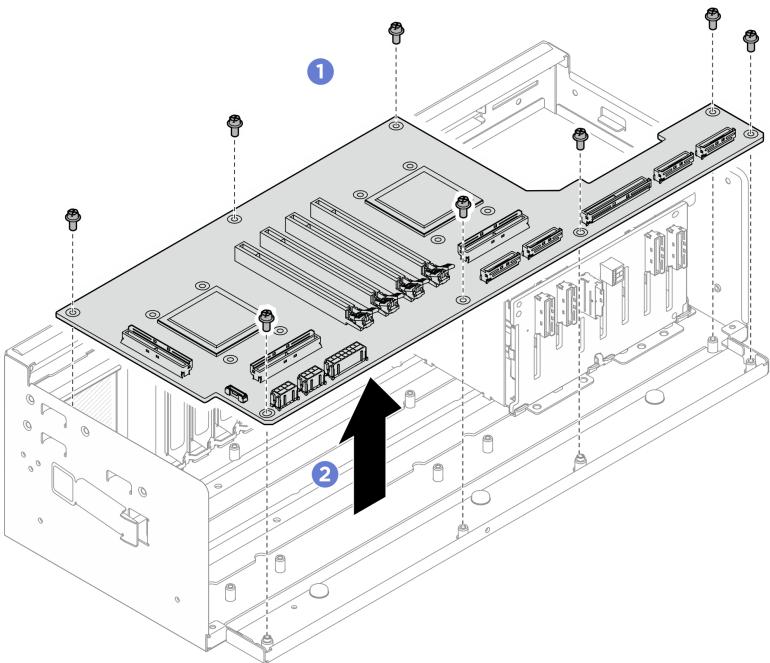


図 226. PCIe スイッチ・ボードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

PCIe スイッチ・ボードの取り付け

PCIe スイッチ・ボードの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. ① PCIe スイッチ・ボードの位置を NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージ上の支柱に合わせて、ボードをケージの上に静かに載せます。

ステップ 2. ② 8 本のねじを締めて、PCIe スイッチ・ボードを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

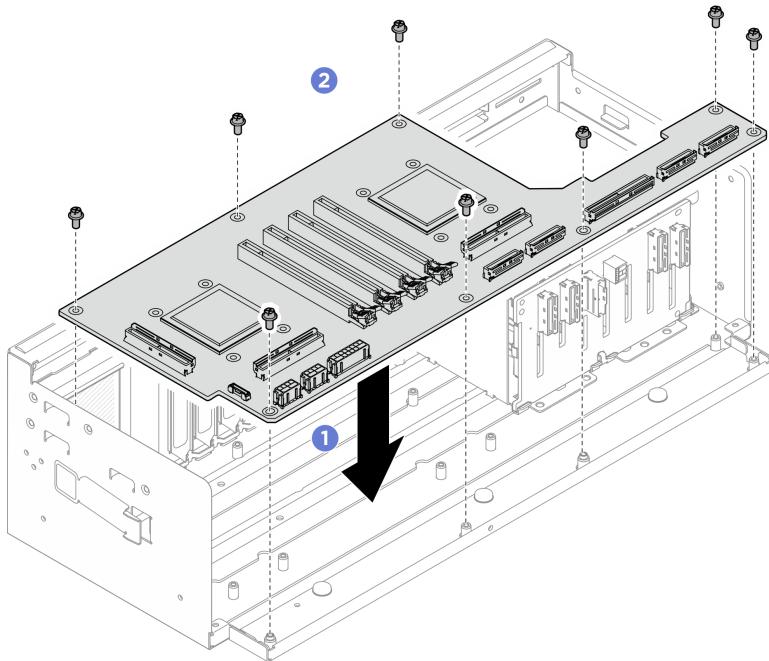


図 227. PCIe スイッチ・ボードの取り付け

ステップ 3. 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。

- ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

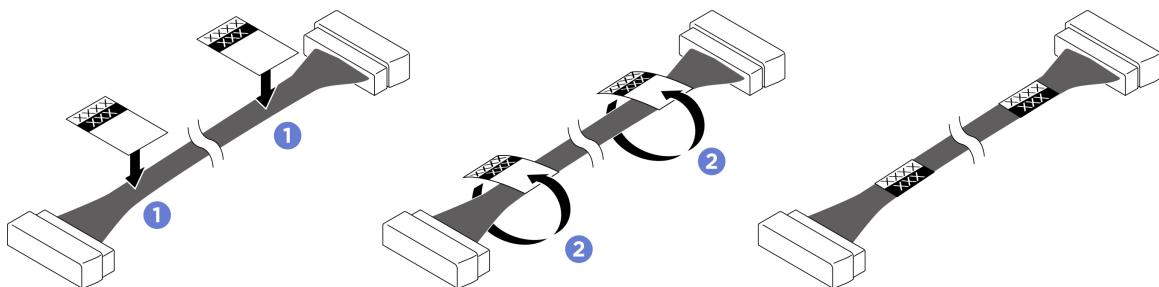


図 228. ラベルの貼り付け

注：下の表を参照して、ケーブルに対応するラベルを確認してください。

始点	ラベル	終点	ラベル
PCIe スイッチ・ボード: MCIO コネクター K	MCIO K	システム・ボード: MCIO コネクター 6A	P2-6A MCIO K
		システム・ボード: MCIO コネクター 6B	P3-6B MCIO K
PCIe スイッチ・ボード: MCIO コネクター J	MCIO J	システム・ボード: MCIO コネクター 3A	P2-3A MCIO J
		システム・ボード: MCIO コネクター 3B	P3-3B MCIO J
PCIe スイッチ・ボード: 側波帶コネクター	SB SWT SB	システム・ボード: PCIe スイッチ・ボードの側 波帶コネクター	SB SWT SB
PCIe スイッチ・ボード: 電源コネクター	SW PWR RISER PWR 2	分電盤: PCIe スイッ チ・ボードの電源コネ クター	SW PWR RISER PWR 2

完了したら

- すべての PCIe スイッチ・ボードのヒートシンクを再度取り付けます。225 ページの「PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り付け」を参照してください。
- すべての PCIe アダプターを元の位置に取り付けます。211 ページの「PCIe アダプターの取り付け」を参照してください。
- M.2 ドライブ・ケージを再度取り付けます。167 ページの「M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り付け」

4. すべてのホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを再度取り付けます。163 ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り付け」
5. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを再度取り付けます。62 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け」を参照してください。
6. 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
7. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

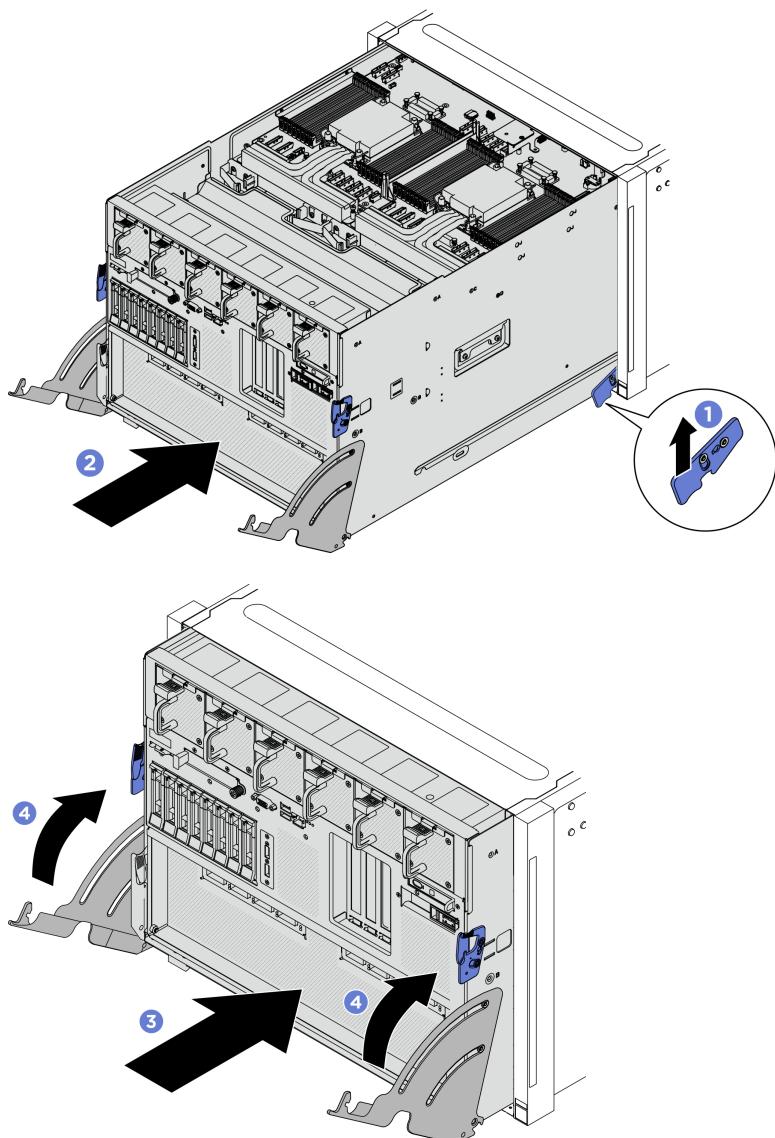


図 229. システム・シャトルの取り付け

8. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り付け

PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- トルク・ドライバー 1 本
- 熱伝導グリース 2 個

手順

ステップ 1. 新規の熱伝導グリースを 1 滴 (0.3 ml)、ヒート・スプレッダーの中央に塗布します。

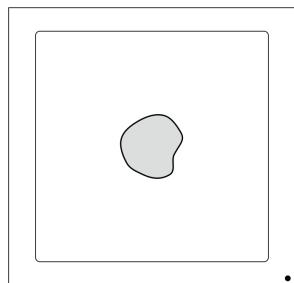


図 230. 热伝導グリースの塗布

ステップ 2. PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクを取り付けます。

- ① ヒートシンクを PCIe スイッチ・ボードの 4 つのねじ穴に合わせ、ヒートシンクを PCIe スイッチ・ボードに静かに置きます。
- ② ヒートシンク・ラベルに示されているねじの順序に従い、ねじ山が PCIe スイッチ・ボードにかみ合うまで 4 本のねじを時計回りに数回転回します。
- ③ ヒートシンク・ラベルに示されているねじの順序に従い、4 本のねじを完全に締めてヒートシンクを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締めたり、緩めたりして、適切なトルクに固定します。参考までに、ねじを完全に緩めるか締めるのに必要なトルクは、0.9 ニュートン・メーター、8 インチ・ポンドです。

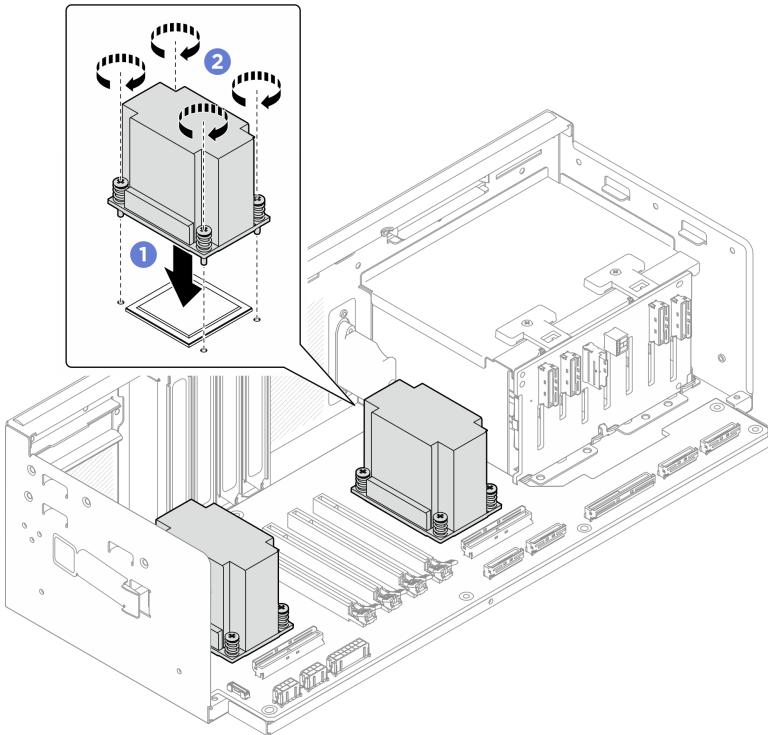


図 231. PCIe スイッチ・ボード・ヒートシンクの取り付け

ステップ 3. 必要に応じて、以下のコンポーネントを再び取り付けます。

1. M.2 ドライブ・ケージを再度取り付けます。167 ページの「M.2 ドライブ・ケージおよびバックプレーンの取り付け」
2. すべてのホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーを再度取り付けます。163 ページの「ホット・スワップ M.2 ドライブ・アセンブリーの取り付け」
3. 内蔵診断パネルのケージを再び取り付けます。
 - a. ① NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの前面にある所定のスロットにケージを挿入します。
 - b. ② 6 本のねじを締めてケージを固定します。

注：以下のトルク値を参考にして、適切なトルク値を設定したトルク・ドライバーでねじを締めてください。

- 両側の 2 本のねじ (M3 × 4 mm): 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーター
- 前面の 4 本のねじ (M3 × 5 mm): 0.5 ± 0.05 ニュートン・メーター

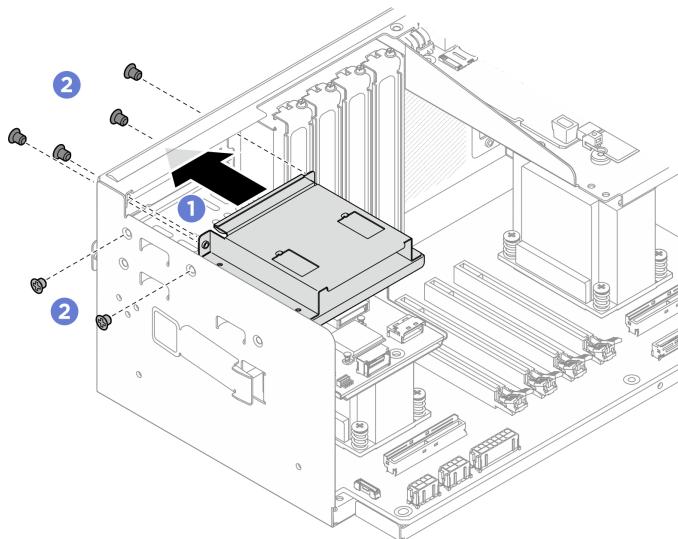


図 232. 内蔵診断パネルのケージの取り付け

ステップ 4. 必要に応じて、以下のコンポーネントを再び取り付けます。

a. システム I/O トレイを再び取り付けます。

1. ① トレイを下ろして前方にスライドさせ、NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージにはめ込みます。
2. ② 10 本のねじを締めてトレイを固定します。

注：以下のトルク値を参考にして、適切なトルク値を設定したトルク・ドライバーでねじを締めてください。

- 側面および上部の 4 本のねじ (M3 × 4 mm): 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーター
- 前面の 6 本のネジ (M3 × 5 mm): 0.5 ± 0.05 ニュートン・メーター

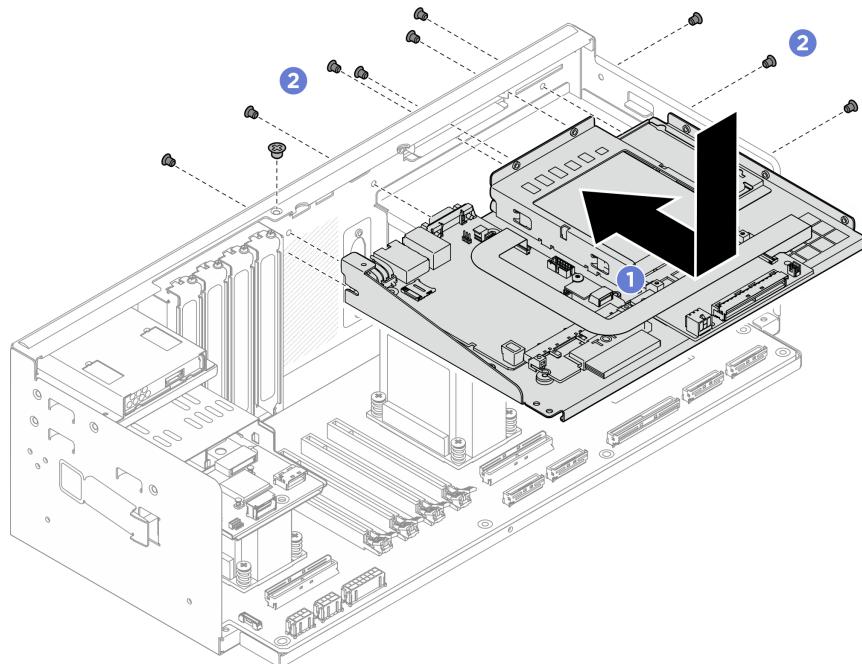


図233. システム I/O トレイの取り付け

- b. OCP モジュールを再び取り付けます。185 ページの「OCP モジュールの取り付け」を参照してください。

完了したら

1. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを再度取り付けます。62 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け」を参照してください。
2. 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
3. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

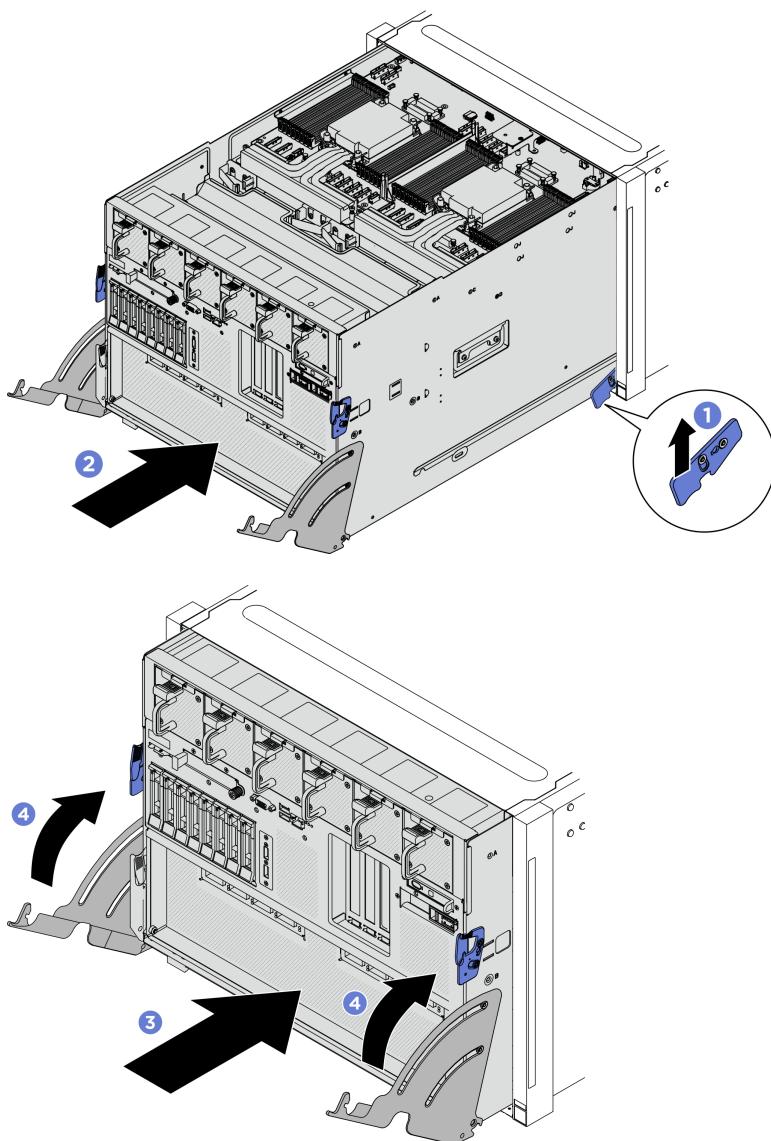


図234. システム・シャトルの取り付け

4. 部品交換を完了します。306 ページの「[部品交換の完了](#)」を参照してください。

電源複合システムの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

電源複合システムの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

電源複合システムの取り外し

電源複合システムの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- b. すべてのケーブルを PSU インターポーザから取り外します。
- c. コンピュート・トレイを取り外します。48 ページの「コンピュート・トレイの取り外し」を参照してください。
- d. 分電盤からすべてのケーブルを外します。
- e. ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーを取り外します。44 ページの「ケーブル・ホルダー・フレームおよびバッフル・アセンブリーの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. 電源複合システムを取り外します。

- a. ① システム・シャトルの両側にある E でマークされた 6 本のねじを緩めます。
- b. ② システム・シャトルから電源複合システムを持ち上げます。

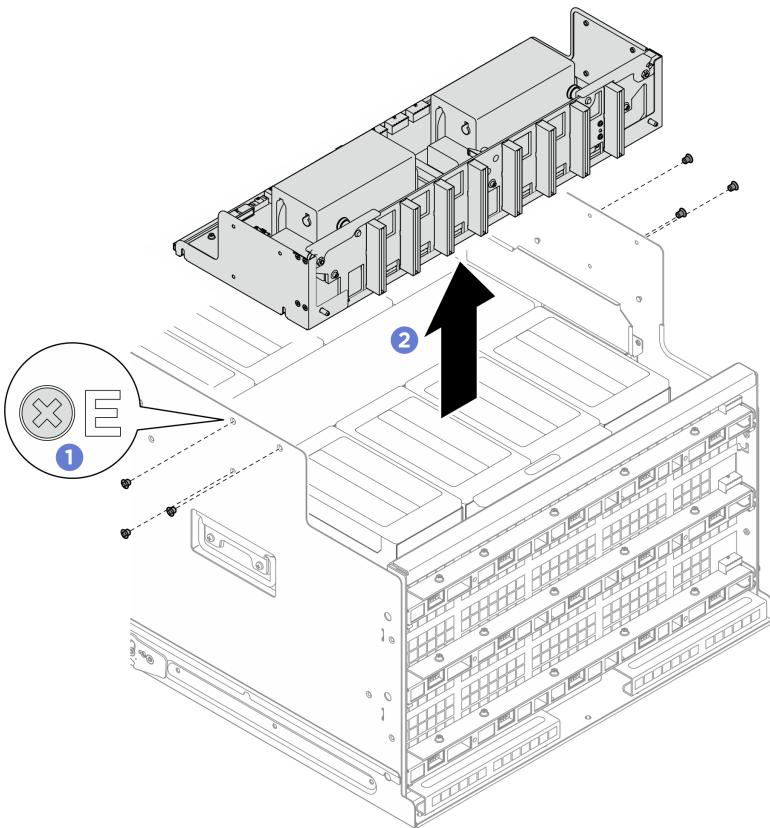


図235. 電源複合システムの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

電源複合システムの取り付け

電源複合システムの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. ① 電源複合システムをシステム・シャトル上のガイド・ピンに合わせ、しっかりと固定されるまで電源複合システムをシステム・シャトルに下ろします。

ステップ 2. ② システム・シャトルの両側に E とマークされた 6 個のねじ穴を見つけ、6 本のねじを締めて電源複合システムを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

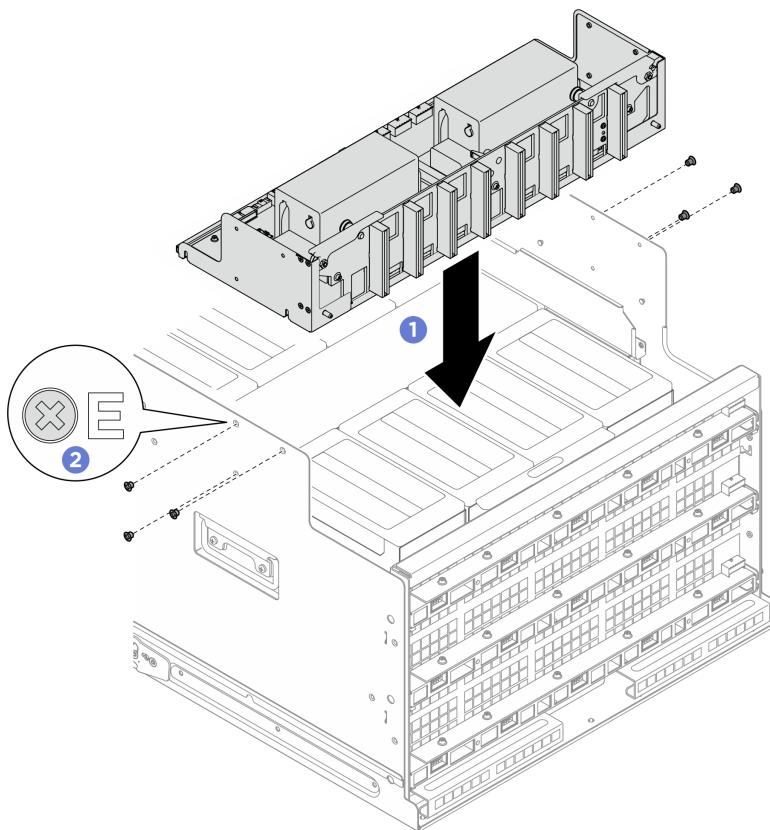


図 236. 電源複合システムの取り付け

完了したら

- ケーブル・ホルダー・フレームとバッフル・アセンブリーを再度取り付けます。[46 ページの「ケーブル・ホルダー・フレームとバッフル・アセンブリーの取り付け」](#)を参照してください。
- ケーブルを分電盤に接続します。詳しくは、以下を参照してください。
 - [317 ページの「2.5 インチ ドライブ・バックプレーンのケーブル配線」](#)
 - [320 ページの「ファン制御ボードのケーブル配線」](#)
 - [323 ページの「GPU ベースボードのケーブル配線」](#)
 - [334 ページの「PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線」](#)
 - [336 ページの「PSU 変換コネクターのケーブル配線」](#)
 - [337 ページの「リタイマー・ボードのケーブル配線」](#)

3. コンピュート・トレイを再度取り付けます。49 ページの「コンピュート・トレイの取り付け」を参照してください。
4. PSU インターポーザにケーブルを接続します。詳しくは、336 ページの「PSU 変換コネクターのケーブル配線」を参照してください。
5. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
6. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

分電盤の交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

分電盤の取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

分電盤の取り外し

分電盤を取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- b. PSU インターポーザを取り外します。258 ページの「PSU 変換コネクターの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. 分電盤からすべてのケーブルを外します。

ステップ 3. 14 本のねじを緩めて、トレイから分電盤を取り外します。

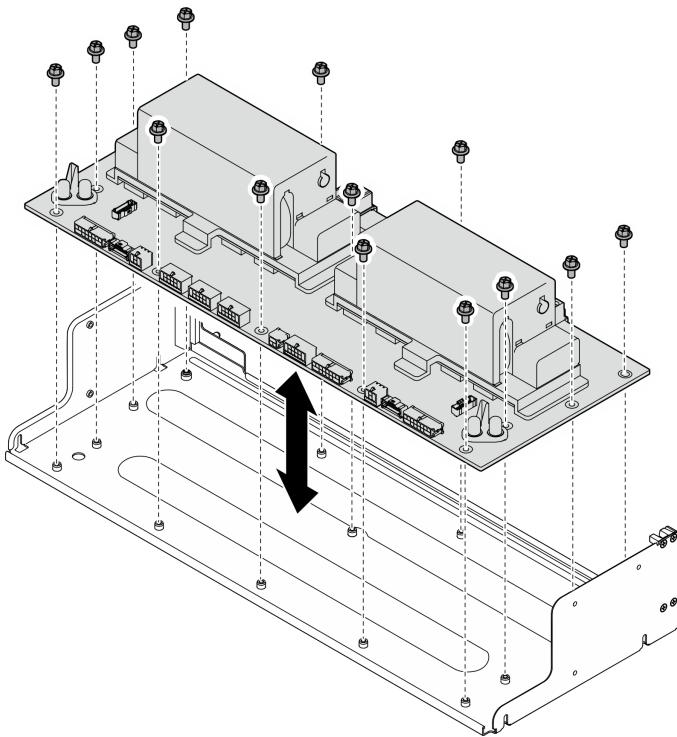


図 237. 分電盤の取り外し

完了したら

- コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。
- コンポーネントのリサイクルを予定している場合は、「ユーザー・ガイド」の「リサイクルのための分電盤の分解」を参照してください。

分電盤の取り付け

分電盤を取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ1. 分電盤をトレイ上のスタンドオフに合わせた後、分電盤をトレイに下ろします。

ステップ2. 14 本のねじを締めて、分電盤を固定します。

注: トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

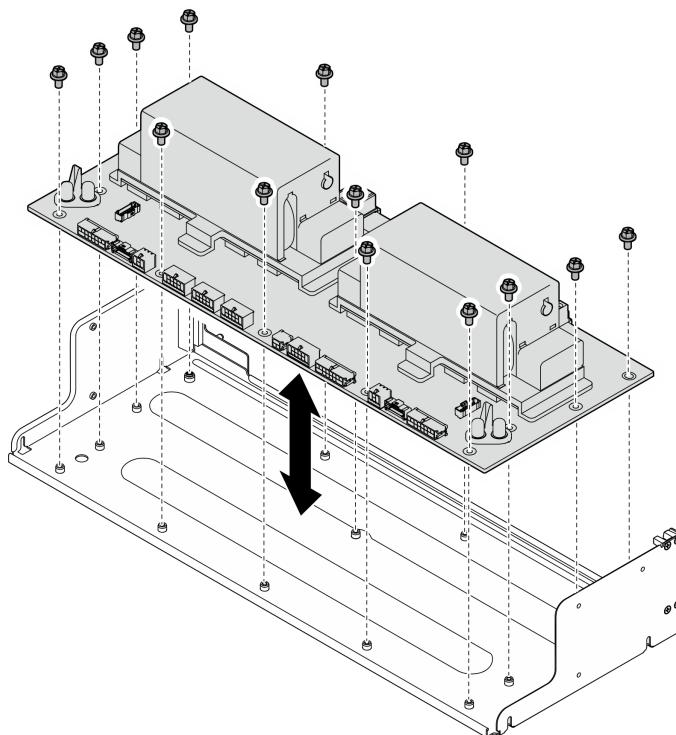


図238. 分電盤の取り付け

ステップ3. ケーブルを分電盤に接続します。詳しくは、以下を参照してください。

- 317 ページの「2.5 インチ ドライブ・バックプレーンのケーブル配線」
- 320 ページの「ファン制御ボードのケーブル配線」
- 323 ページの「GPU ベースボードのケーブル配線」
- 334 ページの「PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線」
- 336 ページの「PSU 変換コネクターのケーブル配線」
- 337 ページの「リタイマー・ボードのケーブル配線」

完了したら

1. PSU 変換コネクターを再度取り付けます。259 ページの「PSU 変換コネクターの取り付け」を参照してください。
2. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
3. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

分電盤トレイの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

分電盤トレイの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

分電盤トレイの取り外し

分電盤トレイを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. 電源複合システムを取り外します。229 ページの「電源複合システムの取り外し」を参照してください。

ステップ 3. PSU インターポーラを取り外します。258 ページの「PSU 変換コネクターの取り外し」を参照してください。

ステップ 4. 分電盤を取り外します。233 ページの「分電盤の取り外し」を参照してください。

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

分電盤トレイの取り付け

分電盤トレイを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. 分電盤を取り付けます。234 ページの「分電盤の取り付け」を参照してください。

ステップ 2. PSU 変換コネクターを取り付けます。259 ページの「PSU 変換コネクターの取り付け」を参照してください。

完了したら

1. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
2. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

パワー・サプライ・ユニットの交換

パワー・サプライ・ユニットの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの手順に従ってください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り外し

ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットを取り外すには、このセクションの手順に従ってください。

このタスクについて

警告：



接触電流が高くなっています。電源に接続する前にアースに接続してください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- 取り外し後にパワー・サプライ・ベイが空のままになる場合は、使用可能なパワー・サプライ・ユニット・フィラーを用意してください。

- 次の図は、パワー・サプライ・ベイ番号を示しています。

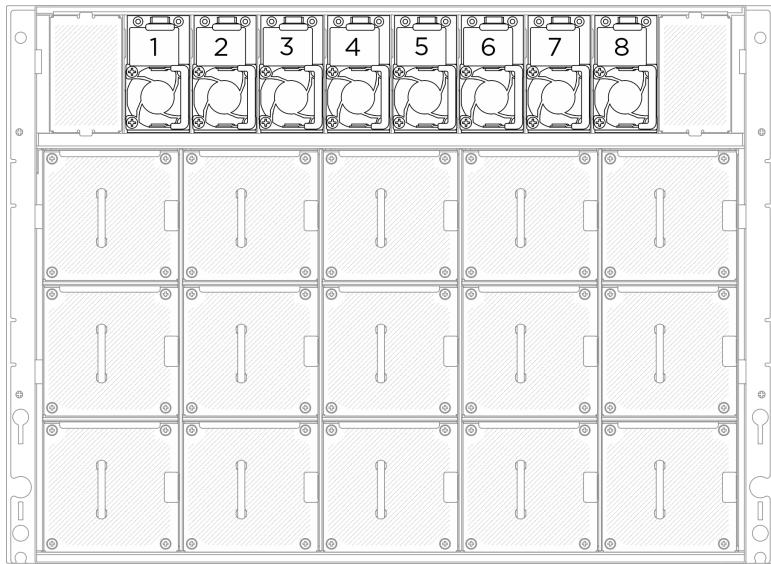


図239. パワー・サプライのベイ番号付け

重要: パワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィラーをすべてのベイに取り付けていない限り、サーバーを稼働させないでください。

手順

ステップ1. ① オレンジ色のリリース・タブを押したままにします。

ステップ2. ② ハンドルをつかみ、パワー・サプライ・ユニットをサーバーから引き出します。

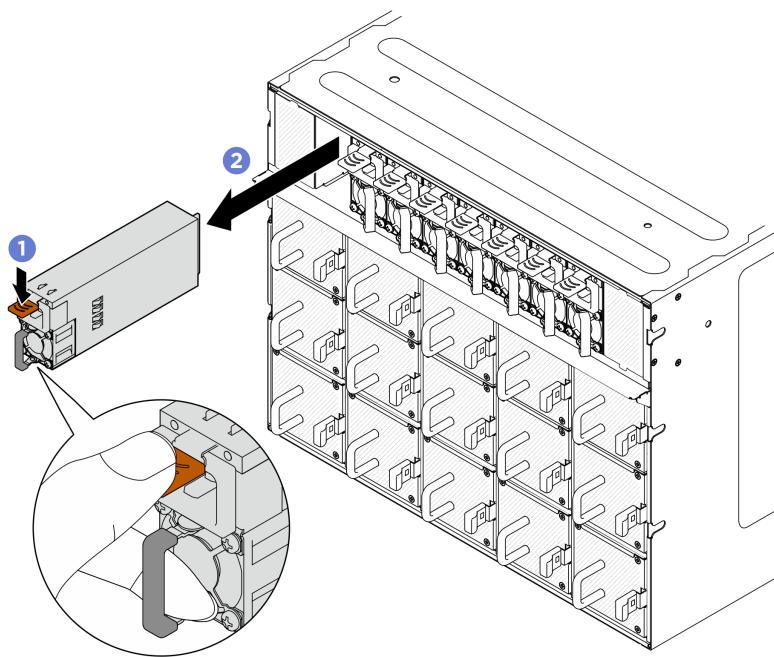


図240. パワー・サプライ・ユニットの取り外し

完了したら

- できるだけ早くパワー・サプライ・ユニットを取り付けます。239 ページの「ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り付け」を参照してください。

重要：通常の動作中は、各パワー・サプライ・ベイには、適切な冷却のために、パワー・サプライ・ユニットまたはパワー・サプライ・フィラー・のいずれかを取り付けておく必要があります。

- コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットの取り付け

ホット・スワップ・パワー・サプライ・ユニットを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

警告：



接触電流が高くなっています。電源に接続する前にアースに接続してください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- 次の図は、パワー・サプライ・ベイ番号を示しています。

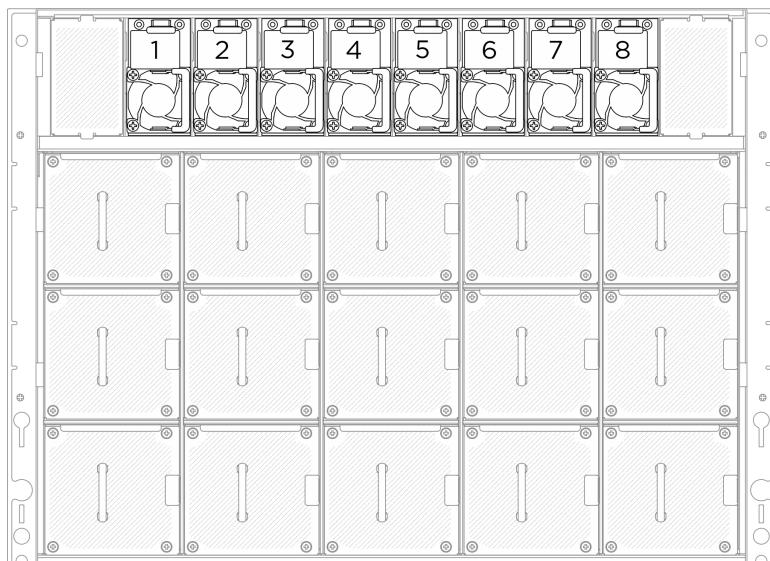


図 241. パワー・サプライのベイ番号付け

重要: パワー・サプライまたはパワー・サプライ・フィラーをすべてのベイに取り付けていない限り、サーバーを稼働させないでください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

ステップ1. パワー・サプライ・ユニットのハンドルをつかみ、パワー・サプライ・ベイ内にスライドさせて所定の位置にカチッと音がして収まるまで挿入します。

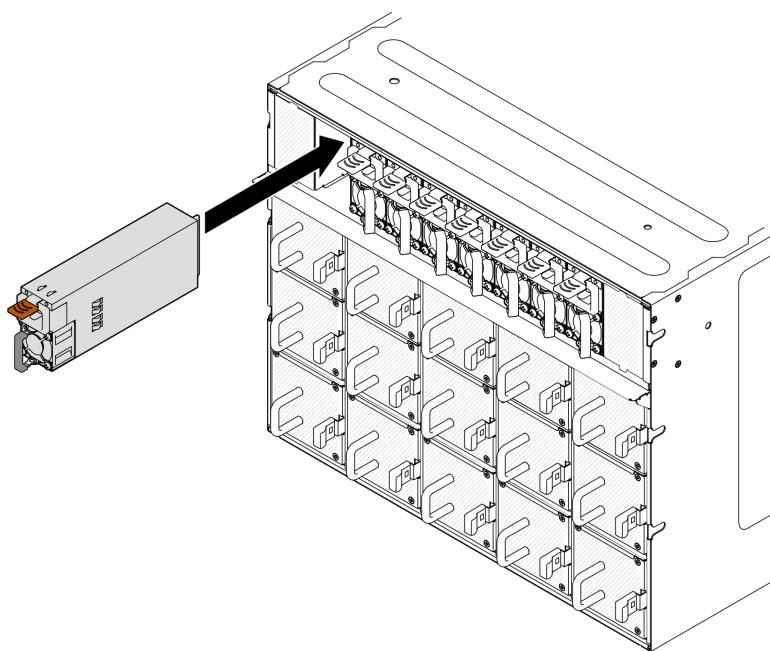


図242. パワー・サプライ・ユニットの取り付け

ステップ2. パワー・サプライ・ユニットのハンドルがパワー・サプライ・ユニットに対して直角であることを確認します。次に、以下に示すように、あらかじめ取り付けられているストラップを使用して電源コードをハンドルに結び付けます。

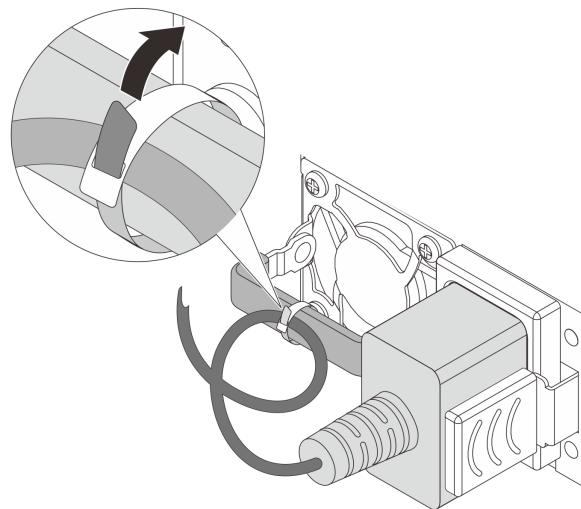


図 243. 電源コードの配線と結び付け

完了したら

1. ハンドルを引いてパワー・サプライ・ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。滑り出てくる場合は、取り付け直します。
2. 電源コードをパワー・サプライ・ユニットに接続し、電源に正しく接続されていることを確認します。
3. 部品交換を完了します。[306 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。
4. サーバーの電源がオフの場合は、サーバーの電源をオンにします。パワー・サプライ上の電源入力 LED および電源入力 LED が両方とも点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。

プロセッサーおよびヒートシンクの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)

アセンブルされたプロセッサーとヒートシンクを交換するには、このセクションの説明に従ってください。これらはプロセッサー・ヒートシンク・モジュール(PHM)、プロセッサー、またはヒートシンクとも呼ばれています。

注意：プロセッサーまたはヒートシンクを再利用する前に、Lenovo で実証済みのアルコール・クリーニング・パッドおよび熱伝導グリースを使用してください。

重要：

- このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。
- サーバーのプロセッサーは、温度の状態に応じて、発熱を軽減するためにスロットルして一時的に速度を落とす場合があります。いくつかのプロセッサー・コアが非常に短時間(100 ミリ秒以下)スロットルする場合、オペレーティング・システム・イベント・ログにのみ記録され、システム XCC のイベント・ログには対応するエントリーがない場合があります。この場合、イベントは無視して構いません。プロセッサーの交換は不要です。

注意：

- プロセッサーまたはヒートシンクを再利用する前に、Lenovo で実証済みのアルコール・クリーニング・パッドおよび熱伝導グリースを使用してください。
- 各プロセッサー・ソケットには必ずカバーまたはプロセッサーが取り付けられている必要があります。プロセッサーを交換するときは、空のプロセッサー・ソケットをカバーで保護してください。
- プロセッサー・ソケットまたはプロセッサーの接点に手を触れないでください。プロセッサー・ソケットの接点は非常に壊れやすく、簡単に損傷します。プロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接触不良の原因になることがあります。
- プロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースが劣化し、効果がなくなるおそれがあります。熱伝導グリースは、プロセッサー・ソケットにある電気コネクターなどのコンポーネントを損傷する可能性があります。

次の図は、プロセッサーとヒートシンクにあるコンポーネントを示しています。

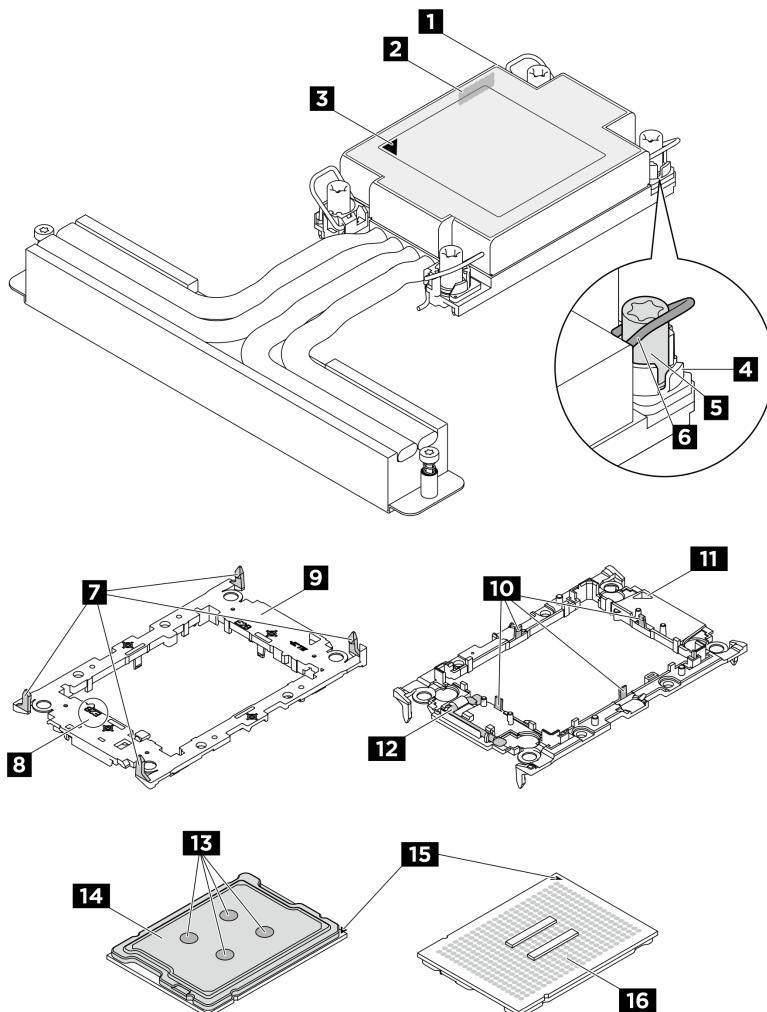


図244. PHM コンポーネント

1 ヒートシンク	2 プロセッサー識別ラベル
3 ヒートシンクの三角マーク	4 ナットおよびワイヤー・ペイルの固定器具
5 Torx T30 ナット	6 反傾斜ワイヤー・ペイル
7 キャリアをヒートシンクに固定するクリップ	8 プロセッサー・キャリア・コードのマーキング
9 プロセッサー・キャリア	10 プロセッサーをキャリアに固定するクリップ
11 キャリアの三角マーク	12 プロセッサー・イジェクター・ハンドル
13 热伝導グリース	14 プロセッサー・ヒート・スプレッダー
15 プロセッサーの三角マーク	16 プロセッサーの接点

プロセッサーとヒートシンクの取り外し

このタスクでは、組み立てられたプロセッサーとヒートシンク（プロセッサー・ヒートシンク・モジュール（PHM）と呼ばれています）の取り外し手順を説明します。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

S002



警告 :

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。

S012



警告 :

高温の面が近くにあります。

S011



警告 :

鋭利な端、角、またはジョイントが近くにあります。

注意 :

- 安全に作業を行うために、[1ページの「取り付けのガイドライン」](#)および[2ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。[9ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照してください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。
- 各プロセッサー・ソケットには必ずカバーまたはPHMが取り付けられている必要があります。PHMの取り外しまたは取り付けを行うときは、空のプロセッサー・ソケットをカバーで保護してください。
- プロセッサー・ソケットまたはプロセッサーの接点に手を触れないでください。プロセッサー・ソケットの接点は非常に壊れやすく、簡単に損傷します。プロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接触不良の原因になることがあります。
- プロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースが劣化し、効果がなくなるおそれがあります。熱伝導グリースは、プロセッサー・ソケットにある電気コネクターなどのコンポーネントを損傷する可能性があります。
- PHMの取り外しと取り付けは、一度に1つのPHMだけにしてください。システムで複数のプロセッサーがサポートされている場合は、最初のプロセッサー・ソケットからPHMの取り付けを開始します。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- Torx T15 ビット
- Torx T30 ビット
- トルク・ドライバー

次の図は、プロセッサーとヒートシンクにあるコンポーネントを示しています。

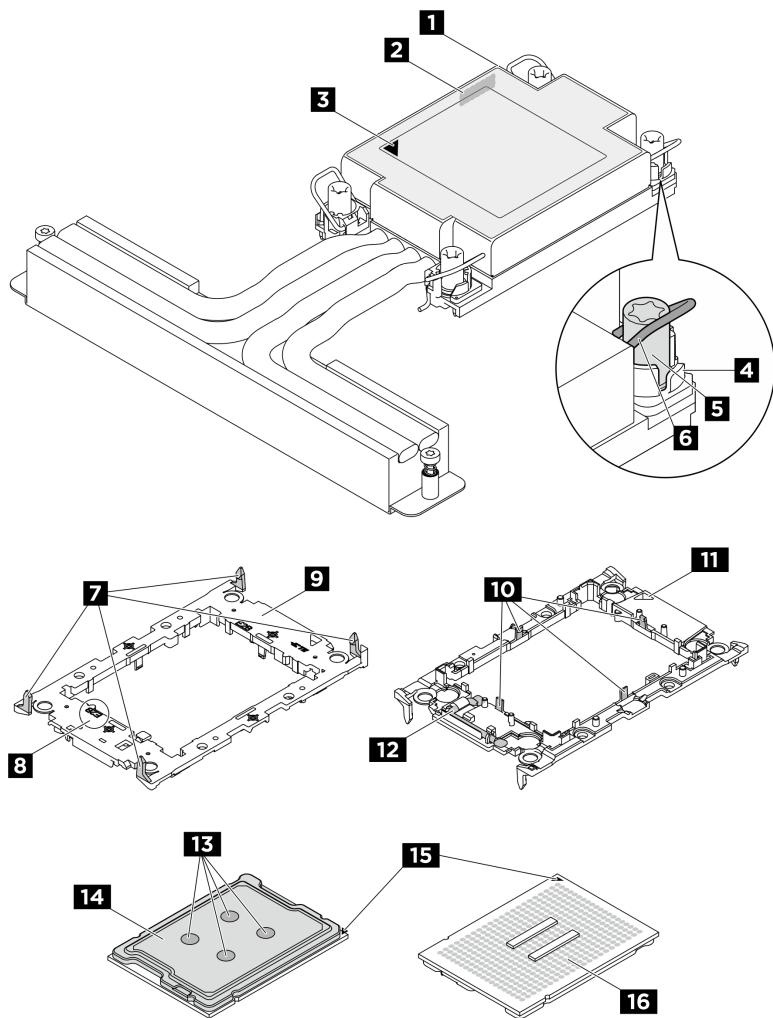


図245. PHM コンポーネント

1 ヒートシンク	2 プロセッサー識別ラベル
3 ヒートシンクの三角マーク	4 ナットおよびワイヤー・ペイルの固定器具
5 Torx T30 ナット	6 反傾斜ワイヤー・ペイル
7 キャリアをヒートシンクに固定するクリップ	8 プロセッサー・キャリア・コードのマーキング
9 プロセッサー・キャリア	10 プロセッサーをキャリアに固定するクリップ
11 キャリアの三角マーク	12 プロセッサー・イジェクター・ハンドル
13 热伝導グリース	14 プロセッサー・ヒート・スプレッダー
15 プロセッサーの三角マーク	16 プロセッサーの接点

手順

ステップ1. システム・シャトルを停止位置まで引きます。

- a. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
- b. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
- c. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

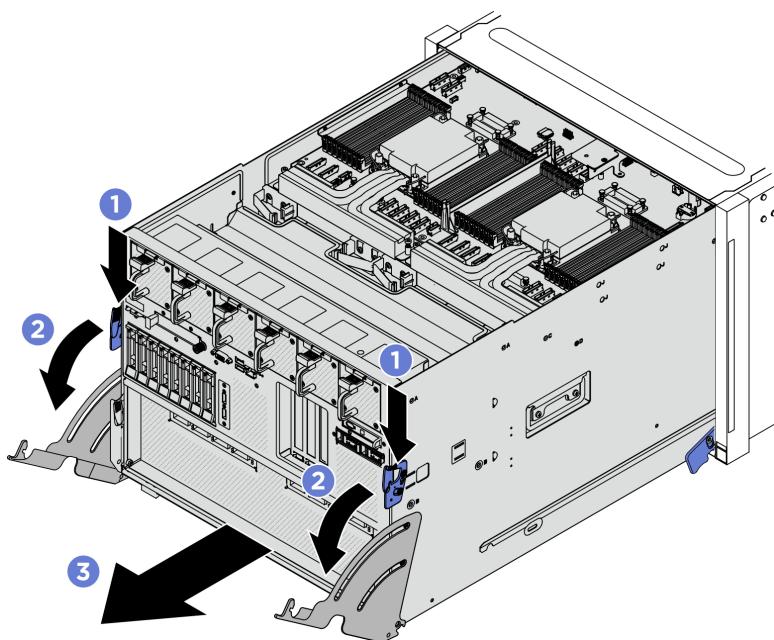


図246. システム・シャトルを停止位置まで引く

ステップ2. PHM をシステム・ボードから取り外します。

注：

- プロセッサーの下部にある接点には触れないでください。
 - 破損の恐れがありますので、プロセッサー・ソケットはいかなる物質にも汚されない状態にしてください。
- a. ① トルク・ドライバーを $4.5 \sim 5.5 \text{ lbf} \cdot \text{in}$ ($0.50 \sim 0.62 \text{ ニュートン} \cdot \text{メーター}$) に設定します。次に、ヒートシンクのラベルに記載された取り外し順序に従って、2本のTorx T15ねじを最後まで緩めてください。
 - b. ① トルク・ドライバーを $10 \pm 2.0 \text{ lbf} \cdot \text{in}$ ($1.1 \pm 0.2 \text{ ニュートン} \cdot \text{メーター}$) に設定します。次に、ヒートシンクのラベルに記載された取り外し順序に従って、4個のTorx T30ナットを最後まで緩めてください。
 - c. ② 反傾斜ワイヤー・ペイルを回転させて内側に倒します。
 - d. ③ プロセッサー・ソケットからPHMを慎重に持ち上げます。PHMがソケットから完全に持ち上げられていない場合は、Torx T30ナットをさらに緩め、もう一度PHMを持ち上げます。

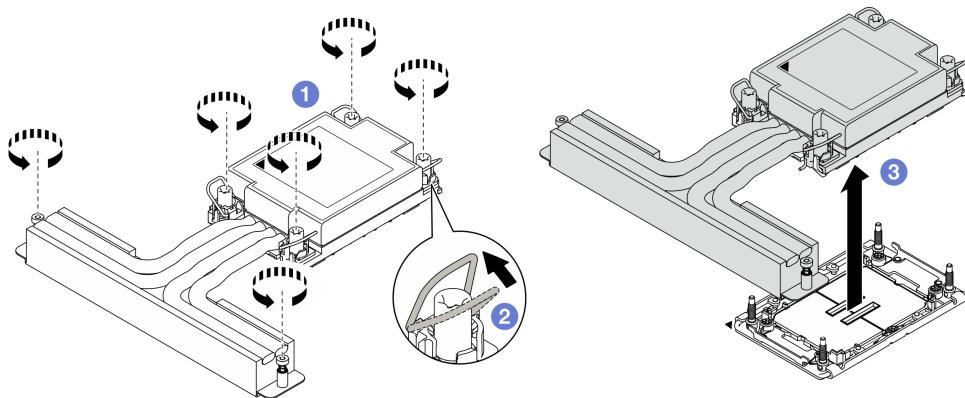


図247. PHM の取り外し

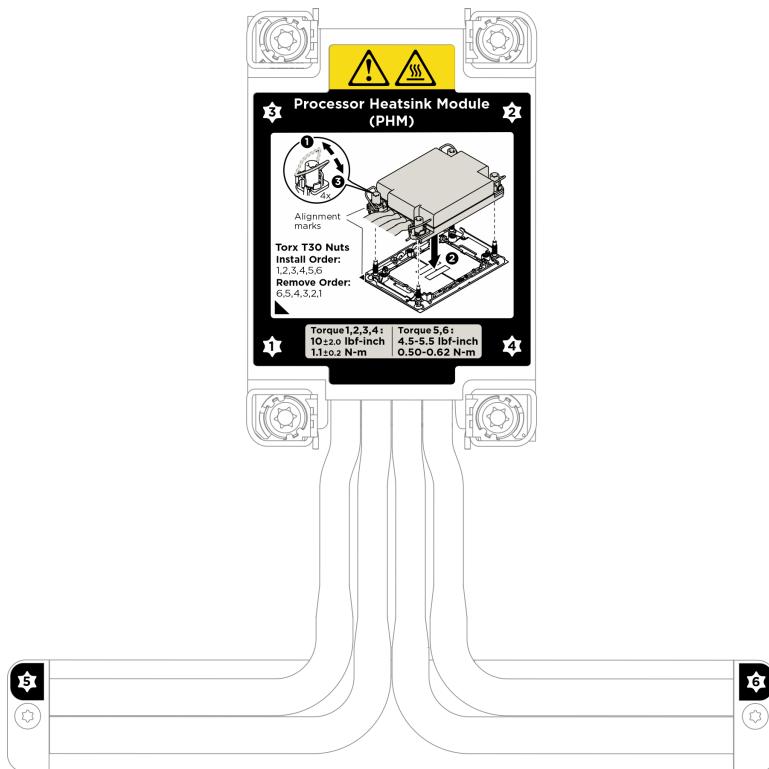


図248. ヒートシンクのラベル

完了したら

- 各プロセッサー・ソケットには必ずカバーまたはPHMが取り付けられている必要があります。空のプロセッサー・ソケットをカバーで保護するか、新しいPHMを取り付けてください。
- システム・ボードの一部としてPHMを取り外す場合は、PHMを脇に置きます。
- PHMを新しいPHMと交換する場合は、249ページの「プロセッサーとヒートシンクの取り付け」を参照してください。
- プロセッサーまたは、ヒートシンクを再利用する場合は、固定器具からプロセッサーを離します。248ページの「プロセッサーをキャリアとヒートシンクから取り外す」を参照してください。

5. コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

プロセッサーをキャリアとヒートシンクから取り外す

このタスクでは、取り付けたプロセッサーとヒートシンク(プロセッサー・ヒートシンク・モジュール(PHM)と呼ばれています)からプロセッサーとそのキャリアを取り外す手順を説明しています。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#)および[2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。[9 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照してください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。
- プロセッサー接点には触れないでください。プロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接触不良の原因になることがあります。
- プロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースが劣化し、効果がなくなるおそれがあります。熱伝導グリースは、プロセッサー・ソケットにある電気コネクターなどのコンポーネントを損傷する可能性があります。

注：ご使用のシステムのヒートシンク、プロセッサー、プロセッサー・キャリアは、図と異なる場合があります。

手順

ステップ 1. プロセッサーをキャリアとヒートシンクから取り外します。

- ① ハンドルを持ち上げて、キャリアからプロセッサーを離します。
- ② プロセッサーの端を持ち、ヒートシンクとキャリアからプロセッサーを持ち上げます。
- ③ プロセッサーを下ろさずに、プロセッサーの上部にある熱伝導グリースをアルコール・クリーニング・パッドで拭きます。次に、プロセッサーの接点側を上向きにして、プロセッサーを静電気の保護面に置きます。

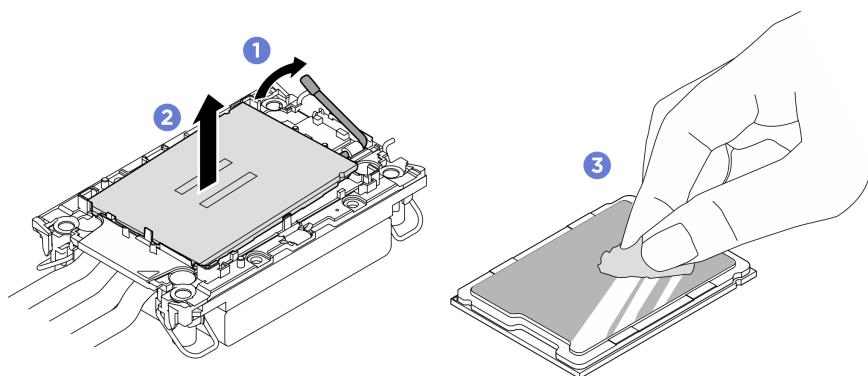


図249. プロセッサーをキャリアとヒートシンクから取り外す

注：プロセッサー接点には触れないでください。

ステップ2. ヒートシンクからプロセッサー・キャリアを取り外します。

- a. ① 固定クリップをヒートシンクから離します。
- b. ② キャリアをヒートシンクから持ち上げます。
- c. ③ アルコール・クリーニング・パッドを使用して、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

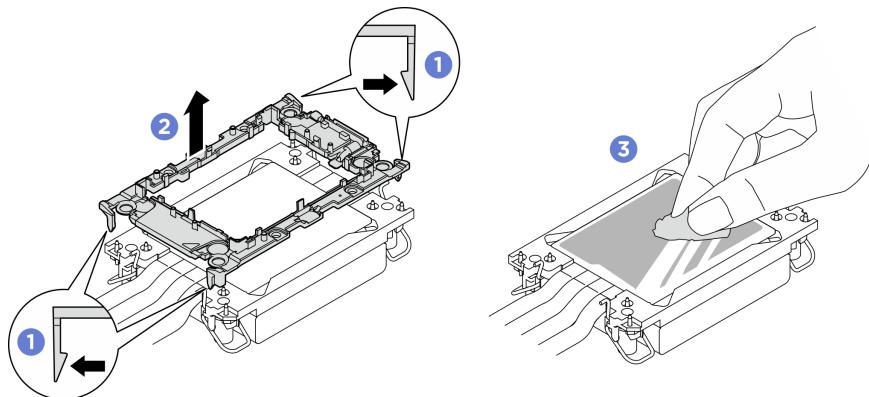


図250. ヒートシンクからプロセッサー・キャリアを取り外す

注：プロセッサー・キャリアは廃棄し、新しいものに交換します。

完了したら

1. PHM を取り付けます。249 ページの「プロセッサーとヒートシンクの取り付け」を参照してください。
2. コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

プロセッサーとヒートシンクの取り付け

このタスクでは、組み立てられたプロセッサーとヒートシンク(プロセッサー・ヒートシンク・モジュール(PHM)と呼ばれています)の取り付け手順を説明します。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

S012



警告：

高温の面が近くにあります。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。

- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。[9 ページ](#) の「**サーバーの電源をオフにする**」を参照してください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。
- 各プロセッサー・ソケットには必ずカバーまたはPHMが取り付けられている必要があります。PHMの取り外しまたは取り付けを行うときは、空のプロセッサー・ソケットをカバーで保護してください。
- プロセッサー・ソケットまたはプロセッサーの接点に手を触れないでください。プロセッサー・ソケットの接点は非常に壊れやすく、簡単に損傷します。プロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接触不良の原因になることがあります。
- プロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースが劣化し、効果がなくなるおそれがあります。熱伝導グリースは、プロセッサー・ソケットにある電気コネクターなどのコンポーネントを損傷する可能性があります。
- PHMの取り外しと取り付けは、一度に1つのPHMだけにしてください。システムで複数のプロセッサーがサポートされている場合は、最初のプロセッサー・ソケットからPHMの取り付けを開始します。

注：

- ご使用のシステムのヒートシンク、プロセッサー、プロセッサー・キャリアは、図と異なる場合があります。
- PHMには、それを取り付けるソケットおよびソケット内の向きを決めるしるしがあります。
- ご使用のサーバーでサポートされているプロセッサーのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。プロセッサーはすべて、速度、コア数、および周波数が同じでなければなりません。
- 新しいPHMの取り付けまたはプロセッサーの交換前に、システム・ファームウェアを最新レベルに更新します。「ユーザー・ガイド」および「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

注：コンポーネントを適切に交換するために、以下にリストされている必要なツールが利用できることを確認してください：

- Torx T15 ビット
- Torx T30 ビット
- トルク・ドライバー

次の図は、プロセッサーとヒートシンクにあるコンポーネントを示しています。

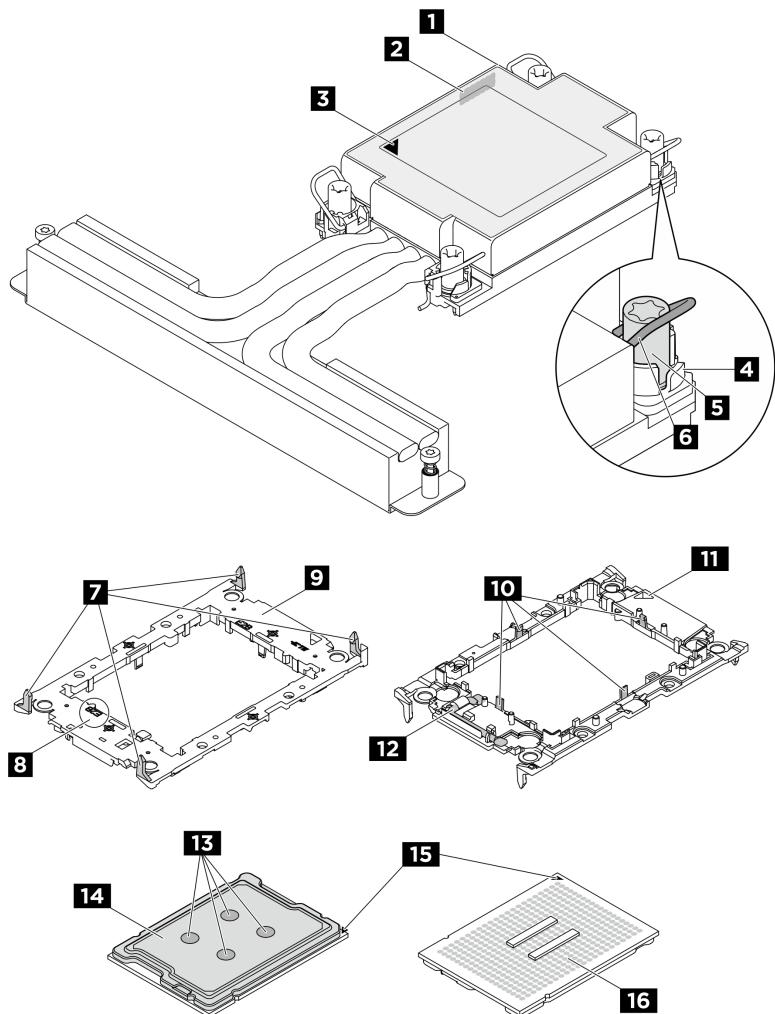


図251. PHM コンポーネント

1 ヒートシンク	2 プロセッサー識別ラベル
3 ヒートシンクの三角マーク	4 ナットおよびワイヤー・ペイルの固定器具
5 Torx T30 ナット	6 反傾斜ワイヤー・ペイル
7 キャリアをヒートシンクに固定するクリップ	8 プロセッサー・キャリア・コードのマーキング
9 プロセッサー・キャリア	10 プロセッサーをキャリアに固定するクリップ
11 キャリアの三角マーク	12 プロセッサー・イジェクター・ハンドル
13 热伝導グリース	14 プロセッサー・ヒート・スプレッダー
15 プロセッサーの三角マーク	16 プロセッサーの接点

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、
<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。

- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ1. プロセッサー識別ラベルを記録します。

- プロセッサーを交換してヒートシンクを再利用する場合、ヒートシンクからプロセッサー識別ラベルを取り外し、交換用プロセッサーに付属している新しいラベルと交換します。
- ヒートシンクを交換してプロセッサーを再利用する場合、プロセッサーIDラベルを古いヒートシンクから取り外し、新しいヒートシンクの同じ場所に配置します。

注：ラベルを取り外して新しいヒートシンクに配置できない場合、または輸送時にラベルが損傷した場合、ラベルは油性マーカーを使用して配置されるため、新しいヒートシンクの同じ場所あるプロセッサーIDラベルからのプロセッサーのシリアル番号を書き留めます。

ステップ2. プロセッサーを新しいキャリアに取り付けます。

注：

- プロセッサーを交換してヒートシンクを再利用する場合、新しいプロセッサーに付属の新しいキャリアを使用します。
- ヒートシンクを交換してプロセッサーを再利用する場合、および新しいヒートシンクに2つのプロセッサー・キャリアが付属している場合、必ず廃棄したキャリアと同じタイプのキャリアを使用してください。
 - ① キャリアのハンドルが閉じた状態であることを確認します。
 - ② 三角マークが合うように、新しいキャリアのプロセッサーの位置を合わせます。次に、プロセッサーのマークがある側の端をキャリアに挿入します。
 - ③ プロセッサーの挿入された端を所定の位置にしたまま、キャリアのマークがない端を下に回転させて、プロセッサーから切り離します。
 - ④ プロセッサーを押して、キャリアのクリップの下のマークが付いていない端を固定します。
 - ⑤ キャリアの側面を下に向かって慎重に回転させ、プロセッサーから切り離します。
 - ⑥ プロセッサーを押して、キャリアのクリップの下にある側を固定します。

注：プロセッサーがキャリアから外れて落ちないようにし、プロセッサーの接点側を上向きにして、キャリアの側面を持ってプロセッサー・キャリア・アセンブリーを支えます。

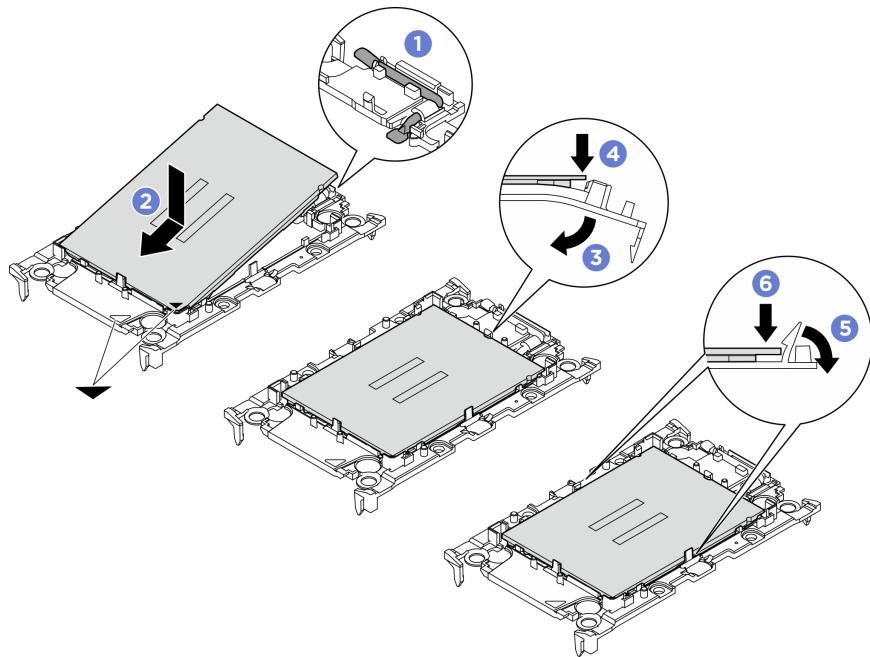


図252. プロセッサー・キャリアの取り付け

ステップ3. 热伝導グリースを塗布します。

- ヒートシンクを交換してプロセッサーを再利用する場合、新しいヒートシンクに熱伝導グリースが付属しています。新しい熱伝導グリースを塗布する必要はありません。

注：最適なパフォーマンスを確保するために、新しいヒートシンクの製造日を確認し、2年を超えていないことを確認してください。超えている場合、既存の熱伝導グリースを拭き取り、新しい熱伝導グリースを塗布します。

- プロセッサーを交換してヒートシンクを再利用する場合、以下の手順を実行して熱伝導グリースを塗布します。

- ヒートシンクに古い熱伝導グリースがある場合は、熱伝導グリースをアルコール・クリーニング・パッドで拭き取ります。
- プロセッサーの接点側を下にして、慎重にプロセッサーおよび配送用トレイのキャリアを置きます。キャリアの三角形のマークが、配送トレイで次の図に示す向きになっていることを確認してください。
- 注射器を使用してプロセッサーの上部に熱伝導グリースを塗布します。等間隔で4つの点を描くようにし、それぞれの点が熱伝導グリース約0.1 mlです。

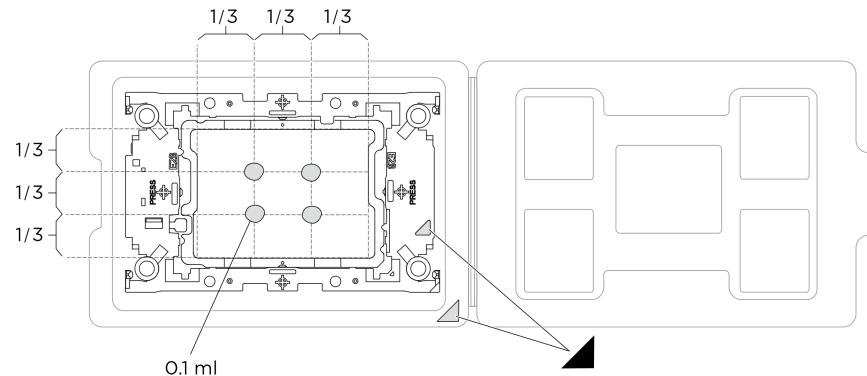


図253. 配送トレイのプロセッサーで熱伝導グリースを塗布する

ステップ4. プロセッサーおよびヒートシンクを取り付けます。

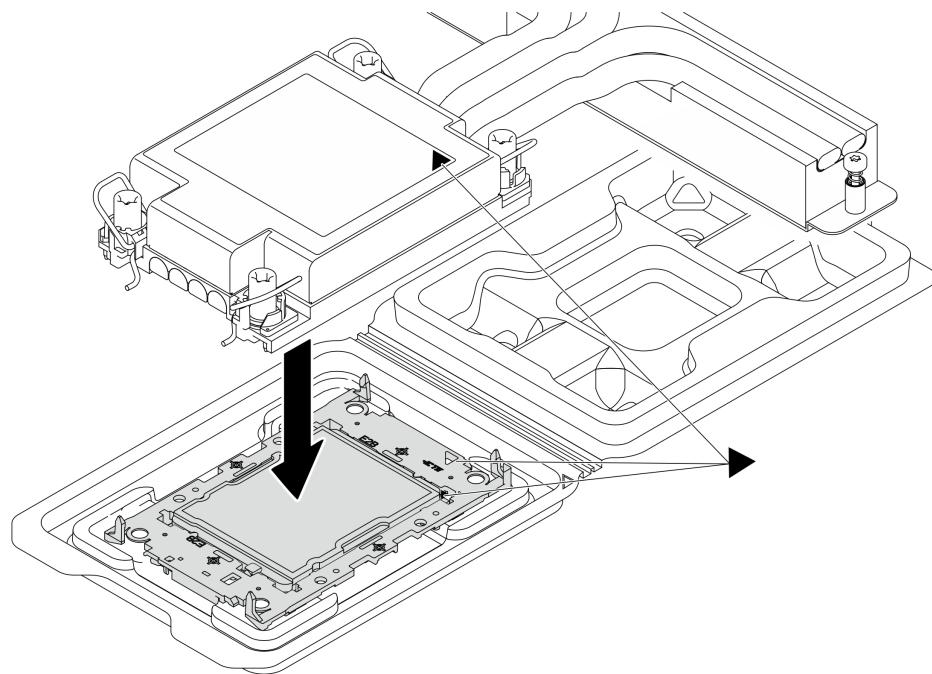


図254. 配送用トレイのプロセッサーでPHMを取り付けます。

- ヒートシンク・ラベルの三角形のマークを、プロセッサー・キャリアおよびプロセッサーの三角形のマークに合わせます。
- ヒートシンクをプロセッサー・キャリアに取り付けます。
- 四隅のすべてのクリップがかみ合うまで、キャリアを所定の位置に押し込みます。プロセッサー・キャリアとヒートシンクの間にすき間がないことを目視で検査します。

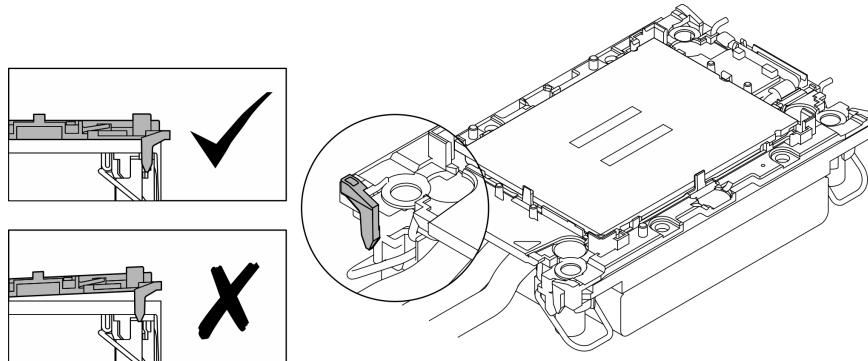


図255. キャリア・クリップの目視検査

ステップ5. プロセッサー・ヒートシンク・モジュールをプロセッサー・ソケットに取り付けます。

注 :

- プロセッサーの下部にある接点には触れないでください。
- 破損の恐れがありますので、プロセッサー・ソケットはいかなる物質にも汚されない状態にしてください。
 - a. ① 反傾斜ワイヤー・ペイルを内側に倒しておきます。
 - b. ② PHM の三角マークと 4 個の Torx T30 ナットを三角マークとプロセッサー・ソケットのねじ付きポストに合わせ、PHM をプロセッサー・ソケットに挿入します。
 - c. ③ ソケットのフックに収まるまで、反傾斜ワイヤー・ペイルを外側に回転させます。
 - d. ④ トルク・ドライバーを $10\pm2.0 \text{ lbf} \cdot \text{in}$ (1.1 ± 0.2 ニュートン・メーター) に設定します。次に、ヒートシンクのラベルに記載された取り付け順序に従って、4 個の Torx T30 ナットを完全に締めます。その後、ヒートシンクの下部にあるねじの肩部とプロセッサーのソケットの間にすき間がないことを目視で確認してください。
 - e. ④ トルク・ドライバーを $4.5 \sim 5.5 \text{ lbf} \cdot \text{in}$ ($0.50 \sim 0.62$ ニュートン・メーター) に設定します。次に、ヒートシンクのラベルに記載された取り付け順序に従って、2 本の Torx T15 ネジを完全に締めてください。

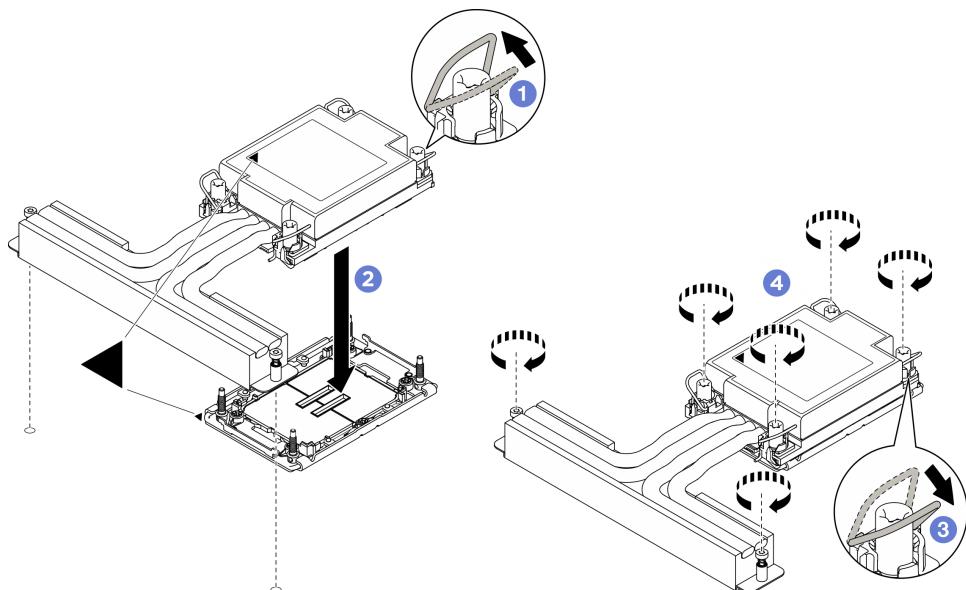


図256. PHM の取り付け

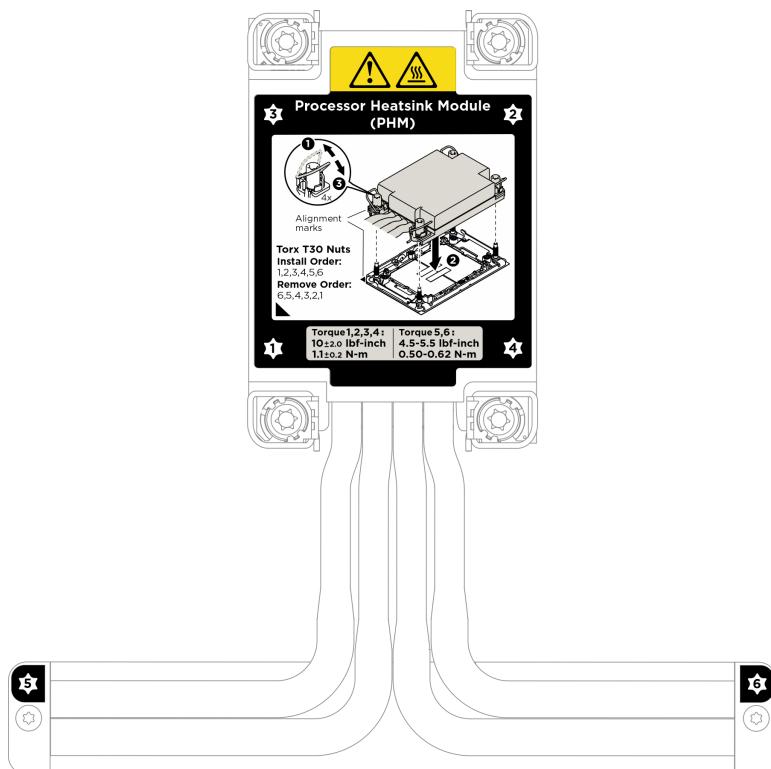


図257. ヒートシンクのラベル

完了したら

1. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。

- b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
- c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
- d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

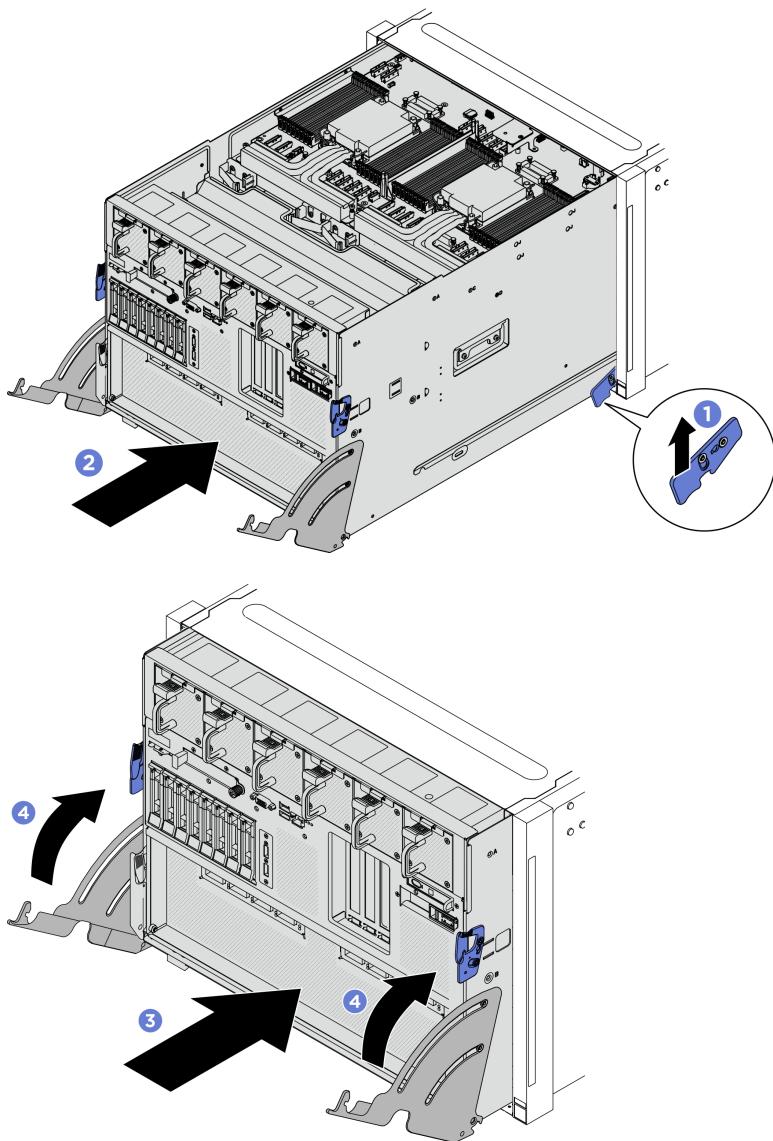


図258. システム・シャトルの取り付け

2. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

PSU 変換コネクターの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

PSU インターポーザの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

PSU 変換コネクターの取り外し

PSU インターポーザの取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. PSU 変換コネクターからケーブルを外します。

ステップ 3. PSU インターポーザを取り外します。

- ① 2 つのプランジャーを引き出します。
- ② 2 つのリリース・ラッチを回転させて、PSU インターポーザを電源分電盤から外します。
- ③ PSU インターポーザの端をつかんで、電源複合システムから慎重に引き出します。

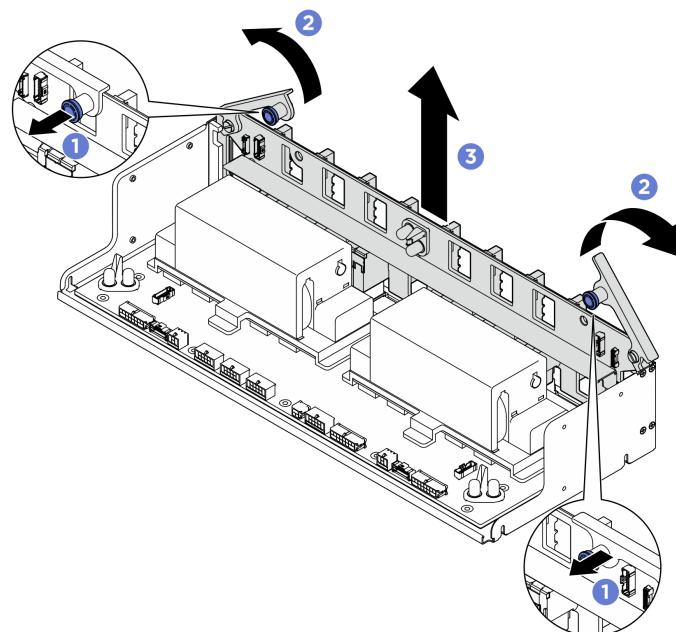


図 259. PSU インターポーザの取り外し

完了したら

1. コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料の梱包材がある場合はそれを使用してください。
2. コンポーネントのリサイクルを予定している場合は、「ユーザー・ガイド」の「リサイクルのためのPSU 変換コネクターの分解」を参照してください。

PSU 変換コネクターの取り付け

PSU インターポーラの取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード：コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. ① PSU インターポーラを分電盤上のコネクターと合わせた後、PSU インターポーラを、完全に装着されるまでコネクターに押し込みます。

ステップ 2. ② 2 つのプランジャーを引き出します。

ステップ 3. ③ 2 つのリリース・ラッチを、停止するまで下に回転させます。

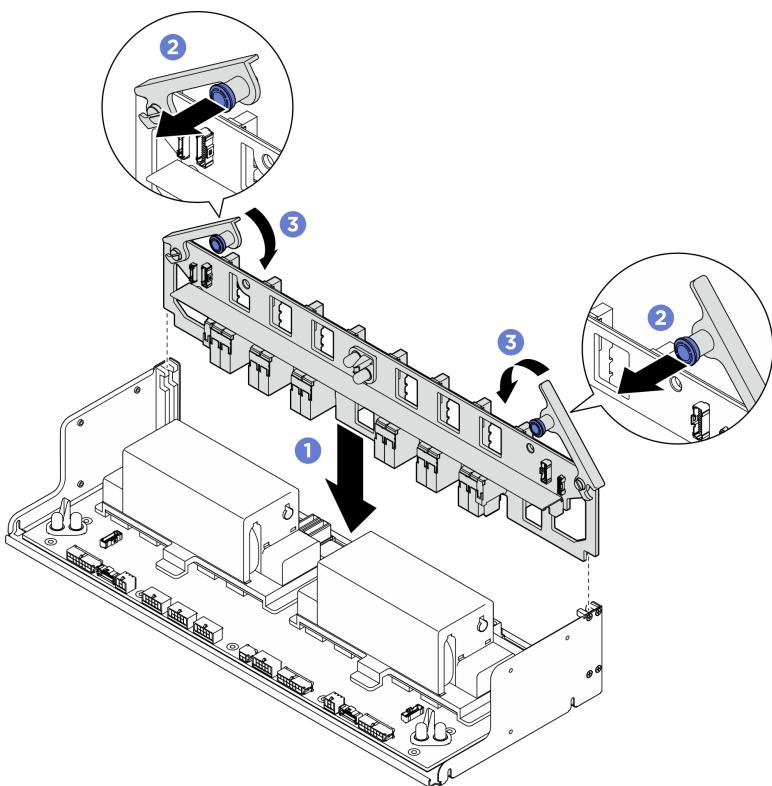


図 260. PSU インターポーザの取り付け

ステップ 4. PSU インターポーザにケーブルを接続します。詳しくは、336 ページの「PSU 変換コネクターのケーブル配線」を参照してください。

完了したら

1. システム・シャトルを再度取り付けます。303 ページの「システム・シャトルの取り付け」を参照してください。
2. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

背面ファンのバルクヘッドの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

背面ファンのバルクヘッドの取り外しまたは取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

背面ファン・バルクヘッドの取り外し

背面ファン・バルクヘッドを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意:

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ 1. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. 背面ファン・バルクヘッドの固定を解除します。

- ① システム・シャトルの両側にある G のマークが付いた 4 本のねじを緩めます。
- ② バルクヘッドを上方向に持ち上げてから外側に引き出し、システム・シャトルから外します。

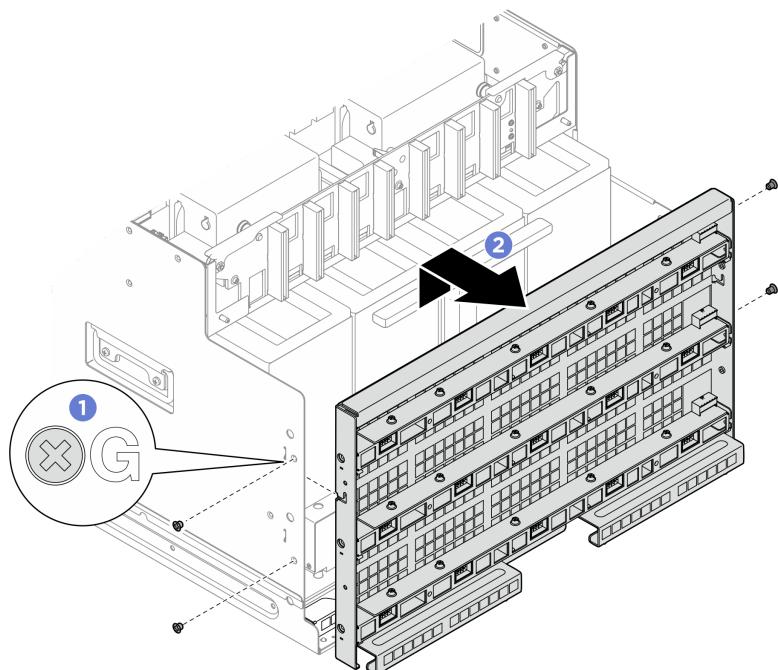


図 261. 背面ファン・バルクヘッドの取り外し

ステップ 3. バルクヘッドの下部を GPU シャトル・ブラケットに引っ掛けて、中間位置で支えます(図を参照)。次に、背面ファン制御ボードからすべてのケーブルを取り外します。

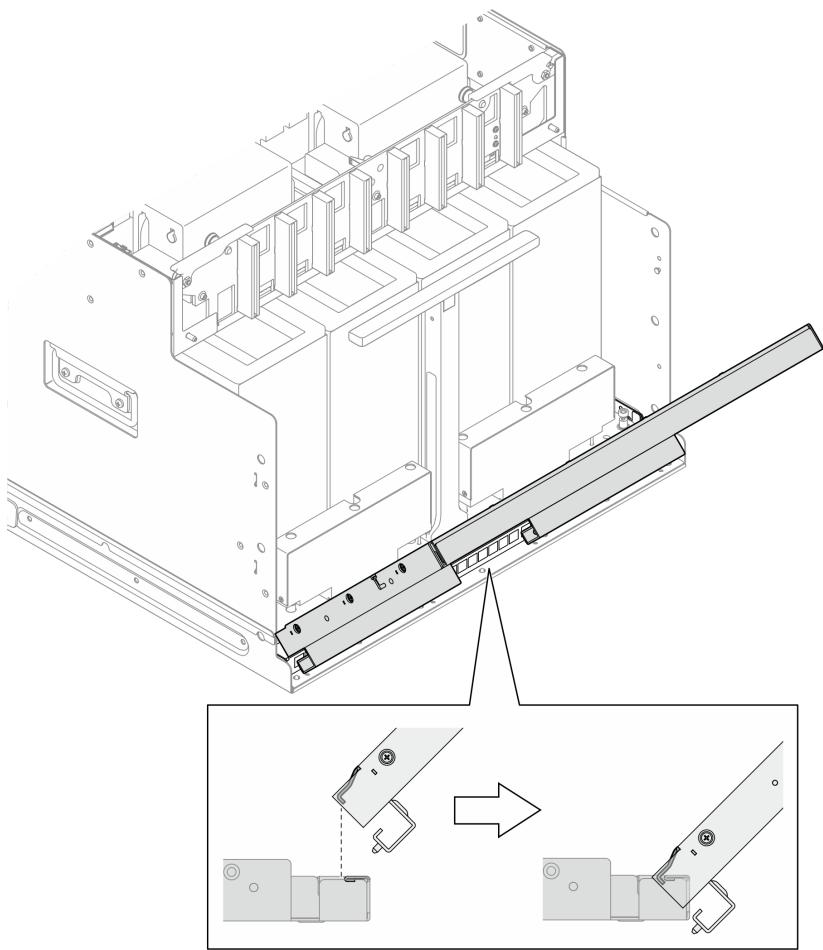


図 262. 背面ファン・バルクヘッドを GPU シャトル・ブラケットに引っ掛ける

ステップ 4. バulk ヘッドを GPU シャトル・ブラケットから外し、持ち上げてシステム・シャトルから取り外します。

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

背面ファン・バルクヘッドの取り付け

背面ファン・バルクヘッドを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:
<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

- ステップ1. 背面ファン・バルクヘッドの下部をGPUシャトル・ブラケットに引っ掛け、中間位置で支えます(図を参照)。次に、すべてのケーブルを背面ファン制御ボードに接続します。詳しくは、320ページの「ファン制御ボードのケーブル配線」を参照してください。

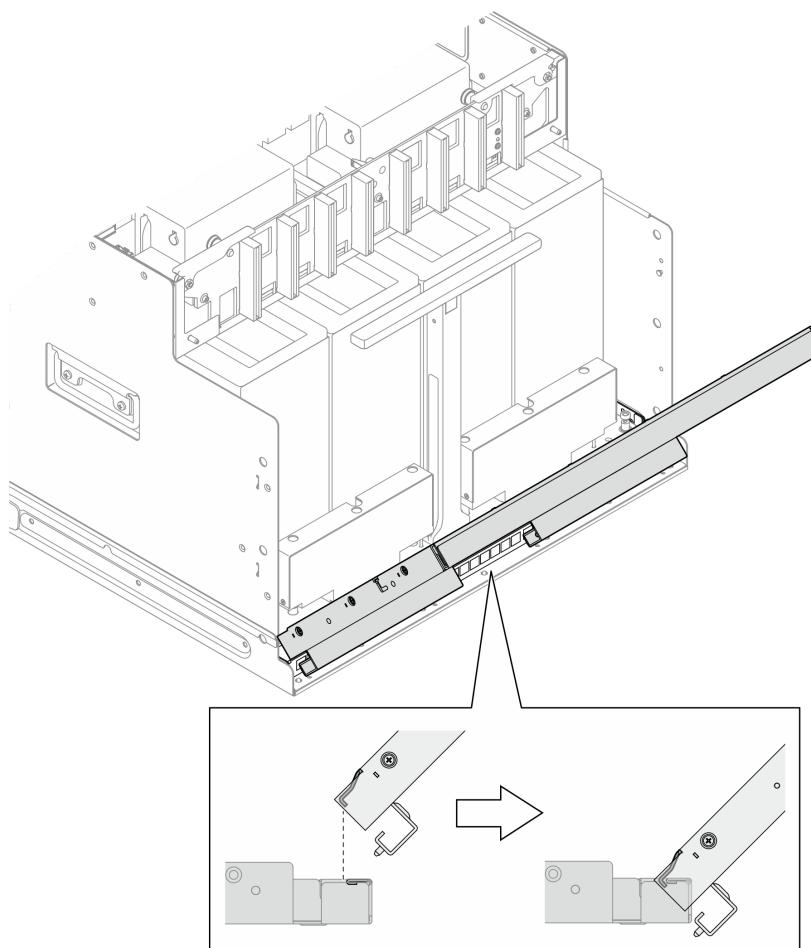


図263. 背面ファン・バルクヘッドをGPUシャトル・ブラケットに引っ掛ける

- ステップ2. 背面ファン・バルクヘッドを取り付けます。

- ① バulkヘッドをGPUシャトル・ブラケットから外します。次に、バルクヘッドを前方にスライドさせて下ろし、システム・シャトルのガイド・ピンにはめ込みます。
- ② システム・シャトルの両側にあるGのマークが付いた4個のねじ穴の位置を確認し、4本のねじを締めてバルクヘッドを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

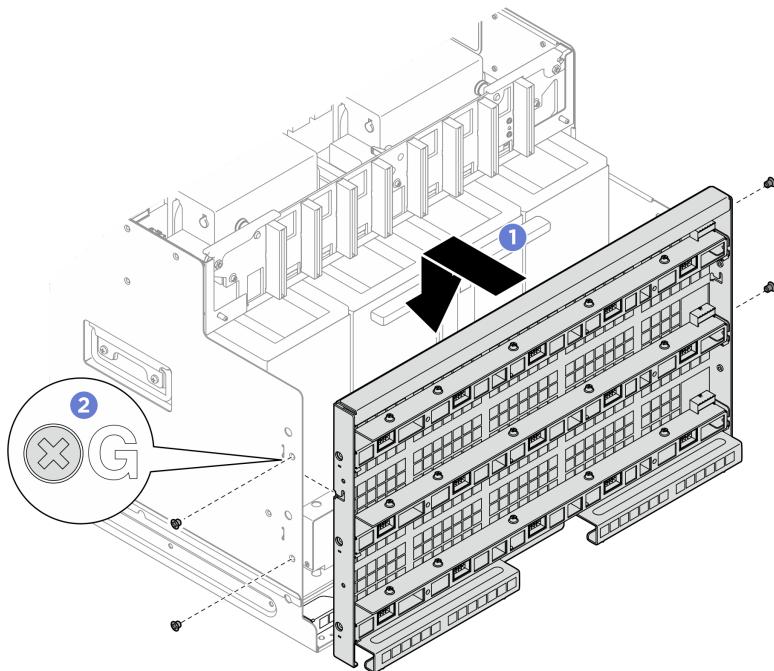


図 264. 背面ファン・バルクヘッドの取り付け

完了したら

1. システム・シャトルを再度取り付けます。[303 ページの「システム・シャトルの取り付け」](#)を参照してください。
2. 部品交換を完了します。[306 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。

リタイマー・ボードの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

リタイマー・ボードの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要：このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

リタイマー・ボードの取り外し

リタイマー・ボードを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#)および[2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#)をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。[9 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照してください。

手順

ステップ1. このタスクの準備をします。

- a. システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 1. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
 2. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
 3. ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

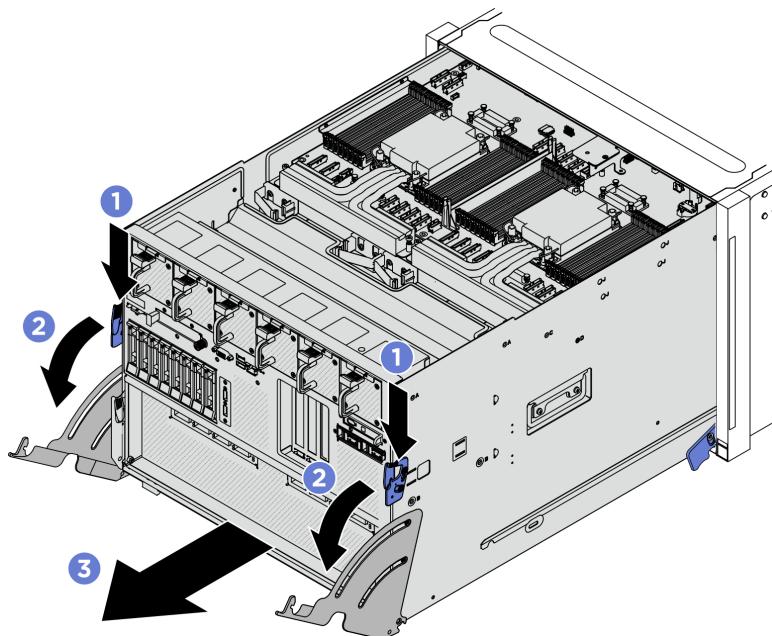


図265. システム・シャトルを停止位置まで引く

- b. 前面ファン・ケージを取り外します。81ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。
- c. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを取り外します。58ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し」を参照してください。
- d. リタイマー・ボード・シャトルを取り外します。272ページの「リタイマー・ボード・シャトルの取り外し」を参照してください。

ステップ2. リタイマー・ボードの6本のねじを緩め、リタイマー・ボードを持ち上げてシャトルから取り外します。

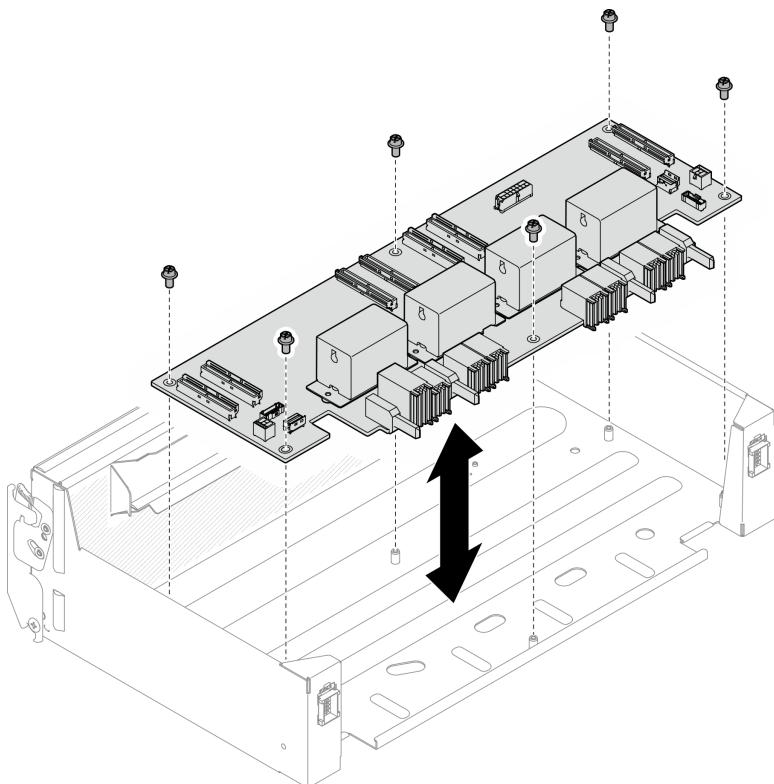


図 266. リタイマー・ボードの取り外し

完了したら

- コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送用の梱包材がある場合はそれを使用してください。
- コンポーネントのリサイクルを予定している場合は、「ユーザー・ガイド」の「リサイクルのためのリタイマー・ボードの分解」を参照してください。

リタイマー・ボードの取り付け

リタイマー・ボードを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意 :

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帶電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ 1. リタイマー・ボードを取り付けます。

- a. リタイマー・ボードを正しい向きで持ち(図を参照)、リタイマー・ボードの位置をシャトルの支柱と合わせて、シャトルの上に慎重に載せます。
- b. 6本のネジを締め、リタイマー・ボードを固定します。

注: トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

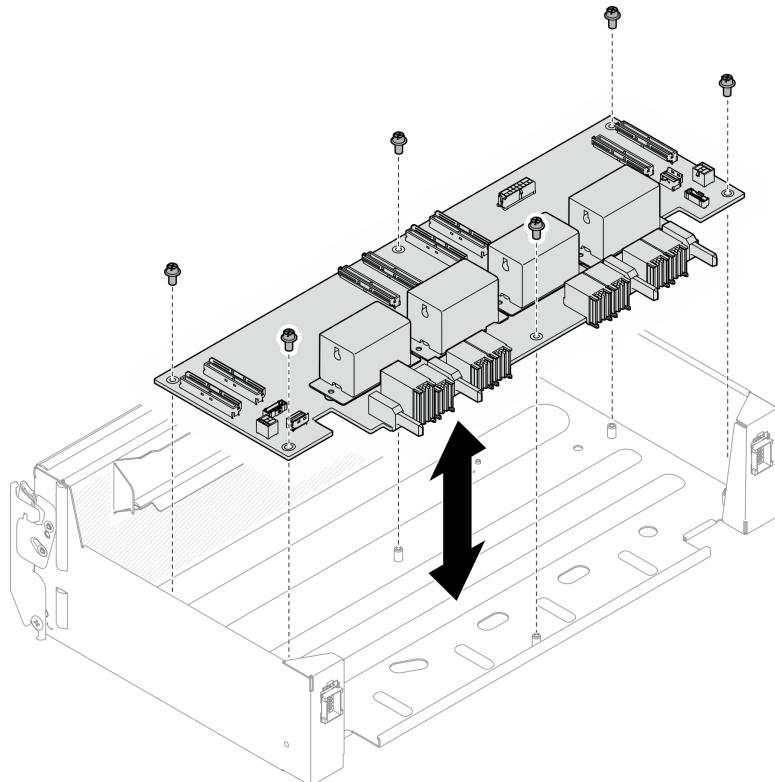


図267. リタイマー・ボードの取り付け

ステップ2. 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。

- a. ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- b. ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- c. 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

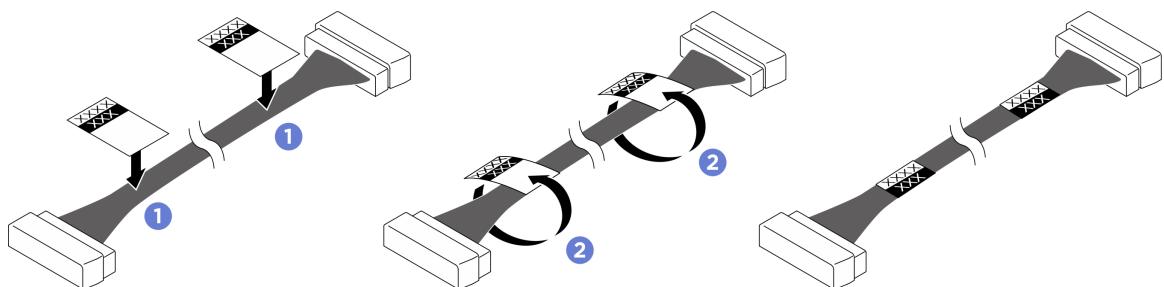


図268. ラベルの貼り付け

注：下の表を参照して、ケーブルに対応するラベルを確認してください。

表 4. 電源および側波帶ケーブル

始点	終点	ラベル
リタイマー・ボード: 電源コネクター	分電盤: リタイマー・ボードの電源コネクター	PDB PWR RISER PWR 1A
リタイマー・ボード: 側波帶コネクター 1	分電盤: リタイマー・ボードの側波帶コネクター 1	SB 1
リタイマー・ボード: 側波帶コネクター 2	分電盤: リタイマー・ボードの側波帶コネクター 2	SB 2

表 5. 信号ケーブル

始点	ラベル	終点	ラベル
リタイマー・ボード: MCIO コネクター A	MCIO A	システム・ボード: MCIO コネクター 9A	P2 - 9A MCIO A
		システム・ボード: MCIO コネクター 9B	P3 - 9B MCIO A
リタイマー・ボード: MCIO コネクター B	MCIO B	システム・ボード: MCIO コネクター 1A	P2 - 1A MCIO B
		システム・ボード: MCIO コネクター 1B	P3 - 1B MCIO B

表 5. 信号ケーブル (続き)

始点	ラベル	終点	ラベル
リタイマー・ボード: MCIO コネクター C	MCIO C	システム・ボード: MCIO コネクター 2A	P2 - 2A MCIO C
		システム・ボード: MCIO コネクター 2B	P3 - 2B MCIO C
リタイマー・ボード: MCIO コネクター D	MCIO D	システム・ボード: MCIO コネクター 4A	P2 - 4A MCIO D
		システム・ボード: MCIO コネクター 4B	P3 - 4B MCIO D
リタイマー・ボード: MCIO コネクター E	MCIO E	システム・ボード: MCIO コネクター 8A	P2 - 8A MCIO E
		システム・ボード: MCIO コネクター 8B	P3 - 8B MCIO E

表 5. 信号ケーブル (続き)

始点	ラベル	終点	ラベル
リタイマー・ボード: MCIO コネクター F	MCIO F	システム・ボード: MCIO コネクター 10A	P2 - 10A MCIO F
		システム・ボード: MCIO コネクター 10B	P3 - 10B MCIO F
リタイマー・ボード: MCIO コネクター G	MCIO G	システム・ボード: MCIO コネクター 5A	P2 - 5A MCIO G
		システム・ボード: MCIO コネクター 5B	P3 - 5B MCIO G
リタイマー・ボード: MCIO コネクター H	MCIO H	システム・ボード: MCIO コネクター 7A	P2 - 7A MCIO H
		システム・ボード: MCIO コネクター 7B	P3 - 7B MCIO H

表 6. GPU 管理ケーブル

始点	終点	ラベル
リタイマー・ボード: EP 管理コネクター 1	システム・ボード: EP 管理コネクター 1	EP MGMT 1
リタイマー・ボード: EP 管理コネクター 2	システム・ボード: EP 管理コネクター 2	EP MGMT 2

完了したら

1. リタイマー・ボード・シャトルを再度取り付けます。276 ページの「リタイマー・ボード・シャトルの取り付け」を参照してください。
2. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを再度取り付けます。62 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け」を参照してください。
3. 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
4. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

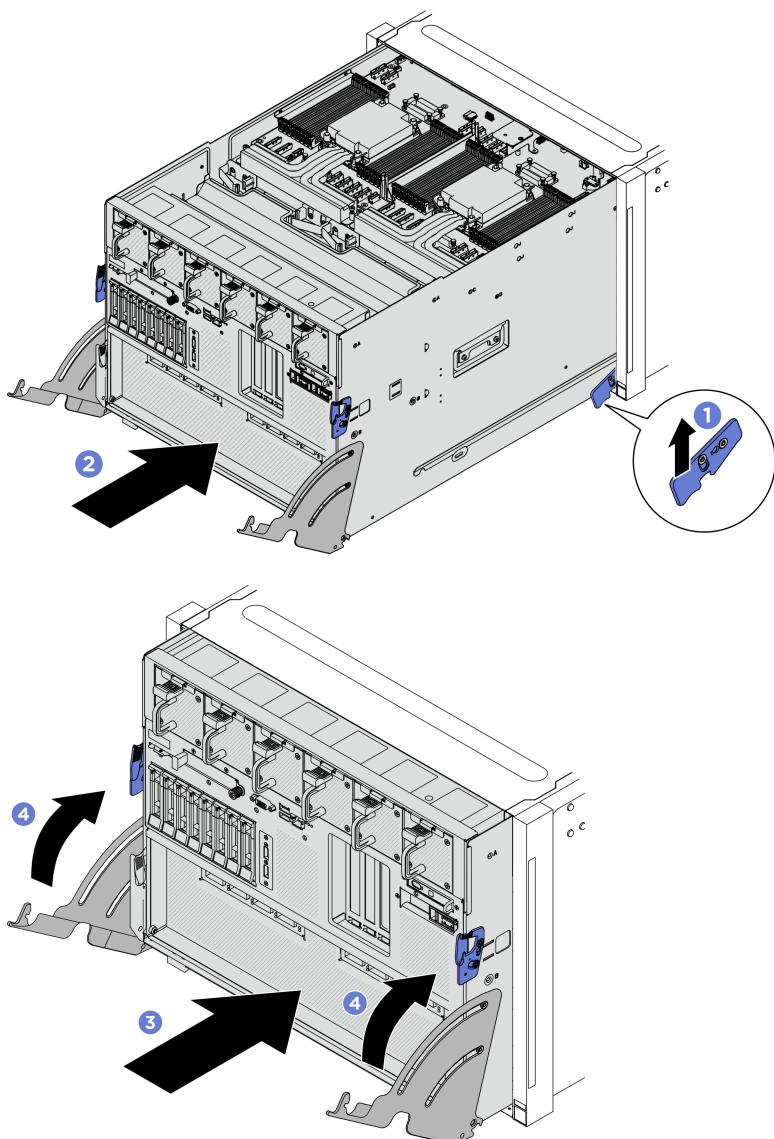


図269. システム・シャトルの取り付け

5. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

リタイマー・ボード・シャトルの交換(トレーニングを受けた技術員のみ)

リタイマー・ボード・シャトルの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要: このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

リタイマー・ボード・シャトルの取り外し

リタイマー・ボード・シャトルを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

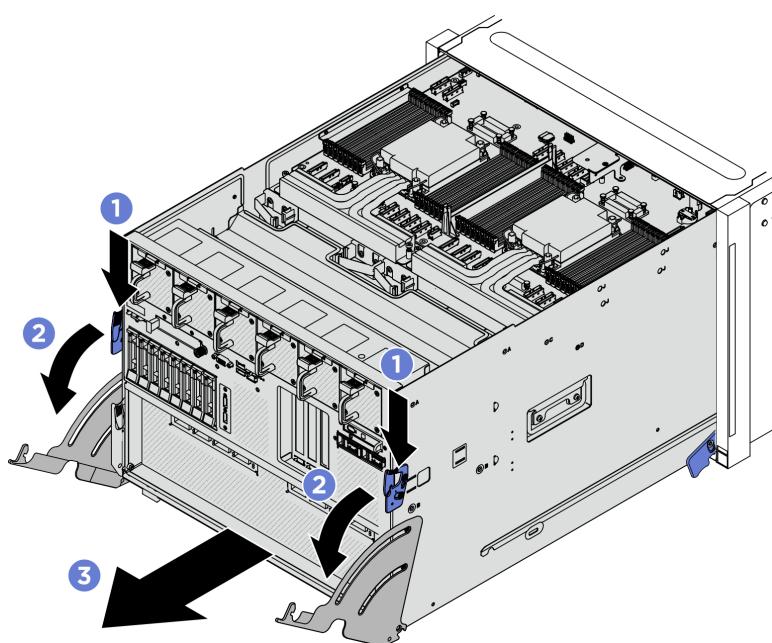


図 270. システム・シャトルを停止位置まで引く

- 前面ファン・ケージを取り外します。81 ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。
- NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを取り外します。58 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. リタイマー・ボードからケーブルをすべて外します。

ステップ 3. リタイマー・ボード・シャトルを取り外します。

- ① システム・シャトルの両側から 2 本の M3 段付き (ショルダー) ねじを取り外します。
- ② 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
- ③ シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
- ④ シャトルを前方にスライドさせて、システム・シャトルから取り外します。

重要: リタイマー・ボード・シャトルをシステム・シャトルから取り外した後、2つのリリース・レバーを押して、所定の位置にロックされるまで戻してください。

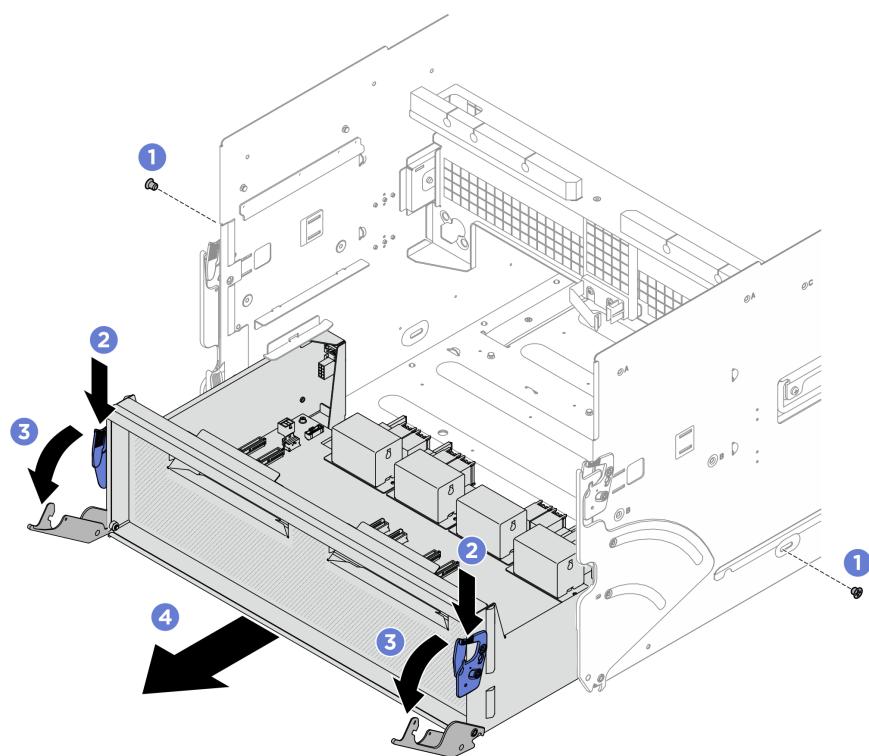


図271. リタイマー・ボード・シャトルの取り外し

ステップ4. OSFP カードの側波帶ケーブルのみを交換するには、次の手順に従います。

- **OSFP カードの側波帶ケーブルの取り外し:**

ケーブルを持ち上げて後方に引き、リタイマー・ボード・シャトルから取り外します。

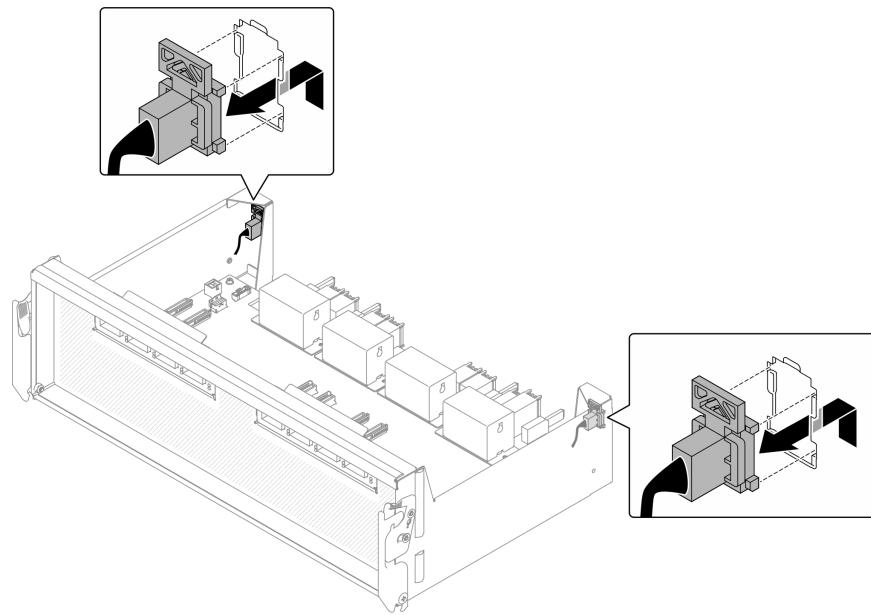


図272. OSFP カードの側波帶ケーブルの取り外し

- OSFP カードの側波帶ケーブルの取り付け:

ケーブルの位置をリタイマー・ボード・シャトルのスロットに合わせて挿入し、ケーブルを下ろして所定の位置に固定します。

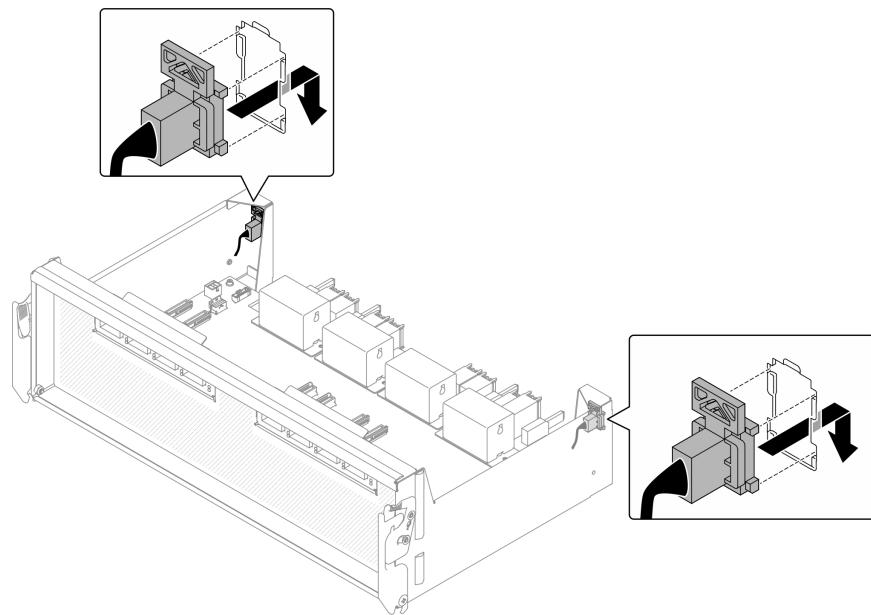


図273. OSFP カードの側波帶ケーブルの取り付け

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配達用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

リタイマー・ボード・シャトルの取り付け

リタイマー・ボード・シャトルを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

手順

ステップ1. リタイマー・ボード・シャトルを取り付けます。

- ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
- ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
- ③ シャトルを所定の位置に収まるまでシステム・シャトルの中に押し込みます。
- ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。
- ⑤ システム・シャトルの両側に2本のM3段付き(ショルダー)ねじを取り付けます。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

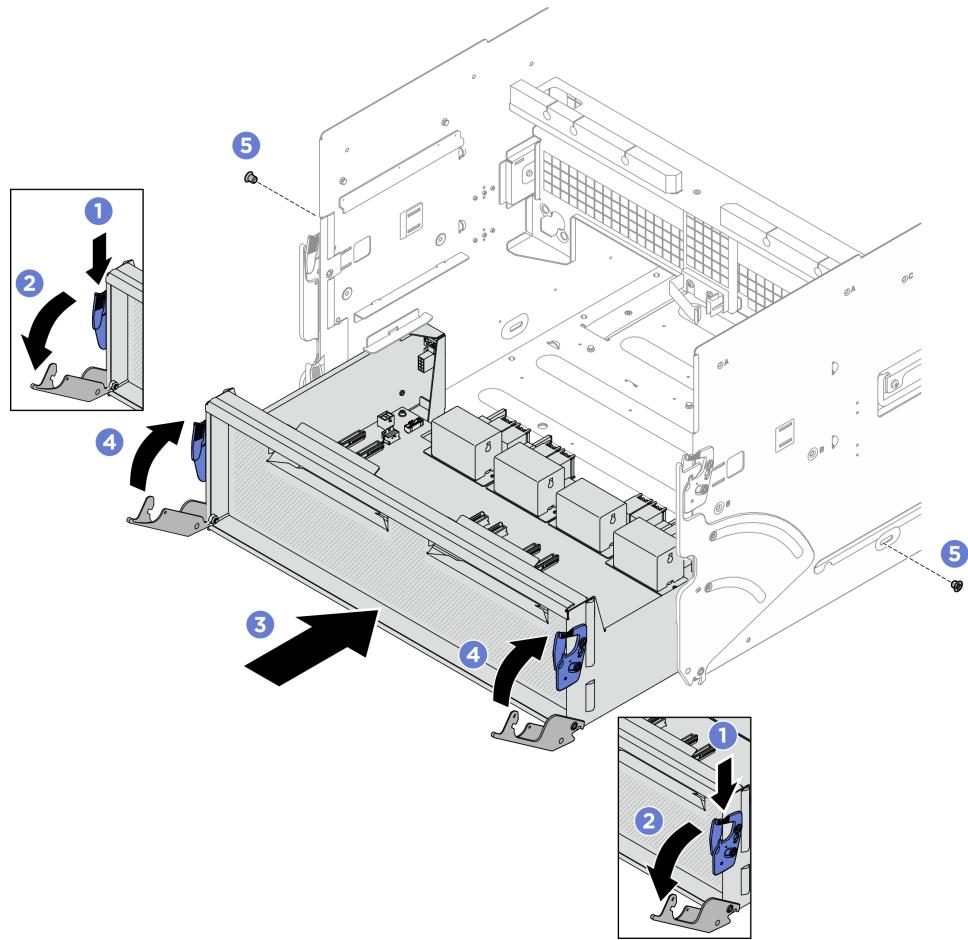


図274. リタイマー・ボード・シャトルの取り付け

ステップ2. リタイマー・ボードにケーブルを接続します。詳しくは、337 ページの「リタイマー・ボードのケーブル配線」を参照してください。

完了したら

1. NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージを再度取り付けます。62 ページの「NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージの取り付け」を参照してください。
2. 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。
3. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある 2 つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2 つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

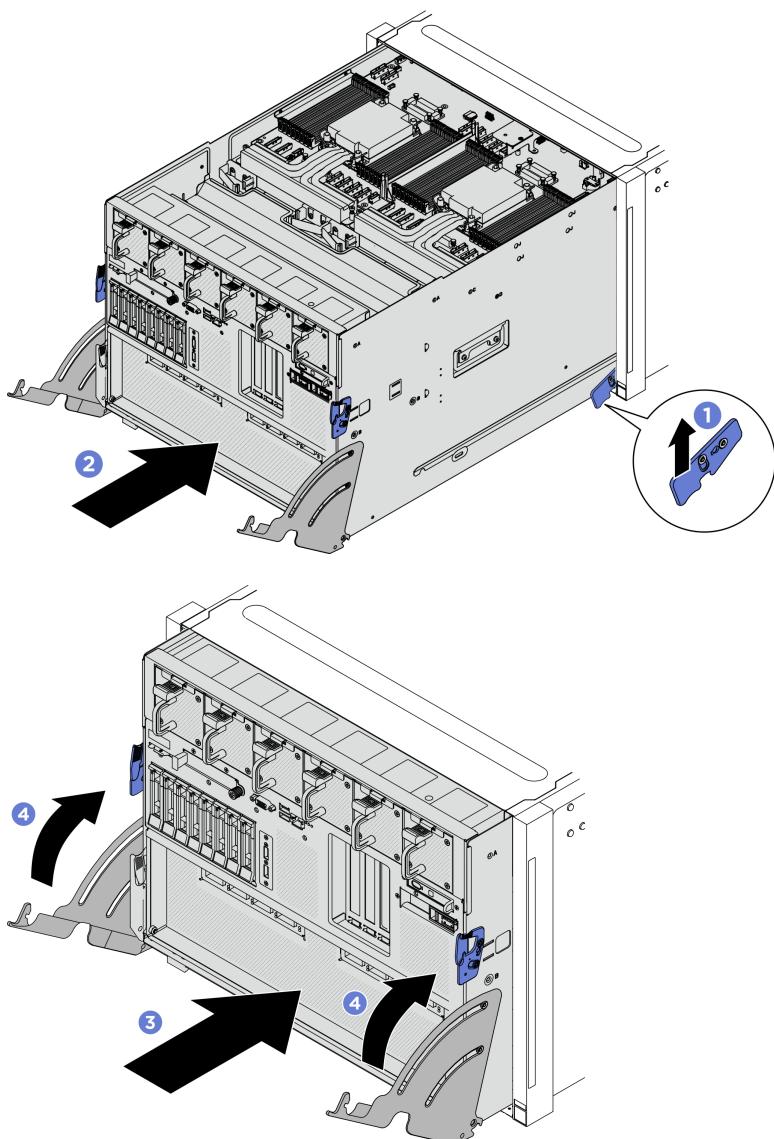


図275. システム・シャトルの取り付け

4. 部品交換を完了します。306 ページの「部品交換の完了」を参照してください。

リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーの取り外し

リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

手順

ステップ1. リタイマー・ボード・シャトルをGPUシャトルから取り外します。

- a. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
- b. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
- c. ③ シャトルを止まるまで少しあわせ、GPUシャトルから取り外します。

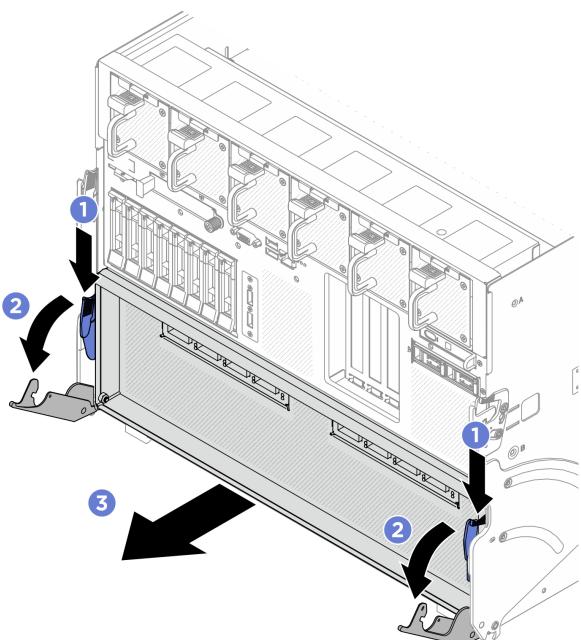


図276. リタイマー・ボードとシャトルの切り離し

ステップ2. リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーを取り外します。

- a. リリース・レバーのねじを緩めて、リタイマー・ボード・シャトルから取り外します。
- b. この手順を繰り返して、もう一方のリリース・レバーを取り外します。

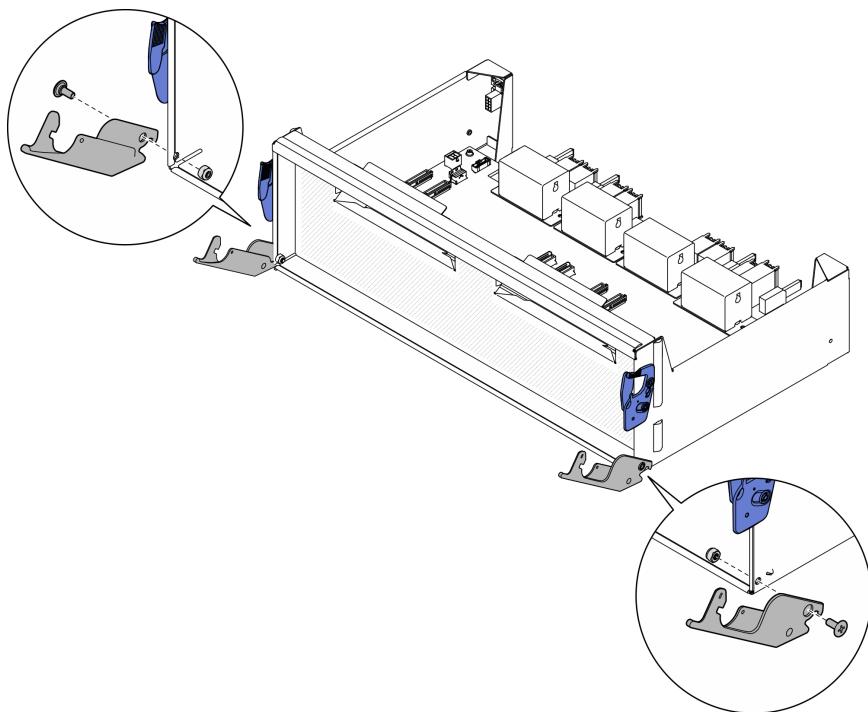


図277. リタイマー・ボードのリリース・レバーの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーの取り付け

リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。

このタスクについて

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。

手順

ステップ1. リタイマー・ボード・シャトルのリリース・レバーを取り付けます。

- ねじを締めて、リリース・レバーをシャトルに固定します。
- この手順を繰り返して、もう一方のリリース・レバーを取り付けます。

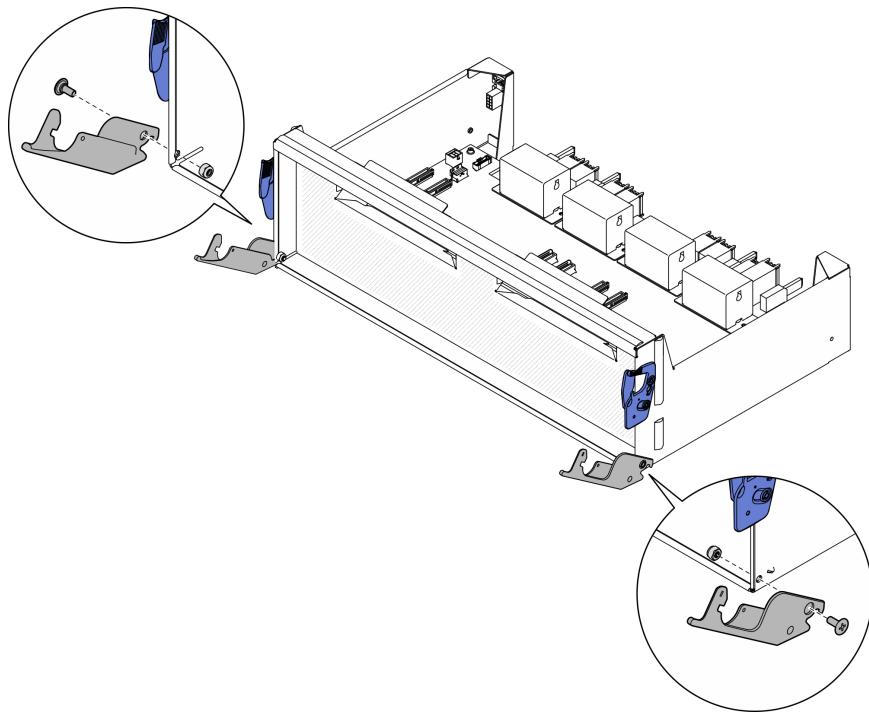


図278. リタイマー・ボードのリリース・レバーの取り付け

ステップ2. リタイマー・ボード・シャトルをGPUシャトルに固定します。

- a. ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
- b. ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
- c. ③ リタイマー・ボード・シャトルをシステム・シャトルに奥までスライドさせます。
- d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

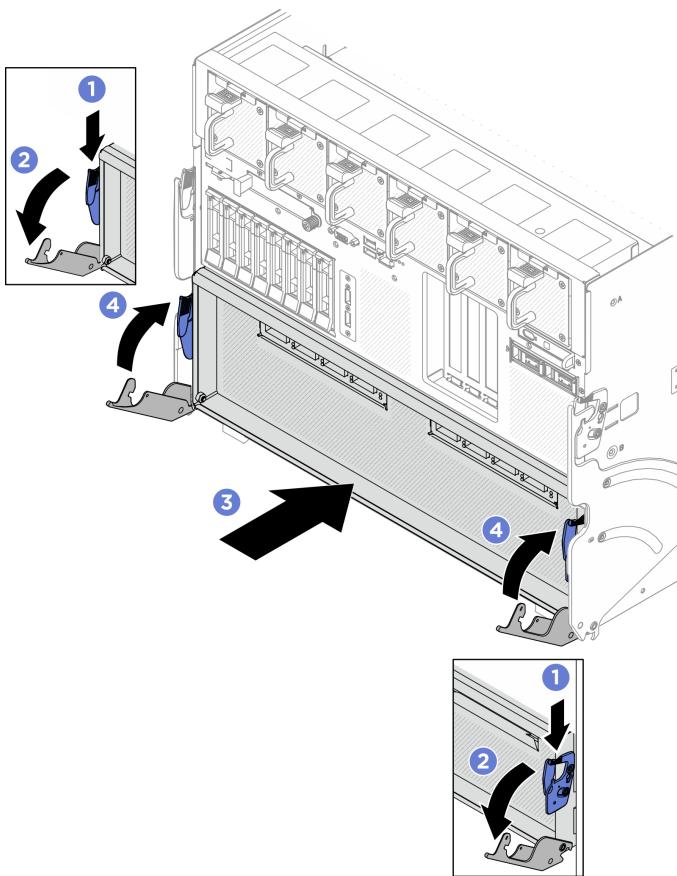


図 279. リタイマー・ボード・シャトルの固定

完了したら

- 部品交換を完了します。[306 ページの「部品交換の完了」](#)を参照してください。

システム・ボードの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

システム・ボードを取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 :

- このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

S017



警告 :

ファンの羽根が近くにあります。指や体の他の部分が触れないようにしてください。

警告：



ヒートシンクおよびプロセッサーは、高温になる場合があります。サーバー・カバーを取り外す前に、サーバーの電源をオフにし、サーバーが冷えるまで数分間待ちます。

システム・ボードの取り外し

このセクションの手順に従って、システム・ボードを取り外します。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

重要：

- このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。
- システム・ボードを交換する際は、常にサーバーを最新のファームウェアに更新するか、既存のファームウェアを復元する必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
- メモリー・モジュールを取り外すときは、各メモリー・モジュールにスロット番号のラベルを付けて、システム・ボードからすべてのメモリー・モジュールを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます。
- ケーブルを切り離すときは、各ケーブルのリストを作成し、ケーブルが接続されているコネクターを記録してください。また、新しいシステム・ボードを取り付けた後に、その記録をケーブル配線チェックリストとして使用してください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:
<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ1. このタスクの準備をします。

- Lenovo XClarity Controller IP アドレス、重要プロダクト・データ、およびサーバーのマシン・タイプ、型式番号、シリアル番号、固有 ID、資産タグなどのすべてのシステム構成情報を記録します。
- Lenovo XClarity Essentials を使用して、システム構成を外部デバイスに保存します。
- システム・イベント・ログを外部メディアに保存します。

ステップ2. 次のコンポーネントを取り外します。

- a. システム・シャトルをシャーシから引き出し、リフト・プラットフォームに置きます。301 ページの「システム・シャトルの取り外し」を参照してください。
- b. コンピュート・トレイを取り外します。48 ページの「コンピュート・トレイの取り外し」を参照してください。
- c. システム・ボードから中央のケーブル・ガイドを取り外します。37 ページの「ケーブル・ガイドの取り外し」を参照してください。
- d. すべてのプロセッサーとヒートシンクを取り外します。243 ページの「プロセッサーとヒートシンクの取り外し」を参照してください。
- e. CMOS バッテリー (CR2032) を取り外します。51 ページの「CMOS バッテリーの取り外し (CR2032)」を参照してください。
- f. 各メモリー・モジュールにスロット番号のラベルを付けて、システム・ボードからすべてのメモリー・モジュールを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます。171 ページの「メモリー・モジュールの取り外し」を参照してください。

重要：メモリー・モジュール・スロットのレイアウトを印刷し、参照することをお勧めします。

ステップ3. システム・ボードを取り外します。

- a. システム・ボードを固定している 12 本のねじを緩めます。
- b. システム・ボードを持ち上げてトレイから取り出します。

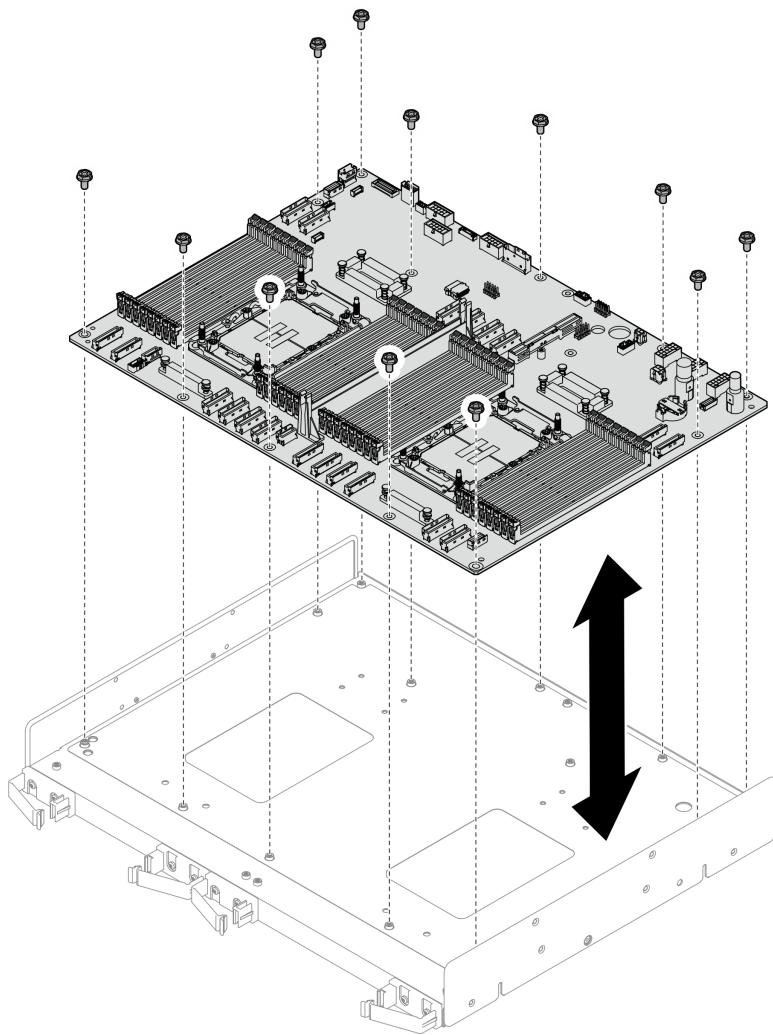


図280. システム・ボードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

重要：システム・ボードを返却する前に、新しいシステム・ボードから取り外したプロセッサー・ソケット・カバーを取り付けてください。プロセッサー・ソケット・カバーを交換するには、次の手順を実行します。

1. 新しいシステム・ボードのプロセッサー・ソケット・アセンブリーからソケット・カバーを取り出し、取り外されたシステム・ボードのプロセッサー・ソケット・アセンブリーの上に正しく配置します。
2. ソケット・カバーの脚をプロセッサー・ソケット・アセンブリーに静かに押し込み、ソケット・ピンの損傷を防ぐために端を押します。ソケット・カバーがしっかりと取り付けられたときに、クリック音が聞こえる場合があります。
3. ソケット・カバーがプロセッサー・ソケット・アセンブリーにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

システム・ボードの取り付け

このセクションの手順に従って、システム・ボードを取り付けます。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

重要：このコンポーネントの取り外しと取り付けは、トレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングを受けずに取り外しまたは取り付けを行わないでください。

注意：

- 安全に作業を行うために、[1 ページの「取り付けのガイドライン」](#) および [2 ページの「安全検査のチェックリスト」](#) をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード: コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. システム・ボードの位置をコンピュート・トレイの支柱に合わせて、システム・ボードをトレイの中に下ろします。

ステップ 2. 12 本のねじを締めて、システム・ボードを固定します。

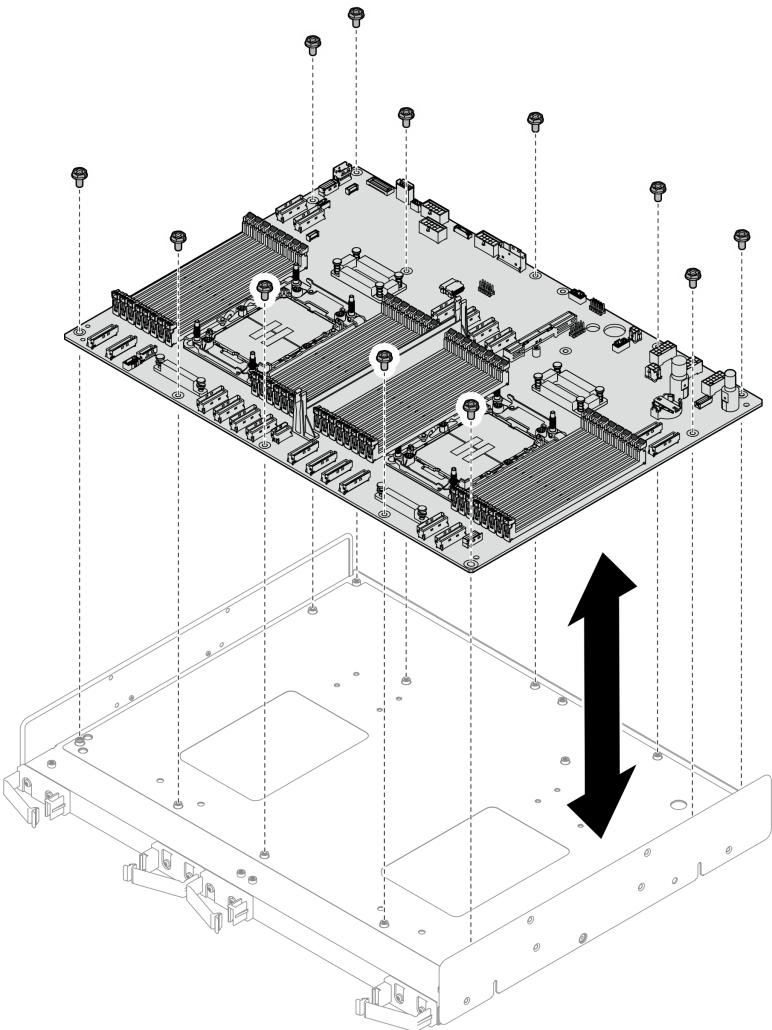


図 281. システム・ボードの取り付け

完了したら

- すべてのメモリー・モジュールが取り付けられるまで、各メモリー・モジュールを、問題のあるシステム・ボードと同じ新しいシステム・ボードのスロットに再度取り付けます。[173 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」](#)を参照してください。
- すべてのプロセッサーおよびヒートシンクを再度取り付けます。[249 ページの「プロセッサーとヒートシンクの取り付け」](#)を参照してください。
- コンピュート・トレイを再度取り付けます。[49 ページの「コンピュート・トレイの取り付け」](#)を参照してください。
- すべてのケーブル・ガイドを再度取り付けます。[40 ページの「ケーブル・ガイドの取り付け」](#)を参照してください。
- システム・シャトルを再度取り付けます。[303 ページの「システム・シャトルの取り付け」](#)を参照してください。
- 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- サーバーおよび周辺機器の電源をオンにします。[9 ページの「サーバーの電源をオンにする」](#)を参照してください。

- 重要プロダクト・データ (VPD) を更新します。288 ページの「重要プロダクト・データ (VPD) の更新」を参照してください。マシン・タイプ番号とシリアル番号は ID ラベルに記載されています。詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「サーバーを認識して、Lenovo XClarity Controllerにアクセスする」を参照してください。
- TPM を非表示にしたり、TPM フームウェアを更新する必要がある場合、299 ページの「TPM を非表示にする/監視する」または 300 ページの「TPM フームウェアの更新」を参照してください。
- (オプション) UEFI セキュア・ブートを有効にします。300 ページの「UEFI セキュア・ブートの有効化」を参照してください。

重要プロダクト・データ (VPD) の更新

重要プロダクト・データ (VPD) を更新するには、このトピックを使用します。

- (必須) マシン・タイプ
- (必須) シリアル番号
- (必須) システム・モデル
- (オプション) 資産タグ
- (オプション) UUID

推奨ツール:

- Lenovo XClarity Provisioning Manager
- Lenovo XClarity Essentials OneCLI コマンド

Lenovo XClarity Provisioning Manager の使用

手順:

- サーバーを起動して画面の指示に従ってキーを押します。デフォルトでは、Lenovo XClarity Provisioning Manager インターフェースが表示されます。
- Lenovo XClarity Provisioning Manager メイン・インターフェースの右上隅の  をクリックします。
- 「VPD の更新」をクリックし、画面の指示に従って VPD を更新します。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI コマンドを使用する場合

- マシン・タイプの更新
`onecli config set VPD.SysInfoProdName10 <m/t_model> [access_method]`
- シリアル番号の更新
`onecli config set VPD.SysInfoSerialNum10 <s/n> [access_method]`
- システム・モデルの更新

```
onecli config set VPD.SysInfoProdIdentifier <system model> [access_method]
```

- 資産タグの更新
`onecli config set VPD.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]`
- UUID の更新
`onecli config createuuid VPD.SysInfoUUID [access_method]`

変動要素	説明
<code><m/t_model></code>	サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。 xxxxyyyyyy と入力します。ここで、xxxx はマシン・タイプ、yyyyyy はサーバー・モデルの番号です。

<s/n>	サーバーのシリアル番号。 zzzzzzzz (長さ 8 ~ 10 文字) と入力します。ここで zzzzzzzz はシリアル番号です。
<system model>	サーバー上のシステム・モデル。 system yyyy-yyyy と入力します。ここで、yyyy-yyyy は製品 ID です。
<asset_tag>	サーバーの資産タグ番号。 aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa と入力します。ここで、aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa は資産タグ番号です。
<access_method>	<p>ユーザーが選択したターゲット・サーバーへのアクセス方式。</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン KCS(非認証およびユーザー制限付き): このコマンドから直接 <i>[access_method]</i> を削除できます。 オンライン認証 LAN: この場合、OneCLI コマンドの最後に以下の LAN アカウント情報を指定します。 <code>--bmc-username <user_id> --bmc-password <password></code> リモート WAN/LAN: この場合、OneCLI コマンドの最後に以下の XCC アカウント情報と IP アドレスを指定します。 <code>--bmc <bmc_user_id>:<bmc_password>@<bmc_external_IP></code> <p>注 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - <i><bmc_user_id></i> BMC アカウント名 (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。 - <i><bmc_password></i> BMC アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。

システム I/O ボードの交換

システム I/O ボードの取り付けまたは取り外しを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

システム I/O ボードの取り外し

このセクションの手順に従って、システム I/O ボードを取り外します。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

重要 : このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。

- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。
- システム I/O ボードを交換した後、ファームウェアを、サーバーがサポートする特定のバージョンに更新します。必要なファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

手順

ステップ 1. このタスクの準備をします。

- OneCLI コマンドまたは XCC アクションを実行して、UEFI および XCC の設定をバックアップします。https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/config_backup、またはhttps://pubs.lenovo.com/xcc3/nnlia_c_backupthexccを参照してください。
- システム・シャトルを停止位置まで引きます。
 - ① 青色の 2 つのリリース・ラッチを押します。
 - ② シャトルに対して垂直になるまで 2 つのリリース・レバーを回転させます。
 - ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

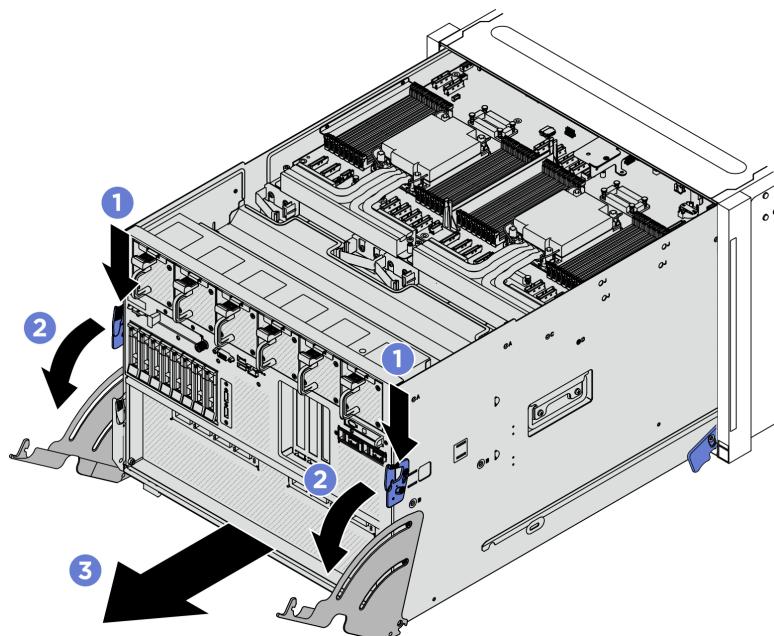


図282. システム・シャトルを停止位置まで引く

- 前面ファン・ケージを取り外します。81 ページの「前面ファン・ケージの取り外し」を参照してください。

ステップ 2. システム I/O ボードから FPC ケーブルを外します。

- コネクターのラッチを引き上げます。

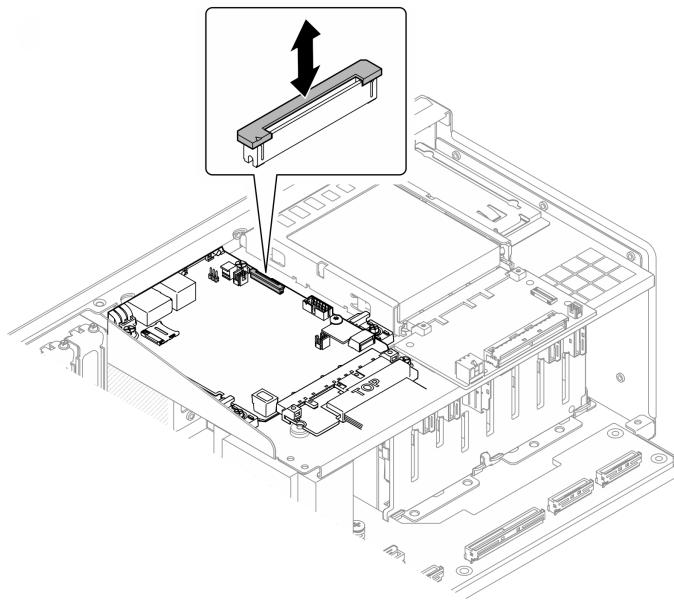


図283. コネクター・ラッチを引き上げる

- b. システム I/O ボードから慎重にケーブルを外します。

ステップ3. システム I/O ボードを取り外します。

- a. ① システム I/O ボードとケーブルの両方を固定している 4 本のねじを緩めます。
- b. ② システム I/O ボードを切り欠きの位置が保持具に揃うまで後方にスライドさせてから(図を参照)持ち上げて、NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージから取り外します。
- c. ③ システム I/O ボードからケーブルを外します。

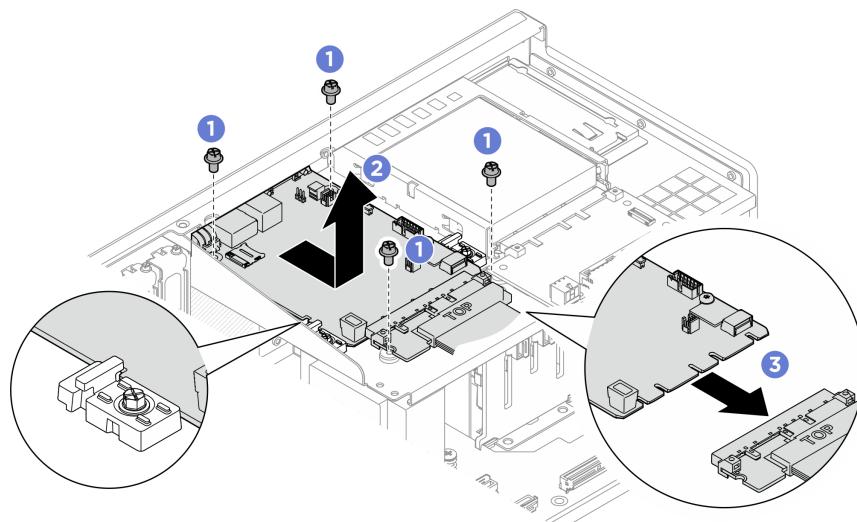


図284. システム I/O ボードの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

システム I/O ボードの取り付け

このセクションの手順に従って、システム I/O ボードを取り付けます。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

重要：このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

注意：

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- コンポーネントが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、それをパッケージから取り出し、帯電防止板の上に置きます。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントは取り付け時まで帯電防止パッケージに収め、システム停止やデータの消失を招く恐れのある静電気にさらされないようにしてください。また、このようなデバイスを取り扱う際は静電気放電用リスト・ストラップや接地システムなどを使用してください。

注：コンポーネントを適切に交換するため、トルク・ドライバーを用意してください。

ファームウェアとドライバーのダウンロード：コンポーネントの交換後、ファームウェアやドライバーの更新が必要になる場合があります。

- ご使用のサーバーでのファームウェアとドライバーの最新の更新を確認するには、
<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> を参照してください。
- ファームウェア更新ツールについて詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

手順

ステップ 1. 必要に応じて、システム・ボードに接続するケーブルの両端にラベルを貼り付けます。

- ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
- ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
- 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

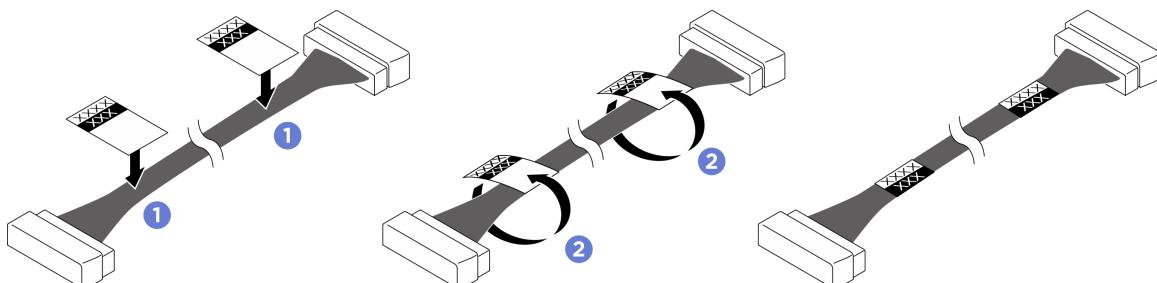


図 285. ラベルの貼り付け

注：ケーブルに対応するラベルを識別するには、以下の表を参照してください。

始点	ラベル	終点	ラベル
システム I/O ボード: システム・ボード・コネクター	DC-SCM	システム・ボード: システム I/O ボード・コネクター	P2-DC-SCM DC-SCM
		システム・ボード: SPI/eSPI コネクター	P3-SPI/eSPI DC-SCM

ステップ 2. システム I/O ボードを取り付けます。

- ① システム I/O ボードにケーブルを接続します。
- ② 図のようにシステム I/O ボードの切り欠きを保持具と位置合わせします。システム I/O ボードのコネクターの位置を、NVMe ドライブおよび PCIe スイッチ・ボード・ケージのスロットに合わせてから、システム I/O ボードを丁寧にスライドさせて所定の位置に収めます。
- ③ 4 本のねじを締めて、システム I/O ボードとケーブルを固定します。

注：トルク・ドライバー・セットでねじを締め、適切なトルクに固定します。目安として、ねじを完全に締め付けるために必要なトルクは 0.9 ± 0.2 ニュートン・メーターです。

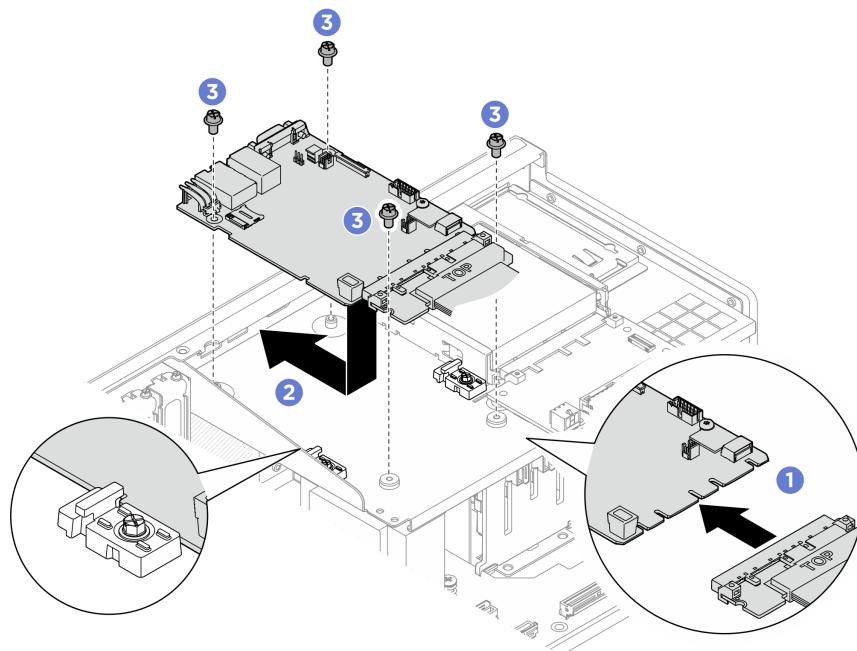


図 286. システム I/O ボードの取り付け

ステップ3. FPCケーブルをシステムI/Oボードに接続します。

- コネクターのラッチを引き上げます。

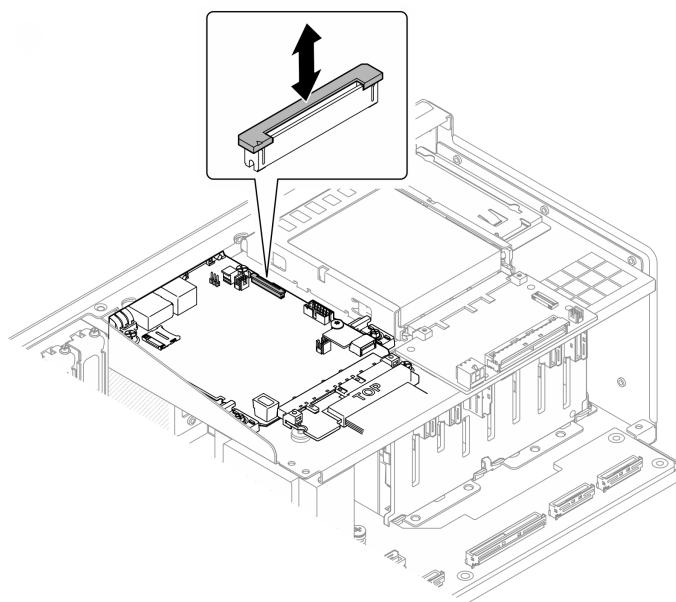


図287. コネクター・ラッチを引き上げる

- FPCケーブルとコネクターのシルクスクリーンを一致させます。ケーブルのむき出しの銅接点が、コネクター側の対応するピンの向きと合うように位置を揃えてから、ケーブルをシステムI/Oボードのコネクターに丁寧に差し込んでください。

FPCケーブル側のシルクスクリーン	システムI/Oボード側のシルクスクリーン
PHY2_CONN SIDE	PHY2_CONN

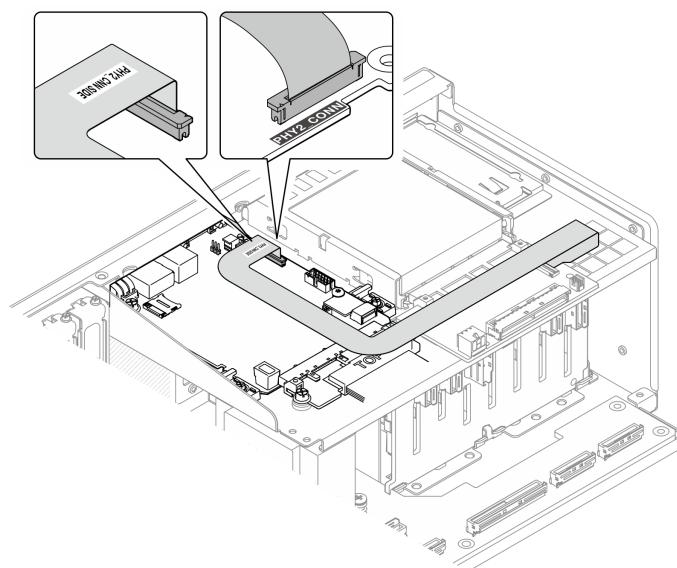


図288. FPCケーブル配線

- c. コネクターのラッチを押して、ケーブルを固定します。

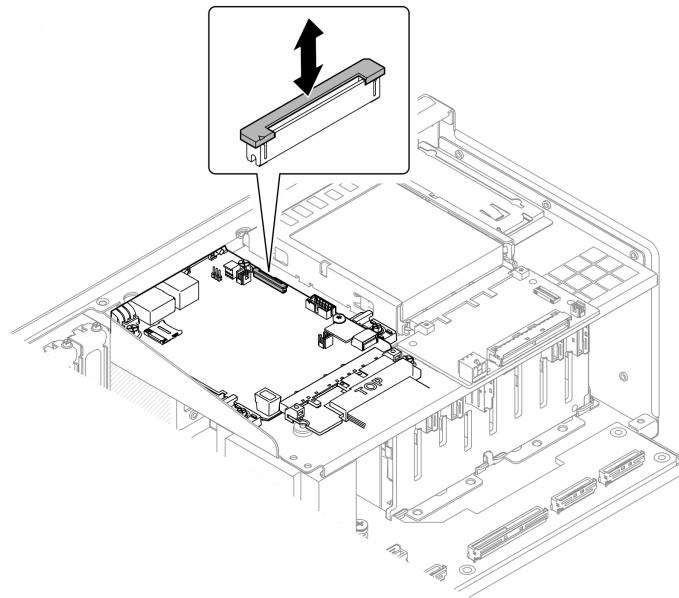


図289. コネクターのラッチを押す

- d. ケーブルの取り付け具合を目視で確認します。ケーブルの白いラインが見えていないことを確かめてください。白いラインが見えている場合、ケーブルが正しく取り付けられていません。

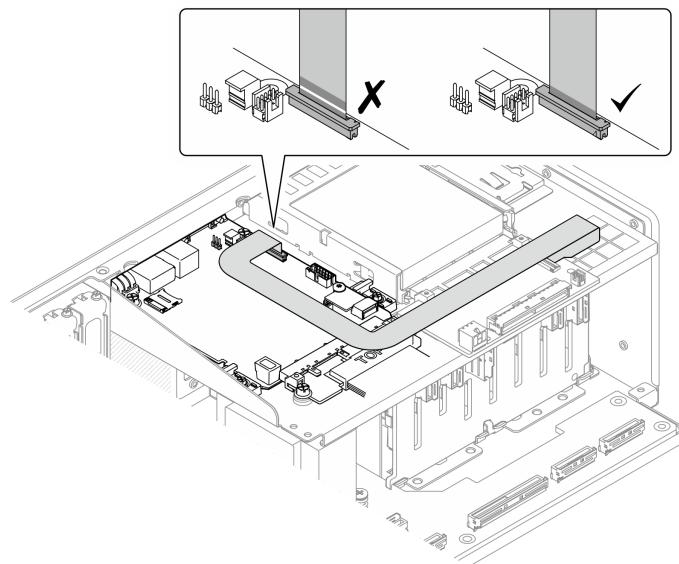


図290. FPC ケーブルの取り付け検査

完了したら

- 前面ファン・ケージを再度取り付けます。83 ページの「前面ファン・ケージの取り付け」を参照してください。

2. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - a. ① シャトルの両側にある2つのロック・ラッチを持ち上げます。
 - b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
 - c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
 - d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

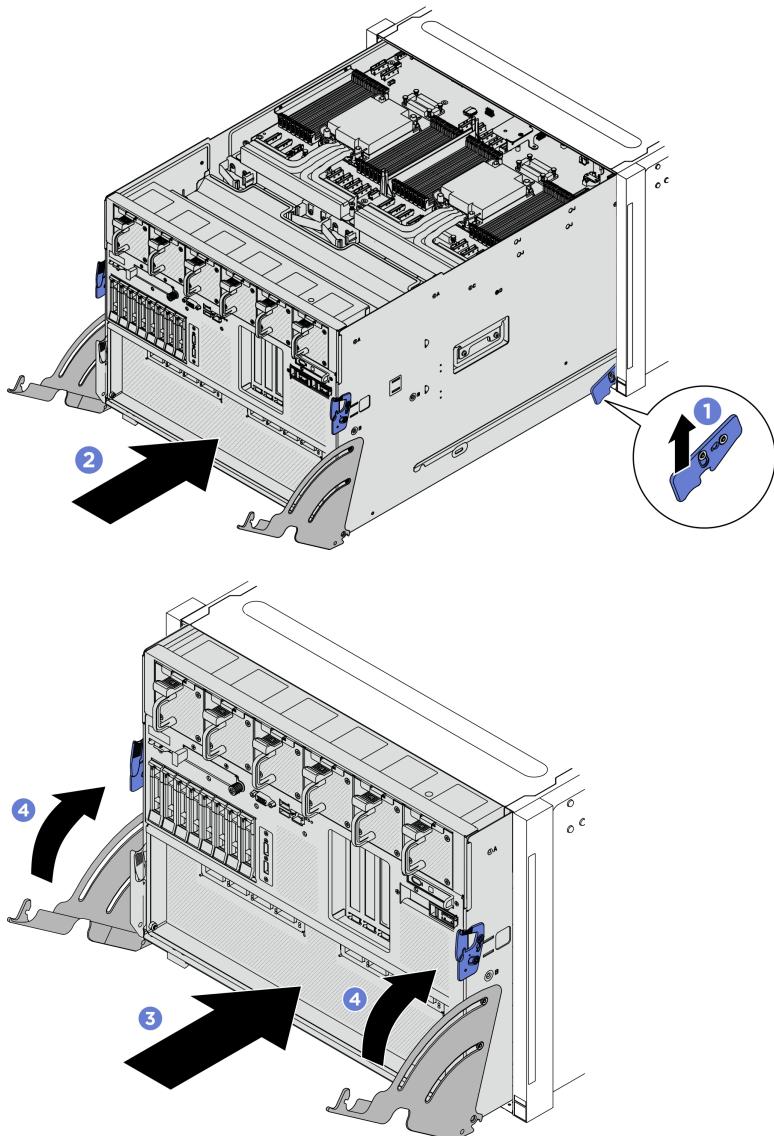


図291. システム・シャトルの取り付け

3. UEFI フームウェアを更新します。(Lenovo サービス技術員のみ) [https://glosse4lenovo.lenovo.com/wiki/glosse4lenovo/view/How+To/System+related/Procedure+for+replacing+System+IO+board+\(DC-SCM\)+and+updating+system+firmware+on+V4+system./](https://glosse4lenovo.lenovo.com/wiki/glosse4lenovo/view/How+To/System+related/Procedure+for+replacing+System+IO+board+(DC-SCM)+and+updating+system+firmware+on+V4+system./) を参照してください。
4. XCC/LXPM/FPGA SCM/LXUM フームウェアを更新します。「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「フームウェアの更新」を参照してください。

5. OneCLI コマンドまたは XCC アクションを実行して、UEFI および XCC 設定を復元します。 https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_restore_command、または https://pubs.lenovo.com/xcc3/nnlia_c_restorethexc を参照してください。
6. TPM ポリシーの設定。 [297 ページの「TPM の有効化」](#) を参照してください。
7. TPM を非表示にしたり、TPM ファームウェアを更新する必要がある場合、 [299 ページの「TPM を非表示にする/監視する」](#) または [300 ページの「TPM ファームウェアの更新」](#) を参照してください。
8. (オプション) UEFI セキュア・ブートを有効にします。 [300 ページの「UEFI セキュア・ブートの有効化」](#) を参照してください。

TPM の有効化

サーバーは、バージョン 2.0 の Trusted Platform Module (TPM) をサポートします。

注：中国本土のお客様の場合、内蔵 TPM はサポートされていません。

システム I/O ボードを交換する場合は、TPM ポリシーが正しく設定されていることを確認する必要があります。

警告：

TPM ポリシーの設定は慎重に行ってください。正しく設定されないと、システム I/O ボードが使用できなくなる場合があります。

TPM ポリシーの設定

デフォルトでは、交換用システム I/O ボードは TPM ポリシーが未定義に設定された状態で出荷されます。この設定を、交換するシステム I/O ボードの設定と一致するように変更する必要があります。

TPM ポリシーを設定する方法は 2 つあります。

- Lenovo XClarity Provisioning Manager から

Lenovo XClarity Provisioning Manager から TPM ポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

1. サーバーを起動し、画面の指示に従ってキーを押して Lenovo XClarity Provisioning Manager インターフェースを表示します。
2. 始動管理者パスワードが必要な場合は、パスワードを入力します。
3. Lenovo XClarity Provisioning Manager インターフェースの右上隅の をクリックし、「VPD の更新」をクリックします。
4. ポリシーを以下の設定のいずれかに設定します。
 - TPM 有効 - ROW。中国本土以外のお客様はこの設定を選択する必要があります。
 - 永続的に無効。中国本土にお住みのお客さまは、TPM アダプターが取り付けられていない場合は、この設定を使用する必要があります。

注：ポリシー設定で未定義という設定は使用可能ですが、使用されることはありません。

- Lenovo XClarity Essentials OneCLI から

注：ターゲット・システムにリモート・アクセスするには、Lenovo XClarity Controller で、ローカル IPMI ユーザーとパスワードがセットアップされている必要があることにご注意ください。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI から TPM ポリシーを設定するには、次の手順を実行します。

1. TpmTcmPolicyLock を読んで、TPM_TCM_ポリシーがロックされているかどうかを確認してください。
`OneCli.exe config show BMC.TpmTcmPolicyLock --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>`

注：BMC.TpmTcmPolicyLock 値は「Disabled」でなくてはなりません。これは、TPM_TCM_POLICY がロックされておらず、TPM_TCM_POLICY への変更が許可されることを意味します。戻りコード

が「Enabled」の場合、ポリシーへの変更は許可されません。希望の設定が交換されるシステムに
対して正しい場合は、プレーナーがまだ使用されている可能性があります。

2. TPM_TCM_POLICY を XCC に構成します。

- TPM のない中国本土のお客様、または TPM を無効にする必要があるお客様の場合:

```
OneCli.exe config set BMC.TpmTcmPolicy "NeitherTpmNorTcm" --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

- TPM を有効にする必要がある中国本土のお客様:

```
OneCli.exe config set BMC.TpmTcmPolicy "NationZTPM20Only" --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

- TPM を有効にする必要がある中国本土以外のお客様:

```
OneCli.exe config set BMC.TpmTcmPolicy "TPMOnly" --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

3. reset コマンドを発行して、システムをリセットします。

```
OneCli.exe misc ospower reboot --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

4. 値をリードバックして、変更が承認されたかどうかを確認してください。

```
OneCli.exe config show BMC.TpmTcmPolicy --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

注 :

- リードバック値が一致した場合、TPM_TCM_POLICY が正しく設定されたことを意味します。

BMC.TpmTcmPolicy は、以下のとおり定義されます。

- 値 0 はストリング「Undefined」を使用します。これは UNDEFINED ポリシーを意味します。

- 値 1 はストリング「NeitherTpmNorTcm」を使用します。これは TPM_PERM_DISABLED を意味します。

- 値 2 はストリング「TPMOnly」を使用します。これは TPM_ALLOWED を意味します。

- 値 5 はストリング「NationZTPM20Only」を使用します。これは NationZ_TPM20_ALLOWED を意味します。

- OneCli/ASU コマンドを使用するとき、以下の 4 つの手順も使用して、TPM_TCM_POLICY を「ロック」する必要があります。

5. TpmTcmPolicyLock を読んで、TPM_TCM_ポリシーがロックされているかどうかを確認してください。

```
OneCli.exe config show BMC.TpmTcmPolicyLock --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

値は「Disabled」でなければなりません。これは TPM_TCM_POLICY がロックされておらず、設定する必要があることを意味します。

6. TPM_TCM_POLICY をロックします。

```
OneCli.exe config set BMC.TpmTcmPolicyLock "Enabled" --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

7. reset コマンドを発行して、システムをリセットします。

```
OneCli.exe misc ospower reboot --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

リセット時に、UEFI は BMC.TpmTcmPolicyLock から値を読み込みます。値が「Enabled」で BMC.TpmTcmPolicy 値が無効な場合、UEFI は TPM_TCM_POLICY 設定をロックします。

注 : BMC.TpmTcmPolicy の有効な値には、「NeitherTpmNorTcm」、「TPMOnly」、および「NationZTPM20Only」が含まれます。

BMC.TpmTcmPolicyLock が「Enabled」に設定されていても、BMC.TpmTcmPolicy 値が無効な場合、UEFI は、「ロック」要求を拒否し、BMC.TpmTcmPolicyLock を「Disabled」に戻します。

8. 値をリードバックして、「ロック」が正常に有効になっているかを確認します。

```
OneCli.exe config show BMC.TpmTcmPolicyLock --override --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

注：リードバック値が「Disabled」から「Enabled」に変更された場合、TPM_TCM_POLICY が適切にロックされていることを意味します。ポリシーがいったんロックされると、システム I/O ボードの交換以外にロックを解除する方法はありません。

BMC.TpmTcmPolicyLock は、以下のとおり定義されます。

値 1 はストリング「Enabled」を使用します。これはポリシーのロックを意味します。その他の値は受け入れられません。

TPM を非表示にする/監視する

TPM は、システム運用のためのデータ転送を暗号化する目的で、デフォルトで有効に設定されています。必要に応じて、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) または Lenovo XClarity Essentials OneCLI を使用して TPM を無効にすることができます。

UEFI の使用

詳しくは、UEFI ユーザー ガイド(<https://pubs.lenovo.com/uefi-overview/>) の「「TPM デバイス」」を参照してください。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI の使用

TPM を無効にするには、以下を行います。

1. Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードしてインストールします。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードするには、次のサイトにアクセスします。

<https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/HT116433>

2. 以下のコマンドを実行します。

```
OneCli.exe config set UEFI.TrustedComputingGroup_TPMDevice "Disabled" -b <userid>:<password>@<ip_address>
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- <userid>:<password> はサーバーの BMC (Lenovo XClarity Controller インターフェース) にアクセスするためには使用する資格情報です。デフォルトのユーザー ID は USERID、デフォルトのパスワードは PASSW0RD (大文字の o ではなくゼロ) です。
- <ip_address> は BMC の IP アドレスです。

例:

```
D:\onecli>OneCli.exe config set UEFI.TrustedComputingGroup_TPMDevice "Disabled" --bmc USERID:PASSWORD@10.245.38.64
[1s]Certificate check finished [100%][=====>]
Start to connect BMC at 10.245.38.64 to apply config set
Invoking SET command ...
UEFI.TrustedComputingGroup_TPMDevice=Disabled
Changes completed successfully, but these changes will not take effect until next reboot.
Succeed.
```

3. システムを再起動します。

TPM を再度有効にするには、以下のコマンドを実行し、システムを再起動します。

```
OneCli.exe config set UEFI.TrustedComputingGroup_TPMDevice "Enabled" -b <userid>:<password>@<ip_address>
```

例:

```
D:\onecli>OneCli.exe config set UEFI.TrustedComputingGroup_TPMDevice "Enabled" --bmc USERID:PASSWORD@10.245.38.64
[1s]Certificate check finished [100%][=====>]
Start to connect BMC at 10.245.38.64 to apply config set
Invoking SET command ...
UEFI.TrustedComputingGroup_TPMDevice=Enabled
Changes completed successfully, but these changes will not take effect until next reboot.
Succeed.
```

TPM ファームウェアの更新

必要に応じて、Lenovo XClarity Essentials OneCLIを使用して TPM ファームウェアを更新にできます。

注：TPM ファームウェア更新は不可逆的です。更新後、TPM ファームウェアを以前のバージョンにダウングレードすることはできません。

TPM ファームウェア・バージョン

TPM ファームウェアのバージョンを確認するには、以下の手順に従います。

Lenovo XClarity Provisioning Manager から

1. サーバーを起動し、画面の指示で指定されたキーを押して Lenovo XClarity Provisioning Manager インターフェースを表示します(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/>のお使いのサーバーと互換性のあるLXPM の「スタートアップ」セクションを参照してください。)
2. 始動管理者パスワードが必要な場合は、パスワードを入力します。
3. UEFI セットアップのページから、「システム設定」→「セキュリティ」→「Trusted Platform Module」→「TPM 2.0」→「TPM ファームウェア・バージョン」をクリックします。

TPM ファームウェアの更新

TPM ファームウェアを更新するには、以下を行います。

1. Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードしてインストールします。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードするには、次のサイトにアクセスします。

<https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/HT116433>

2. 以下のコマンドを実行します。

```
OneCli.exe config set UEFI.TrustedComputingGroup_DeviceOperation UpdatetoTPM2_0firmwareversion<X_X_X_X>
--bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- <X_X_X_X>は、ターゲット TPM バージョンです。

例: TPM 2.0 (7.2.1.0) -> TPM 2.0 (7.2.2.0):

```
OneCli.exe config set UEFI.TrustedComputingGroup_DeviceOperation UpdatetoTPM2_0firmwareversion7_2_2_0
--bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

- <userid>:<password>はサーバーの BMC (Lenovo XClarity Controller インターフェース) にアクセスするため使用する資格情報です。デフォルトのユーザー ID は USERID、デフォルトのパスワードは PASSW0RD (大文字の o ではなくゼロ) です。

- <ip_address>は BMC の IP アドレスです。

UEFI セキュア・ブートの有効化

オプションで、UEFI セキュア・ブートを有効にできます。

UEFI セキュア・ブートを有効にする方法は 2 つあります。

- Lenovo XClarity Provisioning Manager から

Lenovo XClarity Provisioning Manager から UEFI セキュア・ブートを有効にするには:

1. サーバーを起動し、画面の指示で指定されたキーを押して Lenovo XClarity Provisioning Manager インターフェースを表示します(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/>のお使いのサーバーと互換性のあるLXPM の「スタートアップ」セクションを参照してください。)
2. 始動管理者パスワードが必要な場合は、パスワードを入力します。
3. UEFI セットアップのページから、「システム設定」→「セキュリティ」→「セキュア・ブート構成」→「セキュア・ブート設定」をクリックします。

4. セキュア・ブートを有効にし、設定を保存します。

注：UEFI セキュア・ブートを無効にする必要がある場合は、手順 4 で「無効」を選択します。

- Lenovo XClarity Essentials OneCLI から

Lenovo XClarity Essentials OneCLI から UEFI セキュア・ブートを有効にするには、次の手順を実行します。

- Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードしてインストールします。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI をダウンロードするには、次のサイトにアクセスします。

<https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/HT116433>

- セキュア・ブートを有効にするには、次のコマンドを実行します。

```
OneCli.exe config set UEFI.SecureBootConfiguration_SecureBootSetting Enabled --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- <userid>:<password>はサーバーの BMC (Lenovo XClarity Controller インターフェース) にアクセスするために使用する資格情報です。デフォルトのユーザー ID は USERID、デフォルトのパスワードは PASSW0RD (大文字の o ではなくゼロ) です。
- <ip_address>は BMC の IP アドレスです。

Lenovo XClarity Essentials OneCLI set コマンドについて詳しくは、以下を参照してください。

https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_set_command

注：UEFI セキュア・ブートを無効にする必要がある場合は、次のコマンドを実行します。

```
OneCli.exe config set UEFI.SecureBootConfiguration_SecureBootSetting Disabled --bmc <userid>:<password>@<ip_address>
```

システム・シャトルの交換 (トレーニングを受けた技術員のみ)

システム・シャトルの取り外しと取り付けを行うには、このセクションの説明に従ってください。

重要：このタスクの実行は、Lenovo Service によって認定済みのトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。適切なトレーニングおよび認定を受けずに部品の取り外しまたは取り付けを行わないでください。

システム・シャトルの取り外し

システム・シャトルを取り外すには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

S037



警告：

この部品または装置の重量は 55 kg (121.2 ポンド) 以上です。この部品または装置を安全に持ち上げるには、特別に訓練を受けた人員またはリフト装置 (あるいはその両方) が必要です。

注意：

- 安全に作業を行うために、1ページの「取り付けのガイドライン」および2ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- サーバーと周辺機器の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを取り外します。9ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照してください。
- この手順は2人で実行する必要があります。また、最大400ポンド(181kg)を支えることができるリフト・デバイス1台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovoが提供するGenie Lift GL-8 material liftをご利用ください。Data Center Solution Configurator:
<https://desc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool>からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material liftを注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

ステップ1. システム・シャトルを停止位置まで引きます。

- ① 青色の2つのリリース・ラッチを押します。
- ② シャトルに対して垂直になるまで2つのリリース・レバーを回転させます。
- ③ シャトルが止まるまで前方に引きます。

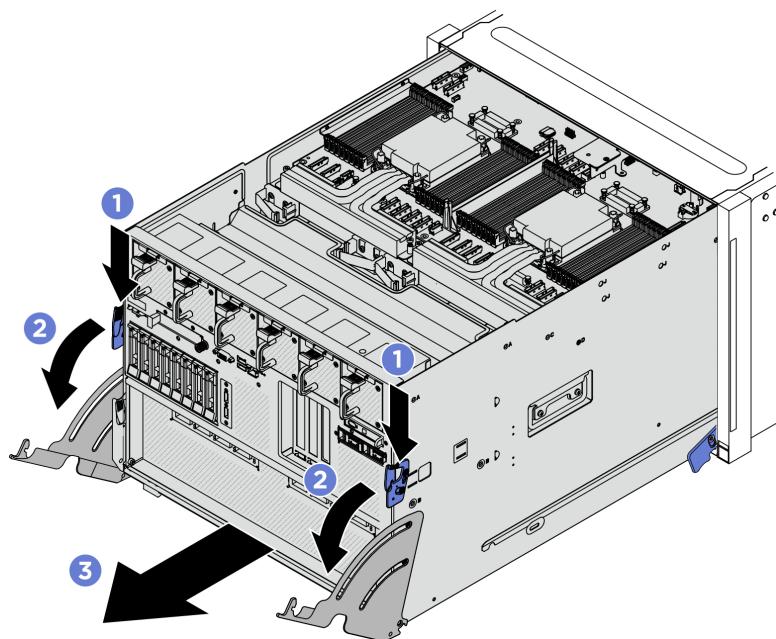


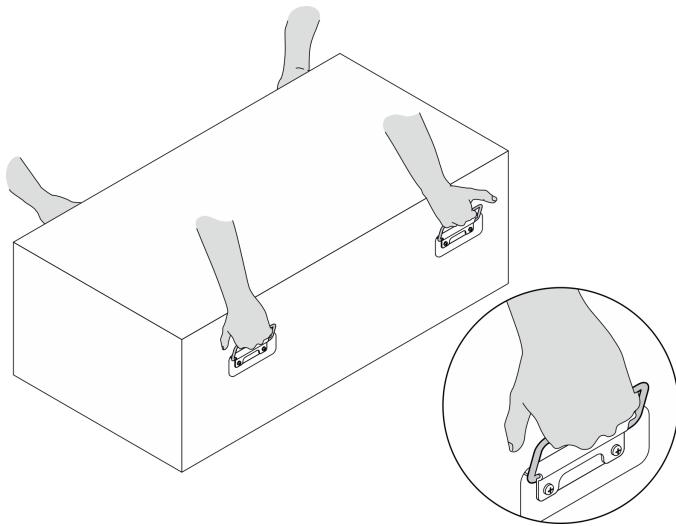
図292. システム・シャトルを停止位置まで引く

ステップ2. システム・シャトルをシャーシから取り外します。

- ① シャトルを少し持ち上げてから、両側にあるロック・ラッチを引き上げます。
- ② シャトルをシャーシから取り外します。

注意：

- システム・シャトルの両側にある4つのハンドルを持って、必ず2人でシャトルを持ち上げてください。次に、シャトルをリフト・デバイスでスライドさせてシャトルを動かします。



- システム・シャトルをシャーシから完全に取り外した状態では、リリース・レバーを損傷しないよう注意してください。

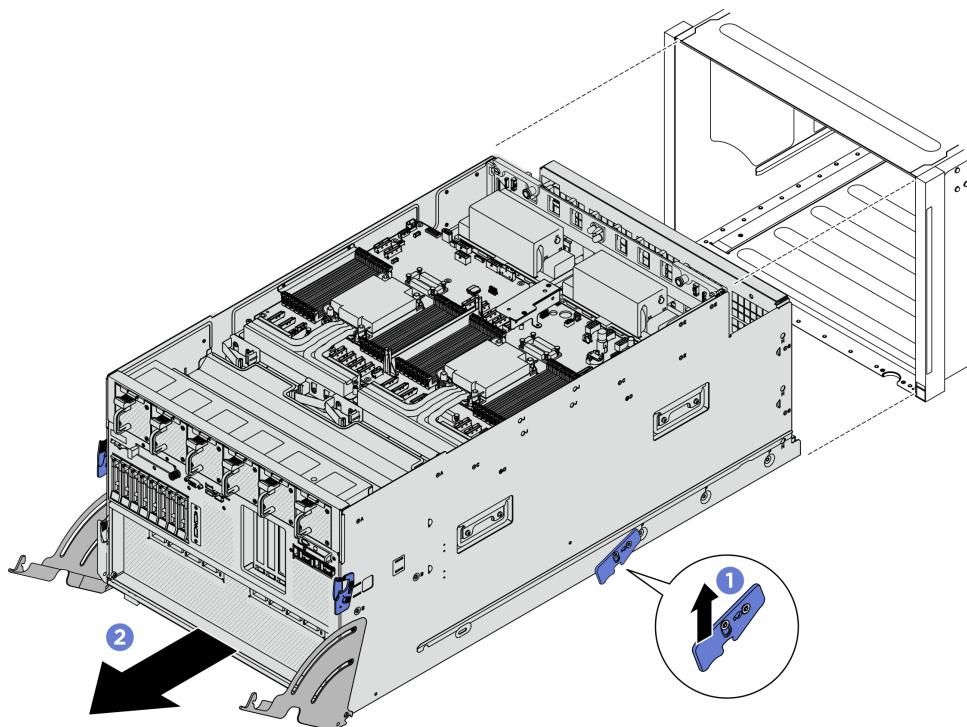


図293. システム・シャトルの取り外し

完了したら

コンポーネントまたはオプション装置を返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従ってください。また、提供された配送料用の梱包材がある場合はそれを使用してください。

システム・シャトルの取り付け

システム・シャトルを取り付けるには、このセクションの説明に従ってください。この手順は、トレーニングを受けた技術者が行う必要があります。

このタスクについて

S037



警告 :

この部品または装置の重量は 55 kg (121.2 ポンド) 以上です。この部品または装置を安全に持ち上げるには、特別に訓練を受けた人員またはリフト装置 (あるいはその両方) が必要です。

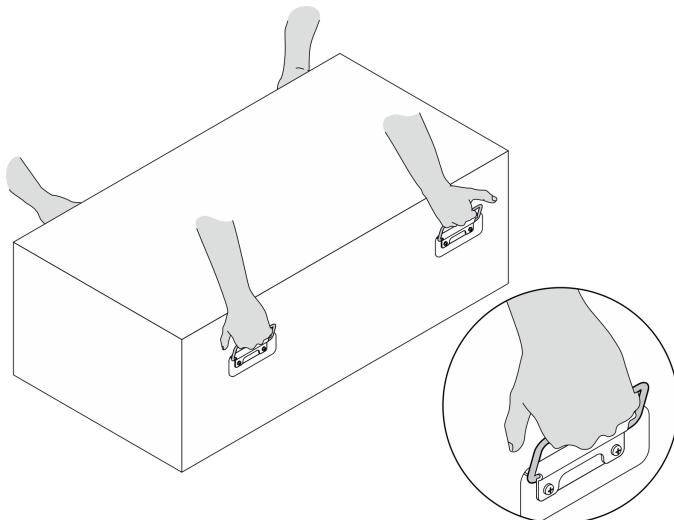
注意 :

- 安全に作業を行うために、1 ページの「取り付けのガイドライン」および 2 ページの「安全検査のチェックリスト」をお読みください。
- すべてのケーブル、アダプターおよび他のコンポーネントが正しく取り付けられ、固定されているかおよびサーバー内のツールまたは部品が緩んでいないかチェックしてください。
- すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。309 ページの 第 2 章「内部ケーブルの配線」を参照してください。
- この手順は 2 人で実行する必要があります。また、最大 400 ポンド (181kg) を支えることができるリフト・デバイス 1 台が必要です。リフト・デバイスをお持ちでない場合は、Lenovo が提供する Genie Lift GL-8 material lift をご利用ください。Data Center Solution Configurator: <https://dsc.lenovo.com/#/configuration/cto/7D5YCTO1WW?hardwareType=lifttool> からご購入いただけます。Genie Lift GL-8 material lift を注文される際は、フットリリース・ブレーキとロード・プラットフォームが含まれていることを確認してください。

手順

注意 :

- システム・シャトルの両側にある 4 つのハンドルを持って、必ず 2 人でシャトルを持ち上げてください。次に、シャトルをリフト・デバイスでスライドさせてシャトルを動かします。



- システム・シャトルをシャーシから完全に取り外した状態では、リリース・レバーを損傷しないよう注意してください。

ステップ 1. システム・シャトルをシャーシ前面の開口部に合わせ、停止位置でカチッと音がするまでシャーシに挿入します。

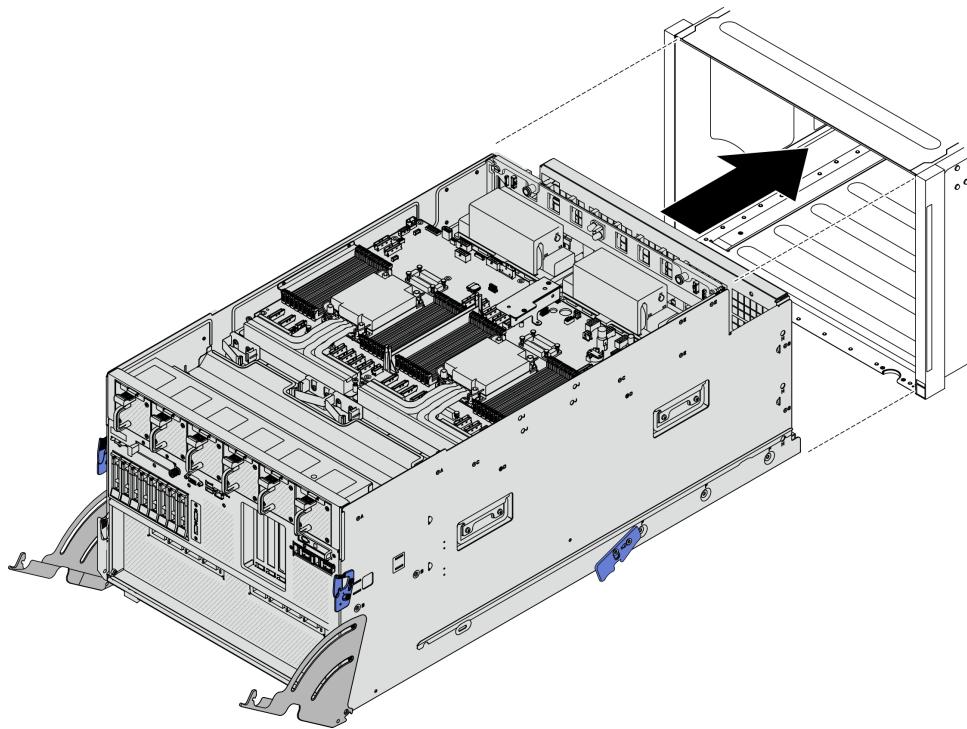


図294. システム・シャトルを停止位置まで押す

ステップ2. システム・シャトルをシャーシに完全に押し込みます。

- a. ① シャトルをシャーシに少し押し込み、シャトルの両側にある2個のロック・ラッチを持ち上げます。
- b. ② シャトルをシャーシにスライドさせます。
- c. ③ シャトルをシャーシに完全に押し込みます。
- d. ④ 2つのリリース・レバーを所定の位置にロックされるまで回転させます。

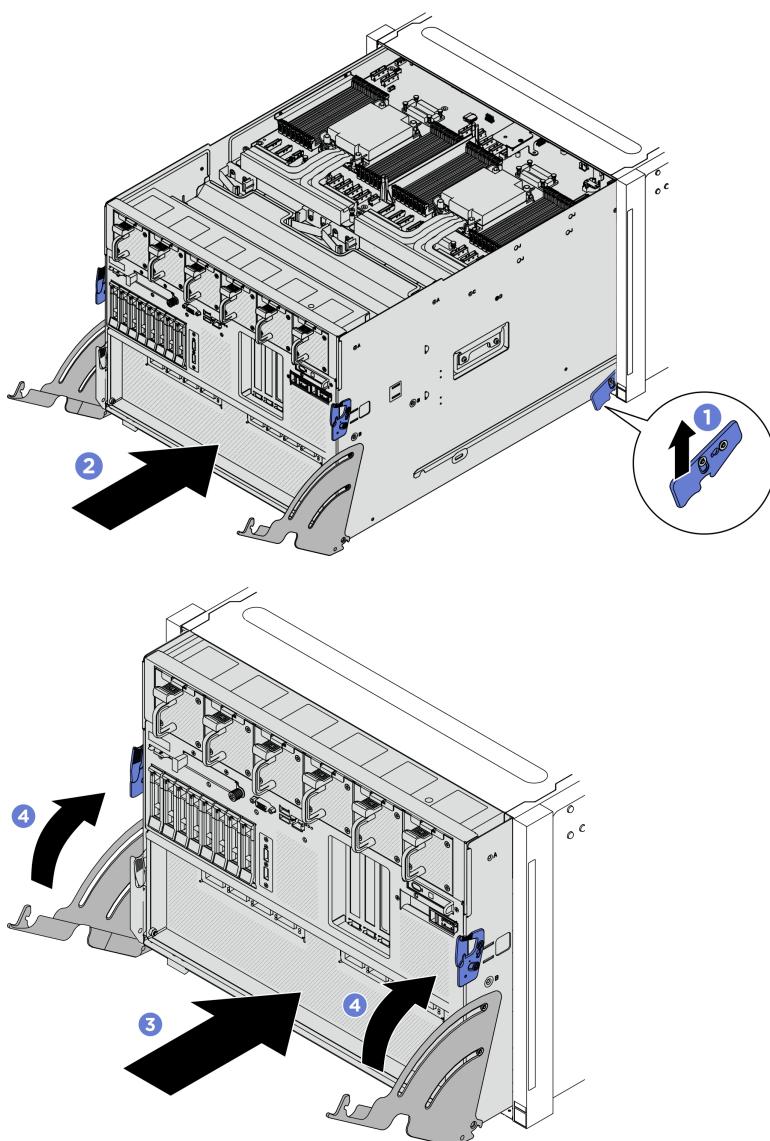


図 295. システム・シャトルの取り付け

完了したら

部品交換を完了します。306 ページの「[部品交換の完了](#)」を参照してください。

部品交換の完了

チェックリストを見ながら、部品交換を完了します。

部品交換を完了させるには、以下を行います。

- すべての構成部品が正しく再配置されており、サーバーの内部に工具が残されていたり、ねじが緩んだままになっていないことを確認します。
- 該当する場合は、サーバーのケーブルを正しく配線し、固定します。各コンポーネントのケーブルの接続と配線情報を参照してください。
- 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

4. サーバーおよび周辺機器の電源をオンにします。[9 ページの「サーバーの電源をオンにする」](#) を参照してください。
5. サーバー構成を更新します。
 - <http://datacentersupport.lenovo.com> から、最新のデバイス・ドライバーをダウンロードしてインストールします。
 - システム・ファームウェアを更新します。「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。
 - UEFI 構成を更新します。<https://pubs.lenovo.com/uefi-overview/> を参照してください。
 - ホット・スワップ・ドライブを取り付けまたは取り外した場合は、ディスク・アレイを再構成します。<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> で、ご使用のサーバーと互換性のある LXPM に関する資料を参照してください。

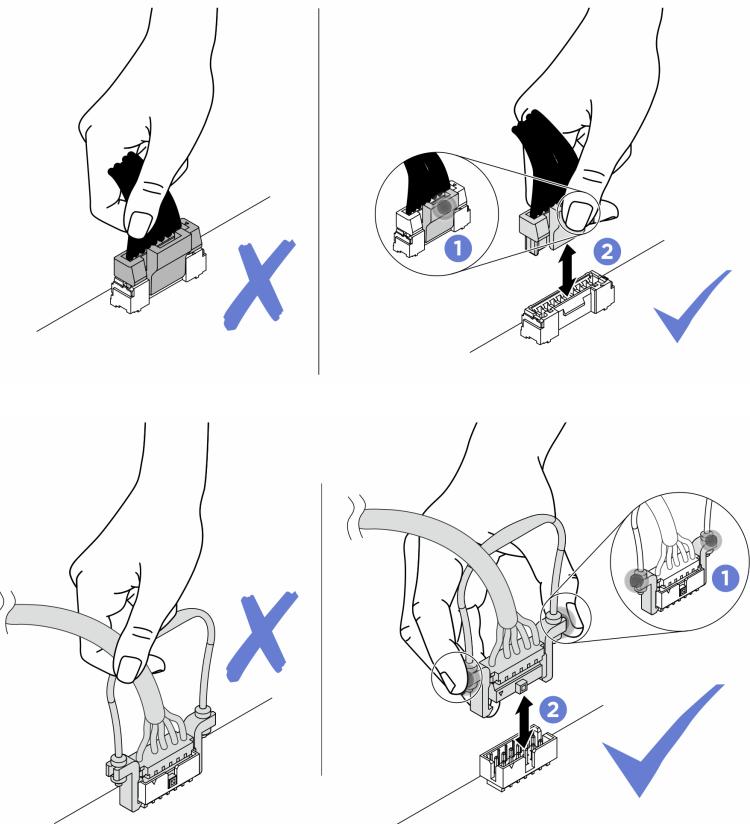
第2章 内部ケーブルの配線

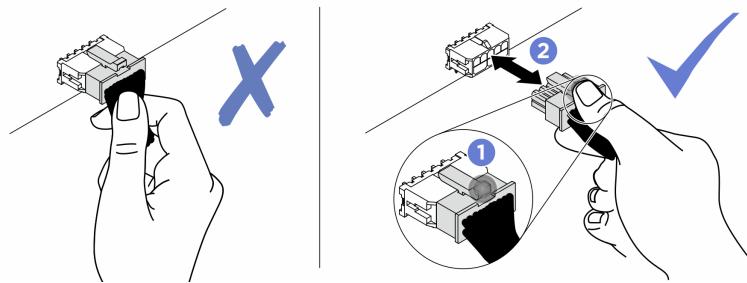
このセクションでは、特定のコンポーネントの内部ケーブル配線について説明します。

注意：システム・ボード上のケーブル・ソケットの損傷を避けるため、以下の指示を厳守してください。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- ケーブル・コネクターは、対応するケーブル・ソケットの向きに合わせて垂直または水平に接続し、傾けないようにしてください。
- システム・ボードからケーブルを取り外すには、次のようにします。
 - ケーブル・コネクターのすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを押したまま、ケーブル・コネクターを外します。
 - ケーブル・コネクターは、対応するケーブル・ソケットの向きに合わせて垂直または水平に外し、傾きを避けます。

注：ケーブル・コネクターの外観は図と異なる場合がありますが、取り外し手順は同じです。





コネクターの識別

電気ボードのコネクターを取り付け、識別するには、このセクションを参照してください。

ドライブ・バックプレーン・コネクター

ドライブ・バックプレーンのコネクターの位置を確認するには、このセクションを参照してください。

- 310 ページの 「8 x 2.5 インチ NVMe バックプレーン」
- 311 ページの 「M.2 バックプレーン」

8 x 2.5 インチ NVMe バックプレーン

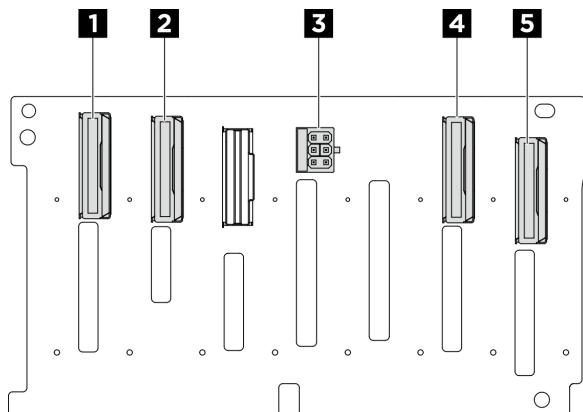


図296. 8 x 2.5 インチ NVMe バックプレーン・コネクター

1 NVMe コネクター 6 ~ 7	2 NVMe コネクター 4 ~ 5
3 電源コネクター	4 NVMe コネクター 2 ~ 3
5 NVMe コネクター 0 ~ 1	

M.2 バックプレーン

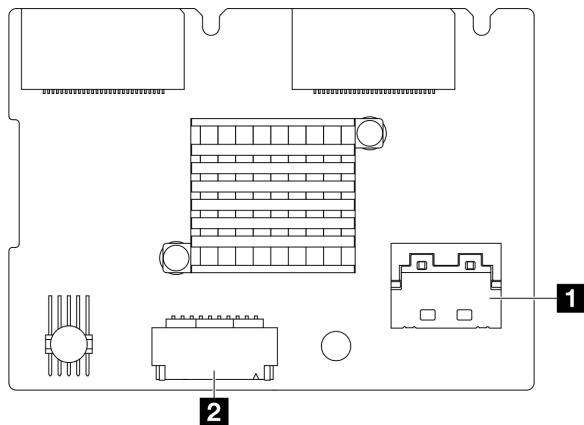


図297. M.2 バックプレーン・コネクター

1 信号コネクター

2 電源コネクター

ファン制御ボード・コネクター

ファン制御ボード上のコネクターの場所を確認するには、このセクションを参照してください。

- 311 ページの 「前面ファン制御ボード」
- 311 ページの 「背面ファン制御ボード」

前面ファン制御ボード



図298. 前面ファン制御ボード・コネクター

1 電源コネクター

背面ファン制御ボード

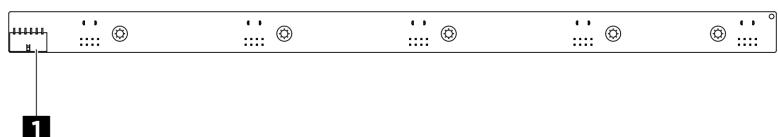


図299. 背面ファン制御ボード・コネクター

1 電源コネクター

GPU ベースボード・コネクター

GPU ベースボード上のコネクターの位置を確認するには、このセクションを参照してください。

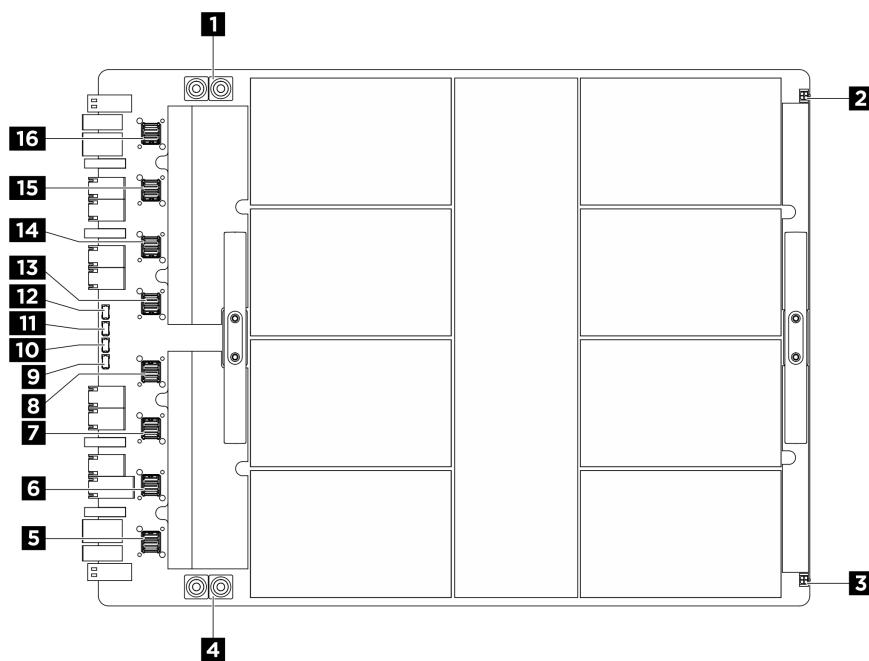


図 300. GPU ベースボード・コネクター

1 左電源コネクター	2 OSFP カード 1 の電源コネクター
3 OSFP カード 2 の電源コネクター	4 右電源コネクター
5 UltraPass コネクター 2	6 UltraPass コネクター 4
7 UltraPass コネクター 3	8 UltraPass コネクター 1
9 側波帶コネクター 1	10 側波帶コネクター 2
11 側波帶コネクター 3	12 側波帶コネクター 4
13 UltraPass コネクター 8	14 UltraPass コネクター 6
15 UltraPass コネクター 5	16 UltraPass コネクター 7

OCP 変換コネクター・カード・コネクター

OCP 変換コネクター・カードのコネクターの位置を確認するには、このセクションを参照してください。

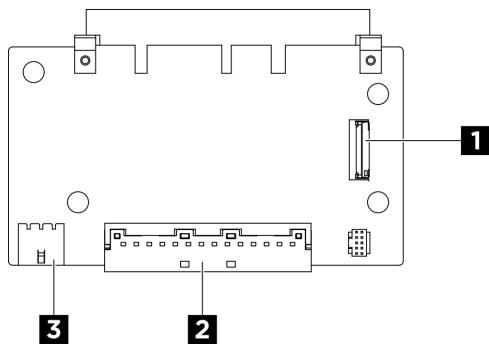


図301. OCP 変換コネクター・カード・コネクター

1 NC-SI (Network Controller Sideband Interface) コネクター	2 MCIO コネクター
3 電源コネクター	

OSFP カード・ケーブル・コネクター

OSFP カード上のケーブルとコネクターの位置を確認するには、このセクションをご覧ください。

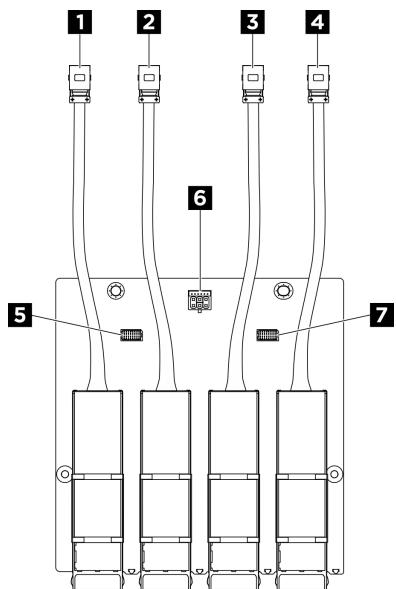


図302. OSFP カード・ケーブル・コネクター

1 UltraPass ケーブル 7/1	2 UltraPass ケーブル 5/3
3 UltraPass ケーブル 6/4	4 UltraPass ケーブル 8/2
5 側波帶コネクター 4/2	6 電源コネクター
7 側波帶コネクター 3/1	

PCIe スイッチ・ボード・コネクター

PCIe スイッチ・ボード上のコネクターの位置を確認するには、このセクションを参照してください。

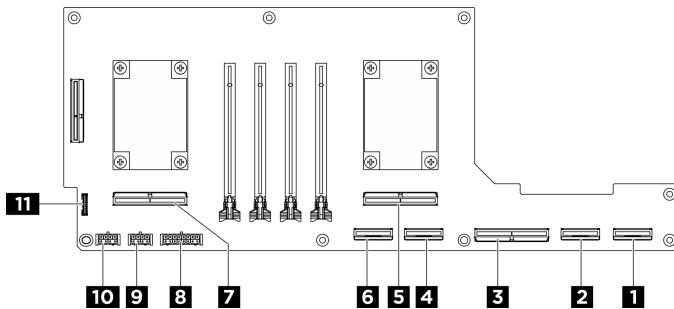


図303. PCIe スイッチ・ボード・コネクター

1 NVMe コネクター 0-1	2 NVMe コネクター 2-3
3 MCIO コネクター I	4 NVMe コネクター 4-5
5 MCIO コネクター J	6 NVMe コネクター 6-7
7 MCIO コネクター K	8 電源コネクター
9 PCIe アダプターの電源コネクター 1	10 PCIe アダプターの電源コネクター 2
11 側波帶コネクター	

分電盤コネクター

分電盤のコネクターを取り付けるには、このセクションを参照してください。

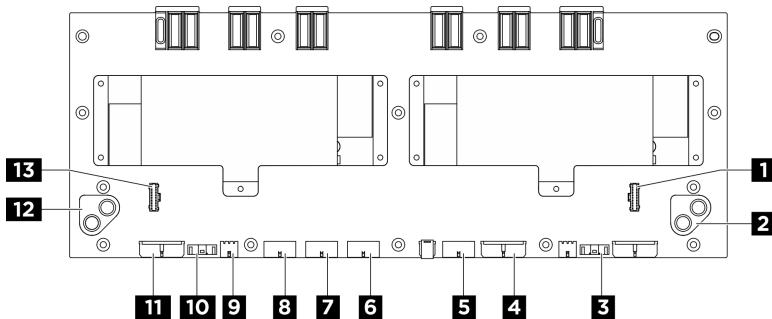


図304. 分電盤コネクター

1 PSU 変換コネクターの側波帶コネクター 2	2 GPU ベースボードの電源コネクター 2
3 リタイマー・ボードの側波帶コネクター 2	4 PCIe スイッチ・ボードの電源コネクター
5 前面ファン制御ボード・コネクター	6 背面下部ファン制御ボードの電源コネクター
7 背面中央ファン制御ボードの電源コネクター	8 背面上部ファン制御ボードの電源コネクター
9 バックプレーン 1 の電源コネクター	10 リタイマー・ボードの側波帶コネクター 1
11 リタイマー・ボードの電源コネクター	12 GPU ベースボードの電源コネクター 1
13 PSU 変換コネクターの側波帶コネクター 1	

PSU 変換コネクター・コネクター

PSU インターボーナー上のコネクターの位置を確認するには、このセクションを参照してください。

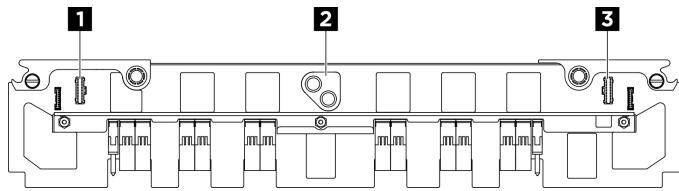


図305. PSU 変換コネクター・コネクター

1 分電盤の側波帶コネクター 1	2 システム・ボードの電源コネクター
3 分電盤の側波帶コネクター 2	

リタイマー・ボード・コネクター

リタイマー・ボードのコネクターの位置を確認するには、このセクションを参照してください。

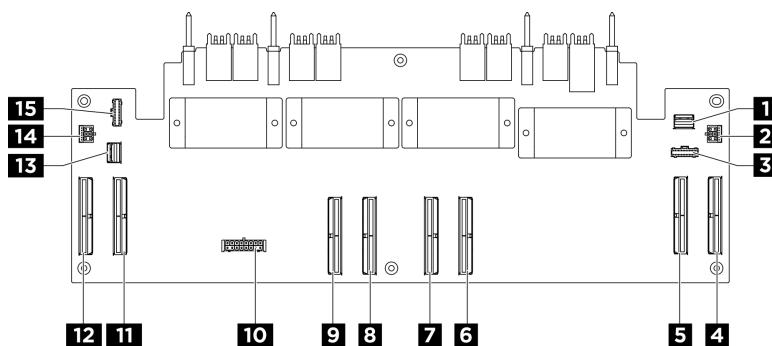


図306. リタイマー・ボード・コネクター

1 EP 管理コネクター 2	2 OSFP カード 2 の電源コネクター
3 側波帶コネクター 2	4 MCIO コネクター H
5 MCIO コネクター G	6 MCIO コネクター F
7 MCIO コネクター E	8 MCIO コネクター D
9 MCIO コネクター C	10 電源コネクター
11 MCIO コネクター B	12 MCIO コネクター A
13 EP 管理コネクター 1	14 OSFP カード 1 の電源コネクター
15 側波帶コネクター 1	

ケーブル配線用のシステム・ボード・コネクター

以下の図は、内部ケーブルの配線に使用するシステム・ボード上の内部コネクターを示しています。

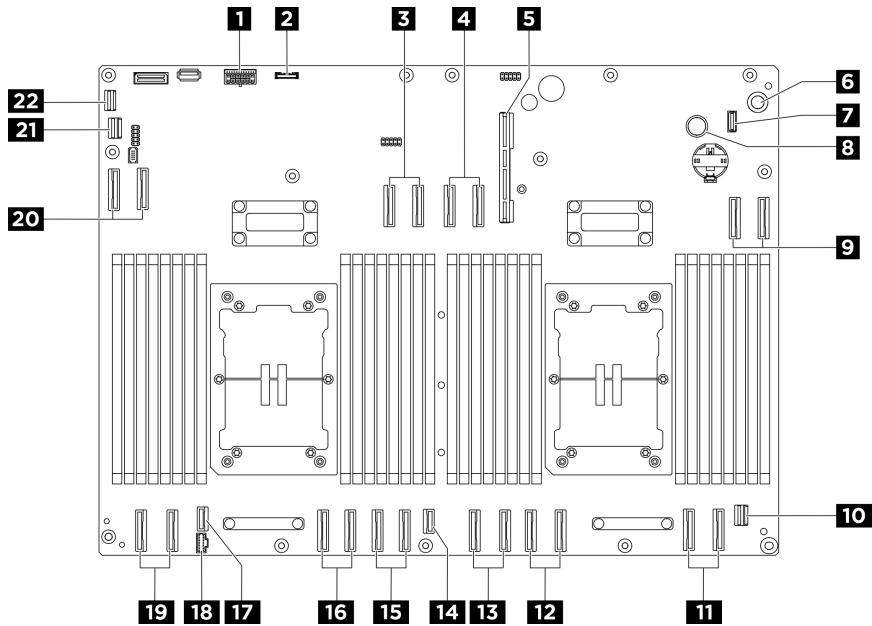


図307. システム・ボード・コネクター

表 7. システム・ボード・コネクター

1 OCP 変換コネクター・カードの電源コネクター	2 PCIe スイッチ・ボードの側波帶コネクター
3 MCIO コネクター 4A/4B	4 MCIO コネクター 8A/8B
5 システム I/O ボード・コネクター (DC-SCM)	6 12V (+) コネクター
7 内蔵診断パネル (前面 I/O) コネクター	8 接地 (-) コネクター
9 MCIO コネクター 7A/7B	10 EP 管理コネクター 2
11 MCIO コネクター 6A/6B	12 MCIO コネクター 5A/5B
13 MCIO コネクター 10A/10B	14 SPI/eSPI コネクター
15 MCIO コネクター 3A/3B	16 MCIO コネクター 2A/2B
17 M.2 信号コネクター	18 M.2 電源コネクター
19 MCIO コネクター 1A/1B	20 MCIO コネクター 9A/9B
21 EP 管理コネクター 1	22 USB アセンブリー (前面パネル I/O) コネクター

システム I/O ボード・コネクター

次の図で、システム I/O ボード上の内部コネクターを示します。

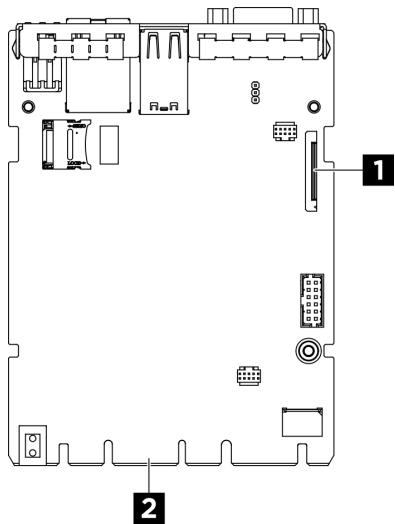


図 308. システム I/O ボード・コネクター

表 8. システム I/O ボード・コネクター

1 2つ目の Lenovo XClarity Controller 管理コネクター	2 システム・ボード・コネクター
--	-------------------------

2.5 インチ ドライブ・バックプレーンのケーブル配線

このセクションでは、2.5 インチ ドライブ・バックプレーンのケーブル配線について説明します。

注：

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

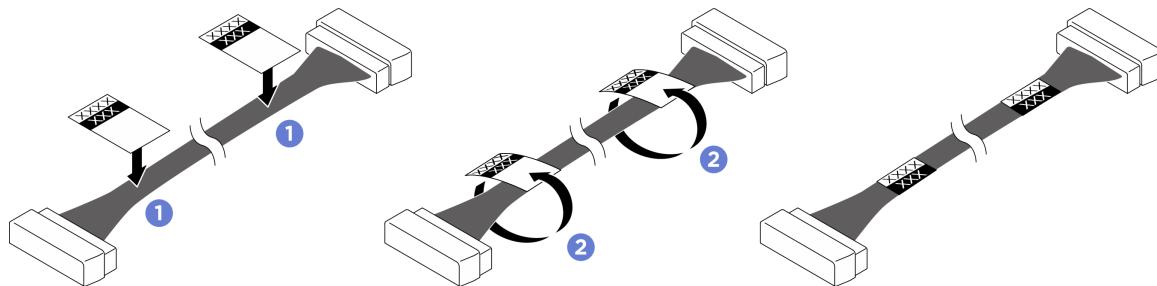


図 309. ラベルの貼り付け

- 電源ケーブルはコンピュート・トレイの下に配線してください(下図を参照)。
- ケーブル・ホルダーとスponジを通して電源ケーブルを配線してください(下図を参照)。

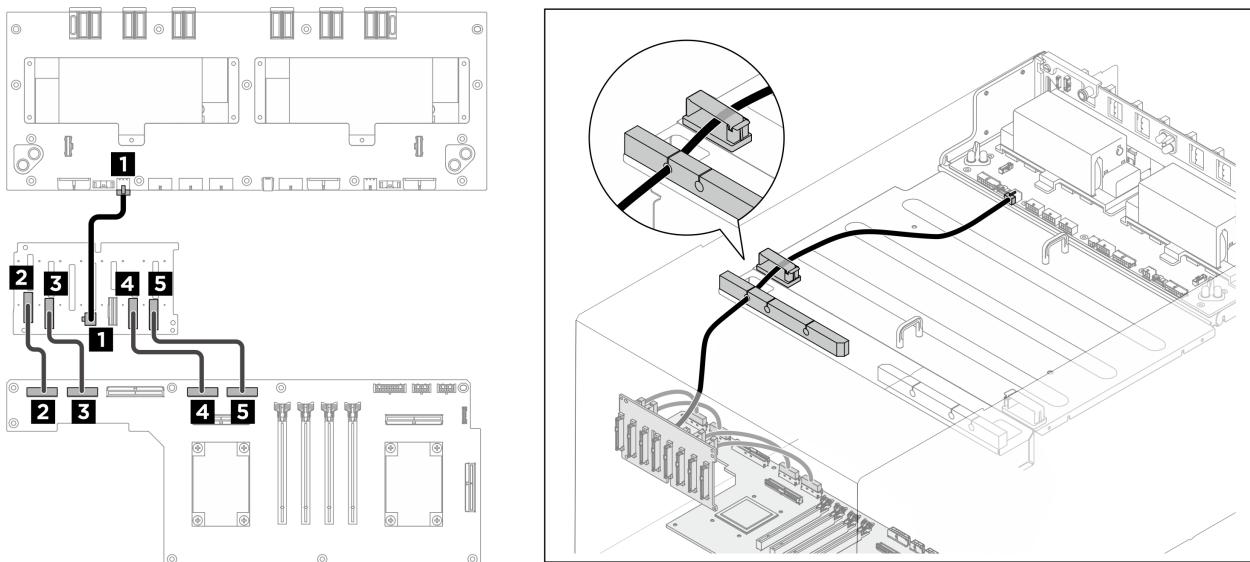


図310. バックプレーン 1 のケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 バックプレーン: 電源コネクター	1 分電盤: バックプレーン 1 の電源コネクター	NVMe PWR BP 1
2 バックプレーン: NVMe コネクター 0-1	2 PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 0-1	NVMe 0-1 NVMe 0-1
3 バックプレーン: NVMe コネクター 2-3	3 PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 2-3	NVMe 2-3 NVMe 2-3
4 バックプレーン: NVMe コネクター 4-5	4 PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 4-5	NVMe 4-5 NVMe 4-5
5 バックプレーン: NVMe コネクター 6-7	5 PCIe スイッチ・ボード: NVMe コネクター 6-7	NVMe 6-7 NVMe 6-7

DPU アダプターの電源ケーブル配線

このセクションでは、DPU アダプターの電源ケーブルの配線について説明します。

- 319 ページの 「BlueField-3 B3220」
- 320 ページの 「BlueField-3 B3240」

BlueField-3 B3220

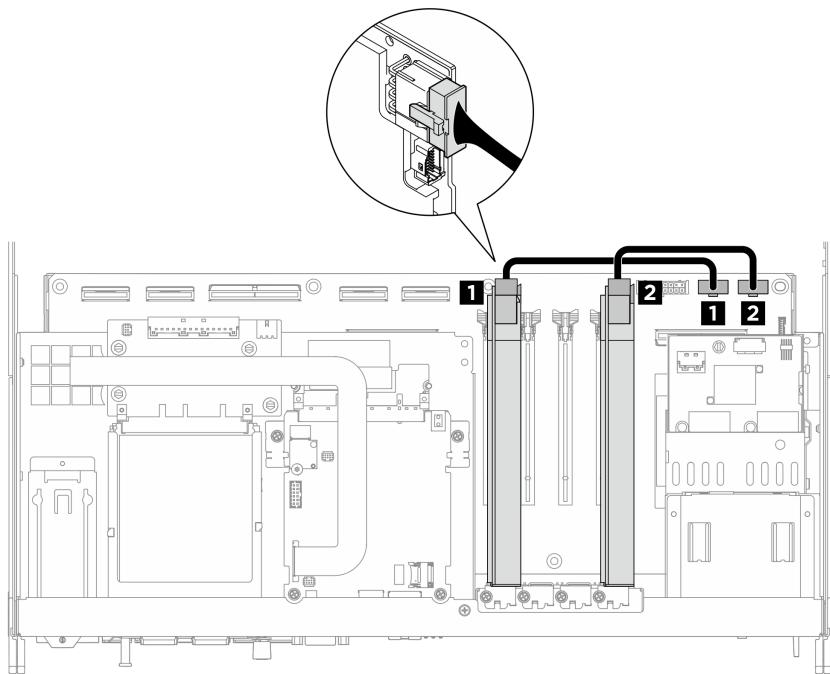


図311. DPU アダプターの電源ケーブル配線

始点	終点
1 PCIe スロット 2 に取り付けた DPU アダプター: 電源コネクター	1 PCIe スイッチ・ボード: PCIe アダプターの電源コネクター 1
2 PCIe スロット 5 に取り付けた DPU アダプター: 電源コネクター	2 PCIe スイッチ・ボード: PCIe アダプターの電源コネクター 2

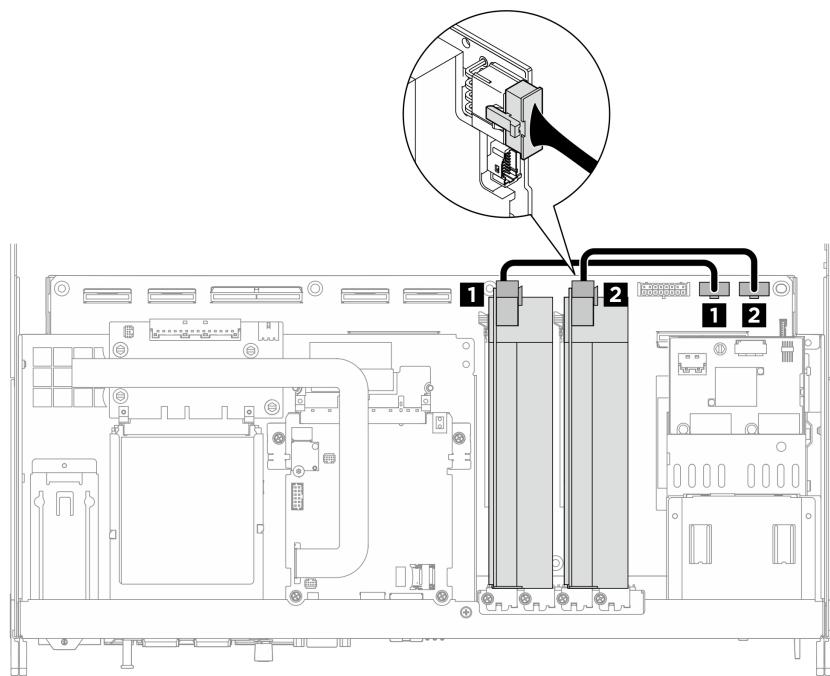


図 312. DPU アダプターの電源ケーブル配線

始点	終点
① PCIe スロット 2 に取り付けた DPU アダプター: 電源コネクター	① PCIe スイッチ・ボード: PCIe アダプターの電源コネクター 1
② PCIe スロット 4 に取り付けた DPU アダプター: 電源コネクター	② PCIe スイッチ・ボード: PCIe アダプターの電源コネクター 2

ファン制御ボードのケーブル配線

このセクションでは、前面および背面のファン制御ボードのケーブル配線について説明します。

注：必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。

1. ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
2. ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
3. 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

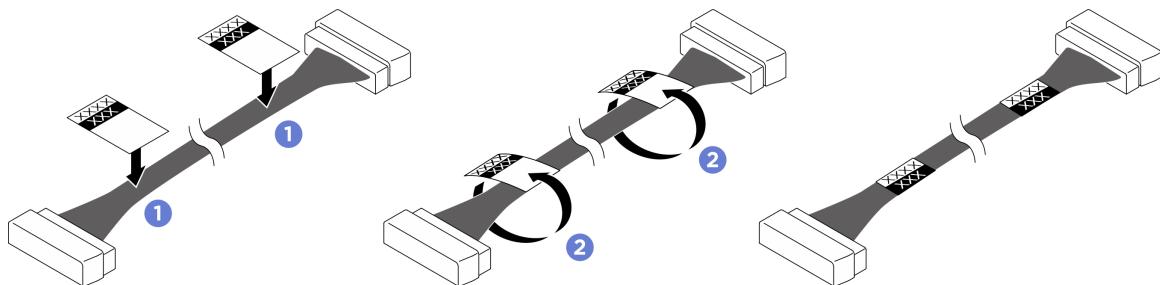


図313. ラベルの貼り付け

ファン制御ボードの位置に基づいて、対応する配線計画を選択します。

- 321 ページの 「前面ファン制御ボード」
- 322 ページの 「背面上部ファン制御ボード」
- 322 ページの 「背面中央ファン制御ボード」
- 323 ページの 「背面下部ファン制御ボード」

前面ファン制御ボード

注：

- ケーブルはコンピュート・トレイの下に配線してください(下図を参照)。
- ケーブル・ホルダーとスponジを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。

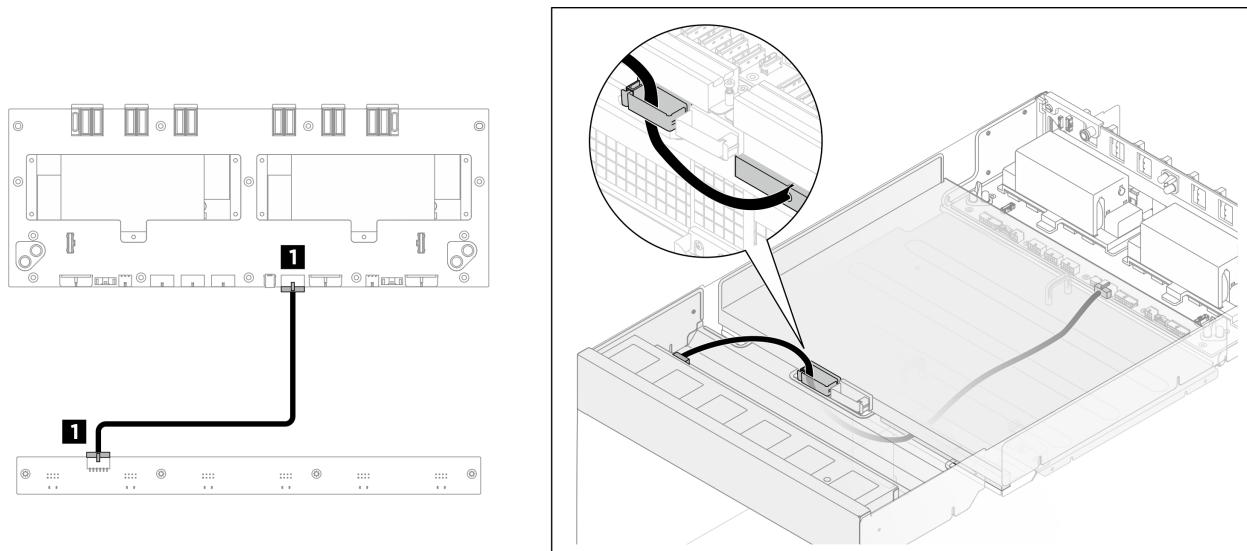


図314. 前面ファン制御ボードのケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 前面ファン制御ボード: 電源コネクター	1 分電盤: 前面ファン制御ボードの電源コネクター	F-FAN PWR F-FAN

背面上部ファン制御ボード

注：ケーブル・ガイドに沿わせてケーブルを配線してください(下図を参照)。

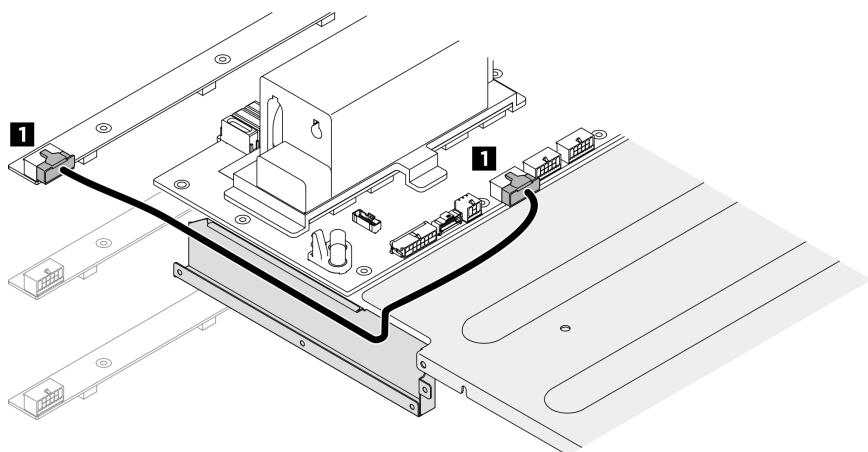


図315. 背面上部 ファン制御ボードのケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 背面上部ファン制御ボード: 電源コネクター	1 分電盤: 背面上部ファン制御ボードの電源コネクター	R-FAN PWR TOP R-FAN TOP

背面中央ファン制御ボード

注：ケーブル・ガイドに沿わせてケーブルを配線してください(下図を参照)。

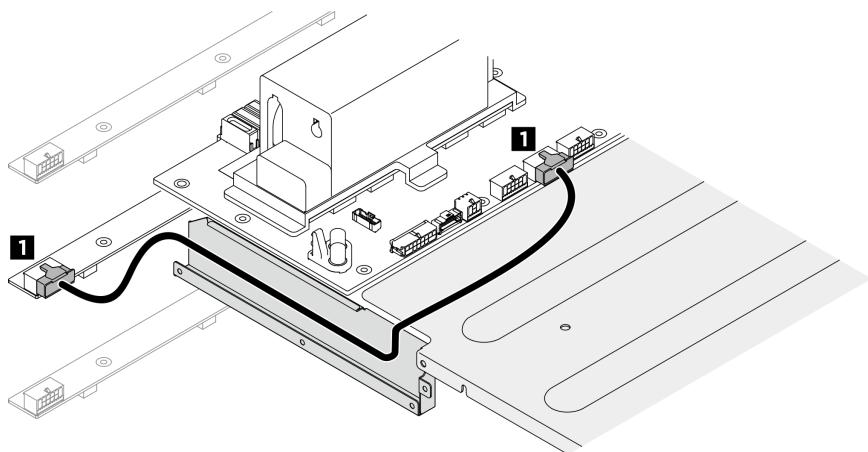


図316. 背面 中央ファン制御ボードのケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 背面中央ファン制御ボード: 電源コネクター	1 分電盤: 背面中央ファン制御ボードの電源コネクター	R-FAN PWR MID R-FAN MID

背面下部ファン制御ボード

注：ケーブル・ガイドに沿わせてケーブルを配線してください(下図を参照)。

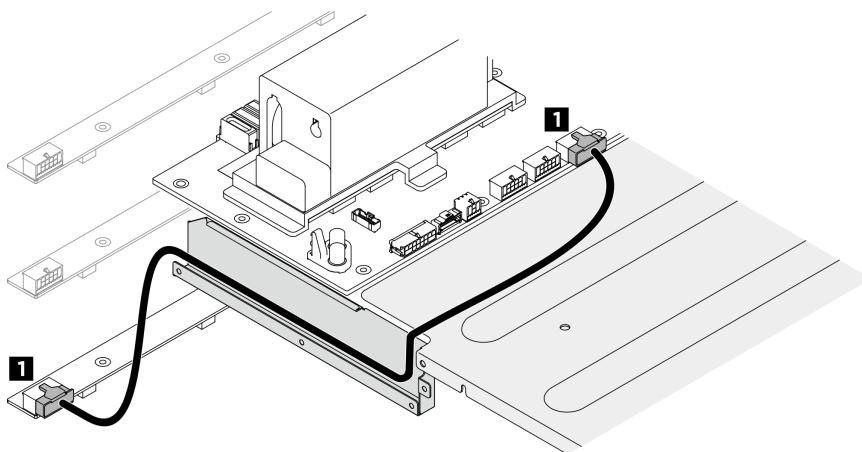


図317. 背面下部ファン制御ボードのケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 背面下部ファン制御ボード: 電源コネクター	1 分電盤: 背面下部ファン制御ボードの電源コネクター	R-FAN PWR BOT R-FAN BOT

GPUベースボードのケーブル配線

GPUベースボードのケーブル配線について理解するには、このセクションを使用してください。

プラインド・メイト - メス側

注：以下に示すように、ケーブルをケーブル・ホルダーに配線します。

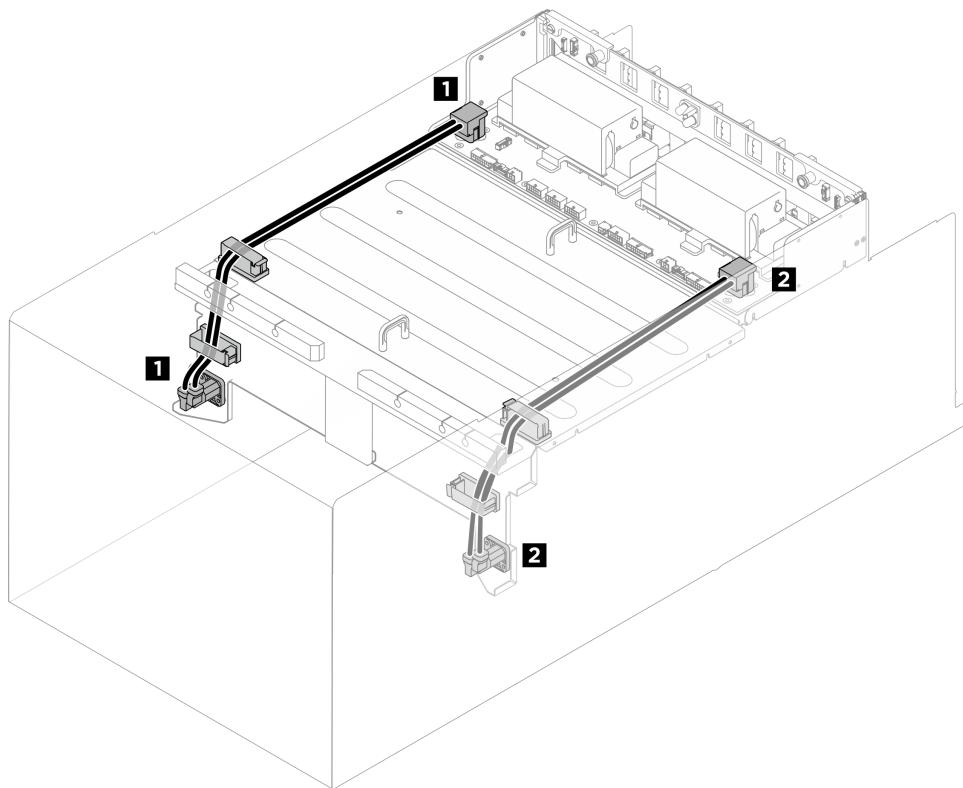


図318. GPU ベースボードのケーブル配線

始点	終点
1 左ブラインド・メイト	1 分電盤: GPU ベースボード電源コネクター 1
2 右ブラインド・メイト	2 分電盤: GPU ベースボード電源コネクター 2

ブラインド・メイト - オス側

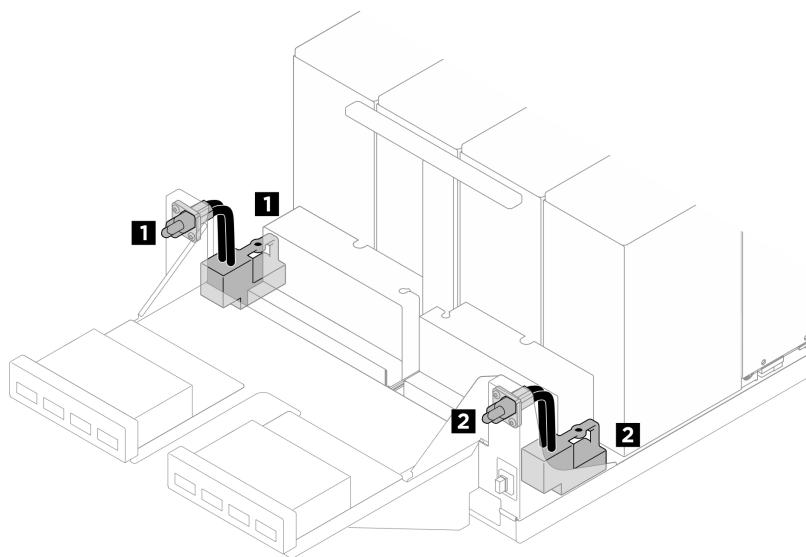


図319. GPU ベースボードのケーブル配線

始点	終点
① 左ブラインド・メイト	GPU ベースボード: 左電源コネクター
② 右ブラインド・メイト	GPU ベースボード: 右電源コネクター

内蔵診断パネルのケーブル配線

このセクションでは、内蔵診断パネルのケーブル配線について説明します。

注：

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼り付けます。
 - ① ラベルの空白部分を貼り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

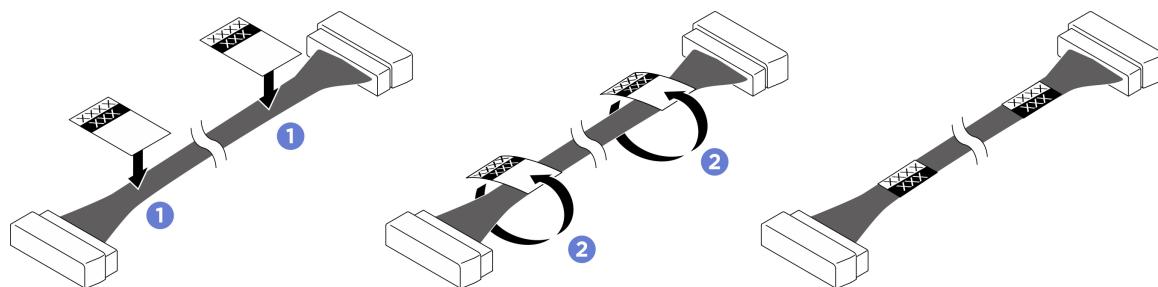


図320. ラベルの貼り付け

- システム・ボードの上にケーブルを配線してください(下図を参照)。

- ケーブル・ホルダーとケーブル・ガイドを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。

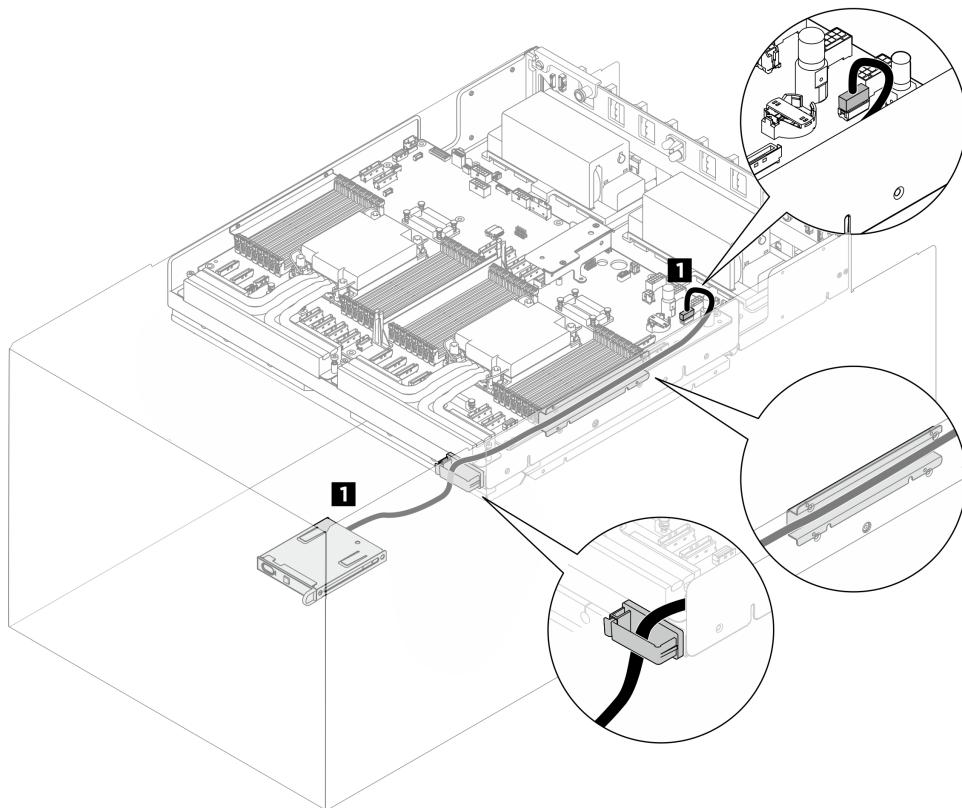


図321. 内蔵診断パネルのケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 内蔵診断パネル・ケーブル	1 システム・ボード: 内蔵診断パネル(前面 I/O) コネクター	PANEL FRONT IO 2

M.2 バックプレーンのケーブル配線

このセクションでは、M.2 バックプレーンのケーブル配線について説明します。

注：

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

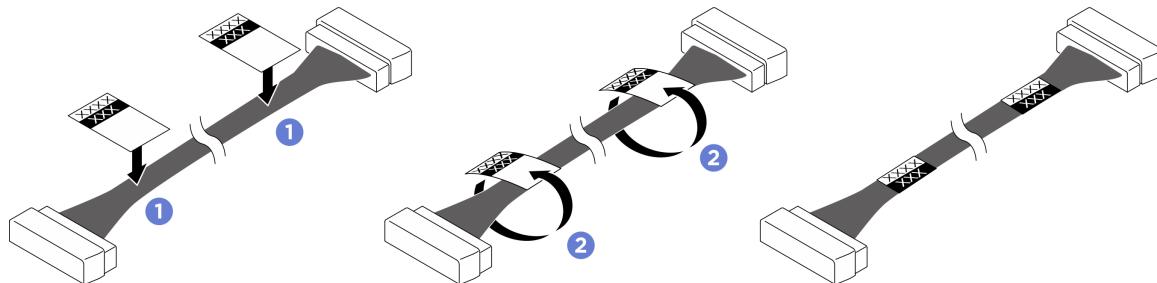


図 322. ラベルの貼り付け

- ケーブル・ホルダーを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。

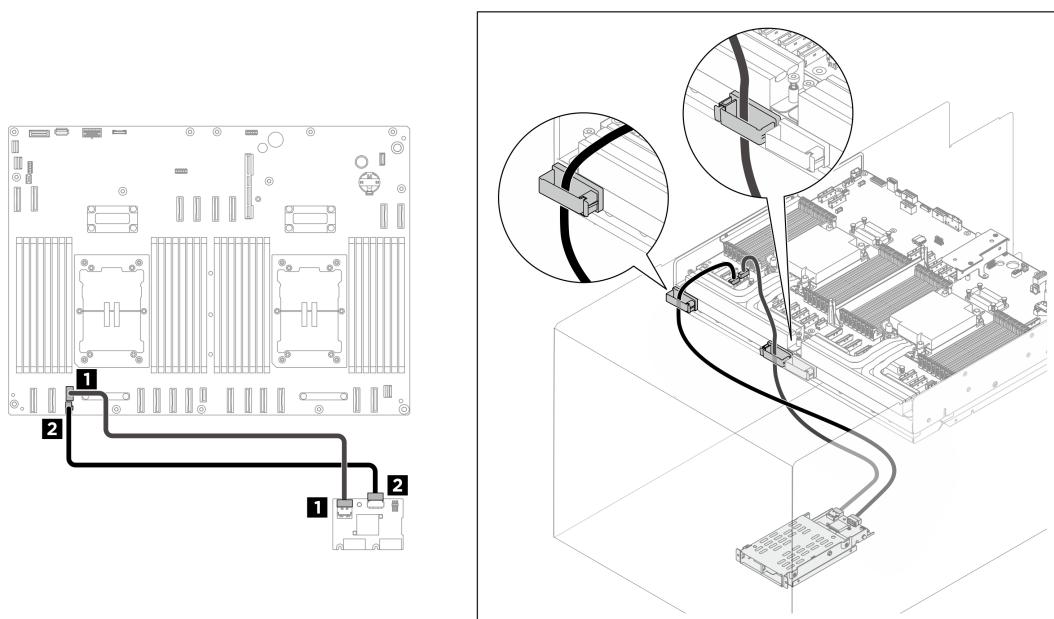


図 323. M.2 バックプレーンのケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 M.2 バックプレーン: 信号コネクター	1 システム・ボード: M.2 信号コネクター	M.2 SIGNAL
2 M.2 バックプレーン: 電源コネクター	2 システム・ボード: M.2 電源コネクター	M.2 PWR

OCP 変換コネクター・カードのケーブル配線

このセクションでは、OCP 変換コネクター・カードのケーブル配線について説明します。

- 328 ページの「電源ケーブルおよび信号ケーブルの配線」
- 329 ページの「NC-SI (Network Controller Sideband Interface) のケーブル配線」

電源ケーブルおよび信号ケーブルの配線

注：

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

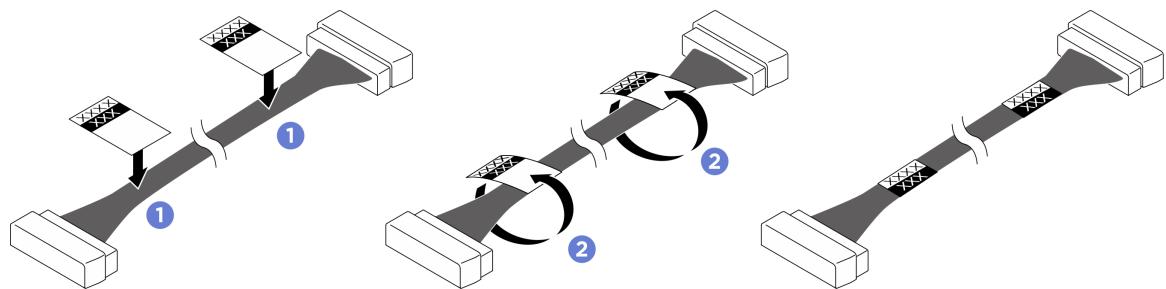


図324. ラベルの貼り付け

- 電源ケーブルはコンピュート・トレイの下に配線してください(下図を参照)。
- ケーブル・ホルダーとスponジを通して電源ケーブルを配線してください(下図を参照)。

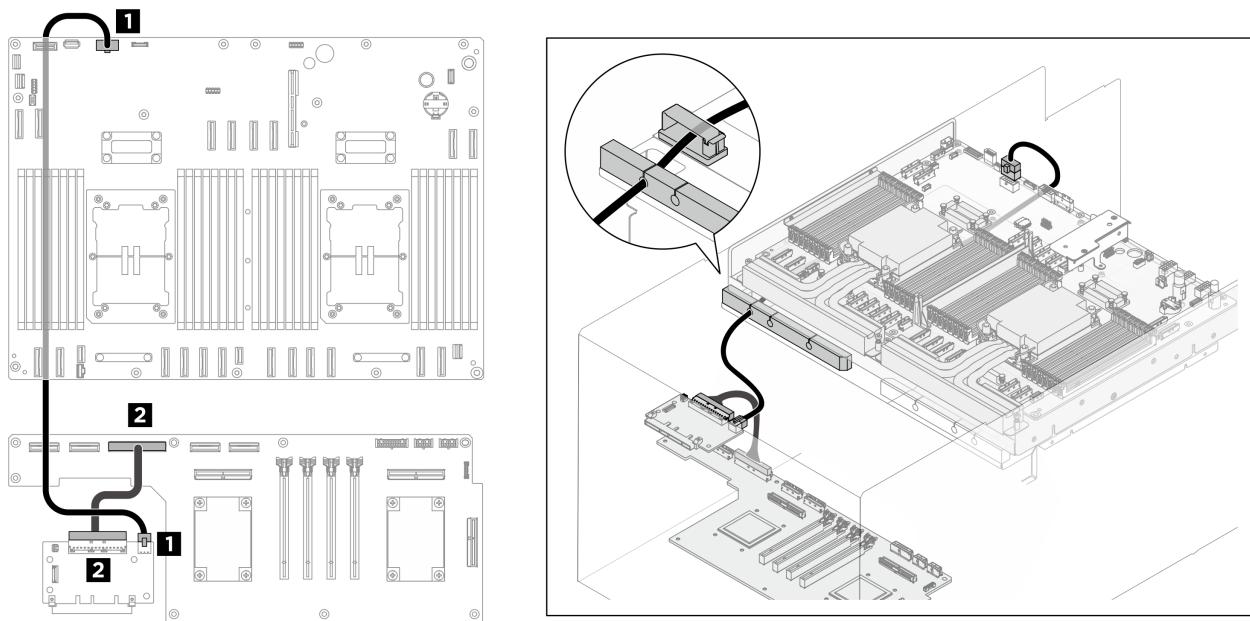


図325. 電源ケーブルおよび信号ケーブルの配線

始点	ラベル	終点	ラベル
1 OCP 変換コネクター・カード: 電源コネクター	OCP PWR 6P+6S	1 システム・ボード: OCP 変換コネクター・カードの電源コネクター	PWR OCP 12P+12S
2 OCP 変換コネクター・カード: MCIO コネクター	MCIO I OCP SIG	2 PCIe スイッチ・ボード: MCIO コネクター I	MCIO I OCP SIG

NC-SI (Network Controller Sideband Interface) のケーブル配線

注: FPC ケーブルを OCP 変換コネクター・カードとシステム I/O ボードに取り付ける具体的な手順については、179 ページの「OCP 変換コネクター・カードの取り付け」の手順 2 および 292 ページの「システム I/O ボードの取り付け」の手順 3 を参照してください。

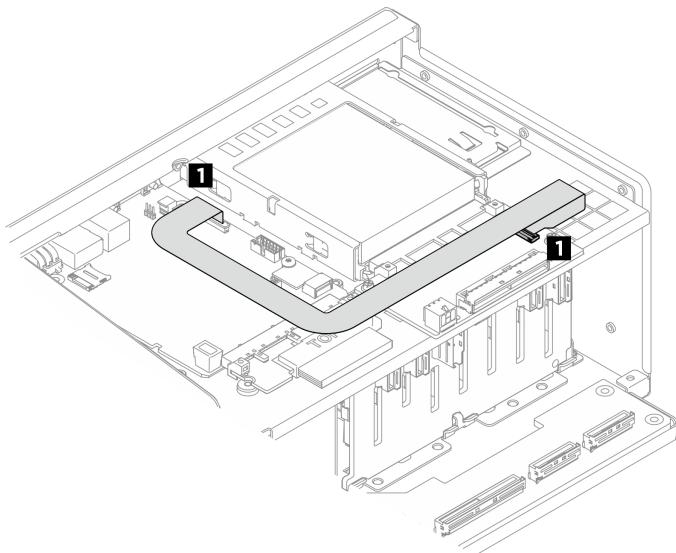


図 326. NC-SI (Network Controller Sideband Interface) のケーブル配線

始点	終点
1 OCP 変換コネクター・カード: NC-SI (Network Controller Sideband Interface) コネクター	1 システム I/O ボード: 2 つ目の Lenovo XClarity Controller 管理コネクター

OSFP カードのケーブル配線

OSFP カードのケーブル配線について理解するには、このセクションを使用します。

- 329 ページの「電源ケーブル配線」
- 331 ページの「側波帶ケーブル配線」
- 332 ページの「UltraPass ケーブル配線」

電源ケーブル配線

ライント・メイト - メス側

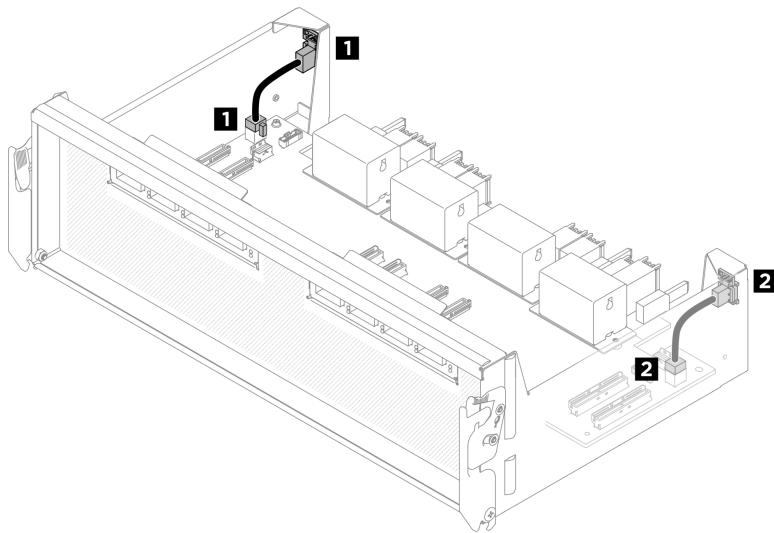


図327. 電源ケーブル配線

始点	終点
1 左ブラインド・メイト	1 リタイマー・ボード: OSFP カード 1 の電源コネクター
2 右ブラインド・メイト	2 リタイマー・ボード: OSFP カード 2 の電源コネクター

ブラインド・メイト - オス側

注：以下に示すように、ケーブルをケーブル・ホルダーに配線します。

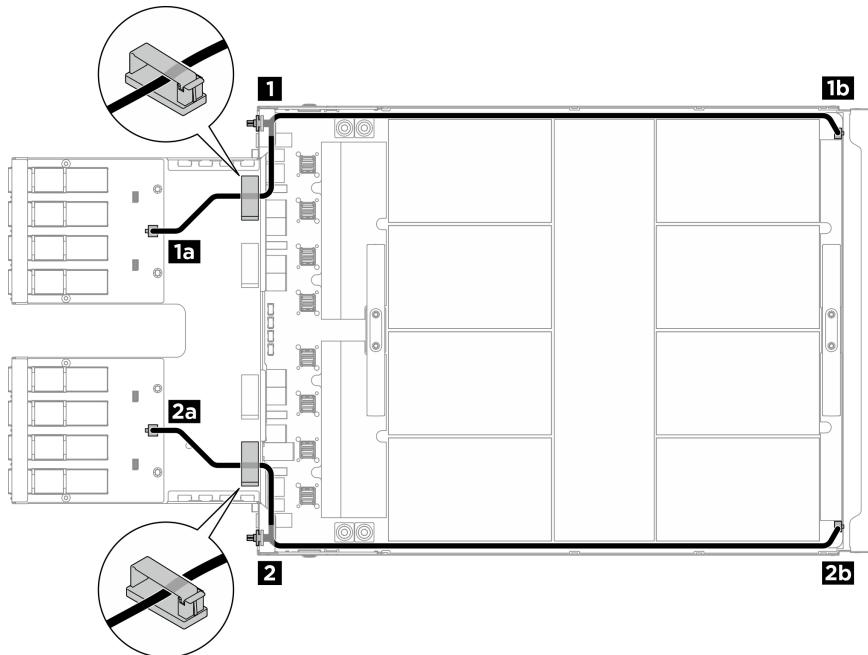


図328. 電源ケーブル配線

始点	終点
1 左ブラインド・メイト	1a OSFP カード 1(左): 電源コネクター 1b GPU ベースボード: OSFP カード 1 の電源コネクター
2 右ブラインド・メイト	2a OSFP カード 2(右): 電源コネクター 2b GPU ベースボード OSFP カード 2 の電源コネクター

側波帯ケーブル配線

注 :

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

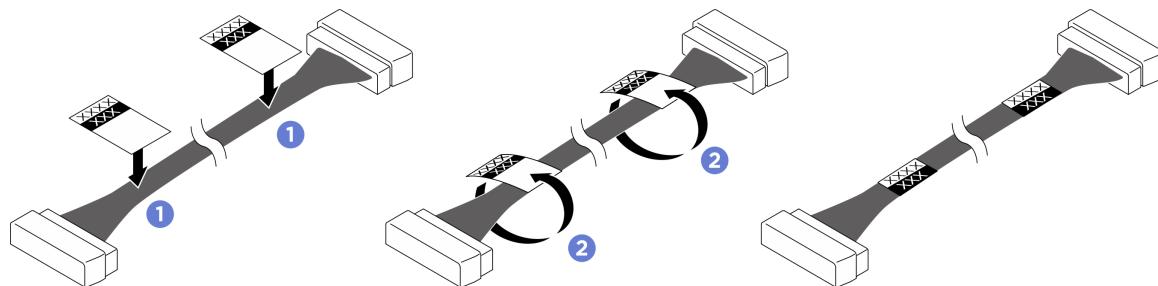


図 329. ラベルの貼り付け

- 以下に示すように、ケーブルをケーブル・ホルダーに配線します。

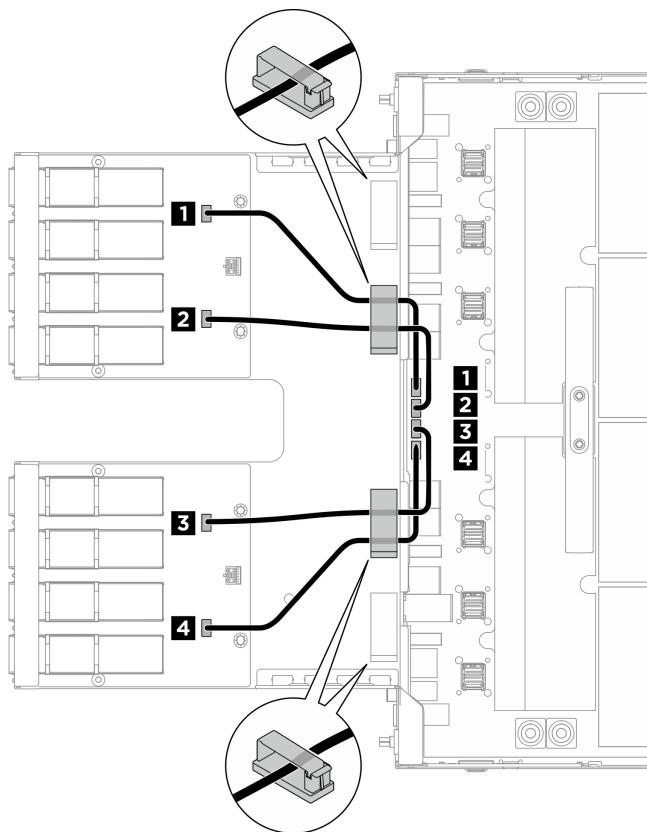


図 330. 側波帶ケーブル配線

始点	終点	ラベル
① OSFP カード 1(左): 側波帶コネクター 4/2	① GPU ベースボード: 側波帶コネクター 4	UBB SB 4/2 SB 4
② OSFP カード 1(左): 側波帶コネクター 3/1	② GPU ベースボード: 側波帶コネクター 3	UBB SB 3/1 SB 3
③ OSFP カード 2(右): 側波帶コネクター 4/2	③ GPU ベースボード: 側波帶コネクター 2	UBB SB 4/2 SB 2
④ OSFP カード 2(右): 側波帶コネクター 3/1	④ GPU ベースボード: 側波帶コネクター 1	UBB SB 3/1 SB 1

UltraPass ケーブル配線

注：

- 必要に応じて、GPU ベースボードに接続するケーブルの端にラベルを貼り付けます。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。

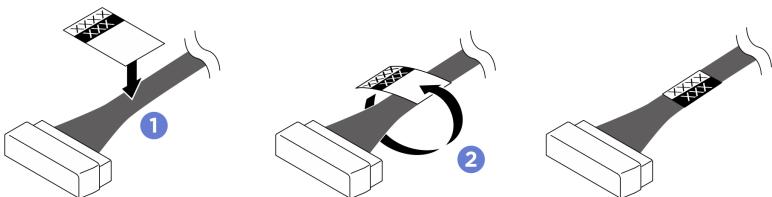


図331. ラベルの貼り付け

- 以下に示すように、ケーブルをケーブル・ホルダーに配線します。

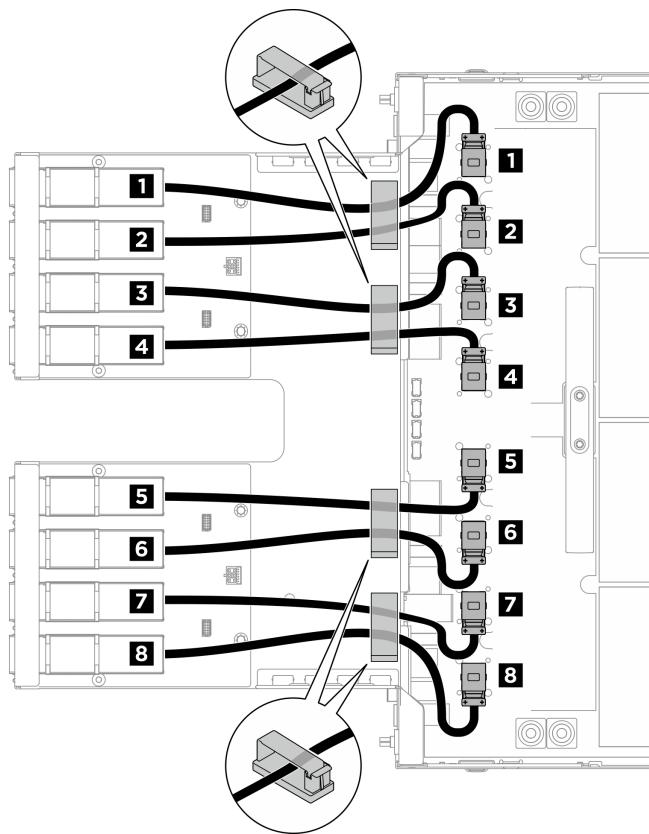


図332. UltraPass ケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 OSFP カード 1(左): UltraPass ケーブル 7	1 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 7	OSFP 7 UltraPass 7
2 OSFP カード 1(左): UltraPass ケーブル 5	2 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 5	OSFP 5 UltraPass 5
3 OSFP カード 1(左): UltraPass ケーブル 6	3 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 6	OSFP 6 UltraPass 6

始点	終点	ラベル
4 OSFP カード 1(左): UltraPass ケーブル 8	4 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 8	OSFP 8 UltraPass 8
5 OSFP カード 2(右): UltraPass ケーブル 1	5 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 1	OSFP 1 UltraPass 1
6 OSFP カード 2(右): UltraPass ケーブル 3	6 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 3	OSFP 3 UltraPass 3
7 OSFP カード 2(右): UltraPass ケーブル 4	7 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 4	OSFP 4 UltraPass 4
8 OSFP カード 2(右): UltraPass ケーブル 2	8 GPU ベースボード: UltraPass コネクター 2	OSFP 2 UltraPass 2

PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線

このセクションでは、PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線について説明します。

注：

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

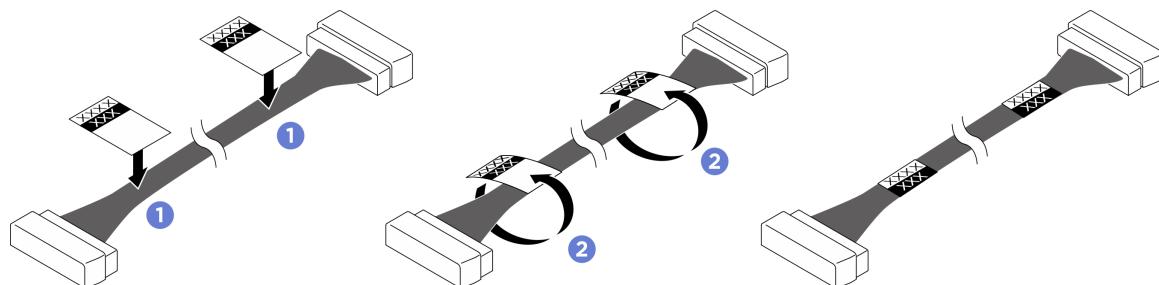


図 333. ラベルの貼り付け

- 信号ケーブルと側波帯ケーブルはシステム・ボードの上に配線してください(下図を参照)。
- 電源ケーブルはコンピュート・トレイの下に配線してください(下図を参照)。
- ケーブル・ホルダーとスポンジを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。

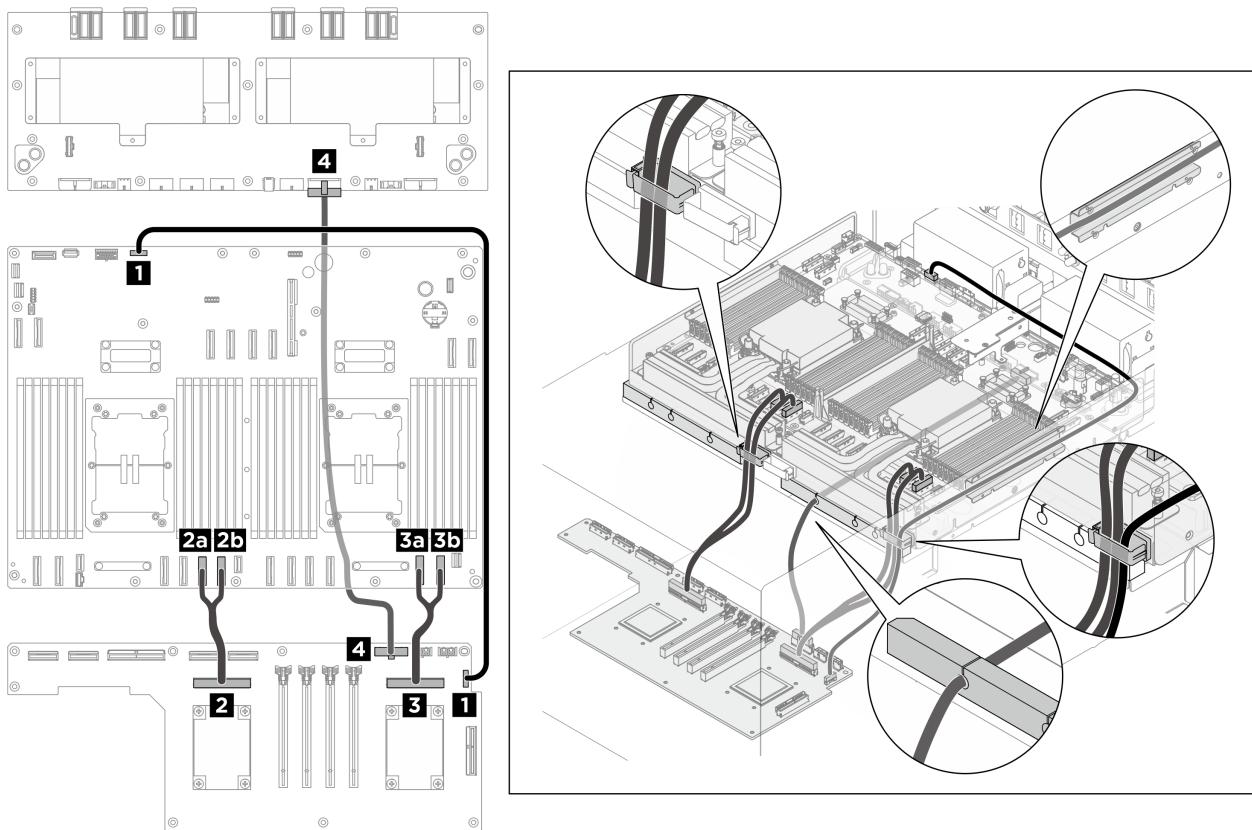


図334. PCIe スイッチ・ボードのケーブル配線

始点	ラベル	終点	ラベル
1 PCIe スイッチ・ボード: 側波帶コネクター	SB SWT SB	1 システム・ボード: PCIe スイッチ・ボードの側波帶 コネクター	SB SWT SB
2 PCIe スイッチ・ボード: MCIO コネクター J 注： • ケーブルの端 P2 をコ ネクター A に接続しま す。 • ケーブルの端 P3 をコ ネクター B に接続しま す。	MCIO J	2a システム・ボード: MCIO コネクター 3A	P2-3A MCIO J
		2b システム・ボード: MCIO コネクター 3B	P3-3B MCIO J

始点	ラベル	終点	ラベル
<p>3 PCIe スイッチ・ボード: MCIO コネクター K 注:</p> <ul style="list-style-type: none"> ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。 ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。 	MCIO K	<p>3a システム・ボード: MCIO コネクター 6A</p>	P2-6A MCIO K
		<p>3b システム・ボード: MCIO コネクター 6B</p>	P3-6B MCIO K
<p>4 PCIe スイッチ・ボード: 電源コネクター</p>	SW PWR RISER PWR 2	<p>4 分電盤: PCIe スイッチ・ボードの電源コネクター</p>	SW PWR RISER PWR 2

PSU 変換コネクターのケーブル配線

このセクションでは、PSU 変換コネクターのケーブル配線について説明します。

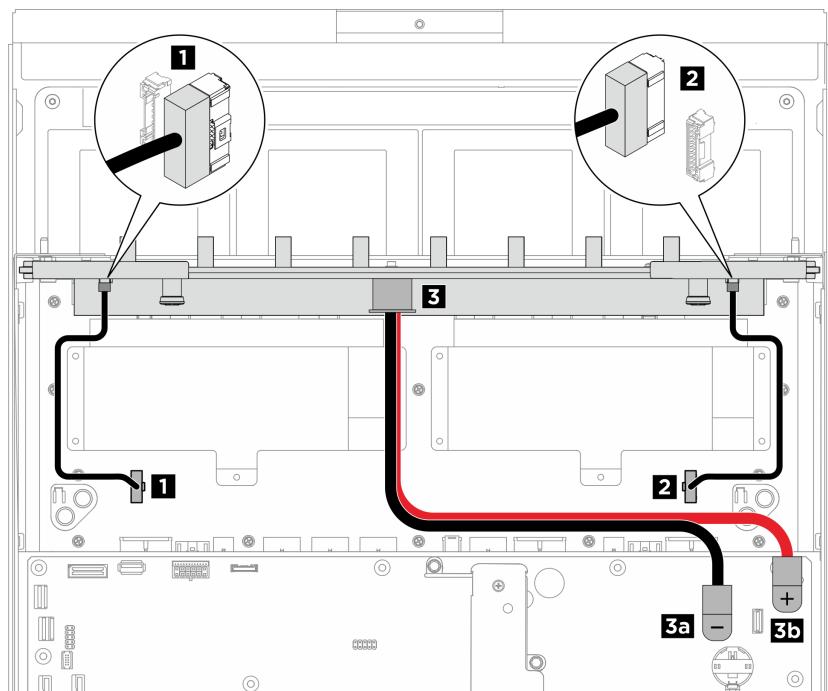


図 335. PSU 変換コネクターのケーブル配線

始点	終点
1 PSU 変換コネクター: 分電盤の側波帶コネクター 1	1 分電盤: PSU 変換コネクターの側波帶コネクター 1
2 PSU 変換コネクター: 分電盤の側波帶コネクター 2	2 分電盤: PSU 変換コネクターの側波帶コネクター 2
3 PSU 変換コネクター: システム・ボードの電源コネクター	3a システム・ボード: 接地 (-) コネクター (黒色のケーブル) 3b システム・ボード: 12V (+) コネクター (赤色のケーブル)

リタイマー・ボードのケーブル配線

このセクションでは、リタイマー・ボードのケーブル配線について説明します。

- 337 ページの 「電源および側波帶ケーブル」
- 338 ページの 「信号ケーブル」
- 343 ページの 「GPU 管理ケーブル」

電源および側波帶ケーブル

注 :

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

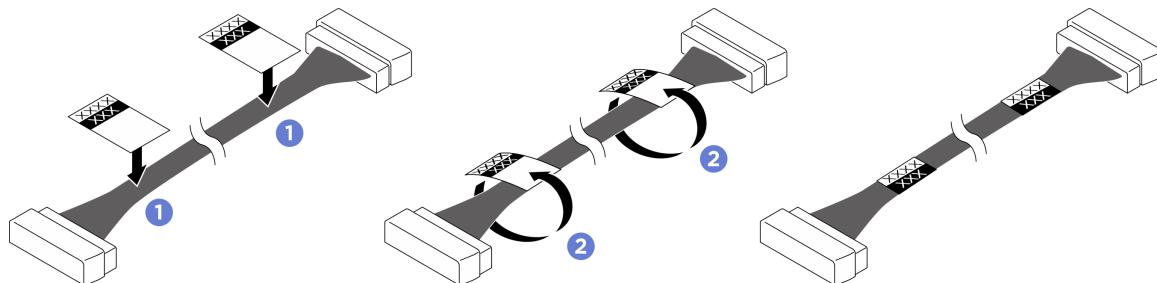
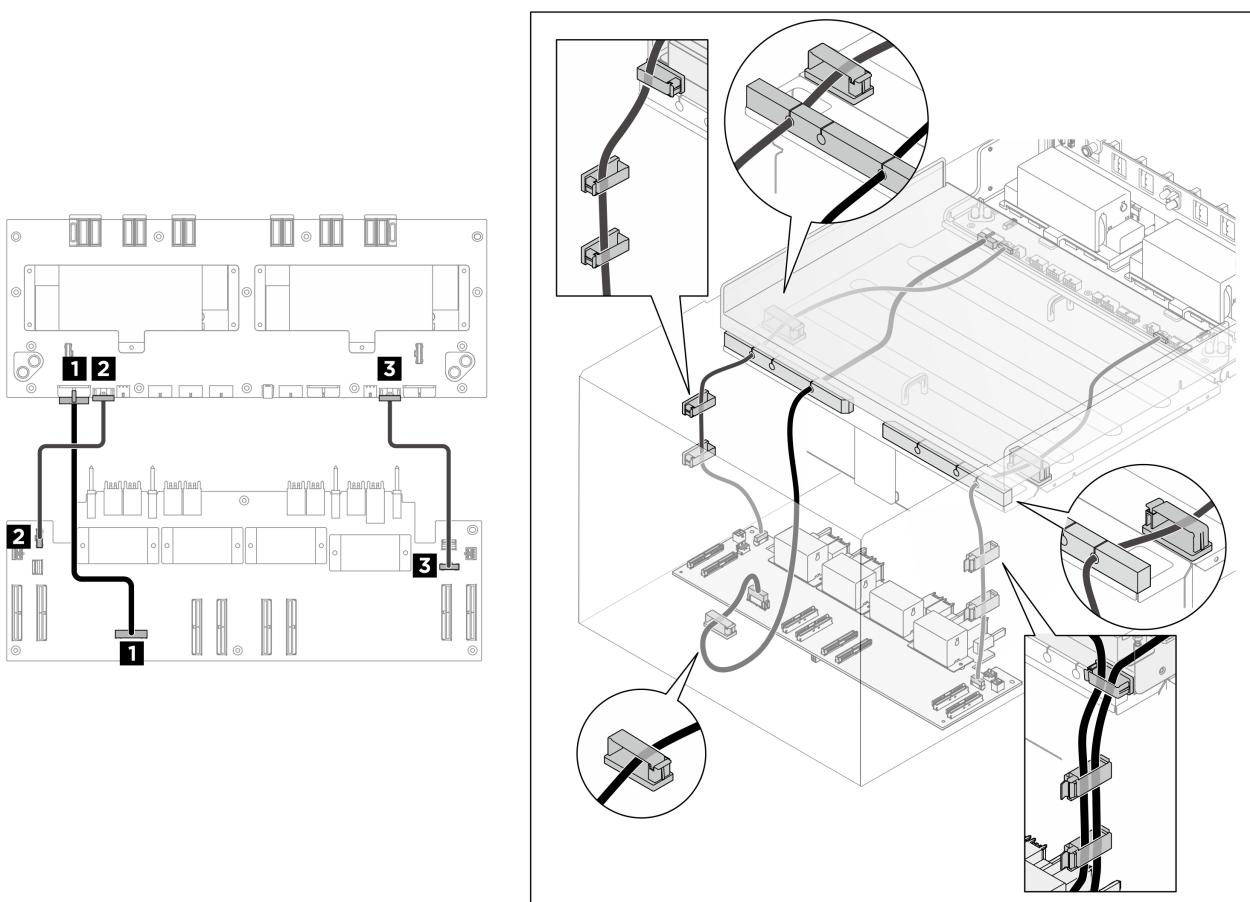


図 336. ラベルの貼り付け

- ケーブルはコンピュート・トレイの下に配線してください(下図を参照)。
- ケーブル・ホルダーとスponジを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。



始点	終点	ラベル
① リタイマー・ボード: 電源コネクター	① 分電盤: リタイマー・ボードの電源コネクター	PDB PWR RISER PWR 1A
② リタイマー・ボード: 側波帶コネクター 1	② 分電盤: リタイマー・ボードの側波帶コネクター 1	SB 1
③ リタイマー・ボード: 側波帶コネクター 2	③ 分電盤: リタイマー・ボードの側波帶コネクター 2	SB 2

図 337. 電源および側波帶ケーブル配線

信号ケーブル

注 :

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

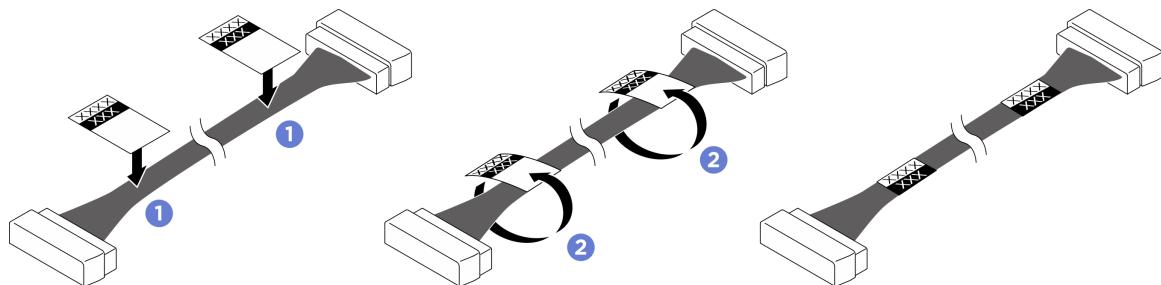
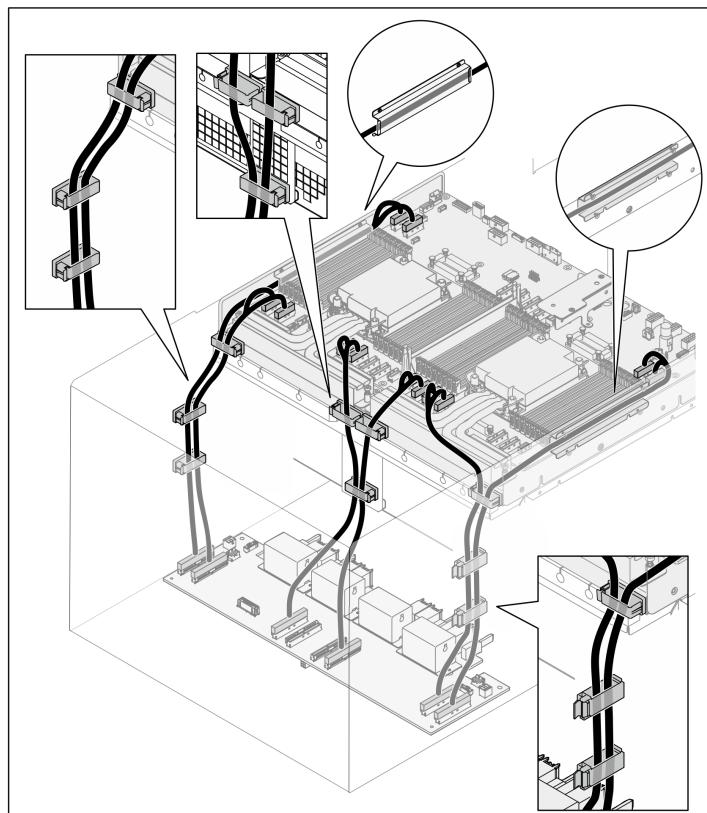
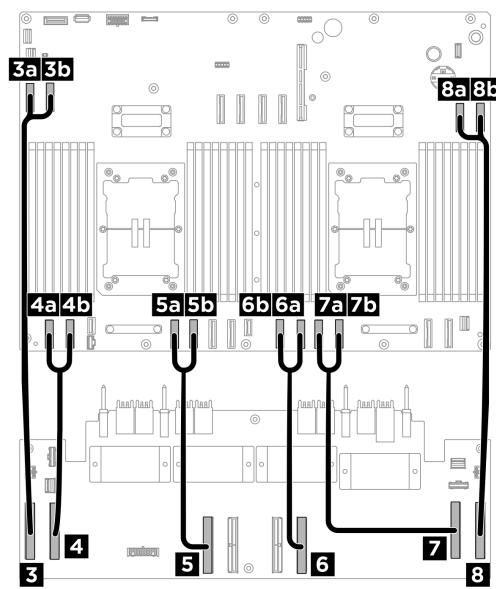
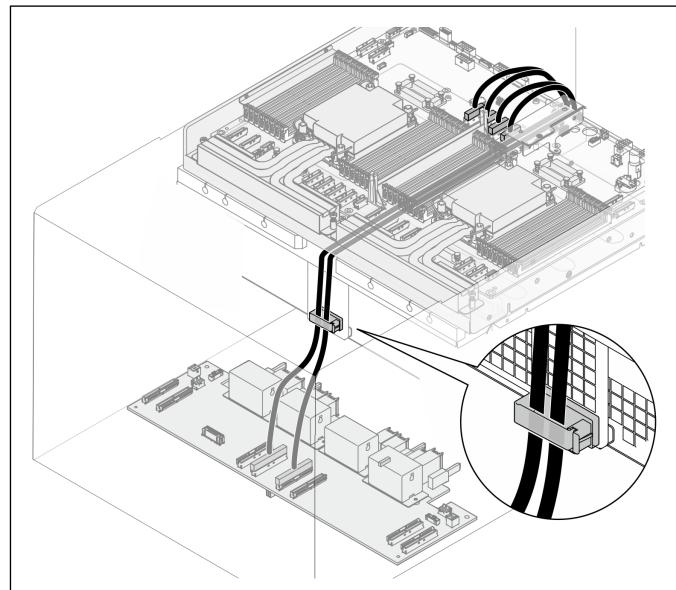
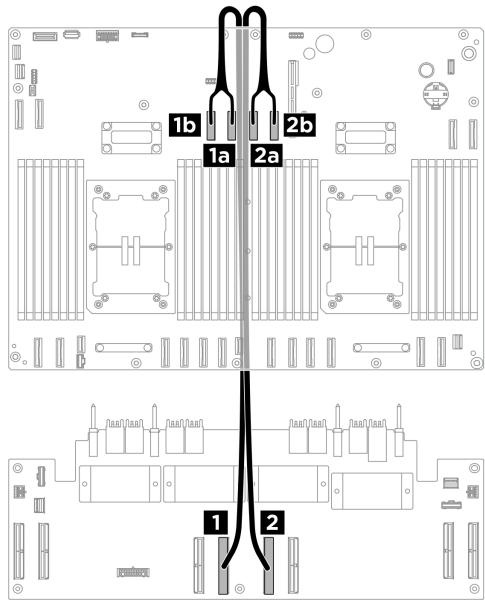


図338. ラベルの貼り付け

- システム・ボードの MCIO コネクター 4A/4B および 8A/8B に接続するケーブルは、コンピュート・トレイの下に配線してください(下図を参照)。
- システム・ボードの MCIO コネクター 9A/9B および 7A/7B に接続するケーブルは、システム・ボードの上に配線してください(下図を参照)。
- ケーブル・ホルダーとケーブル・ガイドを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。

図 339. 信号ケーブル配線



始点	ラベル	終点	ラベル
<p>1 リタイマー・ボード: MCIO コネクター D 注： • ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。 • ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。</p>	MCIO D	<p>1a システム・ボード: MCIO コネクター 4A</p>	P2 - 4A MCIO D
		<p>1b システム・ボード: MCIO コネクター 4B</p>	P3 - 4B MCIO D
<p>2 リタイマー・ボード: MCIO コネクター E 注： • ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。 • ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。</p>	MCIO E	<p>2a システム・ボード: MCIO コネクター 8A</p>	P2 - 8A MCIO E
		<p>2b システム・ボード: MCIO コネクター 8B</p>	P3 - 8B MCIO E
<p>3 リタイマー・ボード: MCIO コネクター A 注： • ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。 • ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。</p>	MCIO A	<p>3a システム・ボード: MCIO コネクター 9A</p>	P2 - 9A MCIO A
		<p>3b システム・ボード: MCIO コネクター 9B</p>	P3 - 9B MCIO A

始点	ラベル	終点	ラベル
4 リタイマー・ボード: MCIO コネクター B 注： <ul style="list-style-type: none">• ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。• ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。	MCIO B	4a システム・ボード: MCIO コネクター 1A	P2 - 1A MCIO B
		4b システム・ボード: MCIO コネクター 1B	P3 - 1B MCIO B
5 リタイマー・ボード: MCIO コネクター C 注： <ul style="list-style-type: none">• ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。• ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。	MCIO C	5a システム・ボード: MCIO コネクター 2A	P2 - 2A MCIO C
		5b システム・ボード: MCIO コネクター 2B	P3 - 2B MCIO C
6 リタイマー・ボード: MCIO コネクター F 注： <ul style="list-style-type: none">• ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。• ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。	MCIO F	6a システム・ボード: MCIO コネクター 10A	P2 - 10A MCIO F
		6b システム・ボード: MCIO コネクター 10B	P3 - 10B MCIO F

始点	ラベル	終点	ラベル
7 リタイマー・ボード: MCIO コネクター G 注： <ul style="list-style-type: none"> ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。 ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。 	MCIO G	7a システム・ボード: MCIO コネクター 5A	P2 - 5A MCIO G
		7b システム・ボード: MCIO コネクター 5B	P3 - 5B MCIO G
8 リタイマー・ボード: MCIO コネクター H 注： <ul style="list-style-type: none"> ケーブルの端 P2 をコネクター A に接続します。 ケーブルの端 P3 をコネクター B に接続します。 	MCIO H	8a システム・ボード: MCIO コネクター 7A	P2 - 7A MCIO H
		8b システム・ボード: MCIO コネクター 7B	P3 - 7B MCIO H

GPU 管理ケーブル

注：

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

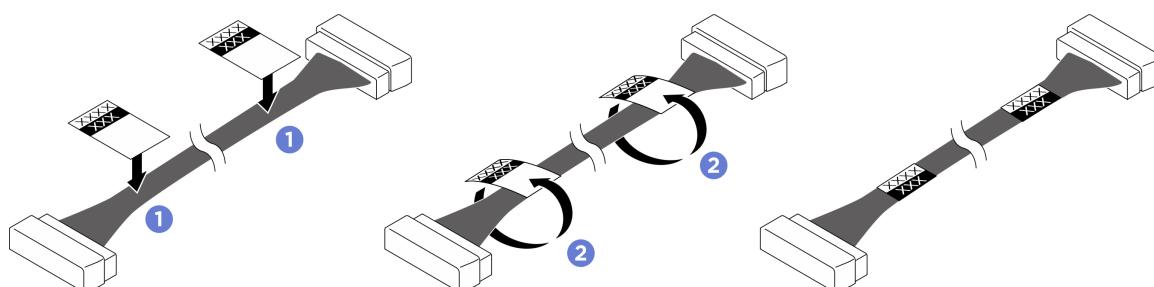
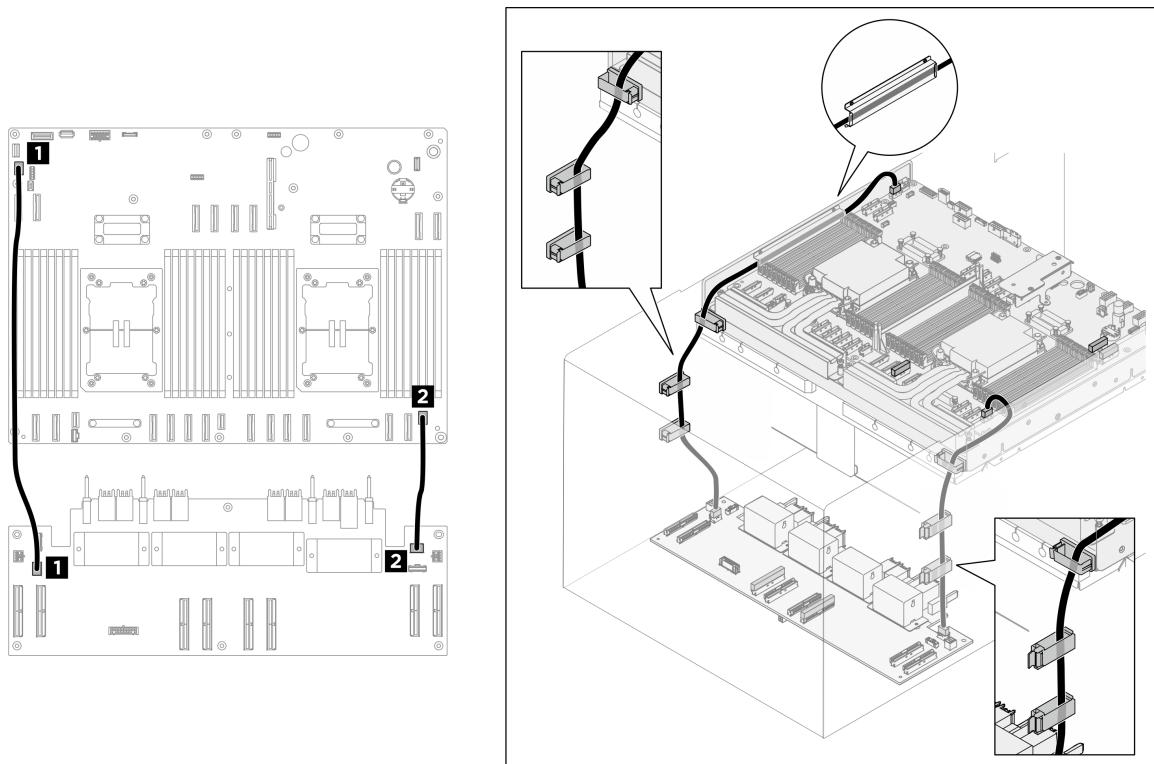


図 340. ラベルの貼り付け

- ケーブルはシステム・ボードの上に配線してください(下図を参照)。

- ケーブル・ホルダーとケーブル・ガイドを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。



始点	終点	ラベル
① リタイマー・ボード: EP 管理コネクター 1	① システム・ボード: EP 管理コネクター 1	EP MGMT 1
② リタイマー・ボード: EP 管理コネクター 2	② システム・ボード: EP 管理コネクター 2	EP MGMT 2

図 341. GPU 管理ケーブル配線

システム I/O ボードのケーブル配線

このセクションでは、システム I/O ボードのケーブル配線について説明します。

注：

- 必要に応じて、ケーブルの両端にラベルを貼り付けます。
 - ① ラベルの空白部分を貼り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。
 - 繰り返して、もう一方のラベルをケーブルの反対側の端に貼り付けます。

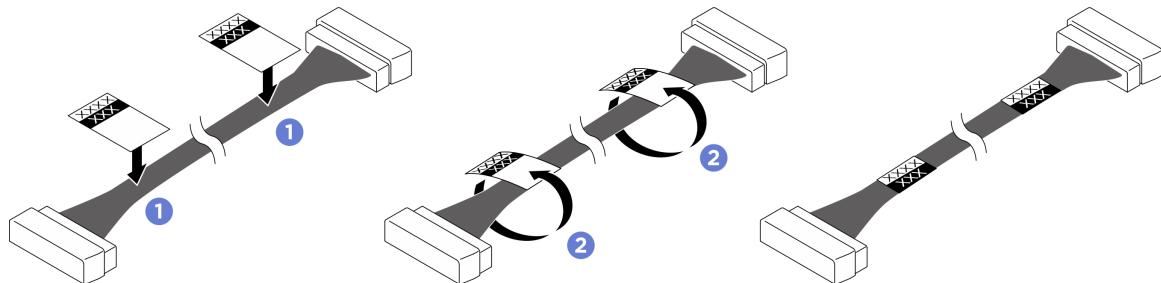


図 342. ラベルの貼り付け

- システム・ボードのシステム I/O ボード・コネクターにケーブルを接続する前に、中央のケーブル・ガイド・カバーを固定している 2 本のねじを緩めて、カバーを取り外してください。
- システム・ボードのシステム I/O ボード・コネクターにケーブルを接続した後で、2 本のねじを締めて中央のケーブル・ガイド・カバーを固定してください。

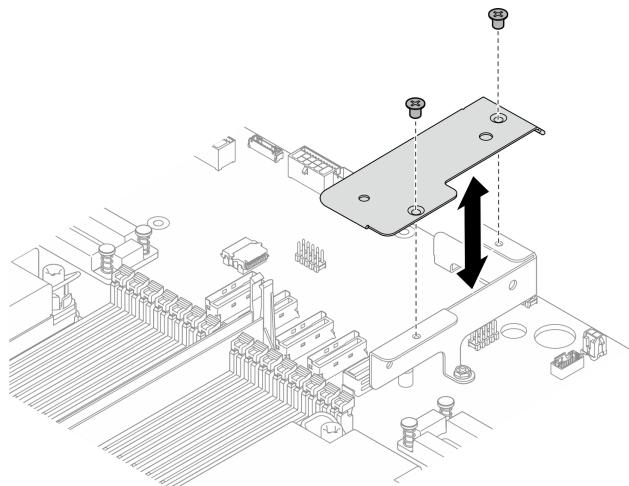


図 343. 中央のケーブル・ガイド・カバーの取り外しと取り付け

- システム・ボードの背面に接続するケーブルは、コンピュート・トレイの下に配線してください(図を参照)。

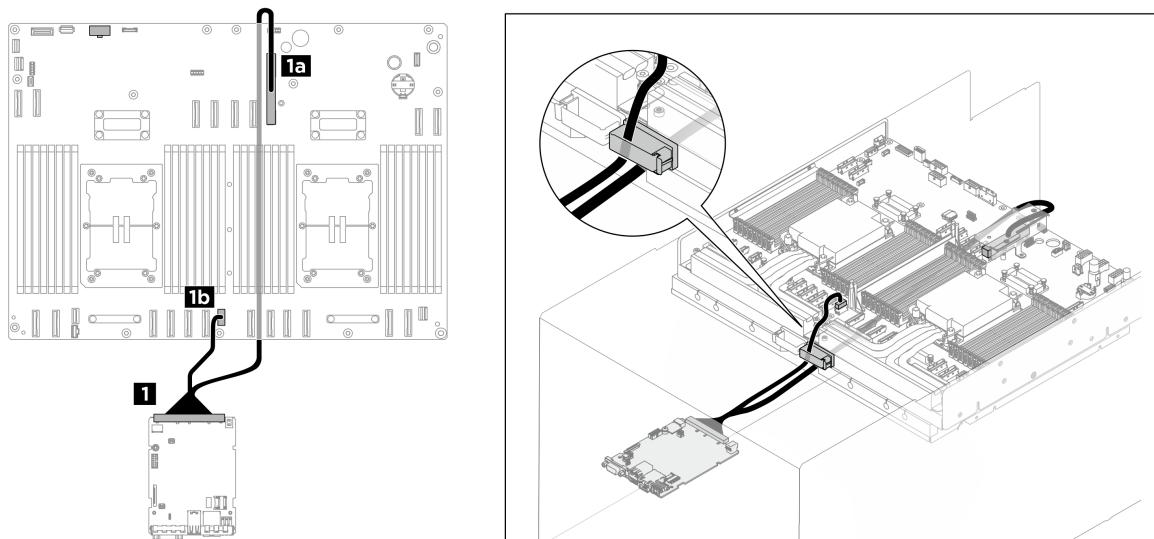


図344. システム I/O ボードのケーブル配線

始点	ラベル	終点	ラベル
1 システム I/O ボード: システム・ボード・コネクター	DC-SCM	1a システム・ボード: システム I/O ボード・コネクター (DC-SCM)	P2-DC-SCM DC-SCM
		1b システム・ボード: SPI/eSPI コネクター	P3-SPI/eSPI DC-SCM

USB アセンブリーのケーブル配線

このセクションでは、USB アセンブリーのケーブル配線について説明します。

注：

- 必要に応じて、システム・ボードに接続するケーブルの端にラベルを貼付します。
 - ① ラベルの空白部分をケーブルの一方の端に取り付けます。
 - ② ケーブルにラベルを巻き、空白部分に貼り付けます。

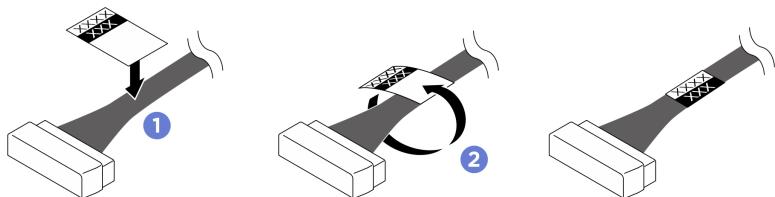


図345. ラベルの貼り付け

- ケーブルはコンピュート・トレイの下に配線してください(下図を参照)。
- ケーブル・ホルダーとスポンジを通してケーブルを配線してください(下図を参照)。

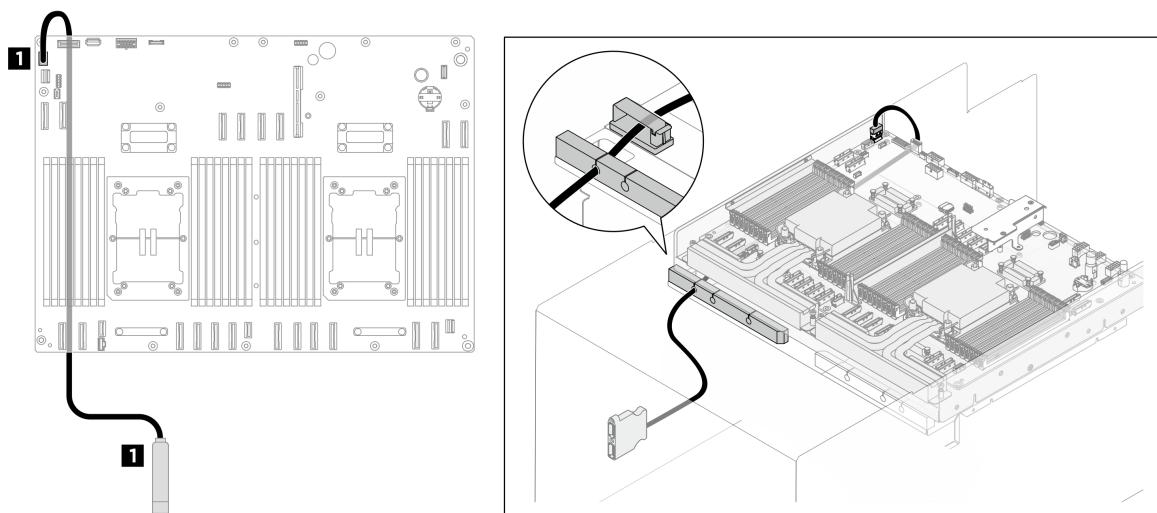


図346. USB アセンブリーのケーブル配線

始点	終点	ラベル
1 USB アセンブリー・ケーブル	1 システム・ボード: USB アセンブリー(前面パネル I/O) コネクター	USB 3.0 FRONT IO 1

第3章 問題判別

サーバーの使用時に生じる可能性のある問題を特定して解決するには、このセクションの情報を使用します。

Lenovo サーバーを、特定のイベントが生成されると自動的に Lenovo サポートに通知するように構成できます。自動通知(コール・ホームとも呼ばれます)は、Lenovo XClarity Administrator などの管理アプリケーションから構成できます。自動問題通知を構成している場合、重大な可能性があるイベントがサーバーで発生するたびに、Lenovo サポートに自動的に警告が送信されます。

問題を切り分けるには、通常、サーバーを管理しているアプリケーションのイベント・ログを確認することから始める必要があります。

- Lenovo XClarity Administrator からサーバーを管理している場合、Lenovo XClarity Administrator イベント・ログから開始します。
- 他の管理アプリケーションを使用している場合は、Lenovo XClarity Controller イベント・ログから開始します。

Web リソース

• 技術ヒント

Lenovo では、サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。技術ヒント (retain のヒントまたは Service Bulletin とも呼ばれます) には、サーバーの動作に関する問題を回避または解決する手順について説明しています。

ご使用のサーバーで利用可能な技術ヒントを検索するには:

1. <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
2. ナビゲーション・ペインで「How To's (ハウツー)」をクリックします。
3. ドロップダウン・メニューから「Article Type (記事タイプ)」 → 「Solution (ソリューション)」をクリックします。

画面に表示される指示に従って、発生している問題のカテゴリーを選択します。

• Lenovo Data Center フォーラム

- https://forums.lenovo.com/t5/Datacenter-Systems/ct-p/sv_eg で、他のユーザーに同様の問題が発生していないかどうか確認してください。

イベント・ログ

アラートは、イベントまたはイベントが発生しようとしていることを通知する、メッセージまたはその他の標識です。アラートは Lenovo XClarity Controller またはサーバーの UEFI によって生成されます。これらのアラートは Lenovo XClarity Controller イベント・ログに保存されます。サーバーが Chassis Management Module 2 または Lenovo XClarity Administrator によって管理されている場合、アラートはこれらの管理アプリケーションに自動的に転送されます。

注: イベントから回復するために実行する必要があるユーザー操作など、イベントのリストについては、https://pubs.lenovo.com/sr680a-v4/pdf_files.html から入手可能な「メッセージとコードのリファレンス」を参照してください。

Lenovo XClarity Administrator のイベント・ログ

Lenovo XClarity Administrator を使用してサーバー、ネットワーク、ストレージ・ハードウェアを管理している場合、XClarity Administrator を使用してすべての管理対象デバイスからのイベントを表示できます。

Logs

Severity	Serviceability	Date and Time	Source	Event	System Type
Warning	Not Required	Jun 15, 2018, 9:12:40 AM	Management Server	The device	Management
Warning	Not Required	Jun 15, 2018, 9:12:40 AM	Management Server	Minimum S	Management
Warning	Not Required	Jun 15, 2018, 9:12:39 AM	Management Server	Minimum S	Management
Warning	Not Required	Jun 15, 2018, 9:10:50 AM	Management Server	The device	Management

Total: 184 Selected: 0 1 2 3 ... 19 10 | 25 | 50 | 100 +

図347. Lenovo XClarity Administrator のイベント・ログ

XClarity Administrator からのイベントの使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

https://pubs.lenovo.com/lxca/events_vieweventlog

Lenovo XClarity Controller イベント・ログ

Lenovo XClarity Controller は、温度、パワー・サプライの電圧、ファン速度、コンポーネントの状況など、内部物理変数を測定するセンサーを使用して、サーバーおよびコンポーネントの物理的な状況を監視します。Lenovo XClarity Controller は、システム管理ソフトウェアやシステム管理者用のさまざまなインターフェースを提供し、ユーザーがリモート管理やサーバー制御を実行できるようにします。

Lenovo XClarity Controller は、サーバーのすべてのコンポーネントを監視して、イベントを Lenovo XClarity Controller イベント・ログに送ります。

Index	Severity	Source	Common ID	Message	Date
0	Information	System	FOXSPPPV0008I	Host power has been turned off.	May 5, 2000 6:06:29 PM
1	Information	System	FOXSPPIO003I	Device OCP 1 is installed.	May 5, 2000 6:05:32 PM
2	Information	System	FOXSPUN206II	System Maintenance Mode has deasserted.	May 5, 2000 2:53:17 PM
3	Information	System	FOXSPUN006II	System Maintenance Mode has asserted.	May 5, 2000 2:53:01 PM
4	Information	System	FOXSPPIO003I	Connector PVR_2 is linked to Backplane 1.	May 5, 2000 2:46:30 PM
5	Information	System	FOXSPPPV0008I	Host power has been turned off.	May 5, 2000 2:45:18 PM
6	Information	System	FOXSPPIO003I	Device OCP 1 is installed.	May 5, 2000 2:44:45 PM
7	Information	Processors	FOXSPPU2002I	The Processor 1 is no longer operating in a Degraded State.	May 5, 2000 2:36:15 PM

図348. Lenovo XClarity Controller イベント・ログ

Lenovo XClarity Controller イベント・ログへのアクセスについて詳しくは、以下を参照してください。

<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「イベント・ログの表示」セクション

仕様

サーバーの機能と仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があつたり、一部の仕様が該当しない場合があります。

仕様のカテゴリーと各カテゴリーの内容については、以下の表を参照してください。

仕様のカテゴリー	技術仕様	機械仕様	環境仕様
コンテンツ	<ul style="list-style-type: none">プロセッサーメモリーM.2 ドライブストレージ拡張拡張スロットグラフィックス・プロセッシング・ユニット (GPU)内蔵機能と I/O コネクターネットワークRAIDシステム・ファン電源入力デバッグのための最小構成オペレーティング・システム	<ul style="list-style-type: none">寸法重量	<ul style="list-style-type: none">環境

技術仕様

サーバーの技術仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があつたり、一部の仕様が該当しない場合があります。

プロセッサー
内蔵メモリー・コントローラーおよび Mesh UPI (Ultra Path Interconnect) トポロジー付きマルチコア Intel Xeon プロセッサーをサポート。 <ul style="list-style-type: none">最大 2 個の P コア搭載 Intel Xeon 6 プロセッサーを新しい LGA 4710 ソケットに取り付け可能ソケットあたり最大 86 コアプロセッサー間の最大 4 UPI リンクを最大 24 GT/秒でサポートホット設計電源 (TDP): 最大 350 ワット サポートされるプロセッサーのリストについては、 https://serverproven.lenovo.com を参照してください。

メモリー
メモリー構成およびセットアップの詳細については、を参照してください。 <ul style="list-style-type: none">メモリー・モジュール・タイプ:<ul style="list-style-type: none">- TruDDR5 6,400 MHz RDIMM: 64 GB (2Rx4)、96 GB (2Rx4)、128 GB (2Rx4)速度:<p>注: 作動速度はプロセッサー・モデルおよびUEFI 設定によって異なります。</p><ul style="list-style-type: none">- チャネルごとに 1 つの DIMM で 6,400 MT/秒- チャネルごとに 2 個の DIMM で 5,200 MT/秒キャパシティー<ul style="list-style-type: none">- 最小: 2 TB- 最大: 4 TB

メモリー

- スロット: プロセッサーごとに 16 の DIMM スロット、合計 32 の DIMM スロット

サポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com>を参照してください。

M.2 ドライブ

最大 2 台のホット・スワップ M.2 NVMe ドライブ

サポートされる M.2 ドライブのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

ストレージ拡張

最大 8 台の 2.5 インチ ホット・スワップ NVMe ドライブ

サポートされるドライブのリストについては、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

拡張スロット

- PCIe Gen5 x16 ホスト・インターフェース搭載 OCP スロット 1 個 (スロット 1)

- PCIe Gen5 x16 FHHL PCIe スロット 4 個 (スロット 2 ~ 5)

詳しくは、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「前面図」を参照してください。

グラフィックス・プロセッシング・ユニット (GPU)

GPU ごとに 270GB HBM3e メモリーを搭載した 8 個の NVIDIA B300 1100W SXM6 GPU

内蔵機能および I/O コネクター

- Lenovo XClarity Controller (XCC) は、サービス・プロセッサーの制御および監視機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・キーボード、ビデオ、マウス、ならびにリモート・ドライブ機能を提供します。

– このサーバーは、Lenovo XClarity Controller 3 (XCC3) をサポートしています。Lenovo XClarity Controller 3 (XCC3) の追加情報については、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/>を参照してください。

- 前面コネクター:

– USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター 3 個
– Lenovo XClarity Controller 管理付き USB 3.2 Gen 1 (5 Gbps) コネクター 1 個
– システム管理ネットワークに接続するための XCC システム管理ポート (10/100/1,000 Mbps RJ-45) 1 個。この RJ-45 コネクターは、Lenovo XClarity Controller 機能専用です。
– VGA ポート 1 個

注：最大ビデオ解像度は、60 Hz で 1920 x 1200 です。

– 内蔵診断パネル
– 電源ボタンと電源 LED (緑色)
– ネットワーク活動 LED (緑色)
– システム ID ボタン/LED (青色)
– システム・エラー LED (黄色)
– 800 Gb/s OSFP コネクター 8 個

ネットワーク

- XCC システム管理ポート (10/100/1,000 Mbps RJ-45) 1 個
- 1 つの OCP モジュールには、ネットワーク・サポート用の 2 つまたは 4 つの特別なイーサネット・コネクターがあります
- 8 個の 800 Gb/s OSFP ネクターを備え、ネットワーク・サポートのために GPU 直接接続を行うことができます

RAID

ハードウェア RAID 0、1

- ThinkSystem M.2 RAID B540p-2HS SATA/NVMe Enablement Kit

システム・ファン

• 6 個の前面デュアル・ローター・ファン: 60 mm x 60 mm x 56 mm

• 15 個の背面デュアル・ローター・ファン: 80 mm x 80 mm x 56 mm

電源入力

以下は、サポートされているタイプのリストです。

- CFFv5 230V/115V 3,200 ワット Titanium

重要: サーバーのパワー・サプライと冗長パワー・サプライは、電源定格、ワット数、またはレベルが同じである必要があります。

デバッグのための最小構成

- プロセッサー x 2
- 最小メモリー容量 – 2 または 3TB のメモリー (128GB モジュール 16 個または 64GB/96GB モジュール 32 個)
- パワー・サプライ 6 個
- M.2 ドライブ 1 個 (デバッグに OS が必要な場合)
- システム・ファン x 21
- 前面 PCIe イーサネット・アダプター x 1 (ネットワークが必要な場合)

オペレーティング・システム

サポートおよび認定オペレーティング・システム:

- カノニカル Ubuntu
- Red Hat Enterprise Linux

参照:

- 利用可能なオペレーティング・システムの全リスト: <https://lenovopress.lenovo.com/osig>。
- OS デプロイメント手順: 「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「オペレーティング・システムのデプロイ」を参照してください。

機械仕様

サーバーの機械仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が該当しない場合があります。

寸法

- 高さ: 351 mm (13.82 インチ)
- 幅 (EIA フランジなし): 483 mm (19.01 インチ)
- 幅 (EIA フランジ付き): 447 mm (18 インチ)
- 奥行き (EIA フランジおよびパワー・サプライ・ユニットなし): 888.2 mm (34.97 インチ)

重量

約 124.74 kg (275 ポンド) の重量ですが、構成によって異なります

環境仕様

サーバーの環境仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があつたり、一部の仕様が該当しない場合があります。

環境

ThinkSystem SR680a V4 は、ASHRAE クラス A2 仕様に準拠し、一定の温度制限があります。動作温度が許容される条件を満たしていない場合は、システムのパフォーマンスに影響が出る場合があります。

- 室温:
 - 作動時
 - ASHRAE クラス A2: 10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F)。900 m (2953 フィート) を超える高度では、高度が 300 m (984 フィート) 上がるごとに、最大周辺温度が 1°C 減少。
 - サーバー電源オフ時: 5°C ~ 45°C (41°F ~ 113°F)
 - 配送時/保管時: -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
- 最大高度: 3050 m (10000 フィート)
- 相対湿度(結露なし):
 - 作動時
 - ASHRAE クラス A2: 8% ~ 80%、最大露点: 21°C (70°F)
 - 配送時/保管時: 8% ~ 90%
- 粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、[354 ページの「粒子汚染」](#)を参照してください。

注: このサーバーは標準データ・センター環境向けに設計されており、産業データ・センターに配置することが推奨されます。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子(金属片や微粒子を含む)や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されているデバイスにリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、デバイスの誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限として見なしたり、あるいは使用したりしてはなりません。温度や大気中の湿気など他の多くの要因が、粒子や環境腐食性およびガス状の汚染物質移動のインパクトに影響することがあるからです。本書で説明されている特定の制限が無い場合は、人体の健康と安全の保護に合致するよう、微粒子やガスのレベル維持のための慣例を実施する必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルがデバイス損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、デバイスまたは部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかるは正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 9. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
反応性ガス	ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の重大度レベル G1 ¹ : <ul style="list-style-type: none">• 銅の反応レベルが 1 カ月あたり 200 オングストローム未満 ($\text{\AA}/\text{月} \sim 0.0035 \mu\text{g}/\text{cm}^2\text{-時間}$ の重量增加) である必要があります。²• 銀の反応レベルが 1 カ月あたり 200 オングストローム未満 ($\text{\AA}/\text{月} \sim 0.0035 \mu\text{g}/\text{cm}^2\text{-時間}$ の重量增加) である必要があります。³

表 9. 微粒子およびガスの制限 (続き)

汚染物質	制限
浮遊微小粒子	<ul style="list-style-type: none"> ガス腐食性の反応監視は、床から 4 分の 1 および 4 分の 3 のフレーム高さ、または気流速度がより高い場所で、吸気口側のラックの前面の約 5 cm (2 インチ) で行う必要があります。 <p>データ・センターは、ISO 14644-1 クラス 8 の清潔レベルを満たす必要があります。</p> <p>エアサイド・エコノマイザーのないデータ・センターの場合、以下のいずれかのろ過方式を選択して、ISO 14644-1 クラス 8 の清潔レベルを満たすことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 部屋の空気は、MERV 8 フィルターで継続的にフィルタリングできます。 データ・センターに入る空気は、MERV 11 またはできれば MERV 13 フィルターでフィルタリングできます。 <p>エアサイド・エコノマイザーを備えるデータ・センターの場合、ISO クラス 8 の清潔レベルを実現するためのフィルターの選択は、そのデータ・センターに存在する特定の条件によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% RH を超えてはなりません。⁴ データ・センターには、亜鉛ウィスカーがはりません。⁵

¹ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

² Å/月における腐食生成物の厚みにおける銅腐食の増加率と重量増加率との間の同等性の導出では、Cu₂S および Cu₂O が均等な割合で増加することを前提とします。

³ Å/月における腐食生成物の厚みにおける銀腐食の増加率と重量増加率との間の同等性の導出では、Ag₂S のみが腐食生成物であることを前提とします。

⁴ 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

⁵ 表面の異物は、データ・センターの 10 のエリアから、金属スタブの導電粘着テープの直径 1.5 cm のディスクでランダムに収集されます。電子顕微鏡の解析における粘着テープの検査で亜鉛ウィスカーが検出されない場合、データ・センターには亜鉛ウィスカーがないと見なされます。

システム・ボード・コネクター

次の図で、システム・ボード上の内部コネクターを示します。

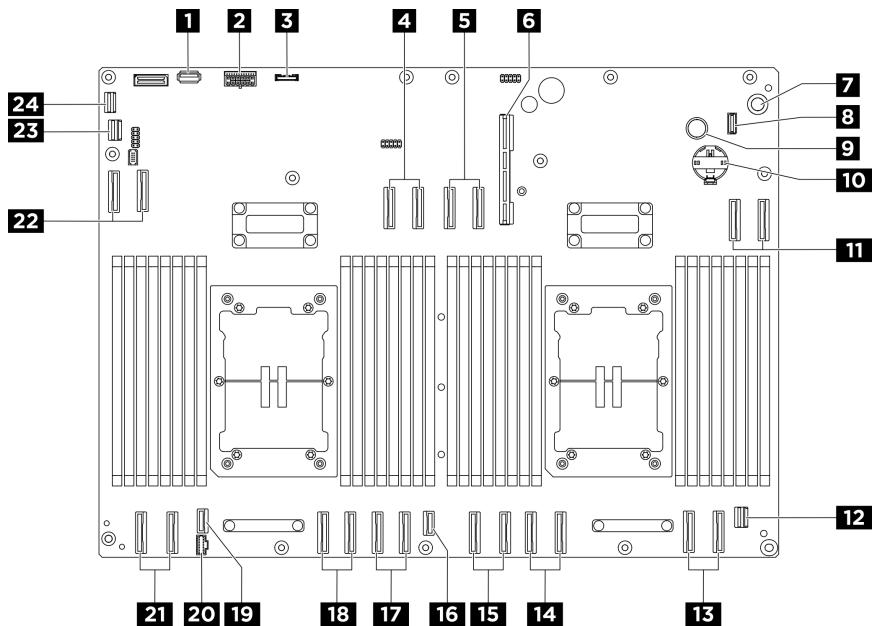


図349. システム・ボード・コネクター

表 10. システム・ボード・コネクター

1 USB 3.2 Gen 1 Type-A コネクター	2 OCP 変換コネクター・カード電源コネクター
3 PCIe スイッチ・ボード側波帶コネクター	4 MCIO コネクター 4A/4B
5 MCIO コネクター 8A/8B	6 システム I/O ボード・コネクター (DC-SCM)
7 12V (+) コネクター	8 内蔵診断パネル(前面 I/O) コネクター
9 接地 (-) コネクター	10 3V バッテリー (CR2032)
11 MCIO コネクター 7A/7B	12 EP 管理コネクター 2
13 MCIO コネクター 6A/6B	14 MCIO コネクター 5A/5B
15 MCIO コネクター 10A/10B	16 SPI/eSPI コネクター
17 MCIO コネクター 3A/3B	18 MCIO コネクター 2A/2B
19 M.2 信号コネクター	20 M.2 電源コネクター
21 MCIO コネクター 1A/1B	22 MCIO コネクター 9A/9B
23 EP 管理コネクター 1	24 USB アセンブリー(前面パネル I/O) コネクター

システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング

使用可能なシステム LED と診断ディスプレイについては、以下のセクションを参照してください。

前面 LED

このトピックでは、サーバー前面の LED について説明します。

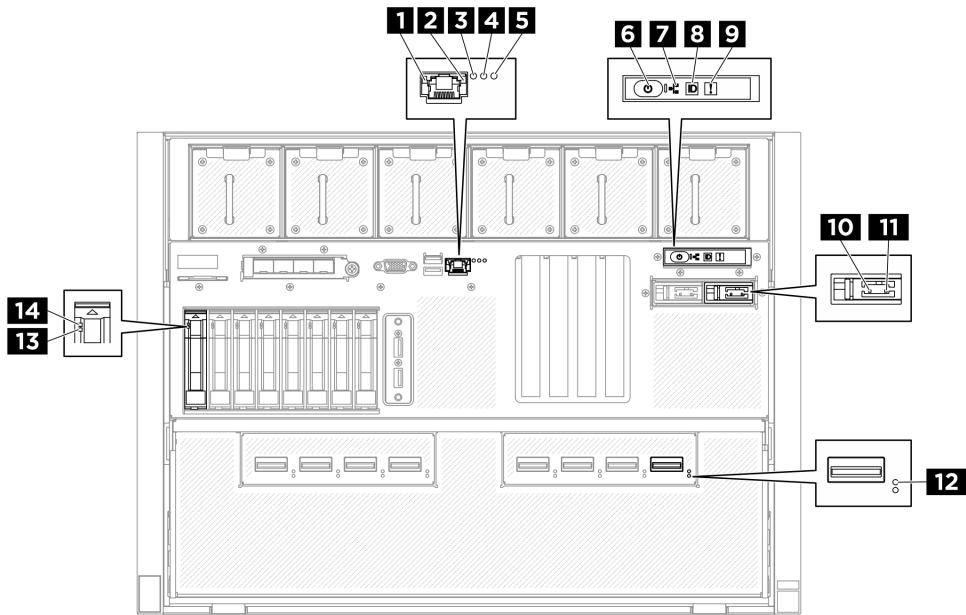


図 350. 前面 LED

1 XCC システム管理ポート (10/100/1,000 Mbps RJ-45) リンク LED

この緑色の LED は、ネットワーク接続性のステータスを区別するために使用します。

- オフ: ネットワーク・リンクが切断されています。
- 緑: ネットワーク・リンクが確立されています。

2 XCC システム管理ポート (10/100/1,000 Mbps RJ-45) 活動 LED

この緑色の LED は、ネットワーク活動のステータスを区別するために使用します。

- オフ: サーバーが LAN から切断されています。
- 緑: ネットワークに接続されており、ネットワークはアクティブです。

3 位置 LED (青色)

この LED はプレゼンス検出 LED として使用されます。Lenovo XClarity Controller を使用すると、この LED をリモートで点灯できます。この LED は、複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。

4 システム・エラー LED (黄色)

LED がオン: エラーが発生しました。次の手順を実行してください。

1. 識別 LED を確認し、ログ LED を確認して、指示に従います。
2. このエラーについては、Lenovo XClarity Controller イベント・ログおよびシステム・エラー・ログを確認してください。
3. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。

5 RoT エラー LED (オレンジ色)

RoT エラー LED は、XCC または UEFI イメージのいずれかで Root of Trust エラーが発生していることを示しています。

6 電源状況 LED (緑色) を備えた電源ボタン

サーバーのセットアップが終了したら、電源ボタンを押してサーバーの電源をオンにします。オペレーティング・システムからサーバーをシャットダウンできない場合は、電源ボタンを数秒間押したままにしてサーバーの電源をオフにすることもできます。電源 LED の状態は次のとおりです。

ステータス	色	説明
オフ	なし	パワー・サプライが正しく取付けられていないか、または LED 自体に障害があります。
高速で点滅 (1 秒に 4 回)	緑色	サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていません。電源ボタンは無効です。この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。 電源障害があるか、システム配線が正しくない可能性があります。LED が約 10 秒間隔でゆっくり点滅し続ける場合は、XCC イベント・ログで詳細を確認してください。
低速で点滅 (1 秒に 1 回)	緑色	サーバーの電源がオフですが、すぐにオンにできる状態です。電源ボタンを押して、サーバーをオンにすることができます。
点灯	緑色	サーバーの電源がオンになっています。

7 ネットワーク活動 LED (緑色)

ネットワーク活動 LED は、ネットワークの接続性と活動の識別に役立ちます。

ステータス	色	説明
オン	緑色	サーバーがネットワークに接続されています。
点滅	緑色	ネットワークに接続されており、ネットワークはアクティブです。
オフ	なし	サーバーがネットワークから切断されています。

8 システム ID LED (青色) を備えたシステム ID ボタン

システム ID ボタンおよび青色のシステム ID LED は、サーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム ID ボタンを押すたびに、システム ID LED の状態が変更されます。LED は点灯、点滅、消灯にできます。また、Lenovo XClarity Controller またはリモート管理プログラムを使用してシステム ID LED の状態を変更し、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけることもできます。

9 システム・エラー LED (黄色)

システム・エラー LED は、システム・エラーがあるかどうかを判断する際に役立ちます。

ステータス	色	説明	操作
オン	黄色	サーバーでエラーが検出されました。原因には、以下のエラーが 1 つ以上含まれる場合があります。 <ul style="list-style-type: none">サーバーの温度が、非クリティカルな温度しきい値に達しました。サーバーの電圧が、非クリティカルな電圧しきい値に達しました。ファンが低速で稼働していることが検出されました。パワー・サプライにクリティカルなエラーがあります。	LCD 表示またはイベント・ログをチェックして、エラーの正確な原因を判別します。

ステータス	色	説明	操作
		• パワー・サプライが電源に接続されていません。	
オフ	なし	サーバーがオフか、サーバーがオンで正しく動作しています。	なし。

内蔵診断パネルについて詳しくは、361 ページの「内蔵診断パネル」を参照してください。

10 M.2 ドライブの活動 LED (緑色)

ドライブ活動 LED は、以下のことを示します。

- LED が点灯: ドライブはアイドル状態です。
- LED が消灯: ドライブはアサート解除済みです。
- LED が点滅 (毎秒約 4 回点滅): ドライブで I/O 処理が進行中です。

11 M.2 ドライブのステータス LED (黄色)

ドライブ状態 LED は、以下のことを示します。

- LED が点灯: ドライブ障害が発生しています。
- LED が消灯: ドライブは正常に動作しています。
- LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅: ドライブを再構築しています。
- LED が点滅 (毎秒約4回の点滅): ドライブの位置を特定中です。

12 OSFP ポート 1 の 2 色 LED (緑色/黄色)

2 色の LED を使用して、OSFP ポート 1 のリンク・ステータスを判別します。

ステータス	色	説明
オフ	該当なし	物理リンクが検出されていません。
点滅 (4 Hz)	緑色	ネットワーク・リンクは、サポートされている最大速度で動作しています。
点滅 (2 Hz)	緑色	ネットワーク・リンクは、サポートされている最大速度の 75% で動作しています。
点滅 (1 Hz)	緑色	ネットワーク・リンクは、サポートされている最大速度の 50% で動作しています。
点滅 (0.5 Hz)	緑色	ネットワーク・リンクは、サポートされている最大速度の 25% 未満で動作しています。
オン	緑色	ネットワーク・リンクは接続されていますが、アクティブなトラフィックはありません。
点滅 (1 Hz)	黄色	OSFP カードの位置を特定するためにビーコン・コマンドが使用されます。
点滅 (4 Hz)	黄色	リンクでエラーが発生しました。エラーは I ² C または過電流によるものである場合があります。
オン	黄色	物理ネットワーク・リンクが検出されました。

注：トランシーバーまたはケーブルが OSFP ポートに接続されている場合、コマンドを使用して検出 LED を点灯できます。

13 2.5 インチ ドライブのステータス LED (黄色)

ドライブ状態 LED は、以下のことを示します。

- LED が点灯: ドライブに障害が発生しています。
- LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅: ドライブを再構築しています。
- LED が高速で (1 秒に 3 回) 点滅: ドライブを特定しています。

14 2.5 インチ ドライブの活動 LED (緑色)

各ホット・スワップ・ドライブには活動 LED が付属しています。この LED が点滅している場合、ドライブが使用中であることを示します。

パワー・サプライ LED

このトピックでは、各種パワー・サプライ LED ステータスと対応する操作について説明します。

サーバーの最小構成は、以下のとおりです。

- プロセッサー x 2
- 最小メモリー容量 - 2 または 3TB のメモリー (128GB モジュール 16 個または 64GB/96GB モジュール 32 個)
- パワー・サプライ 6 個
- M.2 ドライブ 1 個 (デバッグに OS が必要な場合)
- システム・ファン x 21
- 前面 PCIe イーサネット・アダプター x 1 (ネットワークが必要な場合)

次の表は、パワー・サプライ LED とパワーオン LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

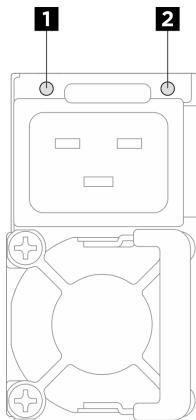


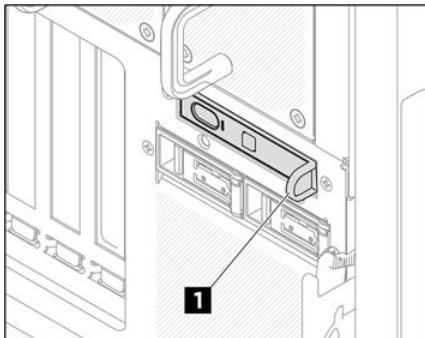
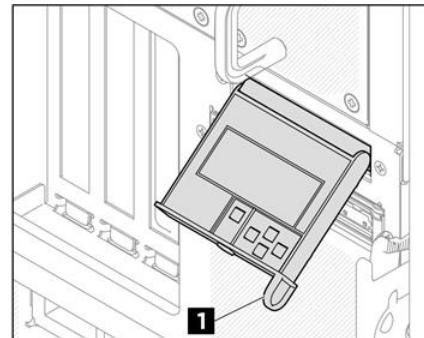
図 351. パワー・サプライ LED

LED	説明
1 出力および障害ステータス(2色、緑色と黄色)	<p>出力および障害ステータス LED は、以下のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> オフ: サーバーの電源がオフか、パワー・サプライ・ユニットが正常に動作していません。サーバーの電源がオンになっているのに LED がオフの場合は、パワー・サプライ・ユニットを交換します。 緑色の早い点滅(1秒間に約 5 回の点滅): パワー・サプライ・ユニットはファームウェア更新モードです。 緑色: サーバーの電源がオンで、パワー・サプライ・ユニットが正常に動作しています。 黄色: パワー・サプライ・ユニットに障害が発生しているかもしれません。システムから FFDC ログをダンプし、Lenovo バックエンド・サポート・チームに連絡して PSU データ・ログのレビューを行います。
2 入力ステータス(単色、緑色)	<p>入力ステータス LED は、以下のいずれかの状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> オフ: パワー・サプライ・ユニットが入力電源から取り外されています。 緑色: パワー・サプライ・ユニットが入力電源に接続されています。 点滅(1Hz): 入力電力が正常ではありません。

内蔵診断パネル

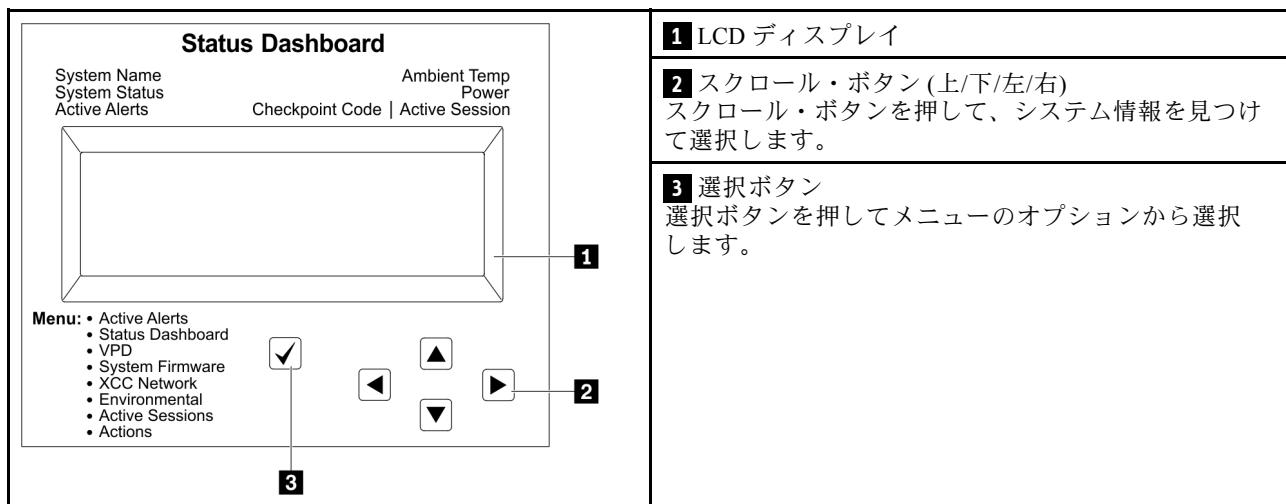
内蔵診断パネルは、システム・シャトルの前面に取り付けられているので、エラー、システム・ステータス、ファームウェア、ネットワーク、ヘルス情報などのシステム情報を簡単に確認できます。内蔵診断パネルには、前面オペレーター・パネル機能が備わっている場合があります。

内蔵診断パネルの位置

ロケーション	<p>内蔵診断パネルは、システム・シャトルの前面に取り付けられています。</p>  
コールアウト	<p>1 パネルをサーバーから引き出すためのハンドル。</p> <p>注：</p> <ul style="list-style-type: none"> システム電源ステータスに関係なく、パネルは挿入または引き出しが可能です。 引き出すときは、損傷を避けるために優しく行ってください。

表示パネルの概要

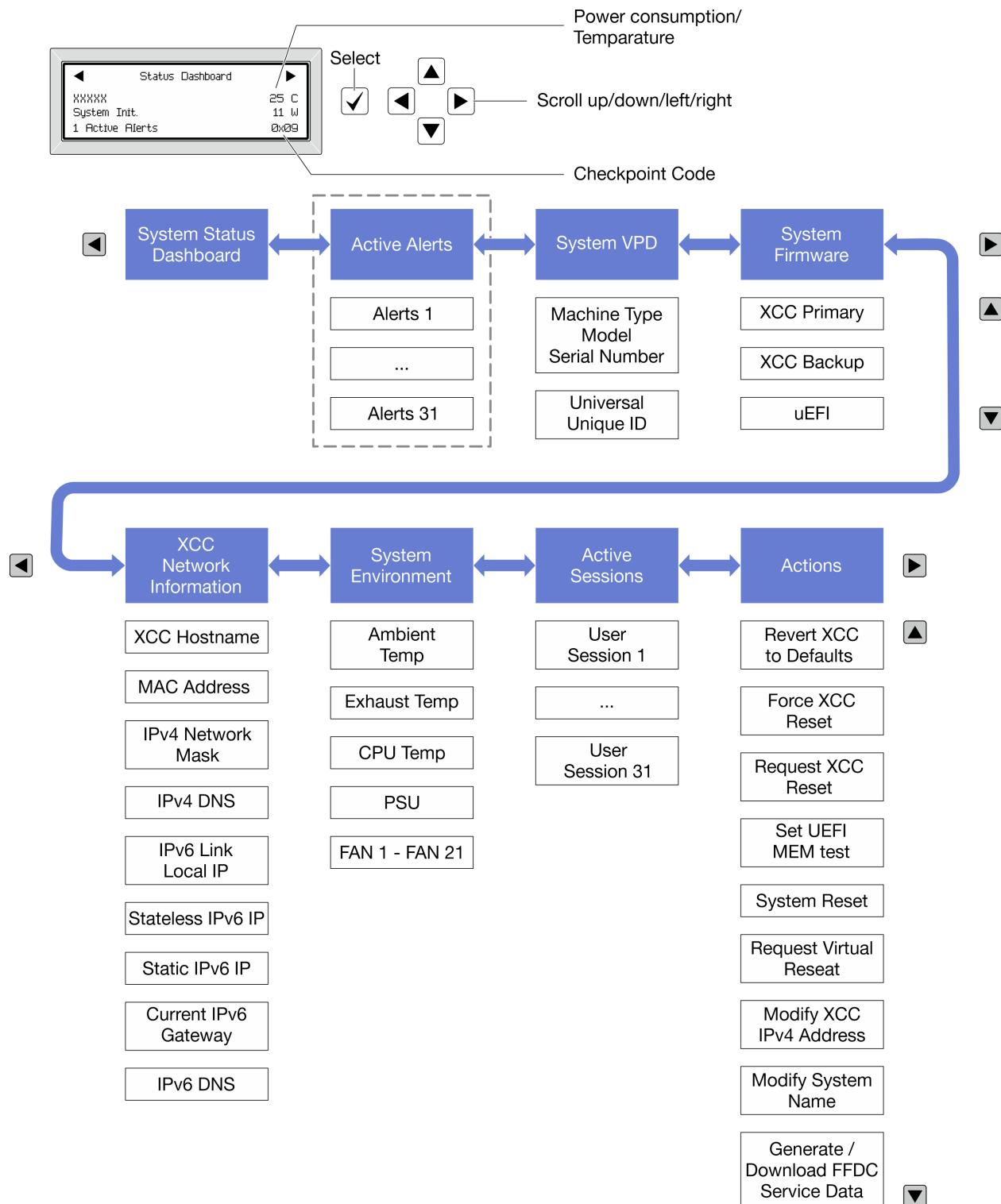
診断デバイスは、LCD ディスプレイと 5 つのナビゲーション・ボタンで構成されます。



オプション・フロー・ダイアグラム

LCD パネルのディスプレイにはさまざまなシステム情報が表示されます。スクロール・キーを使用してオプション間を移動します。

モデルによっては、LCD ディスプレイのオプションとエントリーが異なる場合があります。



フル・メニュー・リスト

使用可能なオプションのリストを次に示します。オプションと下位の情報項目間は選択ボタンで切り替えます。オプション間または情報項目間の切り替えは選択ボタンで切り替えます。

モデルによっては、LCD ディスプレイのオプションとエントリーが異なる場合があります。

ホーム・メニュー (システム・ステータス・ダッシュボード)

ホーム・メニュー	例
1 システム名 2 システム・ステータス 3 アクティブなアラートの数 4 温度 5 電力使用量 6 チェックポイント・コード	

アクティブなアラート

サブメニュー	例
ホーム画面: アクティブなエラーの数 注: 「アクティブなアラート」メニューには、アクティブなエラーの数のみが表示されます。エラーが生じない場合、ナビゲーション中に「アクティブなアラート」メニューが使用できなくなります。	1 Active Alerts
詳細画面: • エラー・メッセージ ID (タイプ: エラー/警告/情報) • 発生時刻 • エラーの考えられる原因	Active Alerts: 1 Press ▼ to view alert details FQXSPPU009N(Error) 04/07/2020 02:37:39 PM CPU 1 Status: Configuration Error

システム VPD 情報

サブメニュー	例
• マシン・タイプおよびシリアル番号 • 汎用固有 ID (UUID)	Machine Type: xxxx Serial Num: xxxxxx Universal Unique ID: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

システム・ファームウェア

サブメニュー	例
XCC プライマリー <ul style="list-style-type: none"> • ファームウェア・レベル(ステータス) • ビルド ID • バージョン番号 • リリース日 	XCC Primary (Active) Build: DVI399T Version: 4.07 Date: 2020-04-07
XCC バックアップ <ul style="list-style-type: none"> • ファームウェア・レベル(ステータス) • ビルド ID • バージョン番号 • リリース日 	XCC Backup (Active) Build: D8BT05I Version: 1.00 Date: 2019-12-30
UEFI <ul style="list-style-type: none"> • ファームウェア・レベル(ステータス) • ビルド ID • バージョン番号 • リリース日 	UEFI (Inactive) Build: D0E101P Version: 1.00 Date: 2019-12-26

XCC ネットワーク情報

サブメニュー	例
<ul style="list-style-type: none"> • XCC ホスト名 • MAC アドレス • IPv4 ネットワーク・マスク • IPv4 DNS • IPv6 リンク・ローカル IP • ステートレス IPv6 IP • 静的 IPv6 IP • 現在の IPv6 ゲートウェイ • IPv6 DNS <p>注：現在使用中の MAC アドレスのみが表示されます（拡張または共用）。</p>	XCC Network Information XCC Hostname: XCC-xxxx-SN MAC Address: XX:XX:XX:XX:XX:XX IPv4 IP: XX.XX.XX.XX IPv4 Network Mask: X.X.X.X IPv4 Default Gateway: X.X.X.X

システム環境情報

サブメニュー	例
<ul style="list-style-type: none"> 周辺温度 排気温度 CPU 温度 PSU ステータス ファンの回転速度 (RPM) 	Ambient Temp: 24 C Exhaust Temp: 30 C CPU1 Temp: 50 C PSU1: Vin= 213 W Inlet= 26 C FAN1 Front: 21000 RPM FAN2 Front: 21000 RPM FAN3 Front: 21000 RPM FAN4 Front: 21000 RPM

アクティブ・セッション

サブメニュー	例
アクティブ・セッションの数	Active User Sessions: 1

操作

サブメニュー	例
いくつかのクリック・アクションが使用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> XCC をデフォルトに戻す XCC リセットの強制 XCC リセットの要求 UEFI メモリー・テストの設定 仮想再取り付けの要求 XCC 静的 IPv4 アドレス/ネット・マスク/ゲートウェイの変更 システム名の変更 FFDC サービス・データの生成/ダウンロード 	Request XCC Reset? This will request the BMC to reboot itself. Hold <input checked="" type="checkbox"/> for 3 seconds

一般的な問題判別の手順

イベント・ログに特定のエラーが含まれていない場合、またはサーバーが機能しない場合に、問題を解決するにはこのセクションの情報を使用します。

問題の原因がはっきりせず、パワー・サプライが正常に動作している場合、問題を解決するには、以下のステップを実行します。

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 該当する場合は、障害を特定できるまで、以下のデバイスを一度に1つずつ取り外すかまたは切り離します。デバイスを取り外したり、切り離すたびに、サーバーの電源をオンにして構成します。
 - 外付けデバイス
 - サージ抑制デバイス(サーバー上)
 - プリンター、マウス および Lenovo 以外のデバイス
 - 各アダプター

- ソリッド・ステート・ドライブ
- メモリー・モジュール(デバッグ用に、サーバーでサポートされている最小構成まで減らします)
サーバーの最小構成については、[351 ページの「技術仕様」の「デバッグのための最小構成」](#)を参照してください。

4. サーバーの電源をオンにします。

アダプターをサーバーから取り外すと問題が解消されるが、同じアダプターを再度取り付けると問題が再発する場合は、アダプターを疑ってください。アダプターを別のものに交換しても問題が再発する場合は、別の PCIe スロットを試します。

ネットワーキングに問題があると思われるが、サーバーがすべてのシステム・テストに合格した場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

電源が原因と思われる問題の解決

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。たとえば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。

電源が原因と思われる問題を診断し解決するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. イベント・ログを参照して、電源に関連したエラーがあれば解決します。

注：サーバーを管理しているアプリケーションのイベント・ログから始めます。イベント・ログについての詳細は、[349 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。

ステップ 2. また、短絡がないか(たとえば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがないかどうか)を確認します。

ステップ 3. サーバーがデバッグ用の最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部デバイスや外部デバイスへのケーブルと電源コードを外します。サーバーの最小構成については、[351 ページの「技術仕様」の「デバッグのための最小構成」](#)を参照してください。

ステップ 4. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に起動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよびデバイスを一度に 1 つずつ取り付け直します。

最小構成でもサーバーが起動しない場合は、問題が特定されるまで、最小構成に含まれるコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーが原因と思われる問題の解決

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。オペレーティング・システムの資料でイーサネット・コントローラーに関する情報を調べ、イーサネット・コントローラーのデバイス・ドライバーの readme ファイルを参照してください。

イーサネット・コントローラーに関する障害が疑われる問題の解決を試行するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであることおよびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。

ステップ 2. イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。

- ケーブルは、すべての接続部がしっかりと接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
- ケーブルの規格が、選択したネットワーク速度に適していることを確認します。たとえば、SFP+ ケーブルは 10G の動作にのみ適しています。25G の動作には SFP25 ケーブル

が必要です。同様に、Base-T 動作の場合、1G Base-T 動作には CAT5 ケーブルが必要であり、10G Base-T 動作には CAT6 ケーブルが必要です。

ステップ3. アダプター・ポートとスイッチ・ポートの両方を自動ネゴシエーションに設定します。ポートの1つでオートネゴシエーションがサポートされていない場合は、両方のポートが互いに一致するように手動で設定してみてください。

ステップ4. アダプターとサーバーにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示しています。

アダプターによっては異なる場合がありますが、縦方向に取り付ける場合、通常、アダプター・リンク LED はポートの左側にあり、活動 LED は通常右側にあります。

サーバー前面パネル LED については、「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「システム LED と診断ディスプレイ」で説明されています。

- イーサネット・コントローラーがスイッチからリンク表示を受信すると、イーサネット・リンク・ステータス LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥があるか、またはスイッチに問題がある可能性があります。
- イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが稼働していることおよび正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

ステップ5. サーバーのネットワーク活動 LED をチェックしてください。ネットワーク活動 LED は、イーサネット・ネットワーク上でデータがアクティブのときに点灯します。ネットワーク活動 LED がオフの場合は、ハブおよびネットワークが稼働していることおよび正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。

ネットワーク活動 LED の位置は、[356 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」](#)に示されています。

ステップ6. 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックし、オペレーティング・システムのドライバーが正しくインストールされていることを確認します。

ステップ7. クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

症状別トラブルシューティング

この情報を参照して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけてください。

このセクションの現象ベースのトラブルシューティング情報を使用するには、以下のステップを実行してください。

1. サーバーを管理するアプリケーションのイベント・ログを確認し、推奨アクションに従ってイベント・コードを解決します。
 - Lenovo XClarity Administrator からサーバーを管理している場合、Lenovo XClarity Administrator イベント・ログから開始します。
 - 他の管理アプリケーションを使用している場合は、Lenovo XClarity Controller イベント・ログから開始します。

イベント・ログについての詳細は、[349 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。

- このセクションをチェックして発生している現象を見つけ、推奨アクションに従って問題を解決します。
- 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください ([391 ページの「サポートへのお問い合わせ」](#) を参照)。

GPU の問題

GPU に関する問題を解決するには、この情報を使用します。

- [369 ページの「GPU のヘルス・チェック」](#)

GPU のヘルス・チェック

注：

- 次のいずれかのユーティリティーを使用して、GPU ヘルス・ステータスを確認します。必ず、以下の必要なユーティリティーを含む GPU ドライバーを更新してください。最新のドライバーは、<https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/> で入手することができます。
システム管理インターフェース (SMI) 情報について詳しくは、<https://developer.nvidia.com/system-management-interface> を参照してください。
- nvidia-smi
`nvidia-smi` ユーティリティーを実行して、8 つの GPU をオンラインで表示します。

NVIDIA-SMI 550.90.07			Driver Version: 550.90.07		CUDA Version: 12.4		
GPU Fan	Name Temp	Perf	Persistence-M Pwr:Usage/Cap	Bus-Id	Disp.A Memory-Usage	Volatile GPU-Util	Uncorr. Compute M. ECC MIG M.
0 N/A 43C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 77W / 700W	00000000:18:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
1 N/A 41C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 79W / 700W	00000000:29:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
2 N/A 44C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 76W / 700W	00000000:3A:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
3 N/A 45C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 73W / 700W	00000000:5C:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
4 N/A 42C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 74W / 700W	00000000:9A:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
5 N/A 40C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 75W / 700W	00000000:AA:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
6 N/A 40C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 75W / 700W	00000000:BA:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
7 N/A 42C	NVIDIA H100	80GB HBM3 P0	Off 78W / 700W	00000000:CA:00.0	Off 1MiB / 81559MiB	0%	Default 0 Disabled
Processes:							
GPU ID	GI ID	CI ID	PID	Type	Process name	GPU Memory Usage	
No running processes found							

図352. nvidia-smi

- nvidia-smi -L

nvidia-smi -L ユーティリティーを実行して、8つのGPUをUUIDでオンラインで表示します。

```
GPU 0: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-6e0a65fb-718e-5b02-59f6-8299cf79d5ff)
GPU 1: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-1feb659e-68d7-989b-f7a5-ee58dd99022e)
GPU 2: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-0896702e-cdb2-6600-b0a7-8ccc184e6d1d)
GPU 3: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-0963c80d-fb0a-136e-895a-243459c6023f)
GPU 4: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-e30aaa97-7c92-5395-899f-fb09ab23b9e2)
GPU 5: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-94ab9e89-76fb-7428-df61-023cf4b7751e)
GPU 6: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-6fc98cc6-d0d4-a04b-16b1-1e629800d849)
GPU 7: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-4cf011b1-5de1-d8d6-a26a-b48961e1d5c8)
```

図353. nvidia-smi -L

- nvidia-smi -q -id=1 -f <output file name>

nvidia-smi -q -id=1 -f <output file name> ユーティリティーを実行して、GPUシステム一覧情報をエクスポートします。

目的のファイル名を <output file name> に入力して、出力を保存します。例: nvidia-smi -q -id=1 -f /tmp/queryoam1.txt。

```
=====NVSMI LOG=====

Timestamp : Sat Jun 15 15:12:42 2024
Driver Version : 550.90.07
CUDA Version : 12.4

Attached GPUs : 8
GPU 00000000:29:00.0
  Product Name : NVIDIA H100 80GB HBM3
  Product Brand : NVIDIA
  Product Architecture : Hopper
  Display Mode : Enabled
  Display Active : Disabled
  Persistence Mode : Disabled
  Addressing Mode : None
  MIG Mode
    Current : Disabled
    Pending : Disabled
  Accounting Mode : Disabled
  Accounting Mode Buffer Size : 4000
  Driver Model
    Current : N/A
    Pending : N/A
  Serial Number : 1654123019435
  GPU UUID : GPU-1feb659e-68d7-989b-f7a5-ee58dd99022e
  Minor Number : 1
  VBIOS Version : 96.00.89.00.01
  MultiGPU Board : No
  Board ID : 0x2900
  Board Part Number : 692-26520-0200-000
  GPU Part Number : 2330-885-A1
  FRU Part Number : N/A
  Module ID : 8
  Inforom Version
    Image Version : G520.0200.00.05
    OEM Object : 2.1
    ECC Object : 7.16
    Power Management Object : N/A
  Inforom BBX Object Flush
    Latest Timestamp : N/A
    Latest Duration : N/A
  GPU Operation Mode
    Current : N/A
    Pending : N/A
  GPU C2C Mode : Disabled
  GPU Virtualization Mode
    Virtualization Mode : None
    Host VGPU Mode : N/A
    vGPU Heterogeneous Mode : N/A
  GPU Reset Status
  Reset Required : No
```

図 354. nvidia-smi -q -id=1 -f<output file name>

- nvidia-smi -id=0 -q -d ECC,PAGE_RETIREMENT

nvidia-smi -id=0 -q -d ECC,PAGE_RETIREMENT ユーティリティーを実行して、ECC(エラー検出および訂正)エラーとリタイア・ページのステータスをエクスポートします。

```
ECC Mode
  Current : Enabled
  Pending : Enabled
Ecc Errirs
  Volatile
    SRAM Correctable : 0
    SRAM Uncorrectable Parity : 0
    SRAM Uncorrectable SEC-DED : 0
    DRAM Correctable : 0
    DRAM Uncorrectable : 0
Aggregate
  SRAM Correctable : 0
  SRAM Uncorrectable Parity : 0
  SRAM Uncorrectable SEC-DED : 0
  DRAM Correctable : 0
  DRAM Uncorrectable : 0
```

```

SRAM Threshold Exceeded      : No
Aggregate Uncorrectable SRAM Sources
  SRAM L2                  : 0
  SRAM SM                  : 0
  SRAM Microcontroller     : 0
  SRAM PCIE                : 0
  SRAM Other                : 0
Retired Pages
  Single Bit ECC           : N/A
  Double Bit ECC            : N/A
  Pending Page Blacklist   : N/A

```

- nvidia-smi pci --getErrorCounters

nvidia-smi pci --getErrorCounters ユーティリティーを実行して、8つのGPUのエラー・カウンターを表示します。

```

:~$ nvidia-smi pci --getErrorCounters
GPU 0: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-6e0a65fb-718e-5b02-59f6-8299cf79d5ff)
  REPLAY_COUNTER:          0
  REPLAY_ROLLOVER_COUNTER: 0
  L0_TO_RECOVERY_COUNTER:  5
  CORRECTABLE_ERRORS:      0
  NAKS_RECEIVED:           0
  RECEIVER_ERROR:          0
  BAD_TLP:                 0
  NAKS_SENT:                0
  BAD_DLLP:                0
  NON_FATAL_ERROR:         0
  FATAL_ERROR:              0
  UNSUPPORTED_REQ:          0
  LCRC_ERROR:               0
  LANE_ERROR:
    lane 0: 0
    lane 1: 0
    lane 2: 0
    lane 3: 0
    lane 4: 0
    lane 5: 0
    lane 6: 0
    lane 7: 0
    lane 8: 0
    lane 9: 0
    lane 10: 0
    lane 11: 0
    lane 12: 0
GPU 1: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-1feb659e-68d7-989b-f7a5-ee58dd99022e)
  REPLAY_COUNTER:          0
  REPLAY_ROLLOVER_COUNTER: 0
  L0_TO_RECOVERY_COUNTER:  5
  CORRECTABLE_ERRORS:      0
  NAKS_RECEIVED:           0
  RECEIVER_ERROR:          0

```

図355. nvidia-smi pci --getErrorCounters

- nvidia-smi pci --getErrorCounters -id=<id number>

nvidia-smi pci --getErrorCounters -id=<id number> ユーティリティーを実行して、特定のGPUのエラー・カウンターを表示します。

特定のGPUのID番号を<id number>に入力します。例: nvidia-smi pci --getErrorCounters -id=2。

```
:$ nvidia-smi pci --getErrorCounters --id=2
GPU 2: NVIDIA H100 80GB HBM3 (UUID: GPU-0896702e-cdb2-6600-b0a7-8ccc184e6d1d)
REPLAY_COUNTER: 0
REPLAY_ROLLOVER_COUNTER: 0
L0_TO_RECOVERY_COUNTER: 5
CORRECTABLE_ERRORS: 0
NAKS_RECEIVED: 0
RECEIVER_ERROR: 0
BAD_TLP: 0
NAKS_SENT: 0
BAD_DLLP: 0
NON_FATAL_ERROR: 0
FATAL_ERROR: 0
UNSUPPORTED_REQ: 0
LCRC_ERROR: 0
LANE_ERROR:
    lane 0: 0
    lane 1: 0
    lane 2: 0
    lane 3: 0
    lane 4: 0
    lane 5: 0
    lane 6: 0
    lane 7: 0
    lane 8: 0
    lane 9: 0
    lane 10: 0
    lane 11: 0
    lane 12: 0
```

図 356. *nvidia-smi pci -getErrorCounters -id=<id number>*

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、以下の情報を参照してください。

- 373 ページの「再現性の低い外部デバイスの問題」
- 373 ページの「再現性の低い KVM の問題」
- 374 ページの「再現性の低い予期しないリブート」

再現性の低い外部デバイスの問題

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. UEFI および XCC フームウェアを最新のバージョンに更新します。
2. 正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。
3. USB デバイスの場合:
 - a. デバイスが正しく構成されていることを確認します。
サーバーを再起動し、画面の指示に従ってキーを押して、LXPM システム・セットアップ・インターフェースを表示します。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM 資料の「起動」セクションを参照してください)。次に、「システム設定」→「デバイスおよび I/O ポート」→「USB 構成」の順にクリックします。
 - b. デバイスを別のポートに接続します。USB ハブを使用している場合は、ハブを取り外し、デバイスをサーバーに直接接続します。デバイスがポートに対して正しく構成されていることを確認します。

再現性の低い KVM の問題

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

ビデオの問題:

- すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。
- モニターを別のサーバーでテストして、正常に機能していることを確認します。
- 正常に機能しているサーバーでコンソール・ブレークアウト・ケーブルをテストして、そのケーブルが正常に機能していることを確認します。コンソール・ブレークアウト・ケーブルに障害がある場合は交換します。

キーボードの問題:

すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。

マウスの問題:

すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。

再現性の低い予期しないリブート

注: 一部の訂正不能エラーでは、マシンが正常に起動できるようにメモリー DIMM やプロセッサーなどのデバイスを無効にするために、サーバーをリブートする必要があります。

- POST 中にリセットが発生し、POST ウオッチドック・タイマーが有効な場合、ウォッチドック・タイムアウト値 (POST ウォッチドック・タイマー) で十分な時間がとられていることを確認します。
POST ウォッチドックの時間を確認するには、サーバーを再起動し、画面の指示に従ってキーを押して LXPM システム・セットアップ・インターフェースを表示します。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM 資料の「起動」セクションを参照してください)。次に、「システム設定」→「リカバリーと RAS」→「システム・リカバリー」→「POST ウォッチドック・タイマー」をクリックします。
- オペレーティング・システムの起動後にリセットが発生する場合は、以下のいずれかを行います。
 - システムが正常に稼働しているときにオペレーティング・システムに入り、オペレーティング・システム・カーネル・ダンプ・プロセスをセットアップします (Windows および Linux ベースのオペレーティング・システムでは、異なる方法を使用することになります)。UEFI セットアップ・メニューに入って機能を無効にするか、以下の OneCli コマンドを使用して無効にします。
`OneCli.exe config set SystemRecovery.RebootSystemOnNMI Disable --bmc XCC_USER:XCC_PASSWORD@XCC_IPAddress`
 - Automatic Server Restart IPMI Application (Windows 用) などの自動サーバー再起動 (ASR) ユーティリティー、または取り付けられている ASR デバイスを無効にします。
- リブートを示すイベント・コードを確認するには、管理コントローラー・イベント・ログを参照してください。イベント・ログの表示については、[349 ページの「イベント・ログ」](#) を参照してください。Linux ベースのオペレーティング・システムを使用している場合は、以降の調査のためにすべてのログを Lenovo サポートにキャプチャします。

キーボード、マウス、KVM スイッチまたは USB デバイスの問題

キーボード、マウス、KVM スイッチまたは USB デバイスに関連した問題を解決するには、以下の情報を参照してください。

- [375 ページの「キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない」](#)
- [375 ページの「マウスが機能しない」](#)
- [375 ページの「KVM スイッチの問題」](#)
- [375 ページの「USB デバイスが機能しない」](#)

キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない

1. 次の点を確認します。
 - キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。
 - サーバーとモニターの電源がオンになっている。
2. USB キーボードを使用している場合は、Setup Utility を実行してキーボードなし操作を有効にします。
3. USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。
4. キーボードを交換します。

マウスが機能しない

1. 次の点を確認します。
 - マウスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されている。
 - マウスのデバイス・ドライバーが正しくインストールされている。
 - サーバーとモニターの電源がオンになっている。
 - マウス・オプションが Setup Utility で有効にされている。
2. USB マウスを使用していてキーボードが USB ハブに接続されている場合は、マウスをハブから切り離してサーバーに直接接続します。
3. マウスを交換します。

KVM スイッチの問題

1. ご使用のサーバーで KVM スイッチがサポートされていることを確認します。
2. KVM スイッチの電源が正常にオンになっていることを確認します。
3. キーボード、マウス、またはモニターをサーバーに直接接続すれば正常に動作する場合は、KVM スイッチを交換します。

USB デバイスが機能しない

1. 次の点を確認します。
 - 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。
 - オペレーティング・システムが USB デバイスをサポートしている。
2. USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します。
Lenovo XClarity Controller 管理コントローラー Web インターフェースから、「システム構成」 → 「サーバーのプロパティ」 → 「USB ポートの有効化」をクリックします。
3. USB ハブを使用している場合は、USB デバイスをハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

メモリーの問題

メモリーに関する問題を解決するには、このセクションを参照します。

メモリーの一般的な問題

- 375 ページの「1 つのチャネル内の複数のメモリー・モジュールで障害の発生が確認された」
- 376 ページの「表示されるシステム・メモリーが取り付けられている物理メモリーよりも小さい」
- 377 ページの「無効なメモリー装着が検出された」

1 つのチャネル内の複数のメモリー・モジュールで障害の発生が確認された

注：メモリー・モジュールの取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

以下の手順に従って、問題を修正します。

1. メモリー・モジュールを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. 識別された中から最も大きい番号のメモリー・モジュールを取り外し、同一で良品と判明しているメモリー・モジュールと取り替えて、サーバーを再起動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべてのメモリー・モジュールを交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。
3. 取り外したメモリー・モジュールを一度に 1 つずつ元のコネクターに戻し、各メモリー・モジュールごとにサーバーを再起動し、あるメモリー・モジュールが障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各メモリー・モジュールを、同一と正常と判明しているメモリー・モジュールと交換し、各メモリー・モジュールを交換するごとにサーバーを再起動します。取り外したすべてのメモリー・モジュールのテストが完了するまで、ステップ 3 を繰り返します。
4. 確認されたメモリー・モジュールのうち、最も数字の大きいものを交換し、サーバーを再起動します。解決するまで上記を繰り返します。
5. (同じプロセッサーの) チャネル間でメモリー・モジュールの位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題がメモリー・モジュールに関連したものである場合は、障害のあるメモリー・モジュールを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるメモリー・モジュールを、プロセッサー 2 のメモリー・モジュール・コネクター(取り付けられている場合)に取り付け、問題がプロセッサーに関するものでないこと、あるいはメモリー・モジュール・コネクターに関するものでないことを確認します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)を交換します。

表示されるシステム・メモリーが取り付けられている物理メモリーよりも小さい

以下の手順に従って、問題を修正します。

注：メモリー・モジュールの取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを電源から切り離す必要があります。サーバーを再起動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 次の点を確認します。
 - エラー LED が点灯していない ([356 ページの「システム LED と診断ディスプレイによるトラブルシューティング」](#) を参照)。
 - メモリー・ミラーリング・チャネルが不一致の原因ではない。
 - メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。
 - 正しいタイプのメモリー・モジュールを取り付けた(要件については [5 ページの「メモリー・モジュールの取り付けの規則および順序」](#) を参照)。
 - メモリー・モジュールを変更または交換した後、Setup Utility でメモリー構成がそれに応じて更新されている。
 - すべてのメモリー・バンクが有効になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に無効にしたか、メモリー・バンクが手動で無効にされた可能性があります。
 - サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがない。
2. メモリー・モジュールを取り付け直し、サーバーを再起動します。
3. 以下のようにして、POST エラー・ログをチェックします。
 - メモリー・モジュールがシステム管理割り込み(SMI)によって無効にされていた場合は、そのメモリー・モジュールを交換します。
 - メモリー・モジュールがユーザーまたは POST によって無効にされた場合は、メモリー・モジュールを取り付け直します。その後、Setup Utility を実行して、メモリー・モジュールを有効にします。
4. Setup Utility を使用してすべてのメモリー・モジュールを再度使用可能にし、サーバーを再始動します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるメモリー・モジュールを、プロセッサー 2 のメモリー・モジュール・コネクター(取り付けられている場合)に取り付け、問題がプロセッサーに関するものでないこと、あるいはメモリー・モジュール・コネクターに関するものでないことを確認します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)を交換します。

無効なメモリー装着が検出された

この警告メッセージが表示された場合は、以下のステップを実行します。

`Invalid memory population (unsupported DIMM population) detected. Please verify memory configuration is valid.`

1. 現在のメモリー・モジュール装着順序がサポートされていることを確認するには、[5 ページの「メモリー・モジュールの取り付けの規則および順序」](#)を参照してください。
2. 現在の順序が実際にサポートされている場合は、いずれかのモジュールが Setup Utility で「無効」と表示されているかどうかを確認します。
3. 「無効」と表示されているモジュールを取り付け直してシステムを再起動します。
4. 問題が解決しない場合には、メモリー・モジュールを交換します。

モニターおよびビデオの問題

モニターまたはビデオの問題を解決するには、以下の情報を参照してください。

- [377 ページの「誤った文字が表示される」](#)
- [377 ページの「画面に何も表示されない」](#)
- [378 ページの「一部のアプリケーション・プログラムを起動すると画面に何も表示されなくなる」](#)
- [378 ページの「モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ」](#)
- [378 ページの「画面に誤った文字が表示される」](#)

誤った文字が表示される

次の手順を実行してください。

1. 言語および局所性の設定が、キーボードおよびオペレーティング・システムに対して正しいことを確認します。
2. 誤った言語が表示される場合は、サーバー・ファームウェアを最新レベルに更新します。「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

画面に何も表示されない

1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、KVM スイッチを問題の原因の候補から外すため、スイッチを経由させずにモニター・ケーブルをサーバー前面の正しいコネクターに直接接続してください。
2. オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、管理コントローラー・リモート・プレゼンス機能は無効になります。管理コントローラー・リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。
3. サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約 3 分後に Lenovo ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。
4. 次の点を確認します。
 - サーバーの電源がオンになり、サーバーに電気が供給されている。
 - モニター・ケーブルが正しく接続されている。
 - モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されている。
5. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します(該当する場合)。

- ビデオ出力が、破損したサーバー・ファームウェアの影響を受けていないことを確認します。「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。
- 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

一部のアプリケーション・プログラムを起動すると画面に何も表示されなくなる

- 次の点を確認します。
 - アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。
 - アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。

モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ

- モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他のデバイス(変圧器、電気製品、蛍光灯 および他のモニターなど)の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。そのような場合は、モニターの電源をオフにしてください。

注意：電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。デバイスとモニターの間を 305 mm (12 インチ) 以上離してから、モニターの電源をオンにします。

注：

- ディスクケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスクケット・ドライブの間を 76 mm (3 インチ) 以上にします。
 - Lenovo 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測不能な問題が発生することがあります。
- モニター・ケーブルを取り付け直します。
 - ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再起動します。
 - モニター・ケーブル
 - ビデオ・アダプター(取り付けられている場合)
 - モニター
 - (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)の交換

画面に誤った文字が表示される

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 言語および局所性の設定が、キーボードおよびオペレーティング・システムに対して正しいことを確認します。
- 誤った言語が表示される場合は、サーバー・ファームウェアを最新レベルに更新します。「ユーザー・ガイド」または「システム構成ガイド」の「ファームウェアの更新」を参照してください。

ネットワークの問題

以下の情報を参照して、ネットワークに関する問題を解決します。

- 378 ページの 「Wake on LAN を使用してサーバーを起動できない」
- 379 ページの 「SSL が有効な状態で LDAP アカウントを使用してログインできない」

Wake on LAN を使用してサーバーを起動できない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを使用していて、サーバーがネットワークに接続されている場合は、システム・エラー・ログまたはシステム・イベント・ログ([349 ページの「イベント・ログ」](#)を参照)を確認し、以下の点を確かめてください。
 - a. 室温が高すぎないこと([351 ページの「仕様」](#)を参照)。
 - b. 通風孔がふさがれていないこと。
 - c. エアー・バッフルがしっかりと取り付けられていること。
2. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを取り付け直します。
3. サーバーの電源をオフにして電源から切り離します。その後、10 秒間待ってからサーバーを再始動します。
4. 問題が解決しない場合は、デュアル・ポート・ネットワーク・アダプターを交換します。

SSL が有効な状態で LDAP アカウントを使用してログインできない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ライセンス・キーが有効であることを確認します。
2. 新規のライセンス・キーを生成して、再度ログインします。

目視で確認できる問題

目視で確認できる問題を解決するには、以下の情報を参照してください。

- 379 ページの「サーバーをオンになると、すぐに POST イベント・ビューアーが表示される」
- 379 ページの「サーバーが応答しない(POST が完了し、オペレーティング・システムが稼働している)」
- 380 ページの「サーバーが応答しない(POST が失敗し、システム・セットアップを起動できない)」
- 380 ページの「電圧プレーナー障害がイベント・ログに表示される」
- 381 ページの「異臭」
- 381 ページの「サーバーが高温になっているように見える」
- 381 ページの「部品またはシャーシが破損している」

サーバーをオンになると、すぐに POST イベント・ビューアーが表示される

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. システム LED と診断ディスプレイによって示されているエラーがあればすべて訂正します。
2. サーバーがすべてのプロセッサーをサポートし、プロセッサーの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。

システム・セットアップからプロセッサーの詳細を表示できます。

プロセッサーがサーバーでサポートされているかどうかを判別するには、<https://serverproven.lenovo.com> を参照してください。

3. (トレーニングを受けた技術員のみ) プロセッサー 1 が正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) プロセッサー 2 を取り外して、サーバーを再起動します。
5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再起動します。
 - a. (トレーニングを受けた技術員のみ) プロセッサー
 - b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)の交換

サーバーが応答しない (POST が完了し、オペレーティング・システムが稼働している)

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 計算ノードの設置場所にいる場合は、以下のステップを実行してください。

1. KVM 接続を使用している場合、その接続が正常に機能していることを確認します。使用していない場合は、キーボードおよびマウスが正常に機能していることを確認します。
 2. 可能な場合、計算ノードにログインし、すべてのアプリケーションが稼働している（ハングしているアプリケーションがない）ことを確認します。
 3. 計算ノードを再起動します。
 4. 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。
 5. ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。
- リモート・ロケーションから計算ノードにアクセスしている場合は、以下のステップを実行してください。
 1. すべてのアプリケーションが稼働している（ハングしているアプリケーションがない）ことを確認します。
 2. システムからログアウトしてから、再度ログインしてみます。
 3. コマンド・ラインから計算ノードに対して ping または traceroute を実行してネットワーク・アクセスを検証します。
 - a. ping テスト中に応答が得られない場合は、エンクロージャー内の別の計算ノードに ping を試行し、接続の問題であるのか、計算ノードの問題であるのかを判別します。
 - b. trace route を実行し、接続が切断されている場所を判別します。VPN あるいは接続が切断されているポイントの接続の問題の解決を試行します。
 4. 管理インターフェースから計算ノードをリモートで再起動します。
 5. 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。
 6. ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。

サーバーが応答しない (POST が失敗し、システム・セットアップを起動できない)

デバイスの追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更 およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (電源オン・セルフテスト) が失敗することがあります。

これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再起動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再起動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、System Setup が開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再起動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボード (システム・ボード・アセンブリー) に問題がある可能性があります。

System Setup で、再起動の連続試行数を指定できます。サーバーを再起動し、画面の指示に従ってキーを押して、LXPM システム・セットアップ・インターフェースを表示します。（詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM 資料の「起動」セクションを参照してください）。次に、「システム設定」 → 「リカバリーと RAS」 → 「POST 試行」 → 「POST 試行限度」の順にクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9 および無効です。

電圧ブレーカー障害がイベント・ログに表示される

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. システムを最小構成に戻します。最低限必要なプロセッサーと DIMM の数については、[351 ページの「仕様」](#) を参照してください。

2. システムを再起動します。

- システムが再起動する場合は、取り外した部品を一度に1つずつ追加して、そのたびにシステムを再起動し、これをエラーが発生するまで繰り返します。エラーが発生した部品を交換します。
- システムが再起動しない場合は、システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)が原因の可能性があります。

異臭

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 異臭は、新規に取り付けた装置から発生している可能性があります。
2. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

サーバーが高温になっているように見える

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

複数の計算ノードまたはシャーシの場合:

1. 室温が指定の範囲内であることを確認します([351 ページの「仕様」を参照](#))。
2. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
3. UEFI および XCC を最新のバージョンに更新します。
4. サーバーのフィラーが正しく取り付けられていることを確認します(詳細な取り付け手順については、[1 ページの第 1 章「ハードウェア交換手順」を参照](#))。
5. IPMI コマンドを使用して、ファン速度をフルスピードに上げ、問題を解決できるかどうかを確認します。

注: IPMI raw コマンドは、トレーニングを受けた技術員のみが使用してください。各システムには固有の IPMI raw コマンドがあります。

6. 管理プロセッサーのイベント・ログで、温度上昇イベントがないかを確認します。イベントがない場合、計算ノードは正常な作動温度内で稼働しています。ある程度の温度変化は予想されるので注意してください。

部品またはシャーシが破損している

Lenovo サポートに連絡してください。

オプションのデバイスの問題

オプションのデバイスに関連した問題を解決するには、以下の情報を参照してください。

- [381 ページの「外部 USB デバイスが認識されない」](#)
- [382 ページの「PCIe アダプターが認識されない、または機能していない」](#)
- [382 ページの「新たに取り付けられた Lenovo オプション・デバイスが作動しない」](#)
- [382 ページの「前に動作していた Lenovo オプション装置が動作しなくなった」](#)

外部 USB デバイスが認識されない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. UEFI ファームウェアを最新のバージョンに更新します。
2. 計算ノードに適切なドライバーがインストールされていることを確認します。デバイス・ドライバーの情報については、USB デバイスの製品資料を参照してください。
3. Setup Utility を使用して、デバイスが正しく構成されていることを確認します。

4. USB デバイスがハブまたはコンソール・ブレークアウト・ケーブルに差し込まれている場合は、そのデバイスを引き抜き、計算ノード前面の USB ポートに直接差し込みます。

PCIe アダプターが認識されない、または機能していない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. UEFI フームウェアを最新のバージョンに更新します。
2. イベント・ログを確認し、このデバイスに関連する問題をすべて解決します。
3. デバイスがサーバーでサポートされていることを検証します (<https://serverproven.lenovo.com> を参照)。デバイスのファームウェア・レベルがサポートされている最新レベルであることを確認し、必要に応じてファームウェアを更新します。
4. アダプターが正しいスロットに取り付けられていることを確認します。
5. そのデバイス用に適切なデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。
6. アダプターに関する技術ヒント (RETAIN tip または Service Bulletin ともいいます) がないか、<http://datacentersupport.lenovo.com> を確認します。
7. すべてのアダプター外部接続が正しいこと およびコネクターが物理的に損傷していないことを確認します。
8. PCIe アダプターにサポートされているオペレーティング・システムがインストールされていることを確認します。

新たに取り付けられた Lenovo オプション・デバイスが作動しない

1. 次の点を確認します。
 - デバイスがサーバーでサポートされている (<https://serverproven.lenovo.com> を参照)。
 - デバイスに付属の取り付け手順に従い正しく取り付けられている。
 - 取り付けた他のデバイスやケーブルを外していない。
 - システム・セットアップで構成情報を更新した。サーバーを起動し、画面の指示に従ってキーを押して、セットアップ・ユーティリティーを表示する場合。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM 資料の「起動」セクションを参照してください)。メモリーまたは他のデバイスを変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。
2. 直前に取り付けたデバイスを取り付け直します。
3. 直前に取り付けたデバイスを交換します。
4. ケーブルの接続を抜き差しして、ケーブルに物理的損傷がないことを確認します。
5. ケーブルに損傷がある場合は、ケーブルを交換します。

前に動作していた Lenovo オプション装置が動作しなくなった

1. デバイスのケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。
2. デバイスにテスト手順が付属している場合は、その手順を使用してデバイスをテストします。
3. ケーブルの接続を抜き差しして、物理部品に損傷がないかどうかを確認します。
4. ケーブルを交換します。
5. 障害のある装置を取り付け直します。
6. 障害のあるデバイスを交換します。

パフォーマンスの問題

パフォーマンスの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 383 ページの 「ネットワーク・パフォーマンス」
- 383 ページの 「オペレーティング・システムのパフォーマンス」

ネットワーク・パフォーマンス

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. どのネットワーク(ストレージ、データ、管理など)が低速で作動しているかを特定します。pingツールやオペレーティング・システム・ツール(タスク・マネージャーあるいはリソース・マネージャーなど)を使用すると、この特定に役立つ場合があります。
2. ネットワークにトラフィック輻輳が生じていないかどうか確認します。
3. NIC デバイス・ドライバーおよびファームウェア、またはストレージ・デバイス・コントローラーのデバイス・ドライバーを更新します。
4. I/O モジュールの製造元が提供するトラフィック診断ツールを使用します。

オペレーティング・システムのパフォーマンス

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 最近、計算ノードに変更を行った場合(例えば、デバイス・ドライバーの更新やソフトウェア・アップリケーションのインストールなど)、それらの変更を元に戻します。
2. ネットワーキングの問題がないかを確認します。
3. オペレーティング・システム・ログでパフォーマンス関連のエラーがないかを確認します。
4. 高温および電源問題に関連するイベントがないかを確認します。これは、計算ノードで冷却を補助するために、スロットルが発生している可能性があるためです。スロットルが発生している場合は、パフォーマンスを向上させるために計算ノード上のワークロードを削減してください。
5. DIMM の無効化に関連するイベントがないかを確認します。アプリケーション・ワークロードに十分なメモリーがない場合、オペレーティング・システムのパフォーマンスは低下します。
6. 構成に対してワークロードが高すぎないようにする必要があります。

電源オンおよび電源オフの問題

サーバーの電源オンまたはオフ時に発生する問題を解決するには、この情報を使用します。

- 383 ページの「電源ボタンが作動しない(サーバーが起動しない)」
- 384 ページの「サーバーの電源がオンにならない」

電源ボタンが作動しない(サーバーが起動しない)

注: 電源ボタンは、サーバーが AC 電源に接続された後、約 1 分から 3 分経過するまで機能しません。これは BMC の初期化にかかる時間です。

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. サーバーの電源ボタンが正しく機能していることを確認します。
 - a. サーバーの電源コードを切り離します。
 - b. サーバーの電源コードを再接続します。
 - c. 前面オペレーター・パネル・ケーブルを取り付けなおしてから、ステップ 1a と 1b を繰り返します。
 - サーバーが起動する場合は、前面オペレーター・パネルを取り付け直します。
 - 問題が解決しない場合は、前面オペレーター・パネルを交換します。
2. 次の点を確認します。
 - 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。
 - パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。
 - 電源ボタン LED が点灯しており、ゆっくり点滅している。

- 押す力が十分でありボタンから手応えが返っている。
- 電源ボタンの LED が点灯または点滅しない場合は、すべてのパワー・サプライを取り付け直して、PSU 背面の AC LED が点灯していることを確認します。
 - オプション・デバイスを取り付けたばかりの場合は、それを取り外してから、サーバーを再起動します。
 - 問題がまだ発生するか、電源ボタン LED が点灯していない場合は、最小構成を実行して、特定のコンポーネントが電源許可をロックしているかどうかを確認します。各パワー・サプライを交換し、それぞれを取り付けた後に電源ボタンの機能を確認します。
 - すべて行っても問題を解決できない場合は、Lenovo サポートにキャプチャーされたシステム・ログを使用して障害情報を収集します。

サーバーの電源がオンにならない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 電源を投入していないサーバーに関するイベントがないか、イベントログをチェックしてください。
- 橙色で点滅している LED がないかチェックしてください。
- システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)上の電源 LED をチェックしてください。
- AC 電源 LED が点灯しているか、PSU 背面のオレンジ色の LED が点灯していることを確認します。
- システムの AC サイクルを実行します。
- 少なくとも 10 秒間、CMOS バッテリーを取り外してから、CMOS バッテリーを再取り付けします。
- XCC 経由で IPMI コマンドを使用するか電源ボタンを使用して、システムの電源をオンにしてみます。
- 最小構成を実装します([351 ページの「技術仕様」](#)を参照)。
- すべてのパワー・サプライを取り付け直し、PSU 背面の AC LED が点灯していることを確認します。
- 各パワー・サプライを交換し、それぞれを取り付けた後に電源ボタンの機能を確認します。
- 上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、サービスに電話して問題の現象を確認してもらい、システム・ボード(システム・ボード・アセンブリー)を交換する必要があるかどうかを確認します。

電源問題

以下の情報を参照して、電源に関する問題を解決します。

システム・エラー LED が点灯し、イベント・ログ「パワー・サプライが失われました」が表示される
この問題を解決するには、以下を行います。

- パワー・サプライが電源コードに正しく接続されていることを確認します。
- 電源コードが、サーバーの接地された電源コンセントに正しく接続されていることを確認します。
- パワー・サプライの AC 電源がサポート範囲内で安定していることを確認します。
- パワー・サプライを入れ替えて、問題がパワー・サプライに付随するものであるかどうかを確認します。パワー・サプライに付随する場合、障害のあるものを交換します。
- イベント・ログをチェックして問題の状態を確認し、イベント・ログのアクションに従って問題を解決します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

- その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。
 - サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。メモリー所要量については、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

注：アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。

- そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。
 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。
 - このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。
2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。
 3. ソフトウェア購入先にお問い合わせください。

ストレージ・ドライブの問題

ストレージ・ドライブに関連した問題を解決するには、以下の情報を参照してください。

- 385 ページの 「サーバーがドライブを認識しない」
- 386 ページの 「複数のドライブに障害が発生した」
- 386 ページの 「複数のドライブがオフラインである」
- 386 ページの 「交換したドライブが再ビルトされない」
- 386 ページの 「緑色ドライブ活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を表示しない」
- 387 ページの 「黄色のドライブ状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を表示しない」

サーバーがドライブを認識しない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 関連する黄色のドライブ状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。
2. 状況 LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがドライブ・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。
3. 関連する緑色ドライブ活動 LED および黄色の状況 LED を確認し、以下のような状況に応じて操作を実行します。
 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。ドライブに対して診断テストを実行します。サーバーを起動し、画面の指示に従ってキーを押すと、デフォルトで LXPM が表示されます。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM 資料の「起動」セクションを参照してください)。このインターフェースからドライブ診断を実行できます。診断ページから、「診断の実行」 → 「ディスク・ドライブ・テスト」の順にクリックします。
 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。
 - いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ドライブ・バックプレーンが正しく取り付けられているかどうかを確認します。詳細については、ステップ 4 に進んでください。
 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。
4. ドライブ・バックプレーンが正しく装着されていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができます。
5. バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。
6. バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。
7. バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。
 - 影響を受けたバックプレーン信号ケーブルを交換します。

- 影響を受けたバックプレーンを交換します。
8. ドライブに対して診断テストを実行します。サーバーを起動し、画面の指示に従ってキーを押すと、デフォルトで LXPM が表示されます。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM 資料の「起動」セクションを参照してください)。このインターフェースからドライブ診断を実行できます。診断ページから、「診断の実行」 → 「ディスク・ドライブ・テスト」の順にクリックします。
- これらのテストに基づいて以下を実行します。
- バックプレーンがテストに合格したがドライブが認識されない場合は、バックプレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。
 - バックプレーンを交換します。
 - アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをアダプターから切り離してから再度テストを実行します。
 - アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。

複数のドライブに障害が発生した

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- Lenovo XClarity Controller イベント・ログを調べて、パワー・サプライまたは振動に関連する他のイベントを確認し、それらのイベントを解決します。
- ドライブとサーバーのデバイス・ドライバーおよびファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

複数のドライブがオフラインである

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- Lenovo XClarity Controller イベント・ログを調べて、パワー・サプライまたは振動に関連する他のイベントを確認し、それらのイベントを解決します。
- ストレージ・サブシステム・ログを調べて、ストレージ・サブシステムに関連するイベントを確認し、それらのイベントを解決します。

交換したドライブが再ビルトされない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブがアダプターに認識されているか(緑色のドライブ活動 LED が点滅しているか)確認します。
2. RAID アダプターの資料を参照して、正しい構成パラメーターおよび設定を確認します。

緑色ドライブ活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を表示しない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ドライブを使用しているときに緑色ドライブ活動 LED が点滅しない場合は、ドライブに対して診断テストを実行してください。サーバーを起動し、画面の指示に従ってキーを押すと、デフォルトで LXPM が表示されます。(詳細については、<https://pubs.lenovo.com/lxpm-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある LXPM 資料の「起動」セクションを参照してください)。このインターフェースからドライブ診断を実行できます。診断ページで、「診断の実行」 → 「ディスク・ドライブ・テスト」の順にクリックします。
2. ドライブがテストをパスする場合、バックプレーンを交換します。
3. ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。

黄色のドライブ状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を表示しない

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. サーバーの電源をオフにします。
2. バックプレーン信号ケーブルおよびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。
3. ドライブを取り付け直します。
4. サーバーの電源をオンにして、ドライブ LED の活動を確認します。

付録 A ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

WWW 上の以下の Web サイトで、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。

<http://datacentersupport.lenovo.com>

注：IBM は、ThinkSystem に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みてください。サポートを受けるために連絡が必要と判断した場合、問題を迅速に解決するためにサービス技術員が必要とする情報を収集します。

お客様自身での問題の解決

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。オンライン・ヘルプにも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

ThinkSystem 製品については、以下の場所で製品ドキュメントが見つかります。

<https://pubs.lenovo.com/>

以下の手順を実行してお客様自身で問題の解決を試みることができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション・デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないかを確認します。(以下のリンクを参照してください) Lenovo 保証規定には、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることが明記されています(追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
 - ドライバーおよびソフトウェアのダウンロード
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/>
 - オペレーティング・システム・サポート・センター
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/server-os>
 - オペレーティング・システムのインストール手順
 - <https://pubs.lenovo.com/thinkedge#os-installation>

- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<https://serverproven.lenovo.com> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- 問題の特定と解決の手順については、[349 ページの 第 3 章「問題判別」](#) を参照してください。
- <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。ご使用のサーバーで利用可能な技術ヒントを検索するには:
 - <http://datacentersupport.lenovo.com> にアクセスしてご使用のサーバーのサポート・ページに移動します。
 - ナビゲーション・ペインで「How To's (ハウツー)」をクリックします。
 - ドロップダウン・メニューから「Article Type (記事タイプ)」 → 「Solution (ソリューション)」をクリックします。
 画面に表示される指示に従って、発生している問題のカテゴリーを選択します。
- https://forums.lenovo.com/t5/Datacenter-Systems/ct-p/sv_eg の Lenovo Data Center フォーラムで、同様の問題が発生していないかどうかを確認してください。

サポートへの連絡に必要な情報の収集

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要な場合は、依頼する前に適切な情報を準備していただけますと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。または製品の保証について詳しくは、<http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup> で参照できます。

サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。

- ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号(該当する場合)
- マシン・タイプ番号(Lenovo の 4 枠のマシン識別番号)。マシン・タイプ番号は ID ラベルに記載されています。詳しくは、ユーザー・ガイドまたはシステム構成ガイドの「サーバーを識別して Lenovo XClarity Controller にアクセスする」を参照してください。
- 型式番号
- シリアル番号
- 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
- エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

Lenovo サポートに連絡する代わりに、<https://support.lenovo.com/servicerequest> にアクセスして Electronic Service Request を送信することもできます。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。Lenovo サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

サービス・データの収集

サーバーの問題の根本原因をはっきり特定するため、または Lenovo サポートの依頼によって、詳細な分析に使用できるサービス・データを収集する必要がある場合があります。サービス・データには、イベント・ログやハードウェア・インベントリーなどの情報が含まれます。

サービス・データは以下のツールを使用して収集できます。

- Lenovo XClarity Provisioning Manager

Lenovo XClarity Provisioning Manager のサービス・データの収集機能を使用して、システム・サービス・データを収集します。既存のシステム・ログ・データを収集するか、新しい診断を実行して新規データを収集できます。

- **Lenovo XClarity Controller**

Lenovo XClarity Controller Web インターフェースまたは CLI を使用してサーバーのサービス・データを収集できます。ファイルは保存でき、Lenovo サポートに送信できます。

- Web インターフェースを使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料の「BMC 構成のバックアップ」セクションを参照してください。
- CLI を使用したサービス・データの収集について詳しくは、<https://pubs.lenovo.com/lxcc-overview/> にあるご使用のサーバーと互換性のある XCC に関する資料のバージョンの「XCC servicelog コマンド」セクションを参照してください。

- **Lenovo XClarity Administrator**

一定の保守可能イベントが Lenovo XClarity Administrator および管理対象エンドポイントで発生した場合に、診断ファイルを収集し自動的に Lenovo サポートに送信するように Lenovo XClarity Administrator をセットアップできます。Call Home を使用して診断ファイルを Lenovo サポートに送信するか、SFTP を使用して別のサービス・プロバイダーに送信するかを選択できます。また、手動で診断ファイルを収集したり、問題レコードを開いたり、診断ファイルを Lenovo サポートに送信したりもできます。

Lenovo XClarity Administrator 内での自動問題通知のセットアップに関する詳細情報は https://pubs.lenovo.com/lxca/admin_setupcallhome で参照できます。

- **Lenovo XClarity Essentials OneCLI**

Lenovo XClarity Essentials OneCLI には、サービス・データを収集するインベントリー・アプリケーションがあります。インバンドとアウト・オブ・バンドの両方で実行できます。サーバーのホスト・オペレーティング・システムで実行する場合、OneCLI では、ハードウェア・サービス・データに加えて、オペレーティング・システム・イベント・ログなどオペレーティング・システムに関する情報を収集できます。

サービス・データを取得するには、getinfor コマンドを実行できます。getinfor の実行についての詳細は、https://pubs.lenovo.com/lxce-onecli/onecli_r_getinfor_command を参照してください。

サポートへのお問い合わせ

サポートに問い合わせて問題に関するヘルプ入手できます。

ハードウェアの保守は、Lenovo 認定サービス・プロバイダーを通じて受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定サービス・プロバイダーを見つけるには、<https://datacentersupport.lenovo.com/serviceprovider> にアクセスし、フィルターを使用して国別で検索します。Lenovo サポートの電話番号については、<https://datacentersupport.lenovo.com/supportphonelist> で地域のサポートの詳細を参照してください。

付録 B 資料とサポート

このセクションでは、便利なドキュメント、ドライバーとファームウェアのダウンロード およびサポート・リソースを紹介します。

資料のダウンロード

このセクションでは、便利なドキュメントの概要とダウンロード・リンクを示しています。

資料

以下の製品ドキュメントは、次のリンクからダウンロードできます。

https://pubs.lenovo.com/sr680a-v4/pdf_files.html

- レール取り付けガイド
 - ラックでのレールの取り付け
- ユーザー・ガイド
 - 完全な概要、システム構成、ハードウェア・コンポーネントの交換、トラブルシューティング。
「ユーザー・ガイド」の特定の章が含まれています。
 - システム構成ガイド: サーバーの概要、コンポーネント ID、システム LED と診断ディスプレイ、製品の開梱、サーバーのセットアップと構成。
 - ハードウェア・メンテナンス・ガイド: ハードウェア・コンポーネントの取り付け、ケーブルの配線、トラブルシューティング。
- ケーブル配線ガイド
 - ケーブル配線情報。
- メッセージとコードのリファレンス
 - XClarity Controller、LXPM、uEFI イベント
- UEFI マニュアル
 - UEFI 設定の概要

サポート Web サイト

このセクションでは、ドライバーとファームウェアのダウンロードおよびサポート・リソースを紹介します。

サポートおよびダウンロード

- ThinkSystem SR680a V4 のドライバーおよびソフトウェアのダウンロード Web サイト
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/tw/en/products/servers/thinksystem/sr680av4/7dmk/downloads/driver-list/>
- Lenovo Data Center フォーラム
 - https://forums.lenovo.com/t5/Datacenter-Systems/ct-p/sv_eg
- ThinkSystem SR680a V4 の Lenovo データセンターサポート
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/products/servers/thinksystem/sr680av3/7dm9>
- Lenovo ライセンス情報ドキュメント
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/documents/livo-eula>

- Lenovo Press Web サイト (製品ガイド/データシート/ホワイトペーパー)
 - <https://lenovopress.lenovo.com/>
- Lenovo プライバシーに関する声明
 - <https://www.lenovo.com/privacy>
- Lenovo 製品セキュリティー・アドバイザリー
 - https://datacentersupport.lenovo.com/product_security/home
- Lenovo 製品保証プラン
 - <http://datacentersupport.lenovo.com/warrantylookup>
- Lenovo サーバー・オペレーティング・システム・サポート・センター Web サイト
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/server-os>
- Lenovo ServerProven Web サイト (オプション互換性参照)
 - <https://serverproven.lenovo.com>
- オペレーティング・システムのインストール手順
 - <https://pubs.lenovo.com/thinkedge#os-installation>
- eTicket (サービス要求) を送信する
 - <https://support.lenovo.com/servicerequest>
- Lenovo Data Center Group の製品に関する通知を購読する (ファームウェア更新を最新の状態に保つ)
 - <https://datacentersupport.lenovo.com/solutions/ht509500>

付録 C 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権(特許出願中のものを含む)を保有している場合があります。本書の提供は、いかなる特許出願においても実施権を許諾することを意味するものではありません。お問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
8001 Development Drive
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として「現存するままの状態で」提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、隨時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

LENOVO および THINKSYSTEM は Lenovo の商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の知的財産です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、プロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わるべきある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハードディスク・ドライブの最大容量は、Lenovo から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハードディスク・ドライブの代わりに使用し、すべてのハードディスク・ドライブ・ペイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを **total bytes written (TBW)** と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版(利用可能である場合)とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

電波障害自主規制特記事項

このデバイスにモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制デバイスを使用してください。

その他の電波障害自主規制特記事項は以下に掲載されています。

https://pubs.lenovo.com/important_notices/

台灣地域 BSMI RoHS 宣言

單元 Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols					
	鉛Lead (Pb)	汞Mercury (Hg)	鎘Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (Cr ⁶⁺)	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
機架	○	○	○	○	○	○
外部蓋板	○	○	○	○	○	○
機械組合件	-	○	○	○	○	○
空氣傳動設備	-	○	○	○	○	○
冷卻組合件	-	○	○	○	○	○
內存模組	-	○	○	○	○	○
處理器模組	-	○	○	○	○	○
圖形處理器模組	-	○	○	○	○	○
電纜組合件	-	○	○	○	○	○
電源供應器	-	○	○	○	○	○
儲備設備	-	○	○	○	○	○
印刷電路板	-	○	○	○	○	○

備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。

Note1 : “exceeding 0.1wt%” and “exceeding 0.01 wt%” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.

備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。

Note2 : “○” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.

備考3. “-” 係指該項限用物質為排除項目。

Note3 : The “-” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption. 0724

台灣地域の輸出入お問い合わせ先情報

台灣地域の輸出入情報に関する連絡先を入手できます。

委製商/進口商名稱: 台灣聯想環球科技股份有限公司

進口商地址: 台北市南港區三重路 66 號 8 樓

進口商電話: 0800-000-702

